平成27年度　一般廃棄物実態調査

報 告 書

平成 28 年 2 月

三 重 県

＝　目次　＝

Ⅰ　県民アンケート

１　調査の概要 …… 1

1-1　調査の目的 …… 1
1-2　調査対象 …… 1
1-3　調査方法 …… 1
1-4　調査期間 …… 1
1-5　回収状況 …… 1
1-6　回収状況：市町別各年度との比較 …… 2
1-7　分析結果の見方 …… 3
1-8　標本誤差の範囲 …… 3

２　調査結果（属性） …… 4

2-1　年代 …… 4
2-2　性別 …… 5
2-3　職業 …… 6
2-4　家族人員 …… 6
2-5　住まいの市町 …… 8
2-6　住まいの形態 …… 8
2-7　住まい周辺の様子 …… 9
2-8　家庭にあてはまること …… 10
2-9　地域活動 …… 12
2-10　ごみの分別へのかかわり …… 13

３　「ごみゼロ社会実現プラン」における目標指標達成状況 …… 15

3-1　目標指標 …… 15
3-2　今回調査結果からみた目標指標現況値の算出 …… 15
3-3　目標指標の達成状況 …… 16
3-4　目標指標別市町別平成22年度との比較 …… 17

４　調査結果（統括：意識度） …… 21

4-1　平成27年度　意識度解析 …… 21
4-2　平成16年度・平成19年度・平成22年度・平成27年度　意識度比較 …… 24
4-3　平成19年度・平成22年度・平成27年度　意識度比較 …… 29

5　調査結果（詳細）…… 33
5-1　暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について…… 33
5-2　現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について…… 72
5-3　今後の方策に対する意向について…… 102
5-4　「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画について…… 148
5-5　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について…… 160

6　意識・行動解析…… 168
6-1　目標指標の達成状況の違いによる県民の行動及び意識の差の分析…… 168
6-2　意識と行動の相関分析…… 176

7　平成16年度・平成19年度・平成22年度・平成27年度比較…… 182
7-1　属性…… 182
7-2　暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について…… 184
7-3　現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について…… 192
7-4　今後の方策に対する意向について…… 200

8　平成19年度・平成22年度・平成27年度比較…… 208
8-1　現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について…… 208
8-2　「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画について…… 209
8-3　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について…… 213

9　国との比較…… 229
9-1　暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について…… 229
9-2　今後の方策に対する意向について…… 232

10　自由記入意見まとめ…… 235

11　県民アンケート　調査票…… 238

Ⅱ　事業所アンケート

1　調査の概要…… 249
1-1　調査の目的…… 249
1-2　調査対象…… 249
1-3　調査方法…… 249
1-4　調査期間…… 249
1-5　抽出状況…… 249

1-6　回収状況 250
1-7　平成16年度・平成22年度との比較 250
1-8　分析結果の見方 254
1-9　標本誤差の範囲 254

2　調査結果（属性） 255
2-1　業種 255
2-2　建物形態 256
2-3　従業員数 257
2-4　所在地 258

3　調査結果（詳細） 260
3-1　事業系ごみ（事業系一般廃棄物）の減量やリサイクルの取組 260
3-2　事業所から出る事業系ごみ（事業系一般廃棄物）について 271
3-3　今後の方策や意向について 284
3-4　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について 303

4　調査結果（事業系ごみ組成調査） 309
4-1　ごみとしての排出量 309
4-2　ごみの組成 315
4-3　資源としての排出量 320

5　意識・行動　解析 323

6　平成16年度・平成22年度・平成27年度比較 330
6-1　現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について 330
6-2　あなたの事業所から出る　事業系ごみ(事業系一般廃棄物)について 338
6-3　今後の方策や意向について 347

7　自由記入意見まとめ 355

8　事業所アンケート　調査票 357

Ⅲ　NPO等団体アンケート

1　調査の概要 365
1-1　調査の目的 365
1-2　調査対象 365

1-3　調査方法 365
1-4　調査期間 365
1-5　回収状況 365
1-6　分析結果の見方 365

2　調査結果（属性） 366
2-1　属性 366
2-2　活動分野 366
2-3　活動を始めた時期 367
2-4　活動の範囲 368
2-5　会員数 368
2-6　主たる事務所（事務局）の所在形態 369
2-7　主たる事務所の住所 370

3　調査結果（詳細） 371
3-1　「ごみゼロ社会実現プラン」について 371
3-2　ごみの減量やリサイクルの取組状況について 371

4　過去との比較 380
4-1　現在行っている取組内容について 380
4-2　連携の相手について 388
4-3　県に期待する役割について 390

5　自由記入意見まとめ 391

6　NPO等団体アンケート　調査票 393

Ⅳ　市町ごみ処理状況調査

1　調査の概要 401
1-1　調査の目的 401
1-2　調査対象 401
1-3　調査方法 401
1-4　調査期間 401
1-5　回収状況 401

2　調査結果 402
2-1　基本方向2　事業系ごみの総合的な減量化の推進 402

2-2　基本方向3　リユース(再利用)の推進…… 406
2-3　基本方向4　容器包装ごみの減量・再資源化…… 412
2-4　基本方向5　生ごみの再資源化…… 416
2-5　基本方向6　産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進…… 424
2-6　基本方向7　公正で効率的なごみ処理システムの構築…… 429
2-7　基本方向8　ごみ行政への県民参画と協働の推進…… 438
2-8　基本方向9　ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり…… 446

3　市町ごみ処理状況調査　調査票…… 450

Ⅴ　民間資源回収量調査

1　調査の概要…… 483
1-1　調査の目的…… 483
1-2　調査対象…… 483
1-3　調査方法…… 483
1-4　調査期間…… 483
1-5　回収状況…… 483
1-6　分析結果の見方…… 483

2　調査結果…… 484
2-1　店頭資源回収量…… 484
2-2　店頭資源回収量の平均と推計…… 486
2-3　古紙回収事業者回収量…… 486
2-4　古紙回収事業者回収量の平均と推計…… 487
2-5　全体回収量推計…… 488

3　自由記入意見まとめ…… 488
3-1　店頭資源回収事業者…… 488
3-2　古紙回収事業者…… 488

4　民間資源回収量調査　調査票…… 489
4-1　店頭資源回収事業者…… 489
4-2　古紙回収事業者…… 490

Ⅰ．　県民アンケート結果

1　調査の概要

1-1　調査の目的

この調査は、ごみに対する県民の取組や考え方を把握することにより「ごみゼロ社会実現プラン」の推進に必要な基礎資料を得るため、実施する。

1-2　調査対象

地域特性などを考慮して選んだ県内15市町から500名ずつ、合計7,500名を各市町の選挙人名簿を用いて無作為抽出し調査対象とした。

1-3　調査方法

調査票を郵送、回収した。回収期限前にははがきによる督促を行った。

1-4　調査期間

平成27年8月3日に調査票を発送し、8月21日を回答期限として回収した。なお回答期限後も回答があったため、10月1日を最終回収期限として有効回答に含めた。

1-5　回収状況

番号	市町名	発送数	宛先不明	有効発送数	有効回収数	有効回収率
1	津市	500	15	485	252	52.0%
2	四日市市	500	9	491	195	39.7%
3	伊勢市	500	6	494	212	42.9%
4	松阪市	500	2	498	201	40.4%
5	桑名市	500	12	488	206	42.2%
6	鈴鹿市	500	8	492	197	40.0%
7	名張市	500	13	487	214	43.9%
8	尾鷲市	500	5	495	163	32.9%
9	鳥羽市	500	9	491	146	29.7%
10	熊野市	500	2	498	161	32.3%
11	志摩市	500	6	494	169	34.2%
12	伊賀市	500	8	492	202	41.1%
13	東員町	500	3	497	220	44.3%
14	菰野町	500	6	494	215	43.5%
15	紀宝町	500	2	498	201	40.4%
不明		－	－	－	25	－
全体		7500	106	7394	2979	40.3%

※「不明」の16件は、設問での「住まいの市町」が無回答の分である。

表　1-1　市町別回収状況

1-6　回収状況：市町別各年度との比較

市町名	平成19年度	平成22年度	平成27年度	平成19年度との差	平成22年度との差
津市	49.9%	45.5%	52.0%	2.1%	6.5%
四日市市	45.2%	41.3%	39.7%	-5.5%	-1.6%
伊勢市	48.1%	43.7%	42.9%	-5.2%	-0.8%
松阪市	48.8%	43.9%	40.4%	-8.4%	-3.5%
桑名市	51.3%	44.8%	42.2%	-9.1%	-2.6%
鈴鹿市	46.1%	41.7%	40.0%	-6.1%	-1.7%
名張市	55.8%	47.7%	43.9%	-11.9%	-3.8%
尾鷲市	43.3%	33.3%	32.9%	-10.4%	-0.4%
鳥羽市	43.3%	33.7%	29.7%	-13.6%	-4.0%
熊野市	45.5%	41.2%	32.3%	-13.2%	-8.9%
志摩市	43.9%	37.5%	34.2%	-9.7%	-3.3%
伊賀市	49.3%	46.0%	41.1%	-8.2%	-4.9%
東員町	52.2%	46.1%	44.3%	-7.9%	-1.8%
菰野町	48.0%	43.9%	43.5%	-4.5%	-0.4%
紀宝町	50.0%	38.4%	40.4%	-9.6%	2.0%
全体	49.7%	42.7%	40.3%	-9.4%	-2.4%

表1-2　回収状況：市町別各年度との比較

市町別の回収率を前回調査の平成22年度と比較すると、全体では2.4%下がっている。
市町別では、津市と紀宝町を除く市町で前回調査の回収率より下がっている。

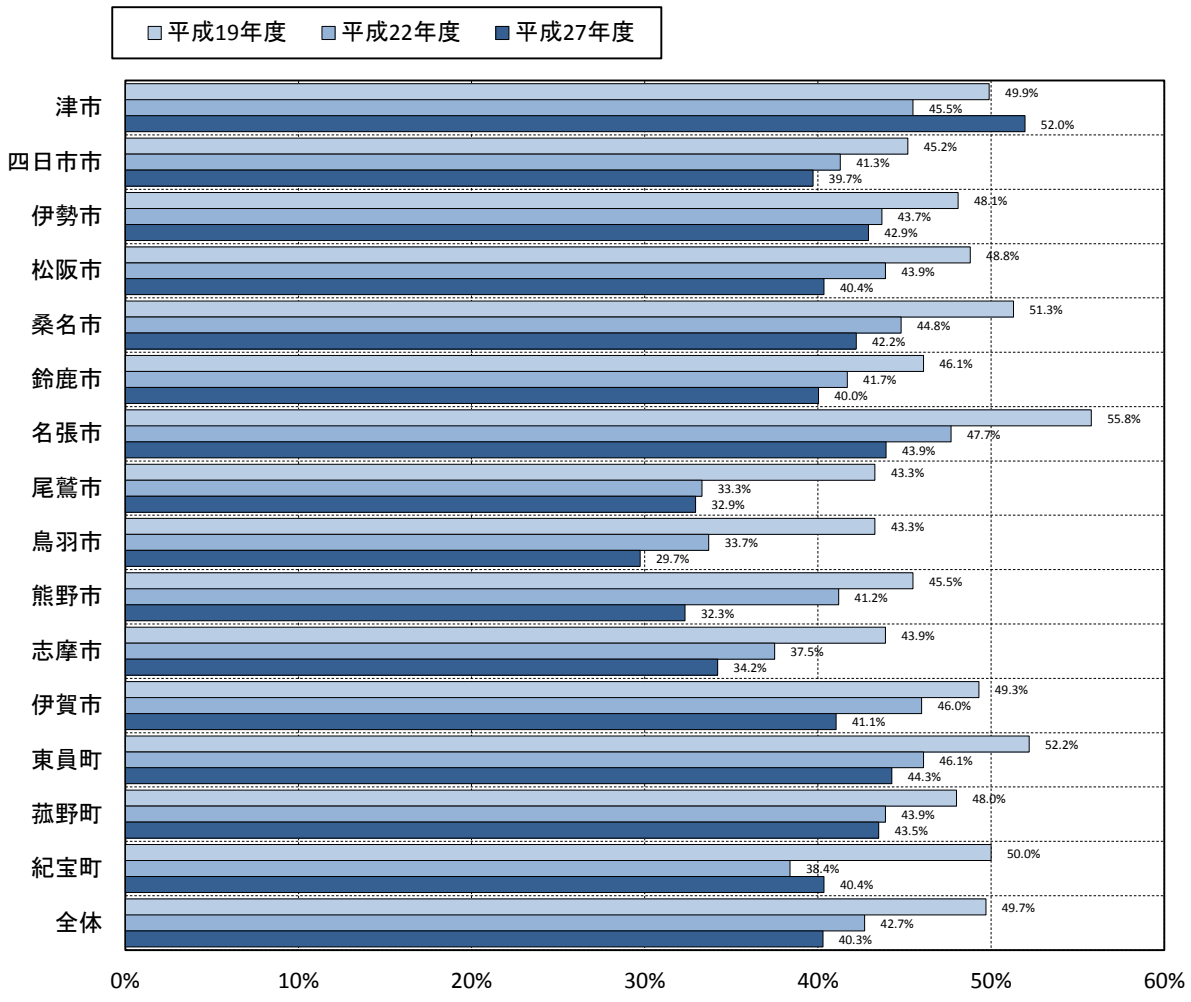


図1-1　回収状況：市町別各年度との比較

1-7　分析結果の見方

①各比率は、各設問の解答数を有効回答数の100分率で示している。比率は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならないことがある。
②複数回答の場合の各比率は、その項目を選んだ人が有効回答数の何%に当たるかを算出している。従って各項目の比率の合計は100%を超える場合がある。
③ある設問の指定された回答を選んだ人を対象回答者としている場合がる。このような場合、指定回答者以外の回答は無効回答としている。

1-8　標本誤差の範囲

県民意識調査を実施する場合、本来は全県民を対象とすることが望ましいが、実際には適当な人数を選んで精度の高い調査結果（全数調査の結果に近い調査結果）を得ることになる。今回は2,979人の県民から回答を得た。

この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるかは、アンケート結果に対する標本誤差を算定することで検証できる。

統計学的には、標本誤差が3%以下であれば精度の高い調査結果であるとされている。

標本誤差が3%ということは、調査結果が母集団の真値に対し、ある信頼度（今回の信頼度は95%とした）でプラス・マイナス3%の範囲にあるということである。

標本誤差σは次式で算定される。

$$\sigma = k \sqrt{\frac{(M-n)}{(M-1)} \times \frac{p\ (1-p)}{n}}$$

記号	項目	内容
σ	標本誤差	上記による
M	母集団	人口数については平成27年4月1日現在
n	有効回収数	表　1-4　の通り
k	信頼度による定数	信頼度95%の時、1.96
p	結果の比率	50%の時が最も大きな値となる

表　1-3　記号の説明

		p：結果の比率					M：母集団	n：有効回答数
		50%・50%	40%・60%	30%・70%	20%・80%	10%・90%		
全体		1.79	1.76	1.64	1.44	1.08	1,811,228	2,979
性別	女性	2.35	2.30	2.15	1.88	1.41	929,600	1,741
	男性	2.84	2.79	2.61	2.28	1.71	881,628	1,185
居住地別	津市	6.17	6.05	5.66	4.94	3.70	278,657	252
	四日市市	7.02	6.87	6.43	5.61	4.21	305,479	195
	伊勢市	6.73	6.59	6.16	5.38	4.04	126,774	212
	松阪市	6.91	6.77	6.33	5.53	4.14	165,398	201
	桑名市	6.82	6.69	6.25	5.46	4.09	140,636	206
	鈴鹿市	6.98	6.84	6.40	5.58	4.19	196,538	197
	名張市	6.69	6.55	6.13	5.35	4.01	78,212	214
	尾鷲市	7.64	7.49	7.00	6.11	4.58	18,043	163
	鳥羽市	8.08	7.92	7.41	6.46	4.85	19,296	146
	熊野市	7.69	7.53	7.05	6.15	4.61	17,712	161
	志摩市	7.53	7.37	6.90	6.02	4.52	50,427	169
	伊賀市	6.89	6.75	6.31	5.51	4.13	91,984	202
	東員町	6.58	6.45	6.03	5.26	3.95	25,339	220
	菰野町	6.67	6.53	6.11	5.33	4.00	40,370	215
	紀宝町	6.85	6.71	6.28	5.48	4.11	11,092	201

表　1-4　標本誤差算定結果

標本誤差の算定結果は、最も大きな値を示す結果の比率が50%の場合でも県民アンケート全体の回答結果では、県民全員に対する質問の回答から±1.79%以下の僅差と考えられる。また属性別のクロス集計においても最大でも1割以下の差である。

2　調査結果（属性）

2-1　年代

問1	あなたの年齢は？　　あてはまるものを１つ選び番号に○を付けてください。

「年代」は、７０代以上が２７.７％で最も高く、「20代」が５.３％で最も低い。
「20代」を除くと、各年代に大きな偏りは見られない。
市町別では、極端な隔たりは見られないが、鳥羽市の「20代」の比率が低い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	20代	158	5.3%
2	30代	284	9.5%
3	40代	400	13.0%
4	50代	492	17.0%
5	60代	787	26.4%
6	70代以上	825	27.7%
99	無回答	33	1.1%
計		2,979	100.0%

表　2-1　「年代」回答状況

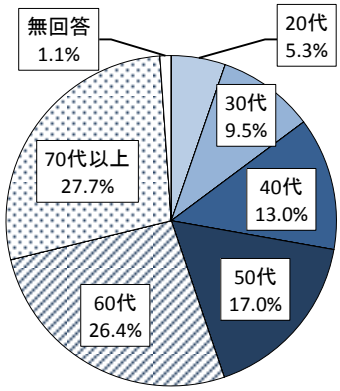


図　2-1　「年代」回答率

②　市町別集計

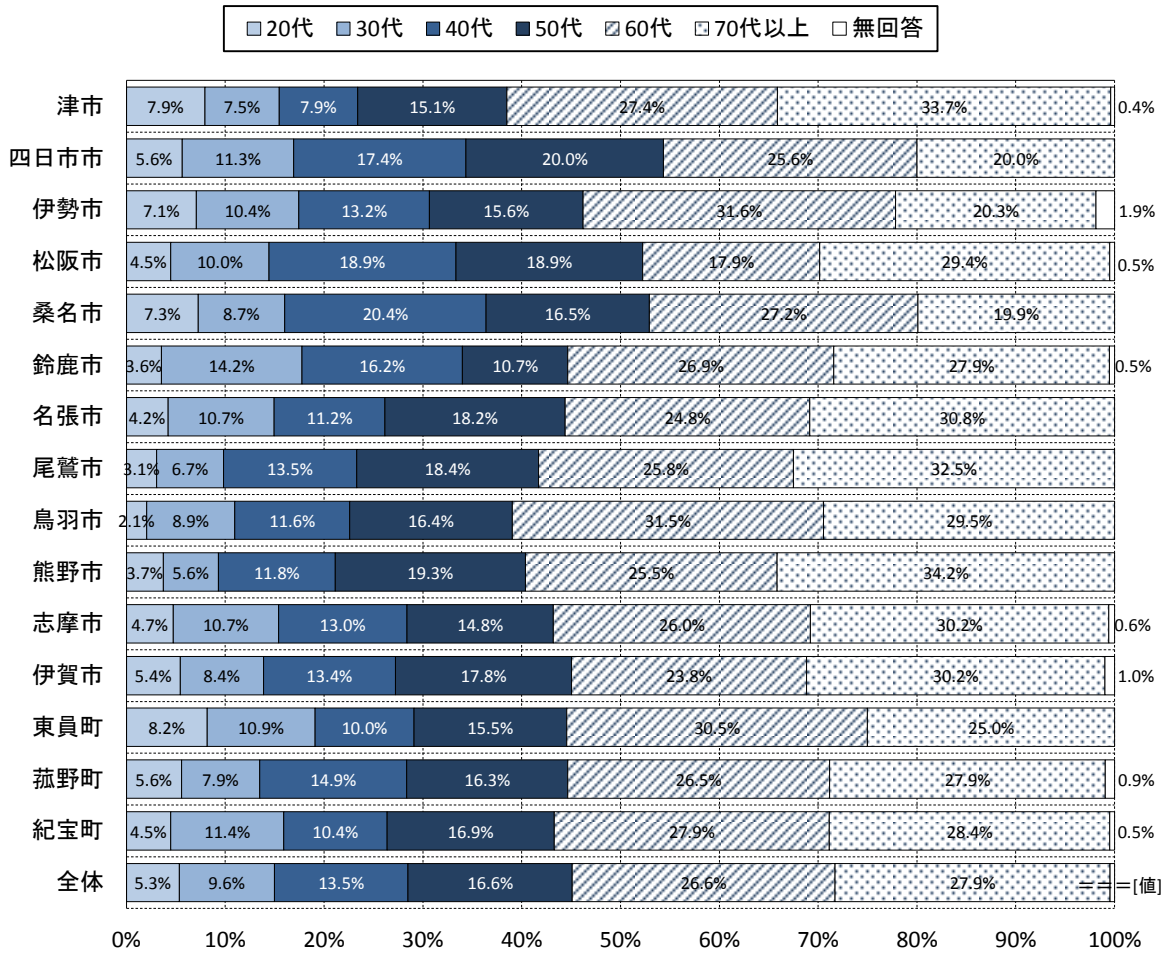


図　2-2　「市町別　年代」回答率

2-2　性別

問2	あなたの性別は？　　あてはまるものを１つ選び番号に○を付けてください。

「性別」は、「女性」が５８.４%、「男性」が３９.８%となっている。
「女性」の回答率が「男性」の約１.４７倍となっており、本調査は「女性」の方がごみの問題に関心が高いことがわかる。
市町別では、全ての市町で「女性」の回答率が高い。中でも志摩市は「女性」の回答率が高く、「女性」は「男性」の2倍強となっている。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	女性	1,741	58.4%
2	男性	1,185	39.8%
99	無回答	53	1.8%
計		2,979	100.0%

表　2-2　「性別」回答状況

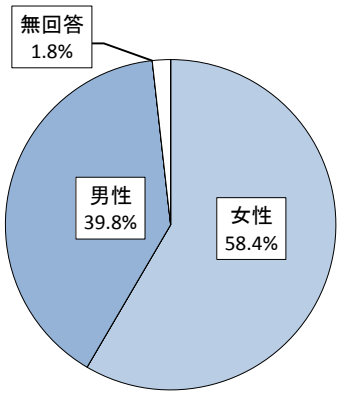


図　2-3　「性別」回答率

②　市町別集計

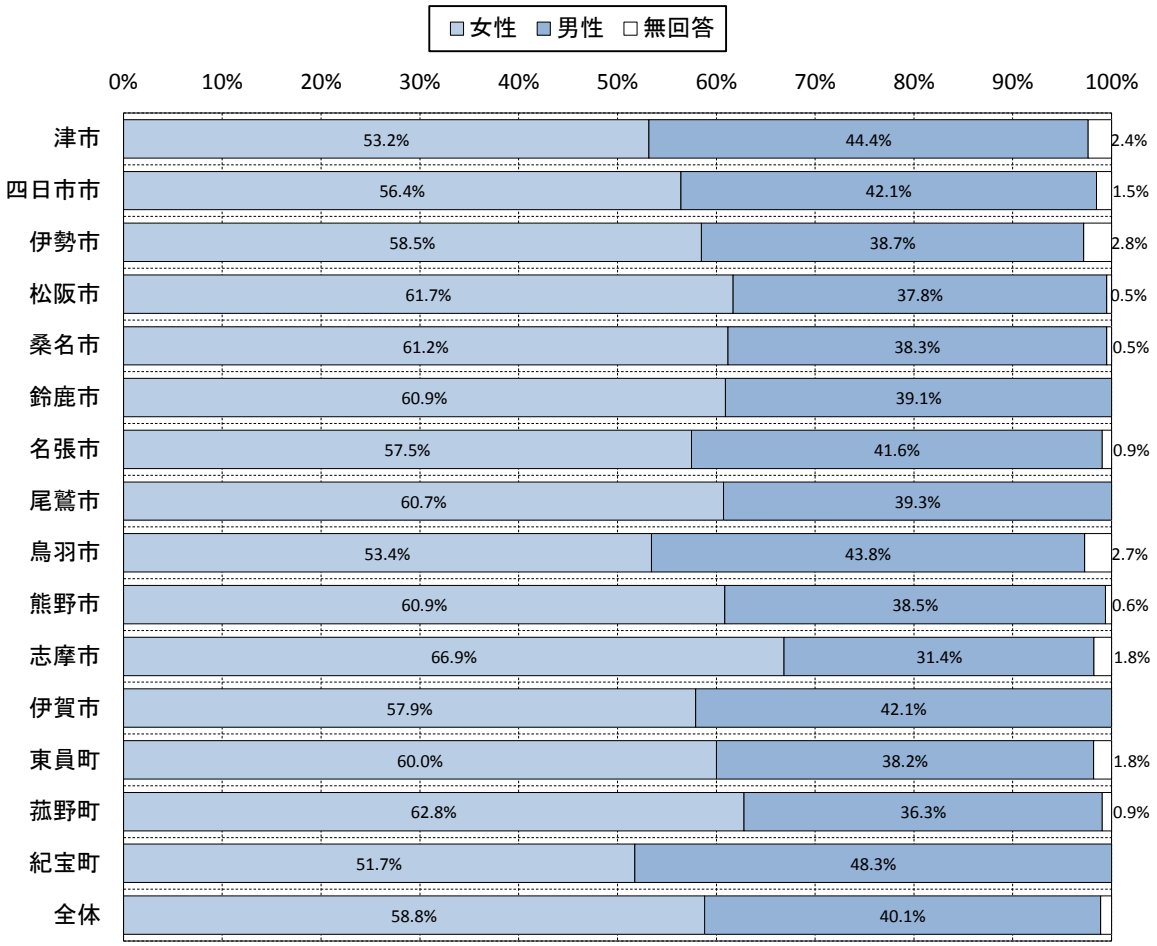


図　2-4　「市町別　性別」回答率

2-3　職業

問3	あなたのお仕事は？　　あてはまるものを１つ選び番号に○を付けてください。

「仕事」は、「無職」が３４.0%で最も高く、次いで「会社員・公務員」の２６.９%となっている。
他の「仕事」は、0.９%から１５.５%であり職業別の回答率には偏りが見られる。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	会社員・公務員	801	26.9%
2	パート・アルバイト	461	15.5%
3	農林水産業	82	3.0%
4	自営業	222	7.5%
5	家事・家事手伝い	288	9.7%
6	学生	31	1.0%
7	無職	1,023	34.0%
8	その他	26	0.9%
99	無回答	45	1.5%
計		2,979	100.0%

表　2-3　「職業」回答状況

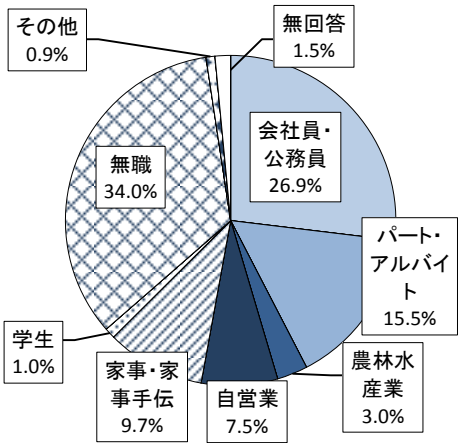


図　2-5　「職業」回答率

2-4　家族人数

問4	いっしょに住んでいる家族の人数は？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「家族の人数」は、「2人」が34.5%で最も高い。全体的には「家族の人数」での大きな偏りは見られない。
市町別では、「3人」が最も多い市町は「桑名市」のみで、他の市町は、「2人」が最も多い。
年代別では、４０代以下は「４人」が最も多く、「５０代」は「2人」と同数であり、60代以上は「２人」が最も多い。年代が高くなると少人数となっている。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	1人	299	10.0%
2	2人	1,027	34.5%
3	3人	689	23.1%
4	4人	513	17.2%
5	5人以上	418	14.0%
99	無回答	33	1.2%
計		2,979	100.0%

表　2-4　「家族人数」回答状況

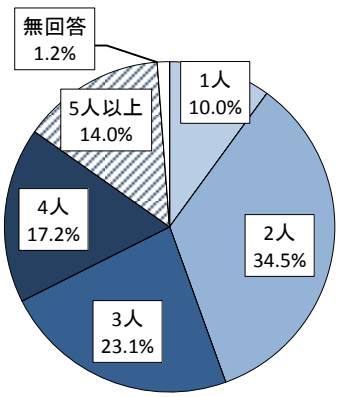


図　2-6　「家族人員」回答率

② 市町別集計

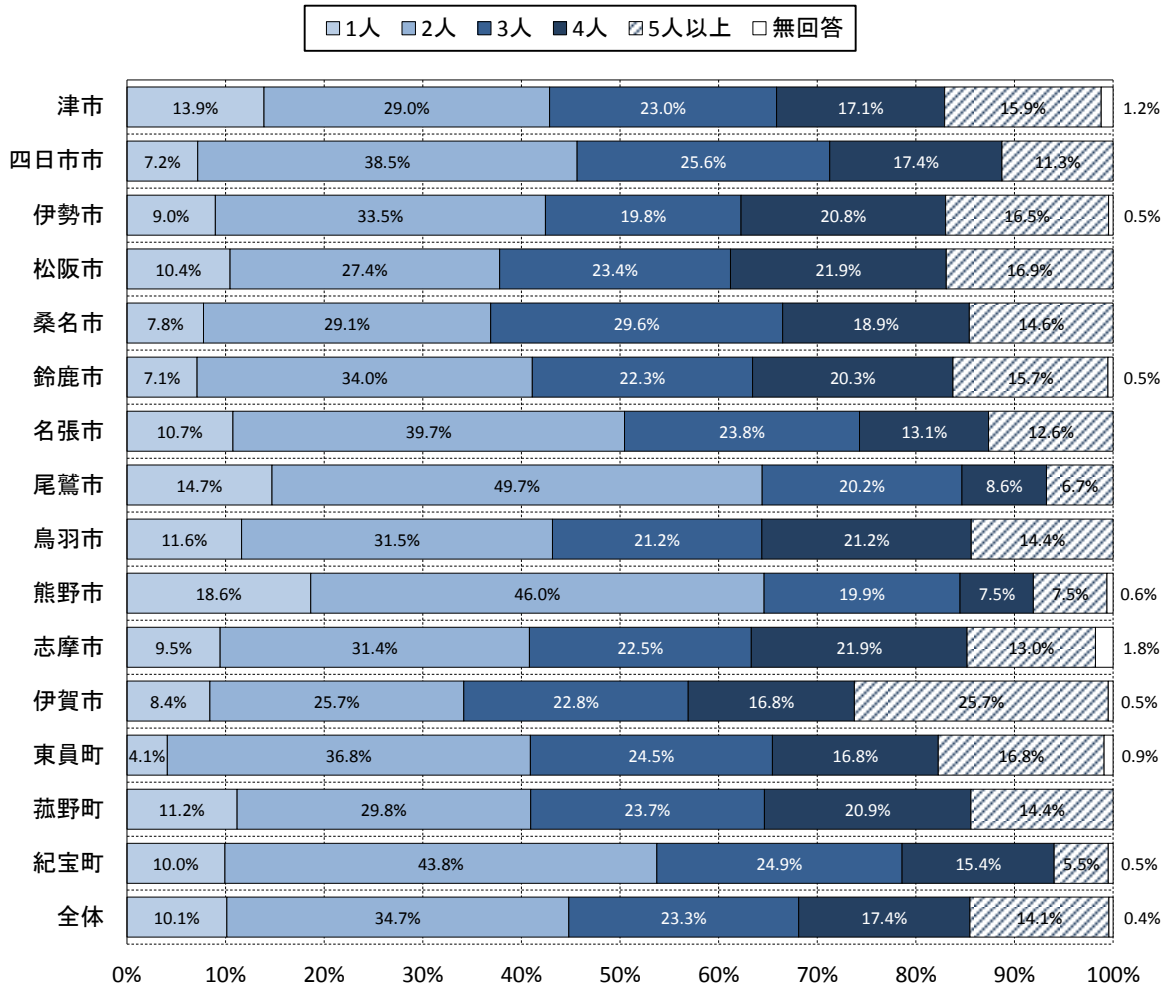


図 2-7 「市町別 家族人員」回答率

③ 年代別集計

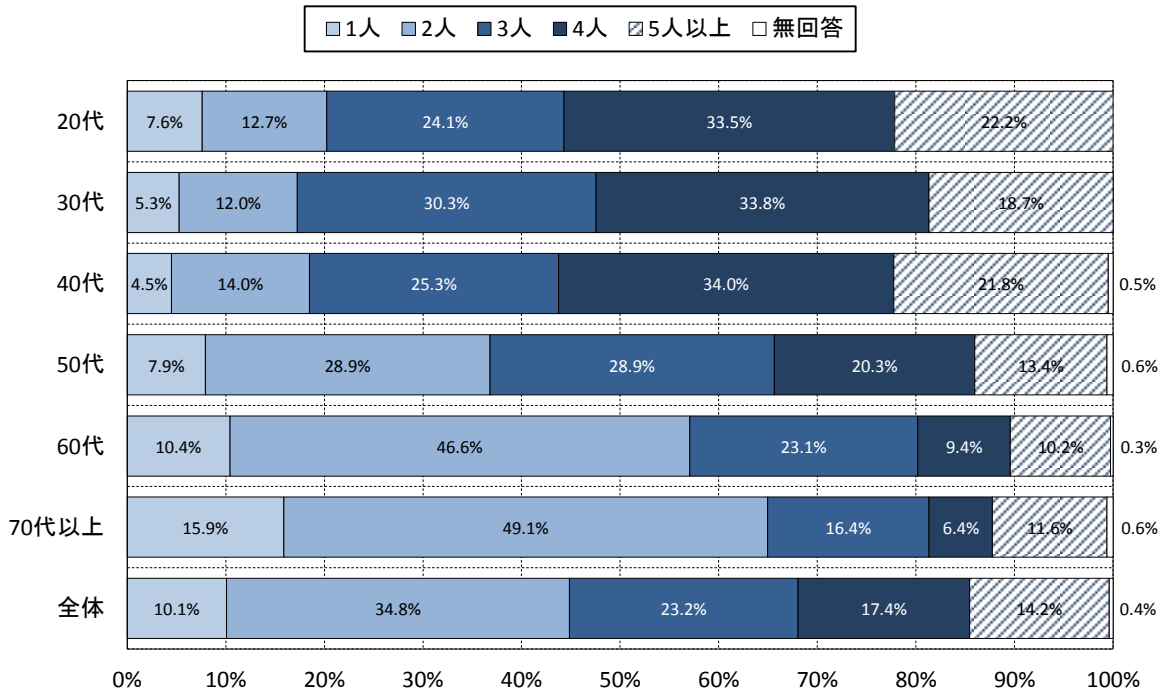


図 2-8 「年代別 家族人員」回答率

2-5　住まいの市町

問5	お住まいの市町は？　　あてはまるものを１つ選び番号に○を付けてください。

「住まいの市町」は、4.9%から8.5%であり、「住まいの市町」による大きな偏りは見られない。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	津市	252	8.5%
2	四日市市	195	6.5%
3	伊勢市	212	7.0%
4	松阪市	201	6.7%
5	桑名市	206	6.9%
6	鈴鹿市	197	6.6%
7	名張市	214	7.2%
8	尾鷲市	163	5.5%
9	鳥羽市	146	4.9%
10	熊野市	161	5.4%
11	志摩市	169	5.7%
12	伊賀市	202	6.8%
13	東員町	220	7.4%
14	菰野町	215	7.2%
15	紀宝町	201	6.7%
99	無回答	25	1.0%
計		2,979	100.0%

表　2-5　「市町」回答状況

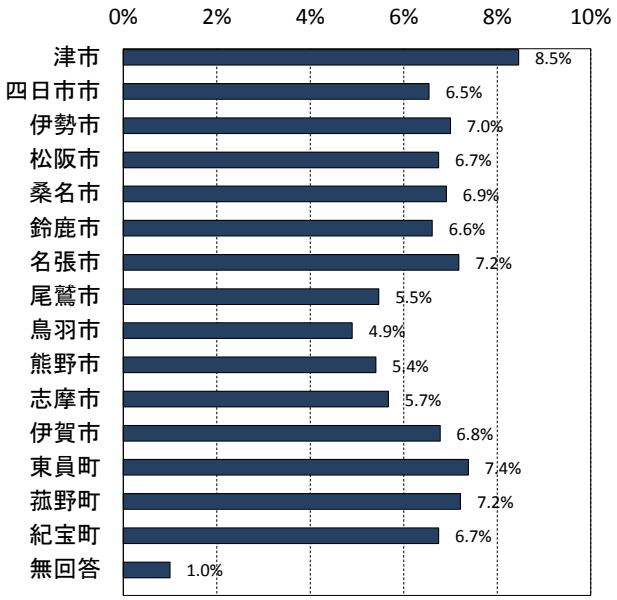


図　2-9　「市町」回答率

2-6　住まいの形態

問6	お住まいの形態は？　　あてはまるものを１つ選び番号に○を付けてください。

「住まいの形態」は、「戸建住宅」が90.5%で圧倒的に高い。
「戸建住宅」以外の住まいの形態は、0.8%から4.3%となっている。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	戸建住宅	2,697	90.5%
2	ワンルームのマンションやアパート	50	1.7%
3	学校や会社の寮	24	0.8%
4	その他のマンションやアパート	128	4.3%
5	その他	38	1.3%
99	無回答	42	1.4%
計		2,979	100.0%

表　2-6　「住まいの形態」回答状況

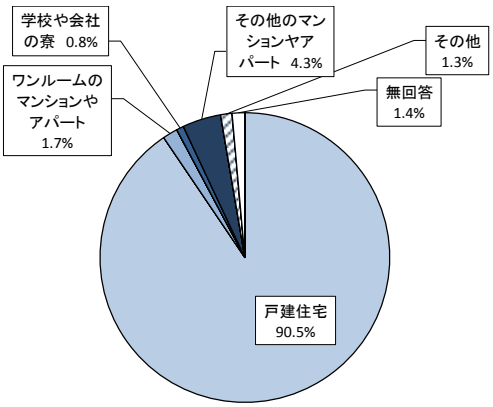


図　2-10　「住まいの回答」回答率

2-7　住まい周辺の様子

問7	お住まいの周辺の様子は？　　あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「住まいの周辺の様子」は、「住宅地」が64.4%で最も高い。次いで「住宅が点在する農山漁村」が24.3%で、合わせると88.7%を占めている。
市町別では、「伊賀市」は、「住宅が点在する農山漁村」が最も高くなっている以外はいずれの市町別では「住宅地」が最も高い。しかし、「鳥羽市」、「志摩市」、「伊賀市」では「住宅地」が50%以下となっている。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	住宅地	1,919	64.4%
2	住宅とお店や工場などが混在している地域	238	8.0%
3	住宅が点在する農山漁村	724	24.3%
4	その他	30	1.0%
99	無回答	68	2.3%
計		2,979	100.0%

表　2-7　「住まいの周辺の様子」回答状況

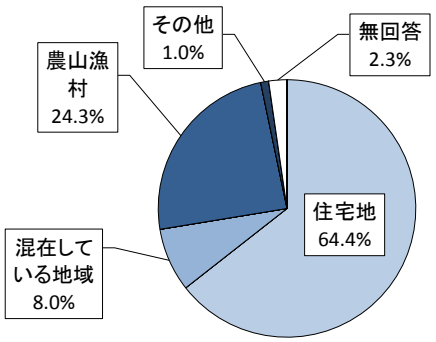


図　2-11　「住まいの周辺の様子」回答率

②　市町別集計

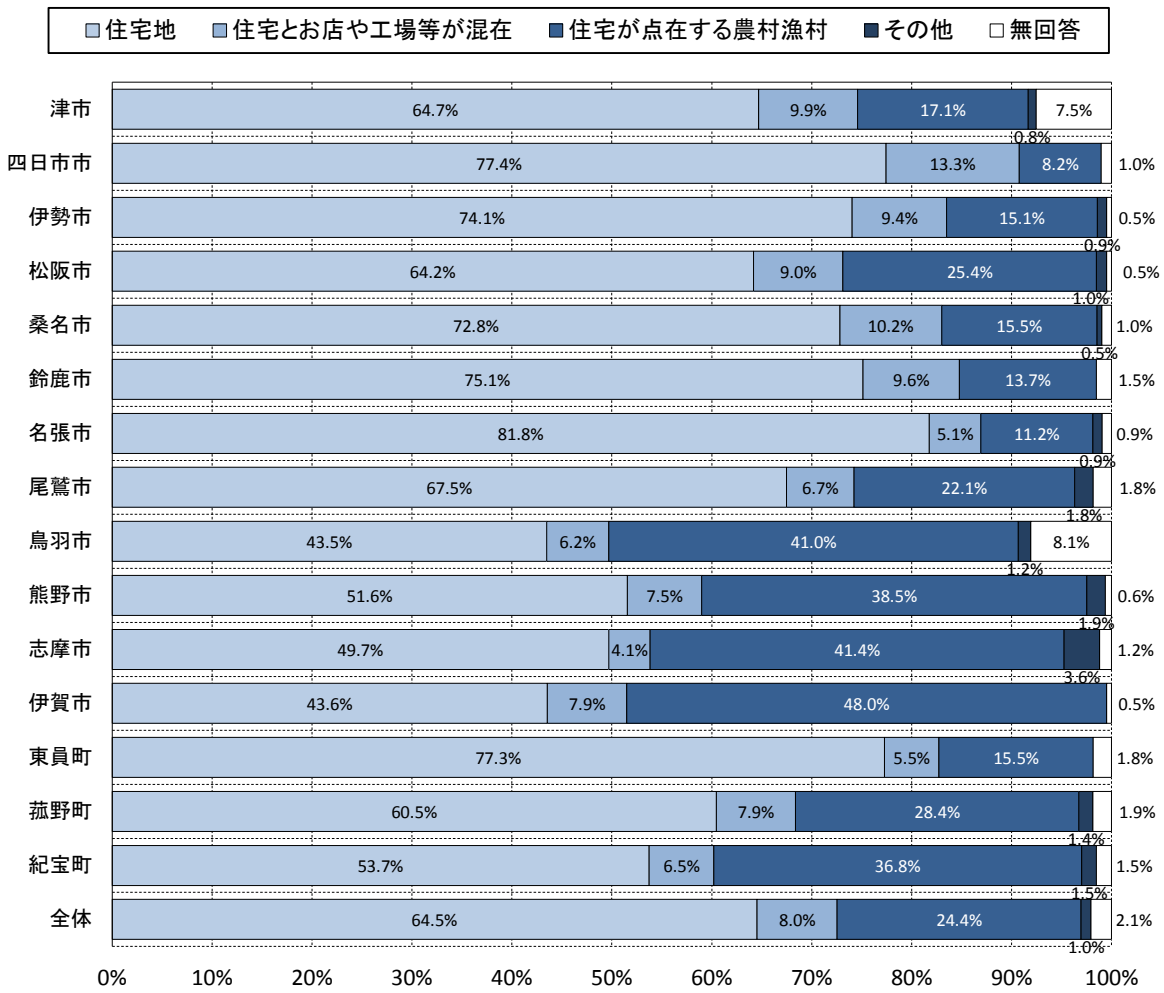


図　2-12　「市町別　住まいの周辺の様子」回答率

2-8　家庭にあてはまること

問8	次のうち、あなたの家庭にあてはまることはありますか？ あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。　（複数回答）

「家庭にあてはあること」については、「いずれにもあてはまらない」が36.0%で最も高く、次いで「夫婦共働き」が19.2%となっている。
市町別では、「いずれにもあてはまらない」が一番高い市町は14市町となっている。
「家族は全員60歳以上」が25%を超えている市町は「四日市市」、「桑名市」、「鈴鹿市」、「名張市」、「尾鷲市」、「紀宝町」となっている。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	夫婦共働き	572	19.2%
2	就学前の乳幼児がいる	127	4.3%
3	小中学生がいる	215	7.2%
4	家族は全員60歳以上	482	16.2%
5	いずれにもあてはまらない	1,073	36.0%
総回答数		2,469	82.9%
有効回答者数		2,979	－

表　2-8　「家庭にあてはまること」回答状況

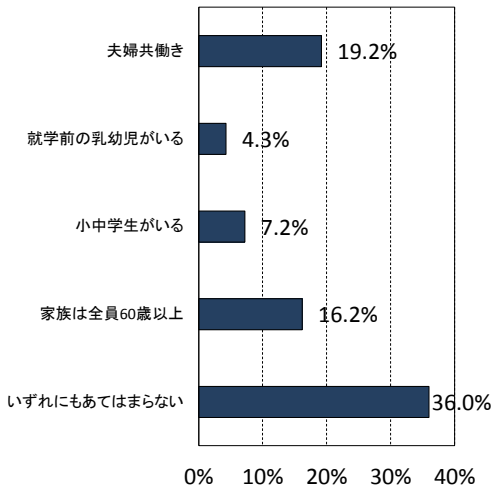


図　2-3　「家庭にあてはまること」回答率

② 市町別集計

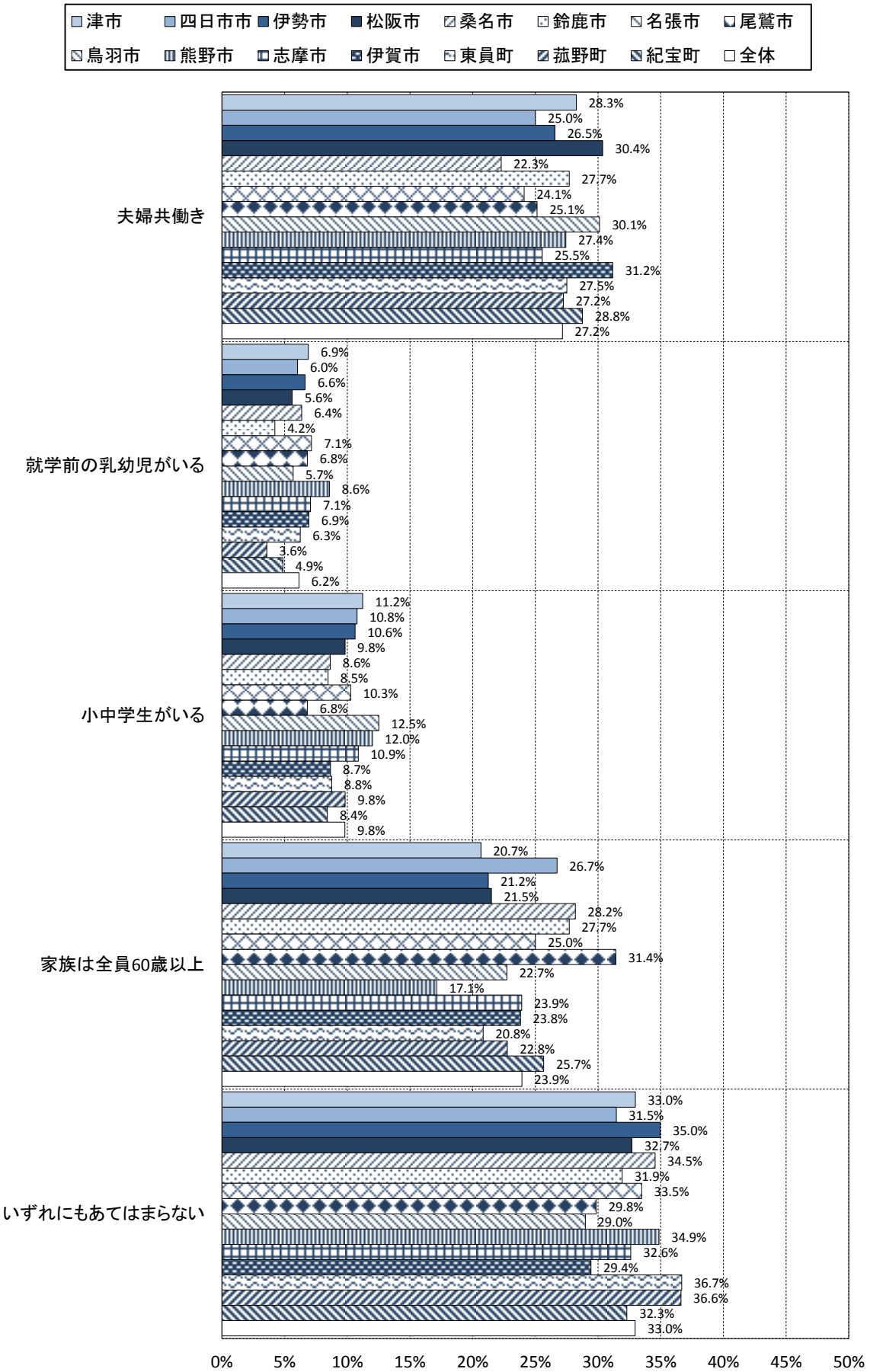


図 2-14 「市町別 家庭にあてはまること」回答率

2-9　地域活動

問9	あなたの住んでいる地域では、自治会や子供会などの地域活動は盛んですか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「地域活動」については、「比較的盛ん」が49.5%で最も高い。
「とても盛ん」、「比較的盛ん」を合わせると56.7%を占めている。
市町別では、「とても盛ん」、「比較的盛ん」の計が50%を超えている市町は11市町となっている。
年代別では、「とても盛ん」、「比較的盛ん」の計がすべての年で50%を超えている。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とても盛ん	214	7.2%
2	比較的盛ん	1,476	49.5%
3	あまり盛んでない	1,061	35.6%
4	まったく盛んでない	168	5.6%
99	無回答	60	2.1%
計		2,979	100.0%

表　2-9　「地域活動」回答状況

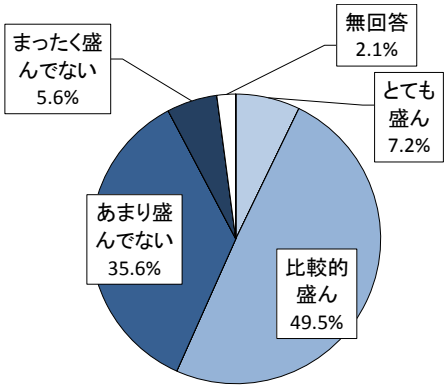


図　2-15　「地域活動」回答率

②　市町別集計

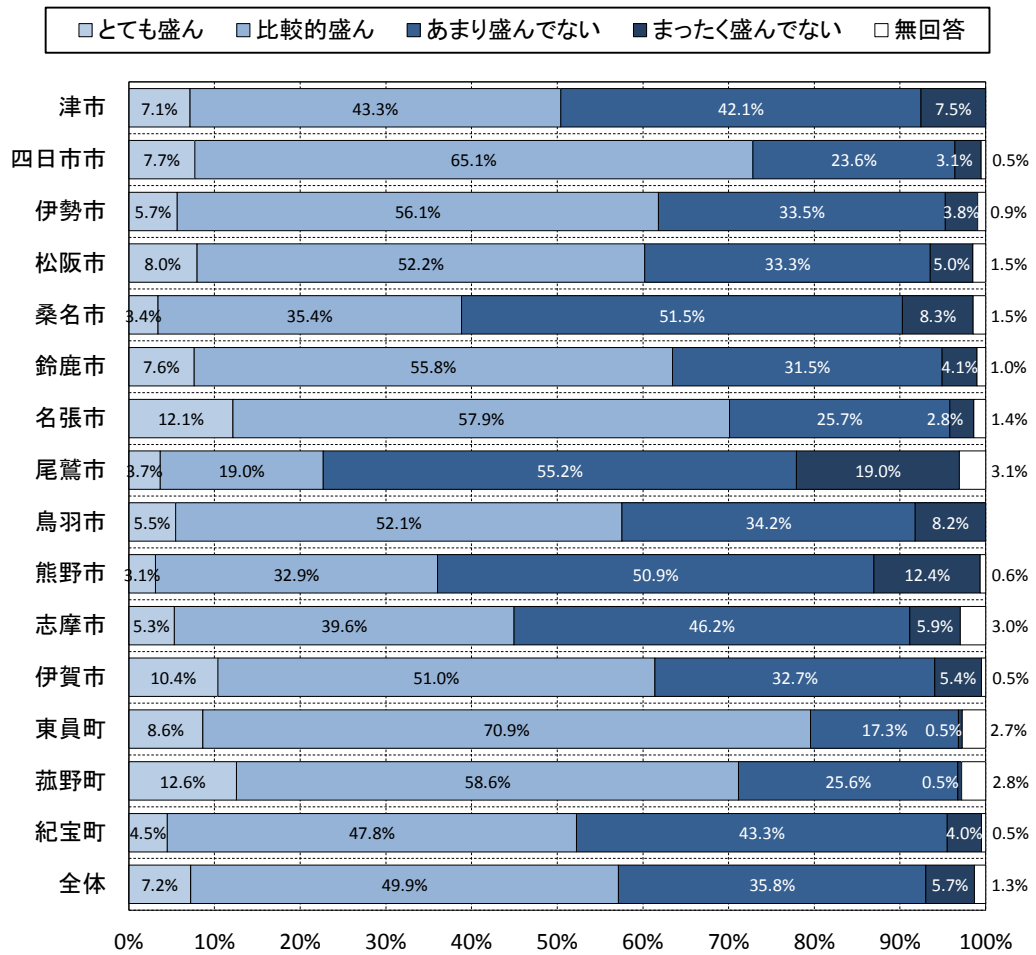


図　2-16　「氏町別　地域活動」回答率

③　年代別集計

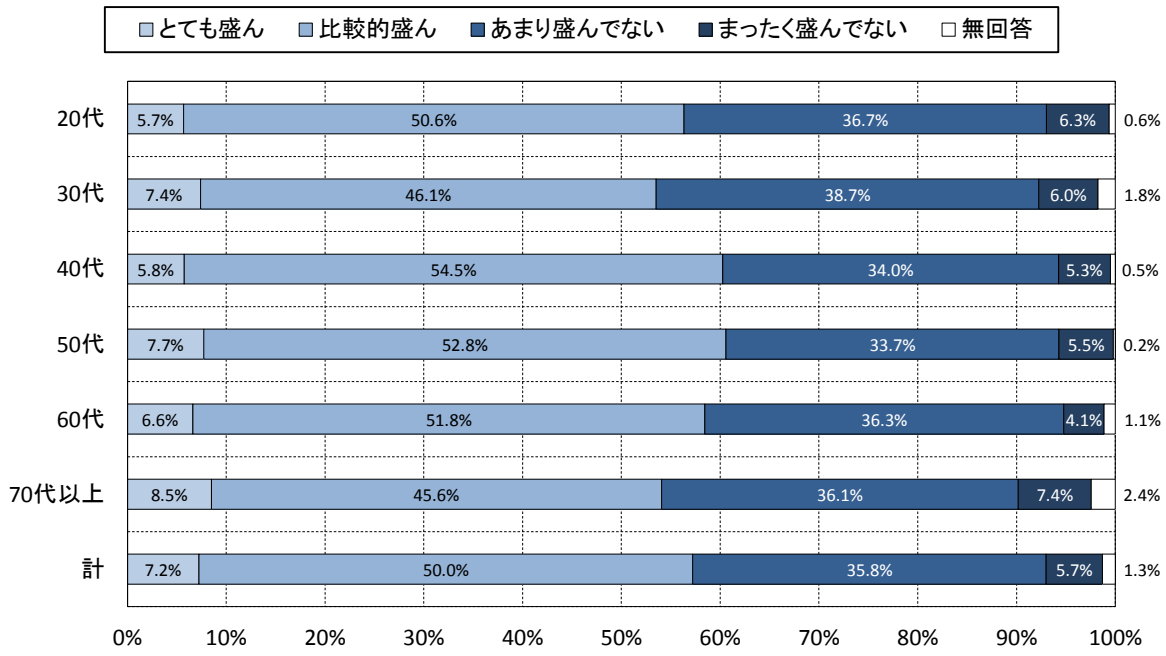


図　2-17　「年代別　地域活動」回答率

2-10　ごみの分別へのかかわり

問10	あなた自身は家庭でごみの分別にどうかかわっていますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「ごみ分別へのかかわり」については、「家族の中心ではないがごみは分別している」が46.6%で最も高い。
分別にかかわっている率は93.1%でほとんどの人が分別活動をしている。
市町別、年代別、性別の中で、年代別の「20代」と性別の「男性」を除いて、9割以上が分別に関わっている結果となっている。
性別では「家族の中心になって熱心に分別している」が女性で62.1%に対し、男性は24.5%となっている。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	家族の中心になって熱心に分別している	1,386	46.5%
2	家族の中心ではないがごみは分別している	1,389	46.6%
3	ごみの分別にはあまりかかわらない	160	5.4%
99	無回答	44	1.5%
計		2,979	100.0%

表　2-10　「ごみ分別へのかかわり」回答状況

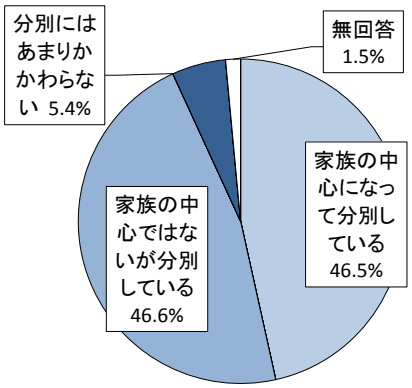


図　2-18　「ごみ分別へのかかわり」回答率

② 年代別集計

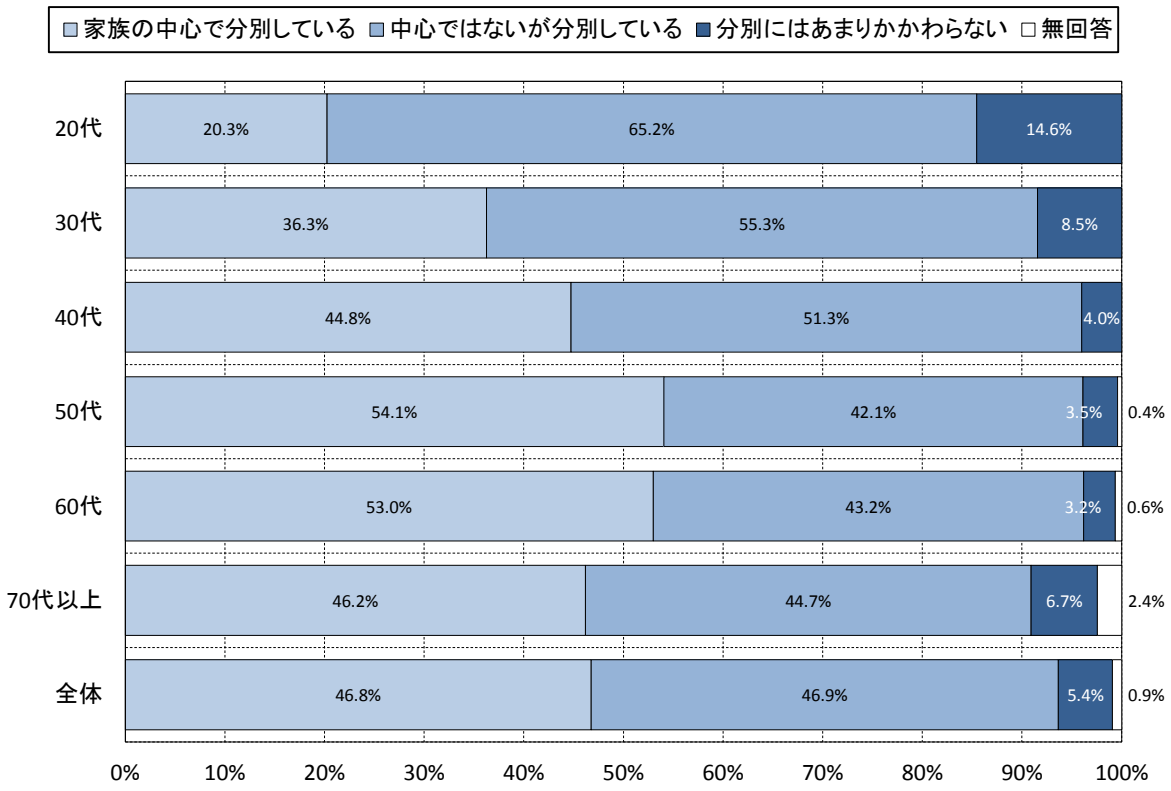


図 2-19 「年代別 分別活動」回答率

③ 性別集計

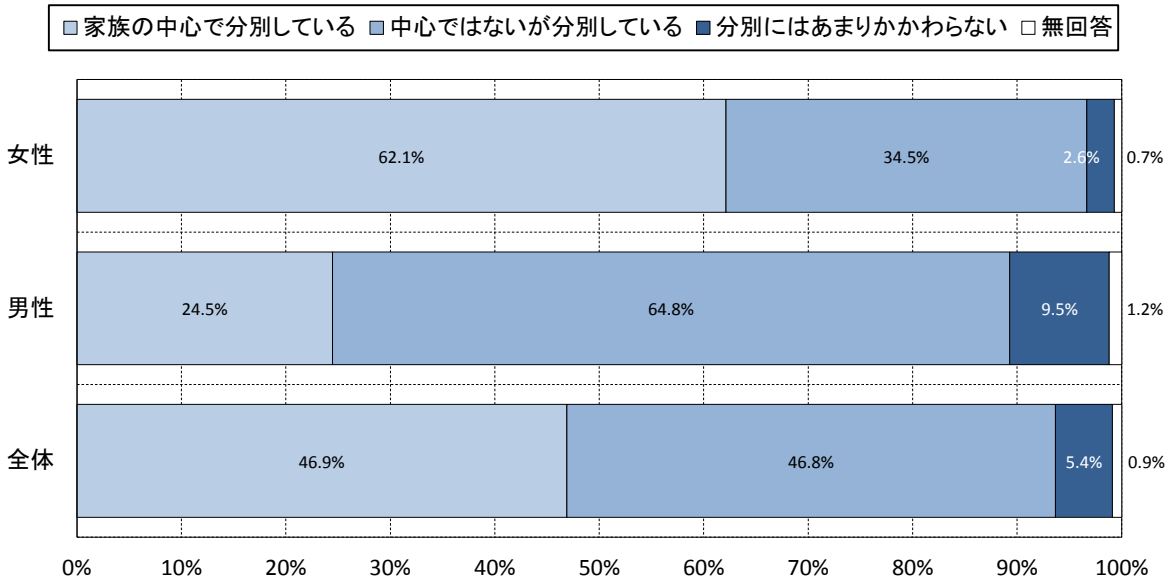


図 2-20 「性別 分別活動」回答率

3　「ごみゼロ社会実現プラン」における目標指標達成状況

3-1　目標指標

「ごみゼロ社会実現プラン」(平成17年3月策定)では、プランの趣旨を踏まえ「ごみの減量化」、「多様な主体の参画・協働」、「ごみ処理に伴う環境負荷の抑制」の3つの観点から数値目標を設定している。その中で、「多様な主体の参画・協働」については、ごみ減量化やごみ問題に関する県民の意識、行動の変化を表す目標として県民アンケートの結果から目標を設定している。

指標名	平成16年度調査	平成19年度調査	平成22年度調査	目標値
ものを大切に使おうとする県民の率	58.2%	58.3%	59.4%	100%
環境に配慮した消費行動をとる県民の率	39.4%	40.2%	41.3%	100%
食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	38.5%	40.6%	47.3%	100%
ごみゼロ社会実現プランの認知率	－	45.6%	36.8%	100%

表　3-1　目標指標（平成16・平成19・平成22調査結果および目標値）

3-2　今回調査結果からみた目標指標現況値の算出

平成27年度 環境関連行動に関する質問項目			よくあてはまる よくある ①	よくあてはまる たまにある ②	①+②	あまりあてはまらない あまりない ③	まったくあてはまらない ほとんどない ④	③+④
A	問12（1）	必要なくても買ってしまう	5.2%	28.5%	33.7%	43.0%	22.2%	65.2%
B	問12（2）	修理するより買い換える	12.8%	32.1%	44.9%	39.0%	15.0%	54.0%
C	問12（3）	環境のことは考えずに商品を選ぶ	16.3%	44.4%	60.7%	30.7%	6.7%	37.4%
D	問12（4）	新品を購入する	19.9%	34.9%	54.8%	28.8%	13.9%	42.7%
E	問14（1）	賞味期限切れ等で食材を捨ててしまう	12.7%	51.5%	64.2%	21.1%	13.6%	34.7%
F	問14（2）	食べきれず、料理を捨ててしまう	6.9%	37.6%	44.5%	29.8%	24.1%	53.9%
「ごみゼロ社会実現プラン」の認知			知っている ①	名前は聞いたことがある ②	①+②	知らない ③		
G	問43	「ごみゼロ社会実現プラン」の認知	4.5%	33.9%	38.4%	59.1%		

数値目標の指標	目標とする数値の根拠	現状値（平成27年度）
ものを大切に使おうとする県民の率	A+Bの「③+④」の加重平均	59.6%
環境に配慮した消費行動をとる県民の率	C+Dの「③+④」の加重平均	40.1%
食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	E+Fの「③+④」の加重平均	44.3%
ごみゼロ社会実現プランの認知率	「知っている」および「名前はきいたことがある」の率	38.4%

表　3-2　目標指標現況値の算出

3-3　目標指標の達成状況

目標指標について、「ものを大切に長く使おうとする県民の率」は平成22年度対比で0.2%増加、「ごみゼロ社会実現プランの認知率」平成22年度対比で1.6%増加している。しかしながら、「環境に配慮した消費行動をとる県民の率」は、平成22年度対比で1.2%減少、「食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率」は、平成22年度対比で3.0%の減少となっている。平成16年度からの推移をみると各目標指標ともに微増もしくは、横ばい傾向にある。

目標指標		ものを大切に長く使おうとする県民の率	環境に配慮した消費行動をとる県民の率	食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	ごみゼロ社会実現プランの認知率
平成16年度	率	58.2%	39.4%	38.5%	―
平成19年度	率	58.3%	40.2%	40.6%	45.6%
	対平成16年度	0.1%	0.8%	2.1%	―
平成22年度	率	59.4%	41.3%	47.3%	36.8%
	対平成16年度	1.2%	1.9%	8.8%	―
	対平成19年度	1.1%	1.1%	6.7%	-8.8%
平成27年度	率	59.6%	40.1%	44.3%	38.4%
	対平成16年度	1.4%	0.7%	5.8%	―
	対平成19年度	1.3%	-0.1%	3.7%	-7.2%
	対平成22年度	0.2%	-1.2%	-3.0%	1.6%

表　3-3　目標指標の達成状況

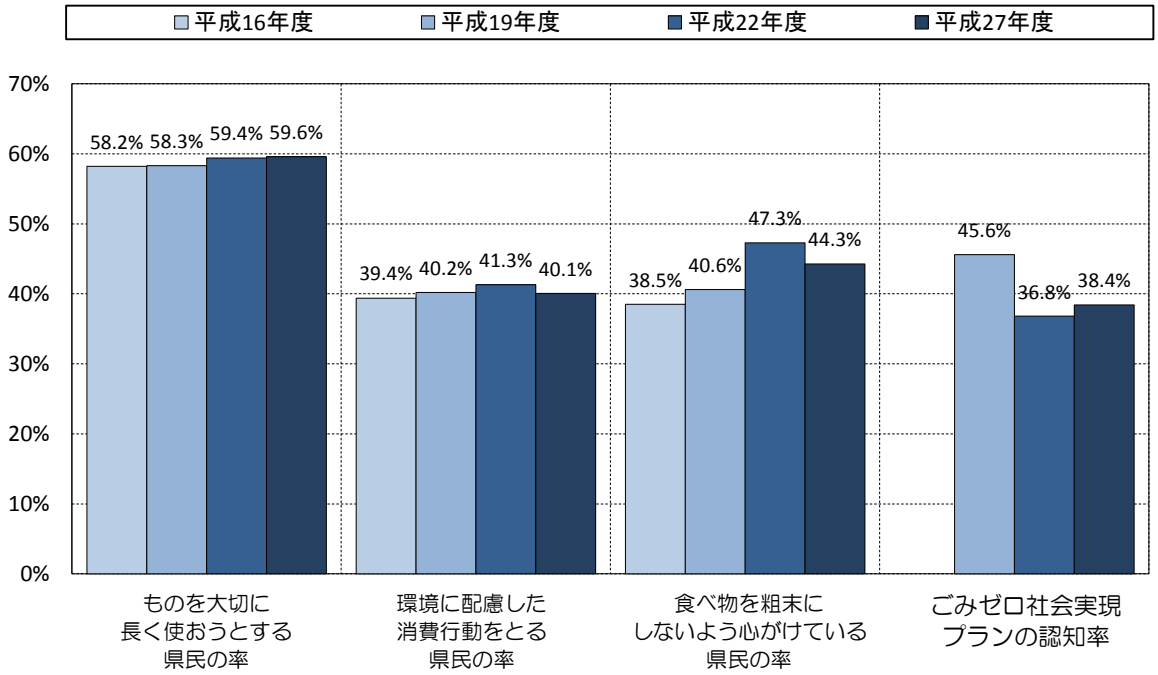


図　3-1　目標指標の達成状況

3-4　目標指標別、市町別に見た平成22年度との比較

①ものを大切に使うとする県民の率は

ものを大切に長く使おうとする県民の率は、どの市町においても50%を超えており、平成27年度では平成22年度との差が−6.3%から7.8%となっている。

ものを大切に長く使おうとする県民の率		平成19年度	平成２２年度	平成２７年度		
		率	率	率	平成19年度との差	平成22年度との差
1	津市	52.4%	58.2%	59.3%	6.9%	1.1%
2	四日市市	59.8%	56.9%	56.2%	-3.6%	-0.7%
3	伊勢市	60.8%	63.1%	61.3%	0.5%	-1.8%
4	松阪市	59.0%	59.1%	60.5%	1.5%	1.4%
5	桑名市	58.1%	62.3%	62.6%	4.5%	0.3%
6	鈴鹿市	60.6%	57.8%	62.2%	1.6%	4.4%
7	名張市	57.2%	58.7%	58.7%	1.5%	0.0%
8	尾鷲市	58.4%	60.4%	61.4%	3.0%	1.0%
9	鳥羽市	57.0%	55.4%	63.2%	6.2%	7.8%
10	熊野市	62.9%	59.4%	65.3%	2.4%	5.9%
11	志摩市	55.7%	62.8%	64.4%	8.7%	1.6%
12	伊賀市	54.1%	54.2%	61.5%	7.4%	7.3%
13	東員町	61.0%	59.8%	55.7%	-5.3%	-4.1%
14	菰野町	59.5%	61.7%	55.4%	-4.1%	-6.3%
15	紀宝町	61.3%	63.9%	60.4%	-0.9%	-3.5%

表　3-4　「目標指標１の市町別状況」

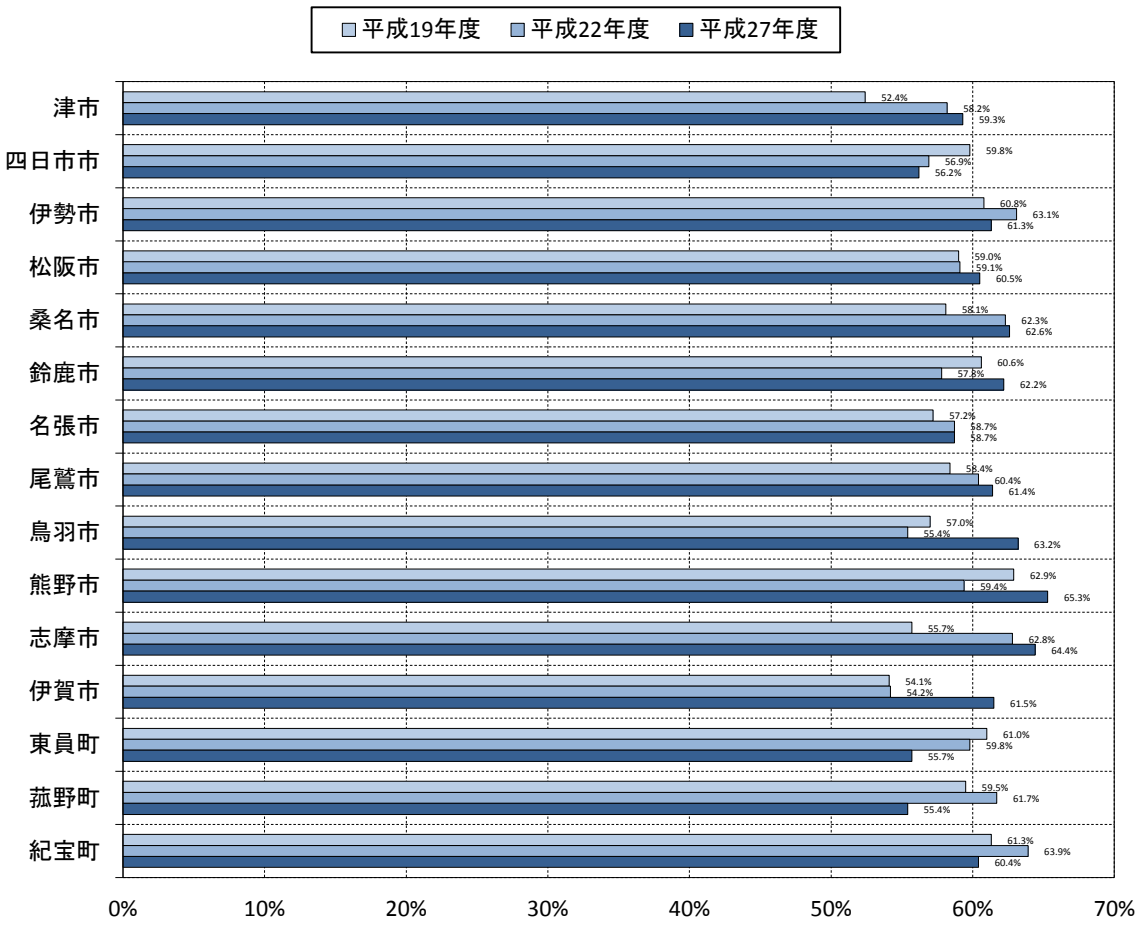


図　3-2　「目標指標1の市町別状況」

②環境に配慮した消費行動をとる県民の率

環境に配慮した消費行動をとる県民の率は、どの市町においても35%を超えており、平成27年度では、平成22年度との差が−5.3%から7.5%となっている。

環境に配慮した消費行動をとる県民の率		平成19年度	平成22年度	平成２７年度		
		率	率	率	平成19年度との差	平成22年度との差
1	津市	35.7%	40.7%	41.1%	5.4%	0.4%
2	四日市市	42.5%	41.3%	43.8%	1.3%	2.5%
3	伊勢市	40.3%	41.6%	41.8%	1.5%	0.2%
4	松阪市	41.3%	39.0%	37.1%	-4.2%	-1.9%
5	桑名市	39.5%	44.1%	41.4%	1.9%	-2.7%
6	鈴鹿市	39.2%	37.0%	42.8%	3.6%	5.8%
7	名張市	36.4%	39.2%	37.7%	1.3%	-1.5%
8	尾鷲市	44.7%	45.7%	43.8%	-0.9%	-1.9%
9	鳥羽市	40.0%	44.9%	40.1%	0.1%	-4.8%
10	熊野市	48.0%	44.8%	43.0%	-5.0%	-1.8%
11	志摩市	40.4%	44.3%	42.1%	1.7%	-2.2%
12	伊賀市	34.4%	37.1%	36.5%	2.1%	-0.6%
13	東員町	38.5%	38.0%	39.4%	0.9%	1.4%
14	菰野町	40.5%	44.7%	39.4%	-1.1%	-5.3%
15	紀宝町	43.8%	39.2%	46.7%	2.9%	7.5%

表　3-5　「目標指標2の市町別状況」

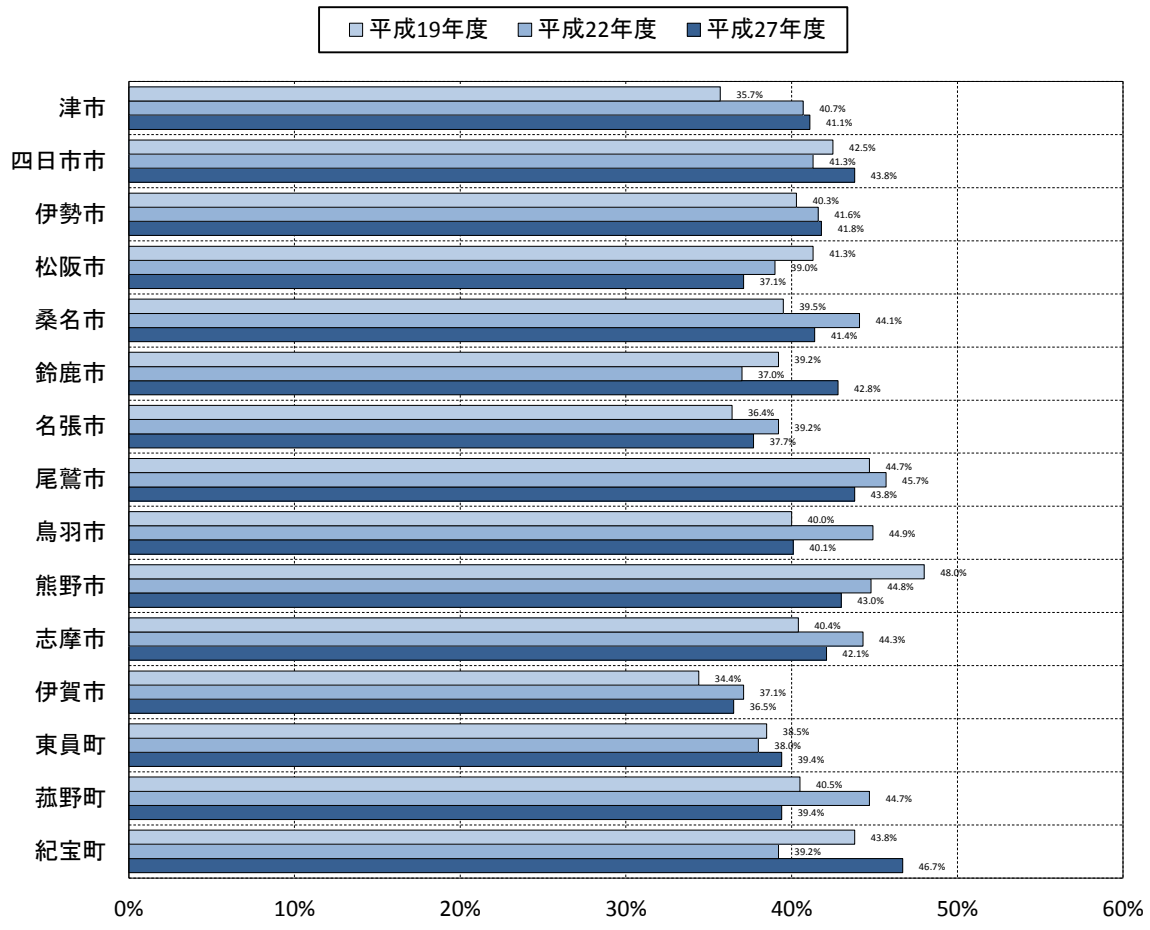


図　3-3　「目標指標2の市町別状況」

③食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率

食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率は、どの市町においても40%を超えており、平成27年度では、平成22年度との差が−8.0%から3.4%となっている。

食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率		平成19年度	平成22年度	平成２７年度		
		率	率	率	平成19年度との差	平成22年度との差
1	津市	40.4%	45.1%	49.2%	8.8%	-36.3%
2	四日市市	39.5%	49.5%	45.5%	6.0%	-43.5%
3	伊勢市	41.1%	51.2%	46.2%	5.1%	-46.1%
4	松阪市	37.9%	46.3%	41.0%	3.1%	-43.2%
5	桑名市	41.9%	45.0%	42.7%	0.8%	-44.2%
6	鈴鹿市	39.4%	46.6%	45.9%	6.5%	-40.1%
7	名張市	37.6%	49.2%	43.4%	5.8%	-43.4%
8	尾鷲市	41.9%	53.4%	47.1%	5.2%	-48.2%
9	鳥羽市	40.2%	46.4%	40.6%	0.4%	-46.0%
10	熊野市	43.3%	50.0%	42.0%	-1.3%	-51.3%
11	志摩市	41.3%	47.3%	45.7%	4.4%	-42.9%
12	伊賀市	36.7%	43.9%	42.7%	6.0%	-37.9%
13	東員町	40.0%	45.4%	44.5%	4.5%	-40.9%
14	菰野町	42.9%	42.0%	45.4%	2.5%	-39.5%
15	紀宝町	44.0%	50.8%	48.0%	4.0%	-46.8%

表　3-6　「目標指標3の市町別状況」

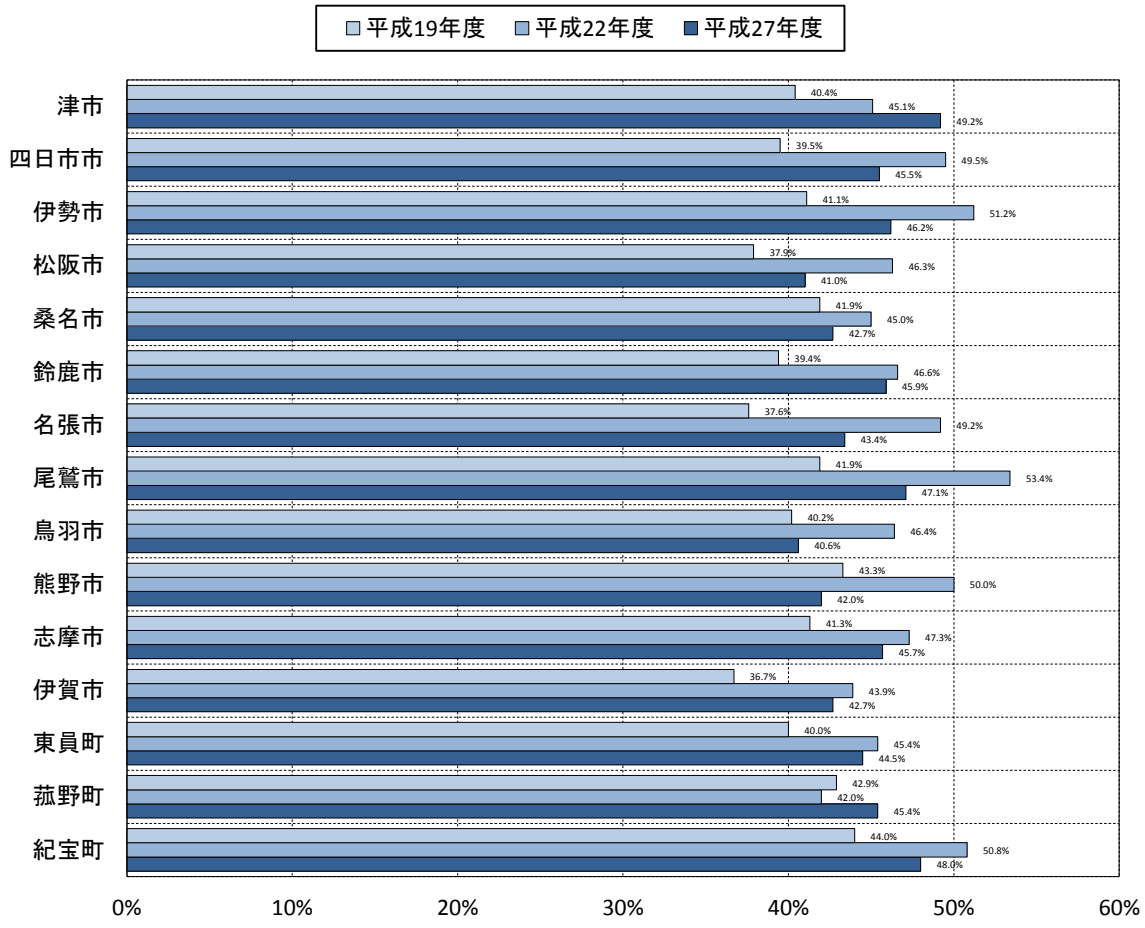


図　3-4　「目標指標3の市町別状況」

④ごみゼロ社会実現プランの認知率

ごみゼロ社会実現プランの認知率は、どの市町においても30%を超えており、平成27年度では、平成22年度との差が−5.0%から7.8%となっている。

ごみゼロ社会実現プランの認知率		平成19年度	平成22年度	平成２７年度		
		率	率	率	平成19年度との差	平成22年度との差
1	津市	46.5%	36.3%	38.4%	-8.1%	2.1%
2	四日市市	42.0%	33.2%	34.5%	-7.5%	1.3%
3	伊勢市	55.7%	39.3%	46.6%	-9.1%	7.3%
4	松阪市	50.0%	39.3%	34.3%	-15.7%	-5.0%
5	桑名市	38.1%	35.5%	30.8%	-7.3%	-4.7%
6	鈴鹿市	42.3%	31.9%	33.7%	-8.6%	1.8%
7	名張市	52.7%	41.5%	49.3%	-3.4%	7.8%
8	尾鷲市	42.8%	40.9%	44.7%	1.9%	3.8%
9	鳥羽市	42.5%	37.3%	43.0%	0.5%	5.7%
10	熊野市	44.4%	37.1%	40.4%	-4.0%	3.3%
11	志摩市	46.8%	33.7%	34.9%	-11.9%	1.2%
12	伊賀市	49.6%	43.9%	39.5%	-10.1%	-4.4%
13	東員町	46.5%	34.3%	47.7%	1.2%	13.4%
14	菰野町	48.3%	39.0%	35.2%	-13.1%	-3.8%
15	紀宝町	34.3%	35.8%	37.6%	3.3%	1.8%

表　3-7　「目標指標4の市町別状況」

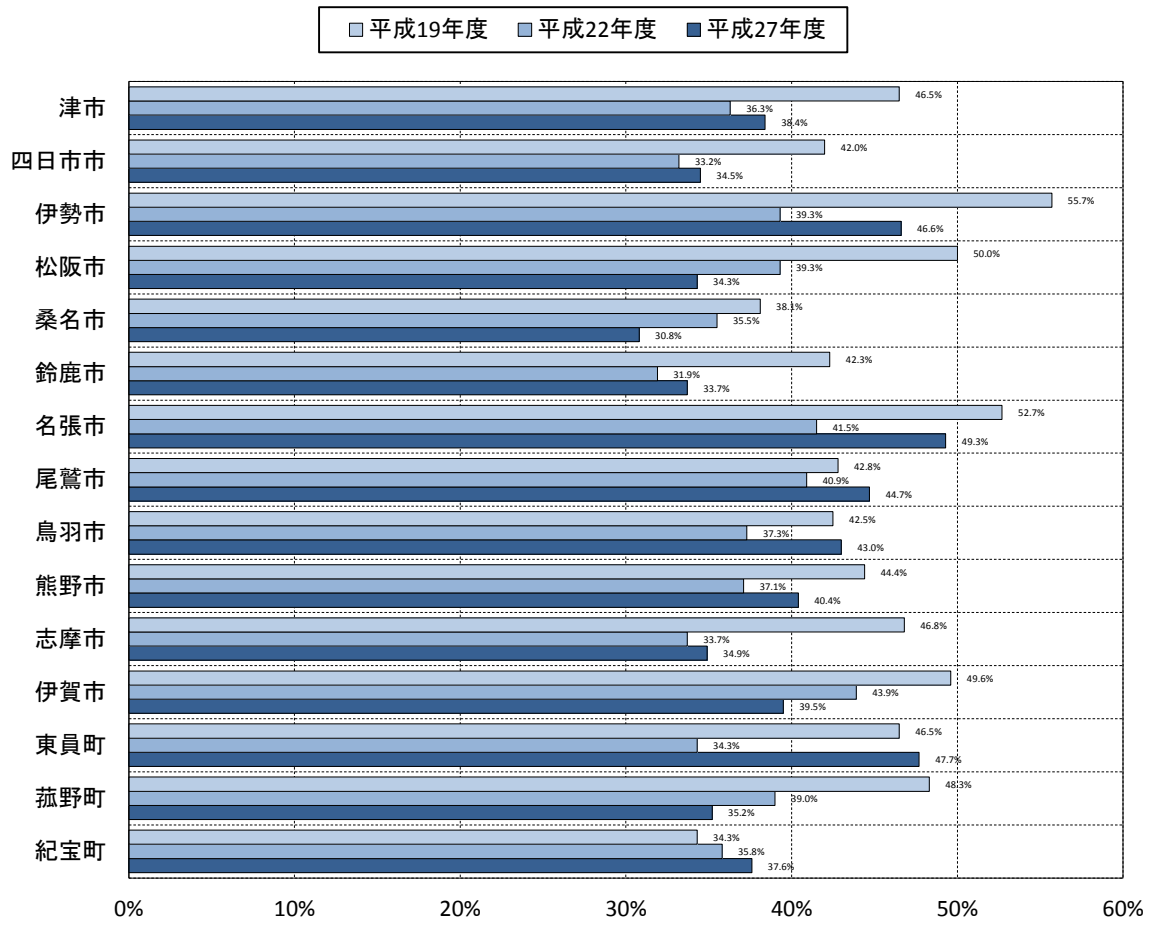


図　3-5　「目標指標4の市町別状況」

4　調査結果（統括：意識度）

県民アンケートの結果の総括は、意識に関する設問で、評価点方法を取り入れ意識度として評した。

意識度の算定方法は以下の通りである。

①：設問に対し選択肢が4個あり、選択肢が意識程度を示すものを抽出する。

②：各設問の解答数を単純集計する。

③：集計回答数に次の評価点を乗じ、合計点を算定する。

④：評価点

意識レベル	非常に高い	高い	低い	非常に低い
評価点	2	1	-1	-2

⑤：③の合計点を総回答数で除し平均点を求める。

⑥：⑤の平均点を満点の2点で除し、意識度とする。

意識度はゼロ%が平均値で、プラスであれば意識度は高く、マイナスであれば意識度は低いと判断した。究極の目標値は100%である。

意識度には無回答をゼロ点として含めている。無回答が多いと意識度がゼロに近づく。

平成16年度、平成19年度、平成22年度の調査で平成27年度と比較できるものは、上記と同じ算定方法で意識度を求め年度間の比較を行った（p.34　4-2、p39　4-3）。

4-1　平成27年度　意識度解析

意識度	50%以上	20 ～50%	0 ～20%	-20 ～0%	-20 ～-50%	-50%以下	計
質問数	4	9	3	5	1	2	24
割合	16.7%	37.5%	13.0%	21.0%	4.2%	8.0%	100.0%
質問数	16			8			24
割合	67.2%			33.2%			100.0%

表　4-1　平成27年度　意識度分布

平成27年度の県民調査では、意識度算定該当設問が24ある（表4-2）。内訳は、プラス意識度が16件（66.8%）、マイナス意識度が8件（33.2%）である（表4-3）。

特に意識度の高いもの（50%以上）は次の4件である。

- 問11-3　（商品についている容器や包装材は、もっとすくなくていいと思う）：68.0%
- 問11-5　（日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う）：75.7%
- 問11-6　（環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う）：64.7%
- 問18　（ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思っていますか？）：61.0%

特に意識度の低いもの（-50%以下）は次の2件である。

- 問34　（家庭から出されるごみを市町が処理するのに、どれくらい費用がかかっているかをご存知ですか？）：-64.4%
- 問42-5　（あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？）：-51.9%

マイナス意識度8件に対し、適切な施策を講じてプラス意識に変化させる必要がある。

選択肢	問11						問12				問14	
	問11-1	問11-2	問11-3	問11-4	問11-5	問11-6	問12-1	問12-2	問12-3	問12-4	問14-1	問14-2
1	875	717	1,507	457	1,911	1,554	156	380	486	594	377	207
2	1,456	1,638	1,245	1,304	867	1,073	849	955	1,322	1,041	1,533	1,120
3	522	492	178	860	141	267	1,282	1,162	916	859	628	887
4	95	102	15	277	19	31	662	447	199	415	404	717
5	31	30	34	81	41	54	30	35	56	70	37	48
計	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979
選択肢	問18	問23	問25	問29	問34	問36	問42					
							問42-1	問42-2	問42-3	問42-4	問42-5	問42-6
1	1,179	294	912	253	69	620	1,109	708	838	442	851	153
2	1,510	728	1,444	1,000	217	1,313	1,230	1,611	1,419	1,697	1,722	1,306
3	203	1,265	472	1,290	1,026	592	497	487	517	627	258	1,108
4	16	633	77	292	1,582	302	43	75	90	90	38	282
5	71	59	74	144	85	152	100	98	115	123	110	130
計	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979

表　4-2　「平成27年度　回答数」

平成27年度	問11						問12				問14	
	問11-1	問11-2	問11-3	問11-4	問11-5	問11-6	問12-1	問12-2	問12-3	問12-4	問14-1	問14-2
	不要なものが多い	捨てるともったいない	包装材は少しでよい	レンタル品に抵抗感なし	一人の行動が大きな影響	技術開発等が重要	不要なものを買う	修理より買換え	環境等考えずに選ぶ	新品を購入	食材を捨てる	食べ残しを捨てる
合計点	2,494	2,376	4,051	804	4,510	3,852	1,445	341	-980	-540	-851	787
平均点	0.837	0.798	1.360	0.270	1.514	1.293	0.485	0.114	-0.329	-0.181	-0.286	0.264
意識度	41.9%	39.9%	68.0%	13.5%	75.7%	64.7%	24.3%	5.7%	-16.5%	-9.1%	-14.3%	13.2%
平成27年度	問18	問23	問25	問29	問34	問36	問42					
							問42-1	問42-2	問42-3	問42-4	問42-5	問42-6
	資源として有効利用	処理・リサクルの方法	分別の増加	リユースカップの使用	ごみの処理費用	ごみ収集の有料化	住民参加	要望・意見の反映	市町が主体	情報入手	時間・手間がかかり大変	計画づくりへの参画
合計点	3,633	-1,215	2,642	-368	-3,835	1,357	2,865	2,390	2,398	1,774	-3,090	-60
平均点	1.220	-0.408	0.887	-0.124	-1.287	0.456	0.962	0.802	0.805	0.596	-1.037	-0.020
意識度	61.0%	-20.4%	44.4%	-6.2%	-64.4%	22.8%	48.1%	40.1%	40.3%	29.8%	-51.9%	-1.0%

表　4-3　「平成27年度　算定結果」

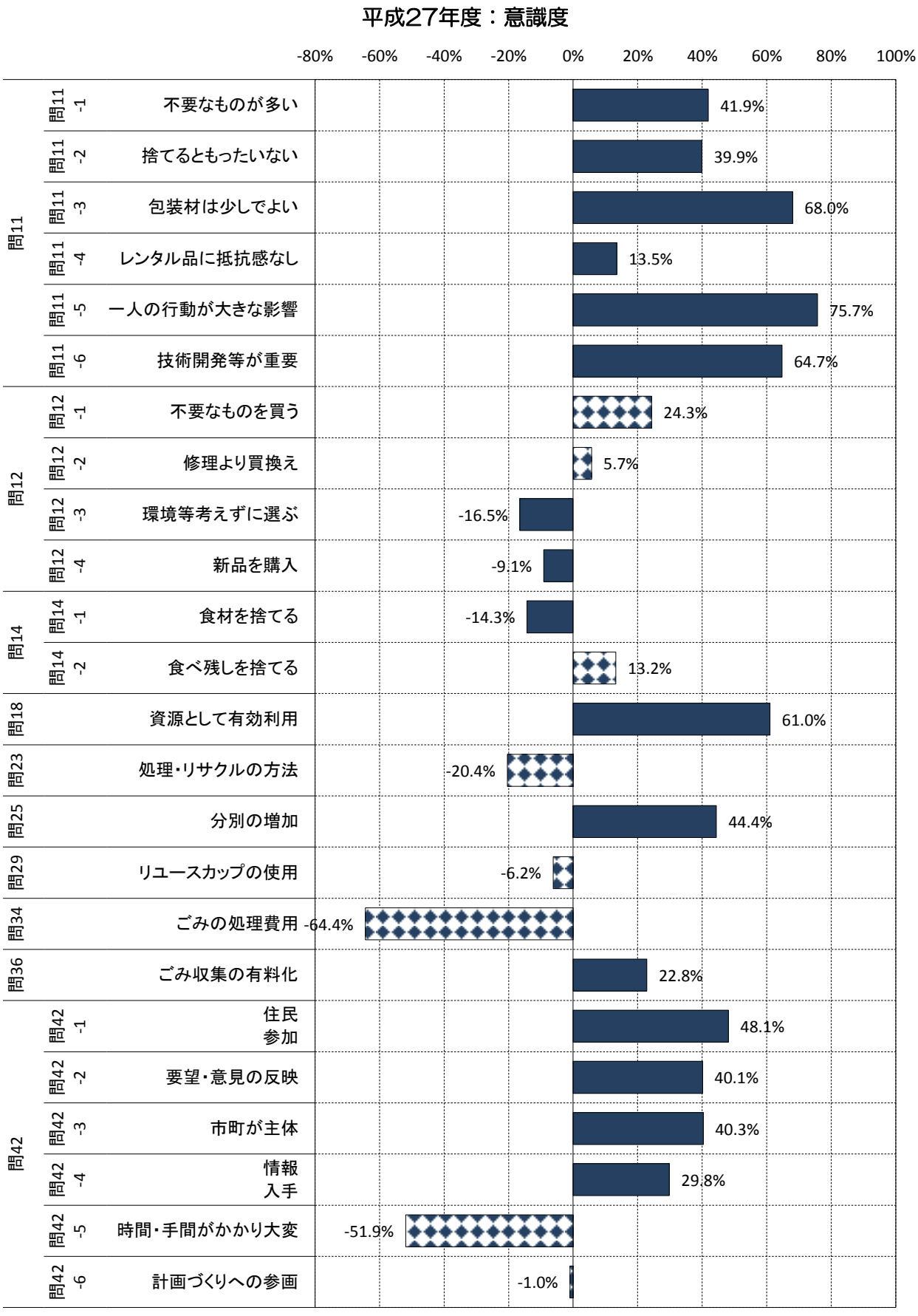


図　4-1　「平成27年度　意識度」

4-2　平成16年度・平成19年度・平成22年度・平成27年度　意識度比較

問11	次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？ それぞれの考えについて、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

問11-3「商品についている容器や包装材は、もっとすくなくていいと思う。」については、68.0％で問11の中では最も高い意識度となっている。ただし、平成27年度は平成19、22年度よりも低下している。
問11全体での意識度は全てマイナスであり、毎日の暮らしの中での「もの」に対する意識度は低傾向にある。

年度	選択肢		問11					
			問11-1	問11-2	問11-3	問11-4	問11-5	問11-6
			家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う。	ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう。	商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う。	レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない。	日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う。	環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う。
平成16年度	1	とてもそう思う	1,192	1,277	2,444	622	－	－
	2	少しそう思う	1,831	1,980	1,055	1,543	－	－
	3	あまりそうは思わない	587	355	161	1,118	－	－
	4	まったくそうは思わない	83	79	29	334	－	－
	5	無回答	142	144	146	218	－	－
	計		3,835	3,835	3,835	3,835	－	－
平成19年度	1	とてもそう思う	1,137	1,265	2,356	637	－	－
	2	少しそう思う	1,824	1,888	1,069	1,578	－	－
	3	あまりそうは思わない	577	375	166	1,003	－	－
	4	まったくそうは思わない	73	87	19	338	－	－
	5	無回答	71	67	72	126	－	－
	計		3,682	3,682	3,682	3,682	－	－
平成22年度	1	とてもそう思う	1,013	1,098	1,882	556	2,230	1,702
	2	少しそう思う	1,535	1,626	1,078	1,364	769	1,074
	3	あまりそうは思わない	520	357	156	878	109	303
	4	まったくそうは思わない	71	54	17	301	19	36
	5	無回答	15	19	21	55	27	39
	計		3,154	3,154	3,154	3,154	3,154	3,154
平成27年度	1	とてもそう思う	875	717	1,507	457	1,911	1,554
	2	少しそう思う	1,456	1,638	1,245	1,304	867	1,073
	3	あまりそうは思わない	522	492	178	860	141	267
	4	まったくそうは思わない	95	102	15	277	19	31
	5	無回答	31	30	34	81	41	54
	計		2,979	2,979	2,979	2,979	2,979	2,979

表　4-4　「問11」回答数

問11		問11-1	問11-2	問11-3	問11-4	問11-5	問11-6
合計点	平成16年度	3,462	4,021	5,724	1,001	－	－
	平成19年度	3,375	3,869	5,577	1,173	－	－
	平成22年度	2,899	3,357	4,652	996	5,082	4,103
	平成27年度	2,494	2,376	4,051	804	4,510	3,852
平均点	平成16年度	0.9027	1.0485	1.4926	0.2610	－	－
	平成19年度	0.9166	1.0508	1.5147	0.3186	－	－
	平成22年度	0.9192	1.0644	1.4750	0.3158	1.6110	1.3010
	平成27年度	0.8370	0.7980	1.3600	0.2700	1.5140	1.2930
意識度	平成16年度	45.1%	52.4%	74.6%	13.1%	－	－
	平成19年度	45.8%	52.5%	75.7%	15.9%	－	－
	平成22年度	46.0%	53.2%	73.7%	15.8%	80.6%	65.0%
	平成27年度	41.9%	39.9%	68.0%	13.5%	75.7%	64.7%
意識度差	平成16年度	-3.2%	-12.5%	-6.6%	0.4%	－	－
	平成19年度	-3.9%	-12.6%	-7.7%	-2.4%	－	－
	平成22年度	-4.1%	-13.3%	-5.7%	-2.3%	-4.9%	-0.3%

表　4-5　「問11」算定結果

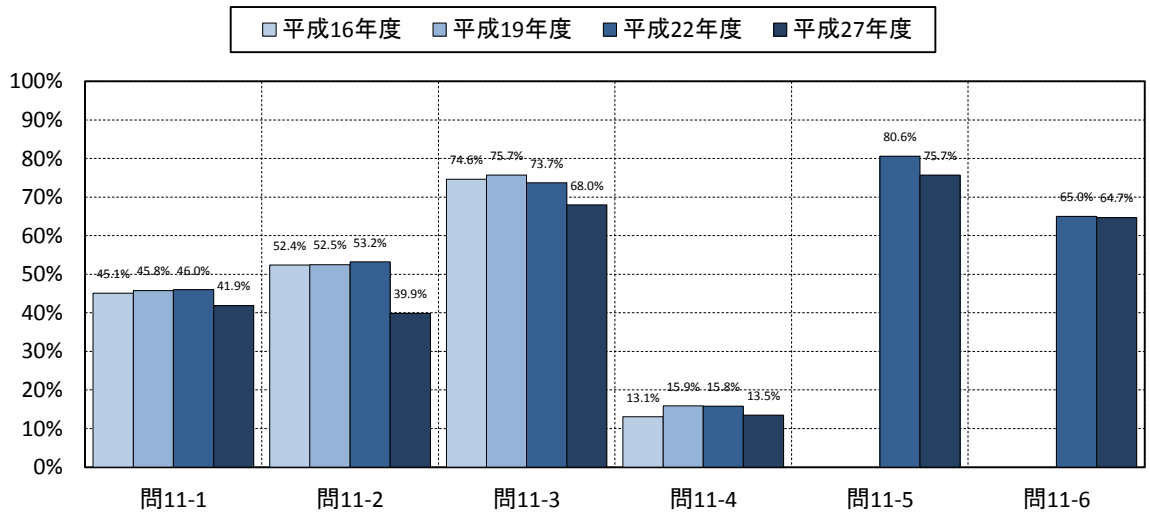


図　4-2　「問11」意識度年度比較

問12	次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？ それぞれの考えについて、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

問12-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう。」については、問2の中で最も高く、各年度と比べ若干高くなっている。
問12-2「買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い換える。」については、各年度と比べ半分に低下している。
問12-3「お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ。」、問12-4「一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する。」については、意識度はマイナスであり、特に問12-3は-17%前後で低い値を示しており「環境やごみを意識した商品選び」の意識度は低い。
「購入に関する行動」の意識度は、あまり高くないと思われる。

年度	選択肢		問12			
			問12-1	問12-2	問12-3	問12-4
			特価品や新品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう。	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い換える。	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ。	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する。
平成16年度	1	よくあてはまる	215	455	670	789
	2	少しあてはまる	1,174	1,060	1,624	1,235
	3	あまりあてはまらない	1,450	1,432	1,121	1,050
	4	まったくあてはまらない	852	734	256	595
	5	無回答	144	154	164	166
	計		3,835	3,835	3,835	3,835
平成19年度	1	よくあてはまる	240	431	652	771
	2	少しあてはまる	1,131	1,108	1,601	1,209
	3	あまりあてはまらない	1,350	1,293	1,089	1,043
	4	まったくあてはまらない	888	764	260	567
	5	無回答	73	86	80	92
	計		3,682	3,682	3,682	3,682
平成22年度	1	よくあてはまる	204	379	533	637
	2	少しあてはまる	988	942	1,399	1,076
	3	あまりあてはまらない	1,205	1,185	952	883
	4	まったくあてはまらない	738	621	248	520
	5	無回答	19	27	22	38
	計		3,154	3,154	3,154	3,154
平成27年度	1	よくあてはまる	156	380	486	594
	2	少しあてはまる	849	955	1,322	1,041
	3	あまりあてはまらない	1,282	1,162	916	859
	4	まったくあてはまらない	662	447	199	415
	5	無回答	30	35	56	70
	計		2,979	2,979	2,979	2,979

表　4-6　「問12」回答数

問12		問12-1	問12-2	問12-3	問12-4
合計点	平成16年度	1,550	930	-1,331	-573
	平成19年度	1,515	851	-1,296	-574
	平成22年度	1,285	727	-1,017	-427
	平成27年度	1,445	341	-980	-540
平均点	平成16年度	0.4042	0.2425	-0.3471	-0.1494
	平成19年度	0.4115	0.2311	-0.3520	-1.5590
	平成22年度	0.4074	0.2305	-0.3224	-0.1354
	平成27年度	0.4850	0.1140	-0.3290	-0.1810
意識度	平成16年度	20.2%	12.1%	-17.4%	-7.5%
	平成19年度	20.6%	11.6%	-17.6%	-7.8%
	平成22年度	20.4%	11.5%	-16.1%	-6.8%
	平成27年度	24.3%	5.7%	-16.5%	-9.1%
意識度差	平成16年度	4.1%	-6.4%	0.9%	-1.6%
	平成19年度	3.7%	-5.9%	1.1%	-1.3%
	平成22年度	3.9%	-5.8%	-0.4%	-2.3%

表　4-7　「問12」算定結果

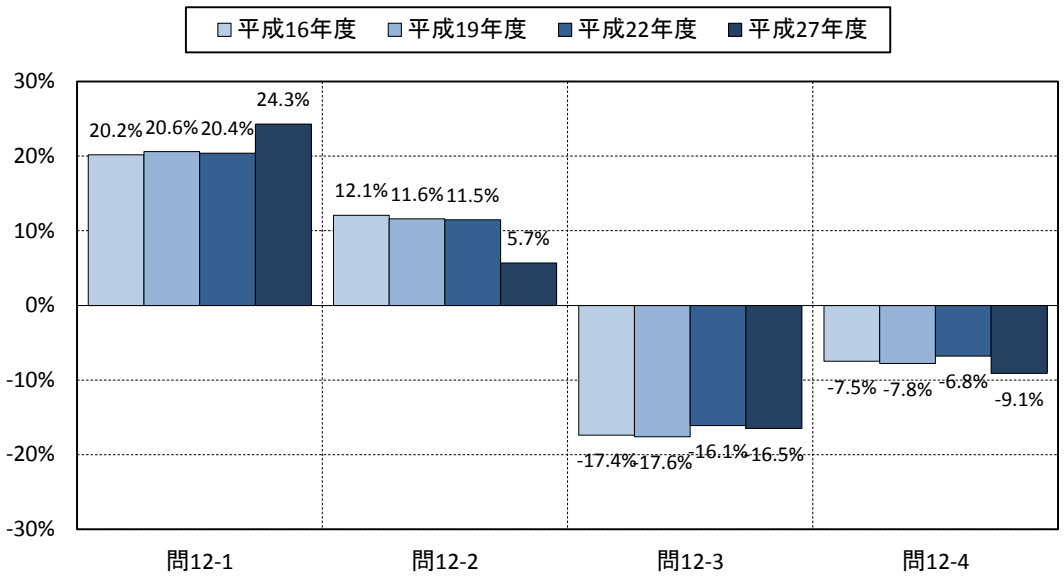


図　4-3　「問12」意識度年度比較

問14	食べ物のごみについてお聞きします。（1）使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか。（2）食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。
問18	ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。
問36	出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

問14-1「使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？」については、意識度は各年度でマイナスであり、平成22年度までは年々上がっていたが、平成27年度は平成22年度に対して約4%下がっている食材の購入量や食材の選び方に改善が必要であると思われる。
問14-2「食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？」についての意識度は、平成22年度と比べ低下している。
問18の「ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきか」に対しては、意識度は年々低下してきている。
問36の「出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみ有料化」に対しては、平成19年度をピークに年々低下してきている。

年度	選択肢				問14-1	問14-2	問18	問36
					使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？	ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？	出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？
	番号	問14 選択肢	問18 選択肢	問23 選択肢				
平成16年度	1	よくある	とてもそう思う	賛成	651	400	2,293	1,064
	2	たまにある	少しそう思う	どちらかというと賛成	2,004	1,578	1,320	1,460
	3	あまりない	あまりそうは思わない	どちらかというと反対	642	970	142	653
	4	ほとんどない	まったくそうは思わない	反対	494	845	28	400
	5	無回答	無回答	無回答	44	42	52	258
	計				3,835	3,835	3,835	3,835
平成19年度	1	よくある	とてもそう思う	賛成	624	368	2,057	1,149
	2	たまにある	少しそう思う	どちらかというと賛成	1,843	1,410	1,333	1,474
	3	あまりない	あまりそうは思わない	どちらかというと反対	651	928	194	577
	4	ほとんどない	まったくそうは思わない	反対	502	906	26	316
	5	無回答	無回答	無回答	62	70	72	166
	計				3,682	3,682	3,682	3,682
平成22年度	1	よくある	とてもそう思う	賛成	402	199	1,474	744
	2	たまにある	少しそう思う	どちらかというと賛成	1,571	1,119	1,402	1,353
	3	あまりない	あまりそうは思わない	どちらかというと反対	624	886	196	644
	4	ほとんどない	まったくそうは思わない	反対	541	930	25	309
	5	無回答	無回答	無回答	16	20	57	104
	計				3,154	3,154	3,154	3,154
平成27年度	1	よくある	とてもそう思う	賛成	377	207	1,179	620
	2	たまにある	少しそう思う	どちらかというと賛成	1,533	1,120	1,510	1,313
	3	あまりない	あまりそうは思わない	どちらかというと反対	628	887	203	592
	4	ほとんどない	まったくそうは思わない	反対	404	717	16	302
	5	無回答	無回答	無回答	37	48	71	152
	計				2,979	2,979	2,979	2,979

表　4-8　「問14・問18・問36」回答数

		問14-1	問14-2	問18	問36
合計点	平成16年度	-1,676	282	5,708	2,135
	平成19年度	-1,436	594	5,201	2,563
	平成22年度	-669	1,229	4,104	1,579
	平成27年度	-851	787	3,633	1,357
平均点	平成16年度	-0.4370	0.0735	1.4884	0.5567
	平成19年度	-0.3900	0.1613	1.4125	0.6961
	平成22年度	-0.2121	0.3897	1.3012	0.5006
	平成27年度	-0.2860	0.2640	1.2200	0.4560
意識度	平成16年度	-21.9%	3.7%	74.4%	27.8%
	平成19年度	-19.5%	8.1%	70.6%	34.8%
	平成22年度	-10.6%	19.5%	65.1%	25.0%
	平成27年度	-14.3%	13.2%	61.0%	22.8%
意識度差	平成16年度	7.6%	9.5%	-13.4%	-5.0%
	平成19年度	5.2%	5.1%	-9.6%	-12.0%
	平成22年度	-3.7%	-6.3%	-4.1%	-2.2%

表　4-9　「問14・問18・問36」算定結果

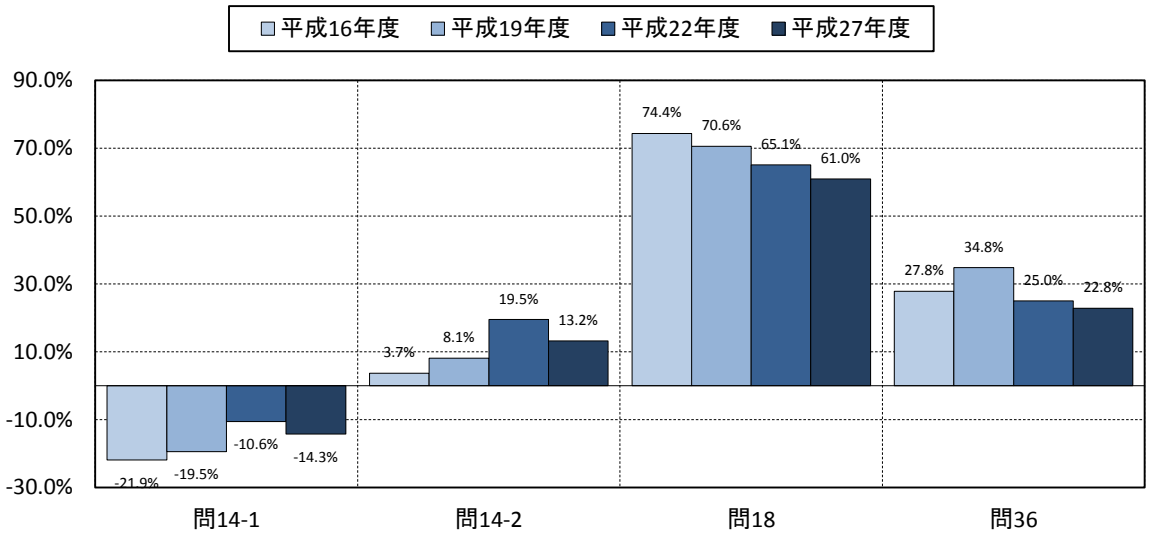


図　4-4　「問14・問18・問36」意識度年度比較

4-3　平成19年度・平成22年度・平成27年度　意識度比較

問25	ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？ あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。
問42 1・2・3	ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてあなたの意見をお聞きします。 それぞれの意見について、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

問25「ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？」については、平成27年度は平成22年度より約5%低下している。
問42-1「計画づくりには、できるだけ多くの住民が参画することが必要だと思いますか？」については、平成27年度は平成22年度より約9%低下している。
問42-2「計画づくりに住民が参画すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？」については、平成27年度は平成22年度より約6%低下している。
問42-3「計画は市町が主体的につくる方がよいと思いますか？」についての意識度は40%弱であり、平成27年度は平成22年度に対し若干高くなっている。

年度	選択肢			問25	問42		
					問42-1	問42-2	問42-3
				ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？	計画づくりには、できるだけ多くの住民が参画することが必要だと思いますか？	計画づくりに住民が参画すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？	計画は市町が主体的につくる方がよいと思いますか？
	番号	問25　選択肢	問42　選択肢				
平成19年度	1	賛成	とてもそう思う	1,411	1,715	1,172	1,077
	2	どちらかとうと賛成	少しそう思う	1,584	1,466	1,835	1,495
	3	どちらかとうと反対	あまりそうは思わない	446	320	481	747
	4	反対	まったくそうは思わない	70	37	54	185
	5	無回答	無回答	171	144	140	178
	計			3,682	3,682	3,682	3,682
平成22年度	1	賛成	とてもそう思う	1,152	1,317	865	942
	2	どちらかとうと賛成	少しそう思う	1,449	1,381	1,718	1,418
	3	どちらかとうと反対	あまりそうは思わない	410	335	423	566
	4	反対	まったくそうは思わない	94	28	51	110
	5	無回答	無回答	49	93	97	118
	計			3,154	3,154	3,154	3,154
平成27年度	1	賛成	とてもそう思う	912	1,109	708	838
	2	どちらかとうと賛成	少しそう思う	1,444	1,230	1,611	1,419
	3	どちらかとうと反対	あまりそうは思わない	472	497	487	517
	4	反対	まったくそうは思わない	77	43	75	90
	5	無回答	無回答	74	100	98	115
	計			2,979	2,979	2,979	2,979

表　4-10　「問25・問42-1・2・3」回答数

		問25	問42-1	問42-2	問42-3
合計点	平成19年度	3,820	4,502	3,590	2,532
	平成22年度	3,155	3,624	2,923	2,516
	平成27年度	2,642	2,865	2,390	2,398
平均点	平成19年度	1.0375	1.2227	0.9750	0.6877
	平成22年度	1.0003	1.1490	0.9268	0.7977
	平成27年度	0.8870	0.9620	0.8020	0.8050
意識度	平成19年度	51.9%	61.1%	48.8%	34.4%
	平成22年度	50.0%	57.5%	46.3%	39.9%
	平成27年度	44.4%	48.1%	40.1%	40.3%
意識度差	平成19年度	-7.5%	-13.0%	-8.7%	5.9%
	平成22年度	-5.6%	-9.4%	-6.2%	0.4%

表　4-11　「問25・問42-1・2・3」算定結果

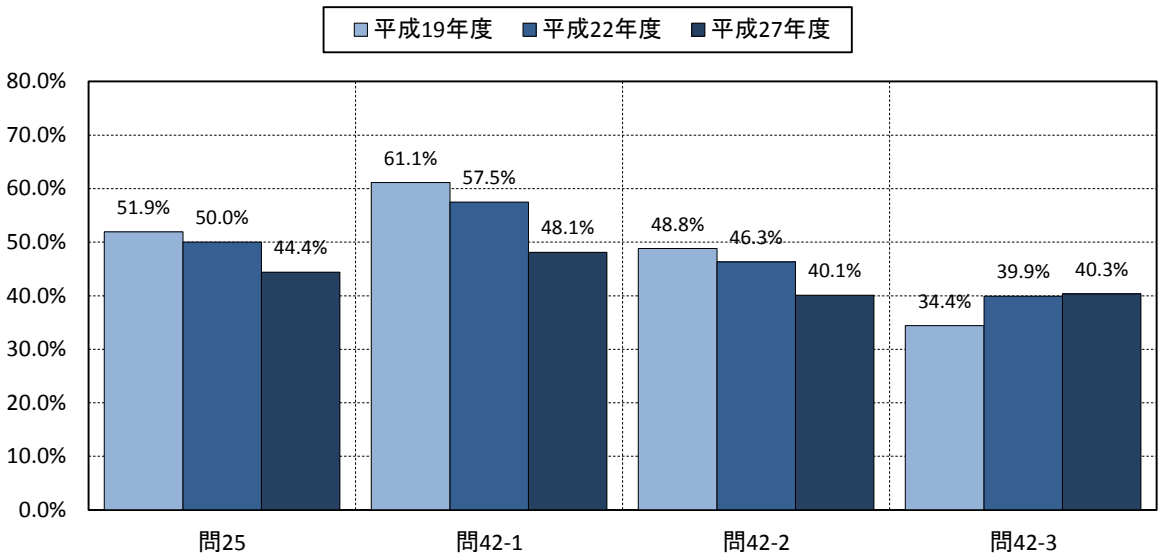


図　4-5　「問14・問18・問36」意識度年度比較

問42 4・5・6	ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてあなたの意見をお聞きします。 それぞれの意見について、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

問42-4「あなたが計画づくりに参画することで、様々な情報を入手できると思っていますか？」については、平成27年度は平成22年度より約6%低下している。
問42-5「あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？」については、各年度ともに意識度は-50%前後でかなり低い。平成27年度は平成22年度より約1%低下している。
問42-6「今後、このような計画づくりに住民参画の機会があった場合、あなたは参画したいですか？」については、平成27年度の意識度はマイナスであり、平成22年度と比べ約6%低下している。

年度	選択肢		問42-4 あなたが計画づくりに参画することで、様々な情報を入手できると思いますか？	問42-5 あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？	問42-6 今後、このような計画づくりに住民参画の機会があった場合、あなたは参画したいですか？
平成19年度	1	とてもそう思う	809	1,063	323
	2	少しそう思う	1,955	2,061	1,772
	3	あまりそうは思わない	671	327	1,134
	4	まったくそうは思わない	88	65	277
	5	無回答	159	166	176
	計		3,682	3,682	3,682
平成22年度	1	とてもそう思う	593	929	224
	2	少しそう思う	1,802	1,786	1,487
	3	あまりそうは思わない	558	275	1,038
	4	まったくそうは思わない	85	48	279
	5	無回答	116	116	126
	計		3,154	3,154	3,154
平成27年度	1	とてもそう思う	442	851	153
	2	少しそう思う	1,697	1,722	1,306
	3	あまりそうは思わない	627	258	1,108
	4	まったくそうは思わない	90	38	282
	5	無回答	123	110	130
	計		2,979	2,979	2,979

表　4-12　問42-4・5・6　回答数

		問42-4	問42-5	問42-6
合計点	平成19年度	2,726	-3,730	730
	平成22年度	2,260	-3,273	339
	平成27年度	1,774	-3,090	-60
平均点	平成19年度	0.7404	-1.0130	0.1983
	平成22年度	0.7166	-1.0377	0.1075
	平成27年度	0.5960	-1.0370	-0.0200
意識度	平成19年度	37.0%	-50.7%	9.9%
	平成22年度	35.8%	-51.9%	5.4%
	平成27年度	29.8%	-51.9%	-1.0%
意識度差	平成19年度	-7.2%	-1.2%	-10.9%
	平成22年度	-6.0%	0.0%	-6.4%

表　4-13　問42-4・5・6　回答

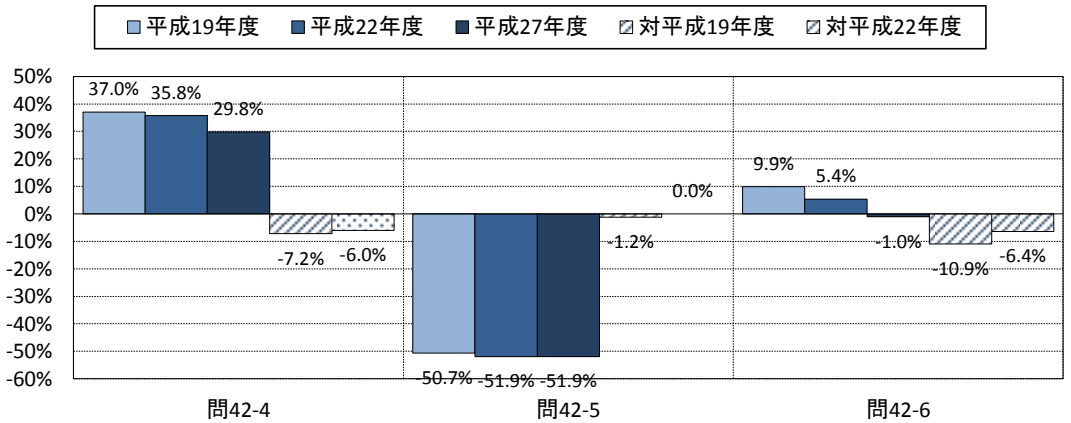


図　4-6　問42-4・5・6　意識度年度比較

5　調査結果（詳細）

5-1　暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について

問11	次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？（○は１つずつ）

（1）　家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う。

「あまり必要ないものがたくさんあると思うか」という問いに対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が78.3%となっている。
市町別では、上記の計が72.1%から83.2%で大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が70.9%から85.2%で大きな偏りはみられない。
分別行動別では、上記の計が70%から79.9%で大きな偏りはみられない。
全体的に、「あまり必要ないものがたくさんある」割合が高い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	875	29.4%
2	少しそう思う	1,456	48.9%
3	あまりそうは思わない	522	17.5%
4	まったくそうは思わない	95	3.2%
99	無回答	31	1.0%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-1　「あまり必要ないものがたくさんある」回答状況

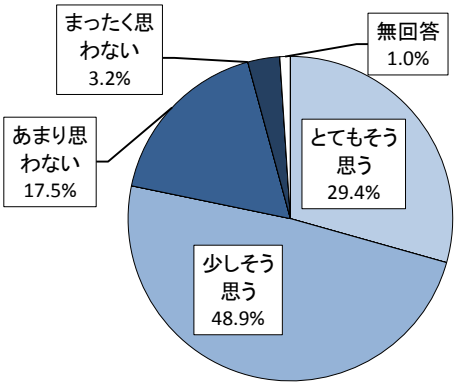


図　5-1-1　「あまり必要ないものがたくさんある」回答率

②　市町別集計

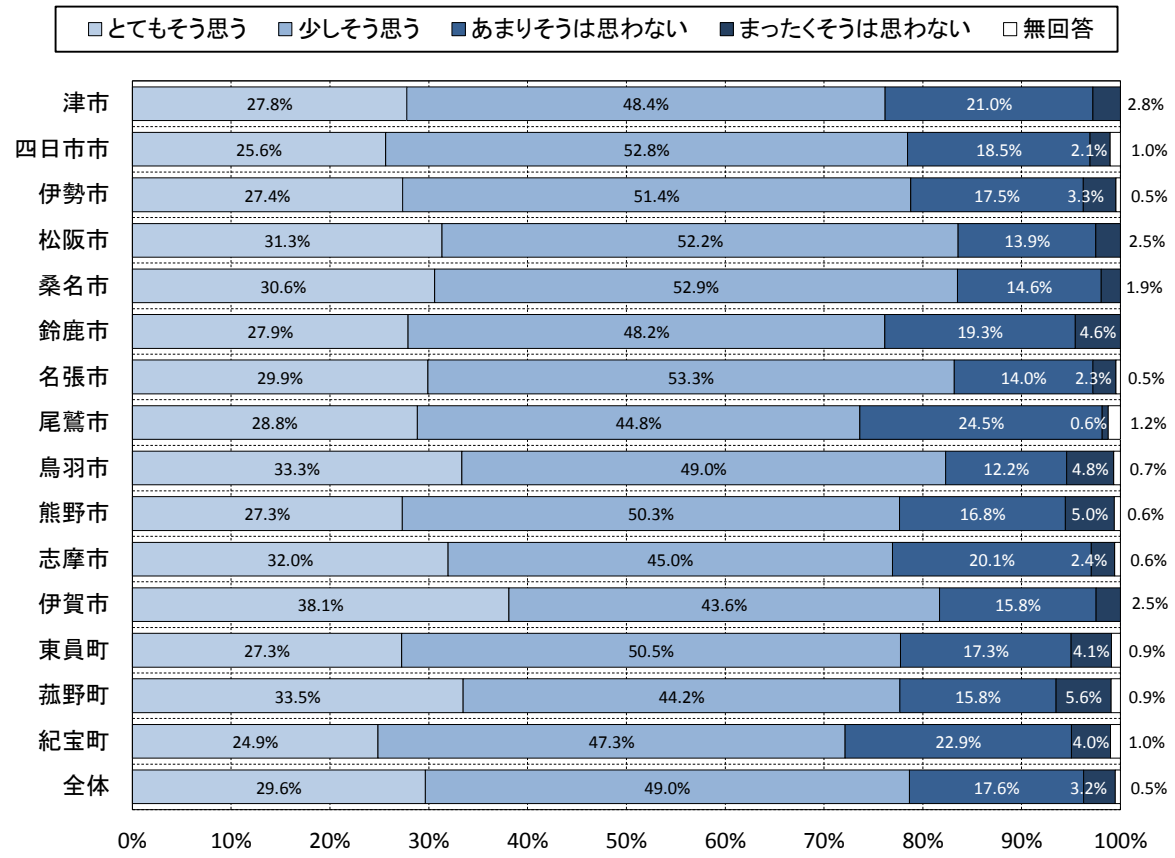


図　5-1-2　「市町別　あまり必要ないものがたくさんある」回答率

③　年代別集計

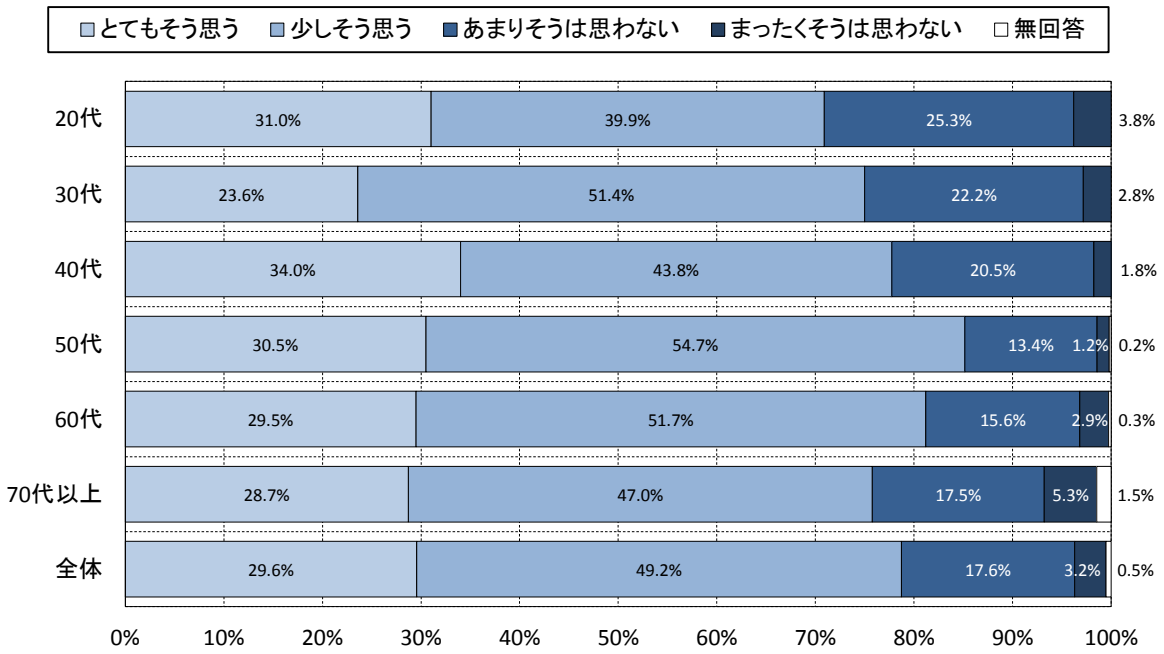


図　5-1-3　「年代別　あまり必要ないものがたくさんある」回答率

④　分別へのかかわり別集計

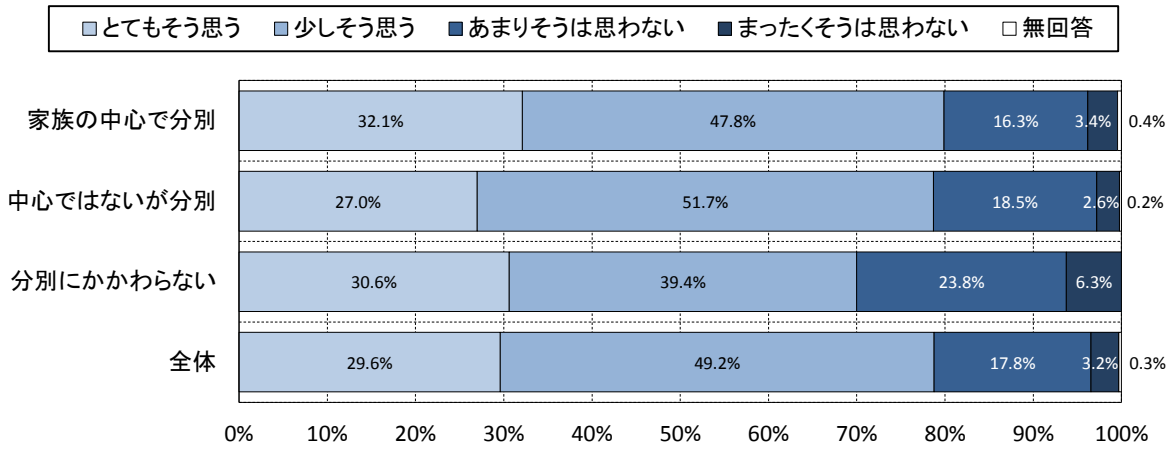


図　5-1-4　「分別行動別　あまり必要ないものがたくさんある」回答率

⑵　ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう。

「ものを捨てるときに『もったいない』と思うか」という問いに対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が79.1%となっている。
市町別では、上記の計が73.6から86.1%で大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が69%から82.2%で世代が若くなるにつれ低くなっている。
分別行動別では、上記の計が66.3%から81.1%で「ごみの分別にはあまりかかわらない」が他と比べ低くなっている。
全体的に「ものを捨てる時、つい『もったいない』と思う」割合が高い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	717	24.1%
2	少しそう思う	1,638	55.0%
3	あまりそうは思わない	492	16.5%
4	まったくそうは思わない	102	3.4%
99	無回答	30	1.0%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-2　「捨てる時『もったいない』と思う」回答状況

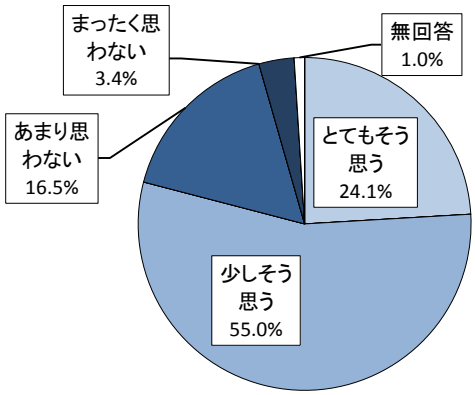


図　5-1-5　「捨てる時『もったいない』と思う」回答率

②　市町別集計

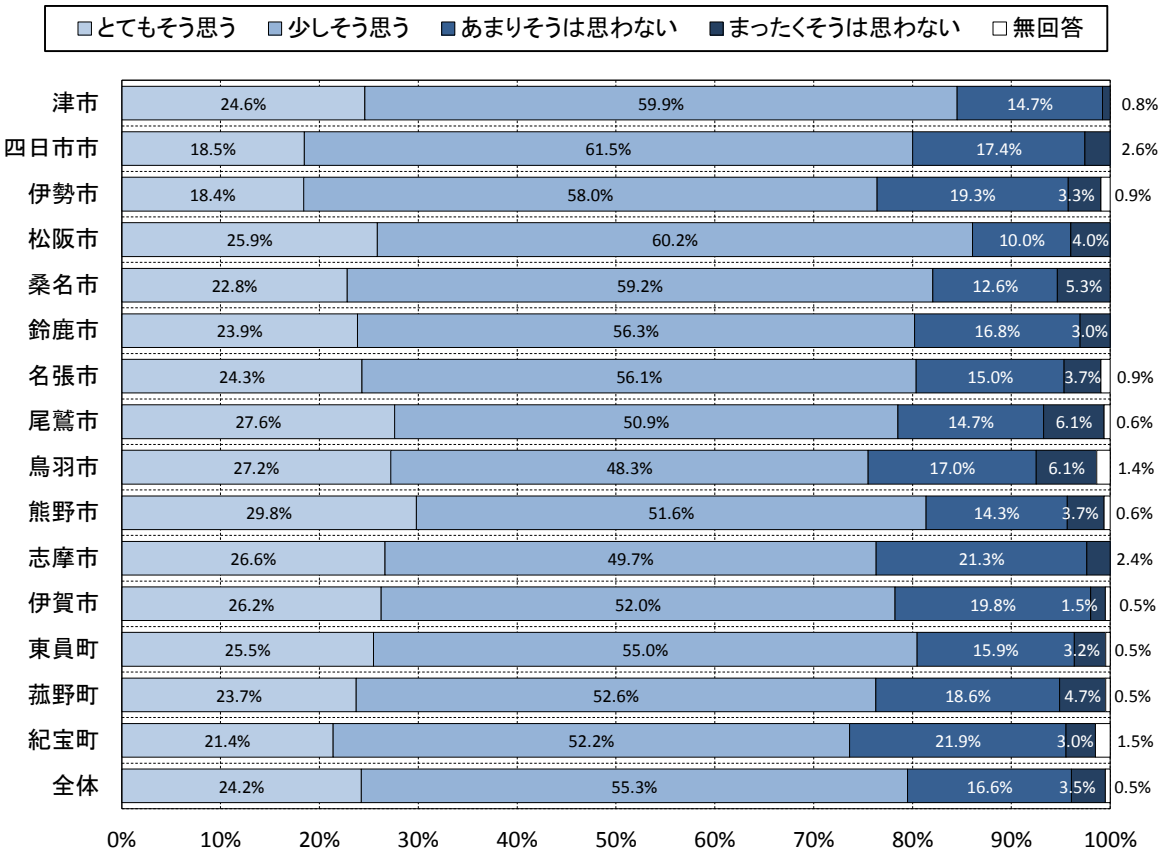


図　5-1-6　「市町別　捨てる時『もったいない』と思う」回答率

③　年代別集計

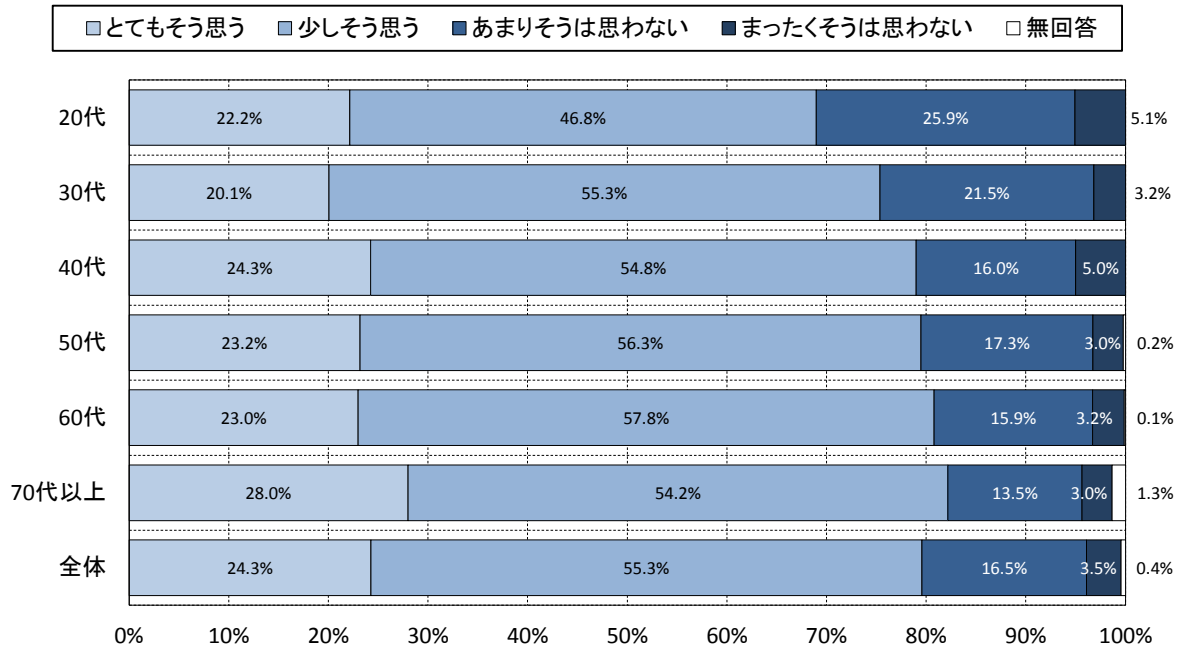


表　5-1-7　「年代別　捨てる時『もったいない』と思う」回答率

④　分別へのかかわり別集計

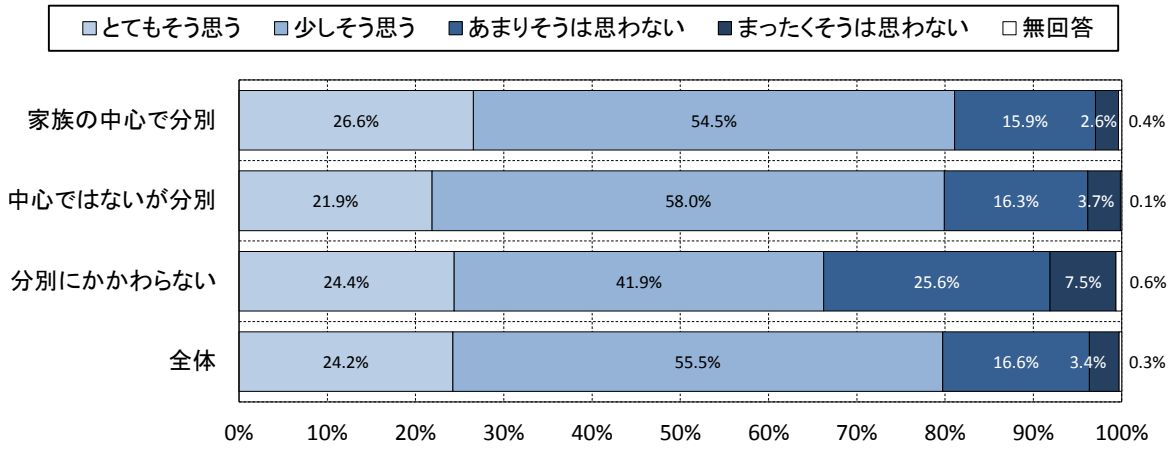


図　5-1-8　「分別行動別　捨てる時『もったいない』と思う」回答率

(3)　商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う

商品の過剰包装については、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が92.4%となっている。
市町別では、上記の計が88.6%から95.8%で大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が86.7%から93.7%で大きな偏りはみられない。
分別行動別では、上記の計が87.5%から93.6%で大きな偏りはみられない。
全体的に「容器や包装材はもっと少なくていい」割合が高い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,507	50.6%
2	少しそう思う	1,245	41.8%
3	あまりそうは思わない	178	6.0%
4	まったくそうは思わない	15	0.5%
99	無回答	34	1.1%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-3　「容器や包装材は少なくていい」回答状況

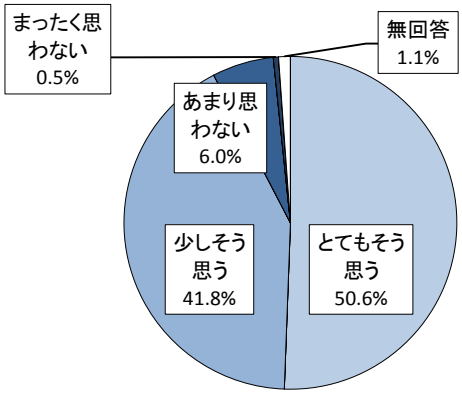


図　5-1-9　「容器や包装材は少なくていい」回答率

②　市町別集計

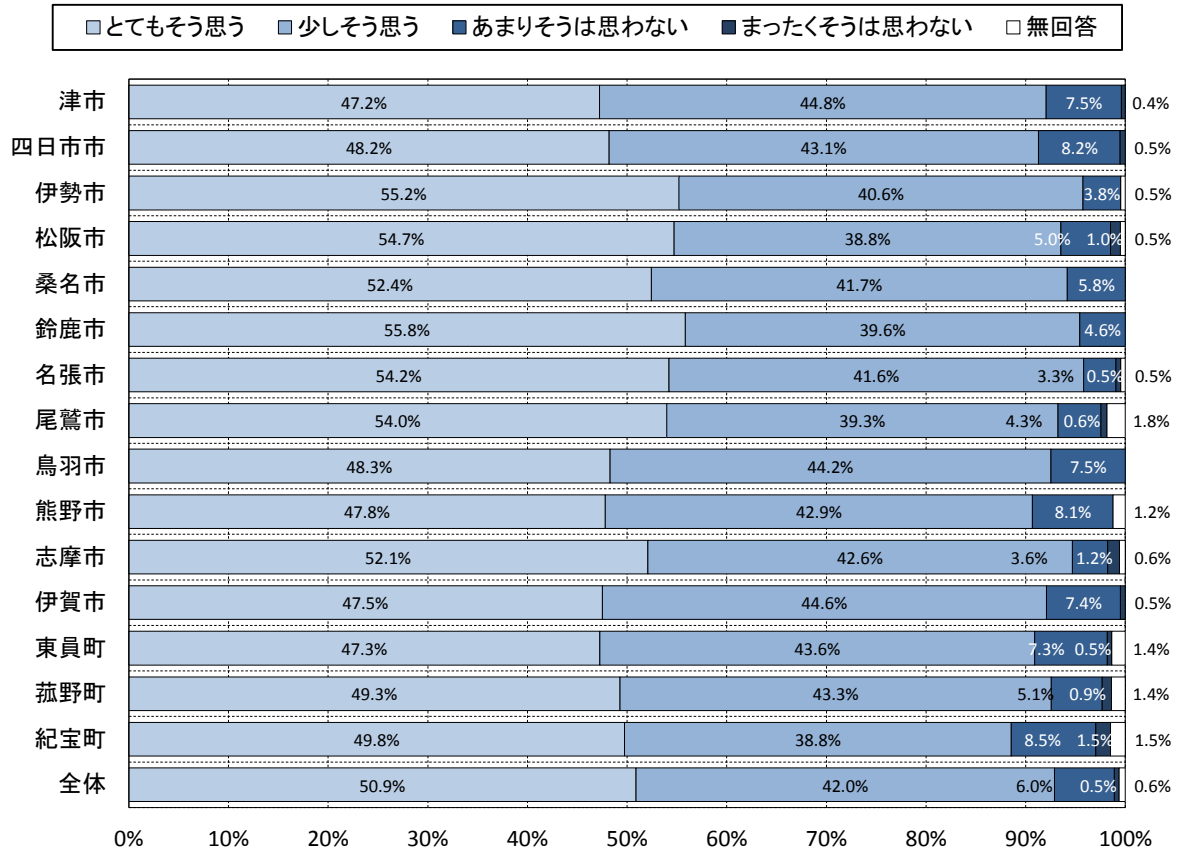


図　5-1-10　「市町別　容器や包装材は少なくていい」回答率

③　年代別集計

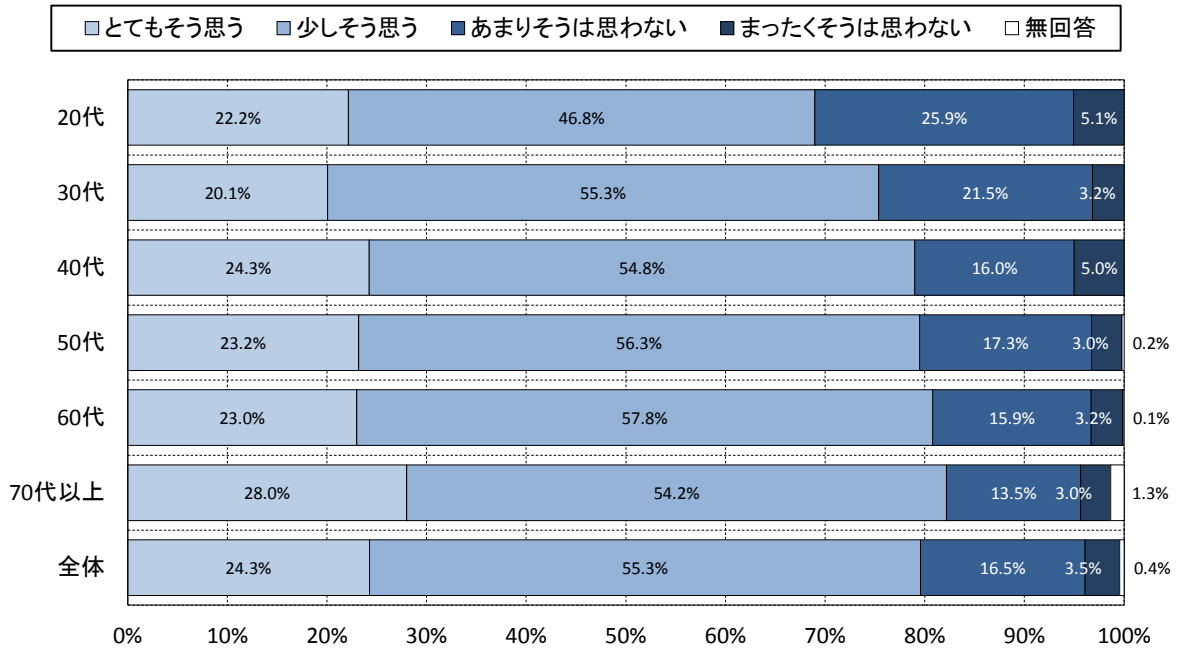


図　5-1-11　「年代別　容器や包装材は少なくていい」回答率

④　分別へのかかわり集計

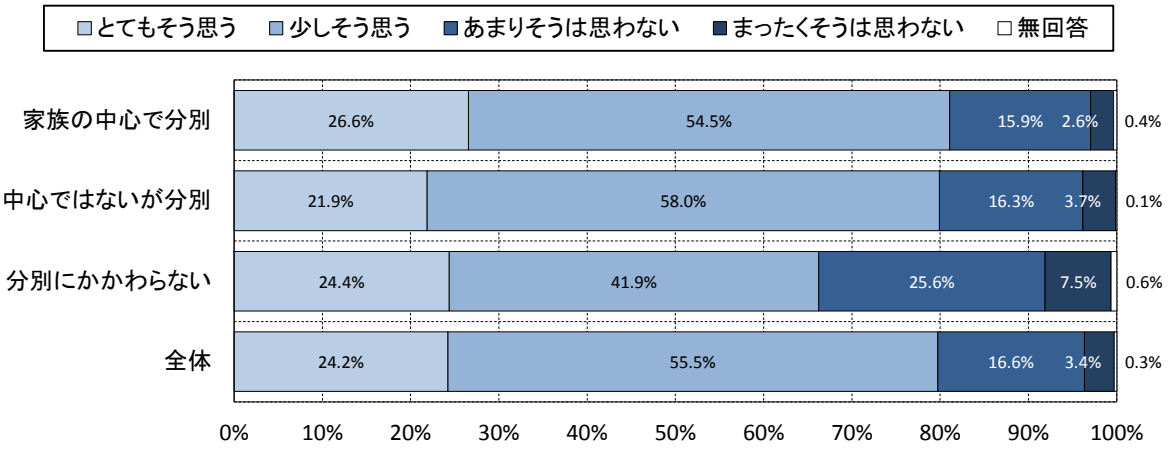


図　5-1-12　「分別行動別　容器や包装材は少なくていい」回答率

(4)　レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない。

「多くの人が使いまわすものに抵抗感はないか」という問いに対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が59.1%となっている。
市町別では、上記の計が54.5%から65.8%で大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が58.4%から62%で大きな偏りはみられないが、若い世代ほど「とてもそう思う」が高い傾向になっている。
分別行動別では、上記の計が51.3%から60.2%であり、分別にかかわる人ほど高くなる傾向が見られる。
全体的に「使いまわすものでも、抵抗感はない」割合がやや高い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	457	15.3%
2	少しそう思う	1,304	43.8%
3	あまりそうは思わない	860	28.9%
4	まったくそうは思わない	277	9.3%
99	無回答	81	2.7%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-4　「使いまわすものでも、抵抗感はない」回答状況

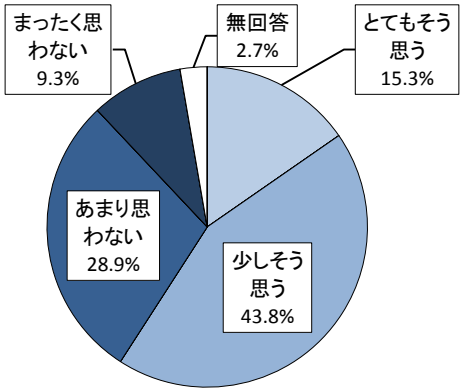


図　5-1-13　「使いまわすものでも、抵抗感はない」回答率

②　市町別集計

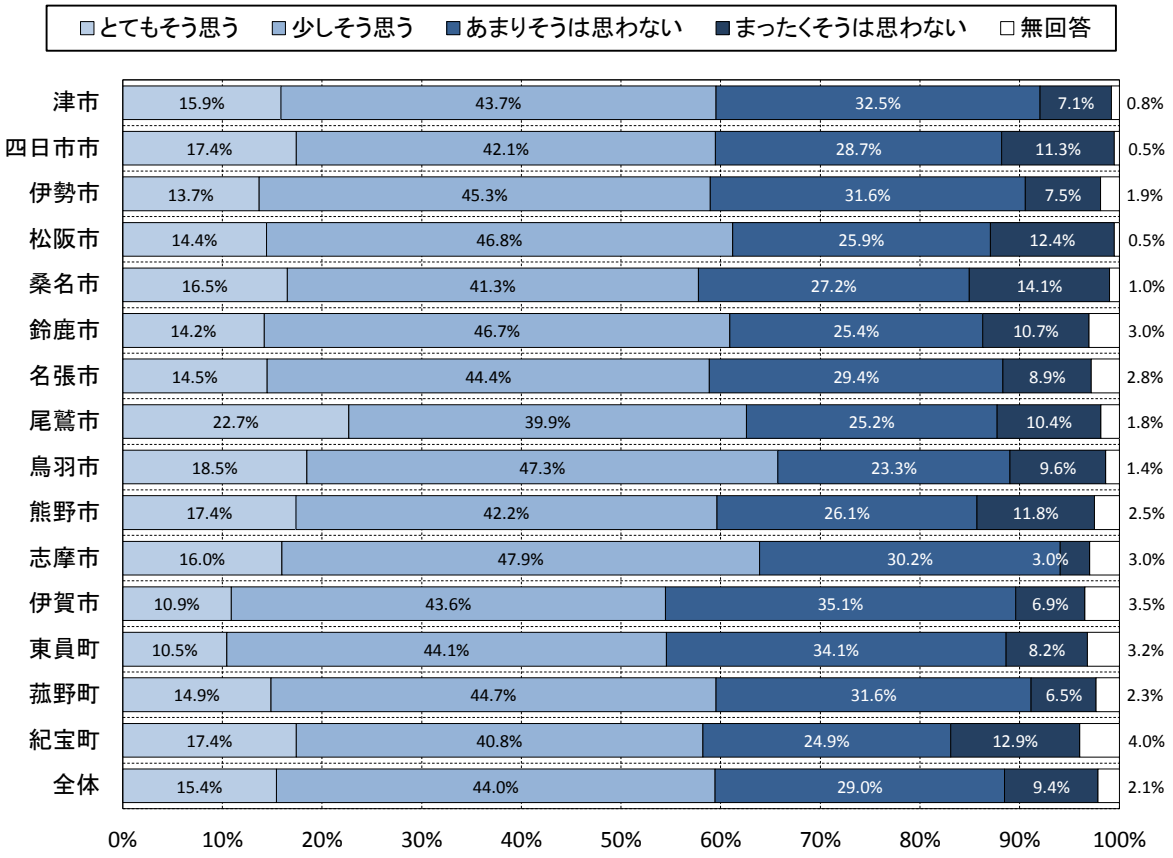


図　5-1-14　「市町別　使いまわすものでも、抵抗感はない」回答率

③　年代別集計

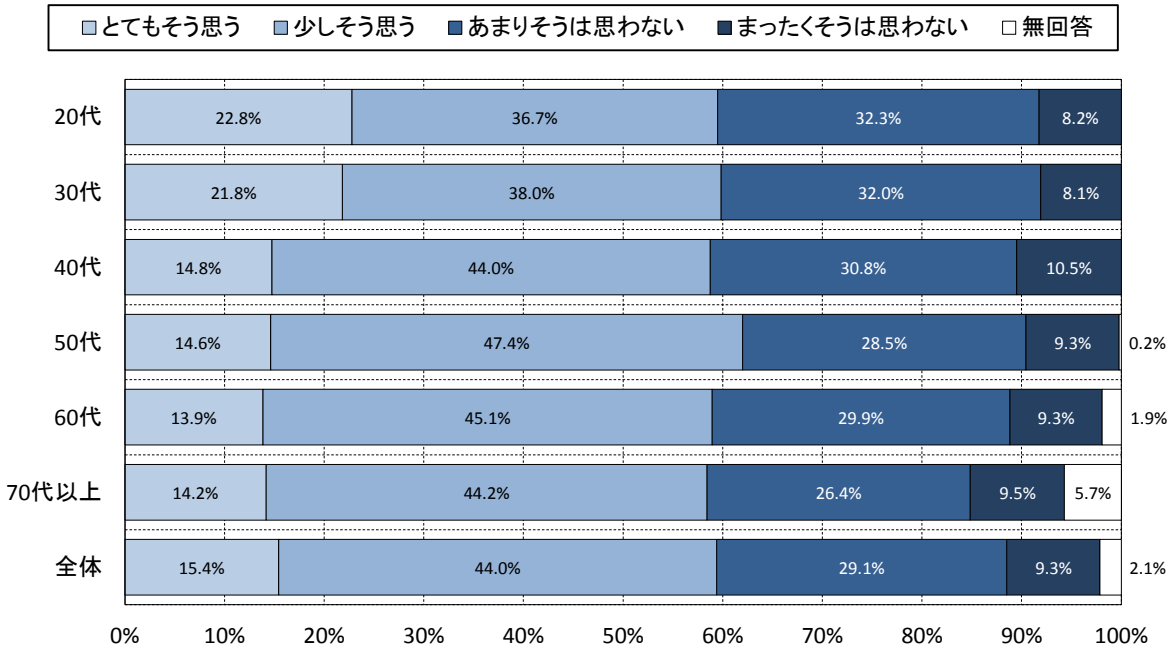


図　5-1-15　「年代別　使いまわすものでも、抵抗感はない」回答率

④　分別へのかかわり別集計

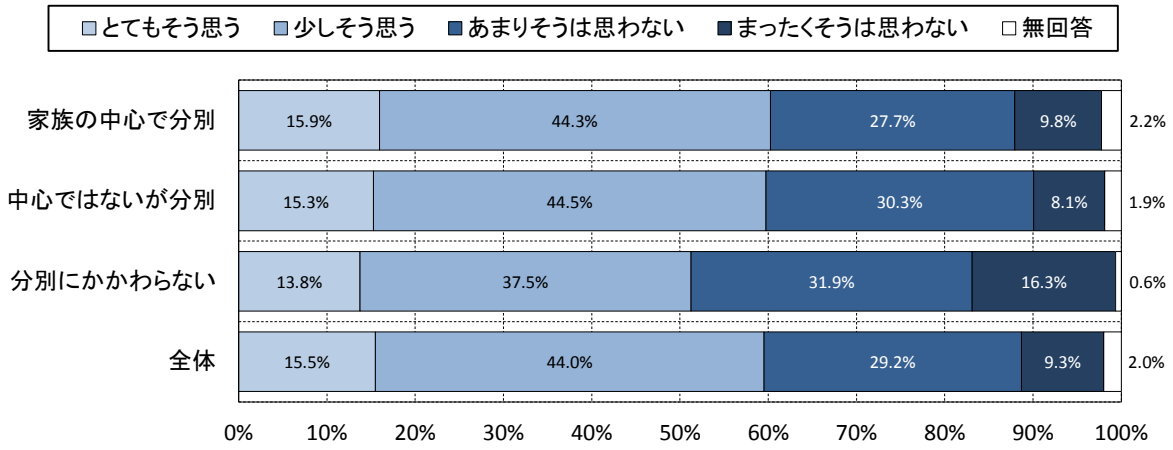


図　5-1-16　「分別行動別　使いまわすものでも、抵抗感はない」回答率

⑸　日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う。

「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」という問いに対しては、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が93.0%となっている。
市町別では、上記の計が89.6%から96.4%で大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が90.5%から96.5%で大きな偏りはみられない。
分別行動別では、上記の計が85%から95.2%であり、分別にかかわる人ほど高くなる傾向が見られる。
全体的に「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」割合が高い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,911	64.0%
2	少しそう思う	867	29.0%
3	あまりそうは思わない	141	5.0%
4	まったくそうは思わない	19	0.6%
99	無回答	41	1.4%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-5　「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」回答状況

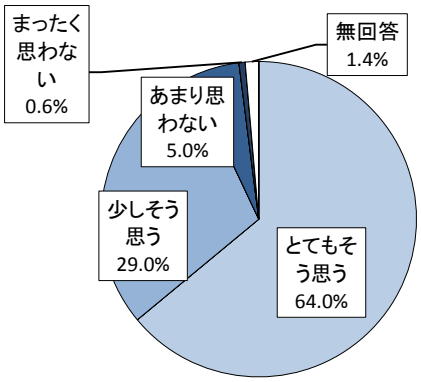


図　5-1-17　「一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」回答率

②　市町別集計

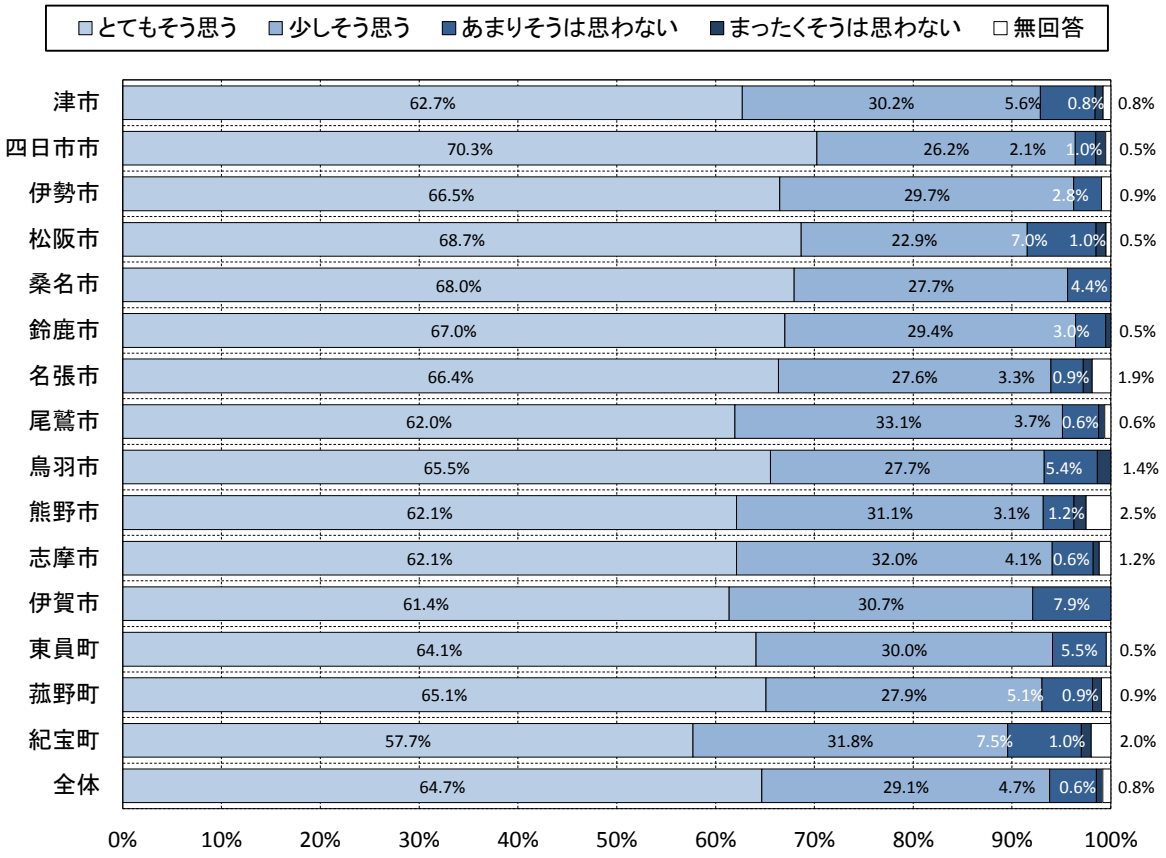


図　5-1-18　「市町別　一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」回答率

③　年代別集計

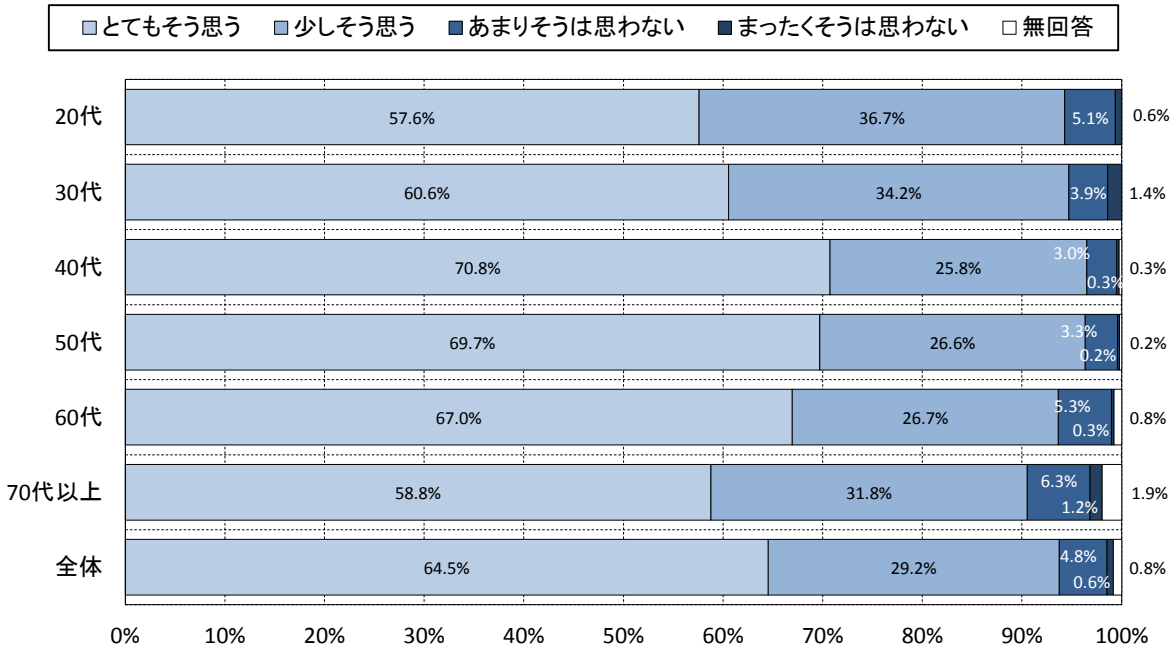


図　5-1-19　「年代別　一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」回答率

④　分別へのかかわり別集計

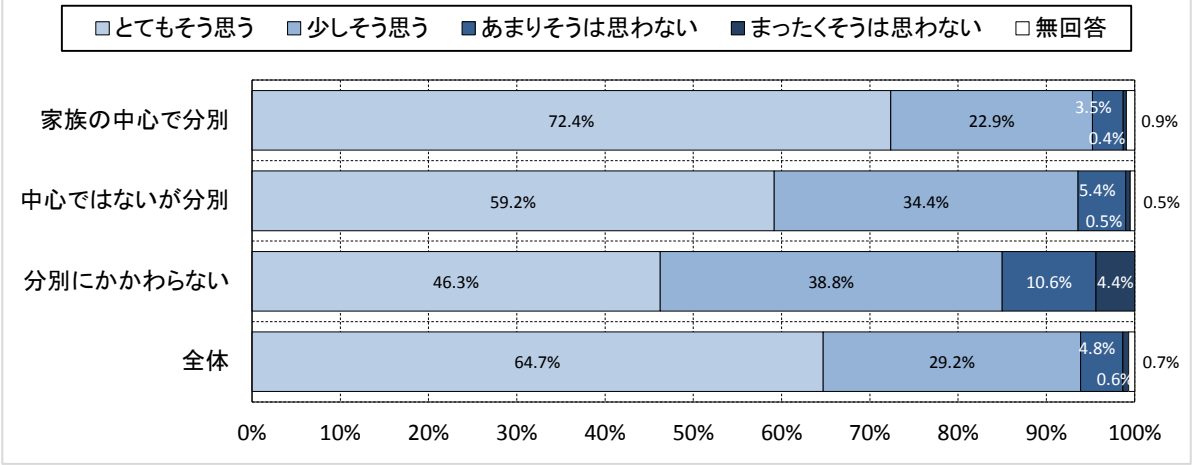


図　5-1-20　「分別行動別　一人ひとりの行動が環境に影響を及ぼすと思う」回答率

⑹　環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う。

「環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う」という問いに対して、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が88.2%となっている。
市町別では、上記の計が85.1%から92.8%で大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が82.3%から90.9%で大きな偏りはみられないが、年代が高くなるほど「とてもそう思う」が高くなる傾向がみられる。
分別行動別では、上記の計が82.5%から91.1%で大きな偏りはみられないが、分別にかかわる人ほど「とてもそう思う」が高くなっている。
全体的に「技術開発や研究の充実が必要と思う」割合が高い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,554	52.2%
2	少しそう思う	1,073	36.0%
3	あまりそうは思わない	267	9.0%
4	まったくそうは思わない	31	1.0%
99	無回答	54	1.8%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-6　「技術開発や研究の充実が必要と思う」回答状況

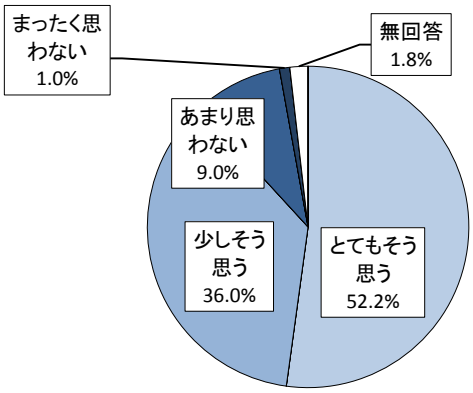


図　5-1-21　「技術開発や研究の充実が必要と思う」回答率

②　市町別集計

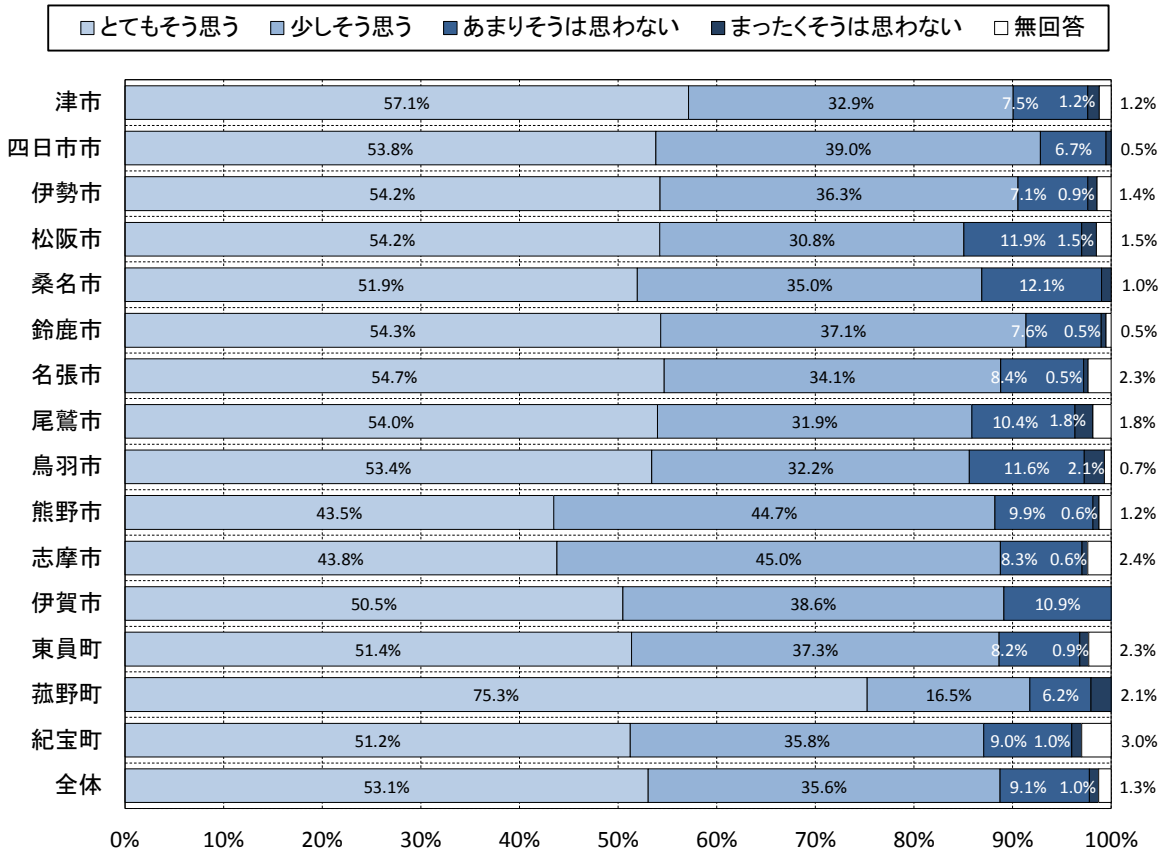


図　5-1-22　「市町別　技術開発や研究の充実が必要と思う」回答率

③　年代別集計

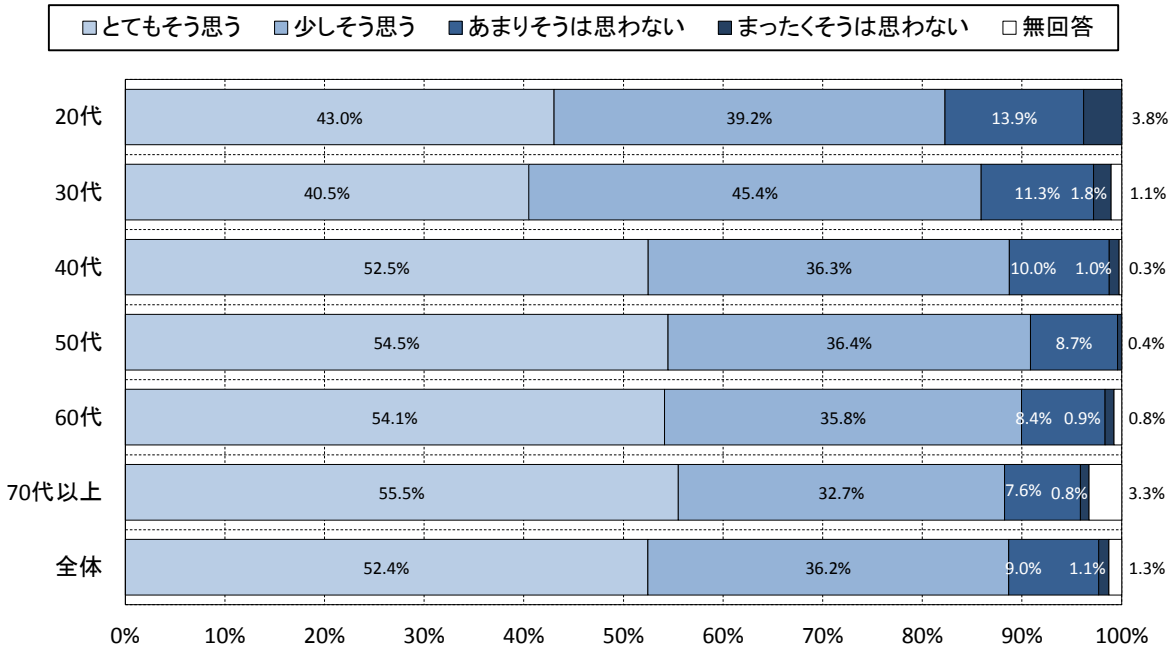


図　5-1-23　「年代別　技術開発や研究の充実が必要と思う」回答率

④　分別へのかかわり別集計

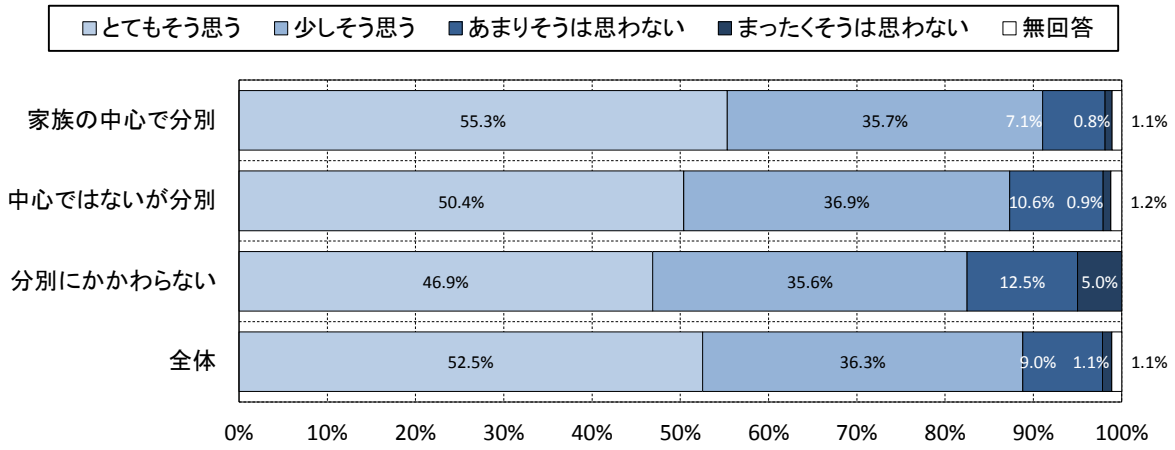


図　5-1-24　「分別行動別　技術開発や研究の充実が必要と思う」回答率

問12	次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？（○は１つずつ）

（1） 特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう。

「特価品や新商品をすぐには必要なくても買ってしまうか」については、「よくあてはまる」、「少しあてはまる」の計が33.7%となっている。
市町別では、上記の計が29.7%から39.6%で大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が25.9%から41.5%で大きな偏りはみられない。
分別行動別では、上記の計が26.9%から34.9%で大きな偏りはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくあてはまる	156	5.2%
2	少しあてはまる	849	28.5%
3	あまりあてはまらない	1,282	43.0%
4	まったくあてはまらない	662	22.2%
99	無回答	30	1.1%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-1-7 「必要なくても買ってしまう」回答状況

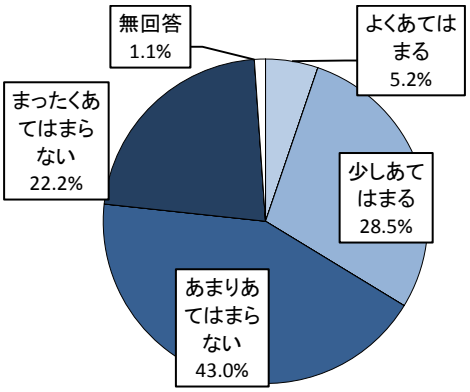


図 5-1-25 「必要なくても買ってしまう」回答率

② 市町別集計

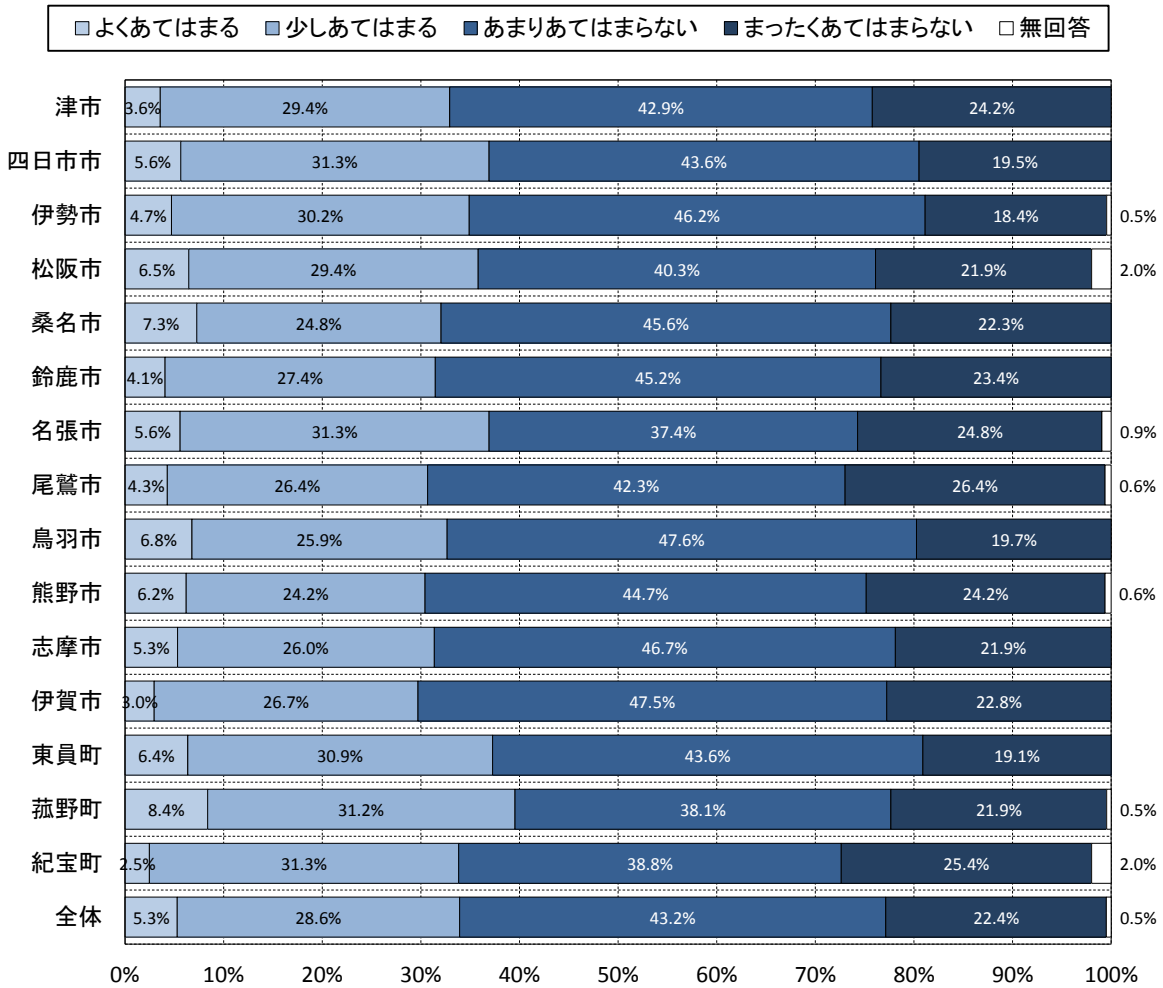


図 5-1-26 「市町別 必要なくても買ってしまう」回答率

③　年代別集計

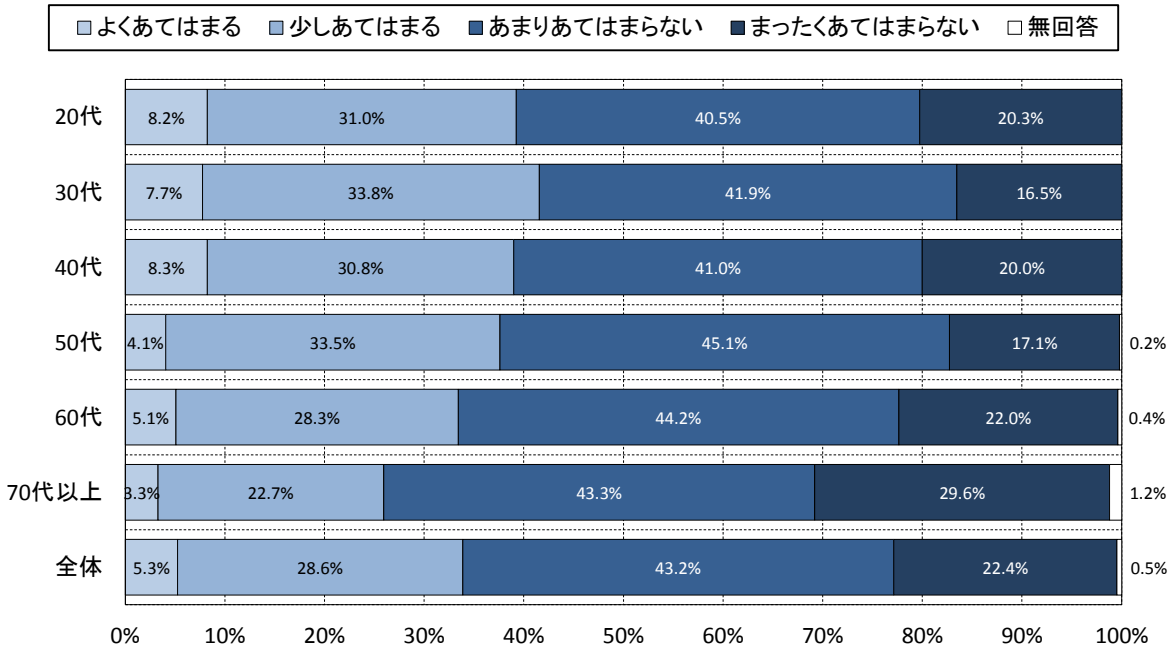


図　5-1-27　「年代別　必要なくても買ってしまう」回答率

④　分別へのかかわり別集計

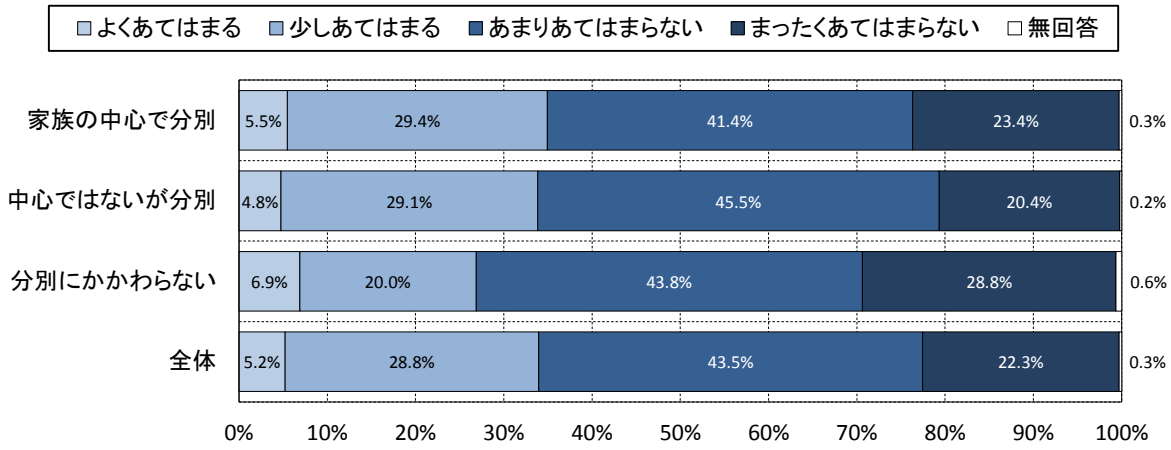


図　5-1-28　「分別行動別　必要なくても買ってしまう」回答率

⑵　買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い換える。

「壊れたら修理するより買い替えるか」については、「よくあてはまる」、「少しあてはまる」の計が44.8%となっている。
市町別では、上記の計が38.5%から50.8%で大きな偏りはみられないが、「よくあてはまる」では、熊野市で8.7%に対し、鳥羽市（17.7%）、東員町（16.8%）、菰野町（16.3%）では、約2倍程度の差がみられる。
年代別では、上記の計が42.4%から47.4%で大きな偏りはみられない。
分別行動別では、上記の計が42.4%から46.3%であり、大きな偏りはみられない。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくあてはまる	380	12.8%
2	少しあてはまる	955	32.0%
3	あまりあてはまらない	1,162	39.0%
4	まったくあてはまらない	447	15.0%
99	無回答	35	1.2%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-8　「修理するより買い替える」回答状況

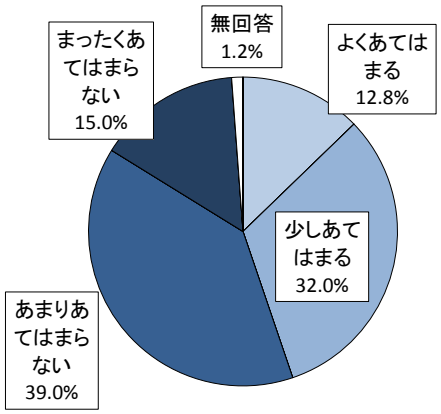


図　5-1-29　「修理するより買い替える」回答率

②　市町別集計

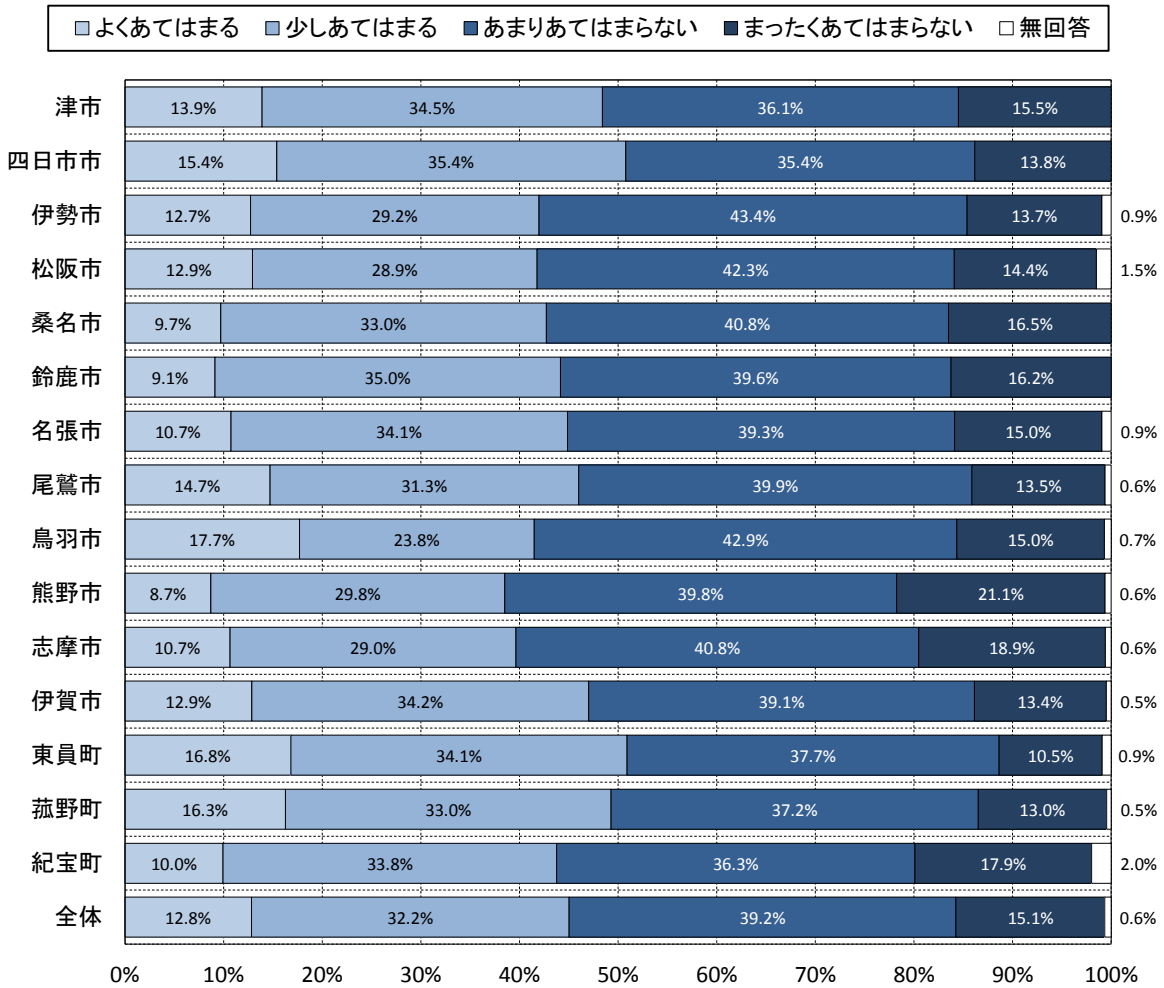


図　5-1-30　「市町別　修理するより買い替える」回答率

③　年代別集計

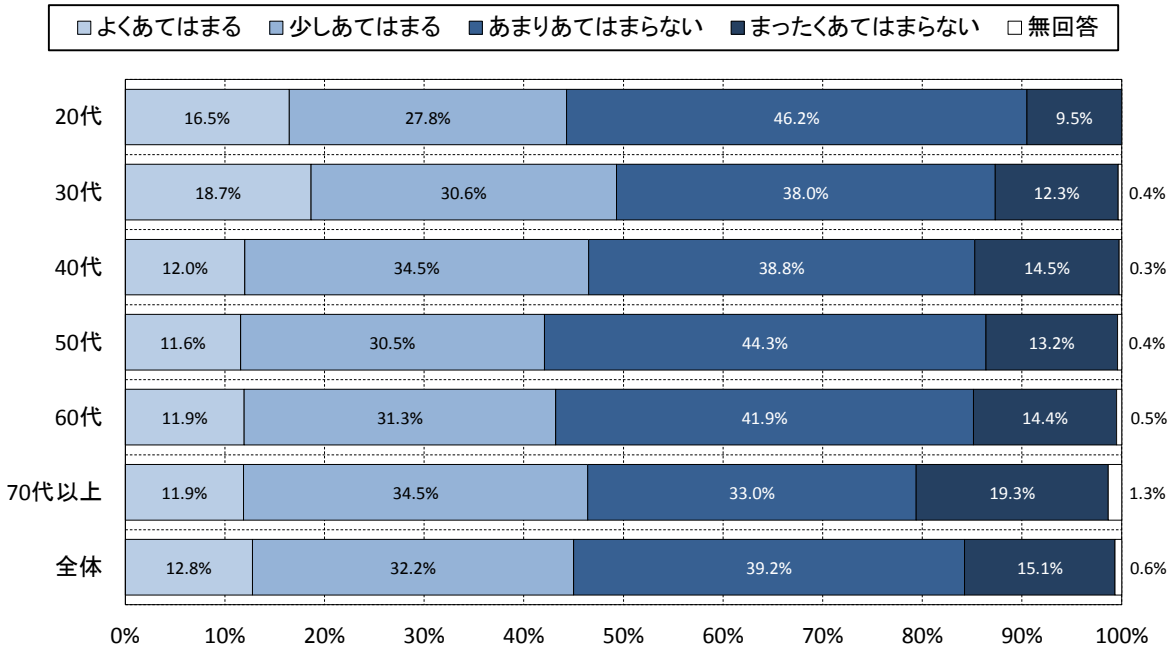


図　5-1-31　「年代別　修理するより買い替える」回答率

④　分別へのかかわり別集計

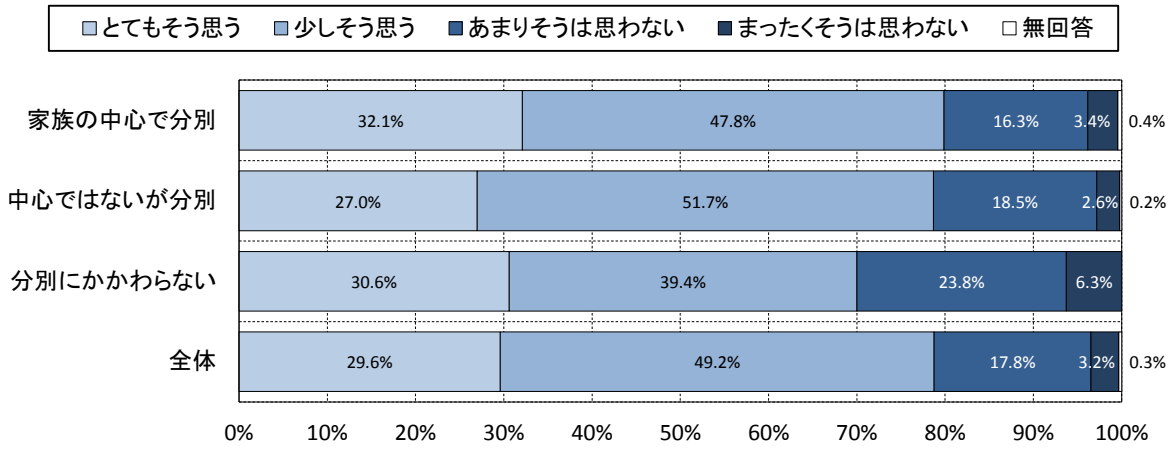


図　5-1-32　「分別行動別　修理するより買い替える」回答率

(3)　お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ。

「環境やごみのことを考えずに商品を選ぶか」という問いに対して、「よくあてはまる」、「少しあてはまる」の計が60.7%となっている。
市町別では、上記の計が53.2%から65.8%で大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が56.8%から74.7%で若い世代ほど高くなっている傾向がみられる。
分別行動別では、上記の計が56.4%から65.2%で大きな偏りはみられない。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくあてはまる	486	16.3%
2	少しあてはまる	1,322	44.4%
3	あまりあてはまらない	916	30.7%
4	まったくあてはまらない	199	6.7%
99	無回答	56	1.9%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-9　「環境を考えずに商品を選ぶ」回答状況

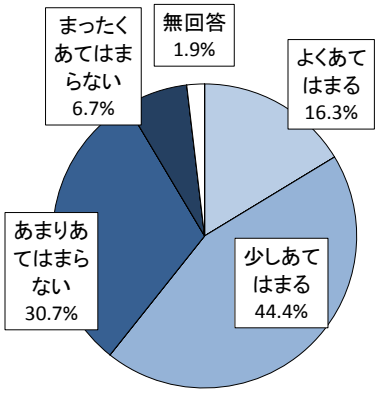


図　5-1-33　「環境等を考えずに商品を選ぶ」回答率

①　市町別集計

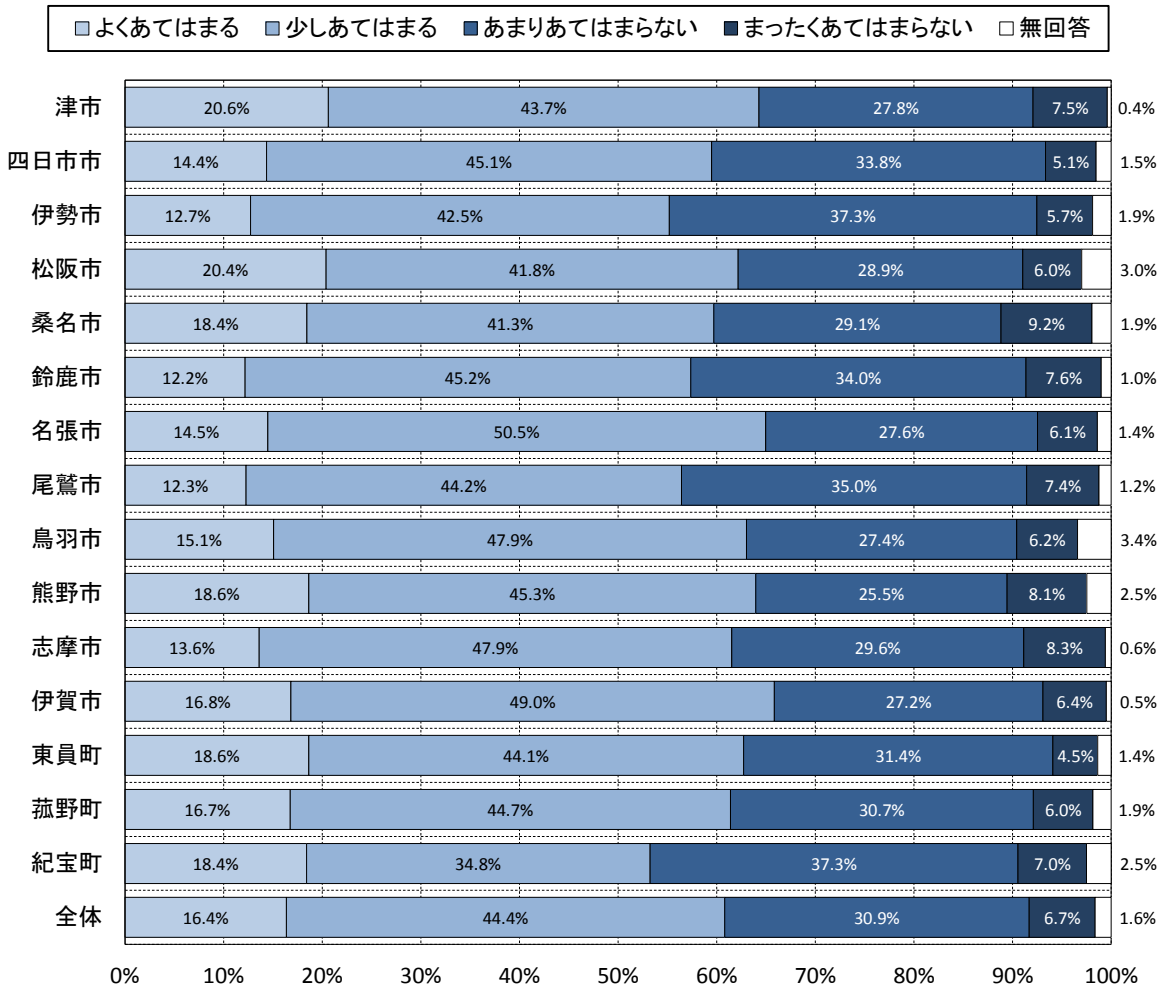


図　5-1-34　「市町別　環境等を考えずに商品を選ぶ」回答率

③　年代別集計

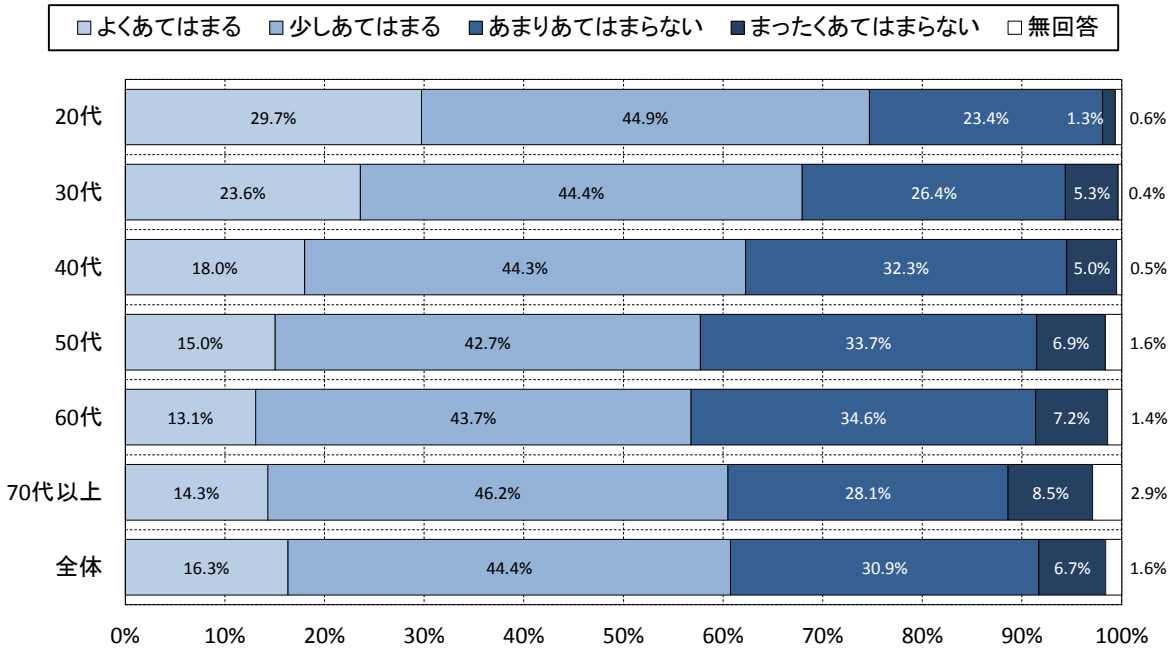


図　5-1-35　「年代別　環境等を考えずに商品を選ぶ」回答率

④　分別へのかかわり別集計

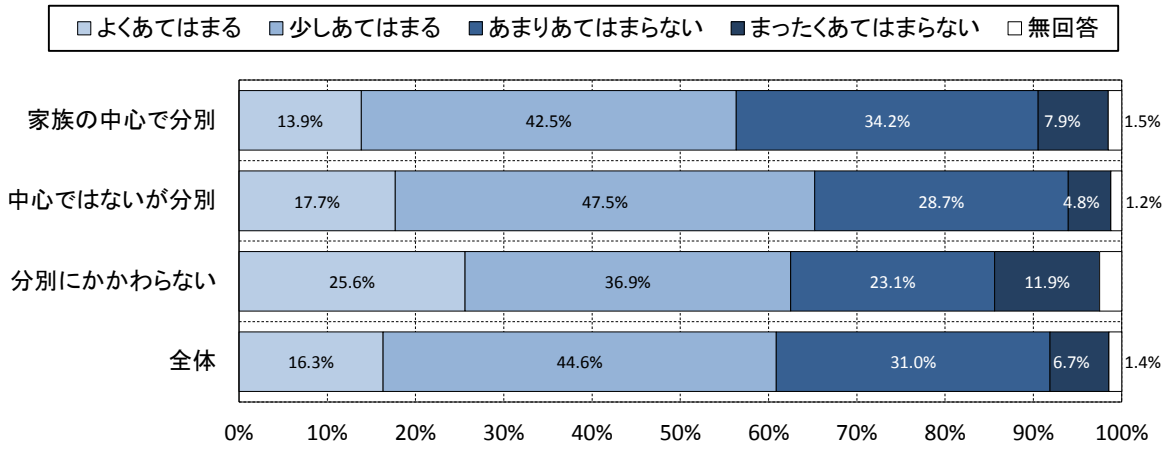


図　5-1-36　「分別行動別　環境等を考えずに商品を選ぶ」回答率

(4)　一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する。

「レンタル品などは使わず、新品を購入するか」については、「よくあてはまる」、「少しあてはまる」の計が54.8%となっている。
市町別では、上記の計が46.6%から60.2%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が51.2%から62%であり、大きな偏りはみられない。しかし、「まったくあてはまらない」の割合が年代が高くなるほど高くなっている。
分別行動別では、上記の計が54%から56.2%であり「ごみの分別にはあまりかかわらない」人ほど「よくあてはまる」割合が高い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくあてはまる	594	19.9%
2	少しあてはまる	1,041	34.9%
3	あまりあてはまらない	859	29.0%
4	まったくあてはまらない	415	13.9%
99	無回答	70	2.3%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-10　「レンタル品などは使わず、新品を購入する」回答状況

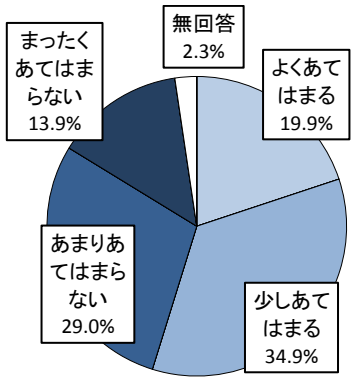


図　5-1-37　「レンタル品などは使わず、新品を購入する」回答率

②　市町別集計

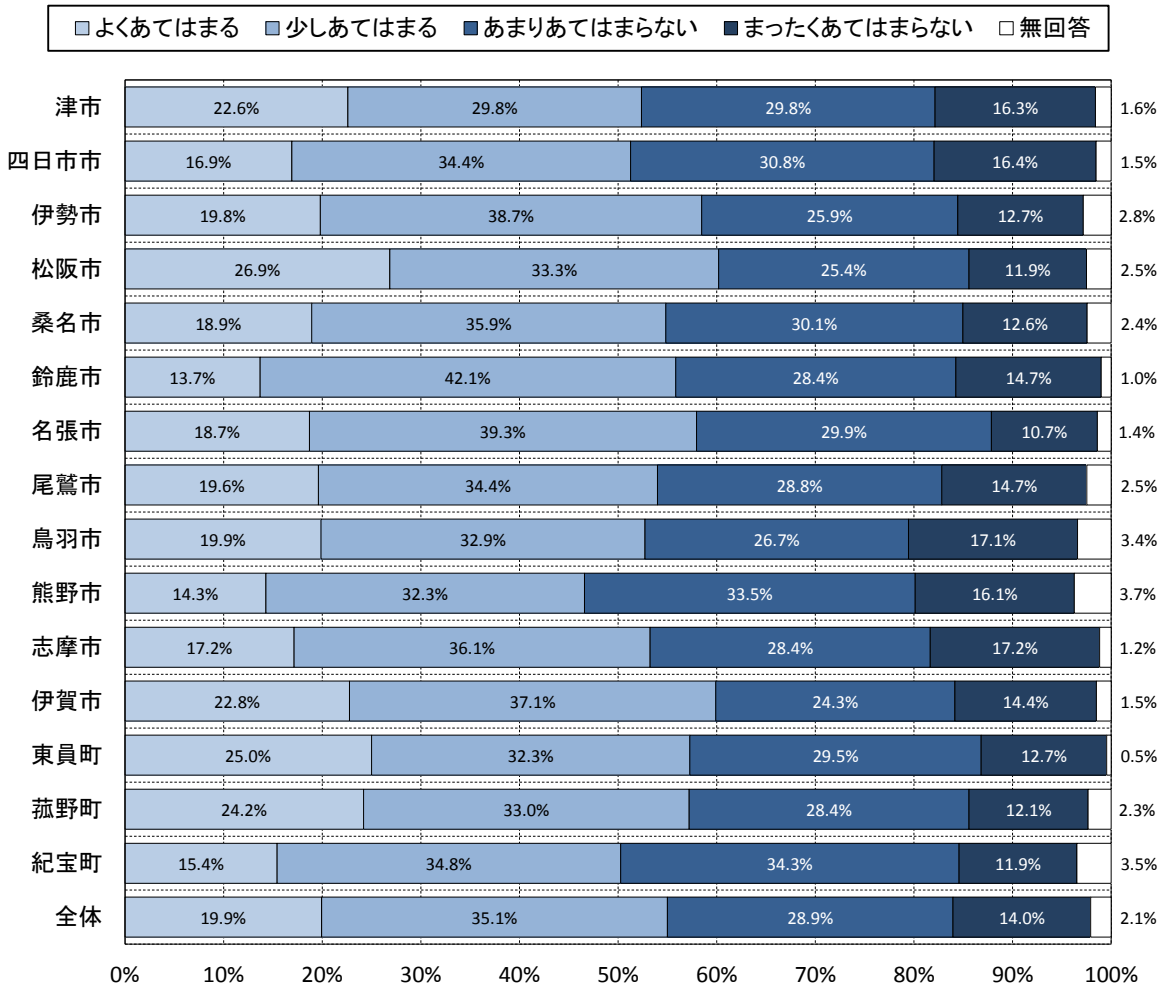


図　5-1-38　「市町別　レンタル品などは使わず、新品を購入する」回答率

③　年代別集計

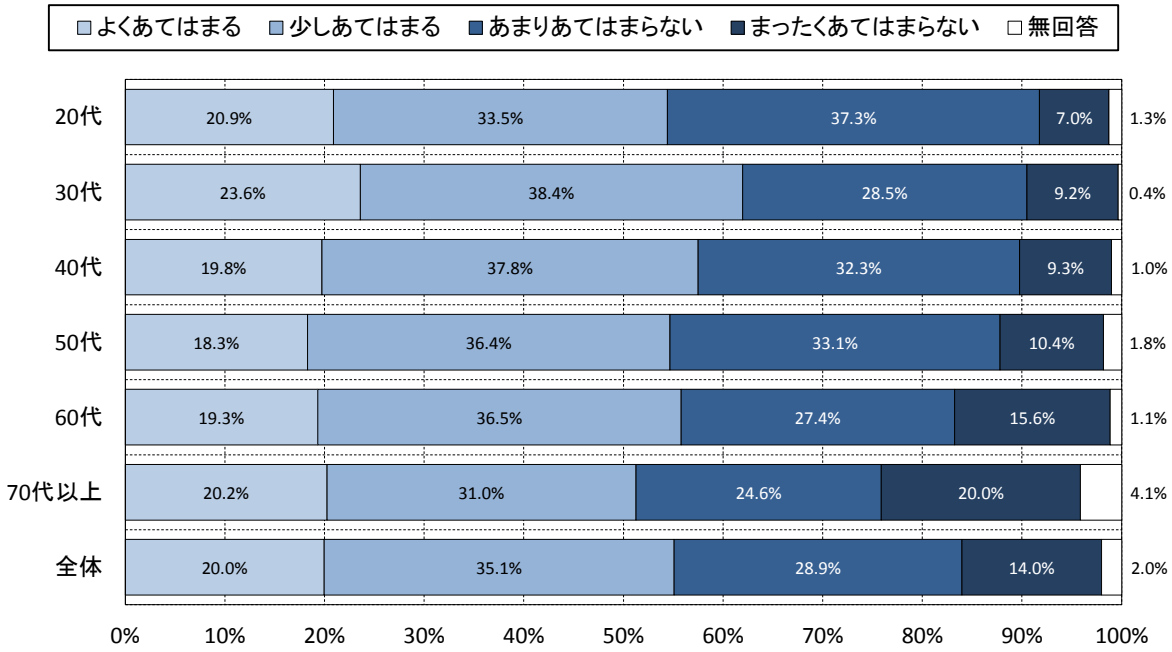


図　5-1-39　「年代別　レンタル品などは使わず、新品を購入する」回答率

④　分別へのかかわり別集計

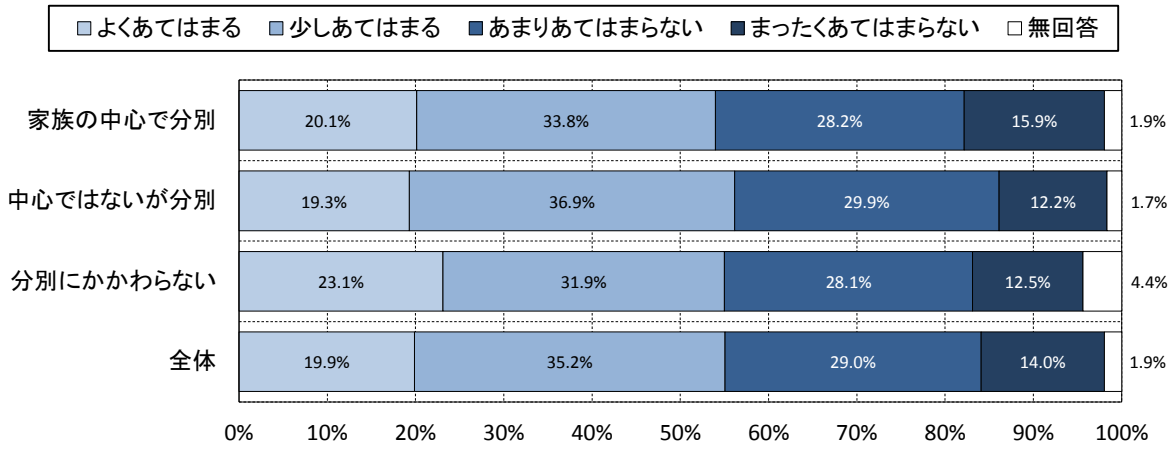


図　5-1-40　「分別行動別　レンタル品などは使わず、新品を購入する」回答率

問13	物を買うときの環境への配慮について、あなたはどう感じていますか？（○は1つ）

「物を買うときの環境への配慮」については、「環境保全のために良いことなので、常に意識している」、「習慣になっており、特に意識することではない」、「店頭に環境配慮の情報が明示されていれば考慮する」の計で75.6%となっている。
市町別では、上記の計が66.7%から83.1%と大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が69.4%から81.9%であり、年代が高いほど「環境保全のために良いことなので、常に意識している」、「習慣になっており、特に意識することではない」が高い傾向となっている。また、「店頭に環境配慮の情報が明示されていれば考慮する」は「70代以上」が一番低い。
分別行動別では、上記の計が51.9%から80.3%であり、ごみの分別にかかわる人ほど高くなっている。また、「手間や時間がかかる・面倒だ」、「わからない」は、「ごみの分別にあまりかかわらない」人が一番高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	環境保全のために良いことなので、常に意識している	423	14.2%
2	習慣になっており、特に意識することではない	596	20.0%
3	店頭に環境配慮の情報が明示されていれば考慮する	1,232	41.4%
4	家計の圧迫につながるので避けたい	192	6.4%
5	手間や時間がかかる・面倒だ	77	2.6%
6	生活の便利さや快適さを損なう	35	1.2%
7	その他	33	1.1%
8	わからない	295	9.9%
99	無回答	96	3.2%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-11　「物を買うときの環境への配慮」回答状況

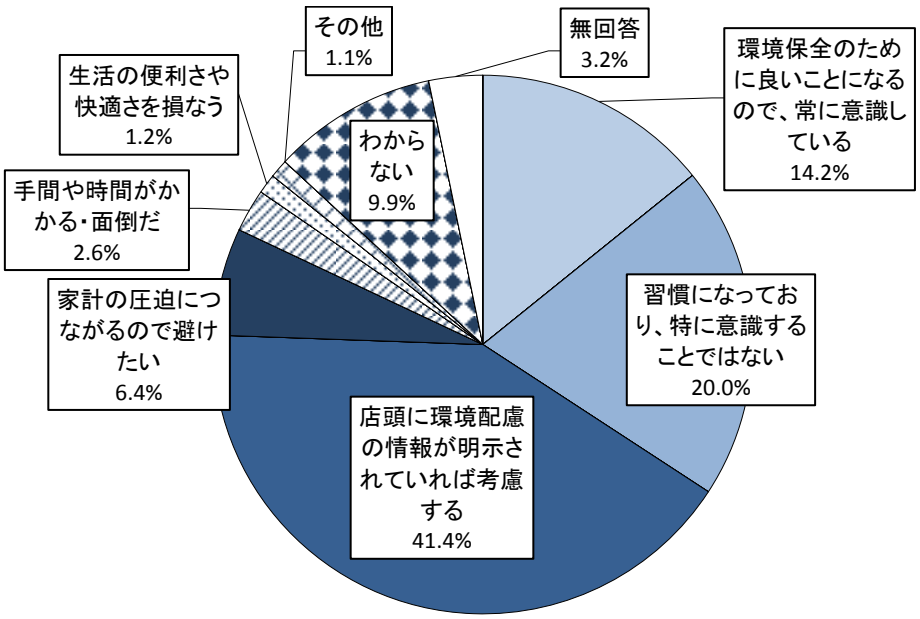


図　5-1-41　「物を買うときの環境への配慮」回答率

② 市町別集計

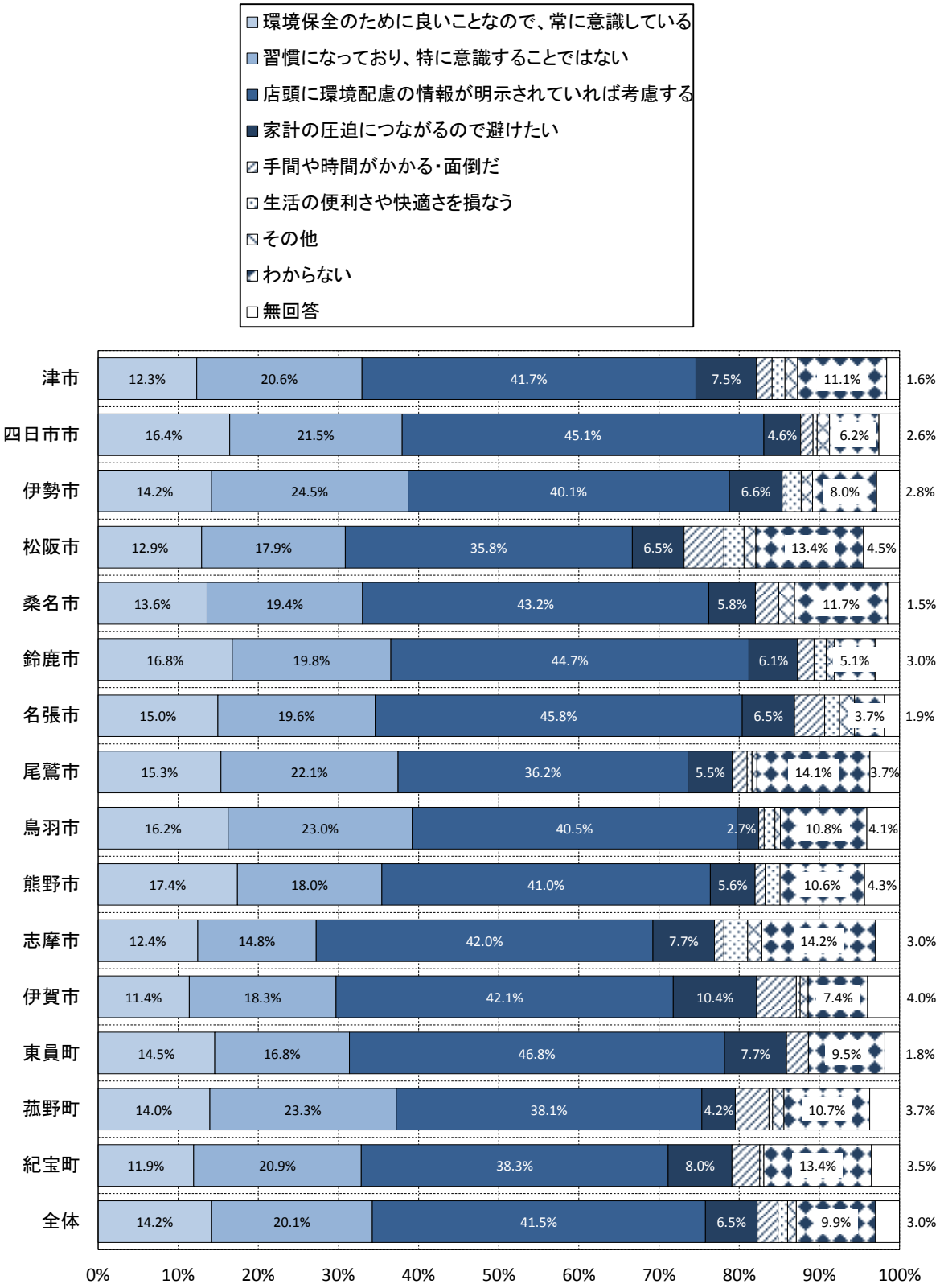


図 5-1-42 「市町別 物を買うときの環境への配慮」回答率

③　年代別集計

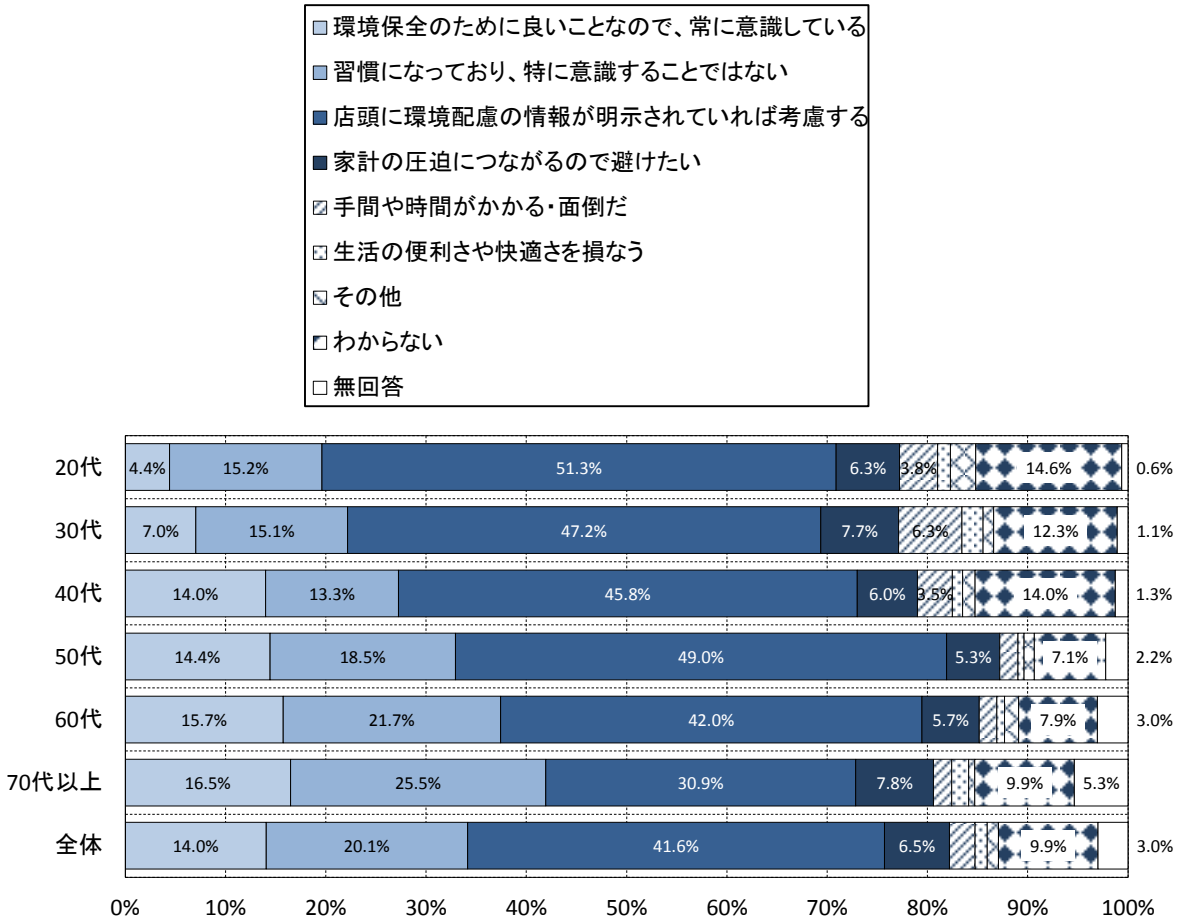


図　5-1-43　「年代別　物を買うときの環境への配慮」回答率

④　分別へのかかわり別集計

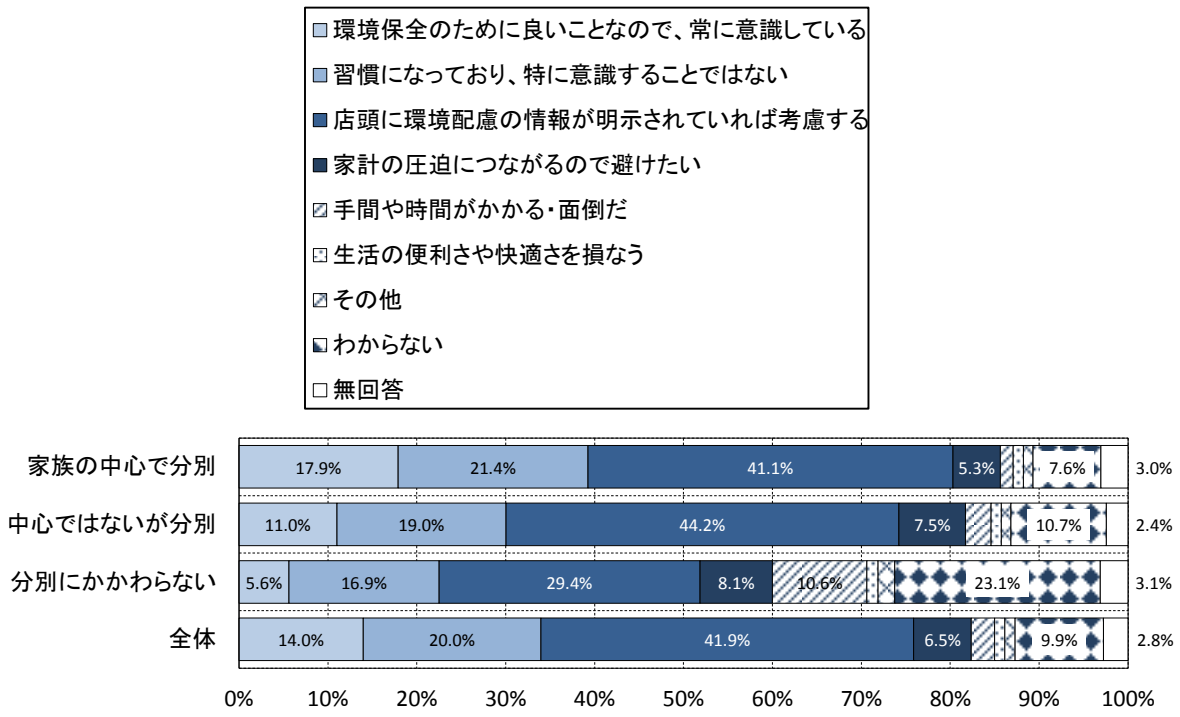


図　5-1-44　「分別行動別　物を買うときの環境への配慮」回答率

問14	食べ物のごみについてお聞きします。（○は1つずつ）

（1） 使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？

「食材を捨ててしまうことがあるか」については、「よくある」、「たまにある」の計が64.2%となっている。全体的に「食材を捨ててしまう」は「たまにある」人の割合が大きい。
市町別では、上記の計が59.5%から70.1%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が66.9%から68.8%であり、年代が高くなるほど低い。
分別行動別では、上記の計が63.1%から65.1%であり、大きな偏りはみられない。
世帯人員別では、上記の計が61.2%から69.9%であり、世帯人数が少なくなるほど低い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくある	377	12.7%
2	たまにある	1,533	51.5%
3	あまりない	628	21.0%
4	ほとんどない	404	13.6%
99	無回答	37	1.2%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-1-12 「食材を捨ててしまうことがある」回答状況

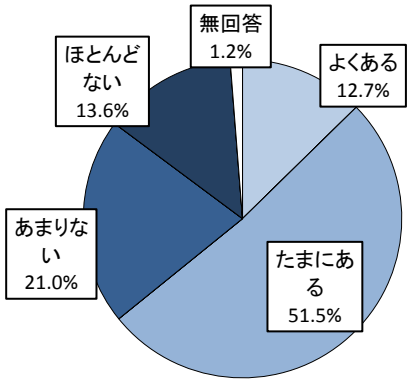


図 5-1-45 「食材を捨ててしまうことがある」回答率

② 市町別集計

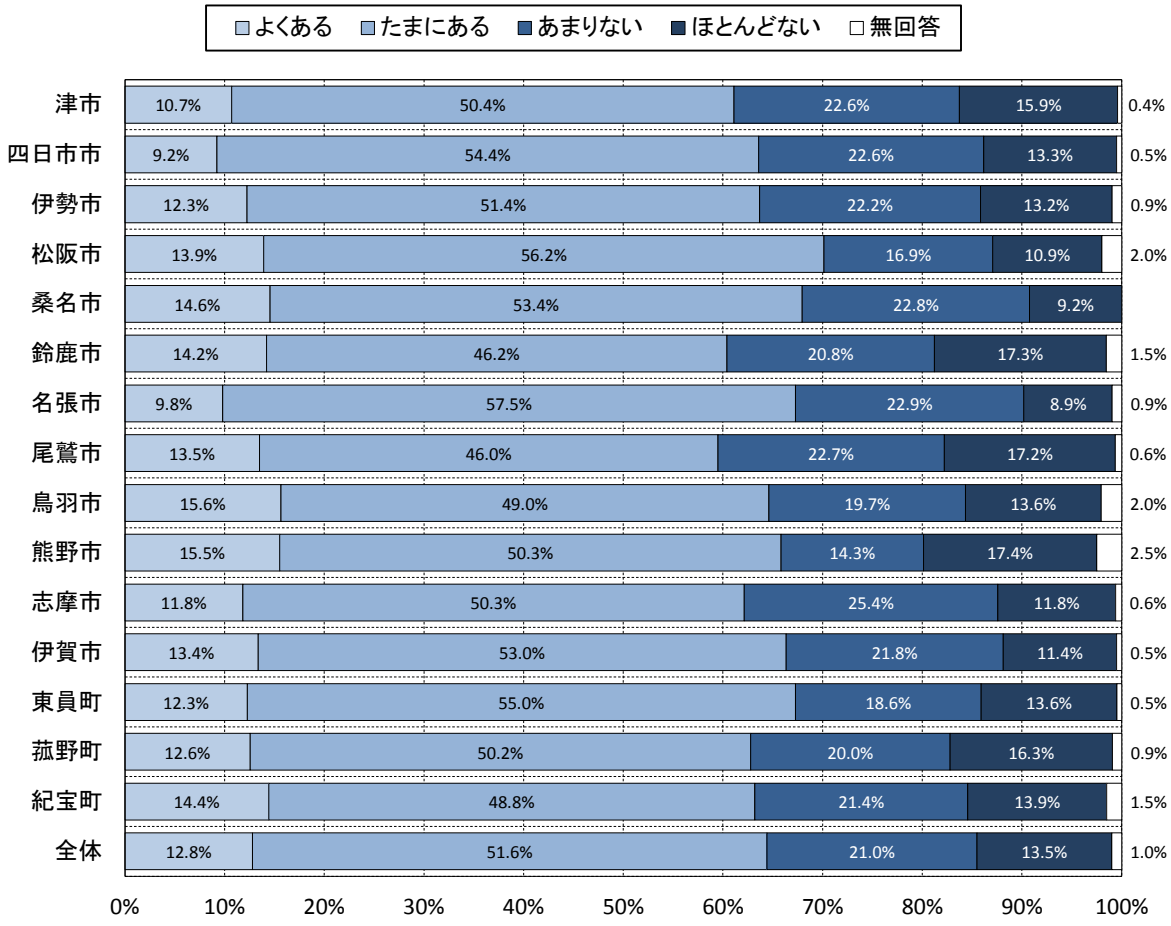


図 5-1-46 「市町別 食材を捨ててしまうことがある」回答率

③　年代別集計

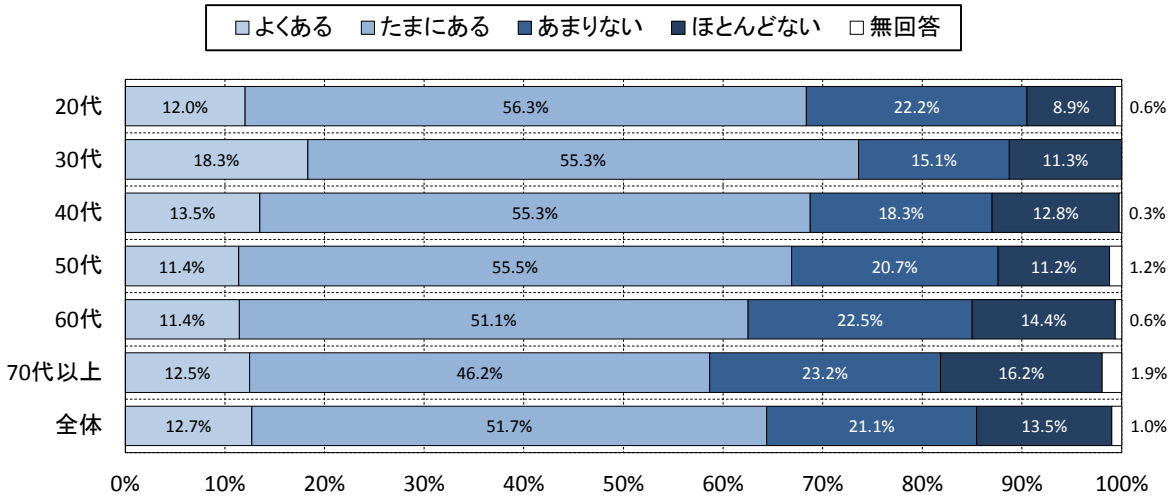


図　5-1-47　「年代別　食材を捨ててしまうことがある」回答率

④　分別へのかかわり別集計

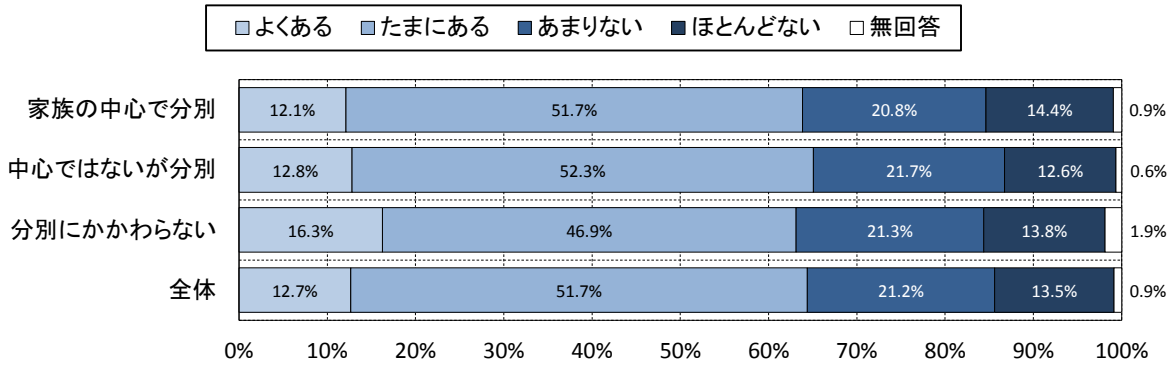


図　5-1-48　「分別活動別　食材を捨ててしまうことがある」回答率

⑤　世帯人員別集計

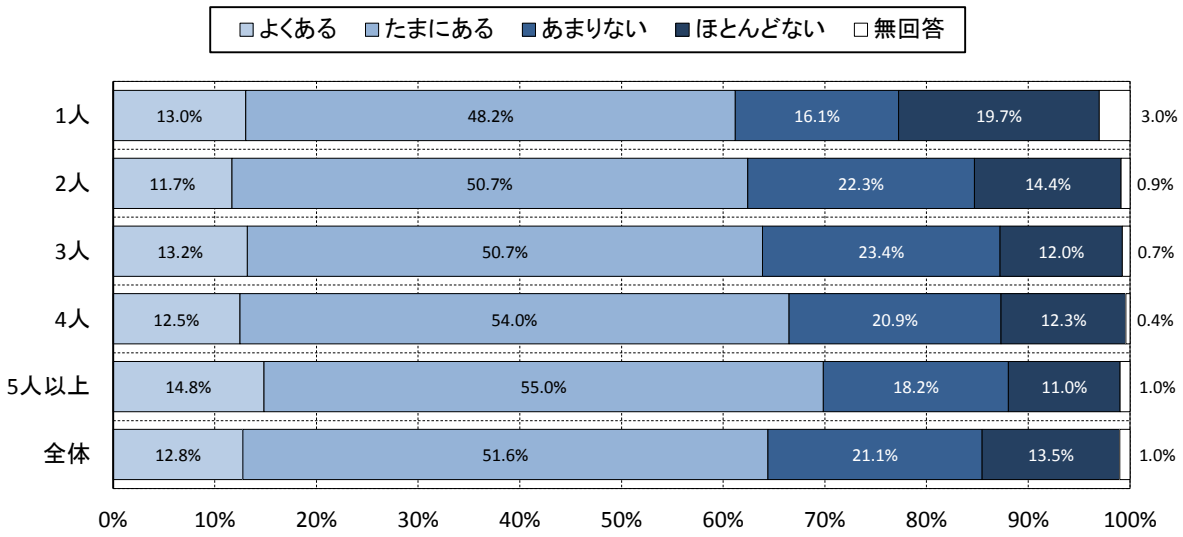


図　5-1-49　「世帯人員別　食材を捨ててしまうことがある」回答率

⑵　食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？

「料理を捨ててしまうことがあるか」については、「よくある」、「たまにある」の計が44.5%となっている。
市町別では、上記の計が39.3%から52.1%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が42.6%から46.4%であり、「20代」は「ほとんどない」が高い。
分別行動別では、上記系が41.1%から48.8%であり、大きな偏りはみられない。
世帯人員別では、上記の計が40.8%から50%であり、人員が多くなるほど高い。
全体的に「料理を捨ててしまうことがある」は、「よくある」の割合は低い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	よくある	207	6.9%
2	たまにある	1,120	37.6%
3	あまりない	887	29.8%
4	ほとんどない	717	24.1%
99	無回答	48	1.6%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-1-13　「料理を捨ててしまうことがある」回答状況

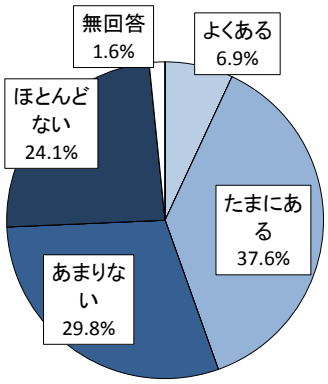


図　5-1-50　「料理を捨ててしまうことがある」　回答率

②　市町別集計

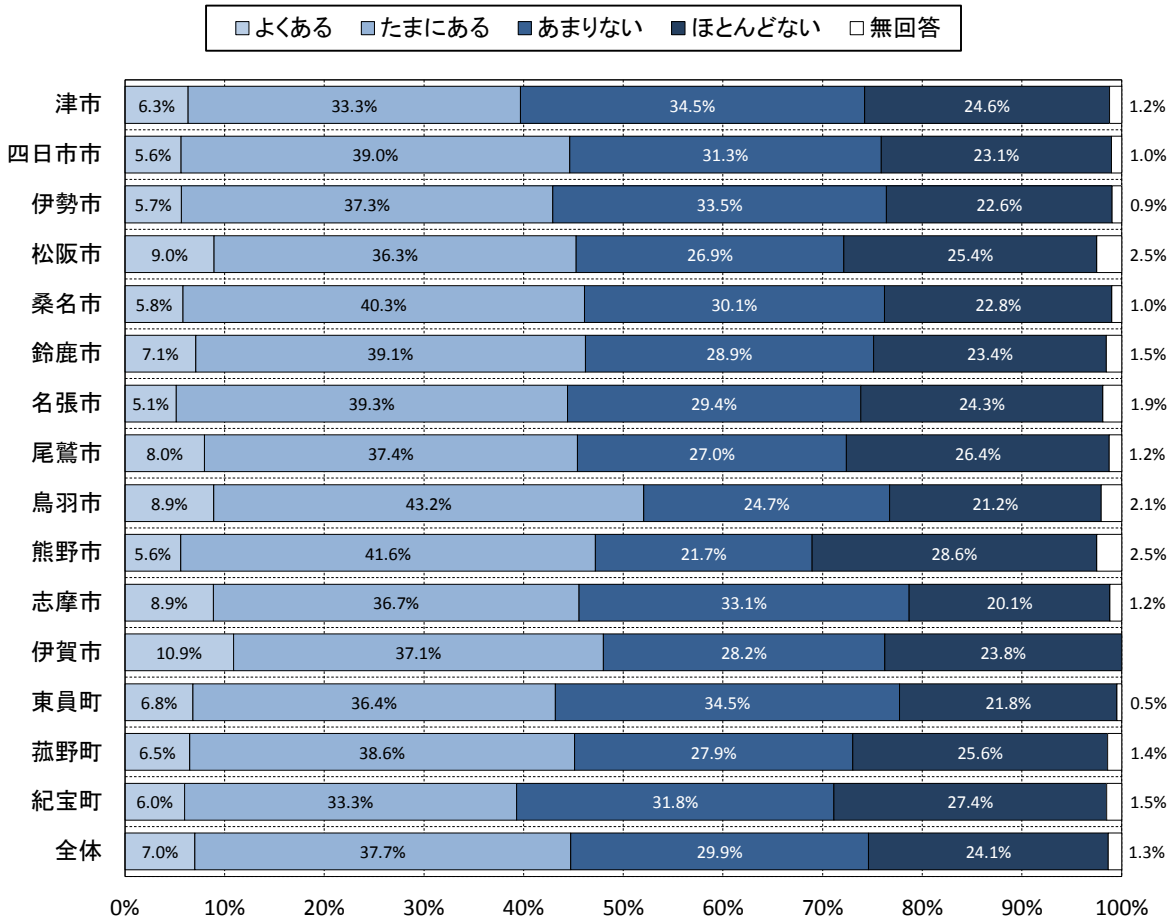


図　5-1-51　「市町別　料理を捨ててしまうことがある」回答率

③　年代別集計

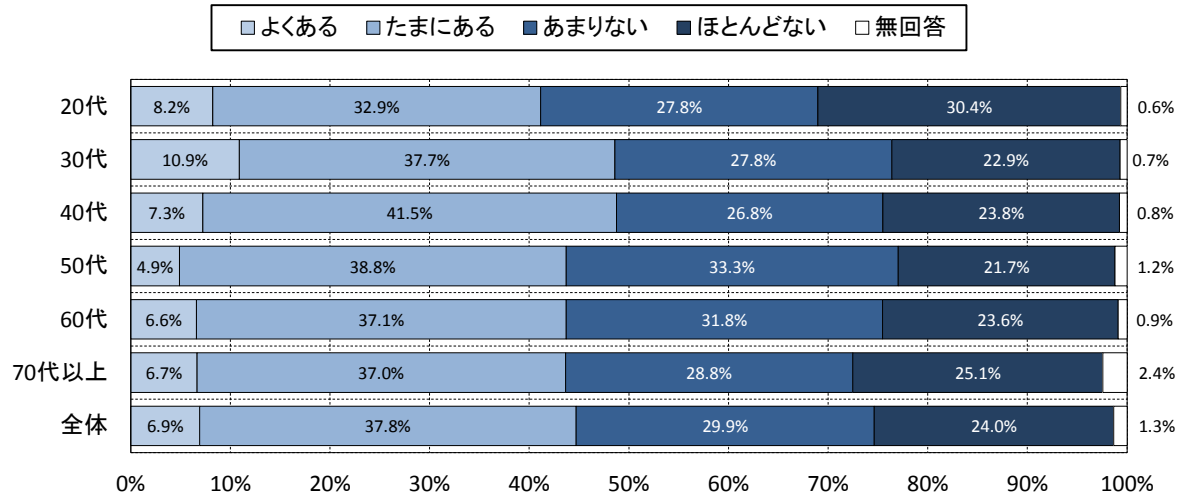


図　5-1-52　「年代別　料理を捨ててしまうことがある」回答率

④　分別へのかかわり別集計

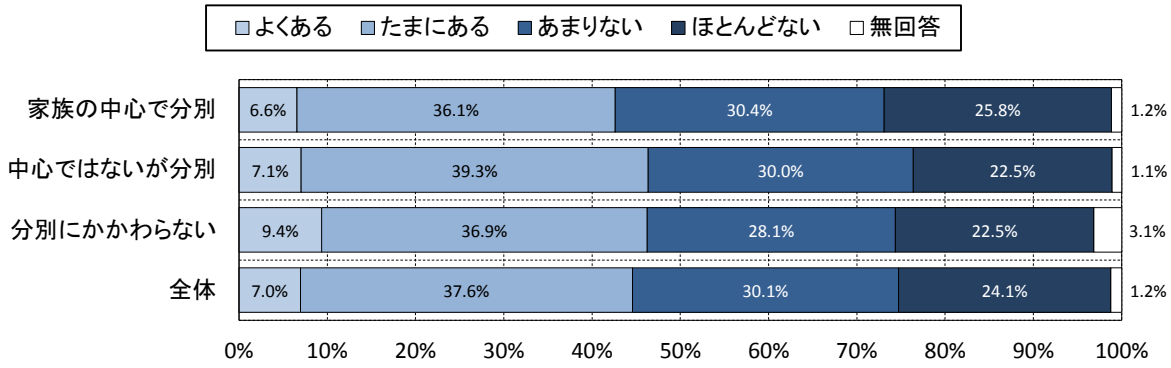


図　5-1-53　「分別行動別　料理を捨ててしまうことがある」回答率

⑤　世帯人員別集計

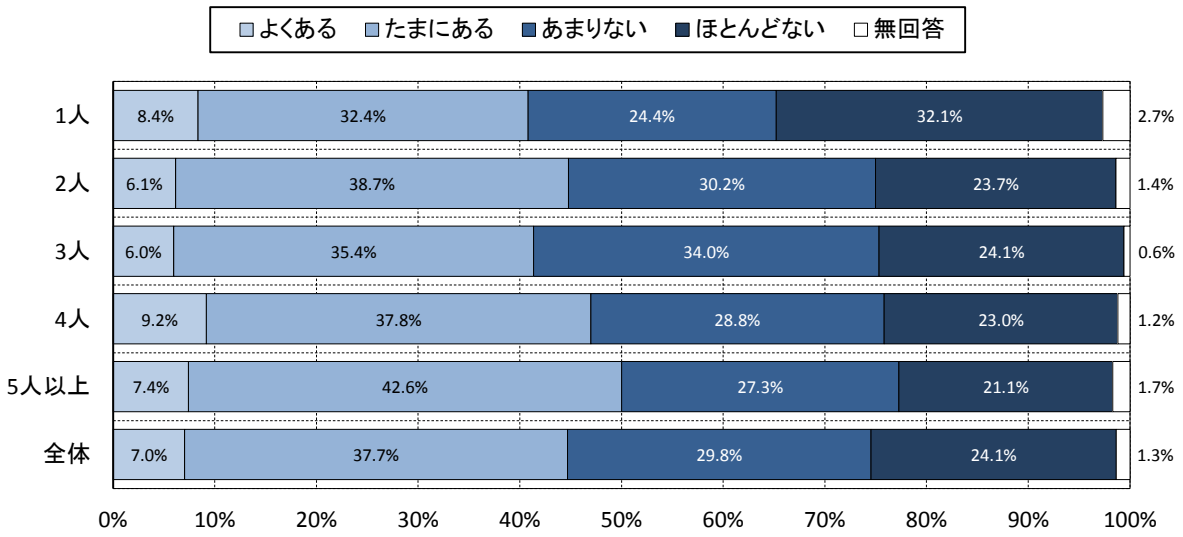


図　5-1-54　「世帯人員別　料理を捨ててしまうことがある」回答率

問15	次のうち、だいたい意味がわかる言葉はどれですか？（あてはまるものすべてに○）

「意味がわかる言葉」については、「マイバッグ」（90.9%）、「レジ袋の有料化」（93.5%）の回答率が90%より大きくなっている。
市町別、年代別についても、「マイバッグ」、「レジ袋の有料化」の割合が高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	循環型社会	1,228	41.2%
2	低炭素社会	541	18.2%
3	ごみゼロ社会	2,188	73.4%
4	リデュース	803	27.0%
5	リユース	1,262	42.4%
6	リサイクル	2,631	88.3%
7	3R（さんアール、スリーアール）	651	21.9%
8	エコライフ	2,075	69.7%
9	スローライフ	1,221	41.0%
10	容器包装リサイクル法	1,764	59.2%
11	家電リサイクル法	2,437	81.8%
12	食品リサイクル法	985	33.1%
13	排出者責任	766	25.7%
14	拡大生産者責任	274	9.2%
15	マイバック	2,708	90.9%
16	レジ袋の有料化	2,785	93.5%
17	ごみの有料化	2,241	75.2%
18	どれも知らない	23	0.8%
総回答数		26,583	892.5%
有効回答数		2,979	－

表　5-1-14　「だいたい意味がわかる言葉」回答状況

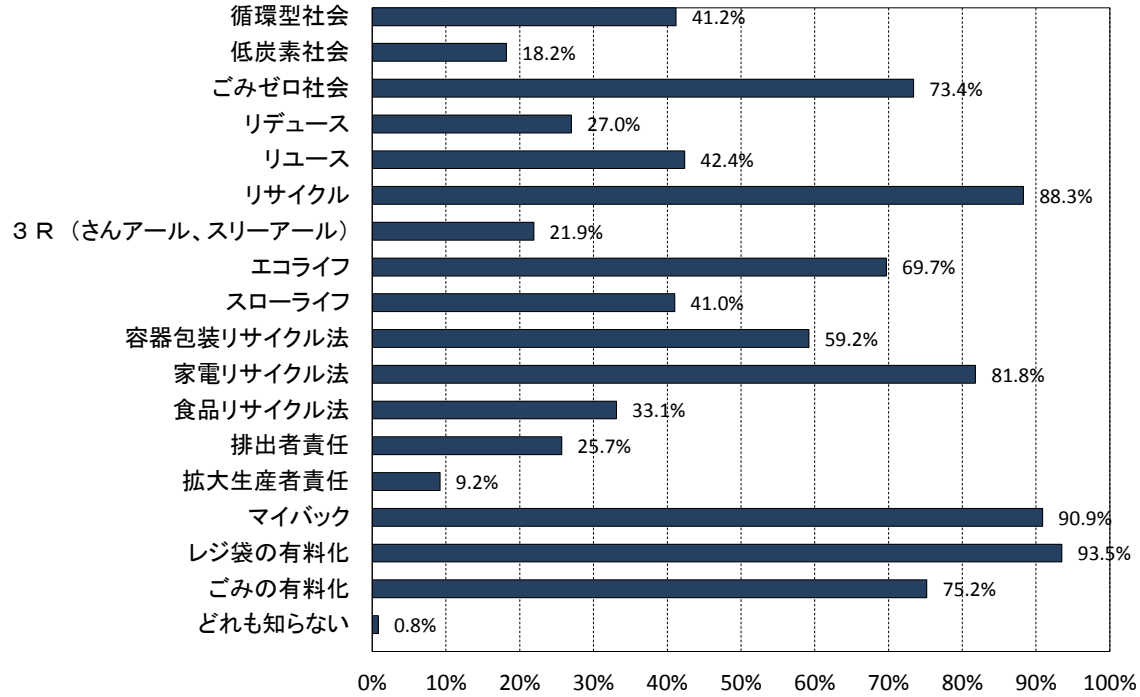


図　5-1-55　「だいたい意味がわかる言葉」回答率

② 市町別集計

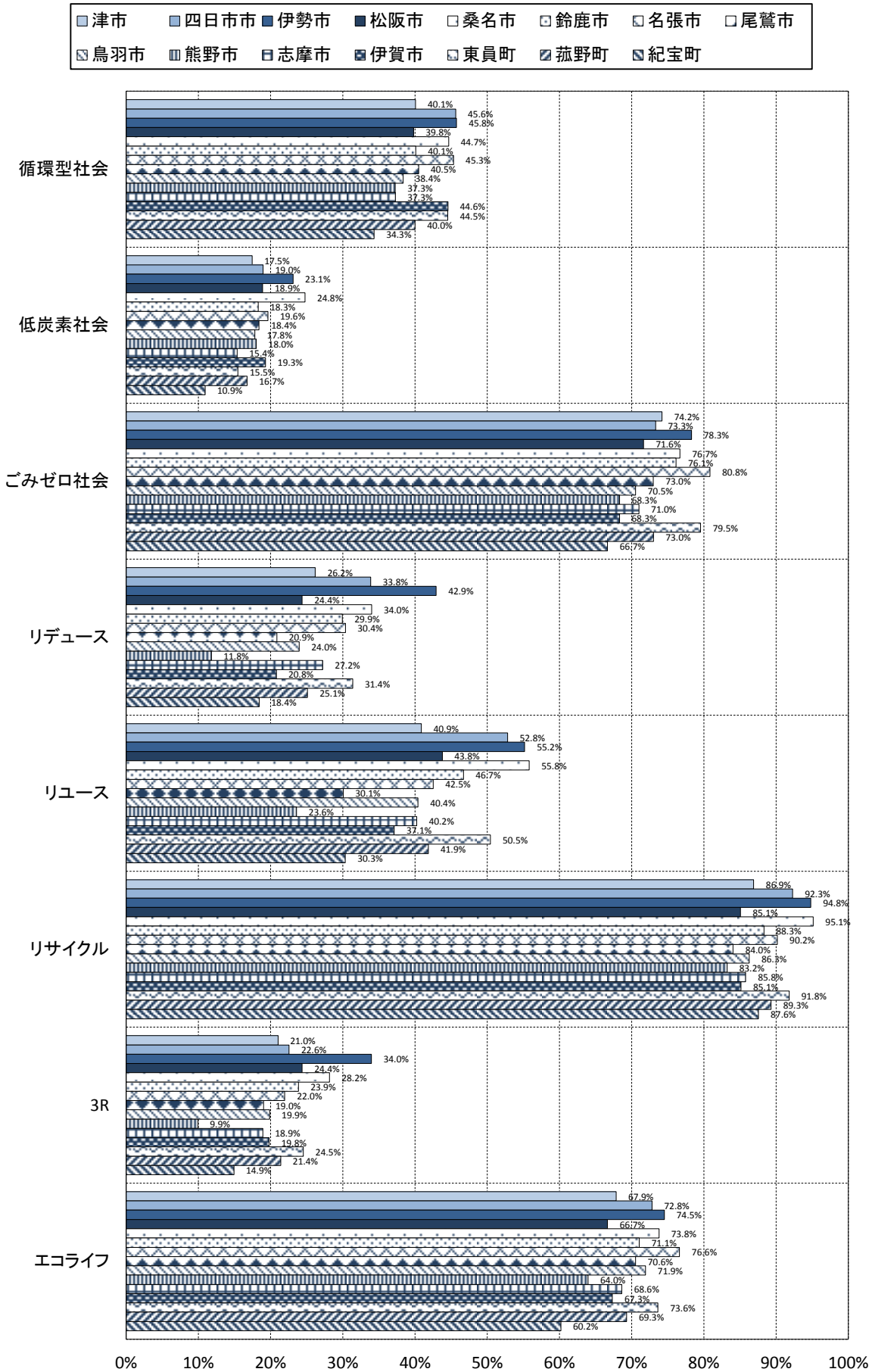


図 5-1-56（1/2） 「市町別 だいたい意味がわかる言葉」回答率

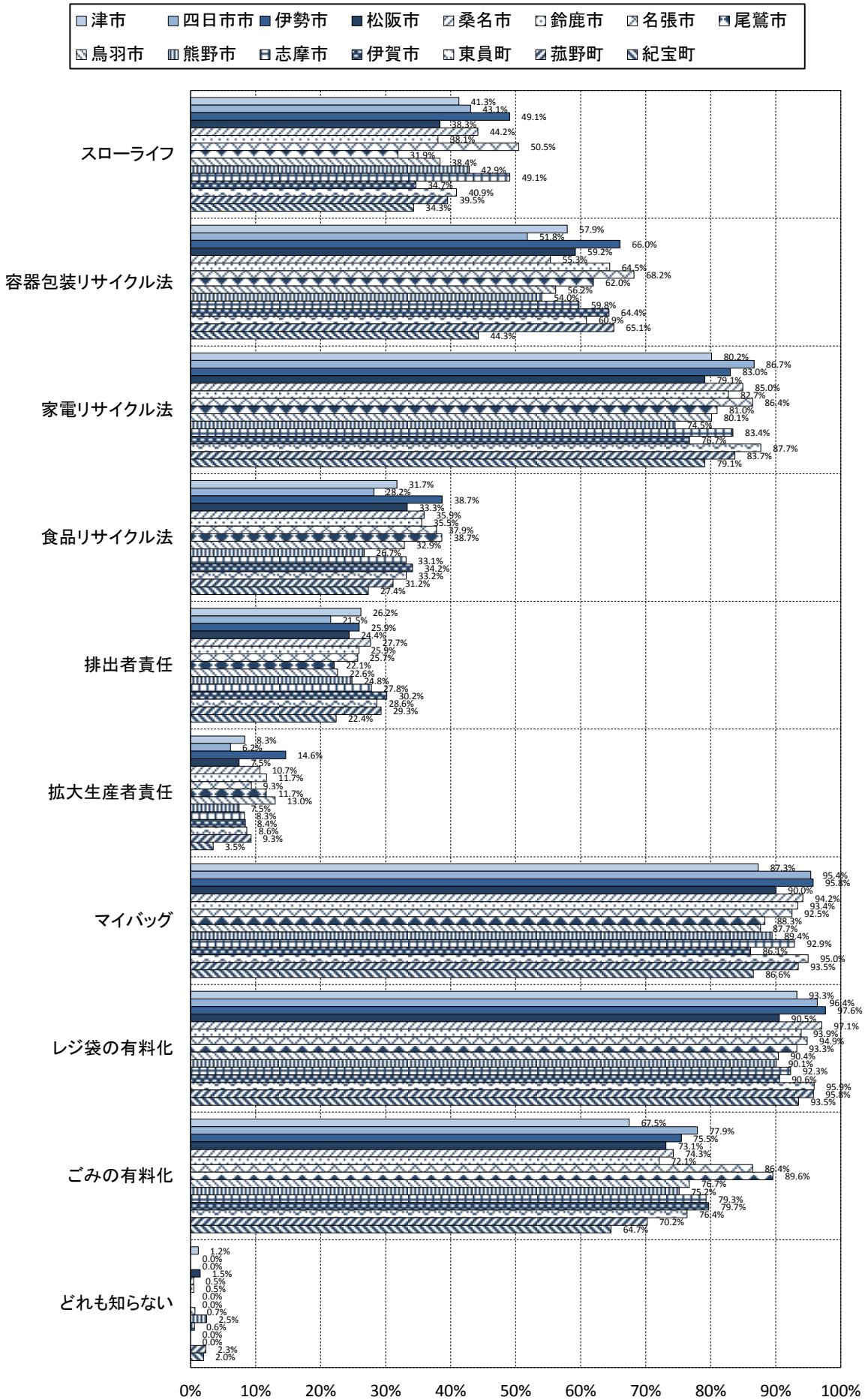


図　5-1-56（2/2）　「市町別　だいたい意味がわかる言葉」回答率

③　年代別集計

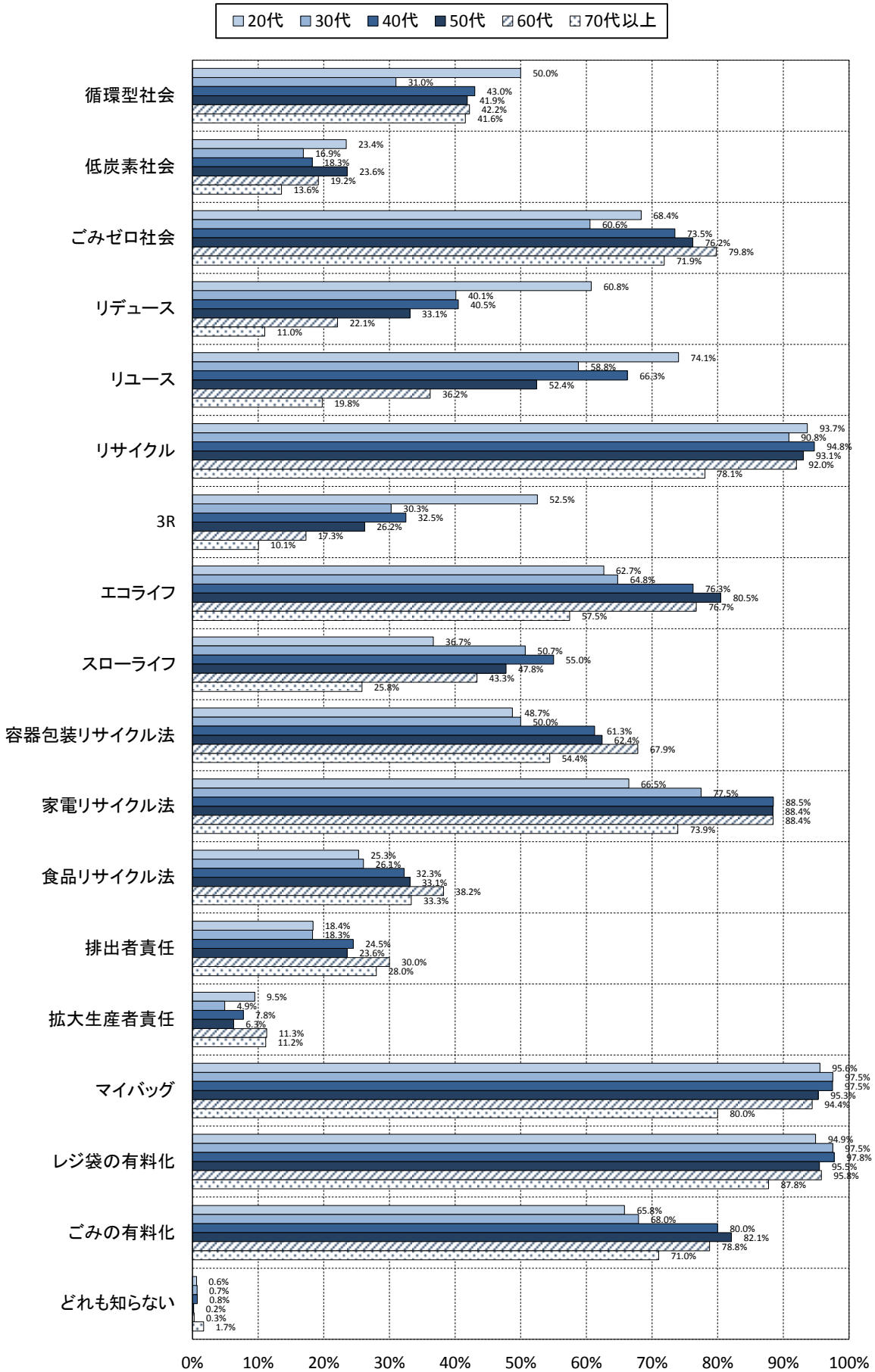


図　5-1-57　「年代別　だいたい意味がわかる言葉」回答率

問16	あなたは、ごみ問題について、どのようなことを知っていますか？ （あてはまるものすべてに○） （複数回答）

「ごみ問題について知っていること」については、「野山や河原などへの不法投棄が大きな社会問題になっている」（77.5%）、「海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている」（70.3%）の回答率が70%より高くなっている。
市町別にみると、これら2つの選択肢はいずれも回答率が高い。しかし、「ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設することには反対すると考えている人が多い」については、一番高い名張市で75.2%に対し、紀宝町では57.7%、また「ごみの最終処分場の容量が残り少なくなってきている」では、一番高い四日市、東員町でともに60%に対し、一番低い紀宝町では37.3%と大きな差がみられる。
年代別については、いずれの選択肢についても「50代」、「60代」が高い。
分別行動別については、いずれの選択肢についても、ごみの分別に関わっている人は高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみの最終処分場の容量が残り少なくなってきている	1,484	49.8%
2	ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設 することは反対すると考えている人が多い	1,999	67.1%
3	規制の強化によりダイオキシン類の排出量が大幅に削減されている	1,203	40.4%
4	野山や河原などへの不法投棄が大きな社会問題になっている	2,310	77.5%
5	私有地に廃タイヤやパチンコ台などが将来 リサイクルするとの名目で、放置されている	915	30.7%
6	海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が 損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている	2,095	70.3%
7	稲わらや間伐材など、資源として利用できる ものを活かしきっていないものがある	1,037	34.8%
8	テレビやパソコンなどの身近な使用済み家電が海外へ輸出され、 その一部が不適正に処理されていることによる環境汚染が生じている	1,050	35.2%
9	その他	35	1.2%
10	特に知っているものはない	154	5.2%
総回答数		12,282	412.2%
有効回答数		2,979	－

表 5-1-15 「ごみ問題について知っていること」回答状況

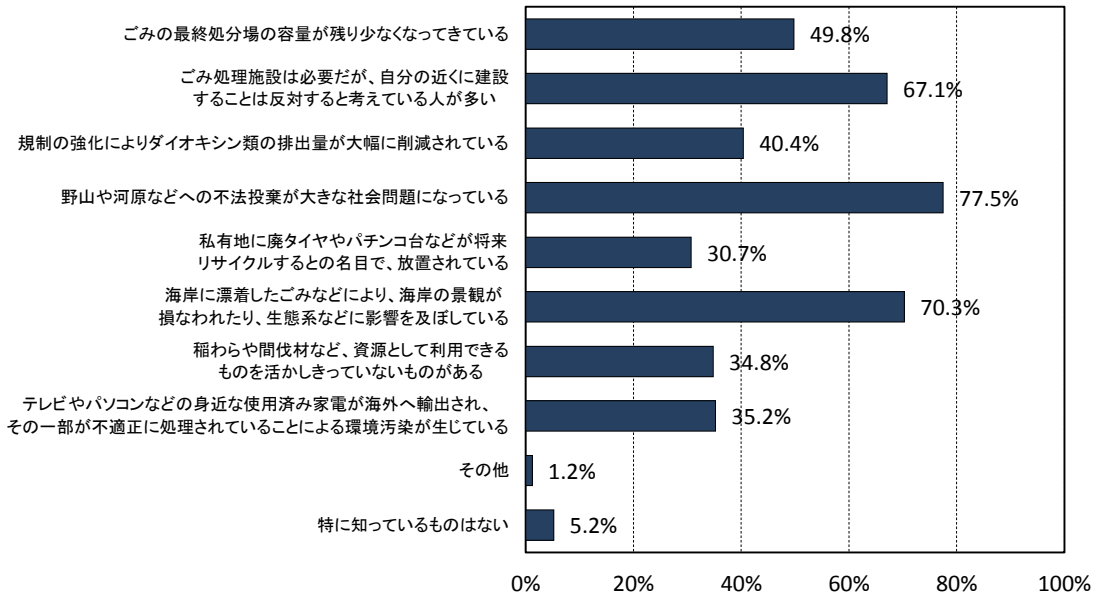


図 5-1-58 「ごみ問題について知っていること」回答率

② 市町別集計

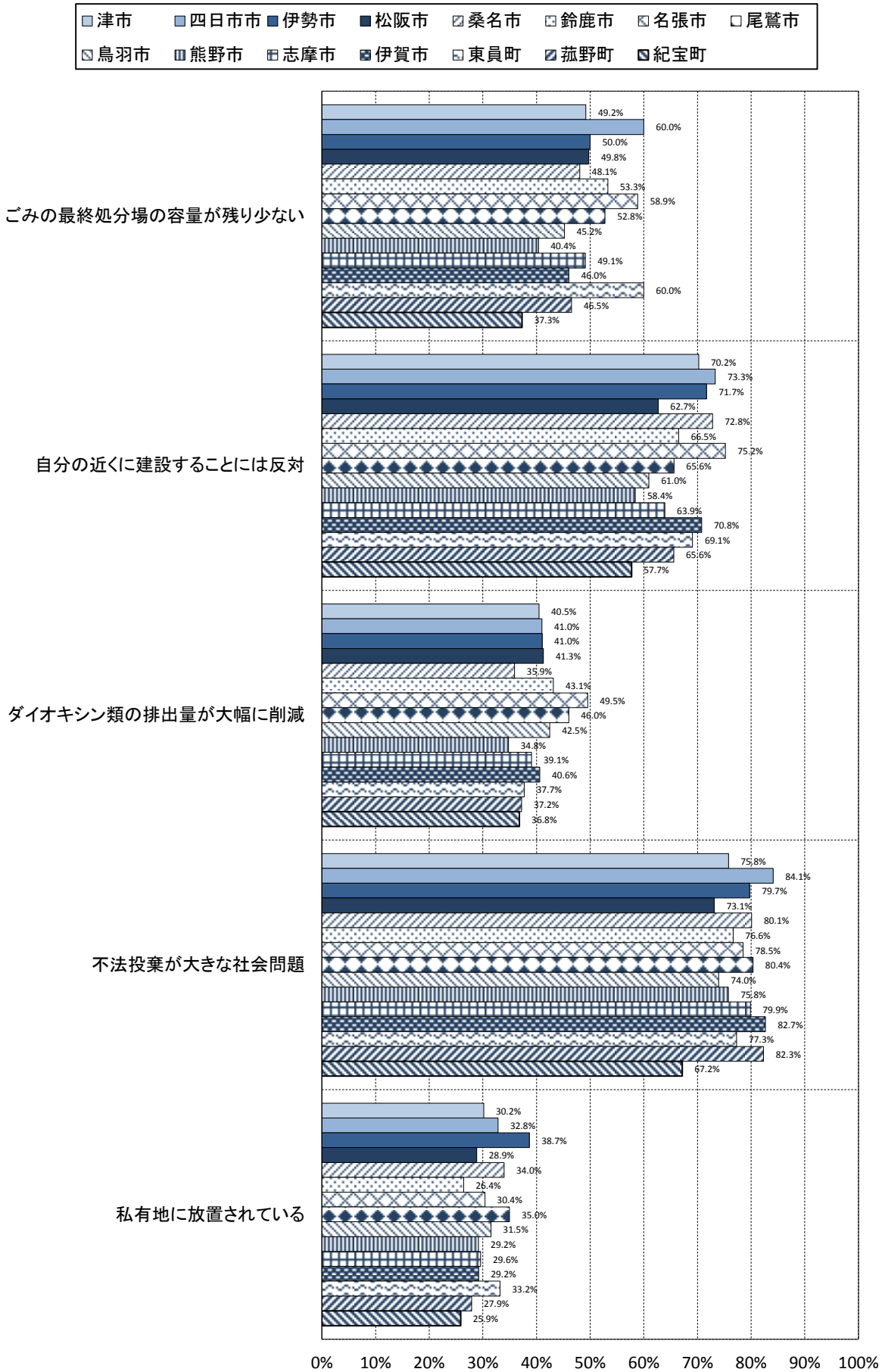


図 5-1-59（1/2） 「市町別 ごみ問題について知っていること」回答率

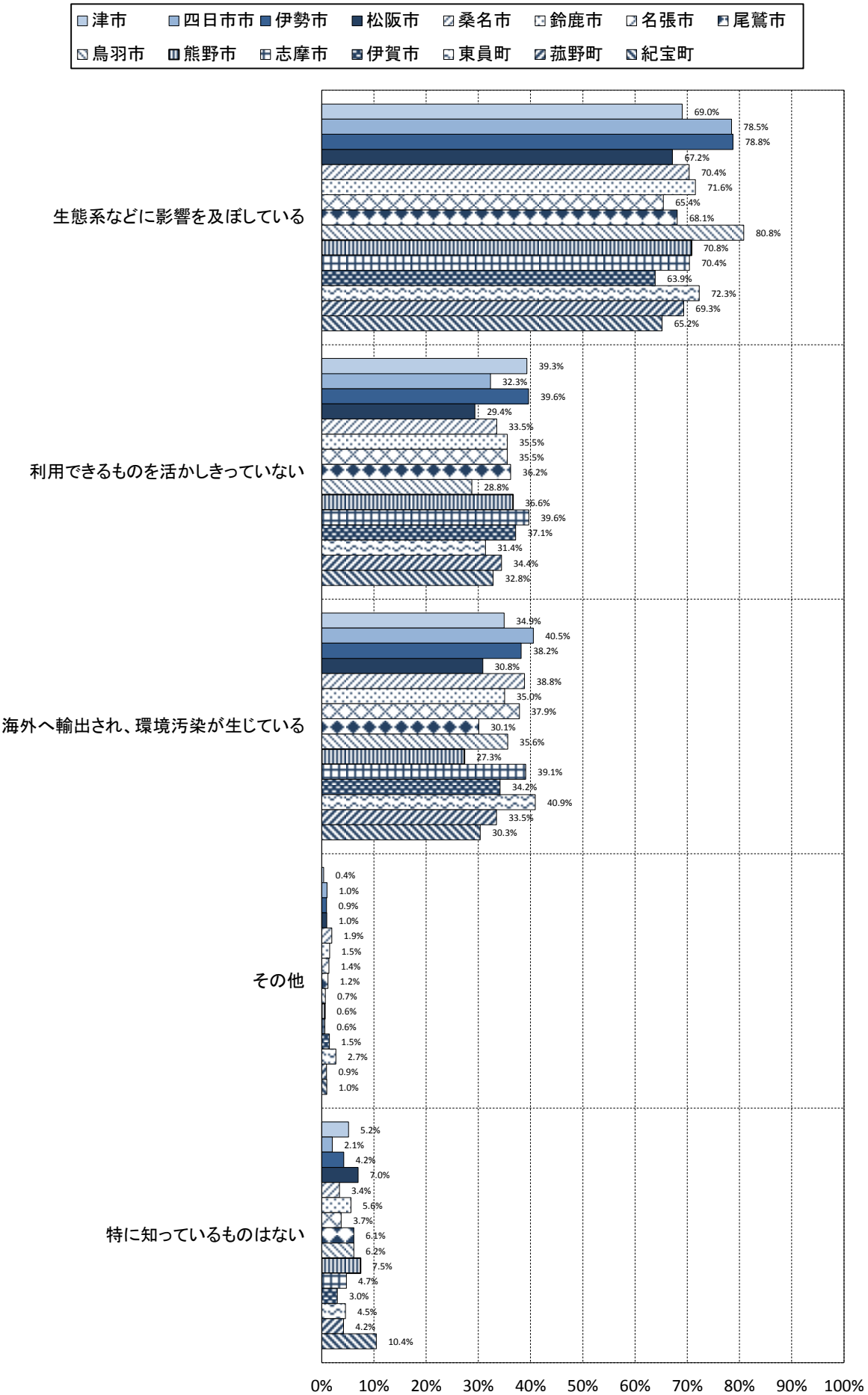


図　5-1-59（2/2）　「市町別　ごみ問題について知っていること」回答率

③　年代別集計

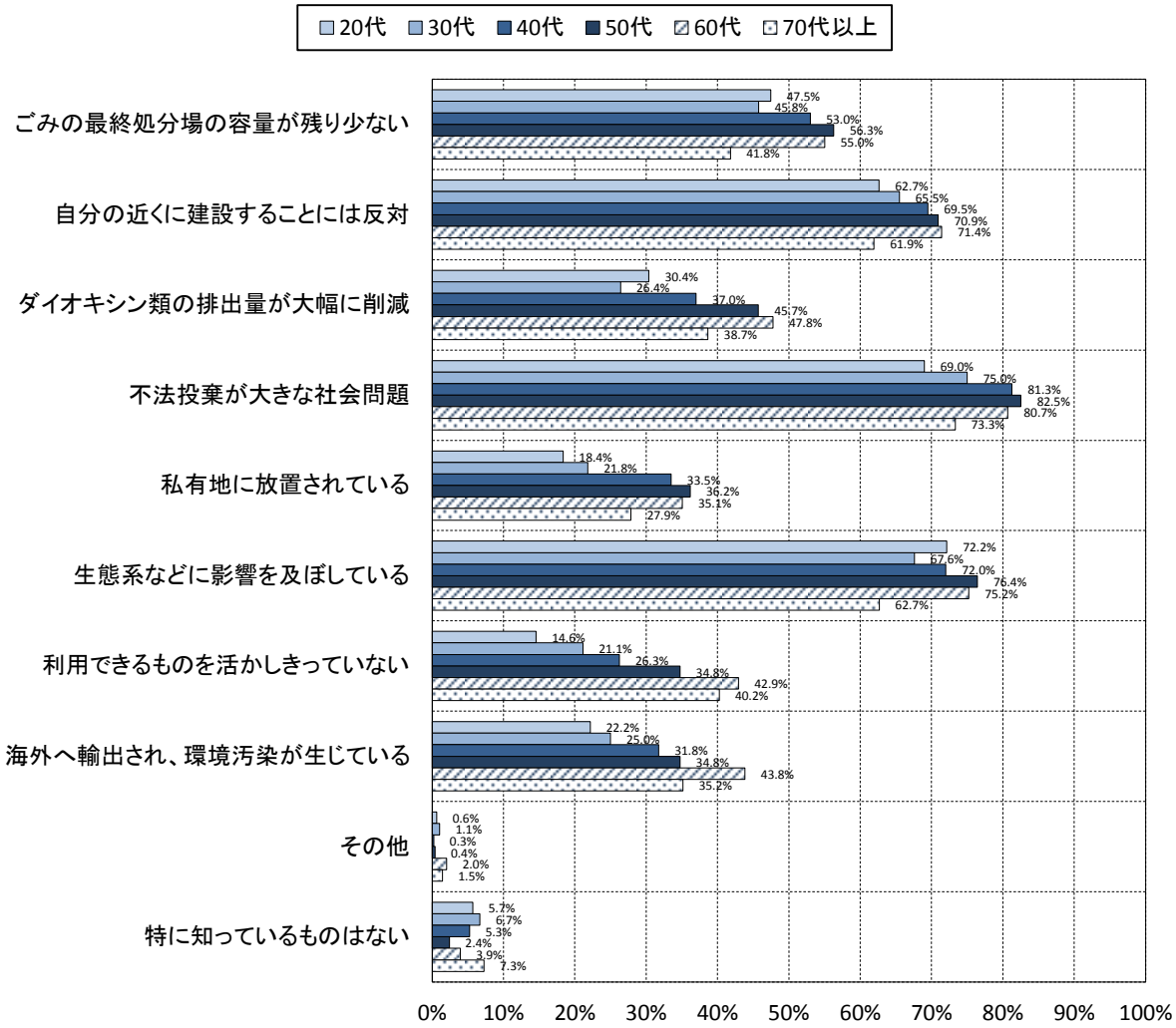


図　5-1-60　「年代別　ごみ問題について知っていること」回答率

④　分別へのかかわり別集計

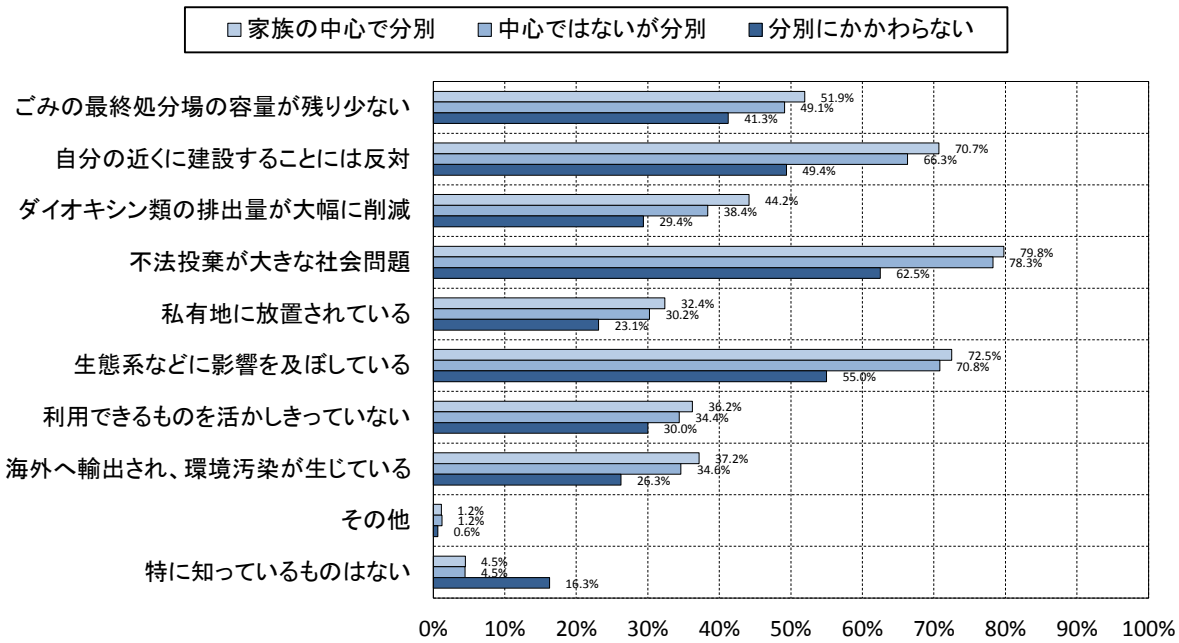


図　5-1-61　「分別行動別　ごみ問題について知っていること」回答率

問17	使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどう感じていますか？（○は1つ）

「使い捨て商品があふれる現代の社会をどう感じているか」に対し、「どちらかというと、将来のことを考えると『このままでいいのか』という疑問を感じる」が80.4%となっている。
市町別では、上記が71.6%から86.2%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記が72.8%から84.1%であり、大きな偏りはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	どちらかというと、便利で暮らしやすく、特に疑問は感じていない	210	7.0%
2	どちらかというと、将来のことを考えると「このままでいいのか」という疑問を感じる	2,396	80.4%
3	よくわからない	302	10.1%
99	無回答	71	2.5%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-1-16 「使い捨て商品があふれる現代の社会をどう感じているか」回答状況

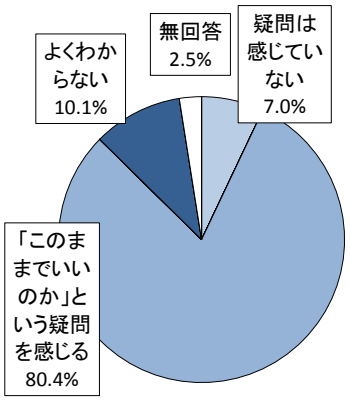


図 5-1-62 「使い捨て商品があふれる現代の社会をどう感じているか」回答率

② 市町別集計

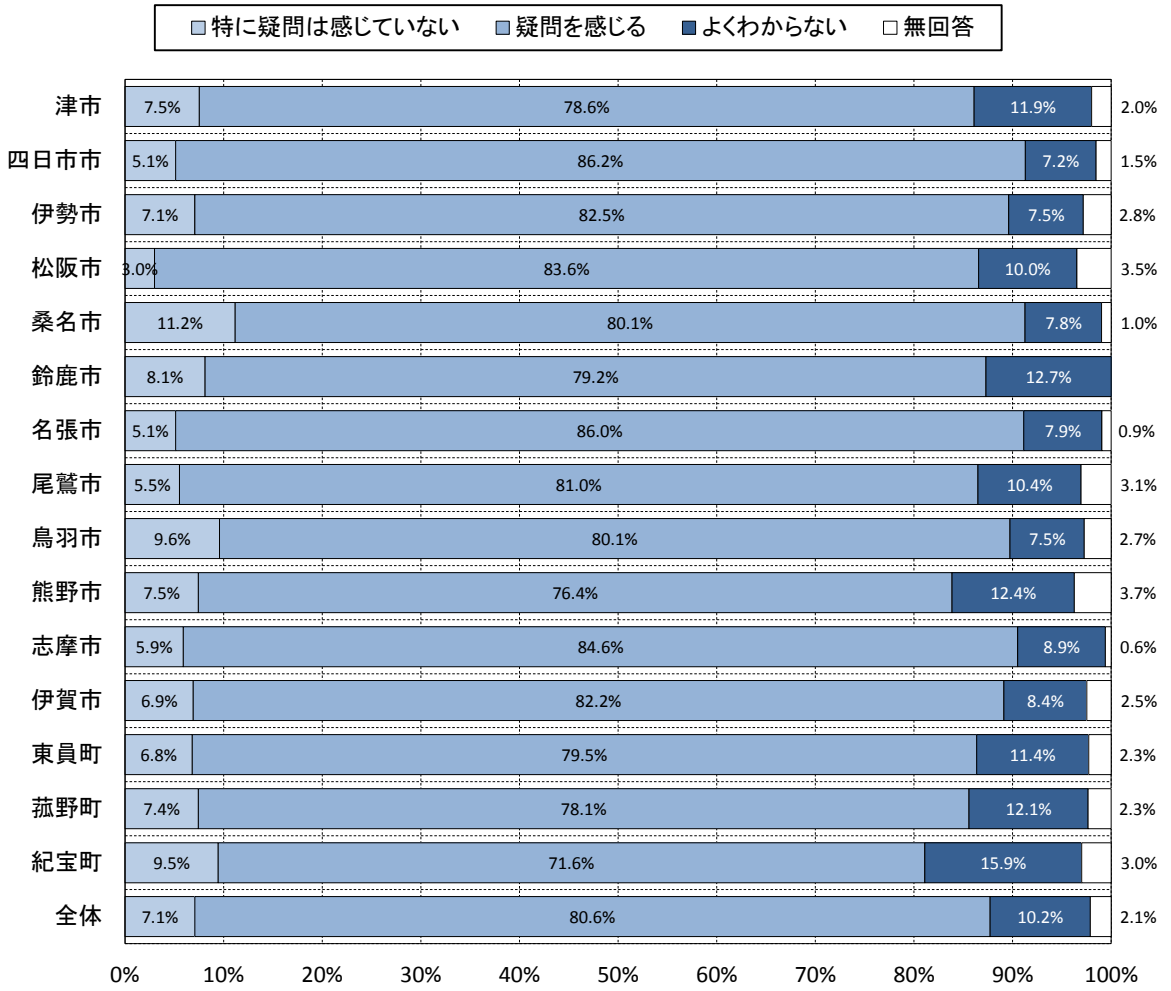


図 5-1-63 「市町別 使い捨て商品があふれる現代の社会をどう感じているか」回答率

③ 年代別集計

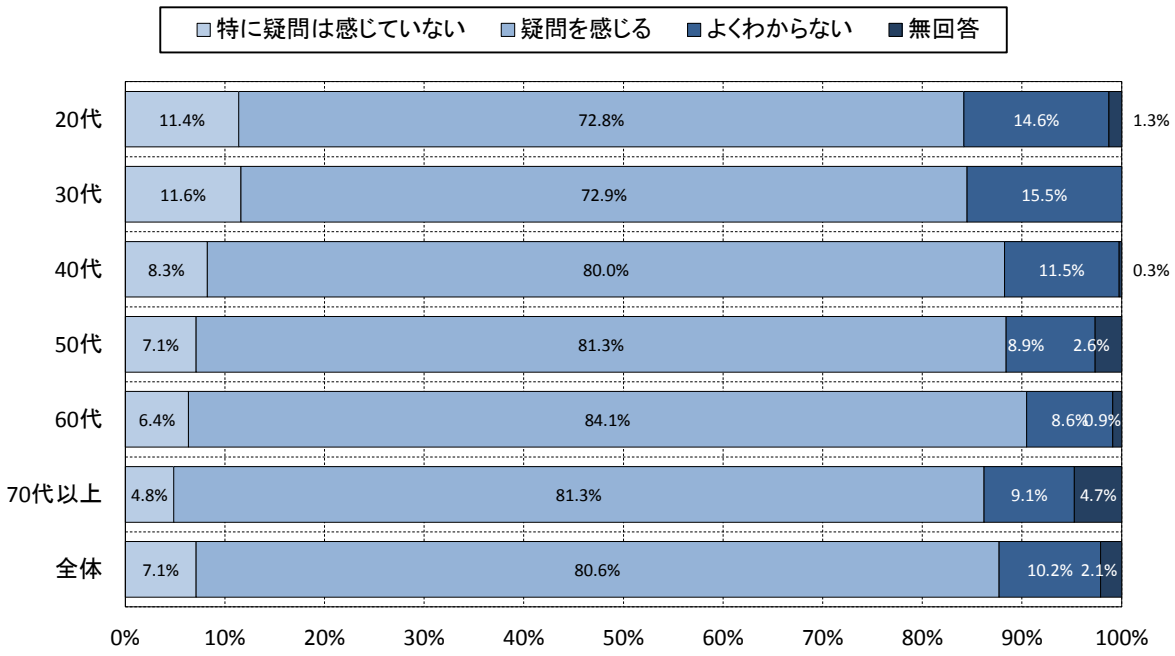


図 5-1-64 「年代別 使い捨て商品があふれる現代の社会をどう感じているか」回答率

問18	ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？（○は1つ）

「手間やコストをかけてでもごみは有効利用すべき」については、「とてもそう思う」、「少しそう思う」の計が90.3%となっており、「ごみは有効利用すべき」という意識が高いと考えられる。
市町別では、上記の計が85.6%から93.9%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が88%から91%であり、「50代」が最も高く「60代」から離れるほど低くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,179	39.6%
2	少しそう思う	1,510	50.7%
3	あまりそうは思わない	203	6.8%
4	まったくそうは思わない	16	0.5%
99	無回答	71	2.4%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-1-17 「ごみは有効利用すべきか」回答状況

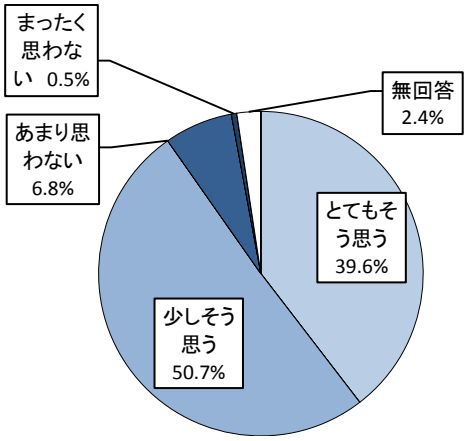


図 5-1-65 「ごみは有効利用すべきか」回答率

② 市町別集計

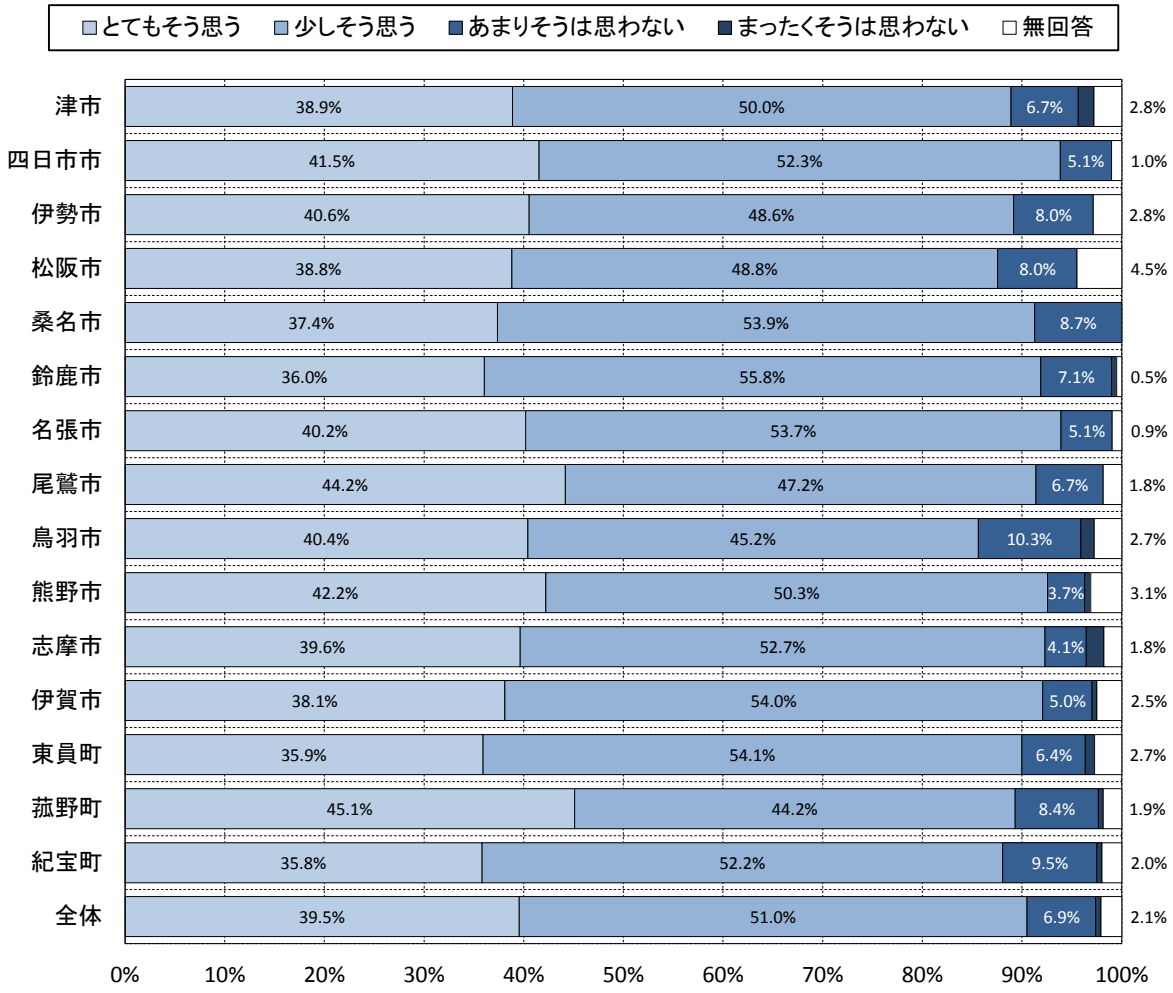


図 5-1-66 「市町別 ごみは有効利用すべきか」回答率

③ 年代別集計

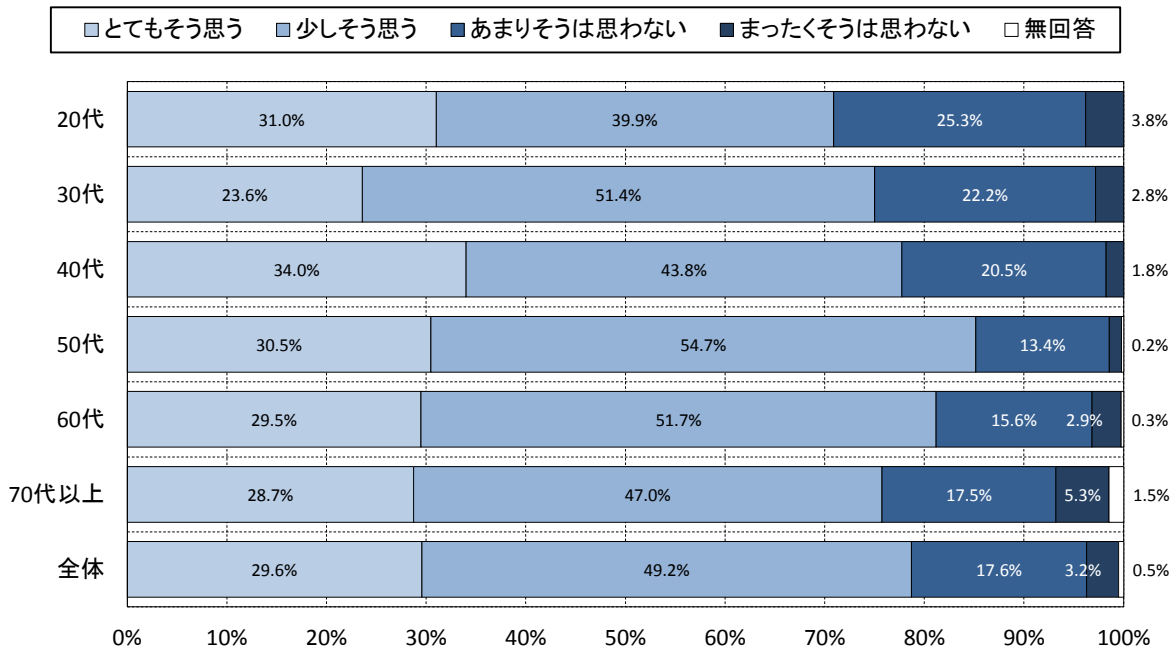


図 5-1-67 「年代別 ごみは有効利用すべきか」回答率

5-2　現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について

問19	ごみを減らす取組の中でどれが大切だと思いますか？（○は1つずつ）

「ごみを減らす取組の中で最も大切なこと」については、「ごみそのものの発生を減らすこと」の割合が52.3%で最も高い。
市町別では、上記が43.3%から56.3%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記が46.6%から58.5%であり、大きな偏りはみられない。
また、「ごみを減らす取組の中で次に大切なこと」については、「ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること」が39.3%と高く、次いで「まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと」の31.0%となっている。
「ごみそのものの発生を減らすこと」という意識は比較的高いと考えられる。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみそのものの発生を減らすこと	1,557	52.3%
2	まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと	387	13.0%
3	ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること	845	28.4%
99	無回答	190	6.3%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-2-1　「取組の中で最も大切なこと」回答状況

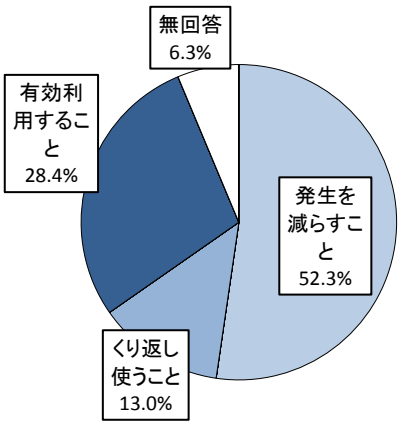


図　5-2-1　「取組の中で最も大切なこと」回答率

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみそのものの発生を減らすこと	543	18.2%
2	まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと	922	31.0%
3	ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること	1,170	39.3%
99	無回答	344	11.5%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-2-2　「取組の中で次に大切なこと」回答状況

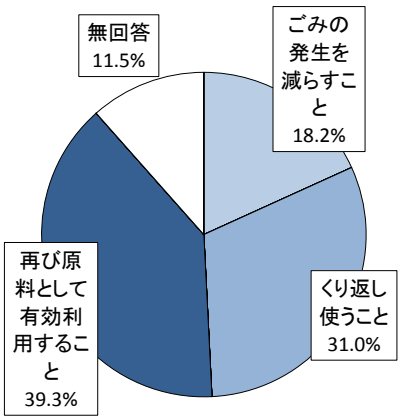


図　5-2-2　「取組の中で次に大切なこと」回答率

② 市町別集計

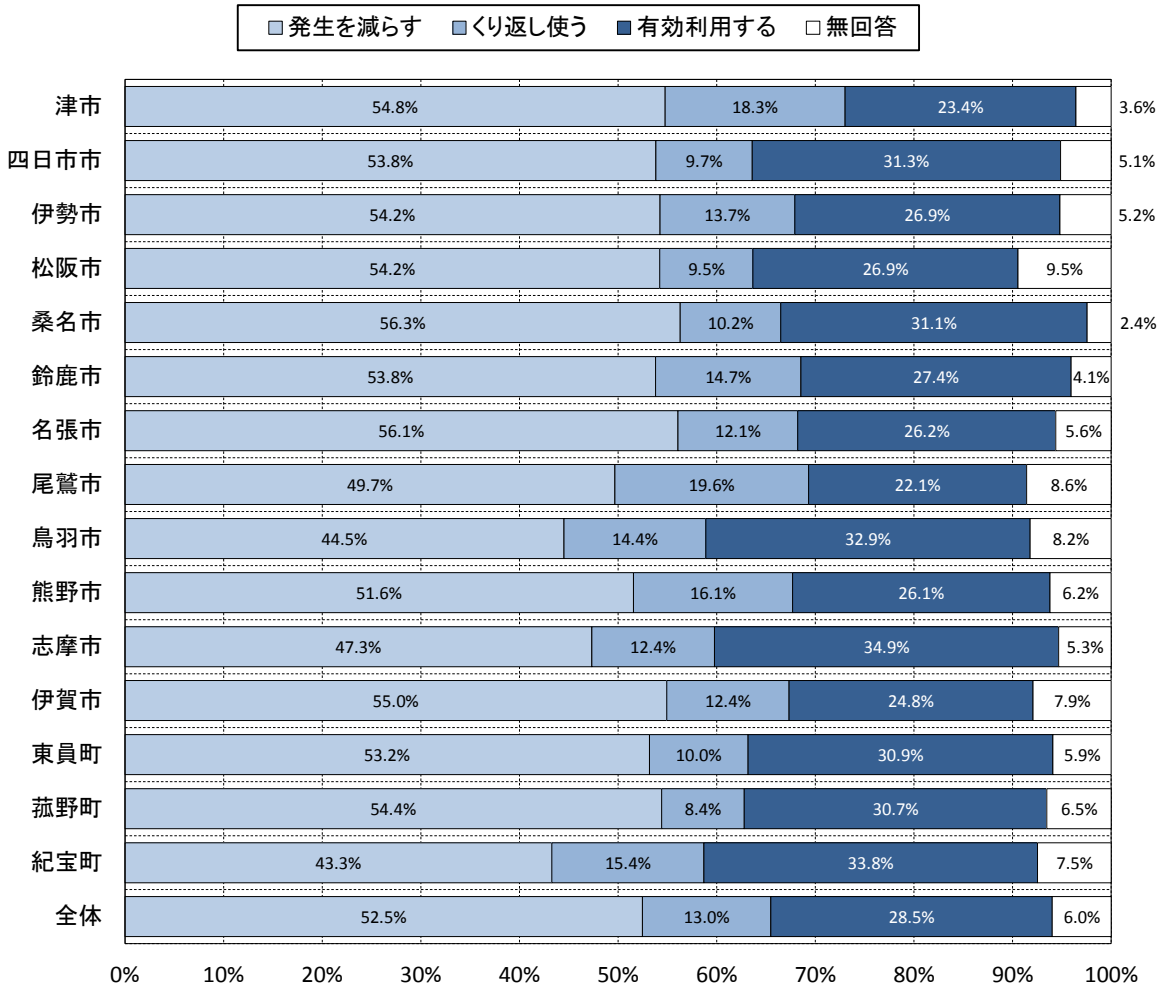


図 5-2-3 「市町別 取組の中で最も大切なこと」回答率

③ 年代別集計

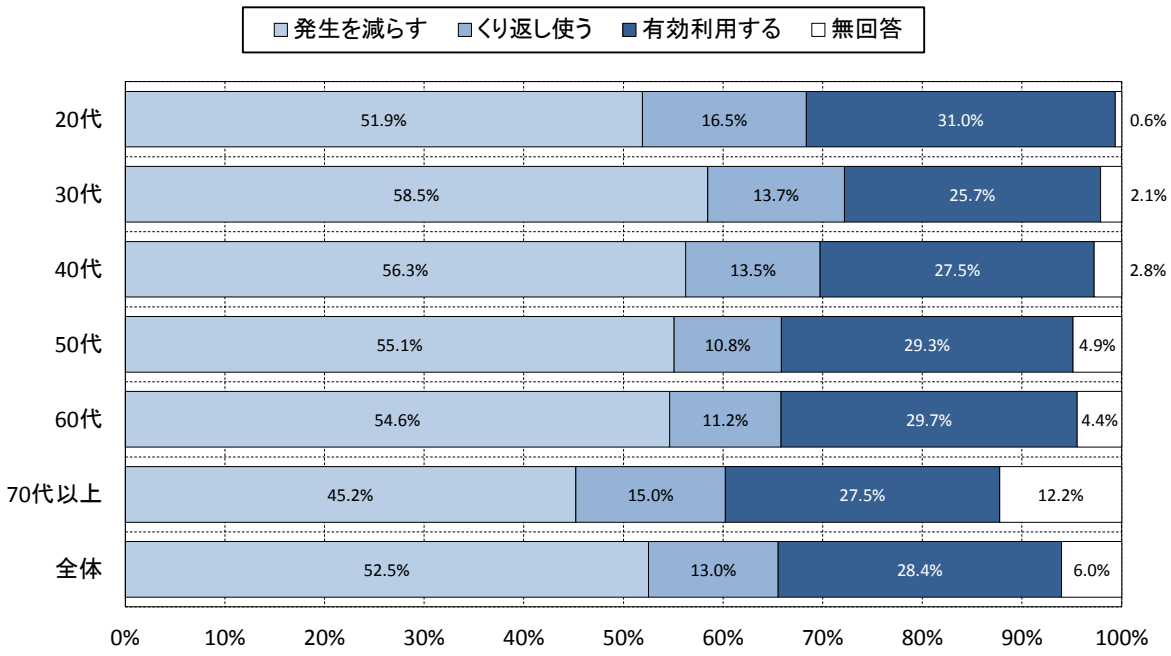


図 5-2-4 「年代別 取組の中で最も大切なこと」回答率

問20	あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町の収集に出している品目はどれですか？（あてはまるものすべてに○）

「資源ごみとして市町の収集に出している品目」については、「ペットボトル」（81.4%）、「アルミ缶」（82.3%）、「空きびん」（85.8%）の回答率が80%より高くなっている。市町別についてみると、上記のいずれの品目も数値の差はあるものの高い。その一方で、牛乳パック、古布や衣類、食品トレイ、蛍光管および電池類では、市町間での差が大きい。また、菰野町ではすべての品目で6割以上となっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	新聞	2,239	75.2%
2	雑誌	2,266	76.1%
3	牛乳パック	1,593	53.5%
4	古布や衣類	2,050	68.8%
5	食品トレイ	1,772	59.5%
6	ペットボトル	2,424	81.4%
7	アルミ缶	2,451	82.3%
8	スチール缶	2,316	77.7%
9	空きびん	2,555	85.8%
10	蛍光管	1,814	60.9%
11	電池類	2,115	71.0%
12	あてはまるものなし	62	2.1%
総回答数		23,657	794.3%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-2-3 「資源ごみとして市町の収集に出している品目」回答状況

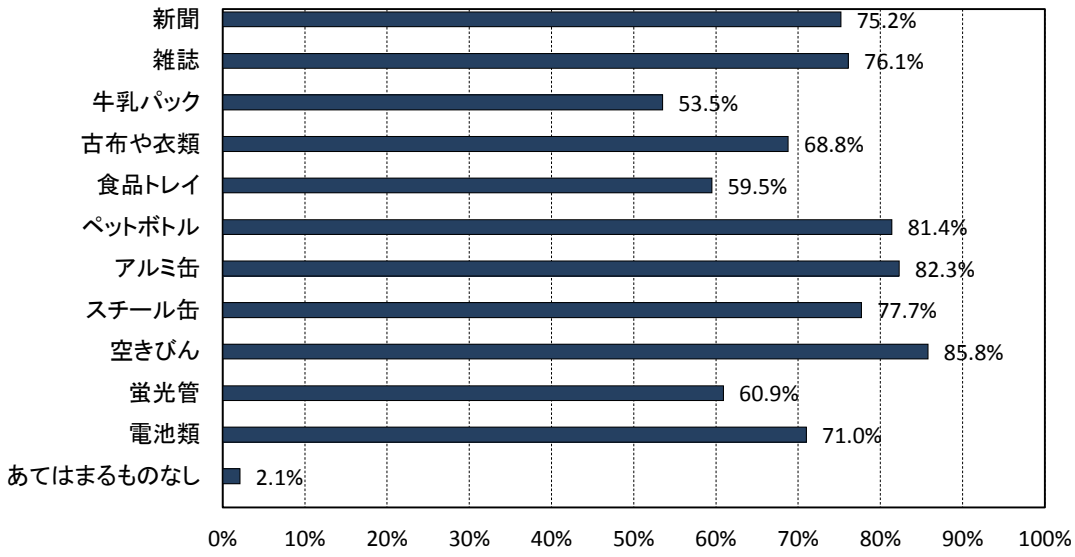


図 5-2-5 「資源ごみとして市町の収集に出している品目」回答率

② 市町別集計

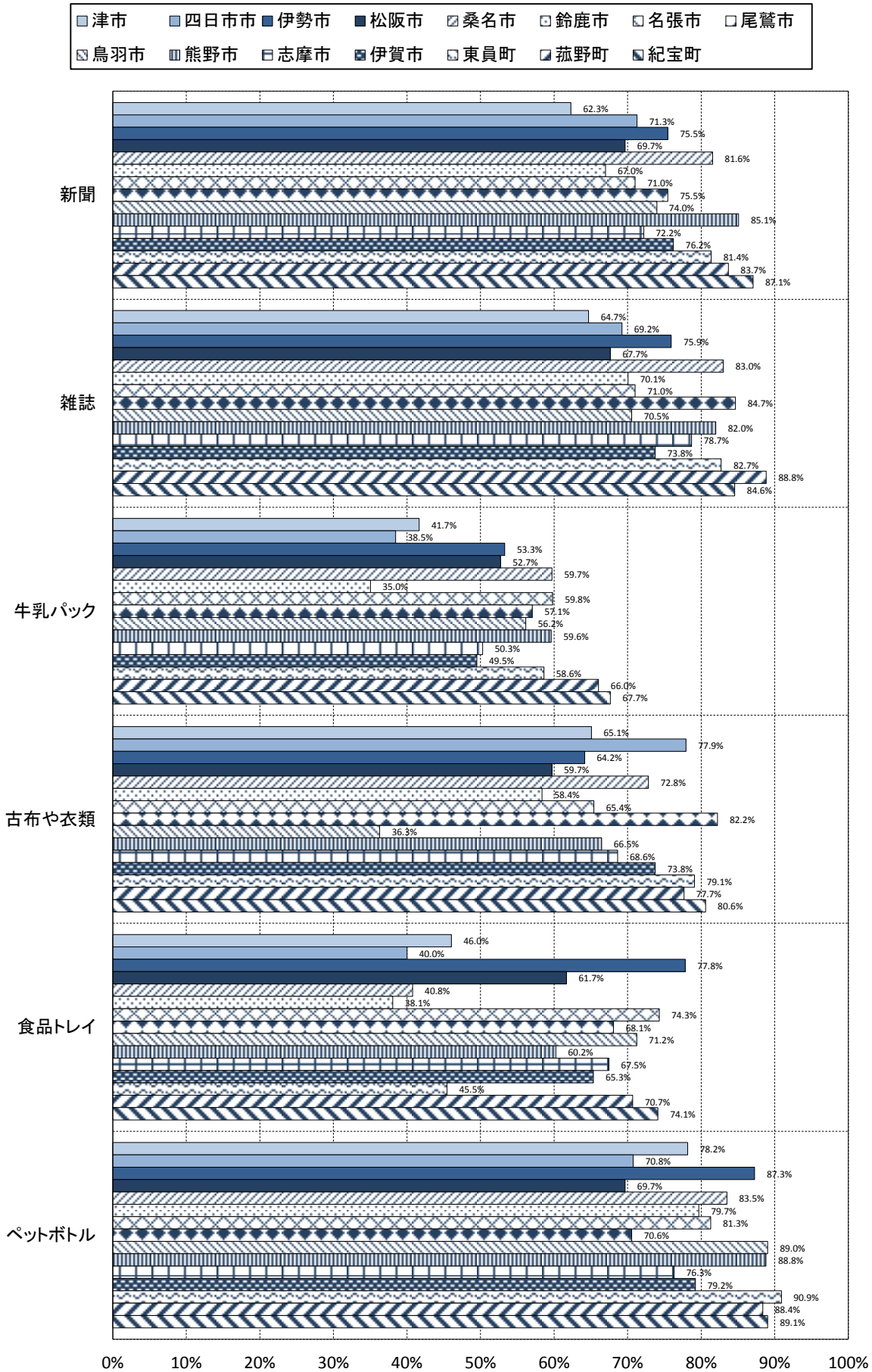
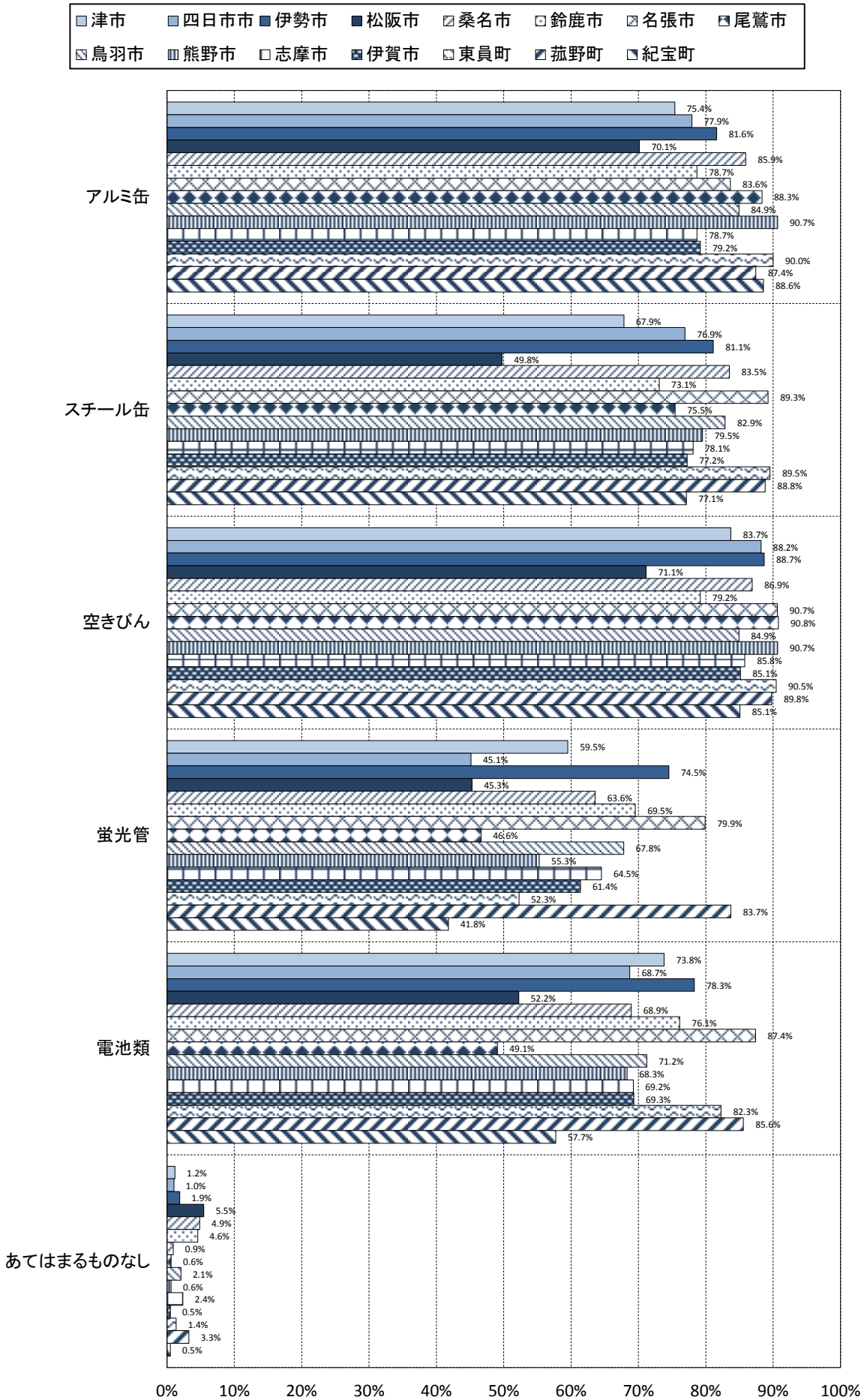


図 5-2-6（1/2） 「市町別 資源ごみとして市街の収集に出している品目」回答率


津市
四日市市
伊勢市
松阪市
桑名市
鈴鹿市
名張市
尾鷲市
鳥羽市
熊野市
志摩市
伊賀市
東員町
菰野町
紀宝町
アルミ缶
75.4% 77.9% 81.6% 70.1% 85.9% 78.7% 83.6% 88.3% 84.9% 90.7% 78.7% 79.2% 90.0% 87.4% 88.6%
スチール缶
67.9% 76.9% 81.1% 49.8% 83.5% 73.1% 89.3% 75.5% 82.9% 79.5% 78.1% 77.2% 89.5% 88.8% 77.1%
空きびん
83.7% 88.2% 88.7% 71.1% 86.9% 79.2% 90.7% 90.8% 84.9% 90.7% 85.8% 85.1% 90.5% 89.8% 85.1%
蛍光管
59.5% 45.1% 74.5% 45.3% 63.6% 69.5% 79.9% 46.6% 67.8% 55.3% 64.5% 61.4% 52.3% 83.7% 41.8%
電池類
73.8% 68.7% 78.3% 52.2% 68.9% 76.1% 87.4% 49.1% 71.2% 68.3% 69.2% 69.3% 82.3% 85.6% 57.7%
あてはまるものなし
1.2% 1.0% 1.9% 5.5% 4.9% 4.6% 0.9% 0.6% 2.1% 0.6% 2.4% 0.5% 1.4% 3.3% 0.5%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

問21	あなたのご家庭では、次のうち、お店に持っていって回収してもらっている品目はどれですか？（あてはまるものすべてに○）

「お店で回収してもらっている品目」については、「食品トレイ」（39.2%）、「ペットボトル」（37.2%）の回答率が30%とより高くなっている。
市町別では、ほとんどの市街で上記2品目の割合が高くなっているが、数値としてはかなり差がある。尾鷲市では、上記2品目に加え、「蛍光管」、「電池類」については7割を超えており、「あてはまるものなし」も6.1%と市町間で一番低い。一方、紀宝町では、「食品トレイ」が22.9%で、それ以外の品目は2割に満たず、「あてはまるものなし」が53.2%と市町間で一番高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	新聞	419	14.1%
2	雑誌	345	11.6%
3	牛乳パック	852	28.6%
4	古布や衣類	209	7.0%
5	食品トレイ	1,169	39.2%
6	ペットボトル	1,108	37.2%
7	アルミ缶	752	25.2%
8	スチール缶	373	12.5%
9	空きびん	344	11.5%
10	蛍光管	286	9.6%
11	電池類	373	12.5%
12	あてはまるものなし	867	29.1%
総回答数		7,097	238.1%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-2-4　「お店で回収してもらっている品目」回答状況

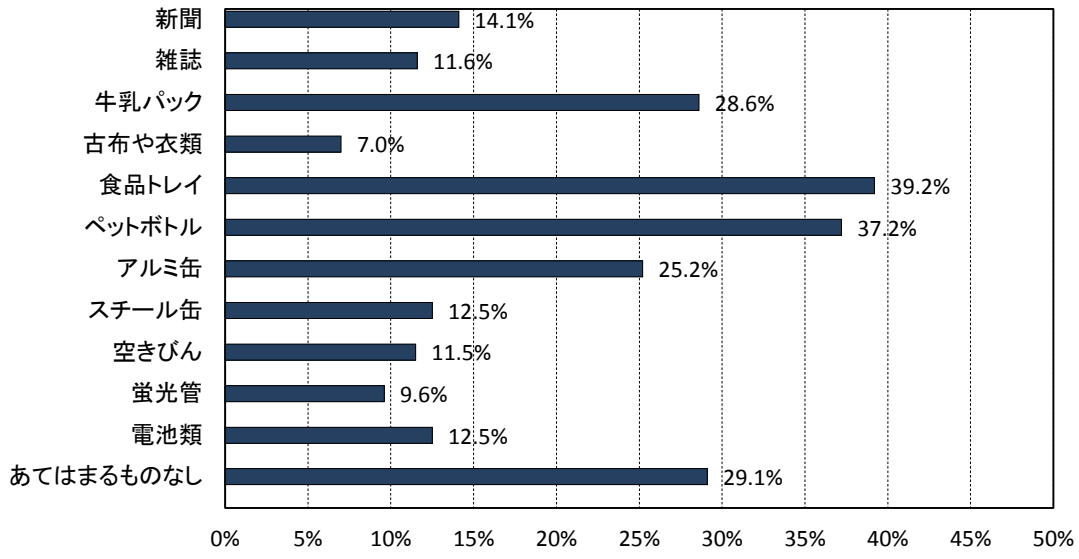


図　5-2-7　「お店で回収してもらっている品目」回答率

② 市町別集計

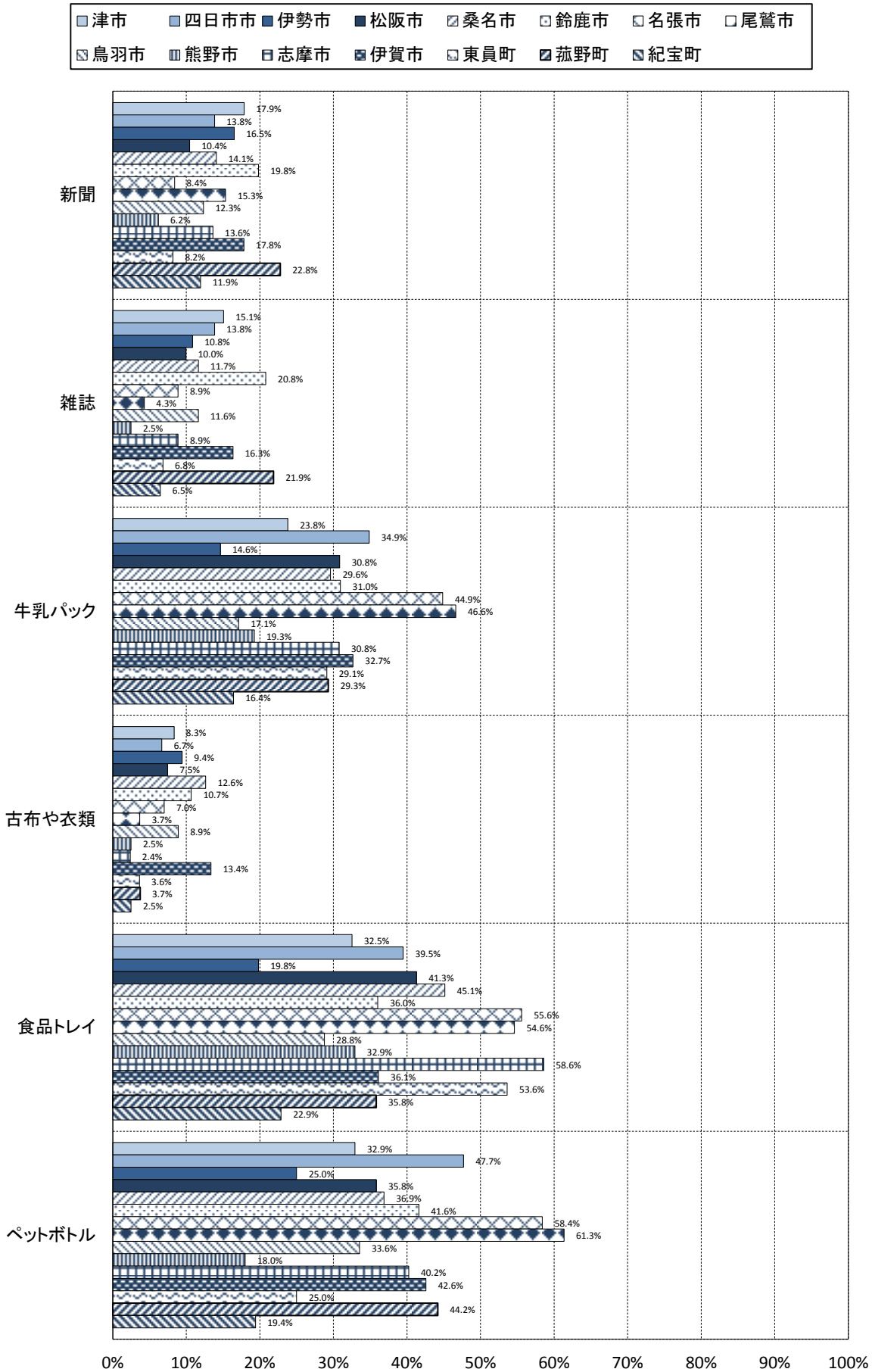


図 5-2-8（1/2） 「市町別 お店で改修してもらっている品目」回答率

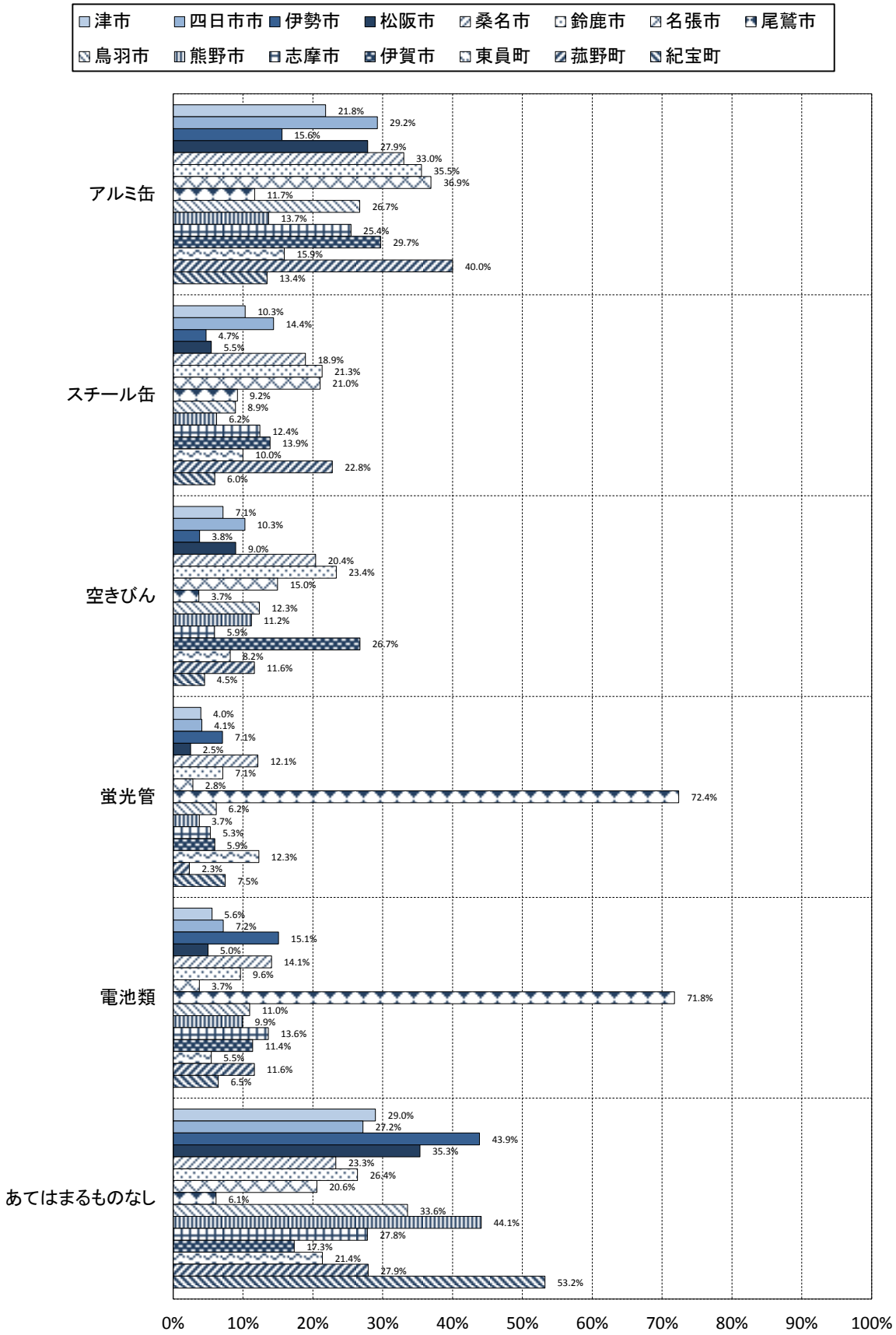


図　5-2-8（2/2）　「市町別　お店で改修してもらっている品目」回答率

問22	あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収（集団回収）に出している品目はどれですか？（あてはまるものすべてに○）

地域の廃品回収（集団回収）に出している品目について、「新聞」（59%）、「雑誌」（54.6%）の回答率が50%より高くなっている。
市町別にみると上記2品目はいずれの市町でも高い割合となっているが、最も高い名張市と低い紀宝町では倍以上の開きがあるなど、市町によってかなり差がある。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	新聞	1,758	59.0%
2	雑誌	1,626	54.6%
3	牛乳パック	762	25.6%
4	古布や衣類	1,110	37.3%
5	食品トレイ	616	20.7%
6	ペットボトル	944	31.7%
7	アルミ缶	1,258	42.2%
8	スチール缶	946	31.8%
9	空きびん	1,038	34.8%
10	蛍光管	705	23.7%
11	電池類	794	26.7%
12	あてはまるものなし	713	23.9%
総回答数		12,270	412.0%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-2-5 「廃品回収に出している品目」回答状況

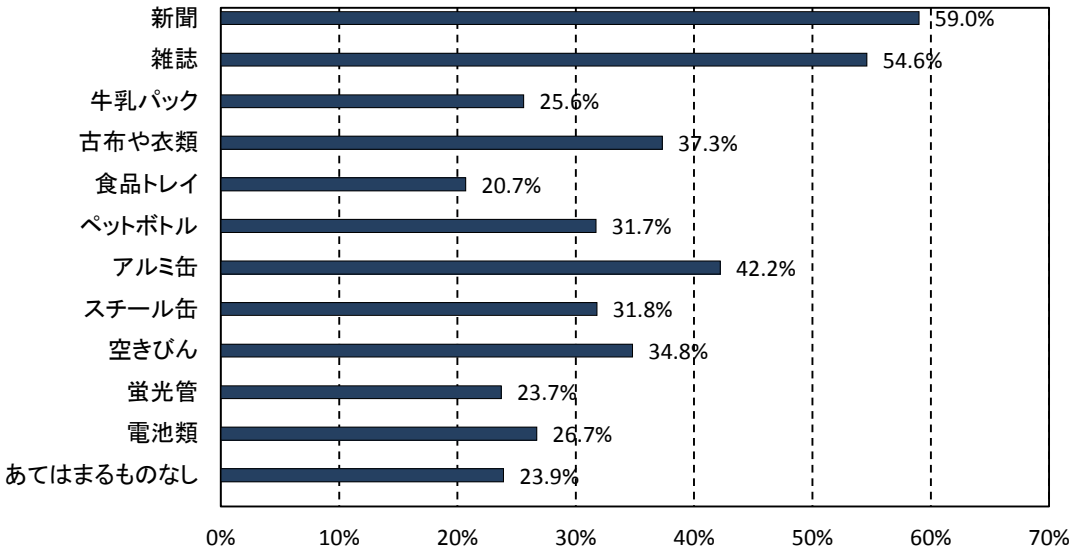


図 5-2-9 「廃品回収に出している品目」回答率

② 市町別集計

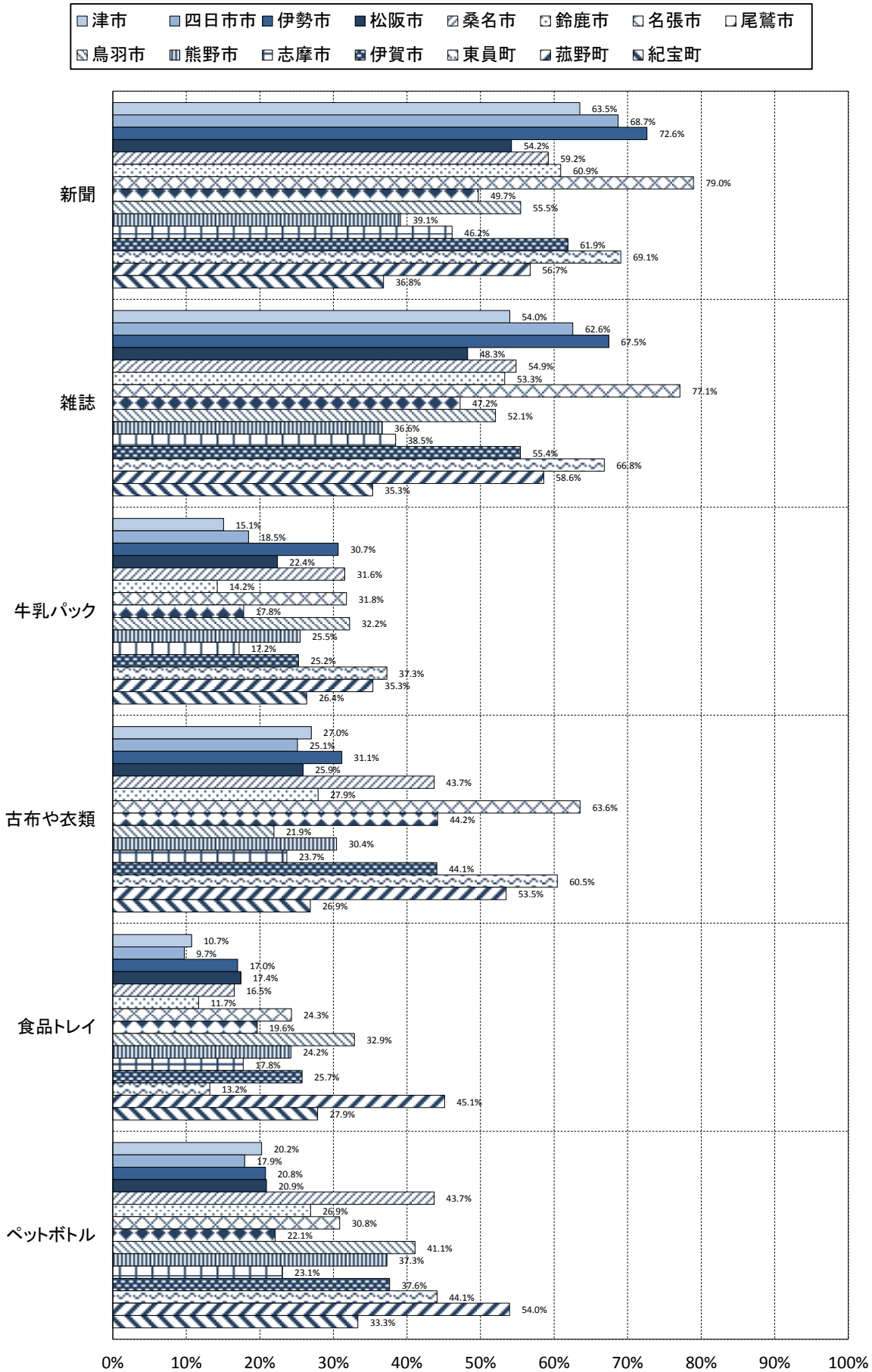


図 5-2-10（1/2） 「市町別 廃品回収に出している品目」回答率

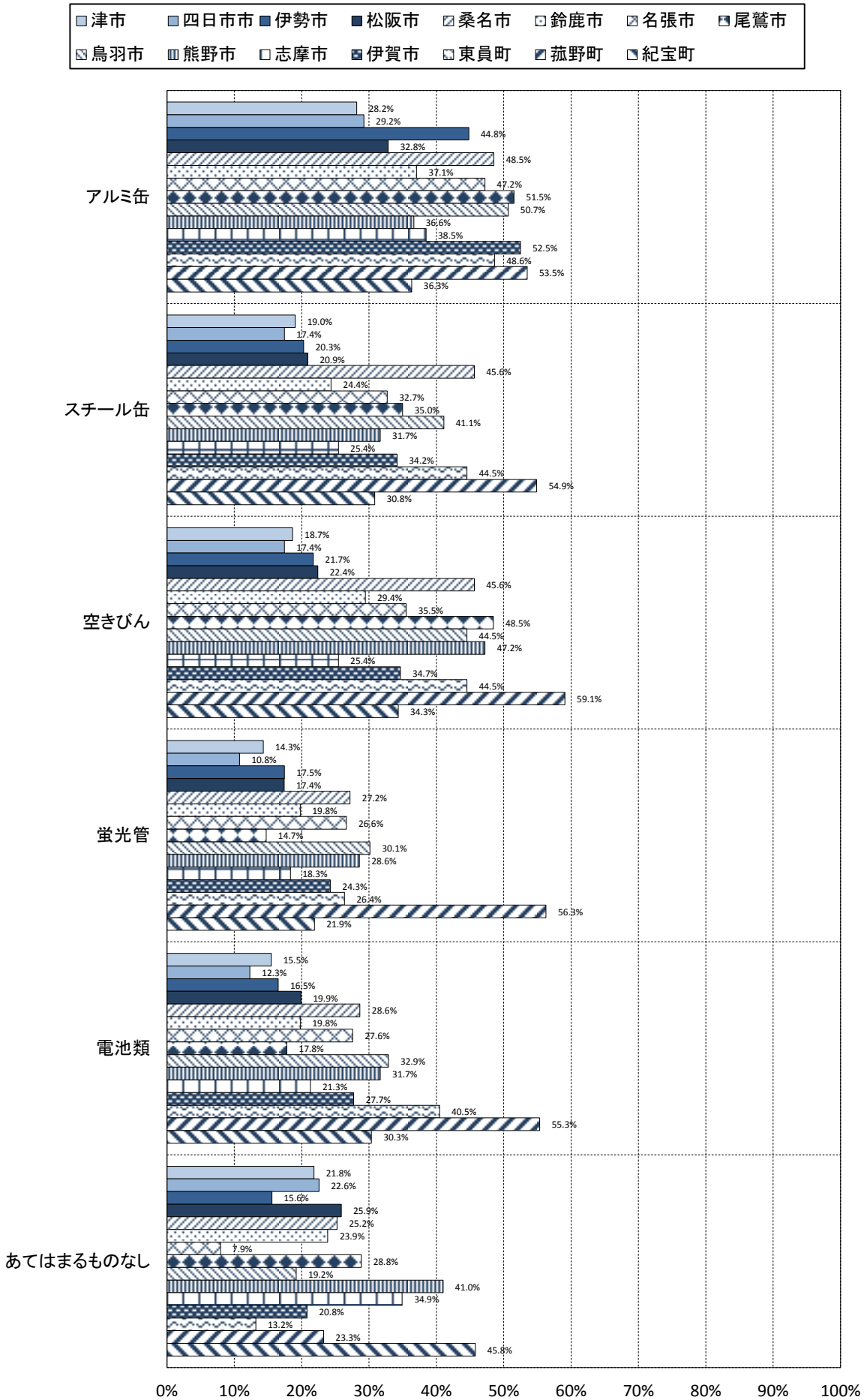


図　5-2-10（2/2）　「市町別　廃品回収に出している品目」回答率

問23	あなたは、分別したごみがあなたの市町でどのように処理・リサイクルされるかご存知ですか？（○は1つ）

「ごみの処理・リサイクルの仕方」については、「あまり知らない」、「まったく知らない」の計で63.7%となっている。
市町別では、上記の計が57.7%から69.9%であり、市町により大きな偏りはみられないが、「鳥羽市」および「紀宝町」では「知っている」が比較的高い。
年代別では、上記の計が63.8%から86.6%であり、年代が低いほど高い。
分別行動別では、上記の計が61.5%から78.1%であり、分別にかかわらないほど高く、「まったく知らない」が40%と非常に高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	知っている	294	9.9%
2	少し知っている	728	24.4%
3	あまり知らない	1,265	42.5%
4	まったく知らない	633	21.2%
99	無回答	59	2.0%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-2-6　「ごみの処理・リサイクルの仕方」回答状況

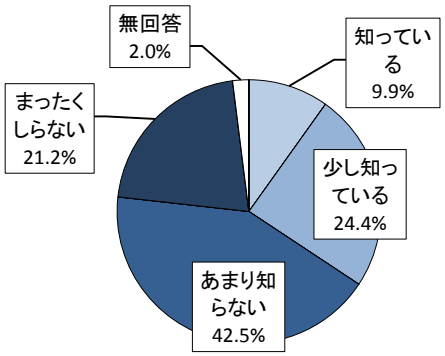


図　5-2-11　「ごみの処理・リサイクルの仕方」回答率

② 市町別集計

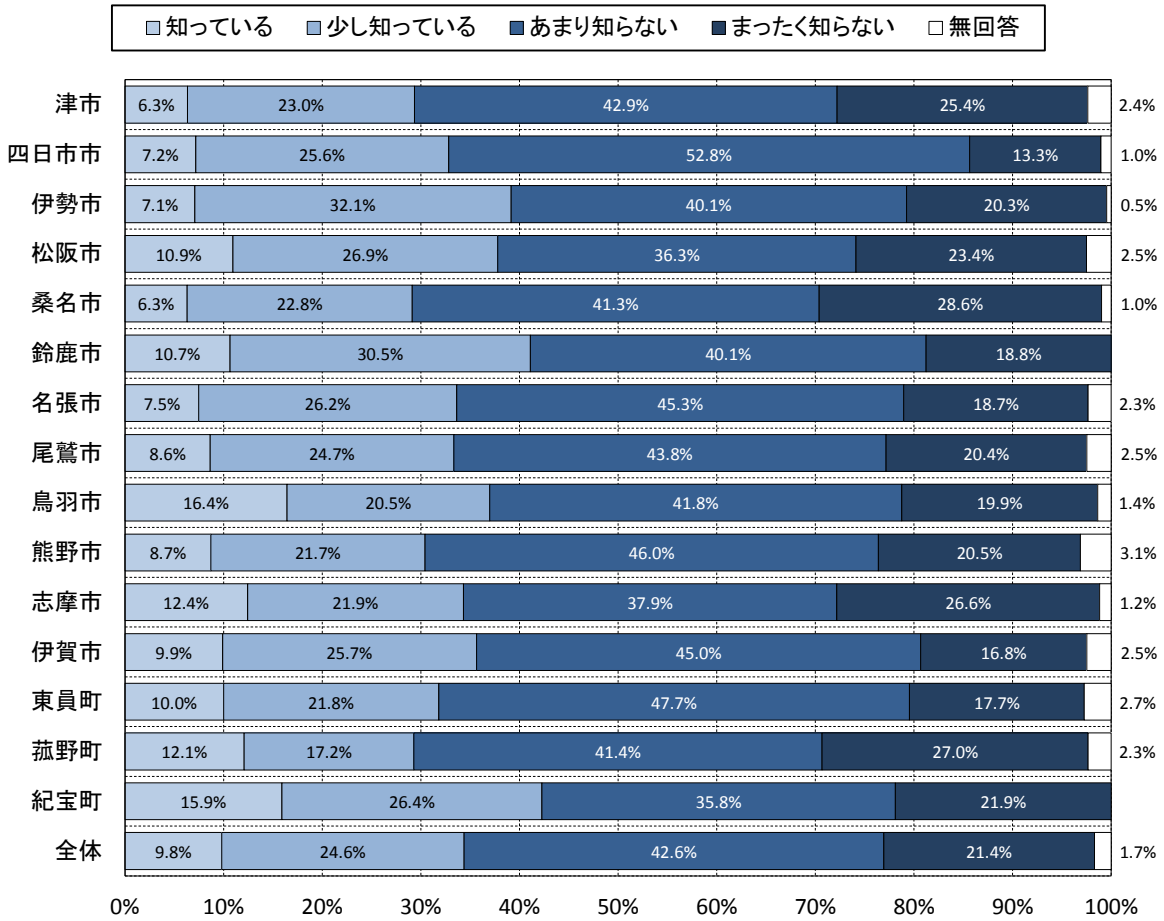


図　5-2-12　「市町別　ごみの処理・リサイクルの仕方」回答率

③　年代別集計

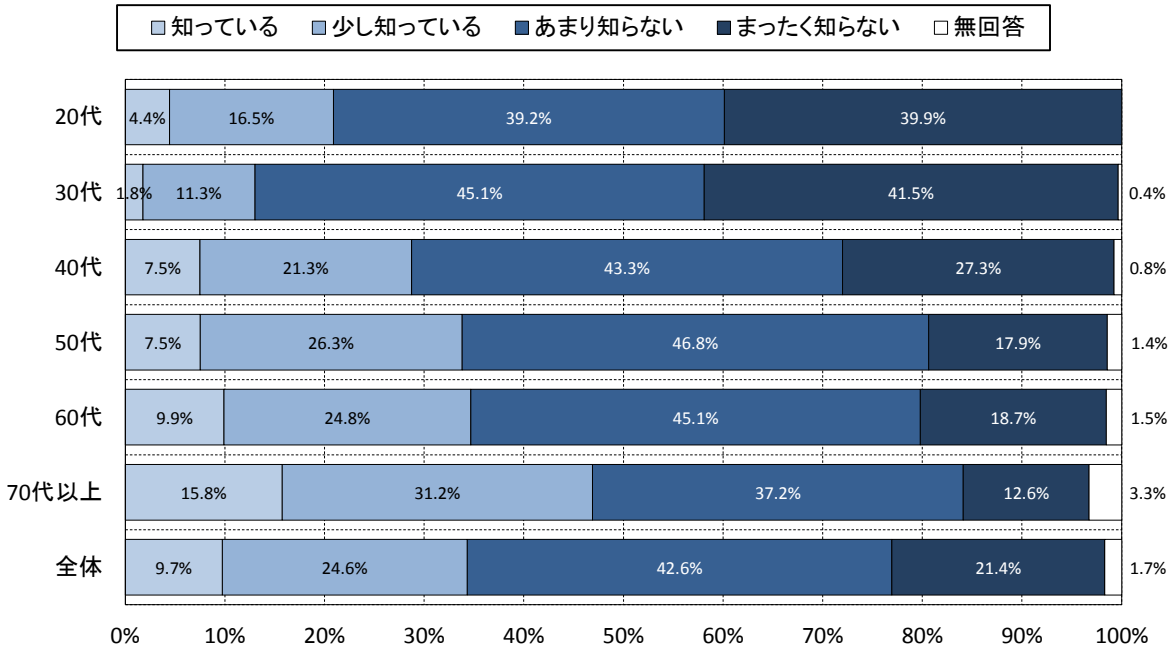


図　5-2-13　「年代別　ごみの処理・リサイクルの仕方」回答率

④　分別へのかかわり別集計

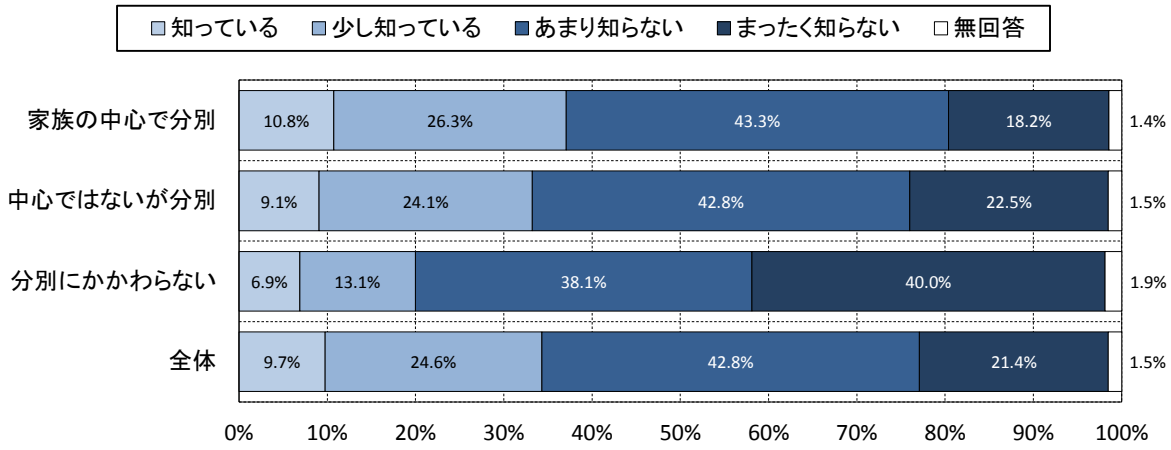


図　5-2-14　「分別行動別　ごみの処理・リサイクルの仕方」回答率

問24	ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？（○は1つ）

家庭内でごみの分別に要している時間は、「数分程度」が47.0%と高く、次いで「10分～30分くらい」が26.9%となっている。
市町別については、大きな偏りはみられない。
世帯特徴別については、A-5「夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる」は「数分程度が高い一方、「1時間以上」も高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	1時間以上	216	7.3%
2	30分～1時間くらい	158	5.3%
3	10分～30分くらい	801	26.9%
4	数分程度	1,403	47.0%
5	ほとんどかけていない	324	10.9%
99	無回答	77	2.6%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-2-7　「ごみを分別するのにかけている時間」回答状況

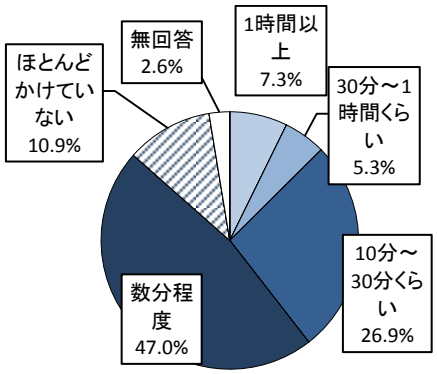


図　5-2-15　「ごみを分別するのにかけている時間」回答率

② 市町別集計

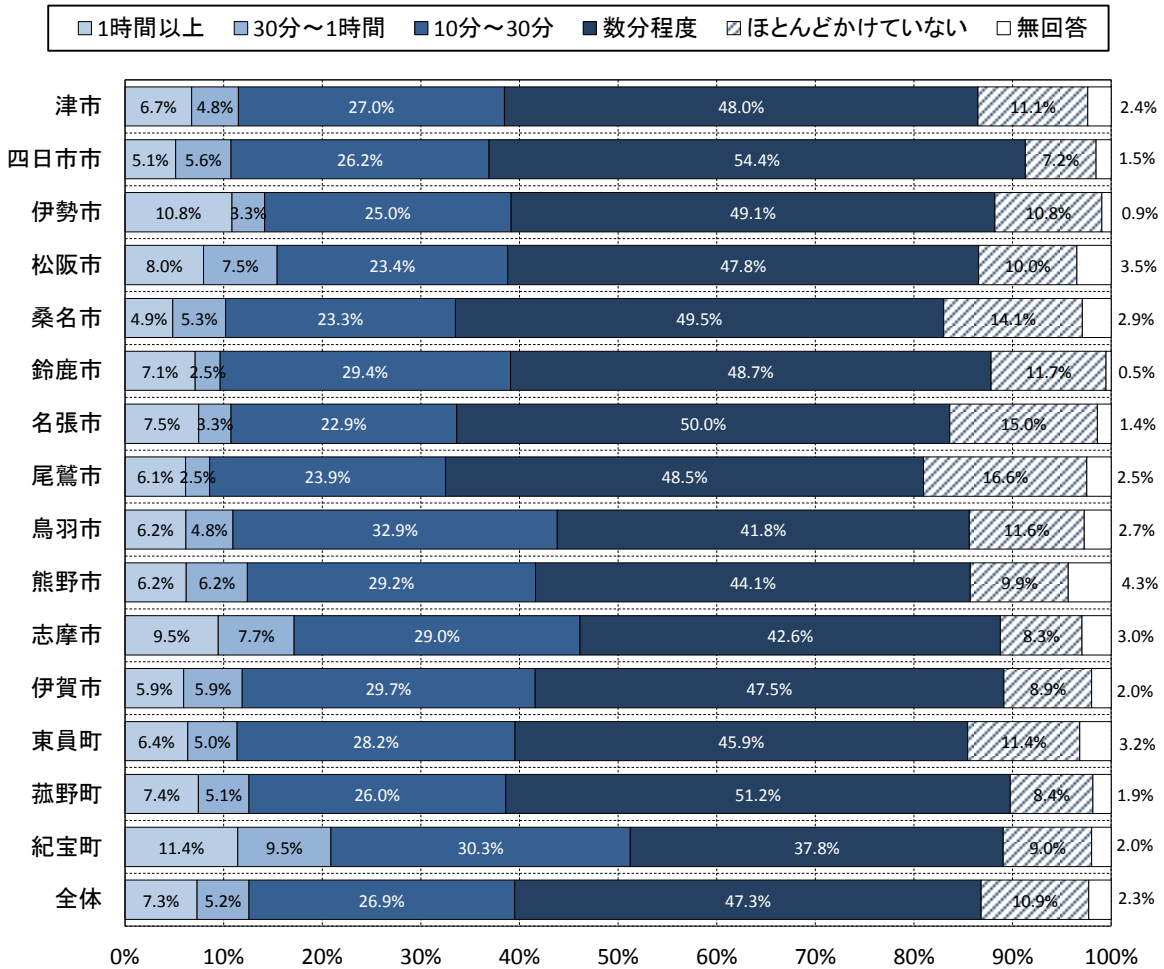


図　5-2-16　「市町別　ごみを分別するのにかけている時間」回答率

③　世帯特徴別集計

1	夫婦共働き
2	就学前の乳幼児がいる
3	小中学生がいる
4	家族は全員60歳以上
5	いずれにもあてはまらない

調査表は上の表のたずね方をしており、回答の組み合わせにより、右のような分類をし、集計している。

記号	世帯特徴
A-1	夫婦共働き
A-2	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる
A-3	夫婦共働き、小中学生がいる
A-4	夫婦共働き、家族は全員60歳以上
A-5	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
B-1	就学前の乳幼児がいる
B-2	就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
C	小中学生がいる
D	家族は全員60歳以上
E	いずれにもあてはまらない

表　5-2-8　「世帯特徴別　ごみを分別するのにかけている時間」

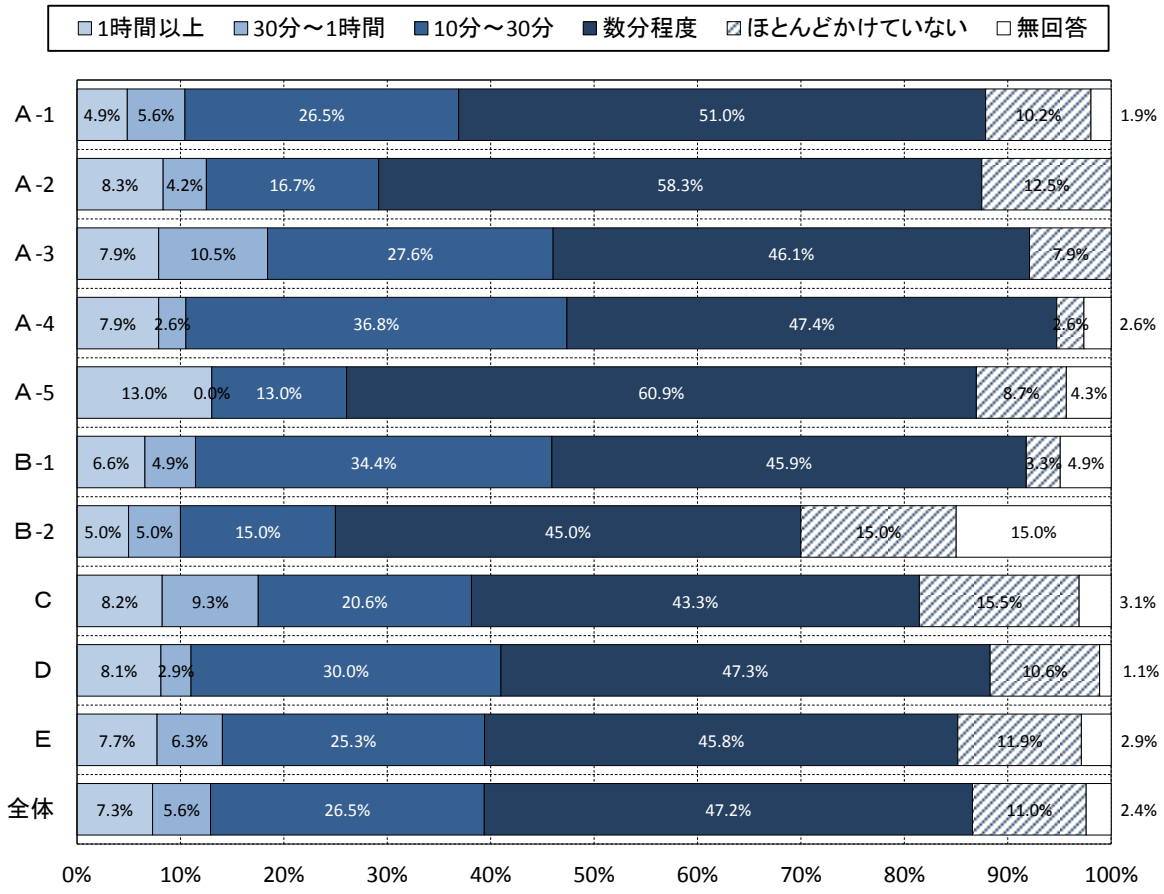


図　5-2-17　「世帯特徴別　ごみを分別するのにかけている時間」回答率

問25	ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？（○は1つ）

ごみの分別数が増えることについて、「賛成」、「どちらかというと賛成」の計で79.1%となっている。
市町別では、上記の計が73.3%から86.5%となっており、大きな偏りはみられない。
世帯特徴別では、上記の計が73.7%から91.7%となっており、A-4「夫婦共働き、家族は全員60歳以上」は、上記の計が一番低い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	賛成	912	30.6%
2	どちらかというと賛成	1,444	48.5%
3	どちらかというと反対	472	15.8%
4	反対	77	2.6%
99	無回答	74	2.5%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-2-9 「資源やごみの分別が増えることなどについて」回答状況

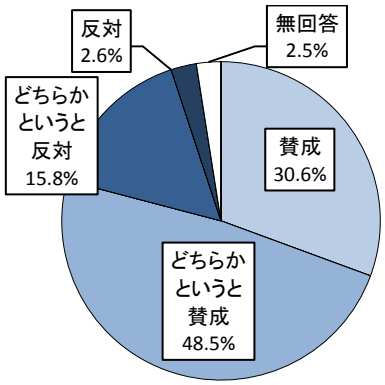


図 5-2-18 「資源やごみの分別が増えることなどについて」回答率

② 市町別集計

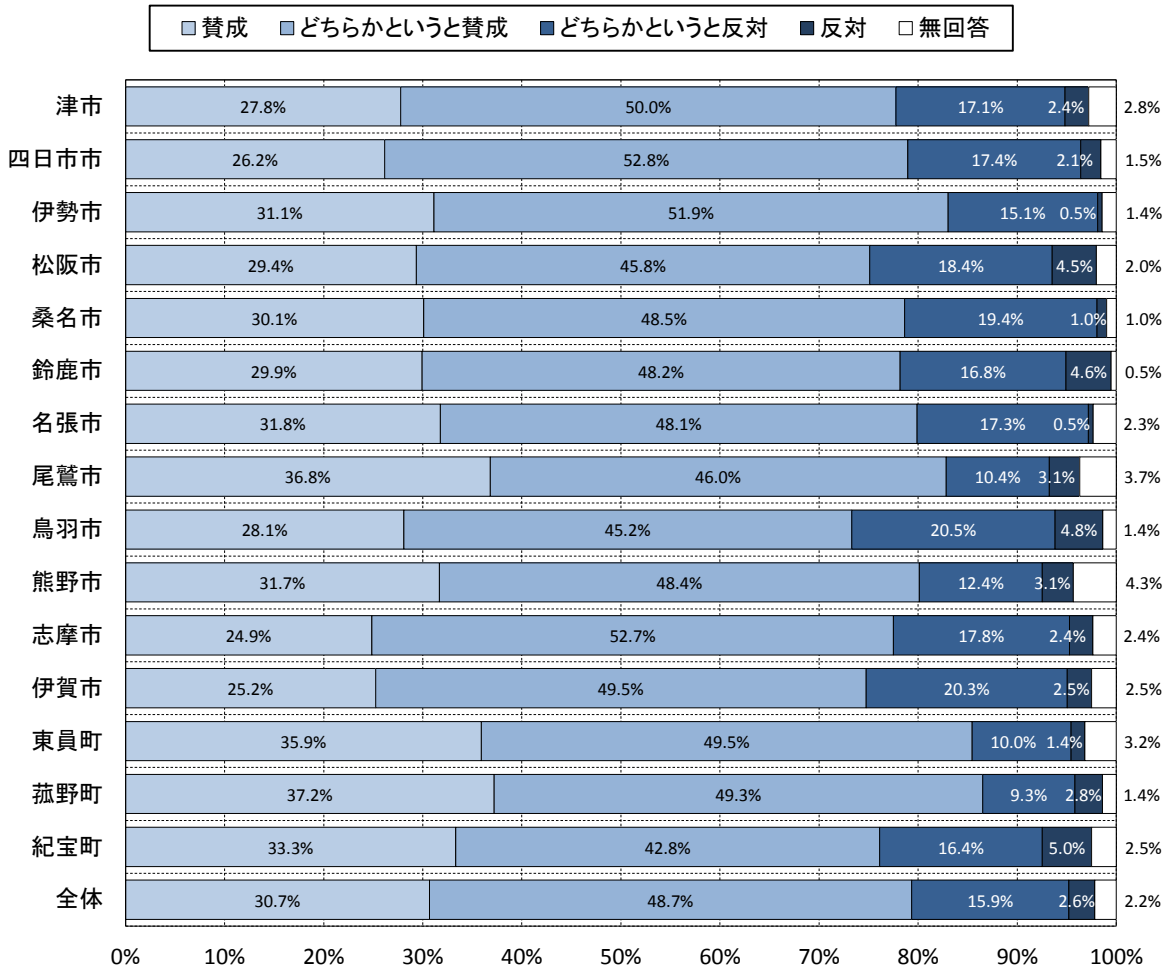


図 5-2-19 「市町別 資源やごみの分別が増えることなどについて」回答率

③　世帯特徴別集計

1	夫婦共働き
2	就学前の乳幼児がいる
3	小中学生がいる
4	家族は全員60歳以上
5	いずれにもあてはまらない

調査表は上の表のたずね方をしており、回答の組み合わせにより、右のような分類をし、集計している。

記号	世帯特徴
A-1	夫婦共働き
A-2	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる
A-3	夫婦共働き、小中学生がいる
A-4	夫婦共働き、家族は全員60歳以上
A-5	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
B-1	就学前の乳幼児がいる
B-2	就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
C	小中学生がいる
D	家族は全員60歳以上
E	いずれにもあてはまらない

表　5-2-10　「世帯特徴別　資源ごみの分別が増えることなどについて」

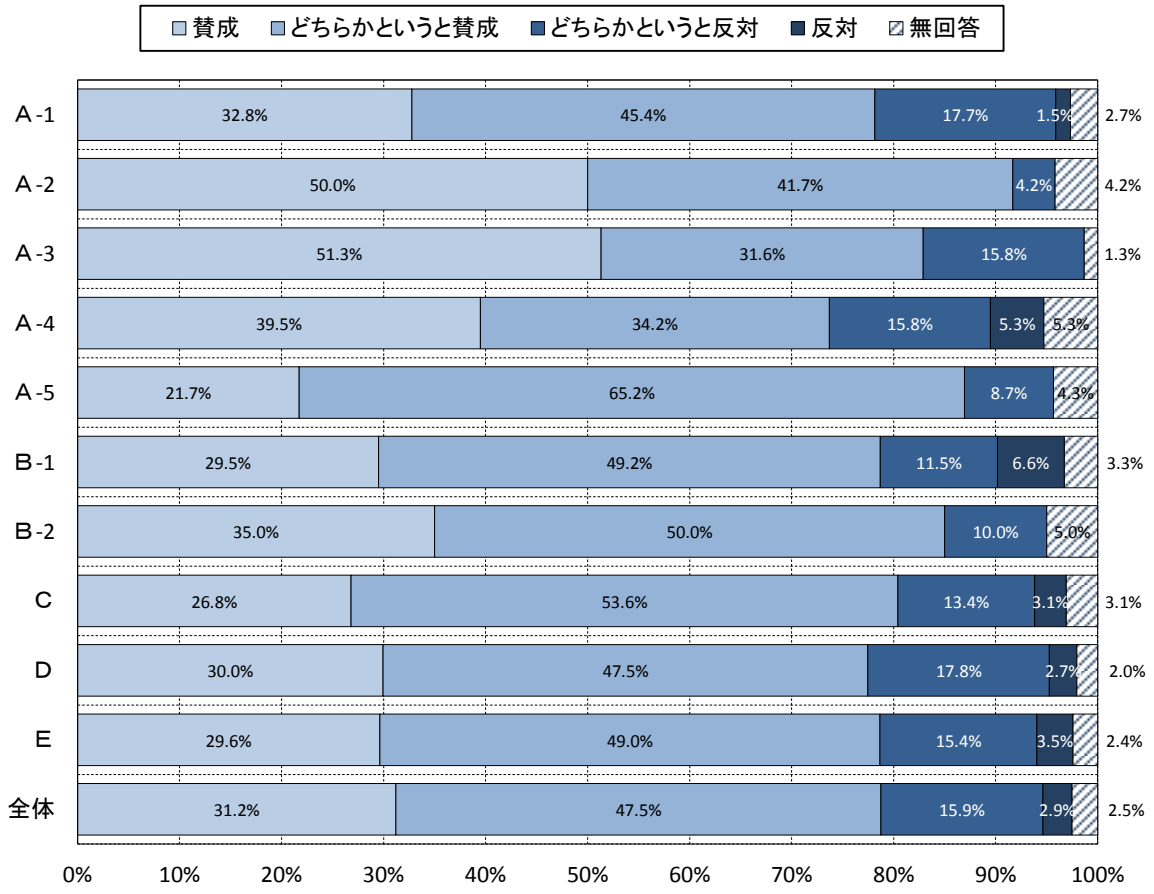


図　5-2-20　「世帯特徴別　資源やごみの分別が増えることなどについて」回答率

問26	次のうち、あなたのご家庭でやっていることはどれですか？（あてはまるものすべてに○）

家庭で実践していることとしては、「買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない」の回答率が89.2%で最も高く、次いで「台所ごみの水切りをしている」（84.5%）となっている。「食事を食べ残さないようにしている」（68.8%）、「詰め替え容器を使用した商品を買っている」（60.6%）、「資源とごみの分別を徹底している」（60.4%）、「食品は買いすぎないようにしている」（57.5%）、「地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」（56.2%）も5割を超えている。
市町別についても、上記項目はいずれも高いが、「店頭回収を利用している」では熊野市及び紀宝町が他市町と比べて低い。
これら以外について高いものとして「市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している」の鳥羽市（15.1%）、「紙くずなどを庭や畑で焼却している 」の伊賀市（15.3%）、「不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている」の桑名市（30.6%）等がある。
世帯特徴別については、大きな偏りはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	台所ごみの水切りをしている	2,518	84.5%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	365	12.3%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理	303	10.2%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	90	3.0%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	80	2.7%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	302	10.1%
7	紙くずなどを庭や畑で焼却している	210	7.0%
8	買い物袋（マイバック）等を持参し、レジ袋をもらわない	2,658	89.2%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	1,804	60.6%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	422	14.2%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	273	9.2%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	1,076	36.1%
13	食品は買いすぎないようにしている	1,714	57.5%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	90	3.0%
15	食事を食べ残さないようにしている	2,050	68.8%
16	不要物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	594	19.9%
17	資源とごみの分別を徹底している	1,800	60.4%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	1,675	56.2%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	250	8.4%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	742	24.9%
21	マイ箸を携帯している	222	7.5%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	452	15.2%
23	その他	19	0.6%
24	これからいずれもやっていない	15	0.5%
総回答数		19,724	662.0%
有効回答数		2,979	－

表　5-2-11　「あなたの家庭でやっていることについて」　回答状況

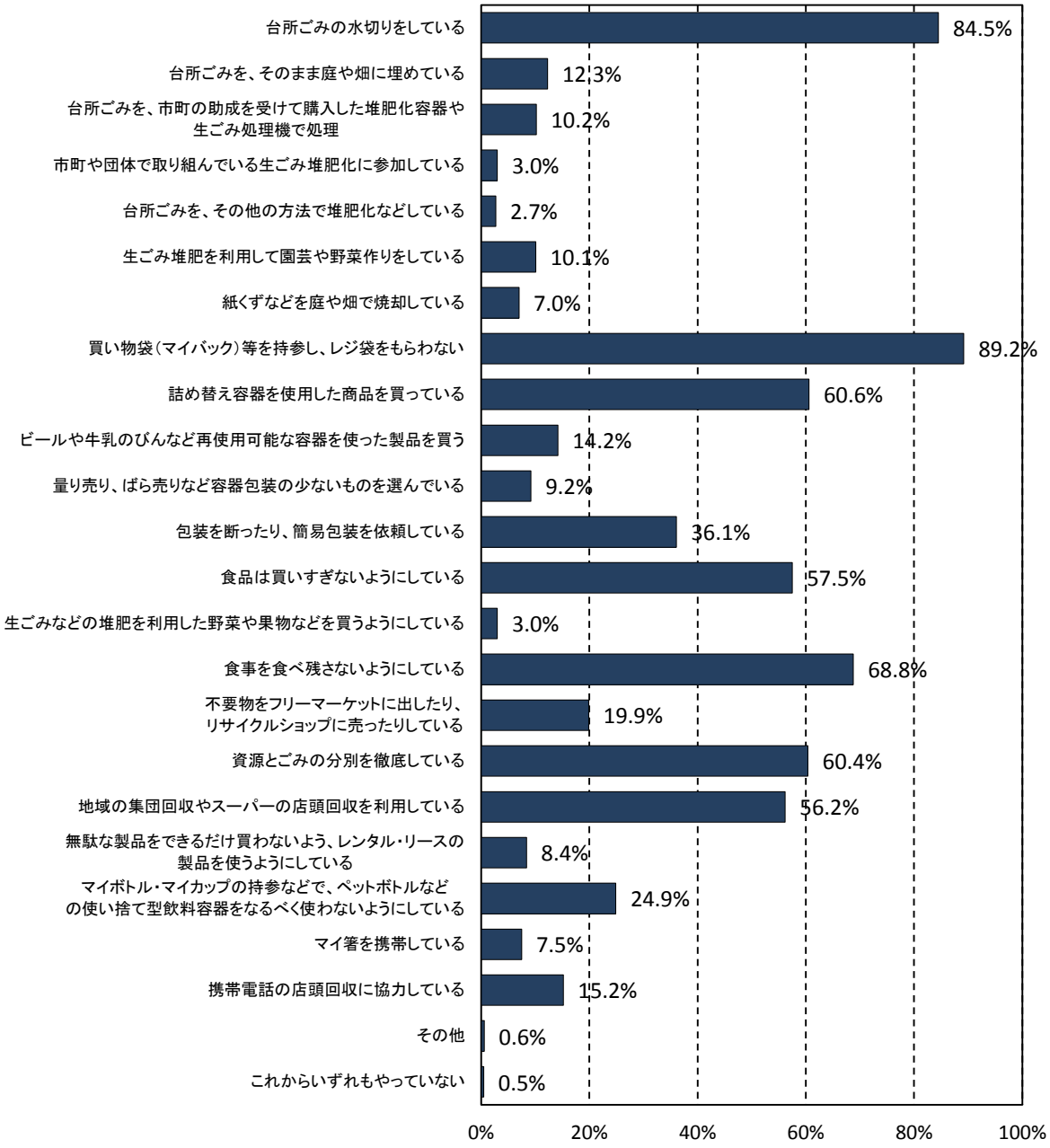


図　5-2-21　「あなたの家庭でやっていることについて」回答率

② 市町別集計

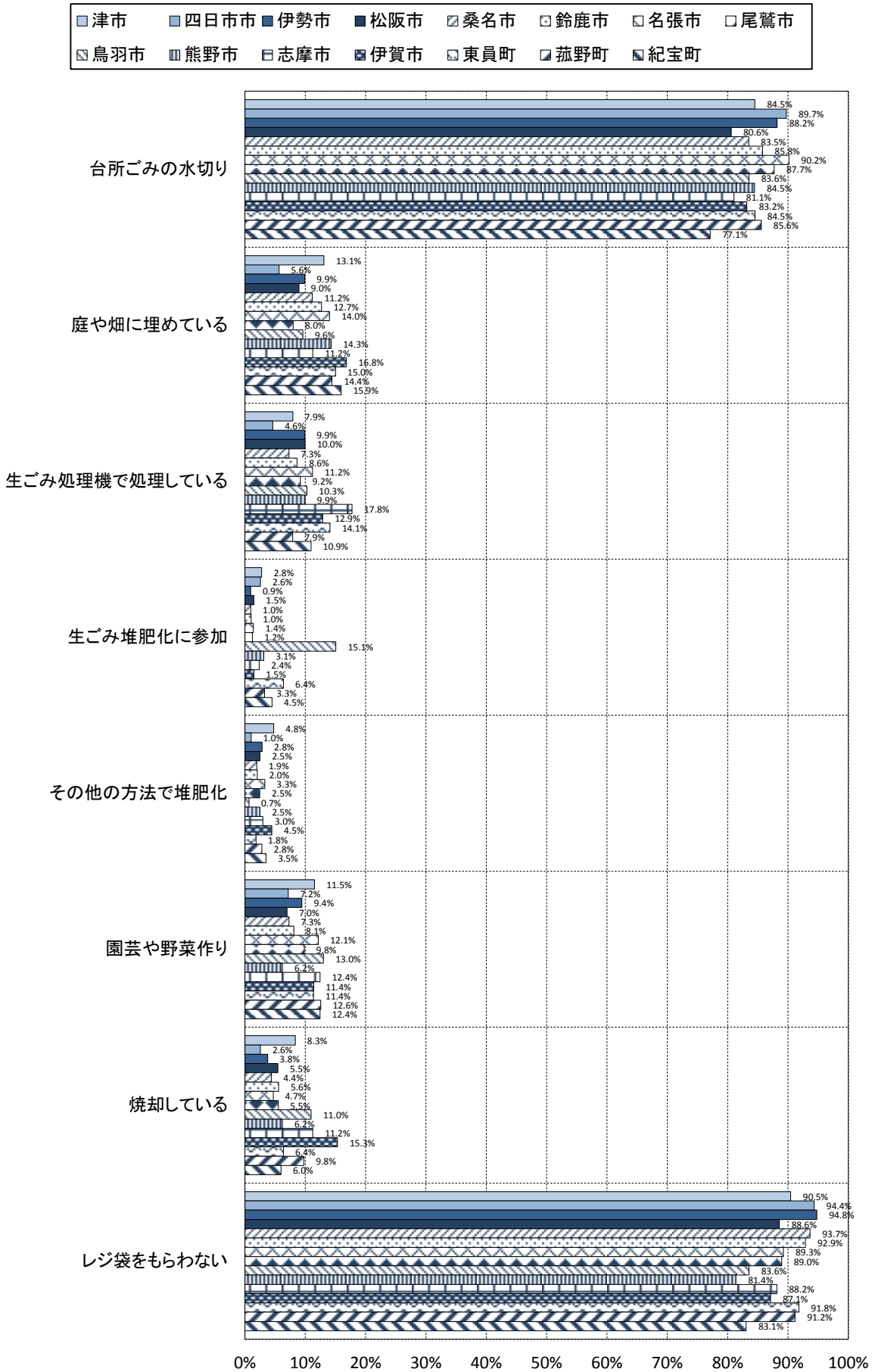


図 5-2-22（1/3） 「市町別 あなたの家庭でやっていることについて」回答率

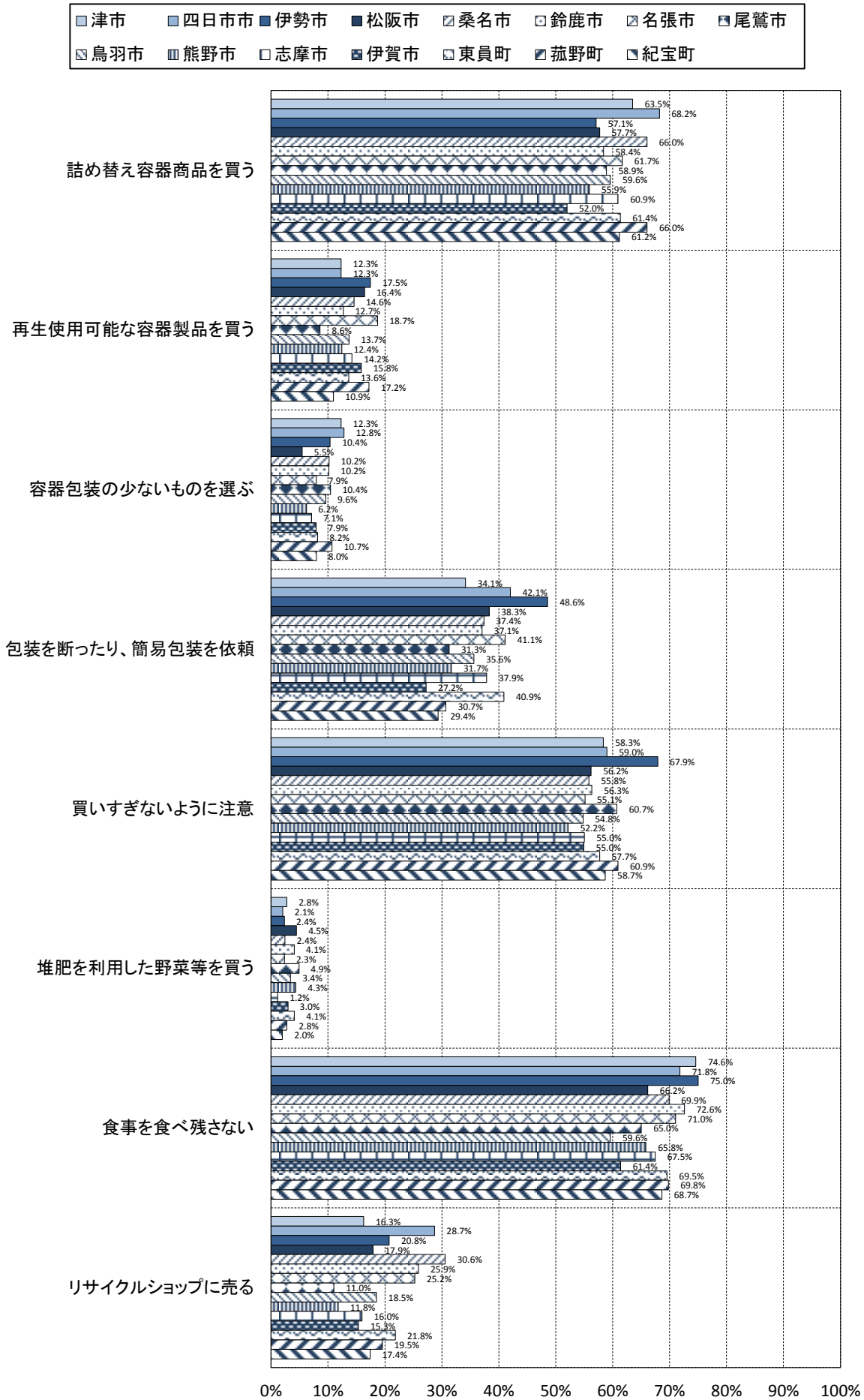


図　5-2-22（2/3）　「市町別　あなたの家庭でたっていることについて」回答率

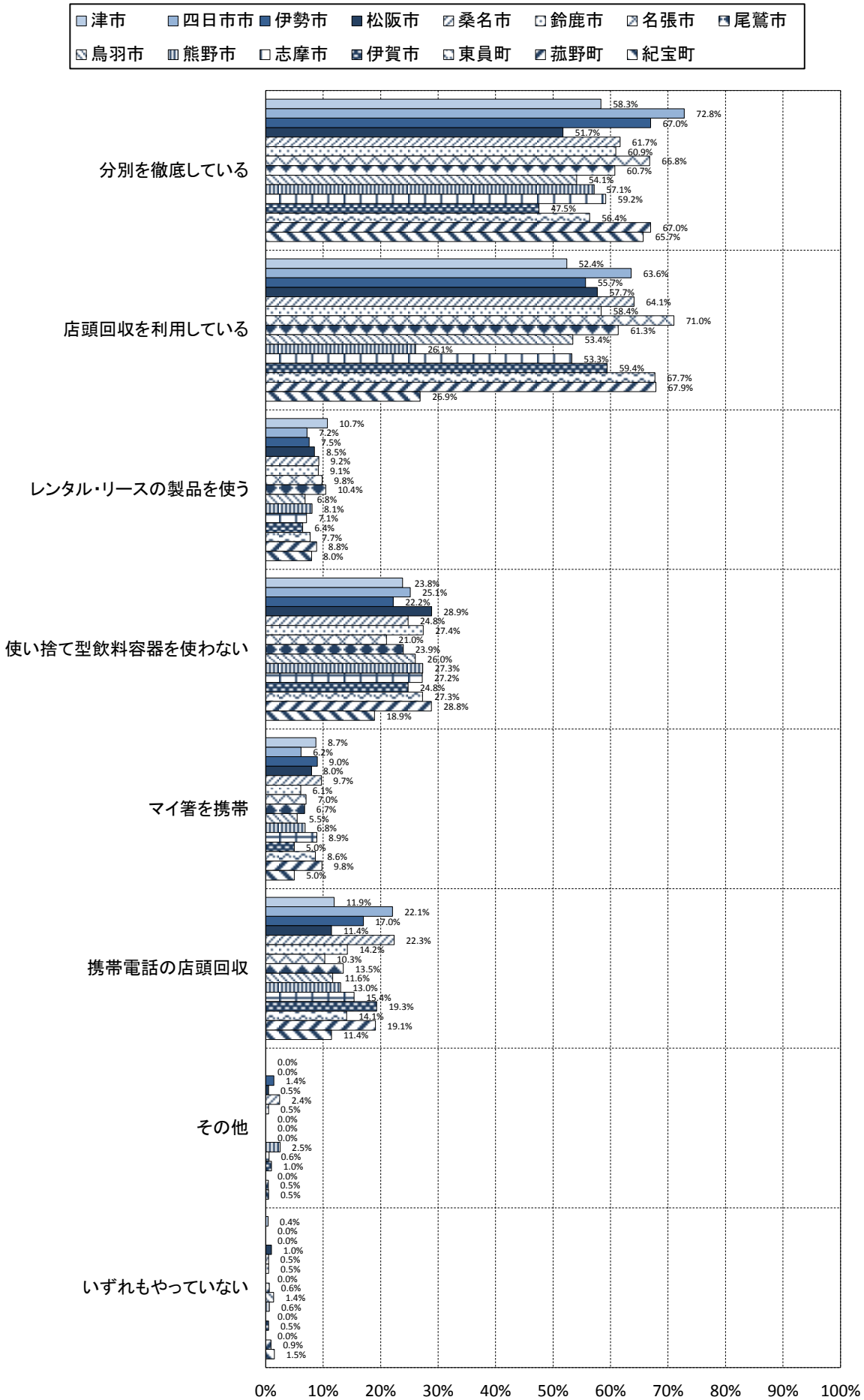


図　5-2-22（3/3）　「市町別　あなたの家庭でたっていることについて」回答率

③　世帯特徴別集計

1	夫婦共働き
2	就学前の乳幼児がいる
3	小中学生がいる
4	家族は全員60歳以上
5	いずれにもあてはまらない

調査表は上の表のたずね方をしており、回答の組み合わせにより、右のような分類をし、集計している。

記号	世帯特徴
A-1	夫婦共働き
A-2	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる
A-3	夫婦共働き、小中学生がいる
A-4	夫婦共働き、家族は全員60歳以上
A-5	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
B-1	就学前の乳幼児がいる
B-2	就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
C	小中学生がいる
D	家族は全員60歳以上
E	いずれにもあてはまらない

表　5-2-12　「世帯特徴別　あなたの家庭でやっていることについて」

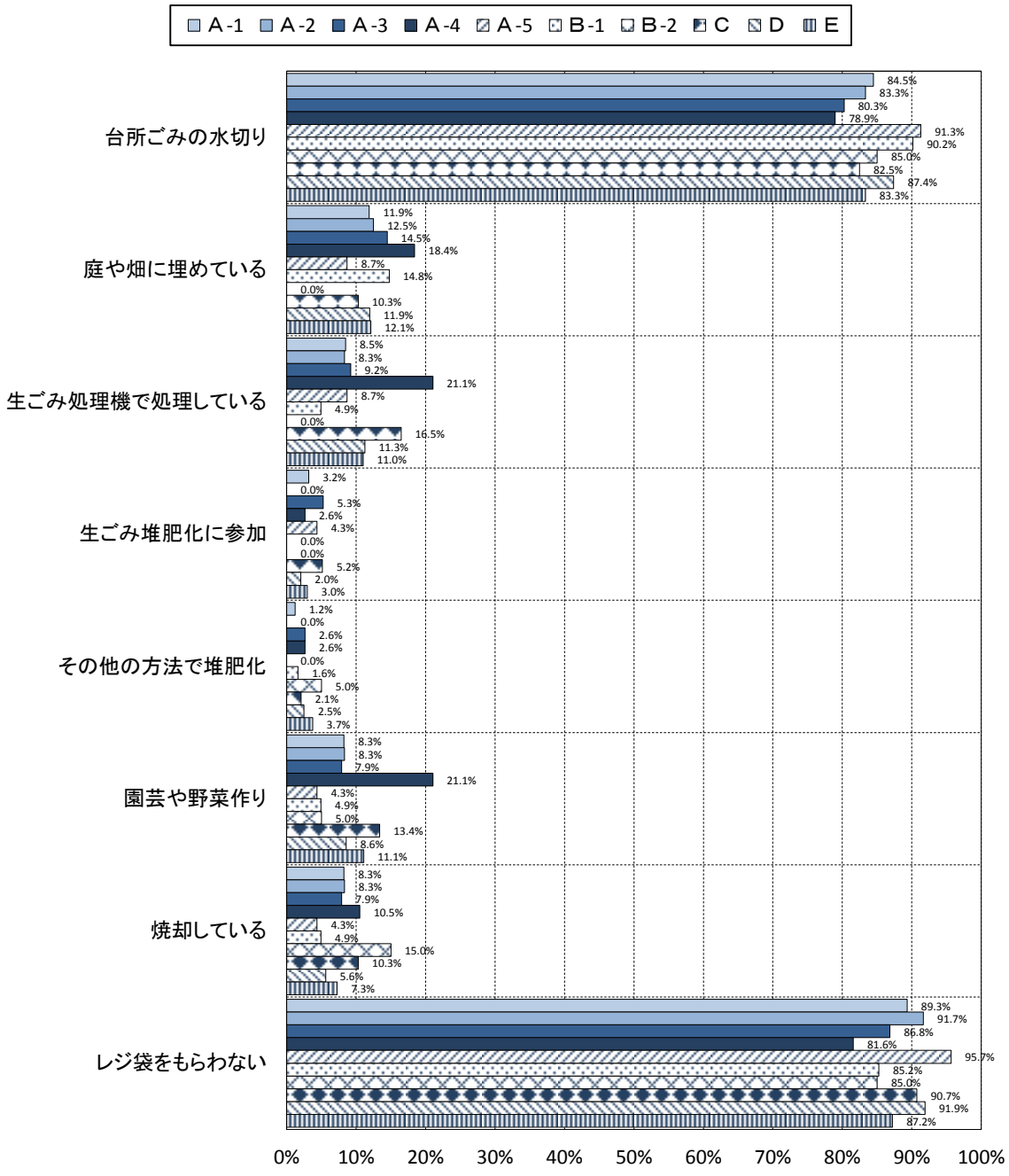


図　5-2-23（1/3）　「世帯特徴別　あなたの家庭でやっていることについて」回答率

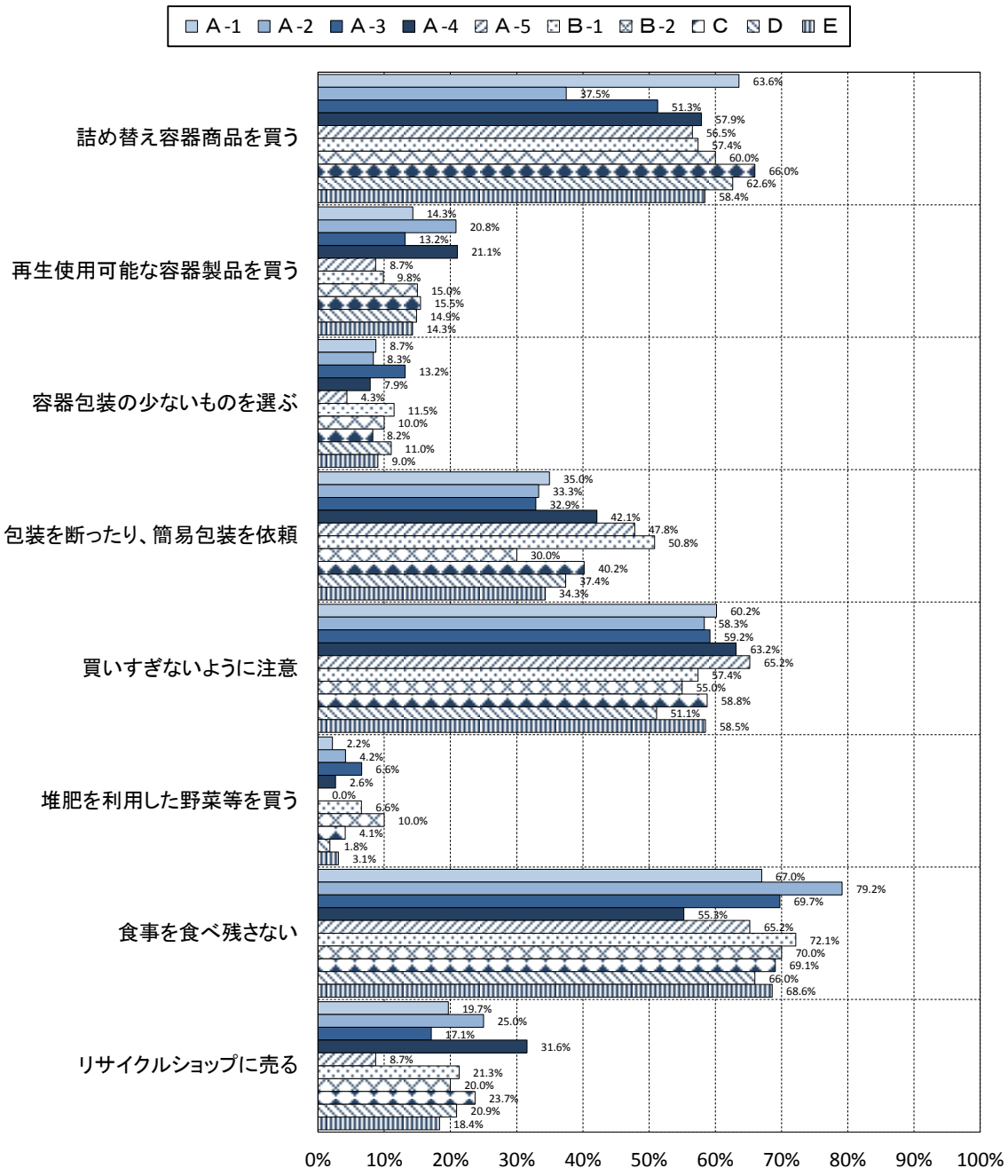


図　5-2-23（2/3）　「世帯特徴別　あなたの家庭でやっていることについて」回答率

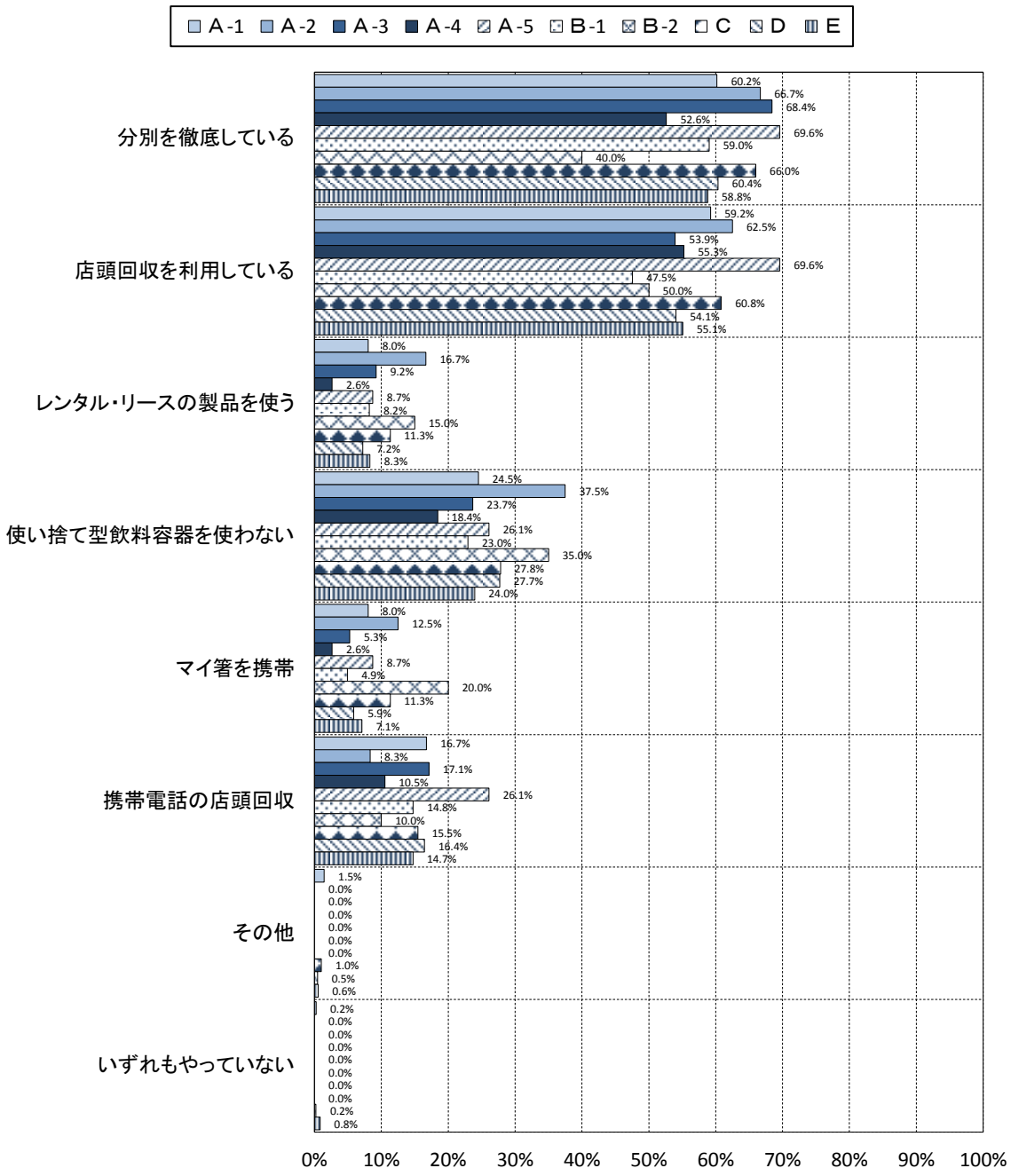


図　5-2-23（3/3）　「世帯特徴別　あなたの家庭でやっていることについて」回答率

問27	あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？（○は3つまで）

ごみ出しで困っていることについては、「特に問題はない」（38.7%）、「収集日時が限られている」（34.7%）の回答率が30%より高くなっている。
市町別については、尾鷲市及び鳥羽市、志摩市、伊賀市で「収集日時が限られている」が最もく他市町では「特に問題はない」が最も高くなっている。また、「分別ルールが複雑でわかりにくい」では、伊賀市で3割を超え、尾鷲市及び熊野市、紀宝町で1割に満たないなど市町により差が生じている。
年代別については、年代が低いほど「分別ルールが複雑でわかりにくい」、「市町ごとにルールが異なり覚えにくい」、「収集日時が限られている」、「ごみ集積所（ステーション）まで遠い」が高くなっている。
分別行動別については、「分別ルールが複雑でわかりにくい」が「分別にかかわる」人ほど低い。
世帯特徴別については、大きな偏りはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	分別ルールが複雑でわかりにくい	558	18.7%
2	市町ごとにルールが異なり覚えにくい	305	10.2%
3	次の収集日までにごみを保管しておく場所がない	561	18.8%
4	収集日時が限られている	1,034	34.7%
5	ごみ集積所（ステーション）まで遠い	289	9.7%
6	洗ったり束ねたり手間がかかる	662	22.2%
7	その他	104	3.5%
8	特に問題はない	1,153	38.7%
総回答数		4,666	156.5%
有効回答数		2,979	－

表　5-2-13　「ごみ出しで困っていること」回答状況

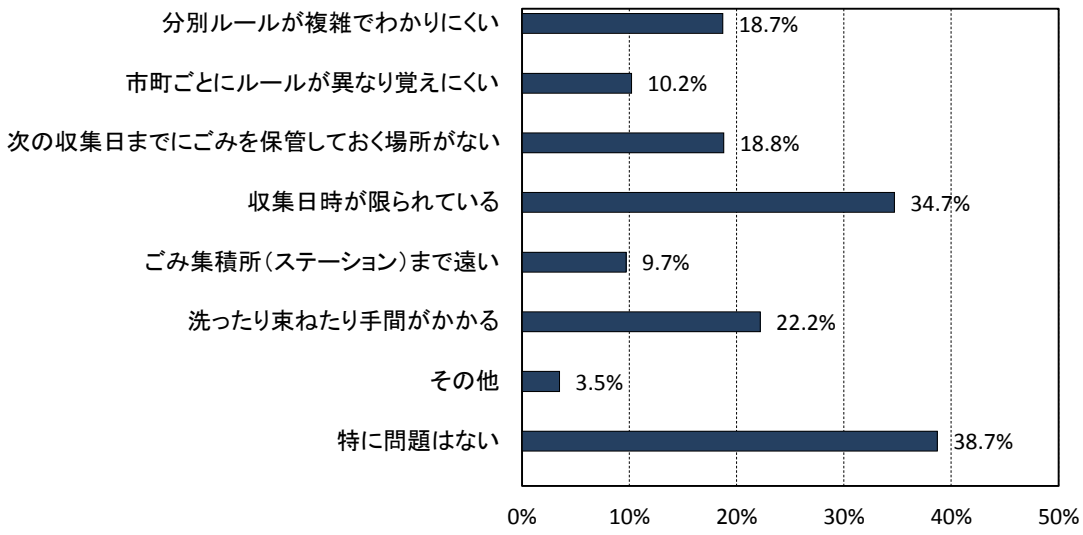


図　5-2-24　「ごみ出しで困っていること」回答率

② 市町別集計

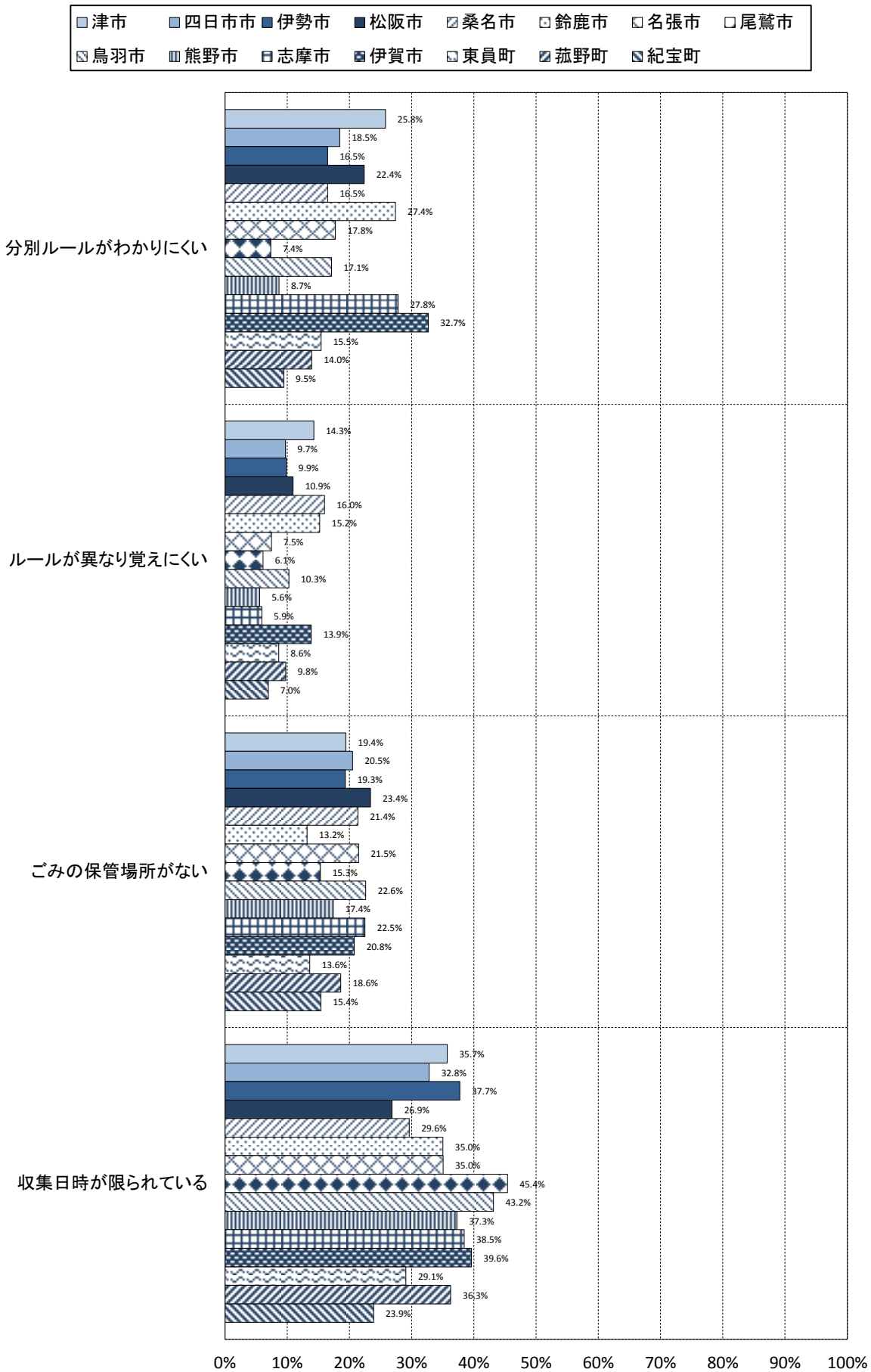


図 5-2-25-2（1/2） 「市町別 ごみ出しで困っていること」回答率

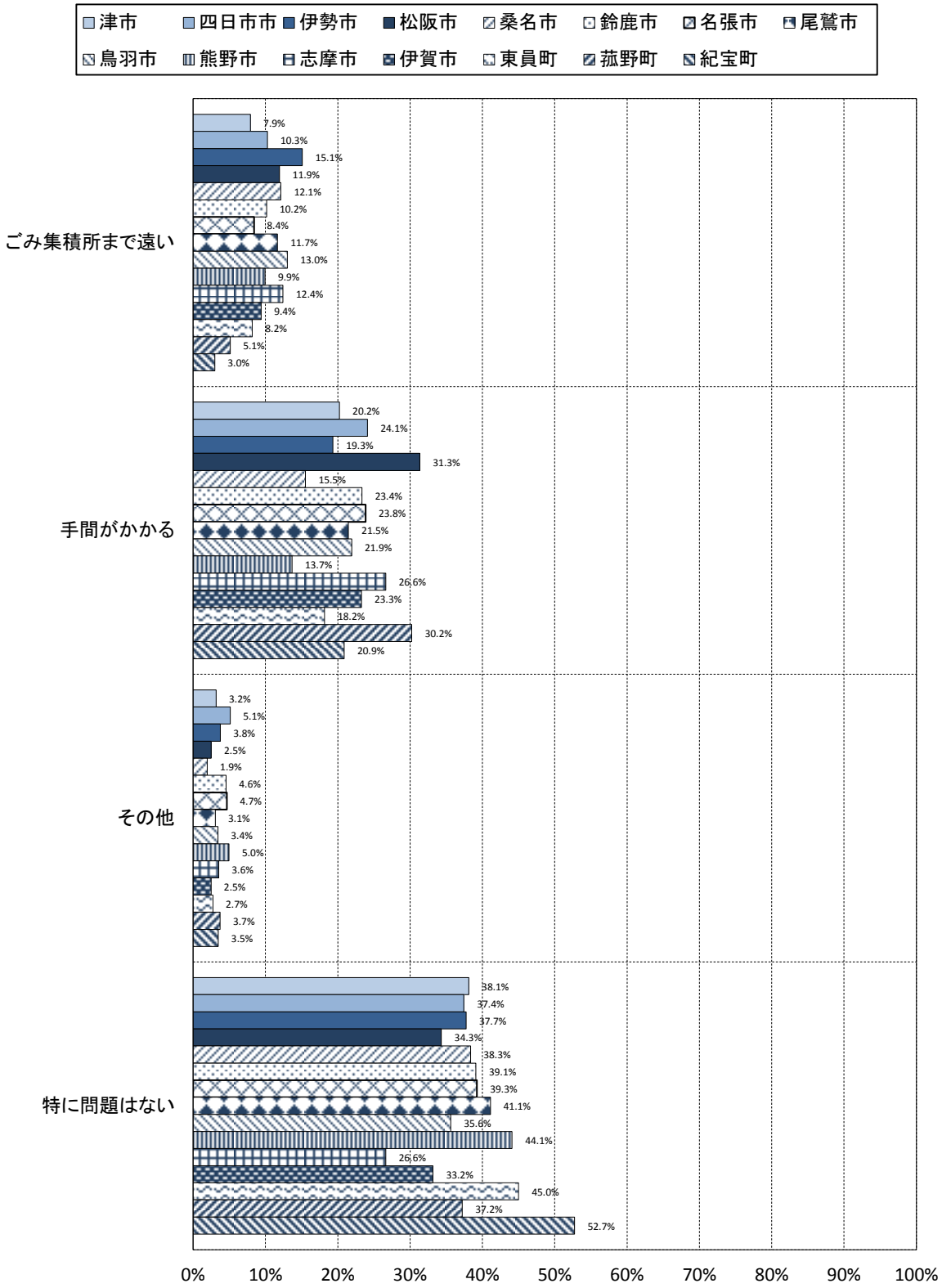


図　5-2-25-2（2/2）　「市町別　ごみ出しで困っていること」回答率

③　年代別集計

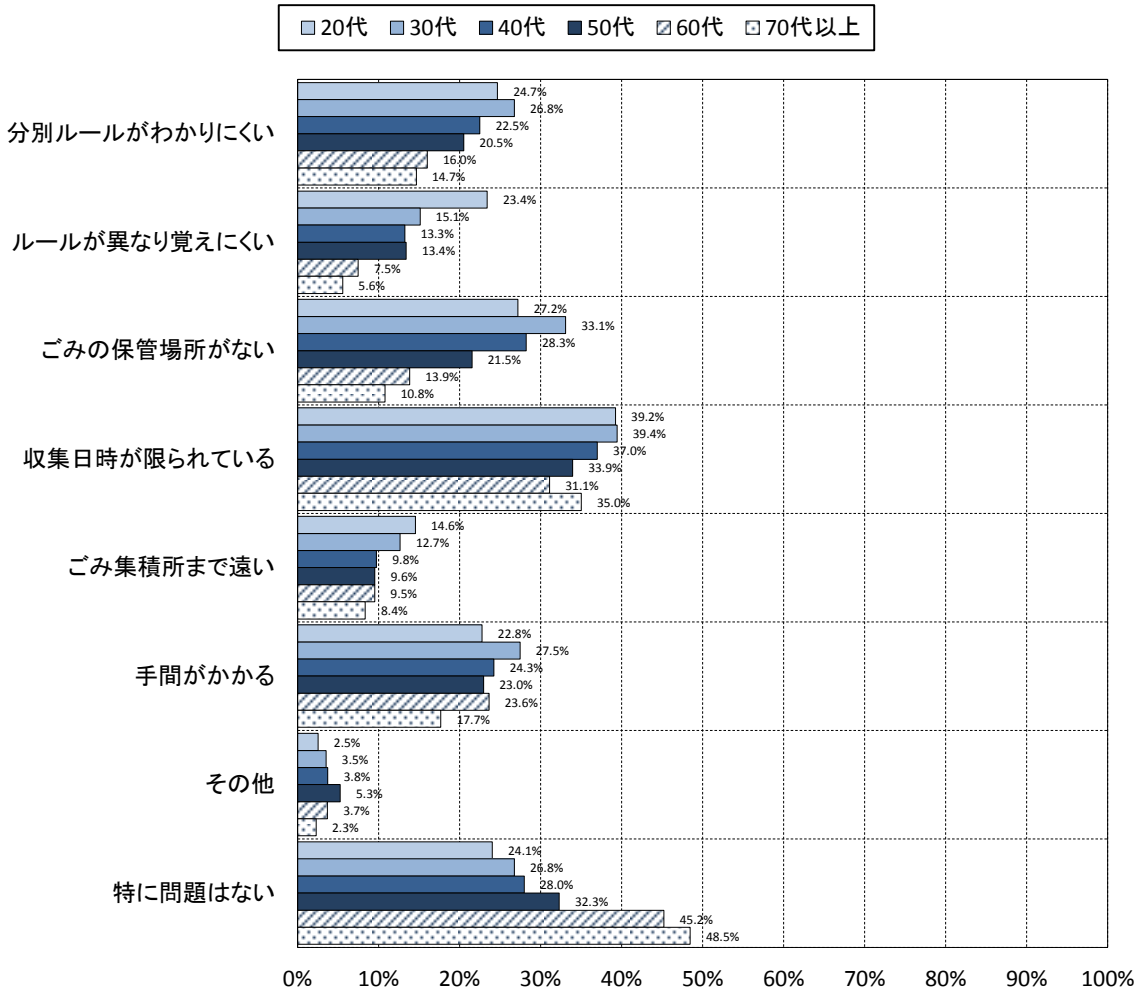


図　5-2-26　「年代別　ごみ出しで困っていること」回答率

④　分別へのかかわり別集計

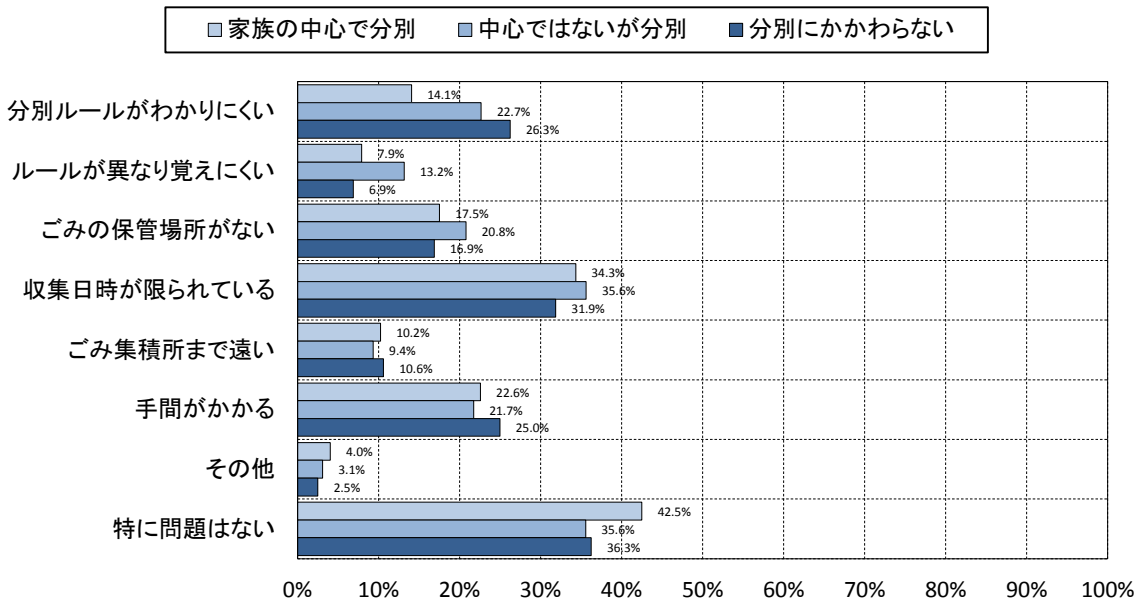


図　5-2-27　「分別行動別　ごみ出しで困っていること」回答率

⑤　世帯特徴別集計

1	夫婦共働き
2	就学前の乳幼児がいる
3	小中学生がいる
4	家族は全員60歳以上
5	いずれにもあてはまらない

調査表は上の表のたずね方をしており、回答の組み合わせにより、右のような分類をし、集計している。

記号	世帯特徴
A-1	夫婦共働き
A-2	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる
A-3	夫婦共働き、小中学生がいる
A-4	夫婦共働き、家族は全員60歳以上
A-5	夫婦共働き、就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
B-1	就学前の乳幼児がいる
B-2	就学前の乳幼児がいる、小中学生がいる
C	小中学生がいる
D	家族は全員60歳以上
E	いずれにもあてはまらない

表　5-2-14　「世帯特徴別　ごみ出しで困っていること」

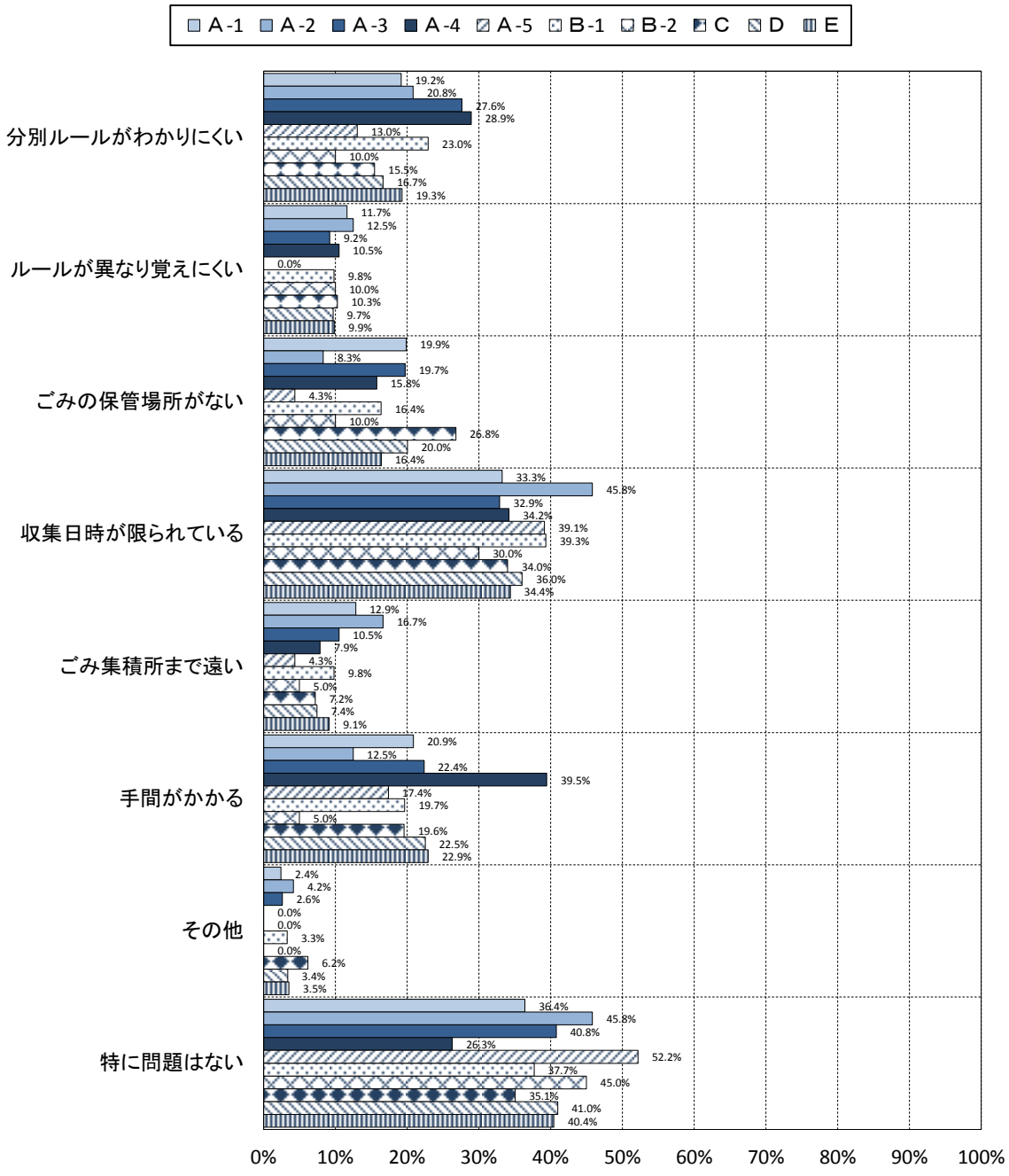


図　5-2-28　「世帯特徴別　ごみ出しで困っていること」回答率

5-3　今後の方策に対する意向について

問28	今後あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？（あてはまるものすべてに○）

暮らしの工夫で減らせるごみについては、「食べ残し」の割合が高く60.8%であり、次いで「賞味期限切れ食品」（59.3%）、「調理くず」（41.2%）の順となっている。
市町別、年代別については、それぞれ項目により傾向に違いが生じているものの、大きな偏りはみられない。
世帯人員別については、「食べ残し」について「5人以上」の家族が一番高く65%近くを占めている。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	調理くず	1,227	41.2%
2	食べ残し	1,810	60.8%
3	賞味期限切れ食品	1,766	59.3%
4	紙容器、紙袋や包装紙	770	25.8%
5	新聞	366	12.3%
6	チラシ	594	19.9%
7	雑誌	525	17.6%
8	段ボール	476	16.0%
9	紙パック	290	9.7%
10	古着類	650	21.8%
11	ペットボトル	676	22.7%
12	レジ袋	1,075	36.1%
13	プラスチック容器	492	16.5%
14	びん	335	11.2%
15	缶	369	12.4%
16	粗大ごみ	505	17.0%
17	その他	38	1.3%
総回答数		11,964	401.6%
有効回答数		2,979	－

表　5-3-1　「暮らしの工夫で減らせるごみ」回答状況

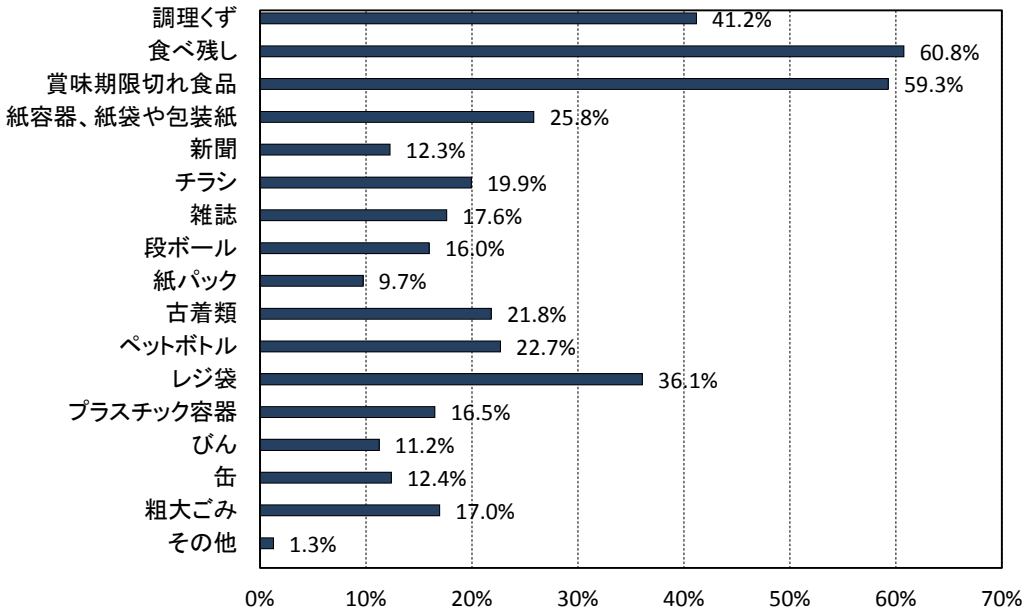


図　5-3-1　「暮らしの工夫で減らせるごみ」回答率

② 市町別集計

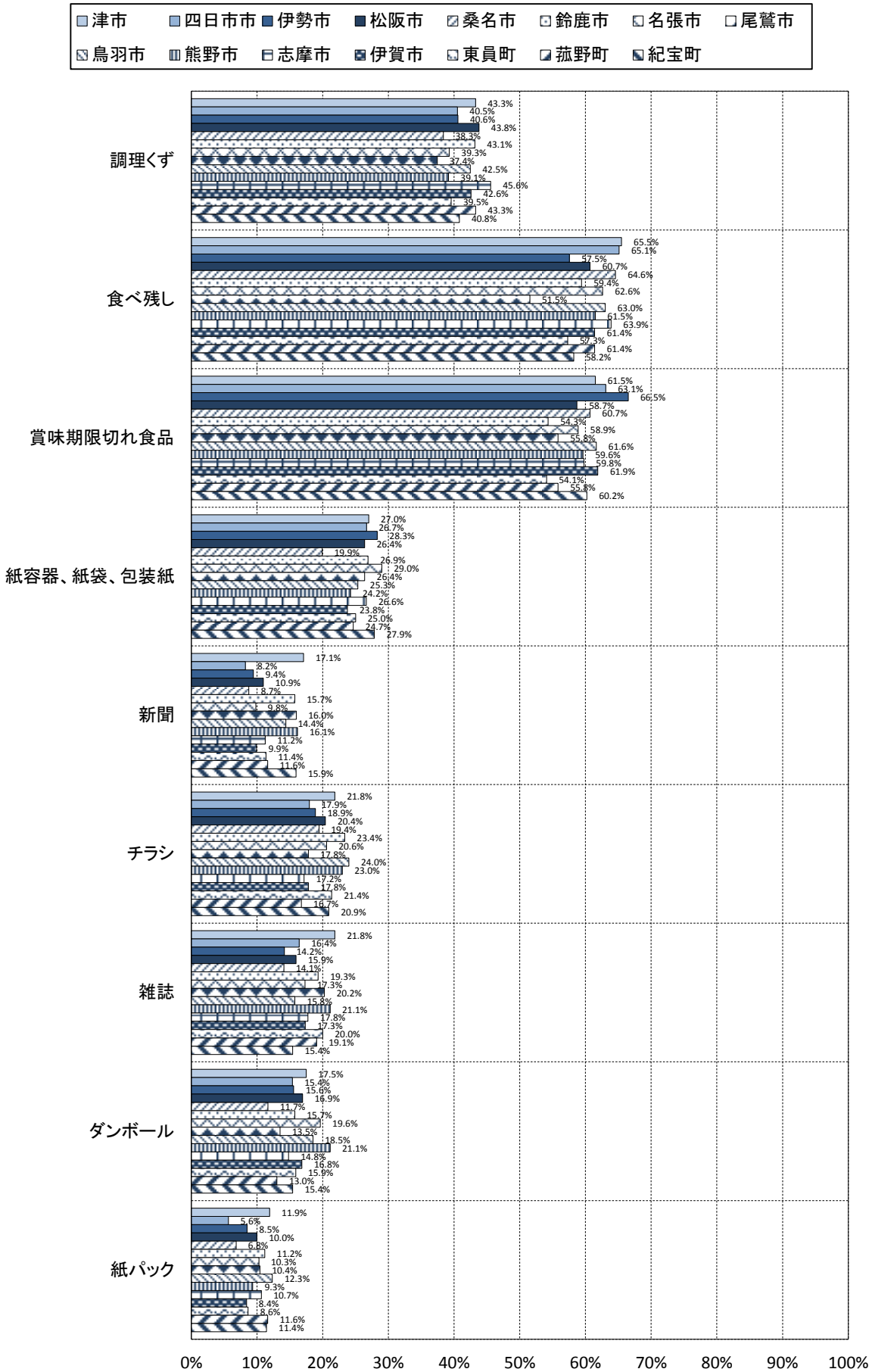


図 5-3-2（1/2） 「市町別 暮らしの工夫で減らせるごみ」回答率

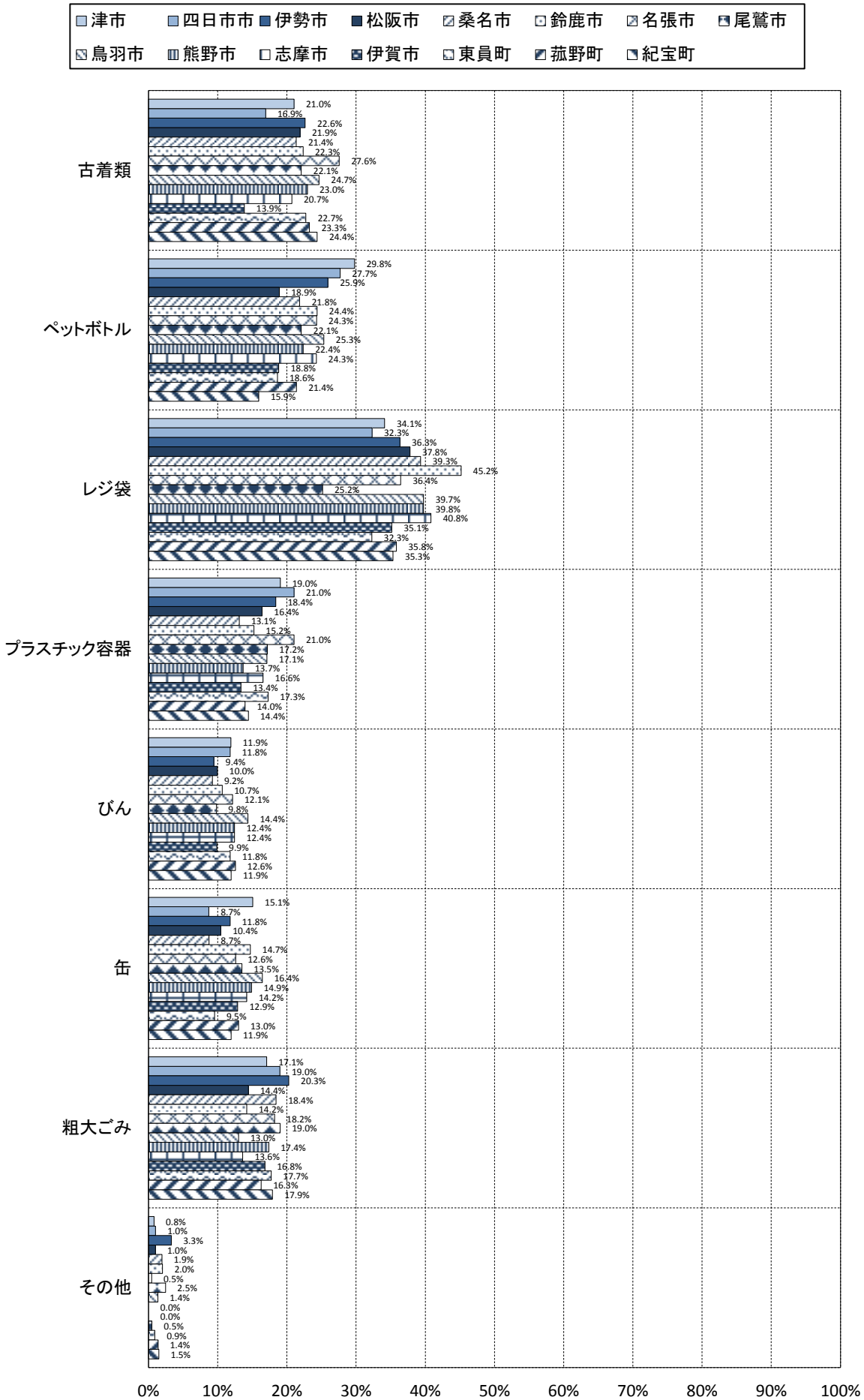


図　5-3-2（2/2）　「市町別　暮らしの工夫で減らせるごみ」回答率

③　年代別集計

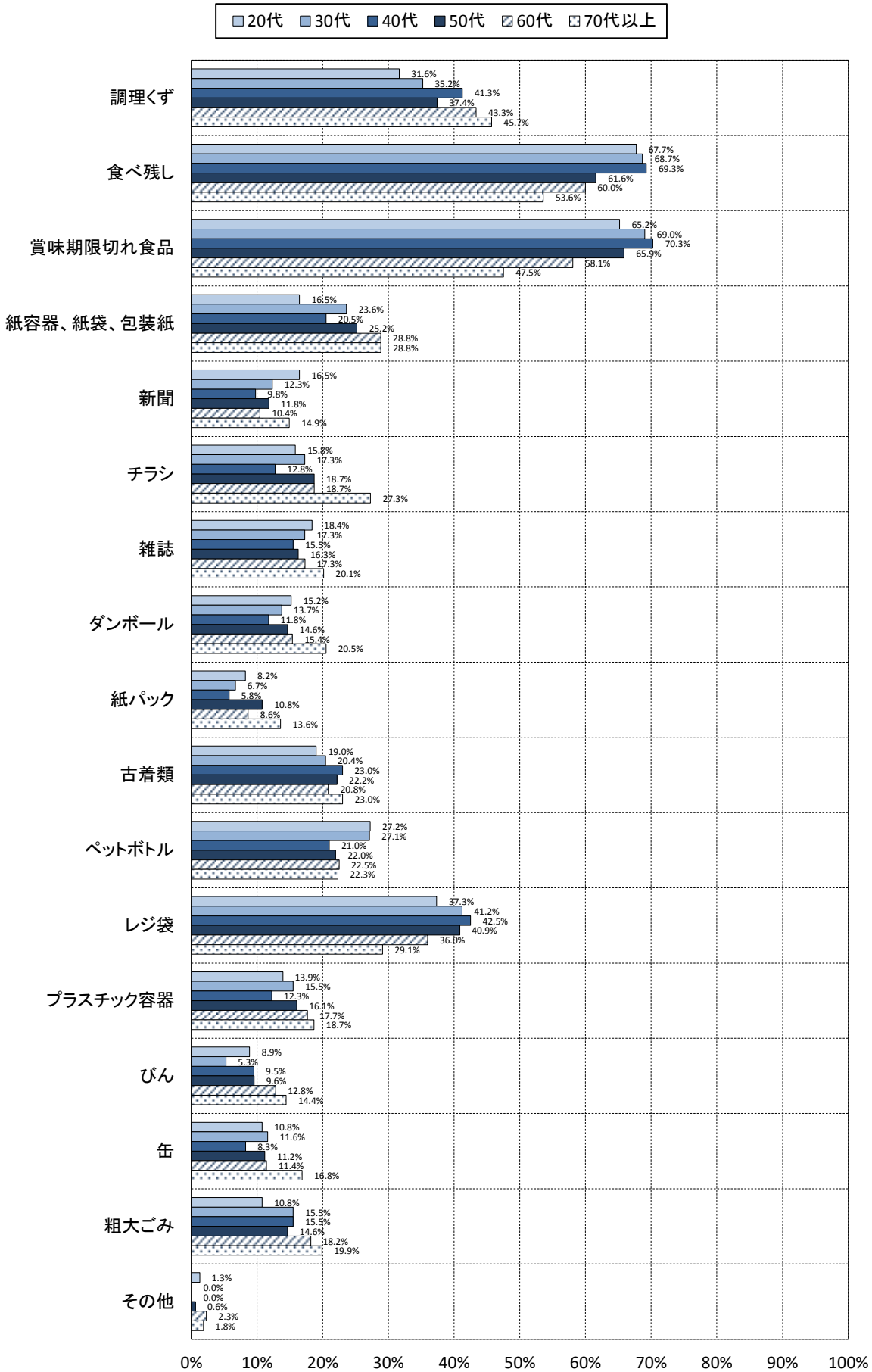


図　5-3-3　「年代別　暮らしの工夫で減らせるごみ」回答率

④　世帯人員別集計

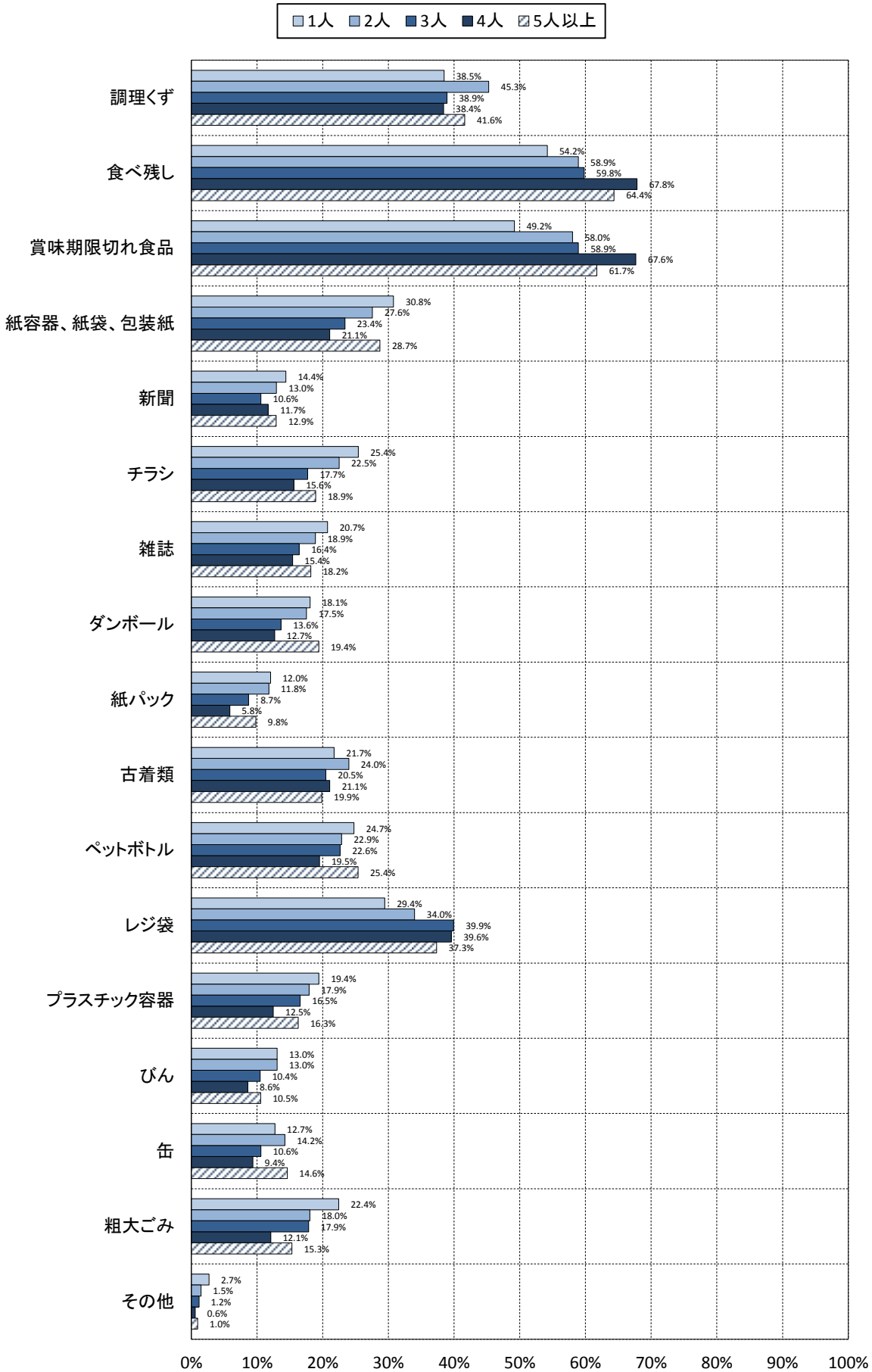


図　5-3-4　「世帯人員別　暮らしの工夫で減らせるごみ」回答率

問29	イベントなどにおいて、使い捨てコップの替わりに洗って繰り返し再利用できるプラスチック製のカップ（リユースカップ）を使うことについて、あなたはどう思いますか？（○は1つ）

「リユースカップ」については、「ぜひ使うべきである」と「できれば使った方がよい」の計が42.1%、「どちらかというと使ってほしくない」と「使うべきでない」の計が53.1%となっている。「賛成派」、「反対派」で、意見がわかれている。
市町別及び年代別についても同じ傾向である。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ぜひ使うべきである	253	8.5%
2	できれば使った方がよい	1,000	33.6%
3	どちらかというと使ってほしくない	1,290	43.3%
4	使うべきでない	292	9.8%
99	無回答	144	4.8%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-3-4　「リユースカップを使うことについて」回答状況

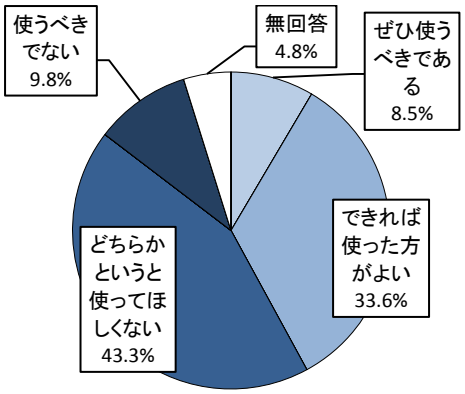


図　5-3-11　「リユースカップを使うことについて」回答率

② 市町別集計

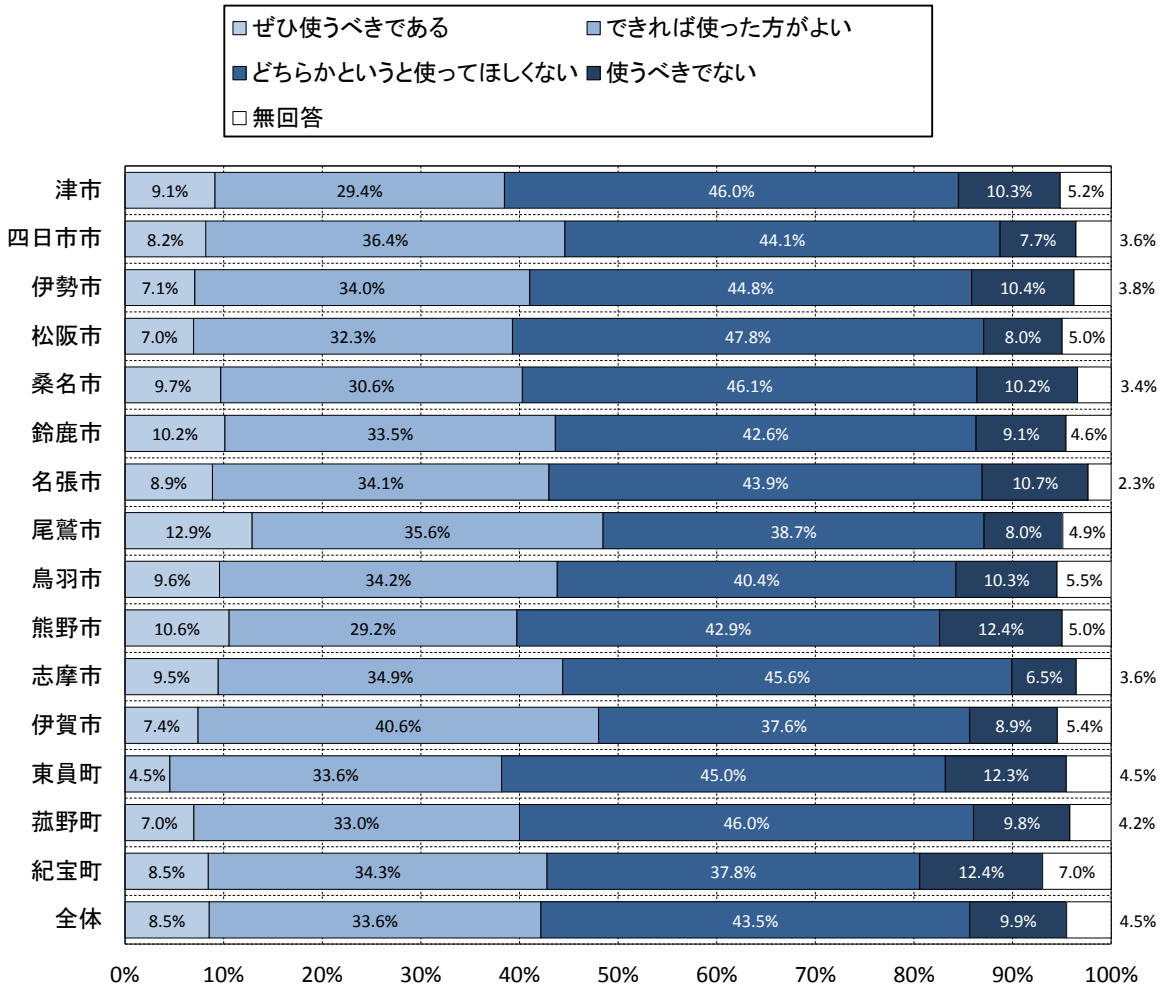


図　5-3-12　「市町別　リユースカップを使うことについて」回答率

③　年代別集計

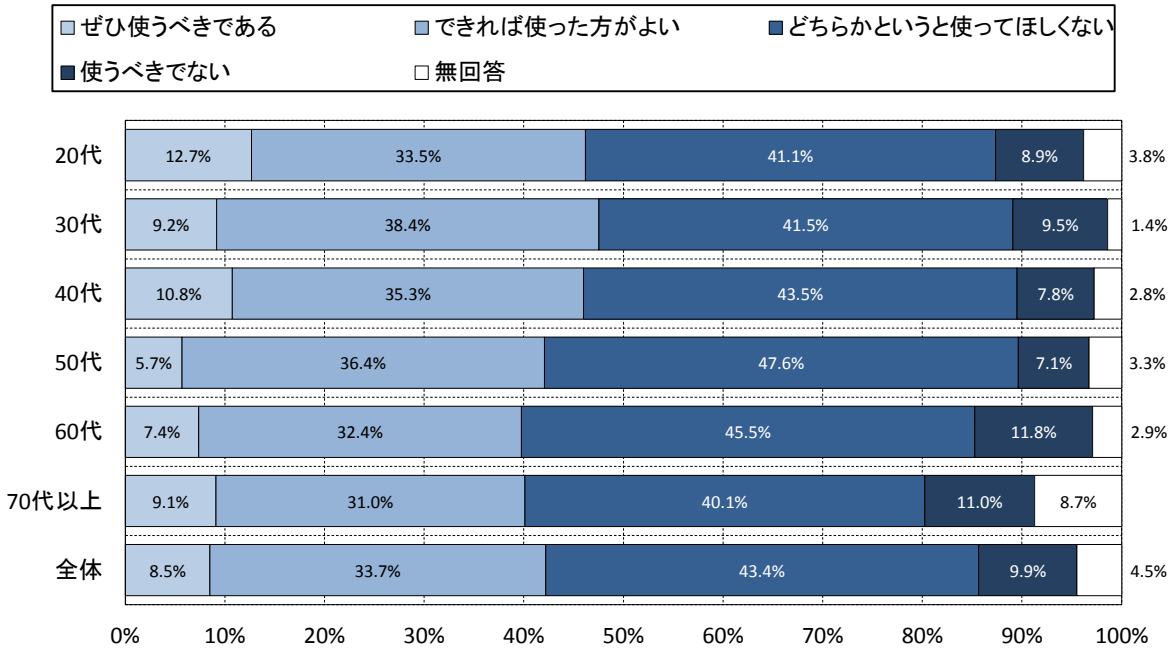


図　5-3-13　「年代別　リユースカップを使うことについて」回答率

④　分別へのかかわり別集計

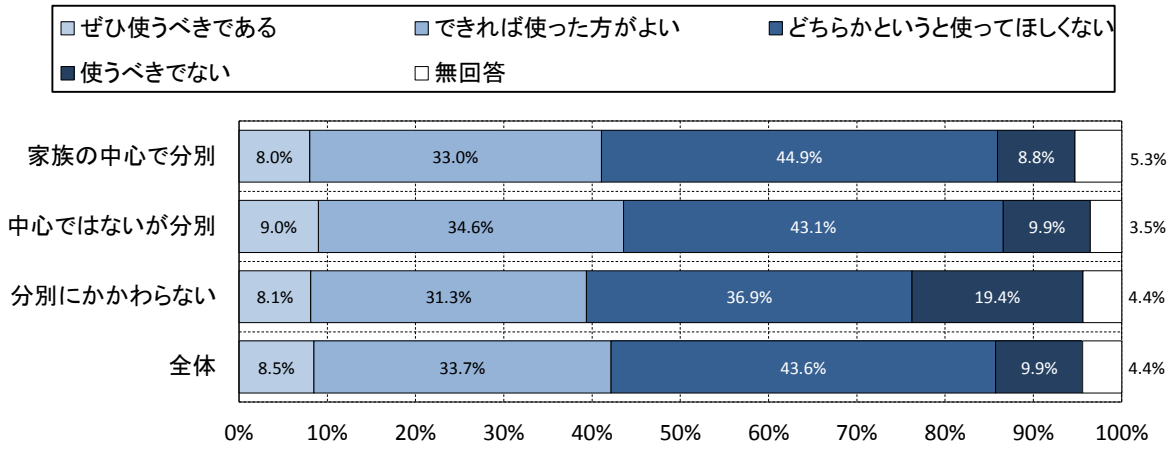


図　5-3-14　「分別行動別　リユースカップを使うことについて」回答率

問30	（問い29で「1　ぜひ使うべきである」「2　できれば使った方がよい」と答えた方のみ） 「ぜひ使うべきである」又は「できれば使った方がよい」と思う理由はなんですか？（あてはまるものすべてに○）

「ぜひ使うべきである」又は「できれば使った方がよい」と思う理由については、「ごみの減量につながるか」が最も多い理由となっている。
市町別については、大きな偏りはみられない。
年代別については、大きな偏りはみられない。
分別行動別については、どの項目も分別にかかわる人の回答率が高い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	資源の有効利用につながるから（使い捨てコップはもったいない）	885	70.6%
2	ごみの減量化につながるから	1,058	84.4%
3	利用者にとっては特に大きな負担にならないから	399	31.8%
4	環境問題への意識向上に役立つから	500	39.9%
5	リユースカップで飲む方がおいしく感じられるから	36	2.9%
6	その他	20	1.6%
7	特にない	11	0.9%
総回答数		2,909	232.1%
有効回答数		1,253	100.0%

表　5-3-5　「『ぜひ使うべきである』又は『できれば使った方がよい』理由」回答状況

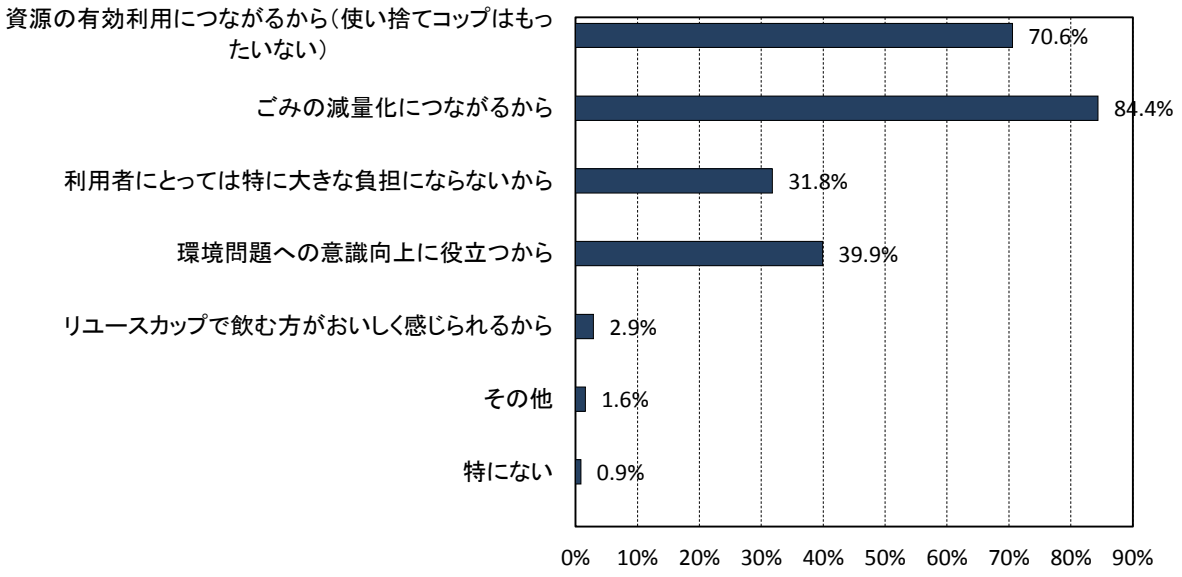


図　5-3-15　「『ぜひ使うべきである』又は『できれば使った方がよい』理由」回答率

② 市町別集計

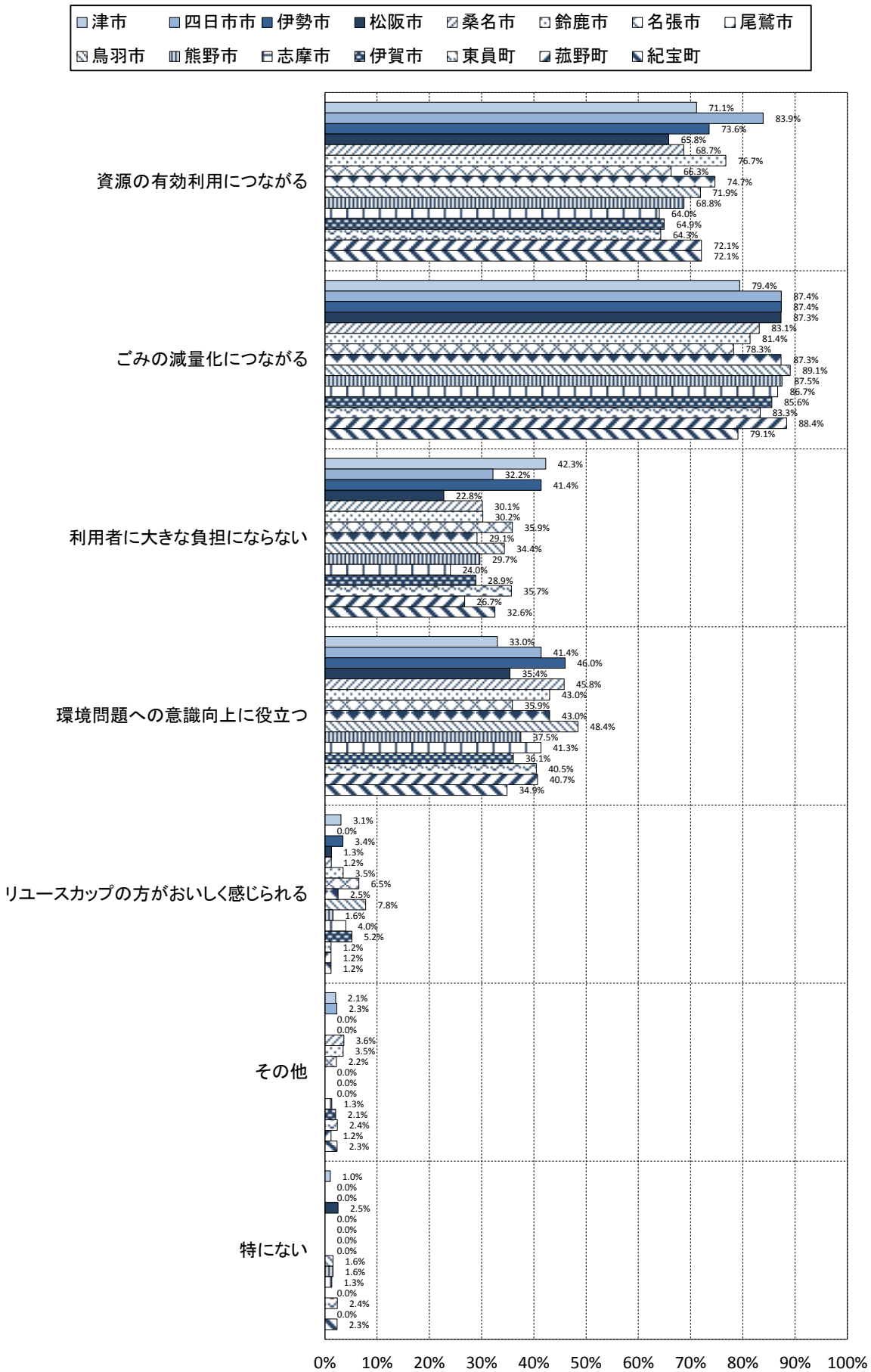


図 5-3-16 「市町別 『ぜひ使うべきである』又は『できれば使った方がよい』理由」回答率

③　年代別集計

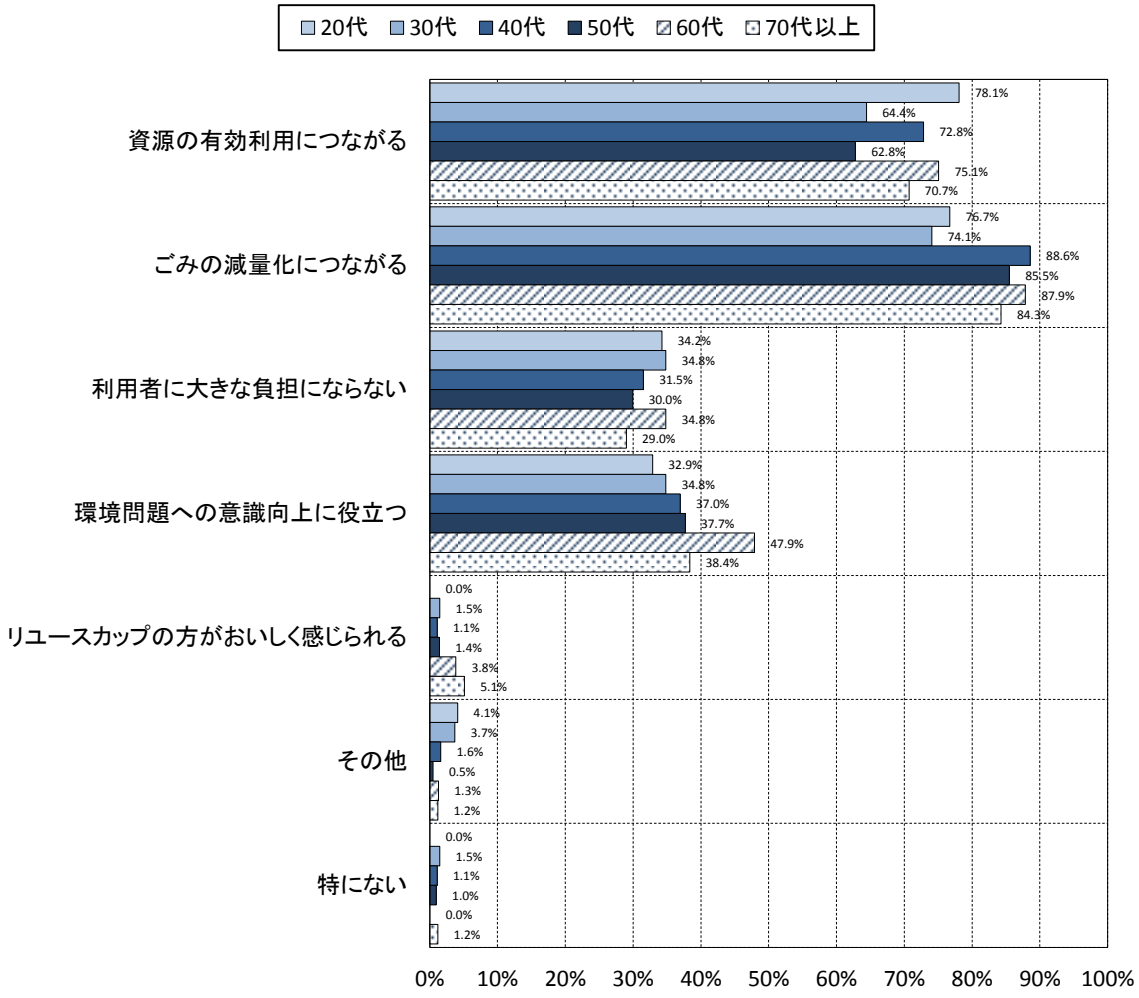


図　5-3-17　「年代別　『ぜひ使うべきである』又は『できれば使った方がよい』理由」回答率

④　分別へのかかわり別集計

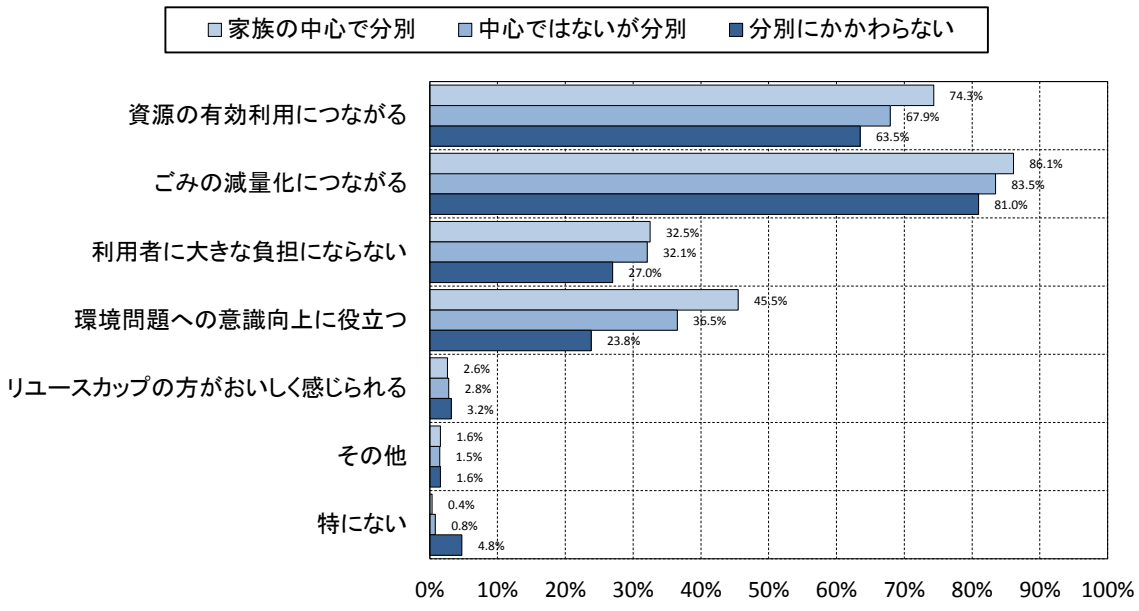


図　5-3-18　「分別行動別　『ぜひ使うべきである』又は『できれば使った方がよい』理由」回答率

問31	（問い29で「3　どちらかというと使ってほしくない」「4　使うべきでない」と答えた方のみ） 「どちらかというと使ってほしくない」又は「使うべきでない」と思う理由はなんですか？（あてはまるものすべてに○）

「どちらかというと使ってほしくない」又は「使うべきでない」と思う理由については、「衛生上の不安があるから」の回答率が93.3%と高くなっている。
市町別については、大きな偏りはみられない。
年代別については、大きな偏りはみられない。
分別行動別については、大きな偏りはみられない。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	指定場所への返却など、手間がかかるから	148	9.4%
2	商品の値上げにつながる可能性があるから	61	3.9%
3	衛生上の不安があるから	1,476	93.3%
4	リユースカップの回収率が低い場合や洗浄のことを考えると、使い捨てコップの方が結果的に環境への負荷が小さいと思うから	740	46.8%
5	使い捨てコップで飲む方がおいしく感じられるから	106	6.7%
6	その他	42	2.7%
7	特にない	18	1.1%
総回答数		2,591	163.9%
有効回答数		1,582	100.0%

表　5-3-6　「『どちらかというと使ってほしくない』又は『使うべきでない』理由」回答状況

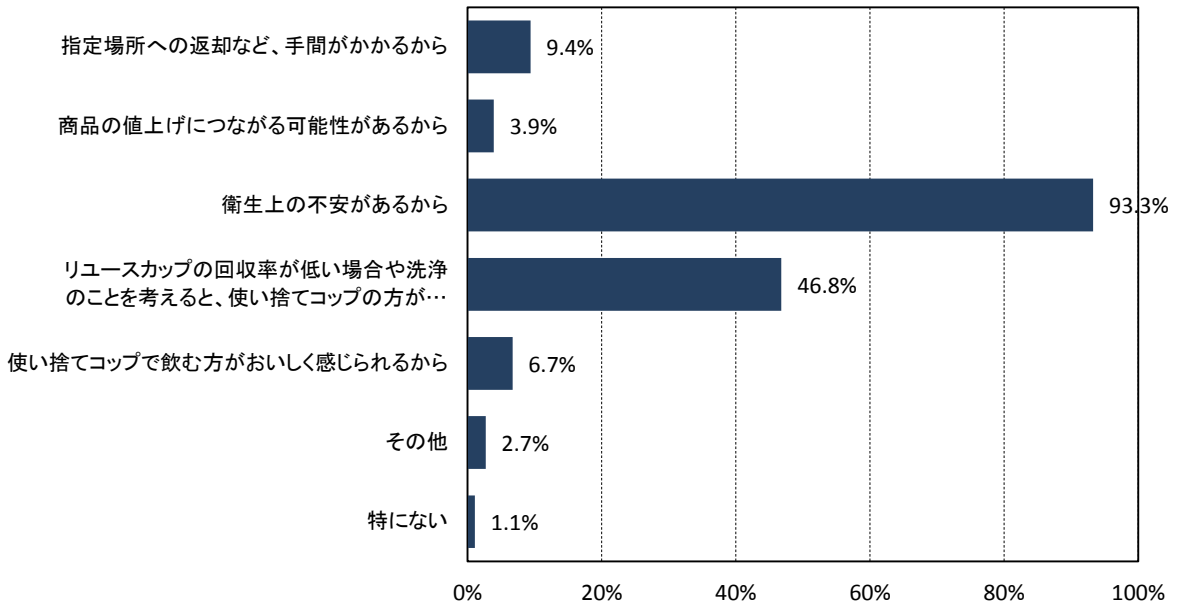


図　5-3-19　「『どちらかというと使ってほしくない』又は『使うべきでない』理由」回答率

② 市町別集計

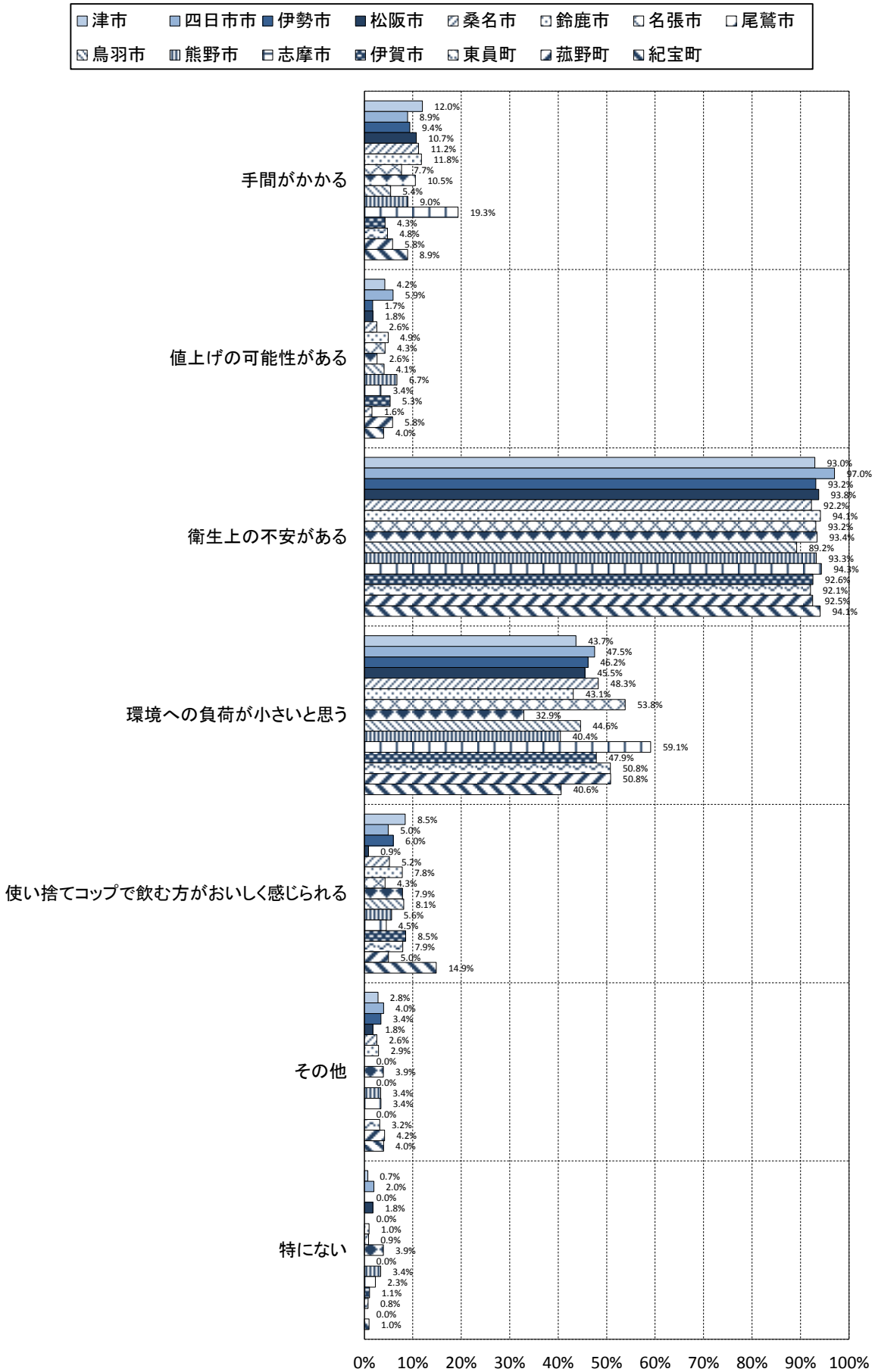


図 5-3-20 「市町別 『どちらかというと使ってほしくない』又は『使うべきでない』理由」回答率

③　年代別集計

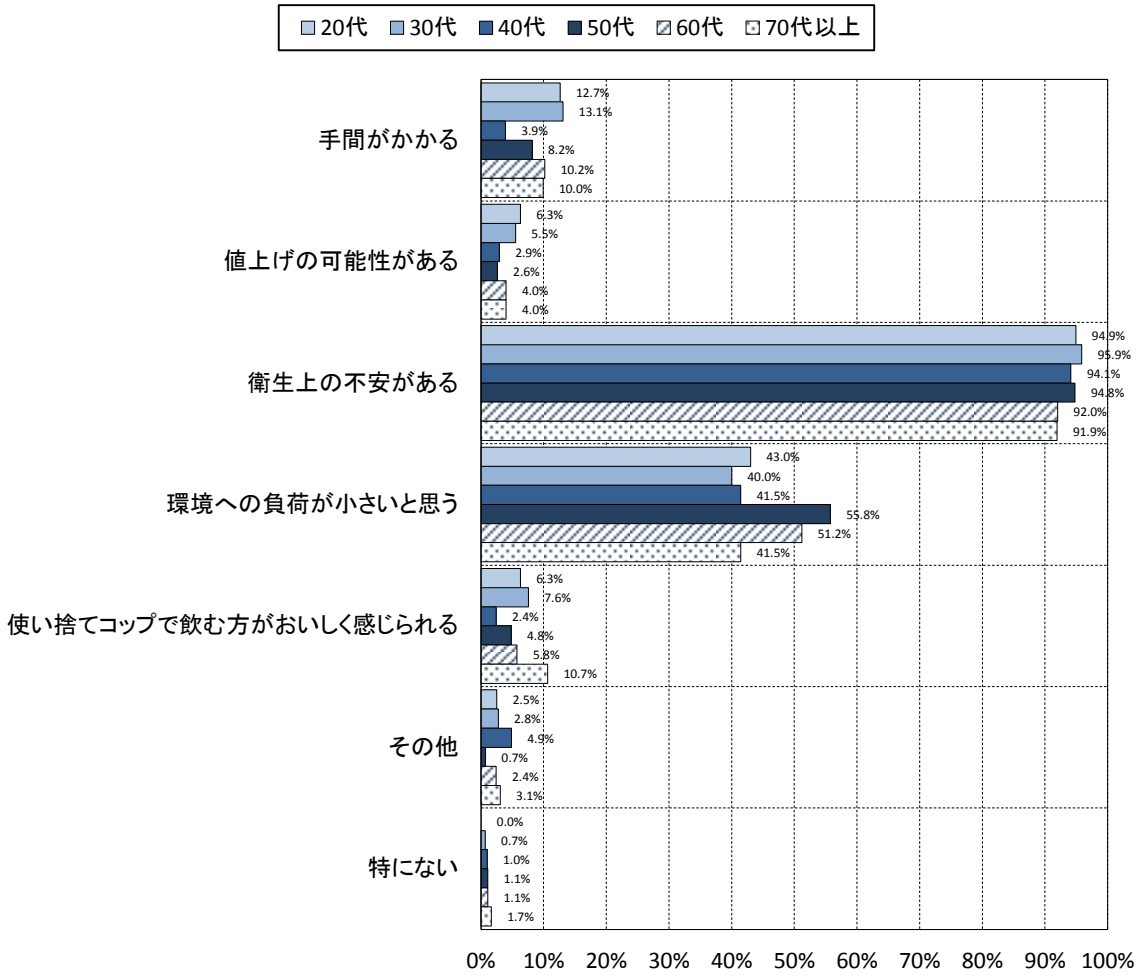


図　5-3-21　「年代別　『どちらかというと使ってほしくない』又は『使うべきでない』理由」回答率

④　分別へのかかわり別集計

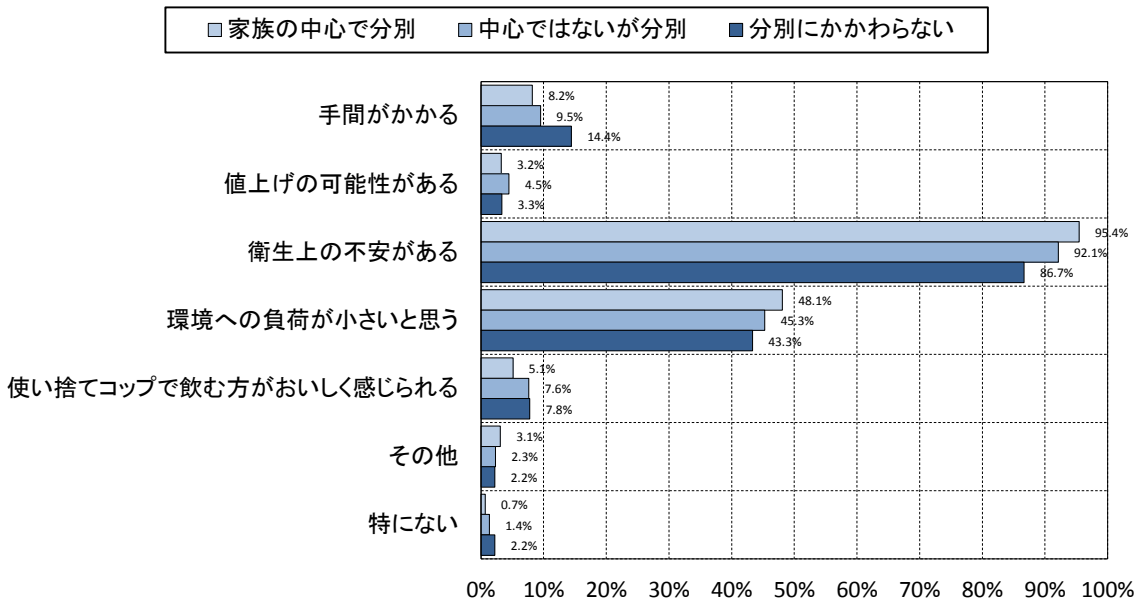


図　5-3-22　「分別行動別　『どちらかというと使ってほしくない』又は『使うべきでない』理由」回答率

問32	ごみに関する情報を、あなたはどのような方法で手に入れていますか？（あてはまるものすべてに○）

ごみ関連情報の入手方法として、「市町の広報や分別マニュアルを通じて」の回答率が83.9%と最も高く、次いで「地域の回覧板や掲示物を通じて」が51.3%、「新聞などマスコミを通じて」が21.9%となっている。
市町別については、いずれの市町においても上記項目の割合が高いが、「地域の回覧板や掲示物を通じて」は、28.8%から62.3%の範囲にわたっている。
年代別については、どの年代も「市町の広報や分別マニュアルを通じて」が最も高い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	市町の広報や分別マニュアルを通じて	2,499	83.9%
2	市町のホームページを通じて	307	10.3%
3	公共施設などのポスターやチラシを通じて	506	17.0%
4	地域の回覧板や掲示物を通じて	1,527	51.3%
5	防災無線や広域スピーカーで	201	6.7%
6	住民説明会を通じて	172	5.8%
7	新聞などマスコミを通じて	652	21.9%
8	企業の広告、広報誌、パンフレット、環境報告書で	181	6.1%
9	家族や友人・知人を通じて	490	16.4%
10	子供（学校などの情報）を通じて	83	2.8%
11	書籍で	75	2.5%
12	スーパーマーケットなど地域の店舗や流通業者を通じて	306	10.3%
13	エコ製品やサービスを展示するイベントを通じて	99	3.3%
14	PTA・自治会などの地域の活動を通じて	461	15.5%
15	勤務先・取引先など仕事を通じて	157	5.3%
16	環境保護団体・環境NGOの広報誌やパンフレットを通じて	84	2.8%
17	生協活動・ボランティア活動など社会活動を通じて	124	4.2%
18	シンポジウムや講演会、市民大学などで	14	0.5%
19	その他	15	0.5%
20	あてはまるものなし	25	0.8%
総回答数		7,978	267.9%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-3-2　「情報をどのような方法で手に入れているか」回答状況

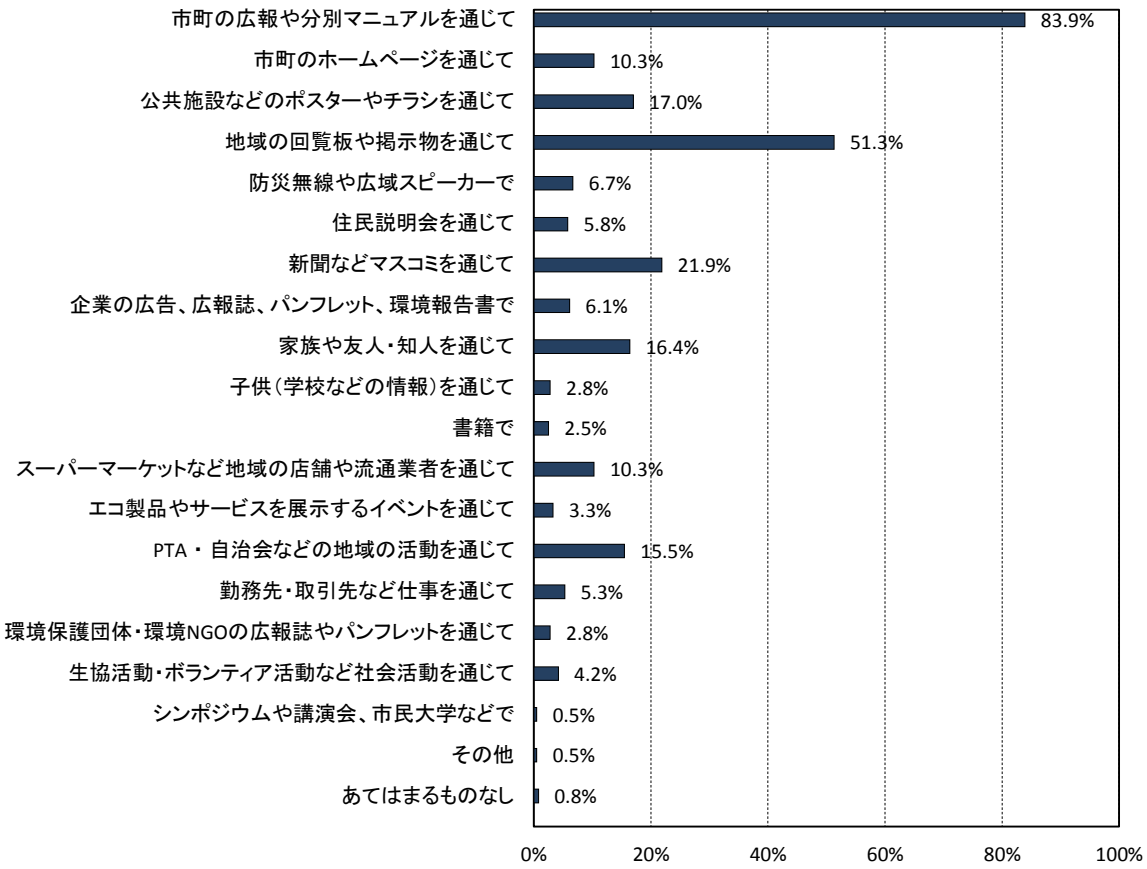


図　5-3-5　「情報をどのような方法で手にいれているか」回答率

② 市町別集計

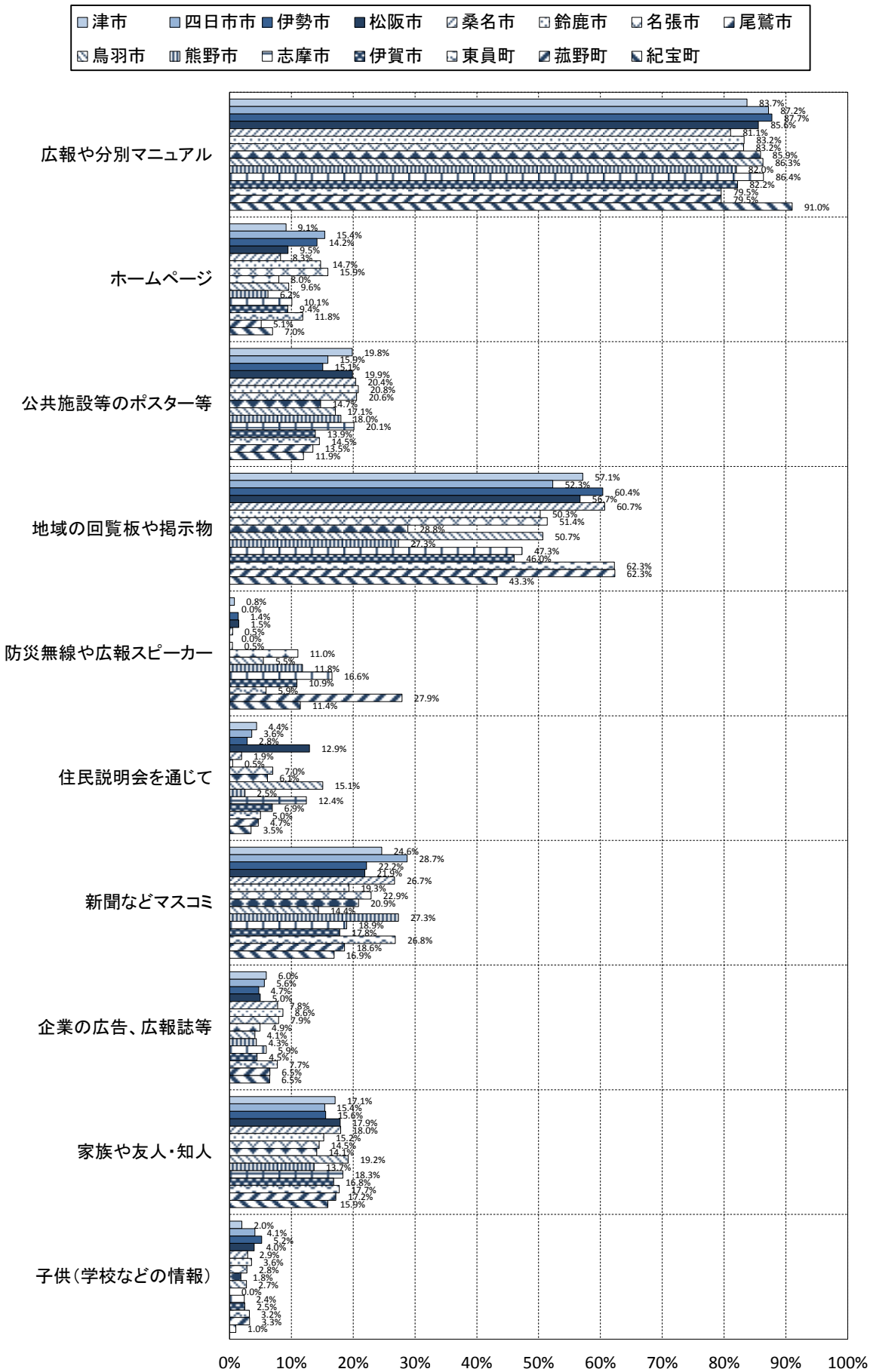


図 5-3-6（1/2） 「市町別 情報をどのような方法で手に入れているか」回答率

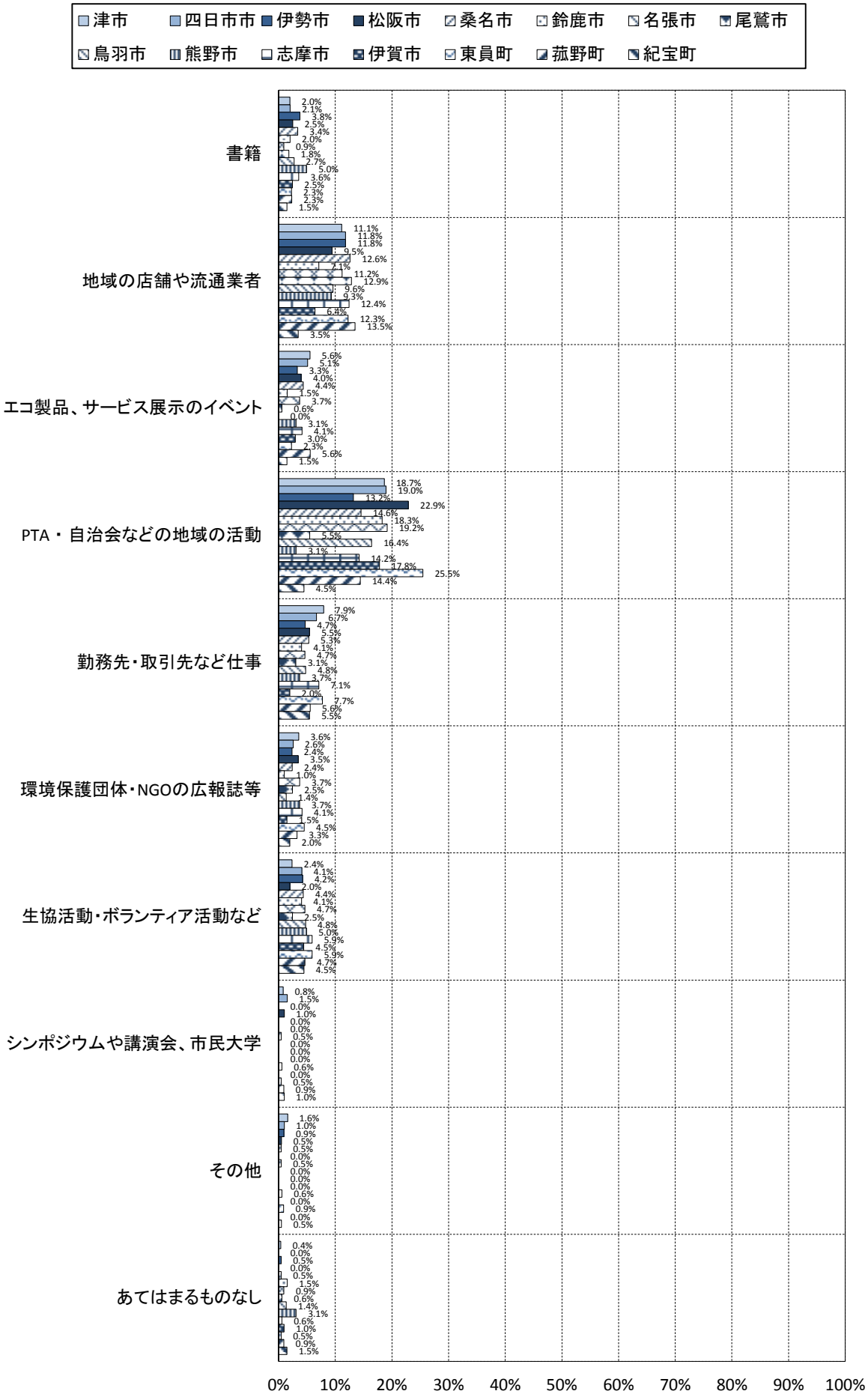


図　5-3-6（2/2）　「市町別　情報をどのような方法で手に入れているか」回答率

② 年代別集計

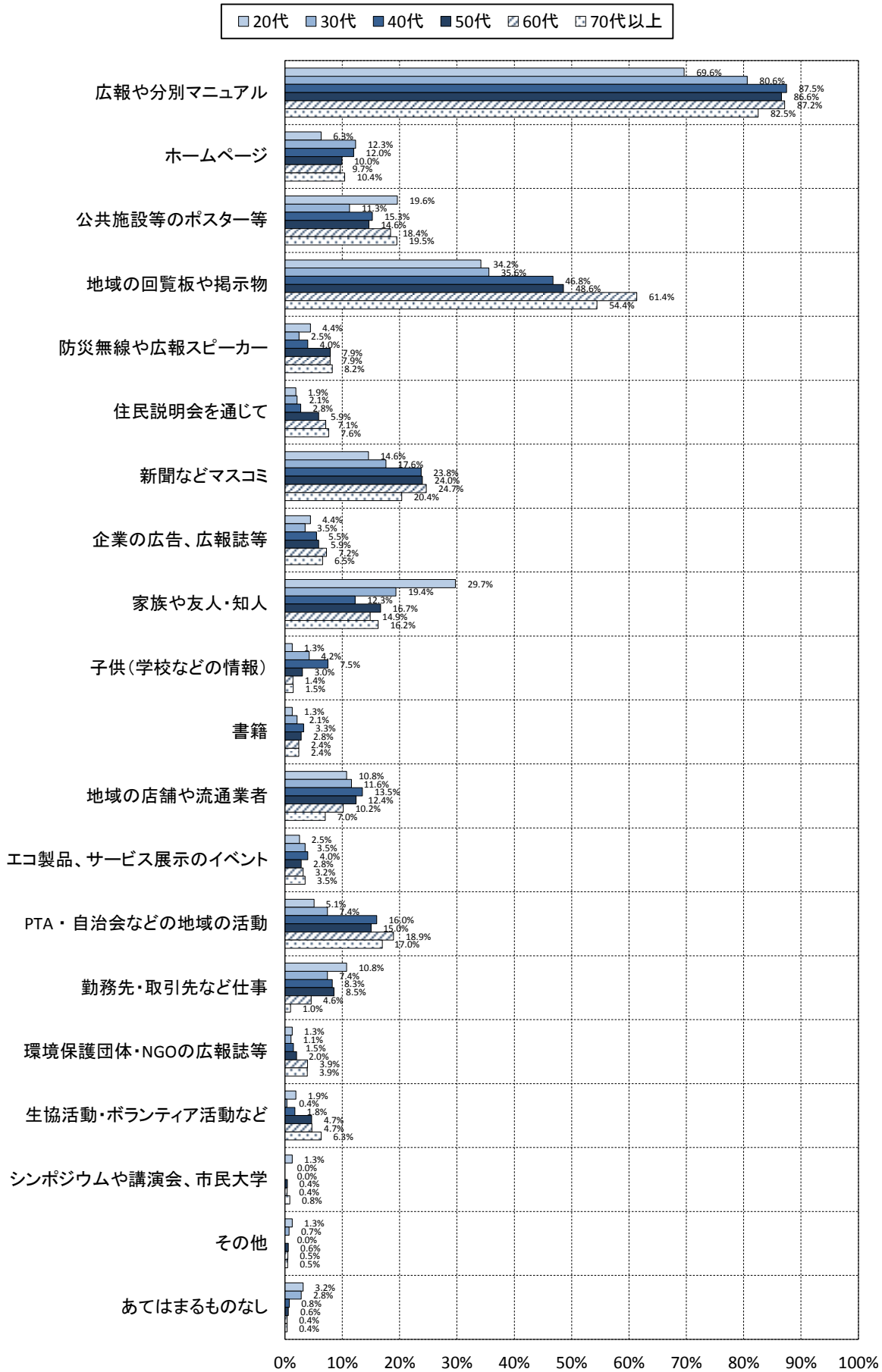


図 5-3-7 「年代別 情報をどのような方法で手に入れているか」回答率

問33	今後、ごみに関してどのような情報がほしいですか？（あてはまるものすべてに○）

「どのような情報がほしいか」については、「わかりやすい分別方法」の回答率が64.9%と大きく、次いで「ごみの減量方法」が36.0%、「市町のごみの量やリサイクル率などのごみ処理状況」が22.0%となっている。
市町別については、「わかりやすい分別方法」は55.3%から76.6%の範囲にわたっており、「津市」（76.6%）、「伊賀市」（72.8%）、「四日市市」（71.8%）では70%を超えている。
年代別については、「わかりやすい分別方法」は59.0%から78.5%の範囲にわたっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	わかりやすい分別方法	1,933	64.9%
2	ごみ処理コスト	506	17.0%
3	ごみの減量方法	1,071	36.0%
4	地域の集団回収（資源回収）	550	18.5%
5	生ごみ処理機等の購入助成制度	420	14.1%
6	ごみ減量・リサイクル推進活動団体の紹介	121	4.1%
7	ごみ減量・リサイクルに関する講座・セミナー	137	4.6%
8	ごみ減量によるCO２削減量を表示する など、地球温暖化防止効果の見える化	399	13.4%
9	市町のごみの量やリサイクル率などのごみ処理状況	654	22.0%
10	その他	41	1.4%
11	あてはまるものなし	161	5.4%
総回答数		5,993	201.4%
有効回答数		2,979	

表　5-3-3　「どのような情報がほしいか」回答状況

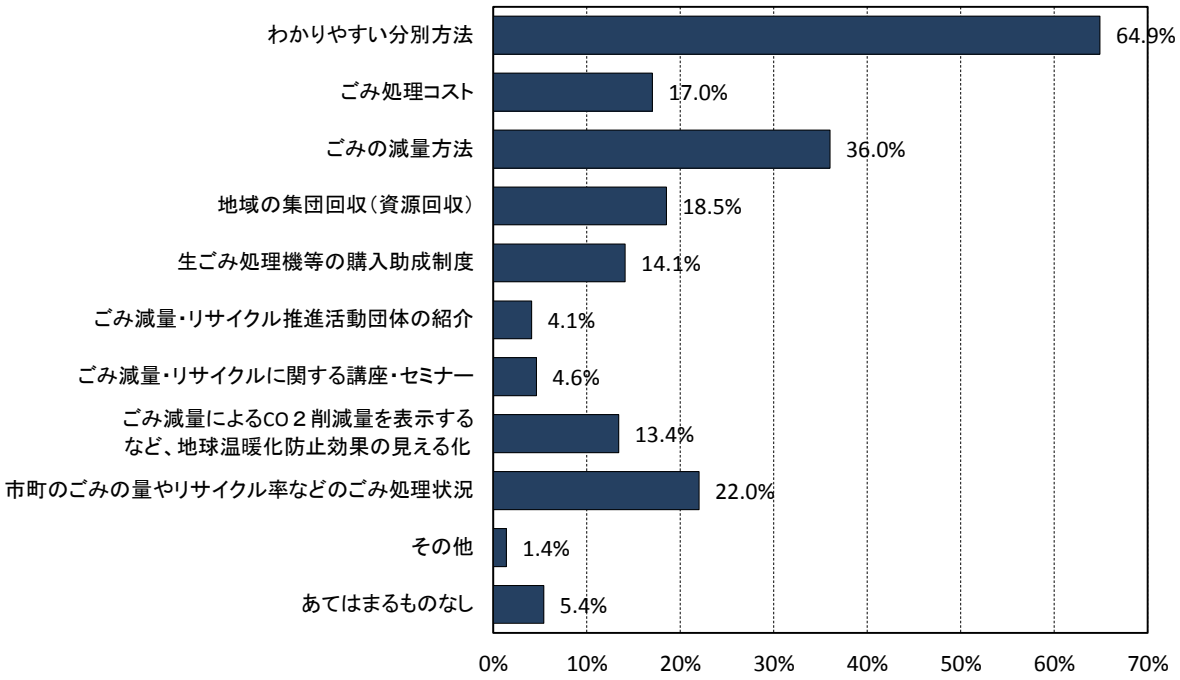


図　5-3-8　「どのような情報がほしいか」回答率

② 市町別集計

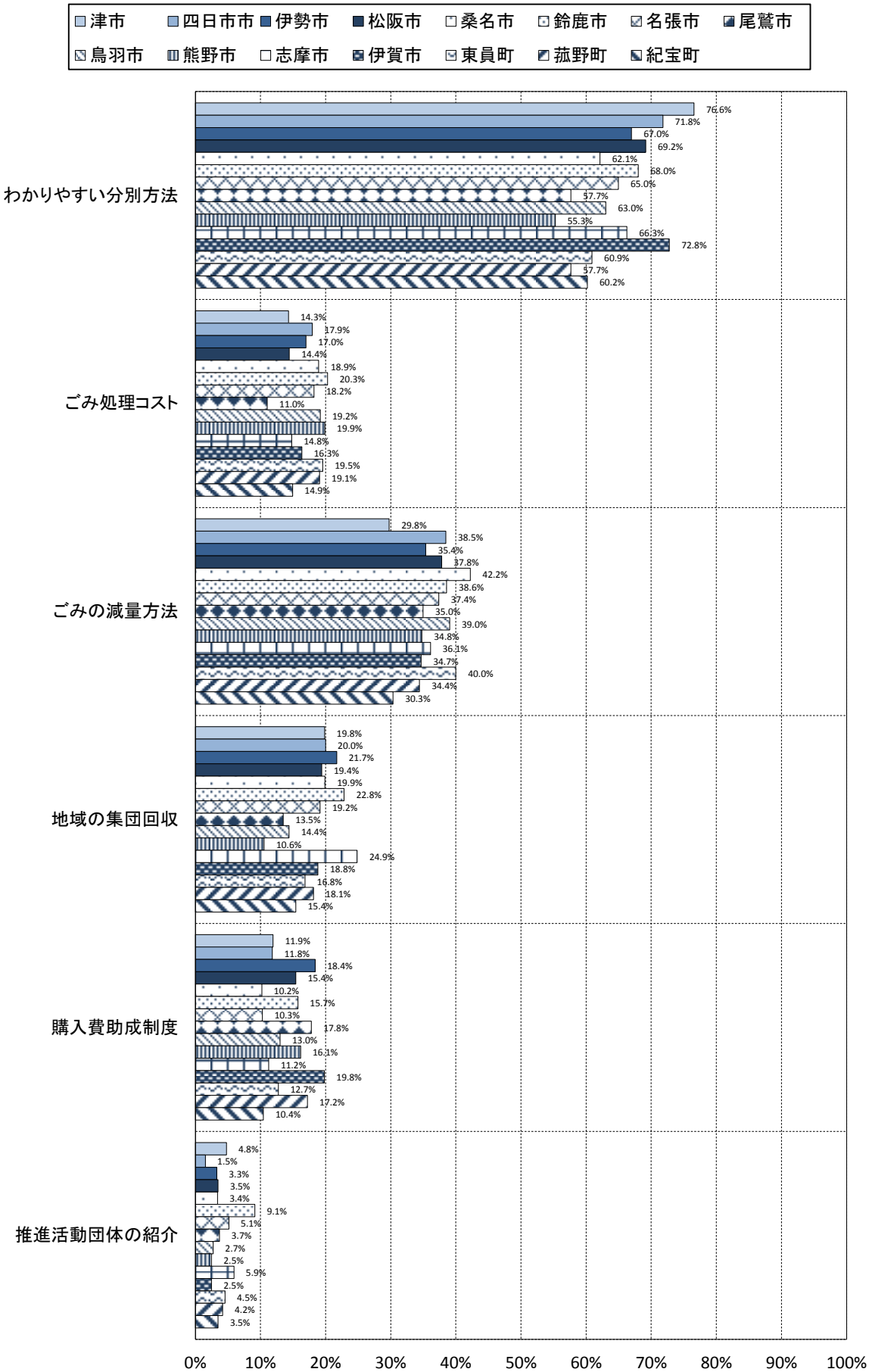


図 5-3-9（1/2） 「市町別 どのような情報がほしいか」回答率

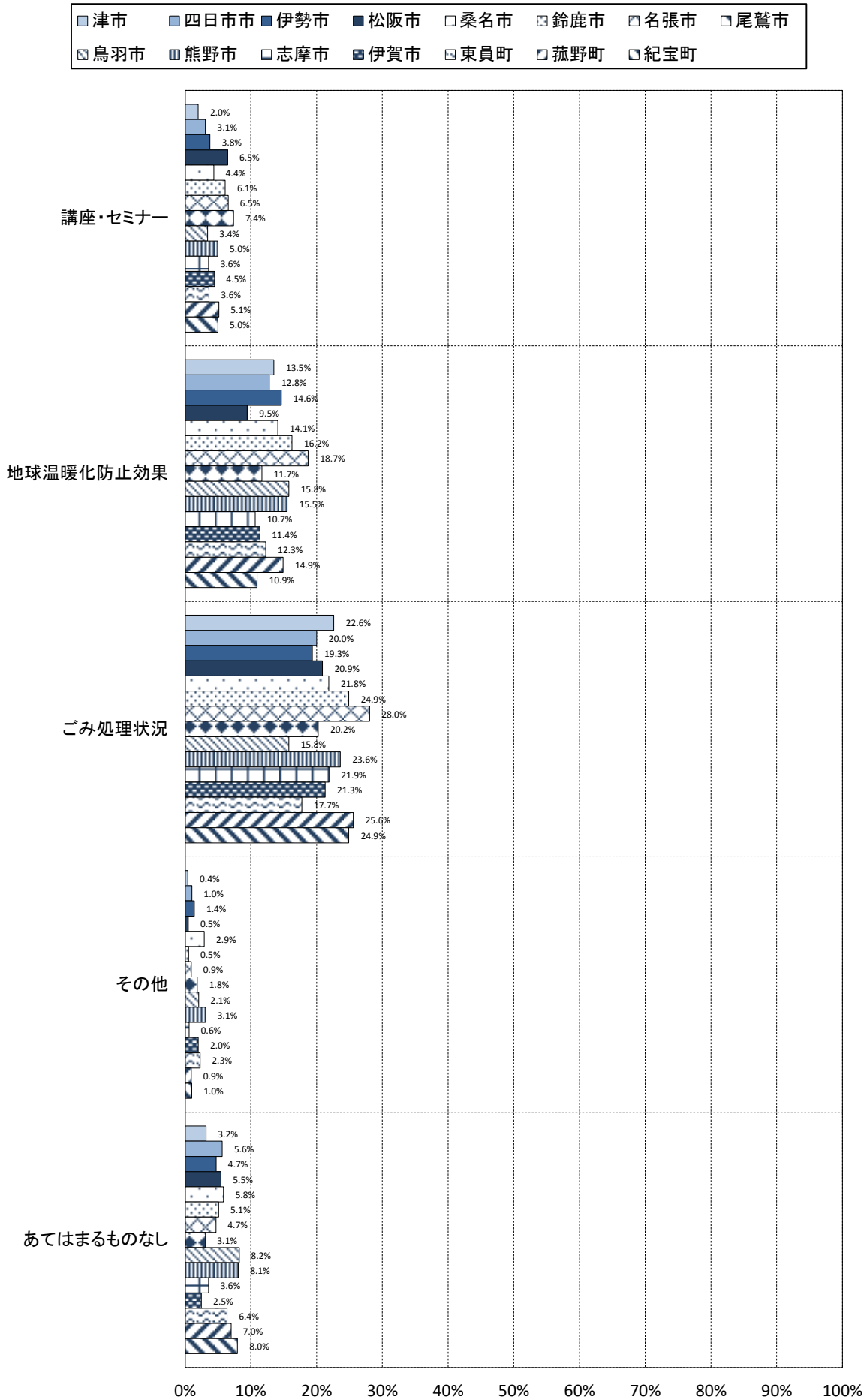


図　5-3-9（2/2）　「市町別　どのような情報がほしいか」回答率

③　年代別集計

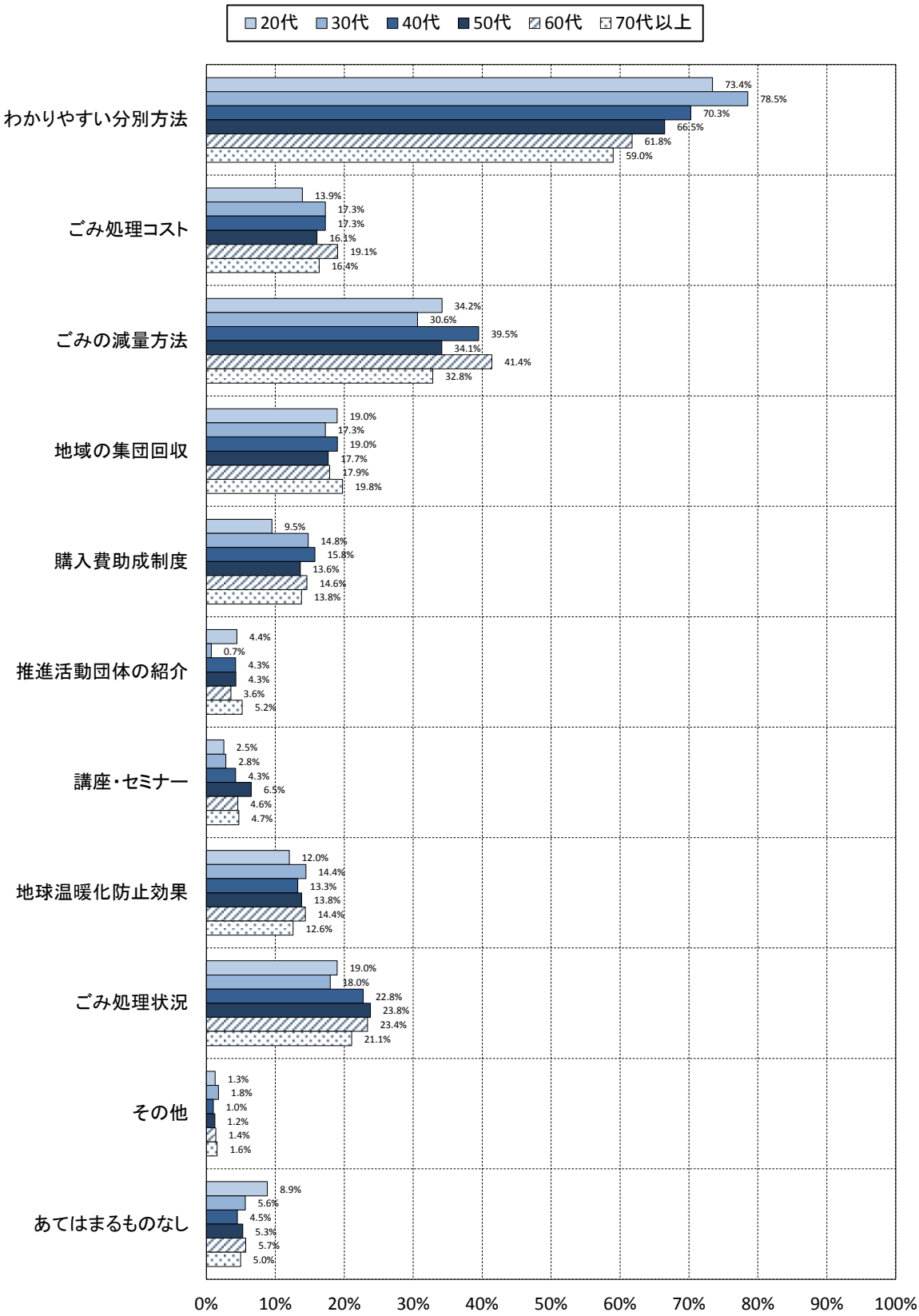


図　5-3-10　「年代別　どのような情報がほしいか」回答率

問34	家庭から出されるごみを市町が処理するのに、どれくらい費用がかかっているかをご存知ですか？（○は1つ）

「ごみ処理費用を知っているか」については、「あまり知らない」、「まったく知らない」の計が87.5%となっている。
市町別では、上記の計が74.8%から94.7%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が78.7%から96.2%であり、年代が若い方が知らない傾向がみられる。
分別行動別では、上記の計が881%から89.4%となっており、特に「ごみの分別にはあまりかかわらない」人が66.9%と高くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	知っている	69	2.3%
2	少し知っている	217	7.3%
3	あまり知らない	1,026	34.4%
4	まったく知らない	1,582	53.1%
99	無回答	85	2.9%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-3-7　「ごみ処理費用を知っているか」回答状況

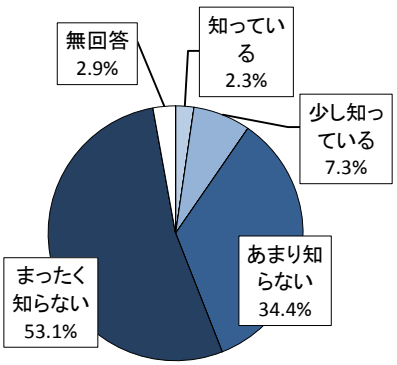


図　5-3-23　「ごみ処理費用を知っているか」回答率

② 市町別集計

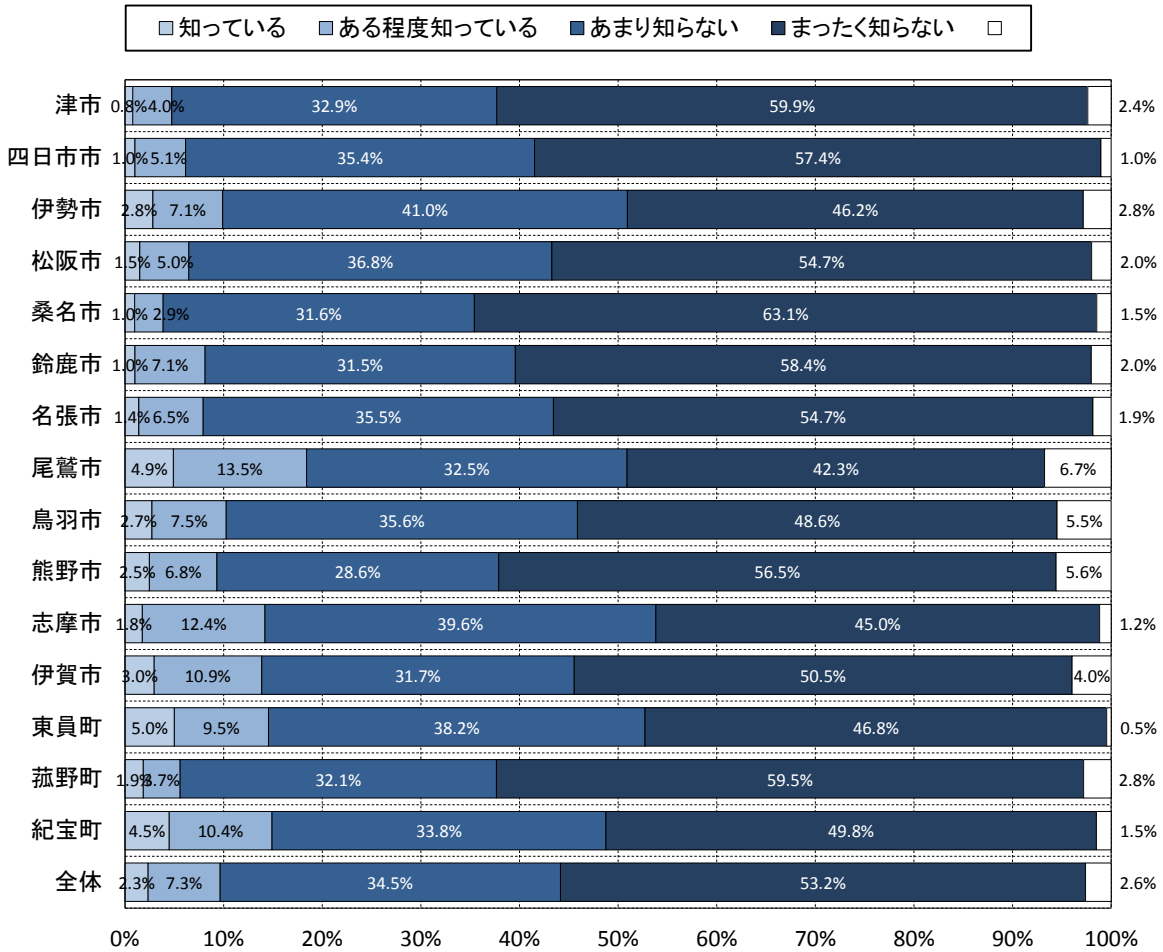


図　5-3-24　「市町別　ごみ処理費用を知っているか」回答率

③　年代別集計

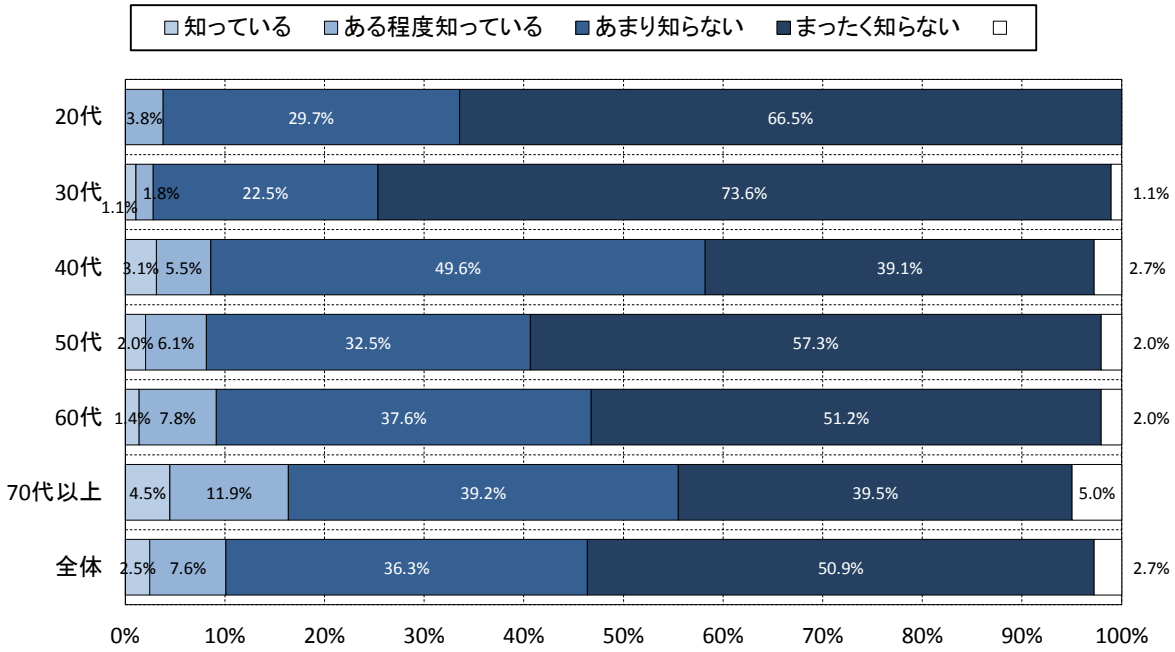


図　5-3-25　「年代別　ごみ処理費用を知っているか」回答率

④　分別へのかかわり別集計

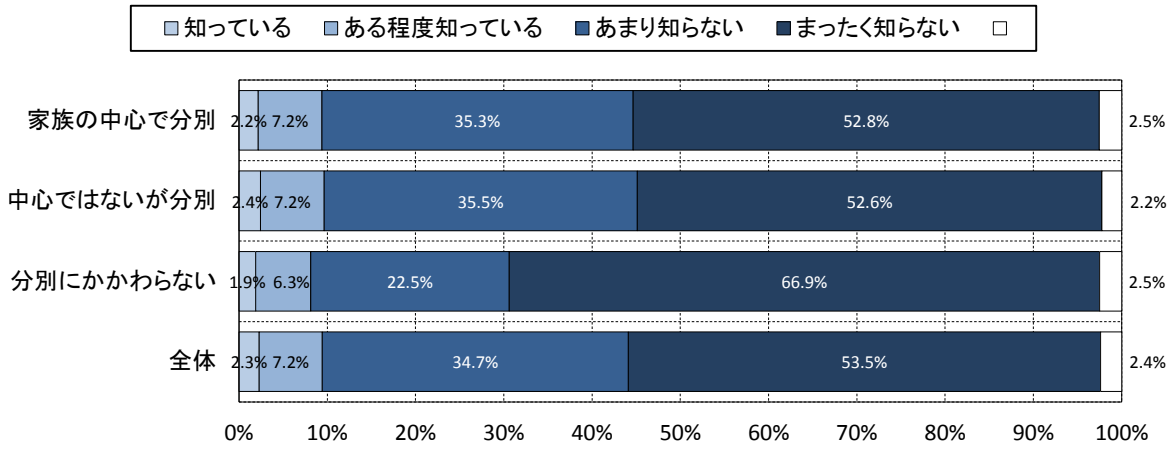


図　5-3-26　「分別行動別　ごみ処理費用を知っているか」回答率

問35	増え続けるごみを減らすため、ごみ（可燃ごみ）の排出に料金を課す市町が増えています。税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか？（○は1つ）

「税金を使ってごみ処理を行うこと」については、「最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい」が47.6%と高くなっている。
市町別では、上記が35.8%から56.2%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記が42.5%から52.2%であり、大きな偏りはみられない。
分別行動別では、上記が41.3%から48.8%であり、「ごみの分別にはあまりかかわらない」人ほど低くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみ処理は公共サービスなので、税金で処理するのがよい	703	23.6%
2	最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい	1,418	47.6%
3	ごみ処理費用はごみの量に応じて出す人が負担する仕組みとすることで、これまでごみ処理に使っていた税金を福祉や教育などにまわすのがよい	297	10.0%
4	よくわからない	413	13.9%
5	その他	42	1.4%
99	無回答	106	3.5%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-.3-8 「税金を使ってごみ処理を行うことについて」回答状況

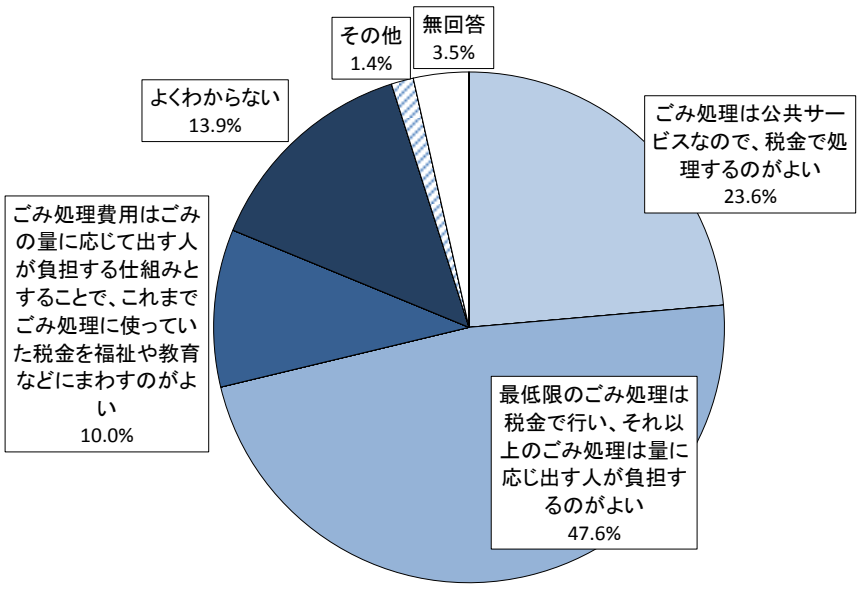


図 5-3-27 「税金を使ってごみ処理を行うことについて」回答率

② 市町別集計

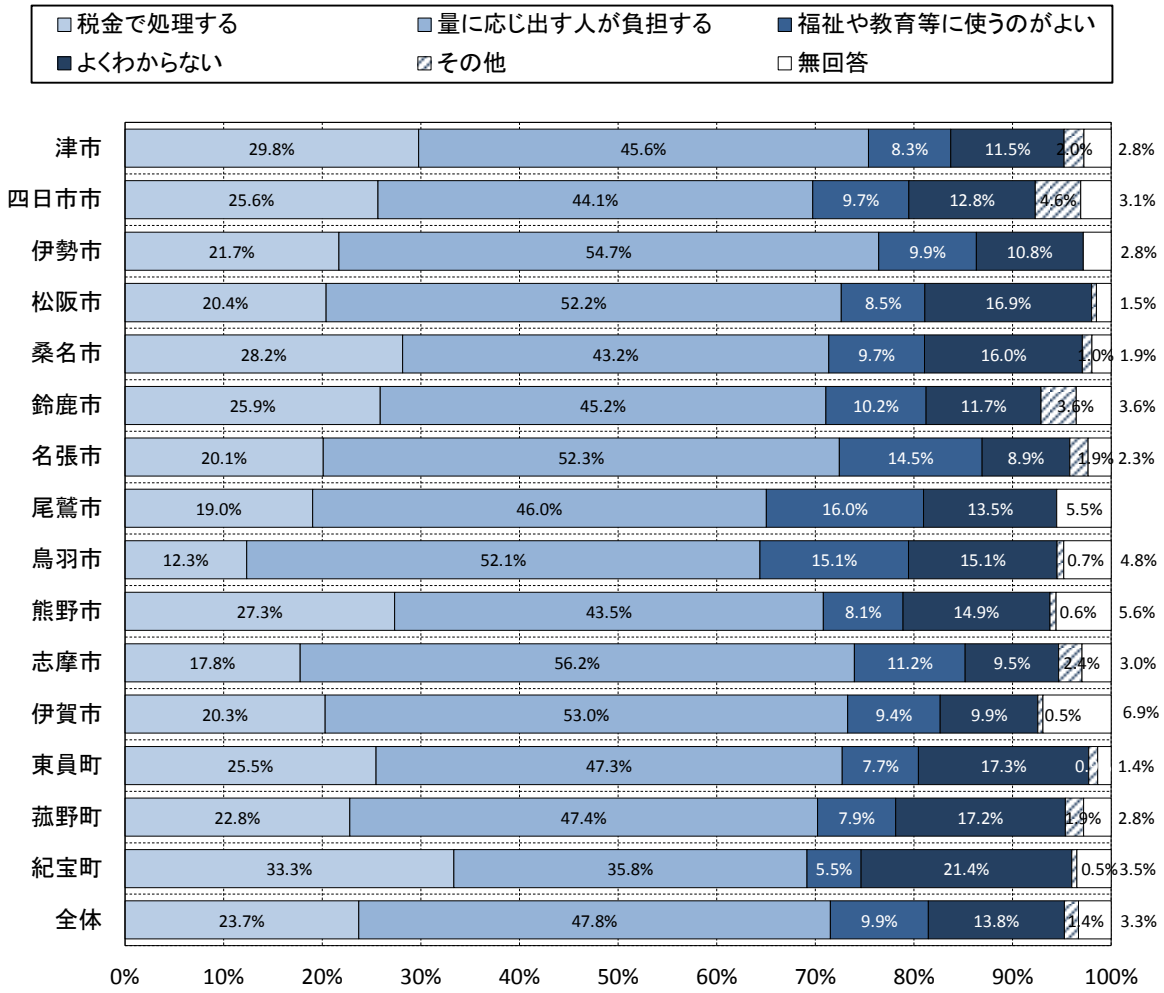


図 5-3-28 「市町別 税金を使ってごみ処理を行うことについて」回答率

③　年代別集計

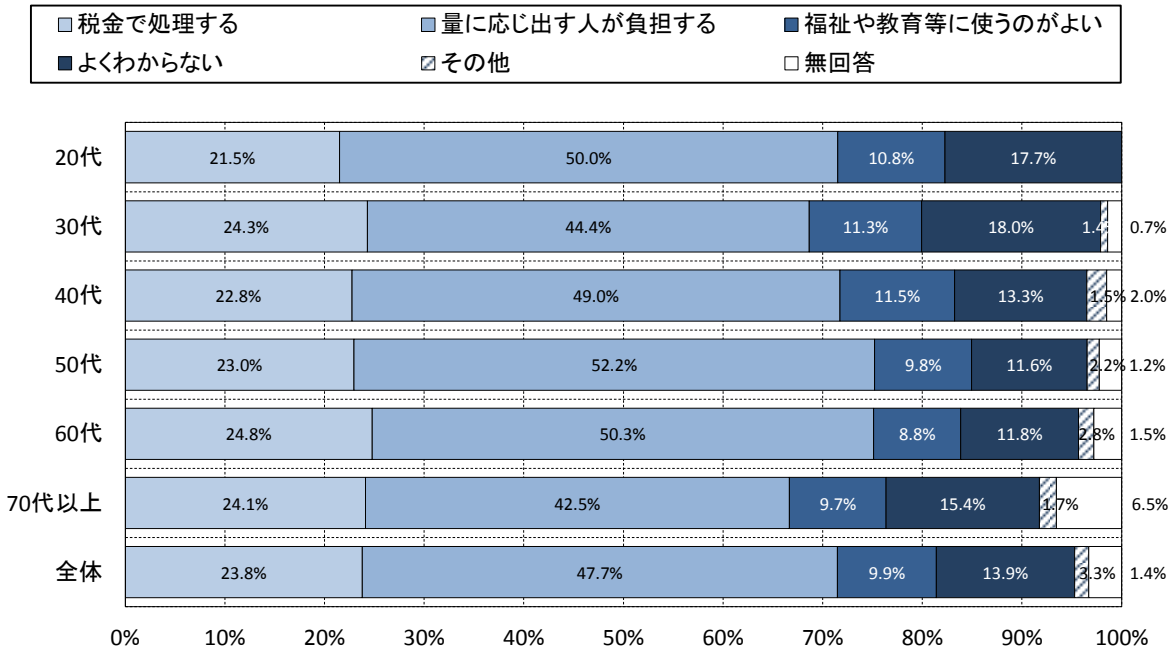


図　5-3-29　「年代別　税金を使ってごみ処理を行うことについて」回答率

④　分別へのかかわり別集計

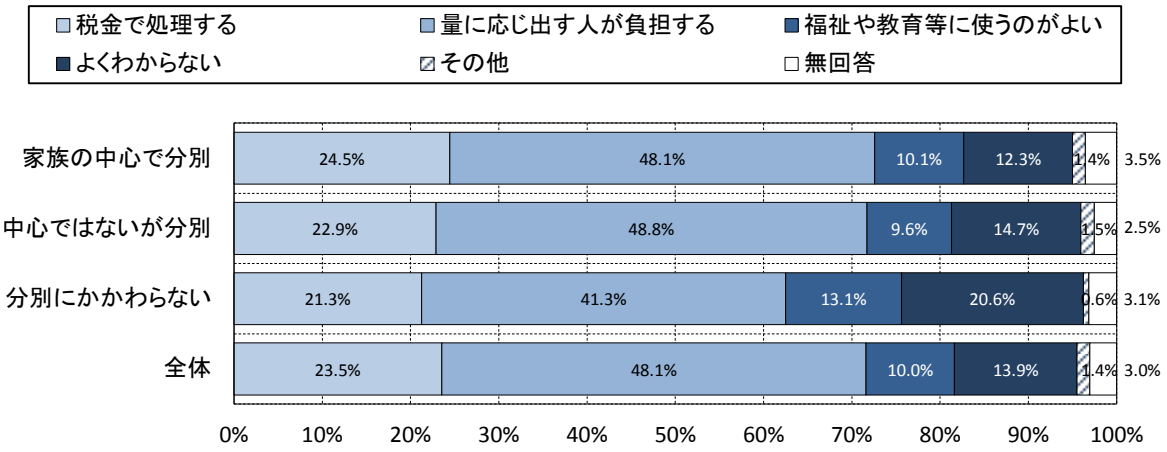


図　5-3-30　「分別行動別　税金を使ってごみ処理を行うことについて」回答率

問36	出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？（○は1つ）

「ごみの有料化」については、「賛成」と「どちらかというと賛成」の計が64.9%となっている。
市町別では、上記の計が57.8%から79.3%であり、志摩市では約8割（79.3%）を占めている。
年代別では、上記の計が59.9%から70.3%であり、大きな偏りはみられない。
分別行動別では、上記の計が61.3%から65.7%であり、大きな偏りはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	賛成	620	20.8%
2	どちらかというと賛成	1,313	44.1%
3	どちらかというと反対	592	19.9%
4	反対	302	10.1%
99	無回答	152	5.1%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-3-9 「ごみの有料化について」回答状況

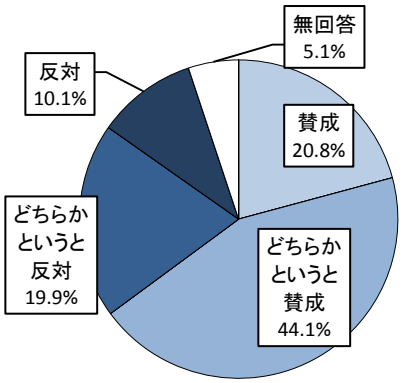


図 5-3-31 「ごみの有料化について 」回答率

② 市町別集計

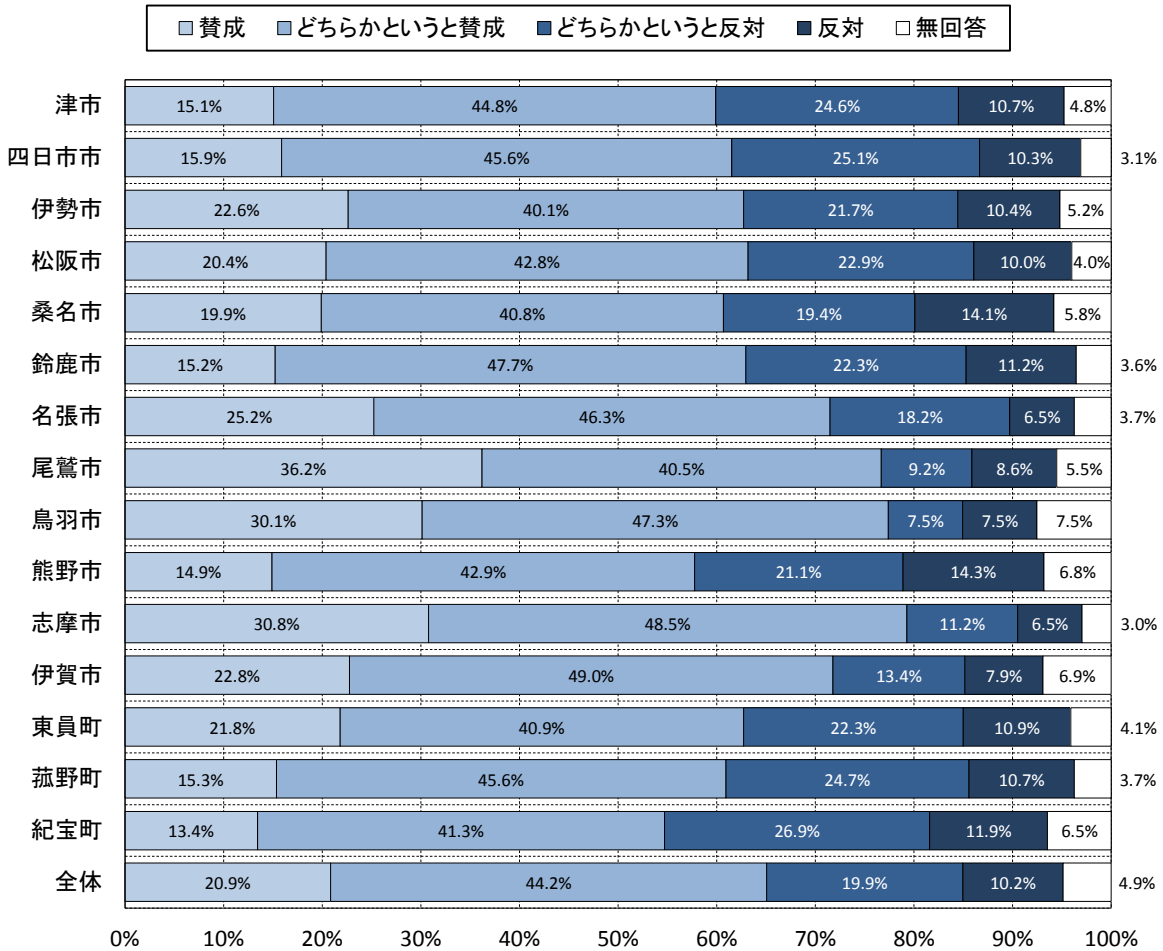


図 5-3-32 「市町別 ごみの有料化について」回答率

③　年代別集計

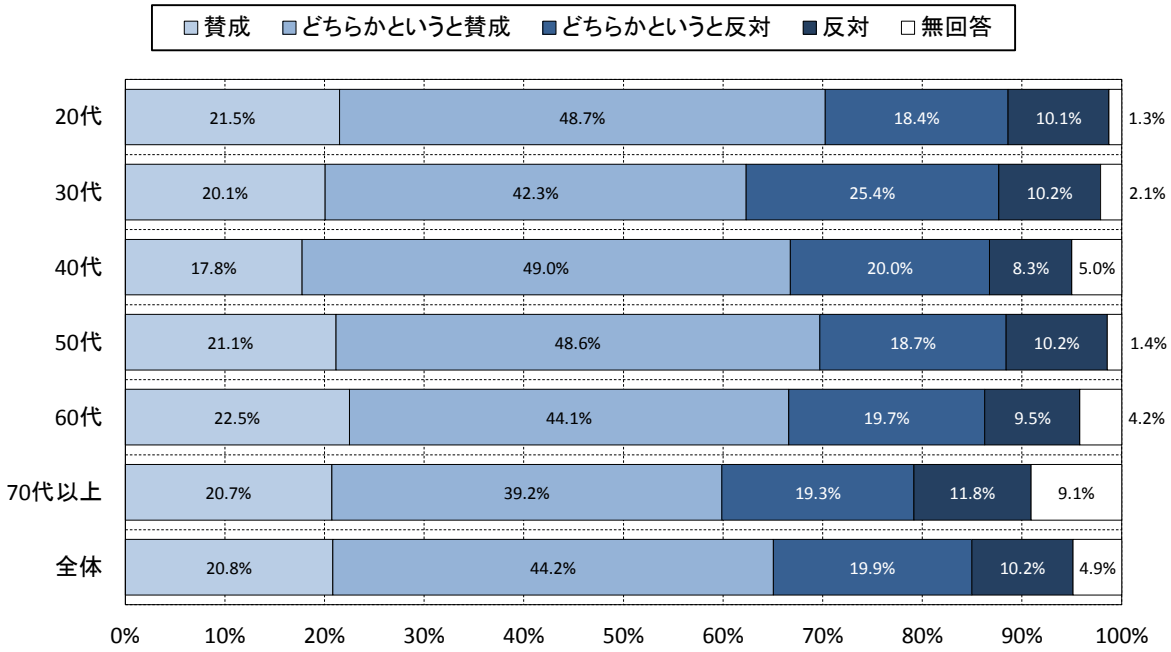


図　5-3-31　「年代別　ごみの有料化について」回答率

④　分別へのかかわり別集計

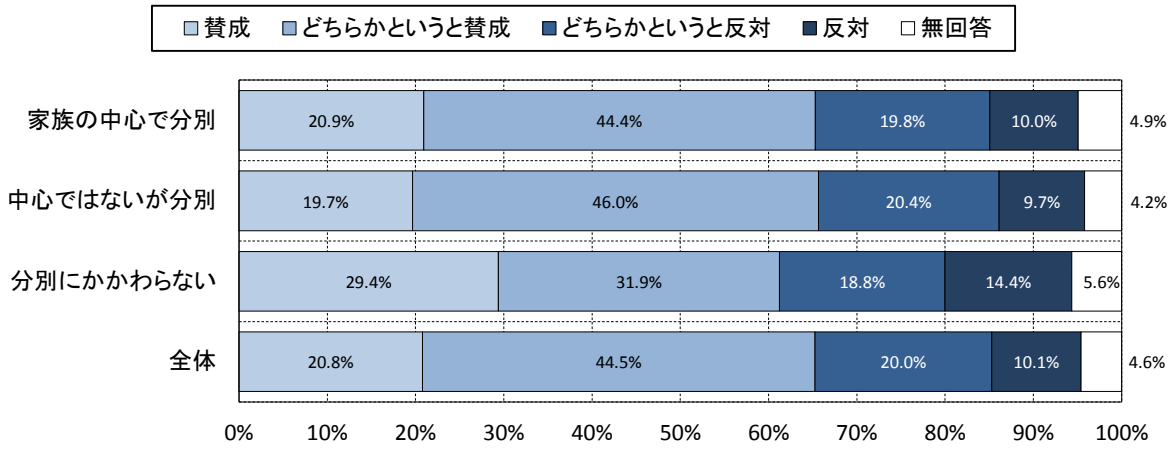


図　5-3-31　「分別行動別　ごみの有料化について」回答率

問37	ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？（○は3つまで）

「有料化を検討する場合、重視すべきこと」については、「家計への負担が少ない料金とすること」の回答率が一番高く54.6%となっており、次いで「ルール違反（不法投棄など）を許さないこと」（42.0%）、「ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なしくみとすること」（33.4%）となっている。
市町別については、大きな偏りはない。
年代別については、「家計への負担が少ない料金とすること」が「70代以上」の47.2%から「20代以下」の61.4%と年代が低いほど高くなっている。
分別行動別では、「ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なしくみとすること」が「ごみの分別にはあまりかかわらない」人ほど低くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なしくみとすること	996	33.4%
2	家計への負担が少ない料金とすること	1,628	54.6%
3	ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること	371	12.5%
4	一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること	643	21.6%
5	有料化によって得られた成果をきちんと説明すること	919	30.8%
6	ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	941	31.6%
7	ルール違反（不法投棄など）を許さないこと	1,250	42.0%
8	有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること	703	23.6%
9	有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途（福祉や教育等）に使うことを検討すること	365	12.3%
10	その他	67	2.2%
総回答数		7,883	264.6%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-3-10　「有料化を検討する場合、重視すべきこと」回答状況

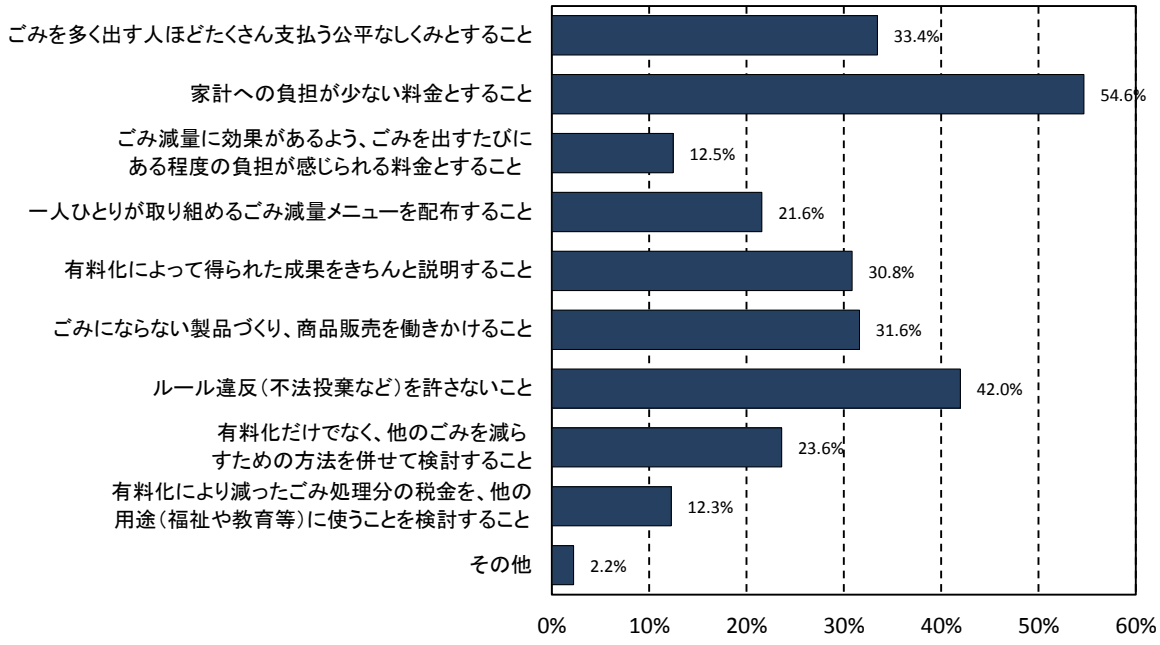


図　5-3-35　「有料化を検討する場合、重視すべきこと」回答率

② 市町別集計

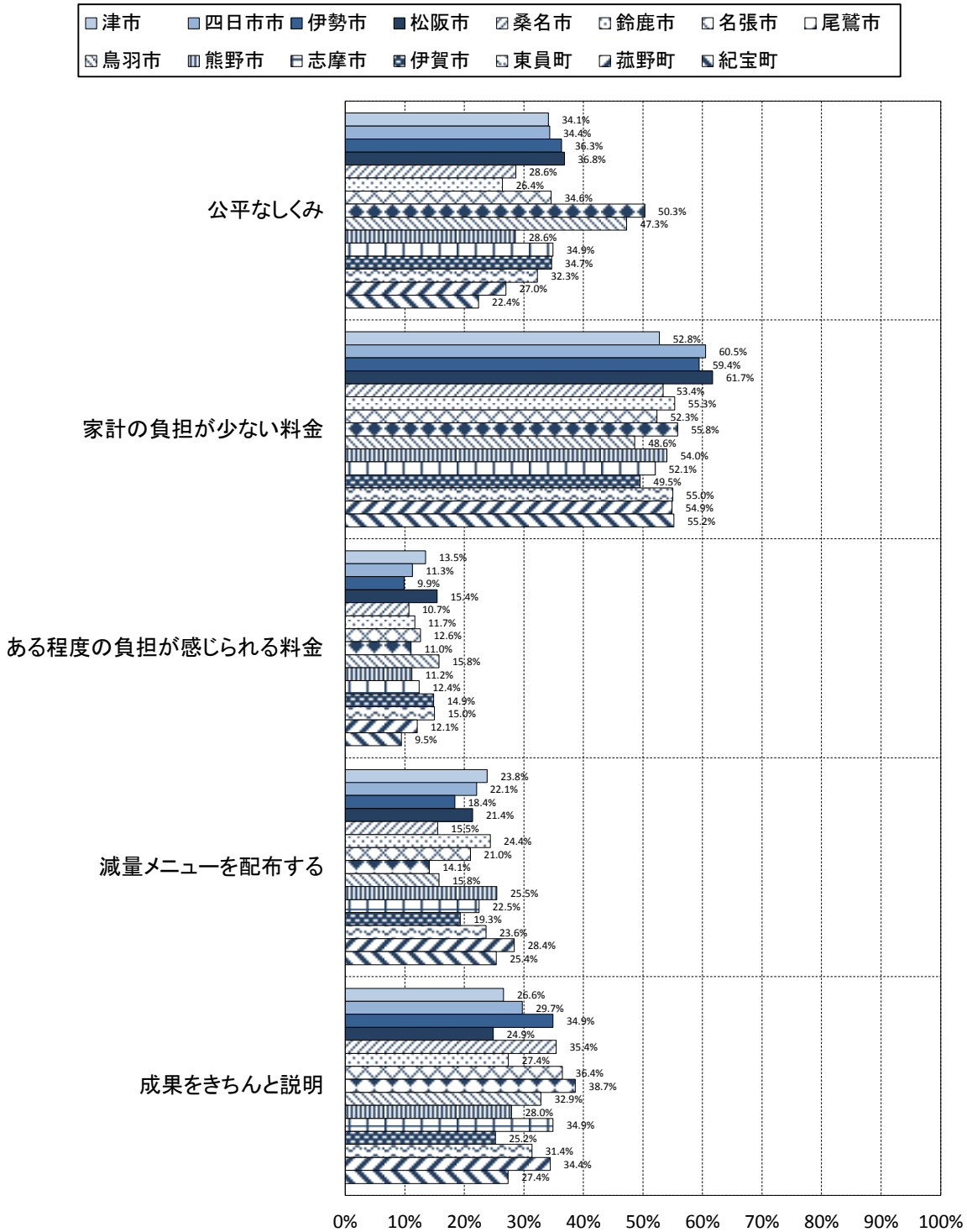


図 5-3-36（1/2） 「市町別 有料化を検討する場合、重視すべきこと」回答率

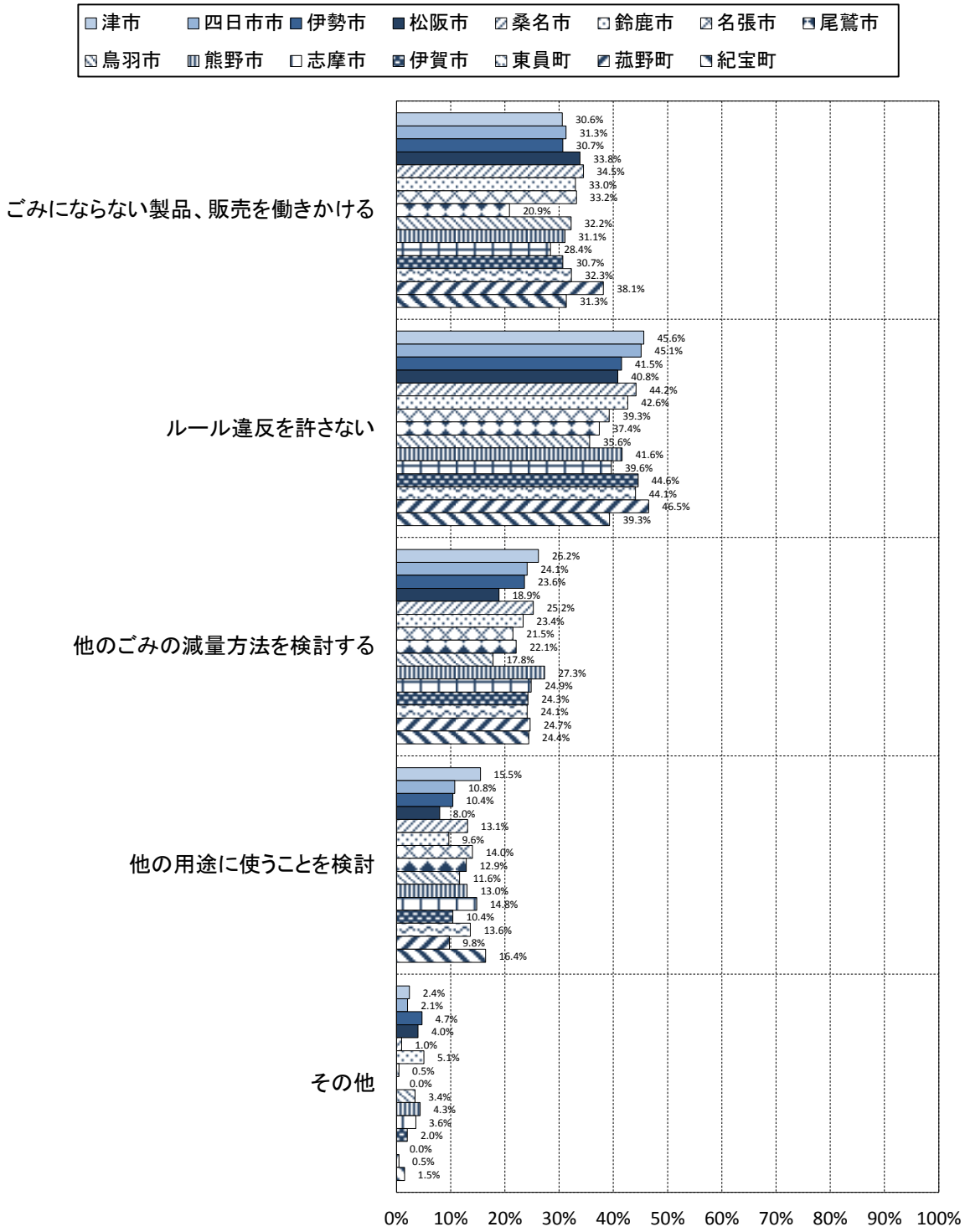


図　5-3-36（2/2）　「市町別　有料化を検討する場合、重視すべきこと」回答率

③　年代別集計

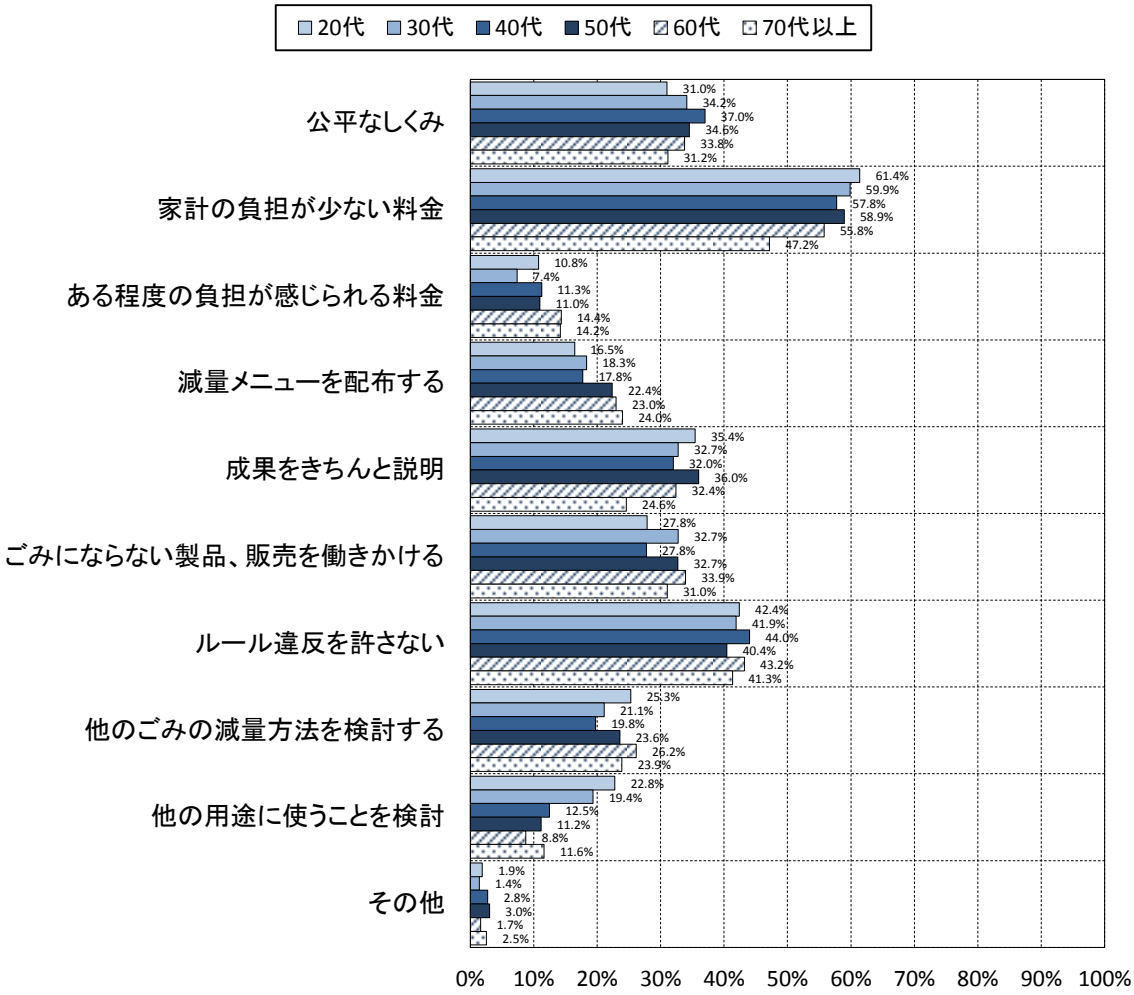


図　5-3-37　「年代別　有料化を検討する場合、重視すべきこと」回答率

④　分別へのかかわり別集計

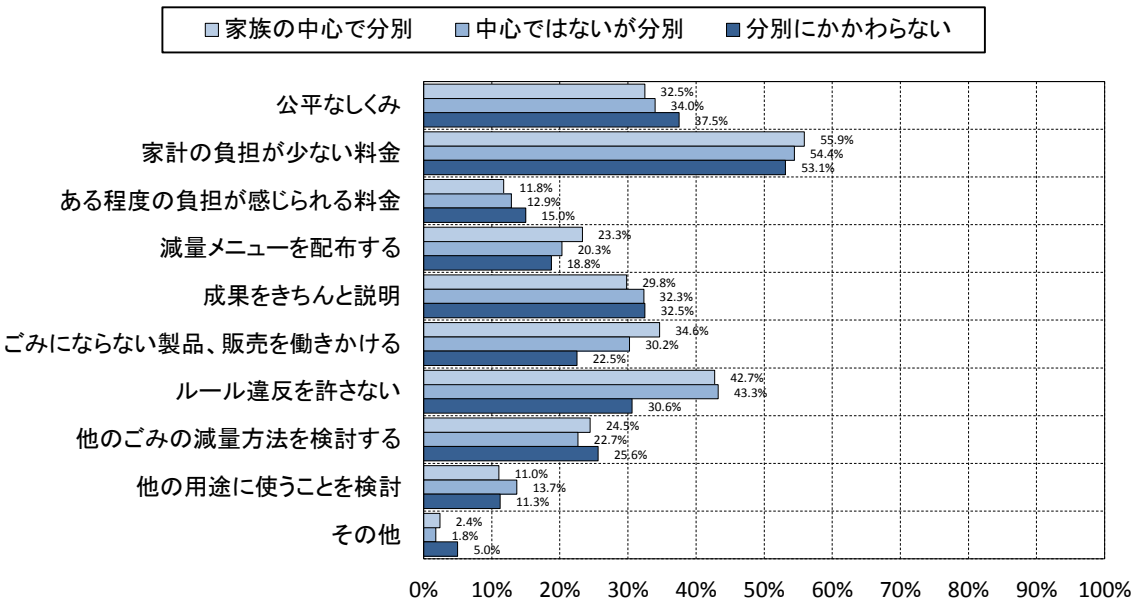


図　5-3-38　「分別行動別　有料化を検討する場合、重視すべきこと」回答率

問38	ごみ処理を有料化した市町では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？（○は1つ）

「有料化する場合、いくらまで受け入れられるか」については、「ごみ袋大（45リットル）が1袋10円」の回答率が56.1%と一番高くなっており、次いで「ごみ袋大が一袋50円程度」が27.1%となっている。全体的に安い料金の回答が多くなっている。
市町別では、鳥羽市で「ごみ袋大が1袋50円程度」が一番高く、他市町については「ごみ袋大が1袋10円」が一番高くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	ごみ袋大（45リットル）が1袋10円	1,671	56.1%
2	ごみ袋大が1袋50円程度	806	27.1%
3	ごみ袋大が1袋100円程度	251	8.4%
4	ごみ袋大が1袋200円程度	53	1.8%
5	それ以上	10	0.3%
99	無回答	188	6.3%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-3-9　「ごみの有料化について」回答状況

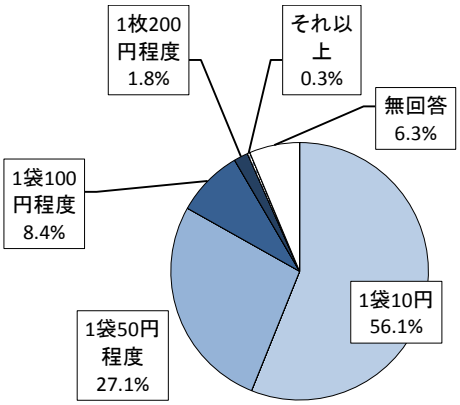


図　5-3-39　「有料化する場合、いくらまで受け入れられるか」回答率

② 市町別集計

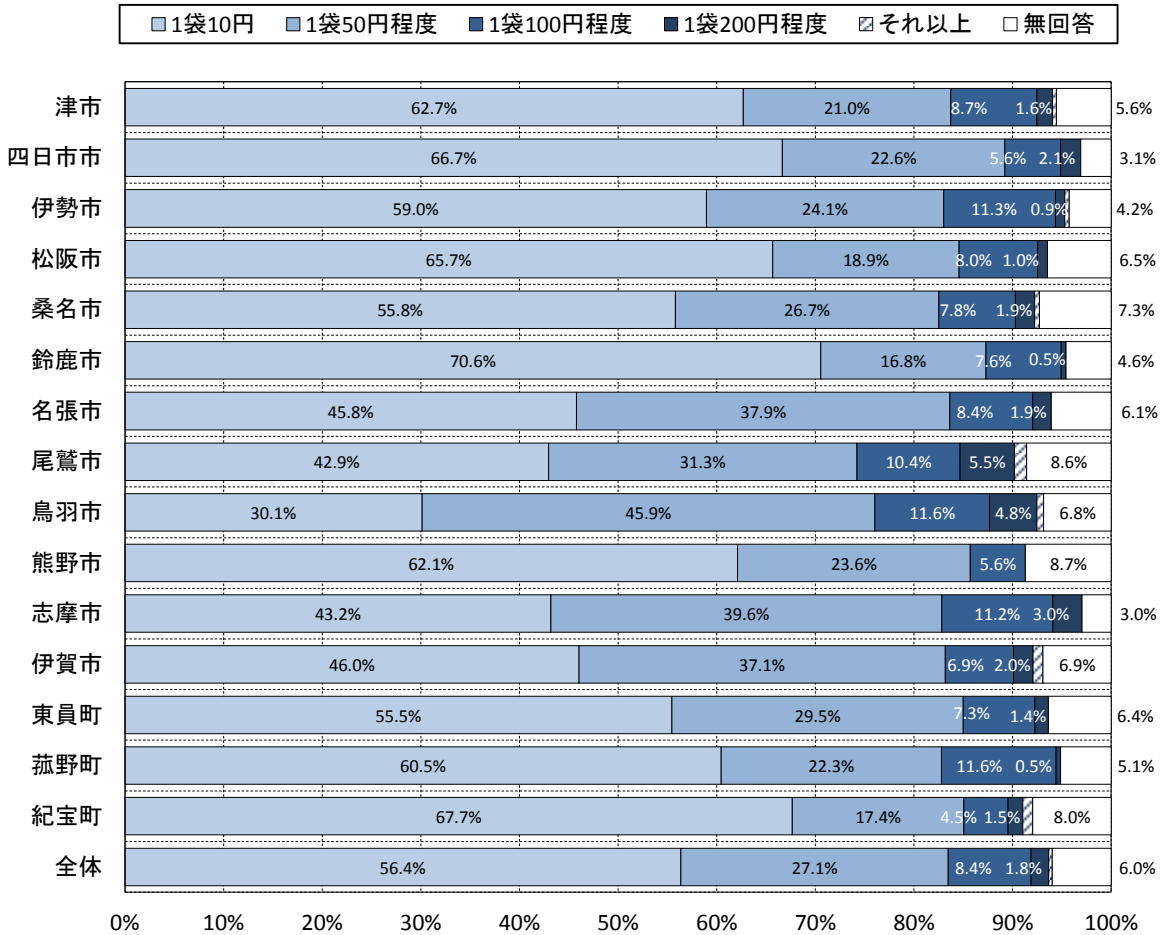


図　5-3-40　「市町別　有料化する場合、いくらまで受け入れられるか」回答率

問39	あなたの市町でごみの有料化が実施された場合、どのようにごみを減らしますか？（あてはまるものすべてに○）

「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」については、「買い物袋（マイバッグ）等を持参しレジ袋をもらわない」の回答率が一番高く78%を占め、次いで「食品は買いすぎないように注意する」が65.6%、「食事を食べ残さないようにする」が65.5%、「台所ごみの水切りをする」が63.8%となっている。
市町別については、大きな偏りはみられない。
年代別については、「台所ごみを堆肥化処理する」、「紙くずなど少量のごみを庭や畑で焼却する」は年代が若いほど低いが、「マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにする」は年代が若いほど高くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	台所ごみの水切りをする	1,902	63.8%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋める	491	16.5%
3	台所ごみを堆肥化処理する	664	22.3%
4	紙くずなど少量のごみを庭や畑で焼却する	390	13.1%
5	買い物袋（マイバック）等を持参しレジ袋をもらわない	2,325	78.0%
6	詰め替え容器を使用した商品を買う	1,565	52.5%
7	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選ぶ	673	22.6%
8	包装を断ったり、簡易包装を依頼する	1,413	47.4%
9	食品は買いすぎないように注意する	1,954	65.6%
10	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにする	243	8.2%
11	食事を食べ残さないようにする	1,952	65.5%
12	不要物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりする	833	28.0%
13	資源とごみの分別をより徹底する	1,591	53.4%
14	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用する	1,555	52.2%
15	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにする	580	19.5%
16	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにする	1,021	34.3%
17	マイ箸を携帯する	440	14.8%
18	その他	25	0.8%
19	これらいずれもしない	20	0.7%
総回答数		19,637	659.2%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-3-12　「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」回答状況

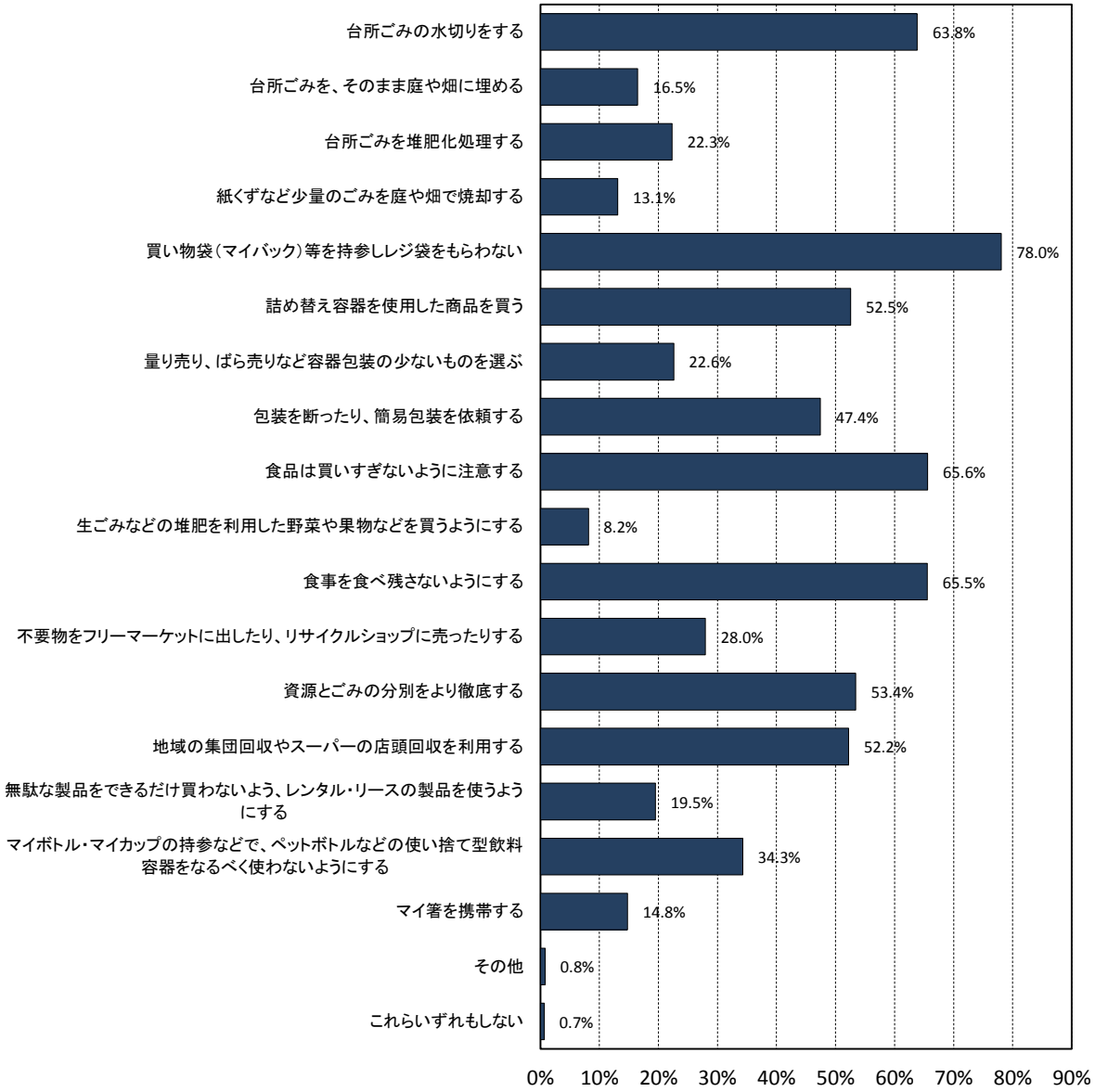


図　5-3-41　「有料化された場合、どのようにごみを減らすか」回答率

② 市町別集計

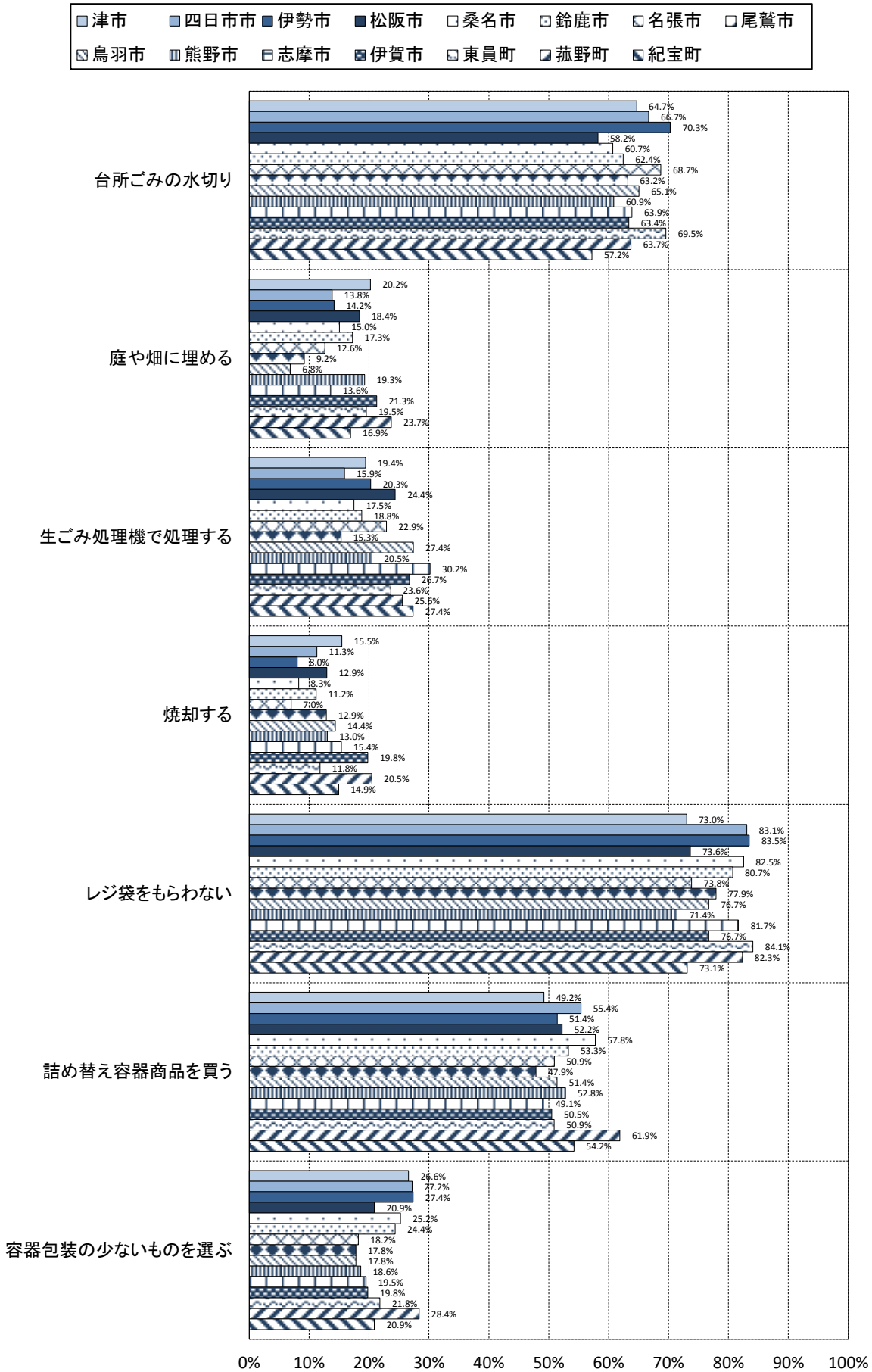


図 5-3-42（1/3） 「市町別 有料化された場合、どのようにごみを減らすか」回答率

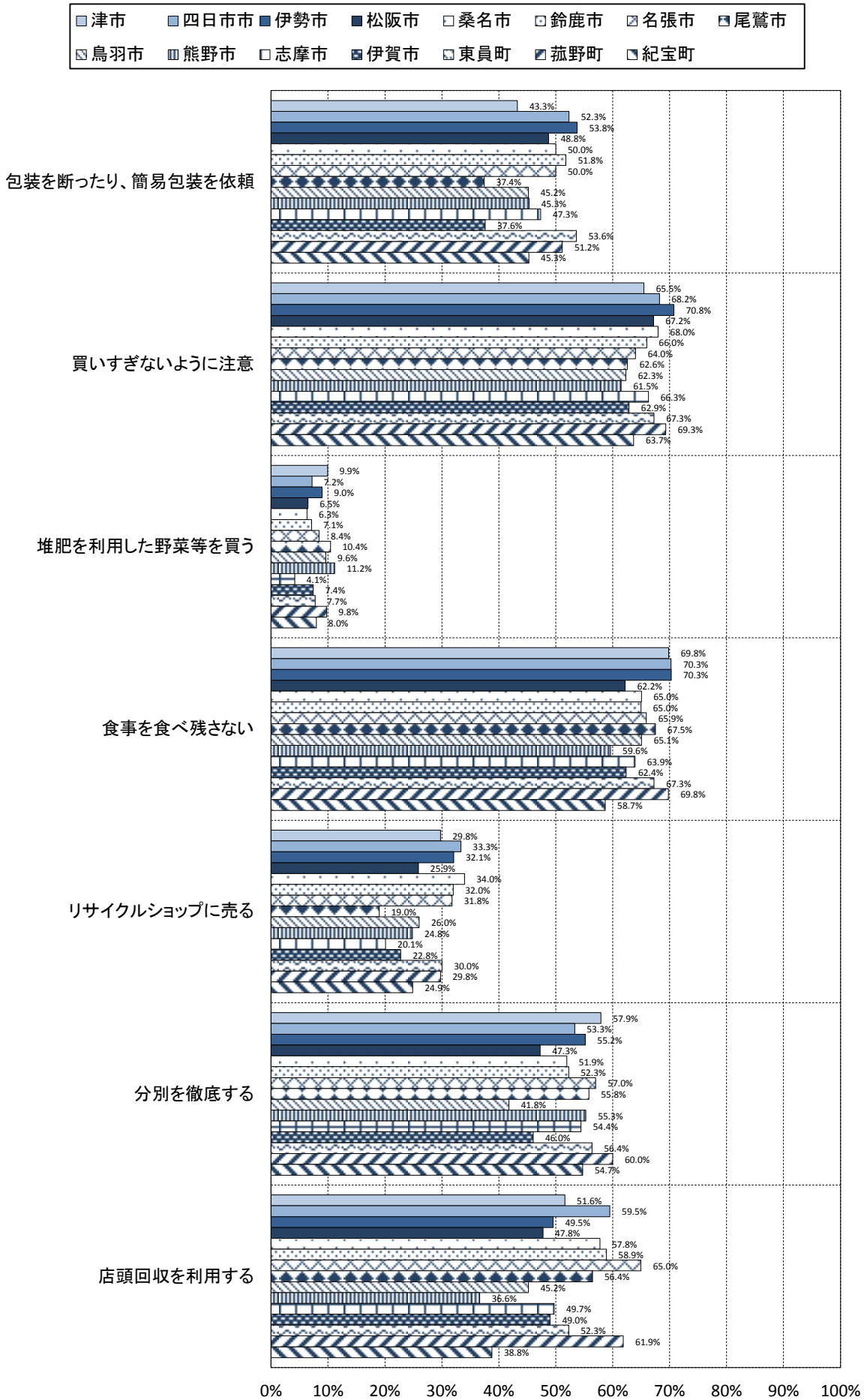


図　5-3-42（2/3）　「市町別　有料化された場合、どのようにごみを減らすか」回答率

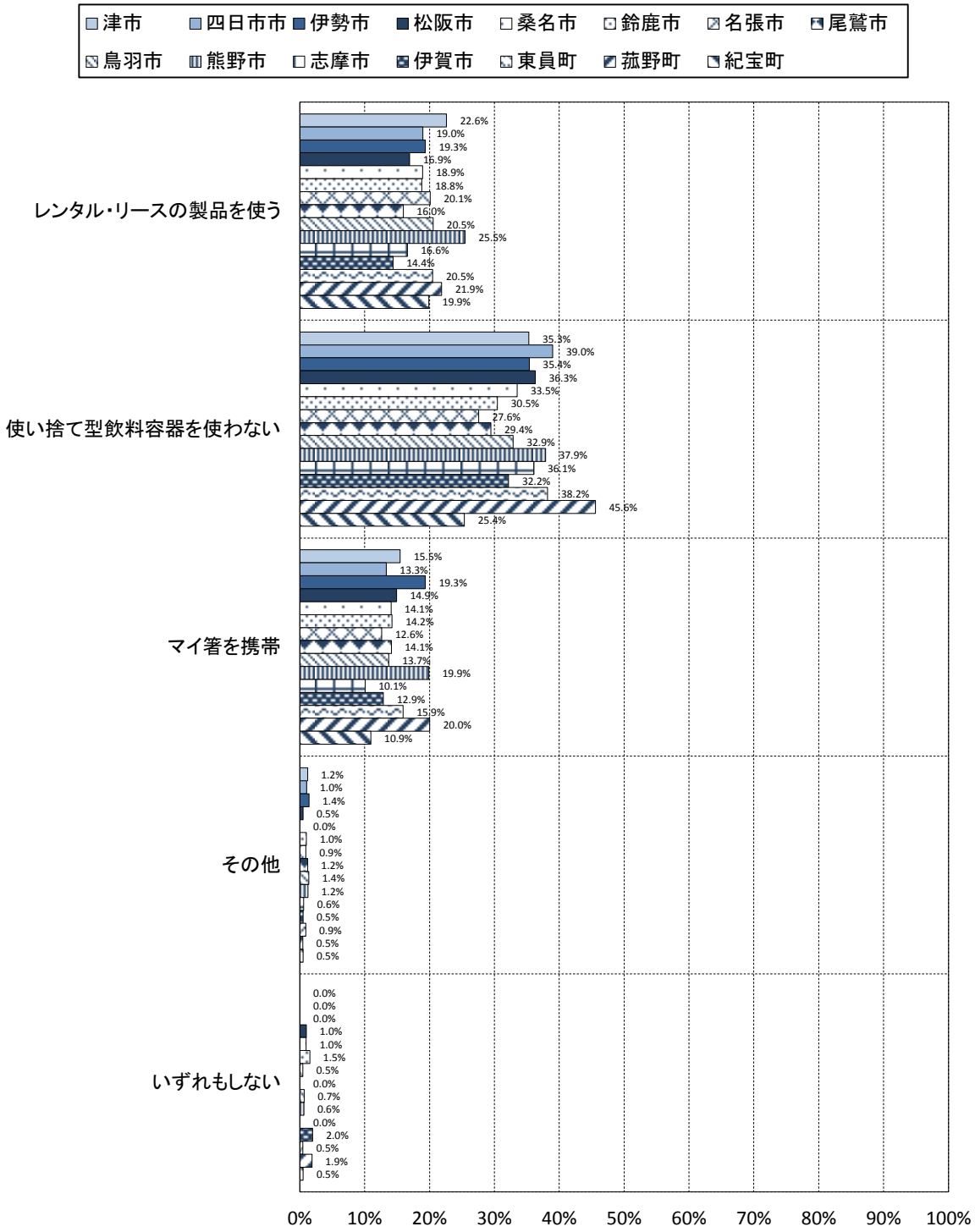


図　5-3-42（3/3）　「市町別　有料化された場合、どのようにごみを減らすか」回答率

③　年代別集計

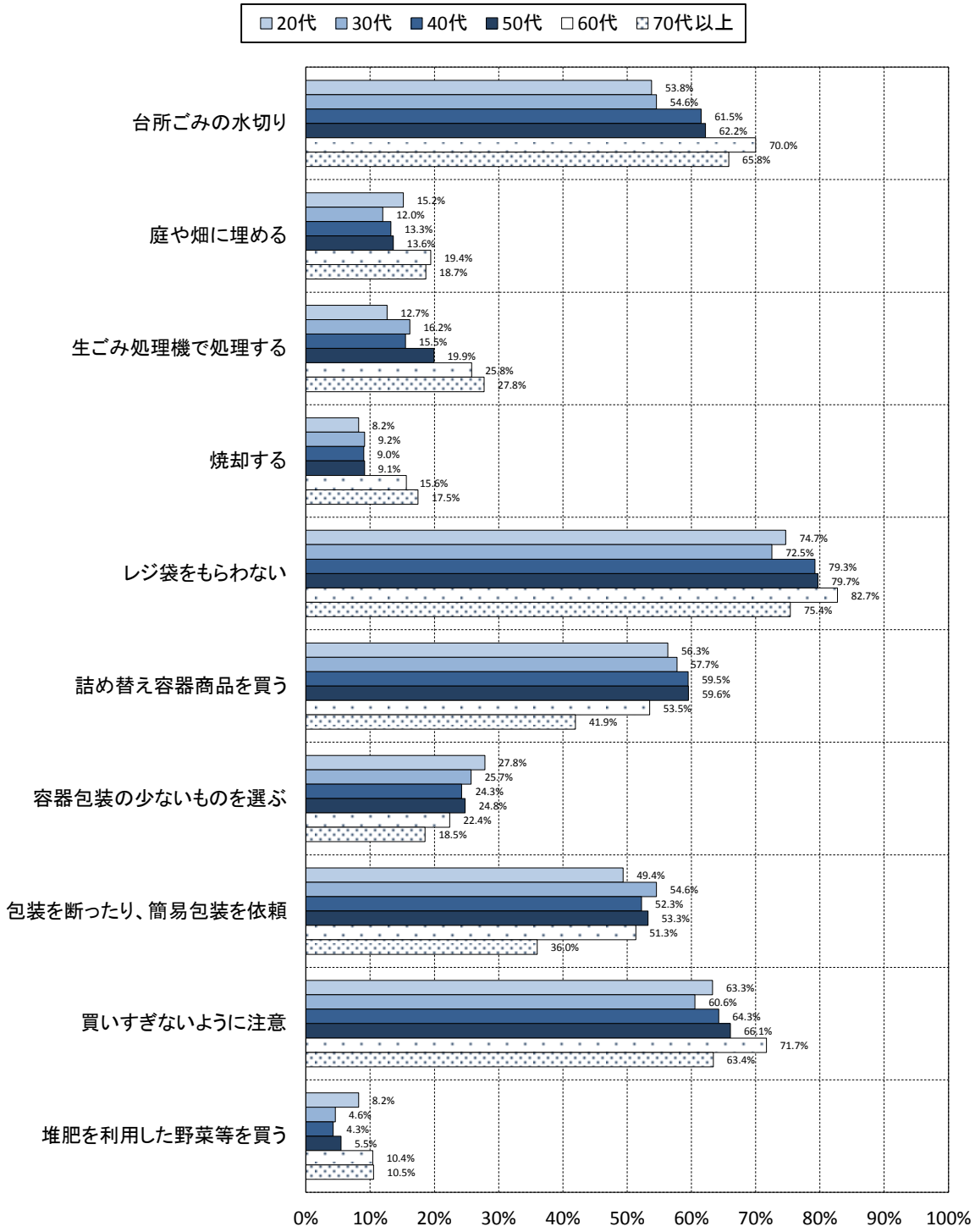


図　5-3-43（1/2）　「年代別　有料化された場合、どのようにごみを減らすか」回答率

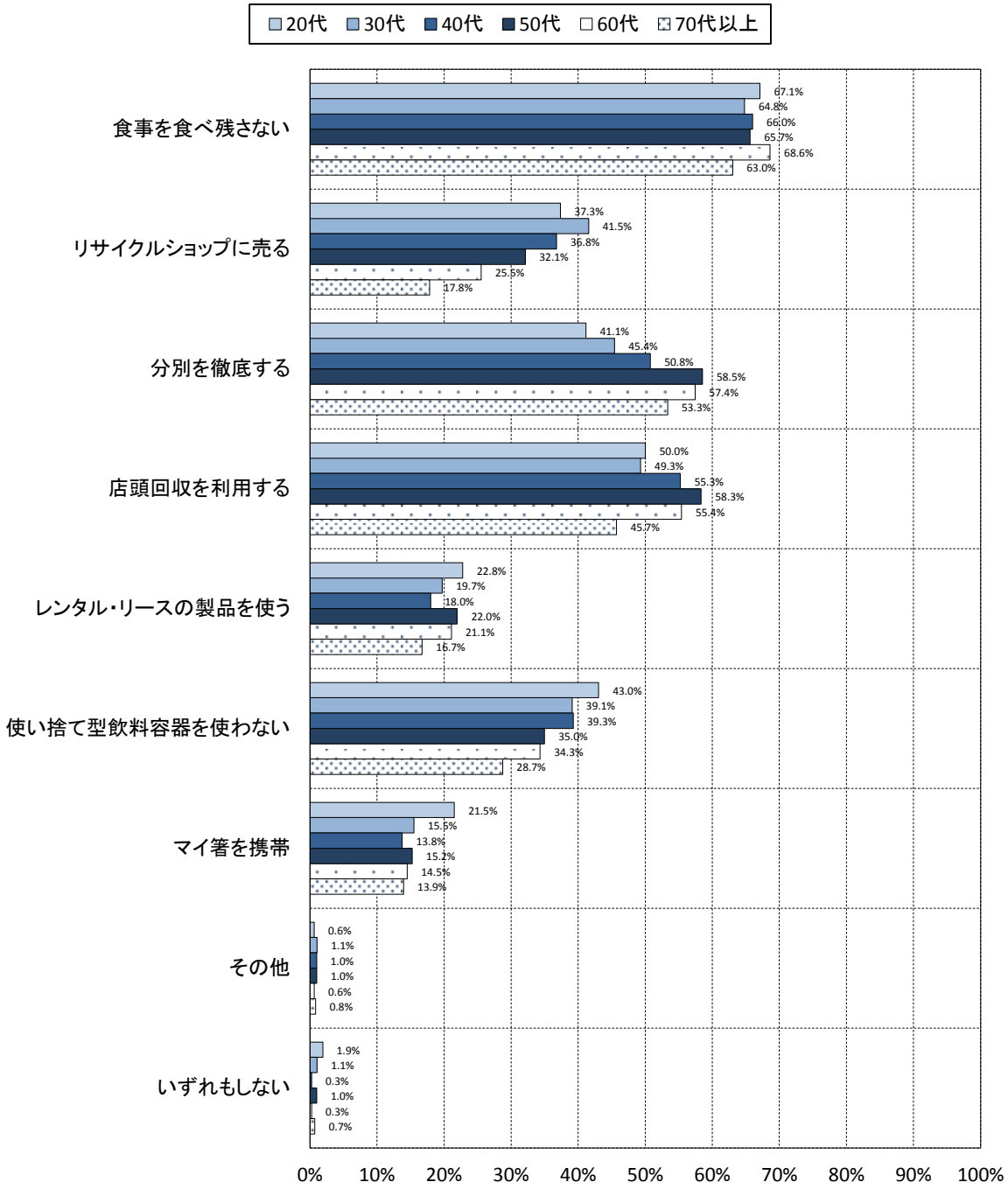


図　5-3-43（2/2）　「年代別　有料化された場合、どのようにごみを減らすか」回答率

問40	あなたの家の近くに中古の家電製品や家具を扱うお店（リサイクルショップ）ができたとします。この店がどんな店だったら、あなたは足を運んでみようと思いますか？（○は3つまで）

「どんなリサイクルショップなら足を運んでみようと思うか」については、「品質など信頼できる」の回答率が一番高く67%であり、次いで「取り扱っている商品がきれい」の回答が57.2%となっている。
市町別についても同様の傾向であるが、「品質など信頼できる」が62.6%から73.5%と大きな偏りはみられない。また「商品が探しやすい」が7.5%から15.4%と約2倍の開きがある。
年代別についても、全体と同じ傾向であるが、「店舗がきれい、明るい」は年代が若い方が高くなっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	店舗がきれい、明るい	1,118	37.5%
2	取り扱っている商品がきれい	1,704	57.2%
3	商品の品ぞろえがある	1,062	35.6%
4	商品が探しやすい	357	12.0%
5	品質など信頼できる	1,995	67.0%
6	販売金額は安く、買取金額は高め	1,027	34.5%
7	その他	29	1.0%
8	どんな店でも足は運ばないと思う	178	6.0%
総回答数		7,470	250.8%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-3-13　「どんなリサイクルショップなら足を運んでみようと思うか」回答状況

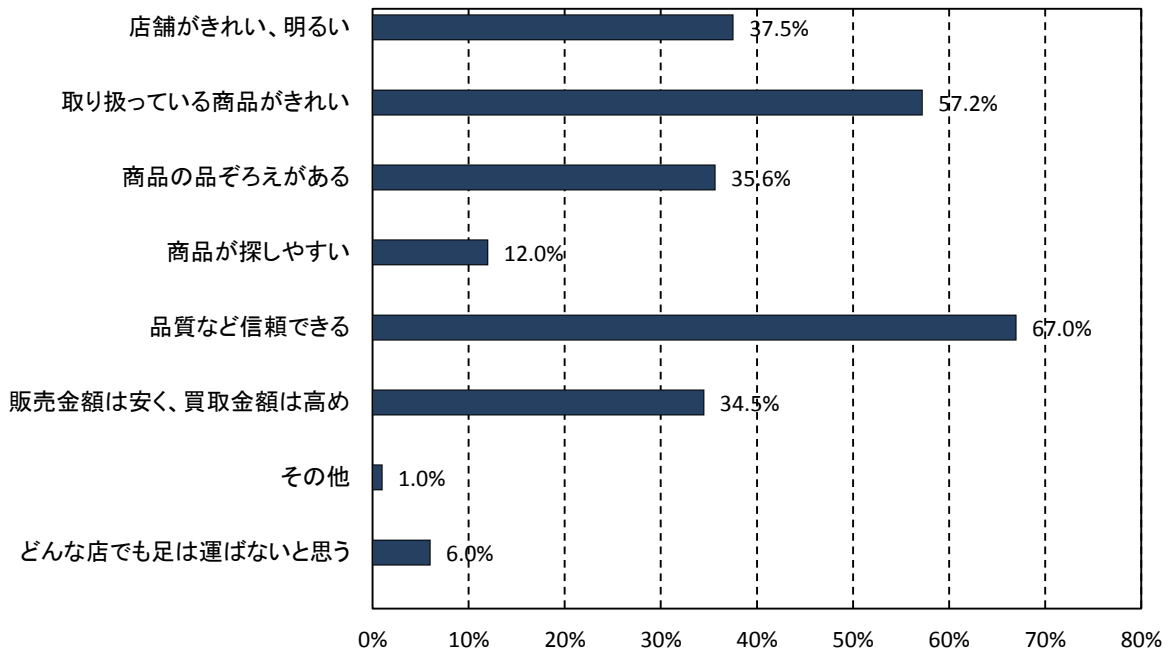


図　5-3-44　「どんなリサイクルショップなら足を運んでみようと思うか」回答率

② 市町別集計

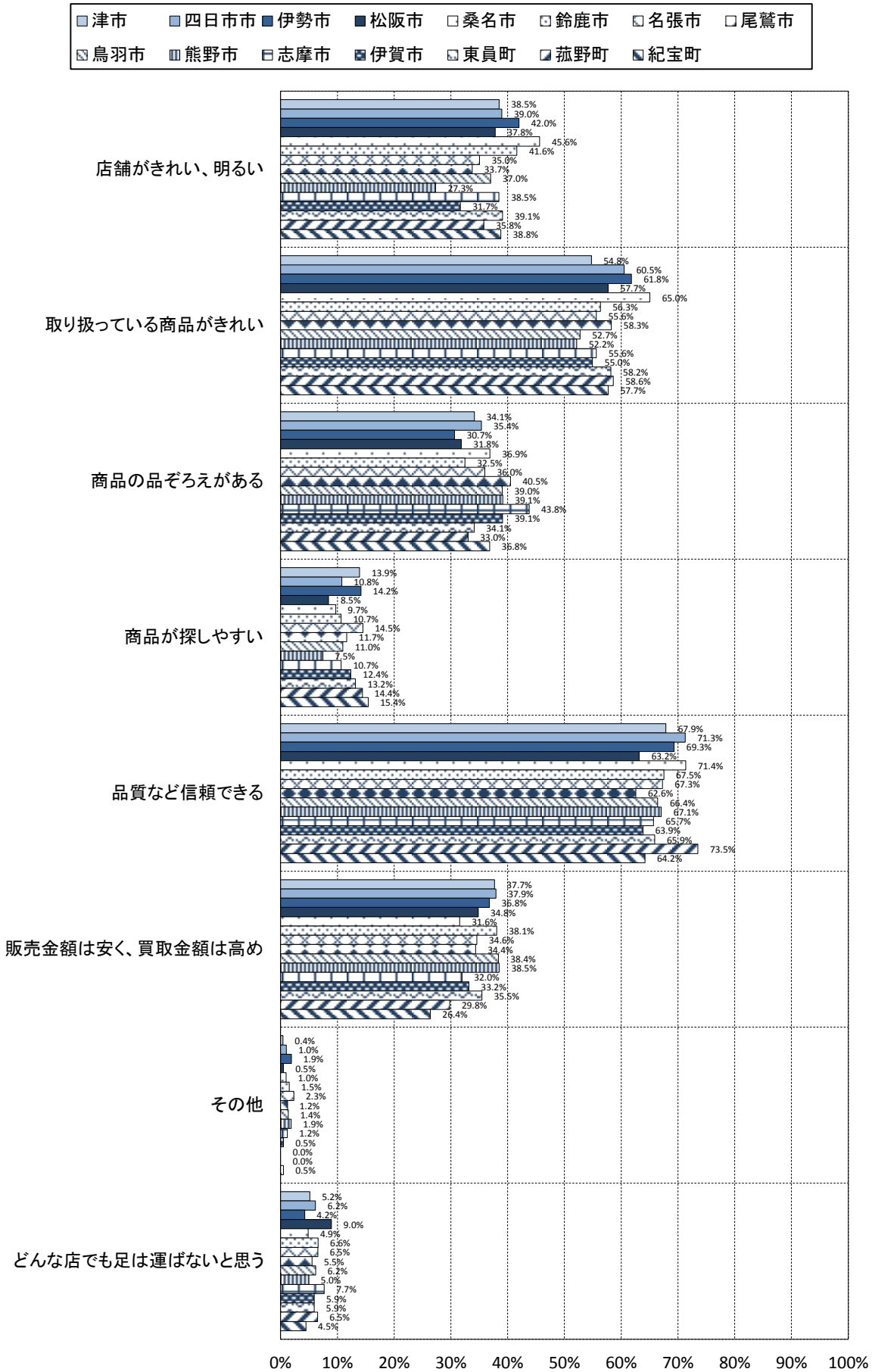


図 5-3-45 「市町別 どんなリサイクルショップなら足を運んでみようと思うか」回答率

③　年代別集計

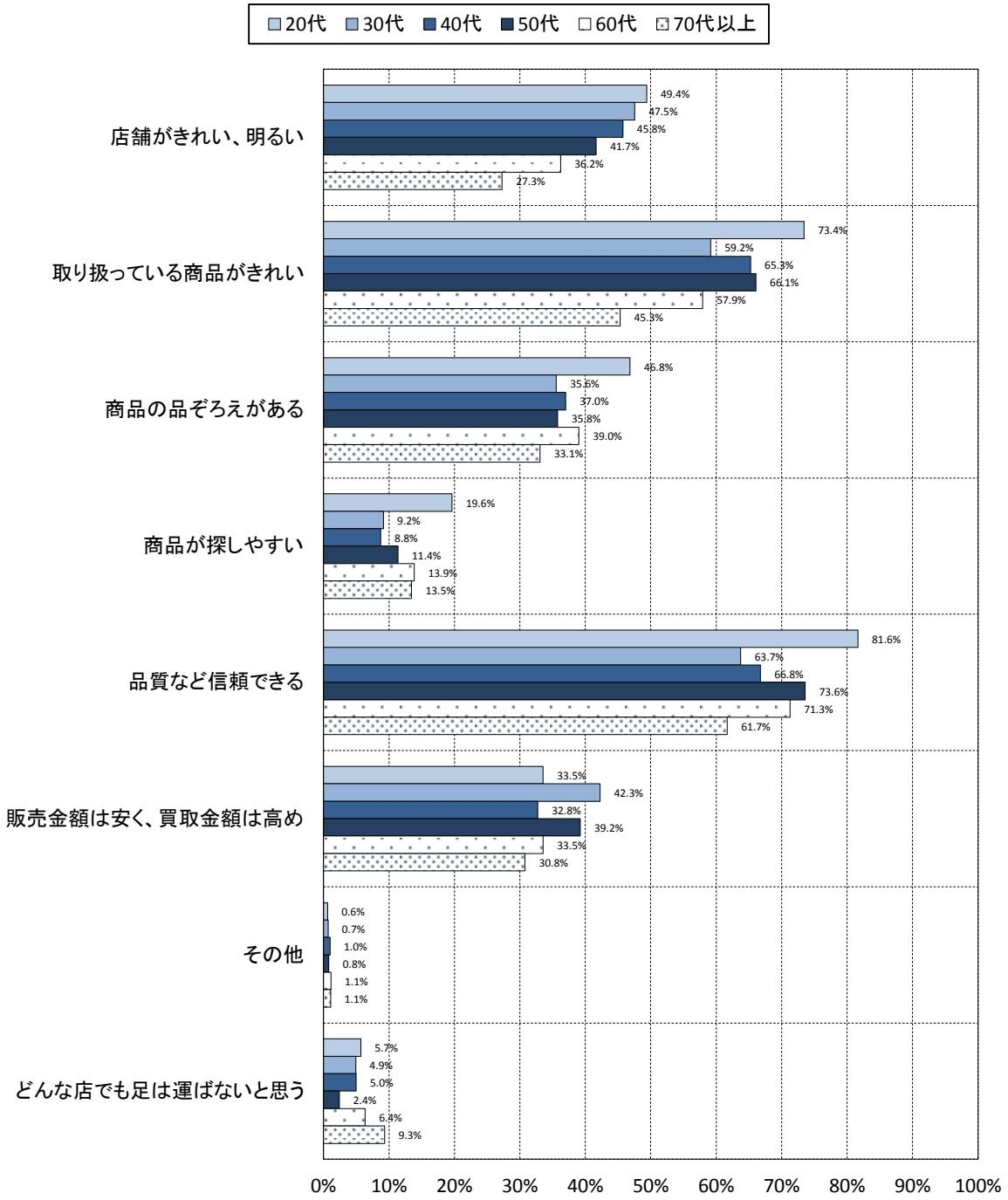


図　5-3-46　「年代別　どんなリサイクルショップなら足を運んでみようと思うか」回答率

問41	あなたのご家庭から出る可燃ごみに限っていえば、努力によりどれだけ減らせると思いますか？（○は1つ）

「可燃ごみはどれだけ減らせるか」については、「10%～30%」の回答率が48.7%と一番高く、次いで「10%未満」が27.1%となっており、これらの計が75.8%となっている。
市町別では、上記の計が65%から89.1%であり、尾鷲市は「これ以上減らせない」が16.6%と他市町と比べ高くなっている。
年代別では、上記の計が64.7%から84.8%であり、「70代以上」が低い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	10%未満	806	27.1%
2	10%～30%	1,452	48.7%
3	30%～50%	281	9.4%
4	50%～80%	62	2.1%
5	80%以上	16	0.5%
6	これ以上は減らせない	238	8.0%
99	無回答	124	4.2%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-3-14 「可燃ごみはどれだけ減らせるか」回答状況

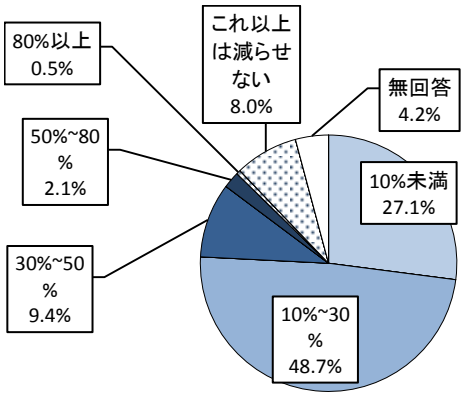


図 5-3-31 「ごみの有料化について 」回答率

② 市町別集計

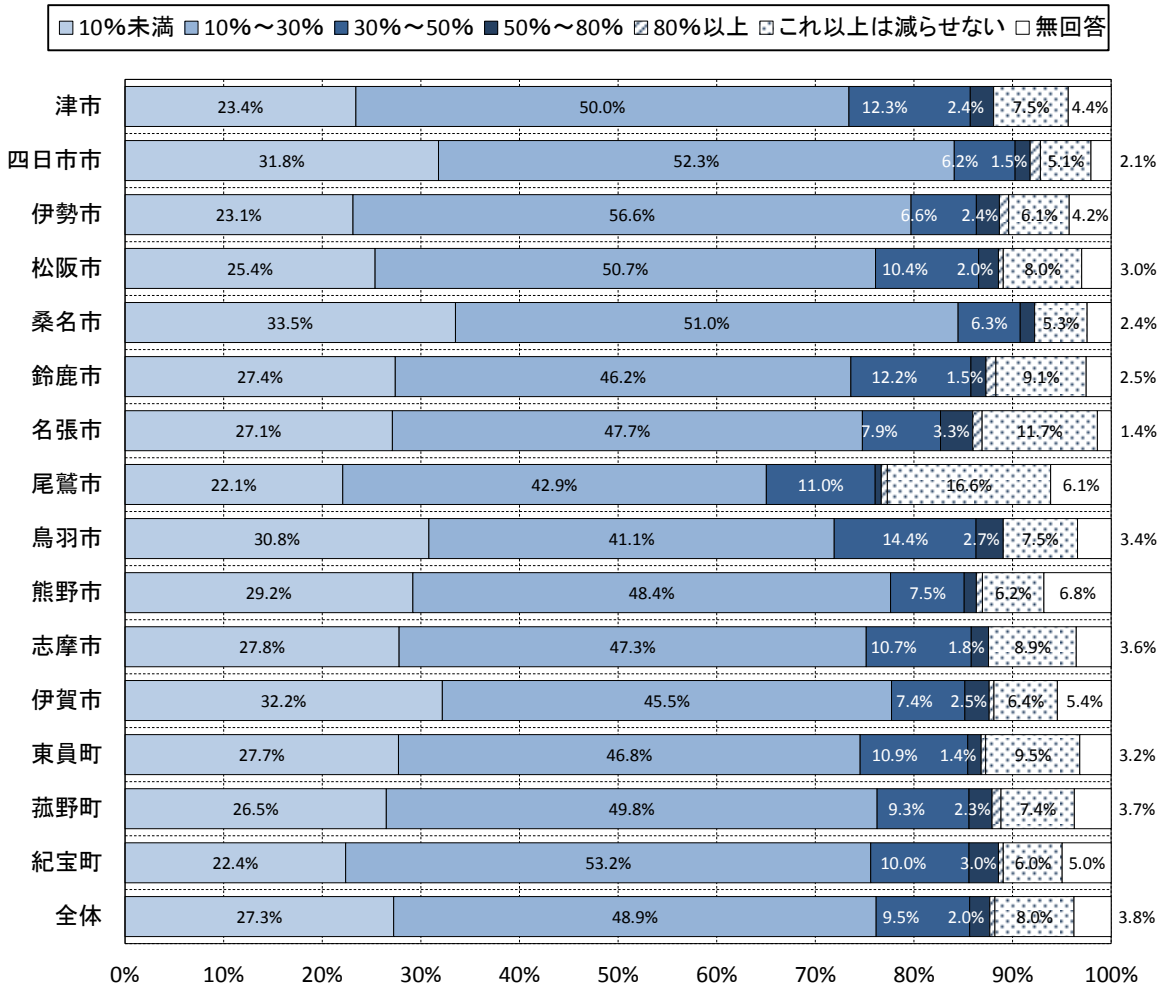


図 5-3-48 「市町別 可燃ごみはどれだけ減らせるか」回答率

③ 年別集計

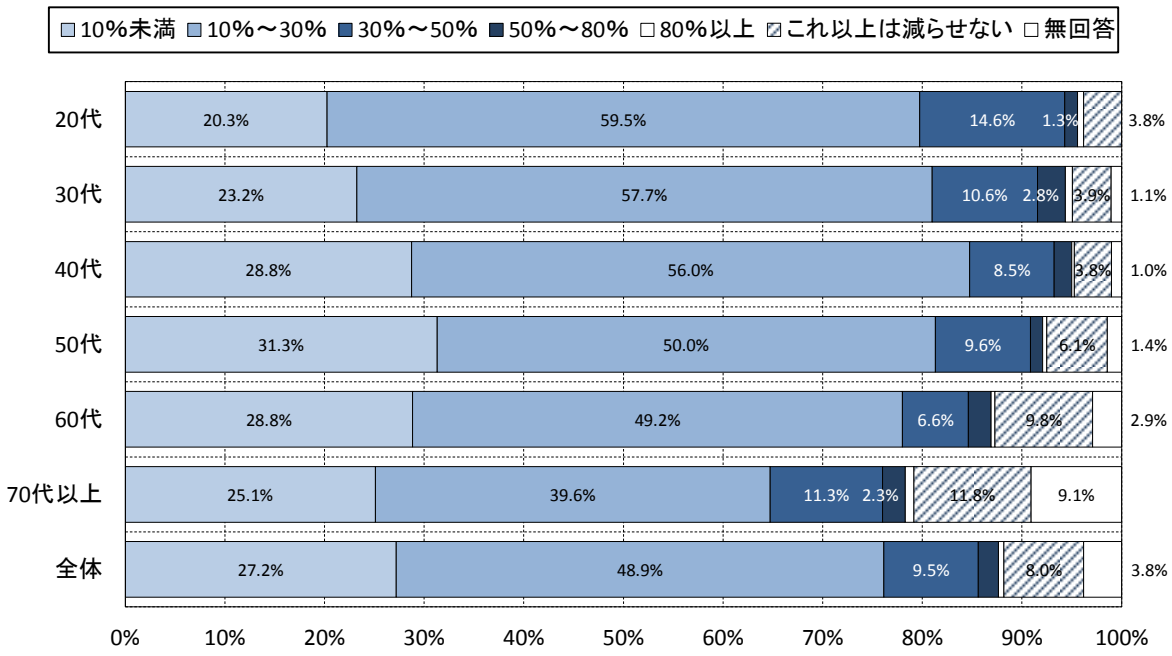


図 5-3-49 「年代別 可燃ごみはどれだけ減らせるか」回答率

5-4 「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画について

問42	ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてあなたの意見をお聞きします。（○は1つずつ）

(1) 計画づくりには、できるだけ多く住民が参画することが必要だと思いますか？

「計画づくりには、多くの住民が参画することが必要か」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が78.5%となっている。
市町別では、上記の計が74.1%から84.7%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が75.6%から85.1%であり、大きな偏りはみられない。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,109	37.2%
2	少しそう思う	1,230	41.3%
3	あまりそうは思わない	497	16.7%
4	まったくそうは思わない	43	1.4%
99	無回答	100	3.4%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-4-1 「多くの住民が参画することが必要か」回答状況

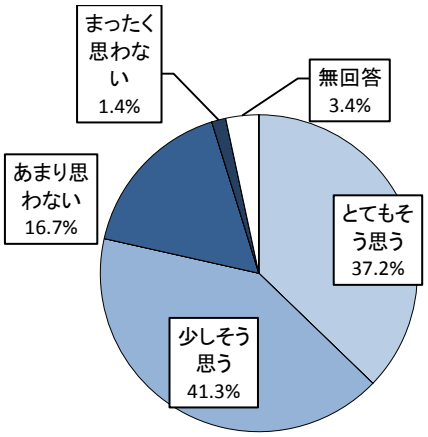


図 5-4-1 「多くの住民が参画することが必要か」回答率

② 市町別集計

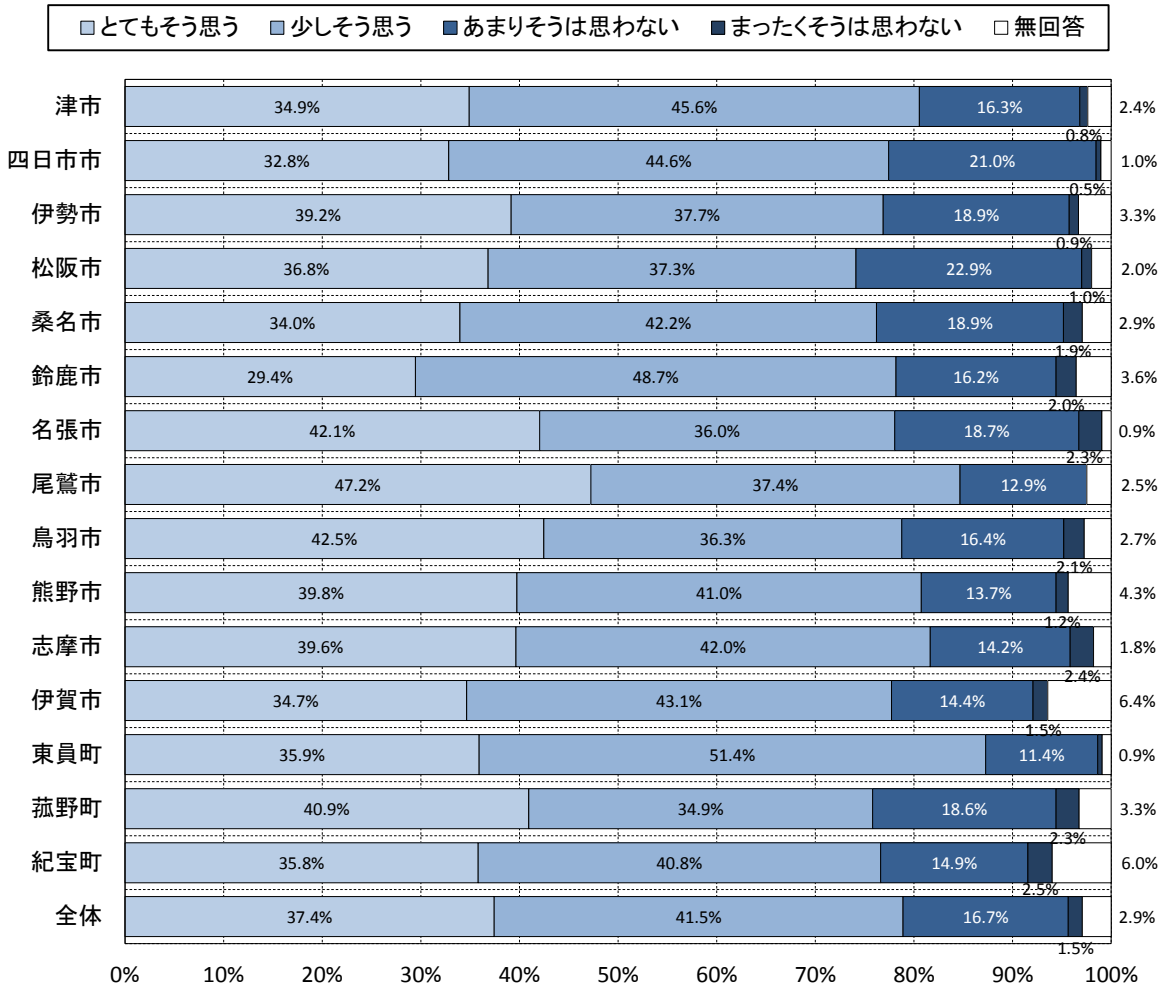


図 5-4-2 「市町別 多くの住民が参画することが必要か」回答率

③ 年代別集計

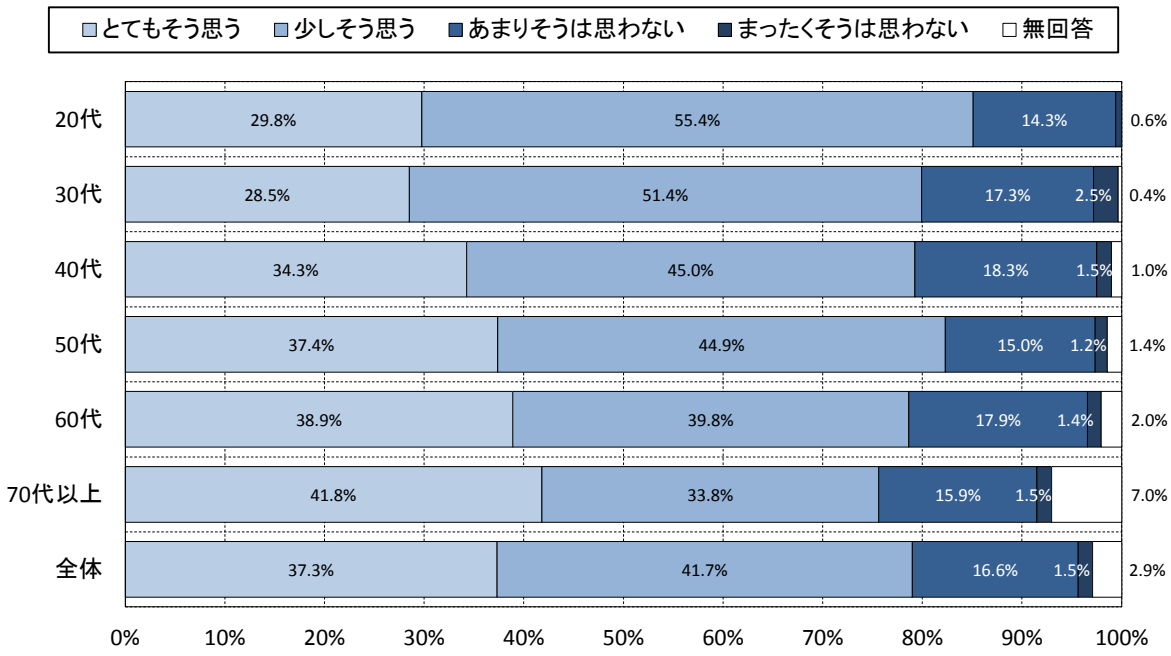


図 5-4-3 「年代別 多くの住民が参画することが必要か」回答率

⑵　計画づくりに住民が参画すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？

「住民参画すれば要望等を反映できるか」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が77.9%となっている。
市町別では、上記の計が73.8%から84.1%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が76.4%から80.7%であり、大きな偏りはみられない。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	708	23.8%
2	少しそう思う	1,611	54.1%
3	あまりそうは思わない	487	16.3%
4	まったくそうは思わない	75	2.5%
99	無回答	98	3.3%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-4-1　「住民参画すれば要望等を反映できるか」回答状況

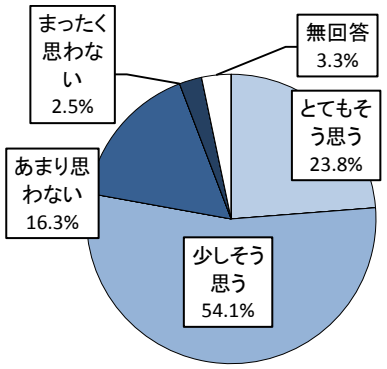


図　5-4-4　「住民参画すれば要望等を反映できるか」回答率

② 市町別集計

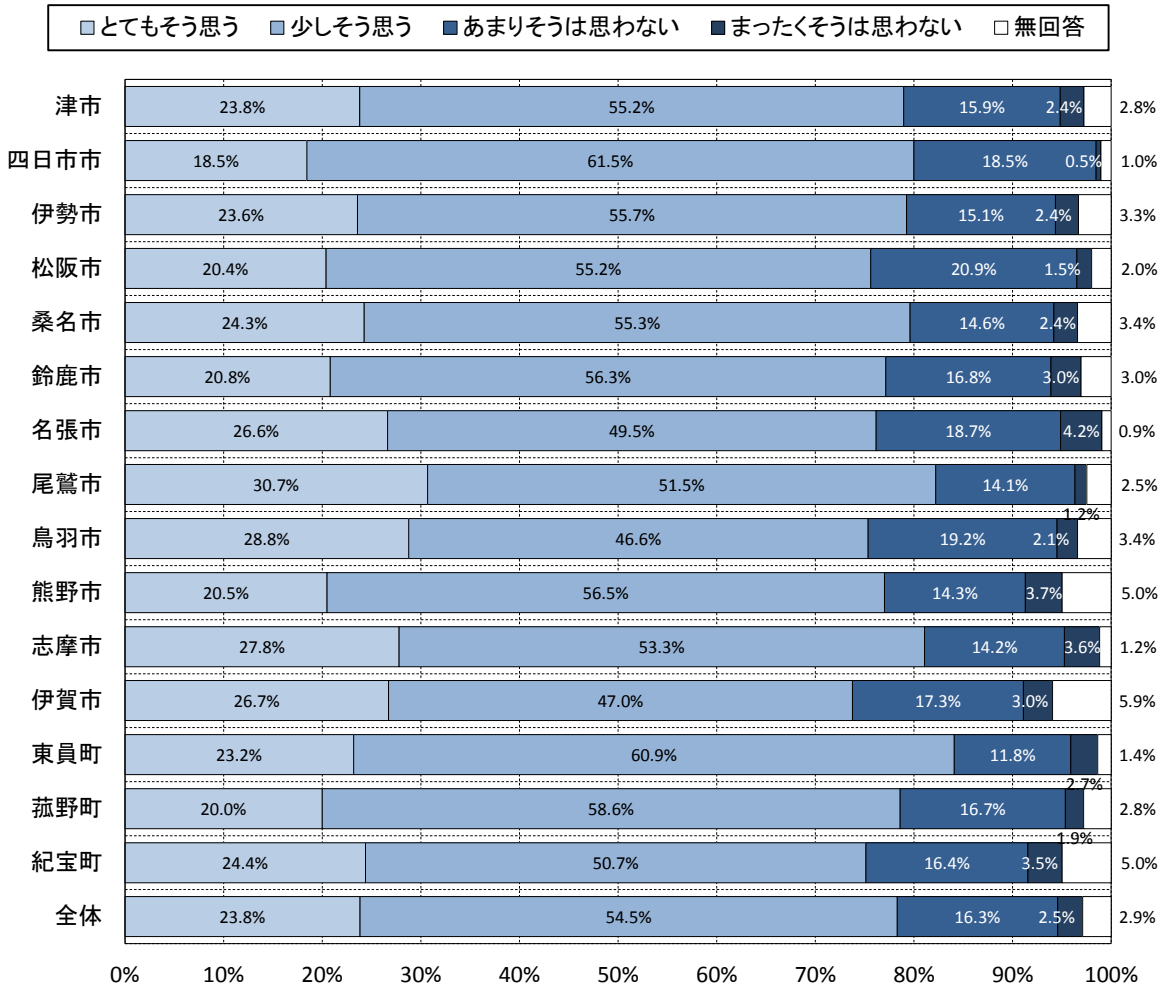


図 5-4-5 「市町別 住民参画すれば要望等を反映できるか」回答率

③ 年代別集計

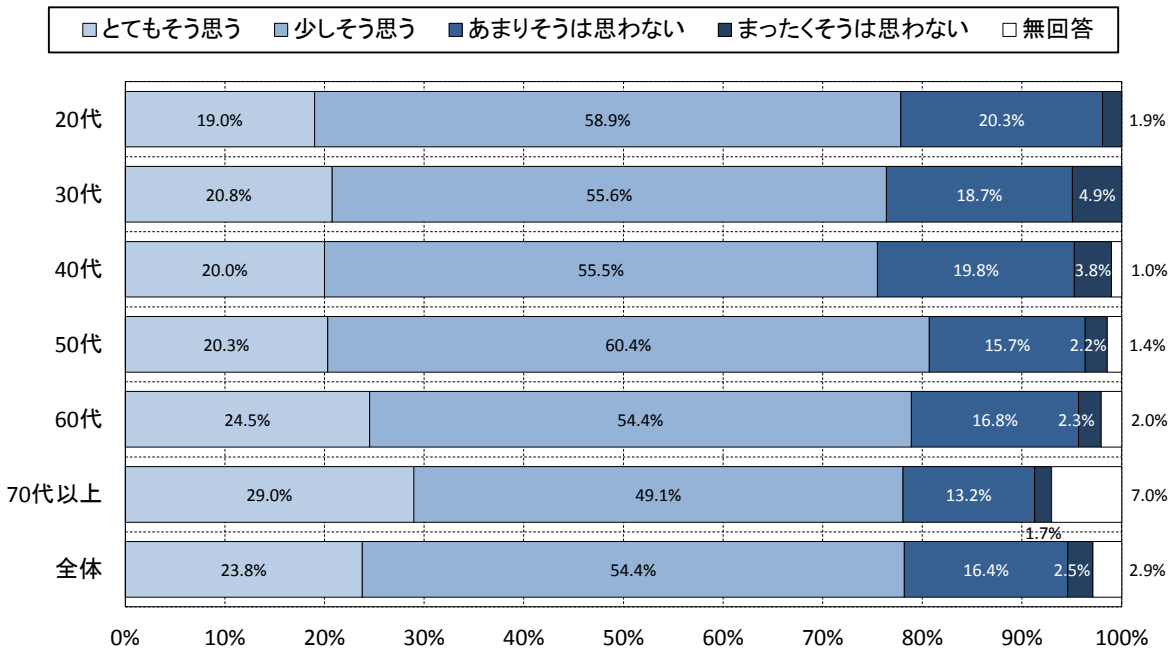


図 5-4-6 「年代別 住民参画すれば要望等を反映できるか」回答率

⑶　計画は市町が主体的につくる方がよいと思いますか？

「計画は市町が主体的につくる方がよいか」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が75.7%となっている。
市町別では、上記の計が70.2%から83.1%で大きな偏りはみられない。「四日市市」（83.1%）及び「菰野町」（82.3%）、「鈴鹿市」（82.2%）では80%を超えている。
年代別では、上記の計が74.6%から77.9%であり、「とてもそう思う」は「70代以上」が高い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	838	28.1%
2	少しそう思う	1,419	47.6%
3	あまりそうは思わない	517	17.4%
4	まったくそうは思わない	90	3.0%
99	無回答	115	3.9%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-4-2　「計画は市町が主体的につくる方がよいか」回答状況

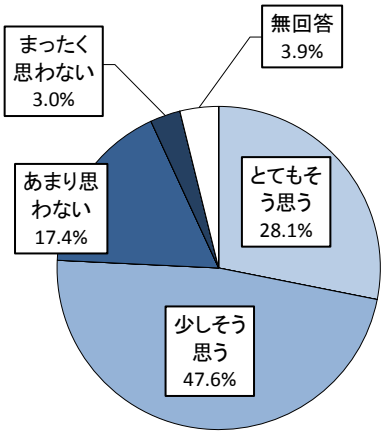


図　5-4-7　「計画は市町が主体的につくる方がよいか」回答率

② 市町別集計

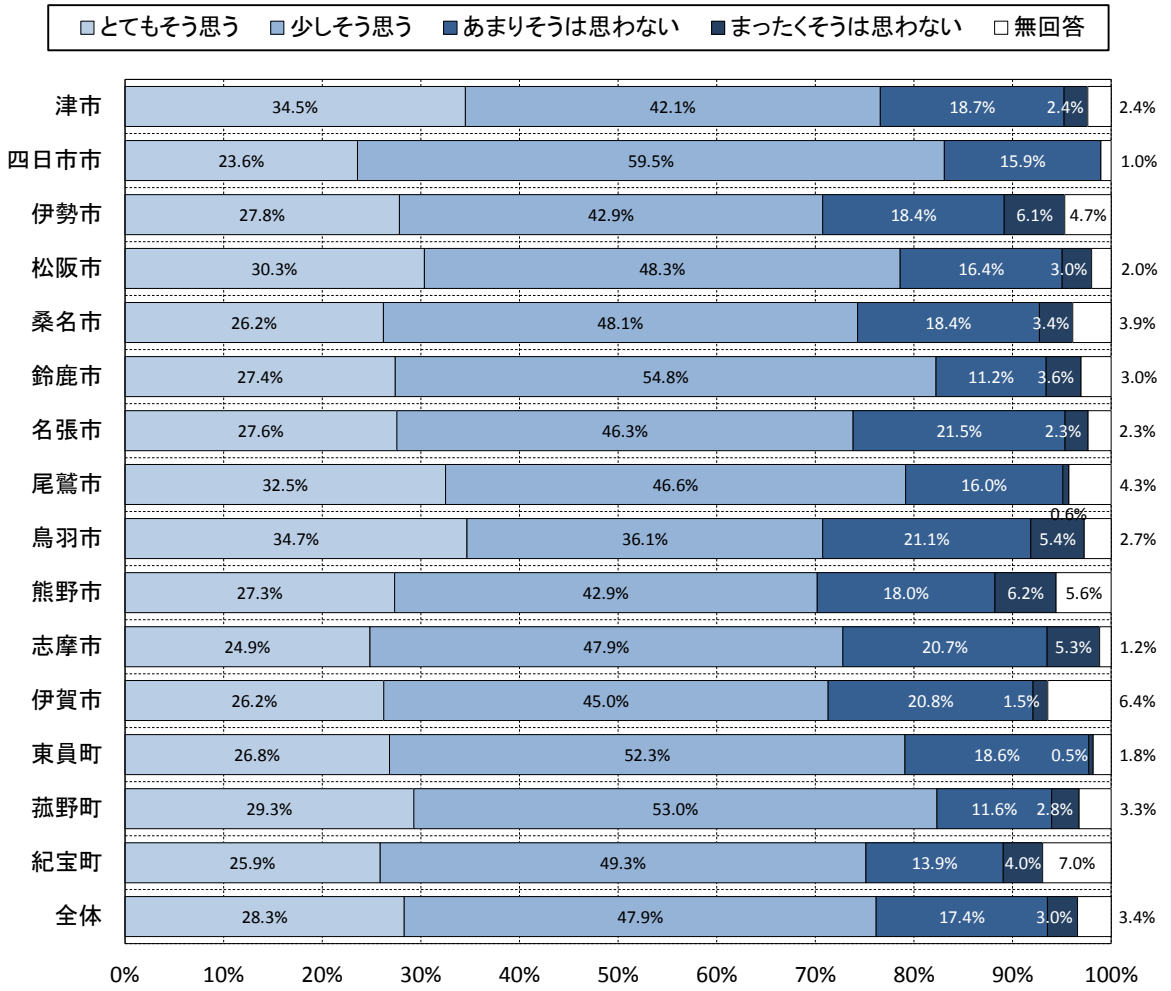


図 5-4-8 「市町別 計画は市町が主体的につくる方がよいか」回答率

③ 年代別集計

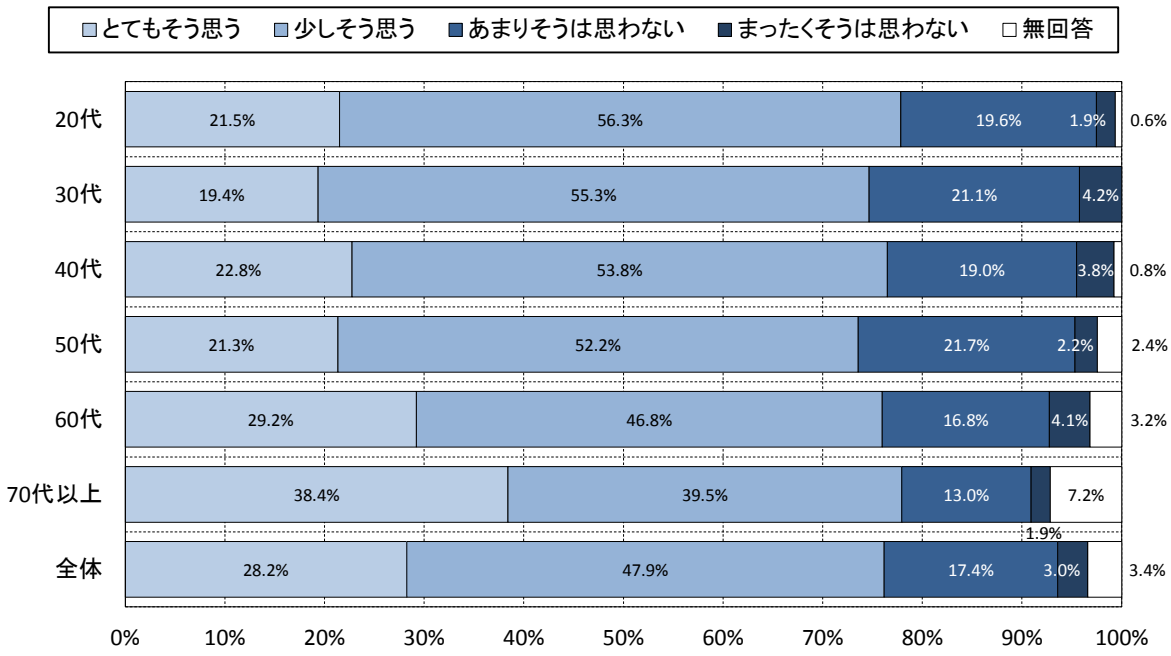


図 5-4-9 「市町別 計画は市町が主体的につくる方がよいか」回答率

⑷　あなたが計画づくりに参画することで、様々な情報を入手できると思いますか？

「計画づくりに参画することで様々な情報を入手できると思うか」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が71.8%となっている。
市町別では、上記の計が64.6%から76.3%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が68.1%から75%であり、大きな偏りはみられない。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	442	14.8%
2	少しそう思う	1,697	57.0%
3	あまりそうは思わない	627	21.0%
4	まったくそうは思わない	90	3.0%
99	無回答	123	4.2%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-4-4　「様々な情報を入手できると思うか」回答状況

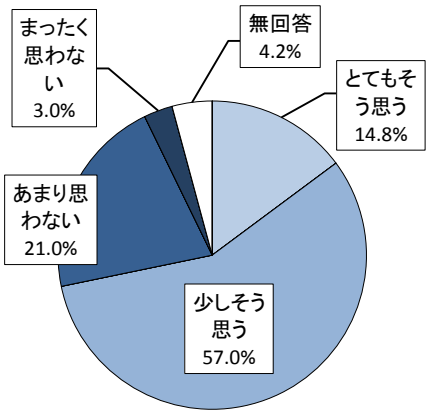


図　5-4-10　「様々な情報を入手できると思うか」回答率

② 市町別集計

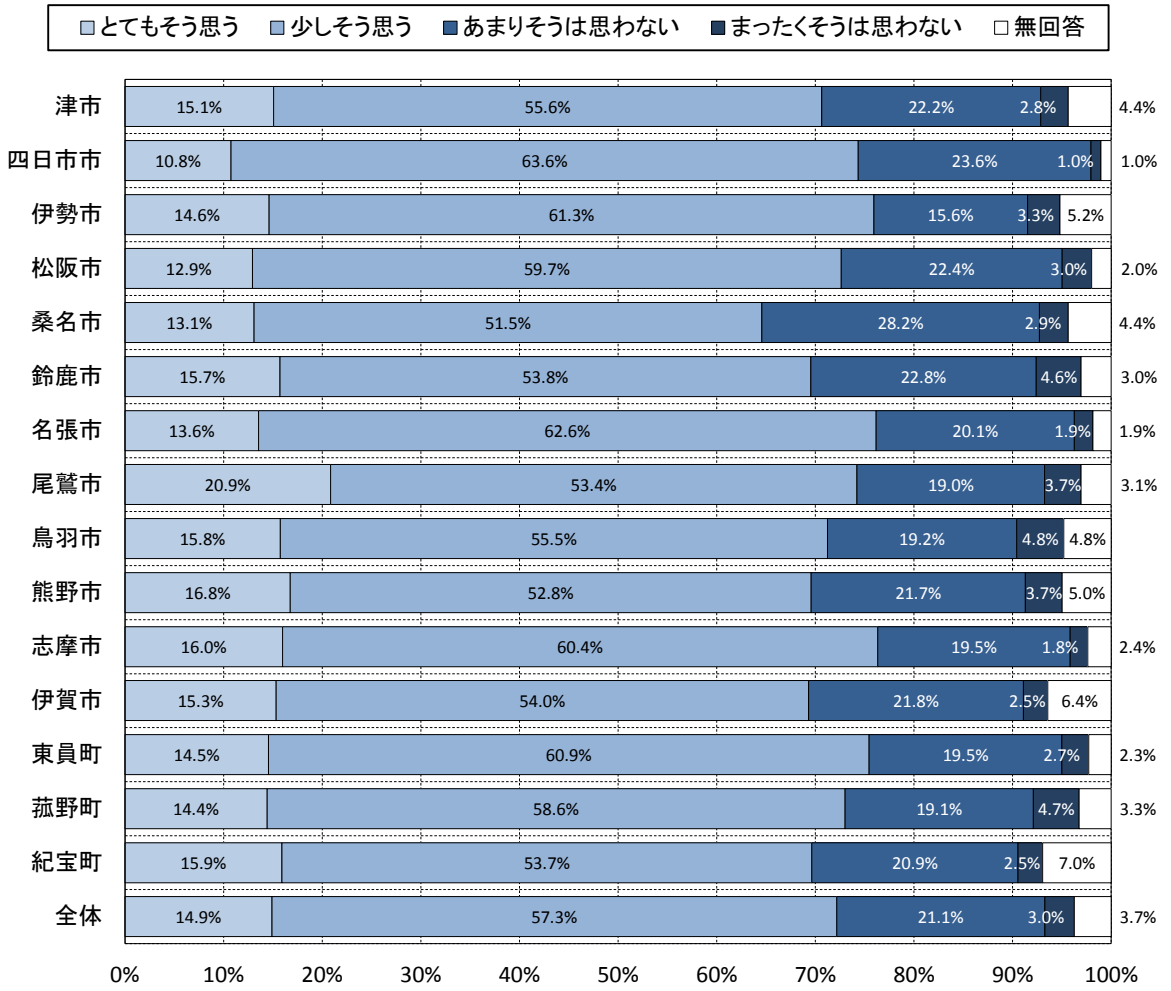


図 5-4-8 「市町別 計画は市町が主体的につくる方がよいか」回答率

③ 年代別集計

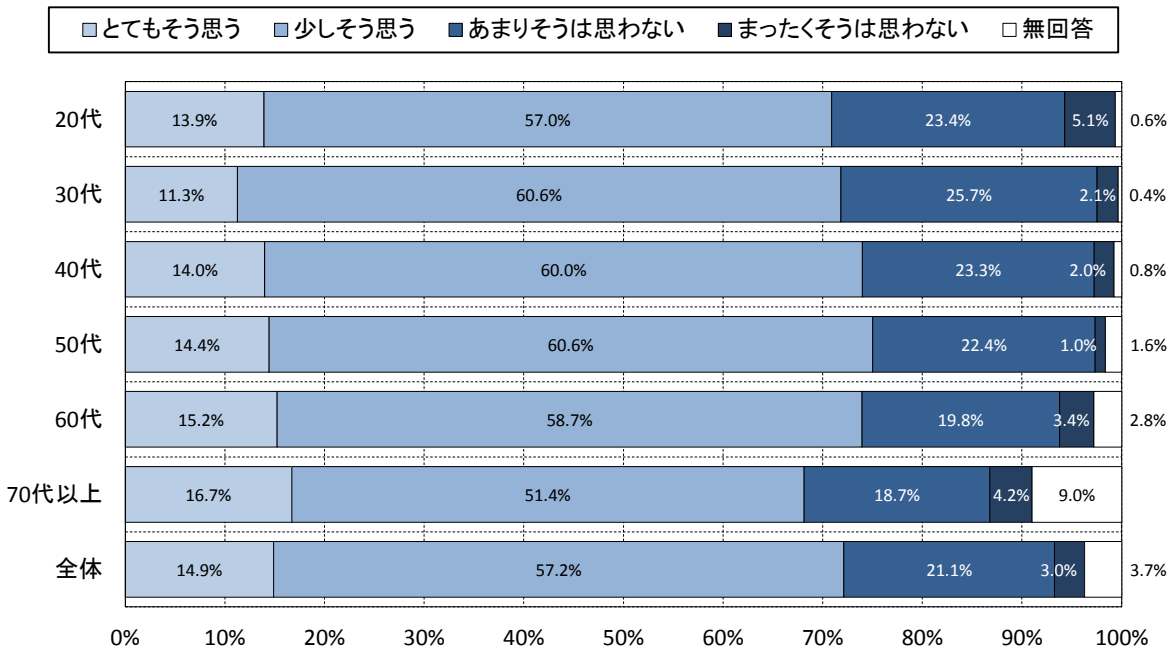


図 5-4-9 「市町別 計画は市町が主体的につくる方がよいか」回答率

⑸　あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？

「計画づくりへの参加は時間や手間がかかり大変だと思うか」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が86.4%となっている。
市町別では、上記の計が80.8%から91.8%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、上記の計が78.3%から94%であり、大きな偏りはみられない。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	851	28.6%
2	少しそう思う	1,722	57.8%
3	あまりそうは思わない	258	8.7%
4	まったくそうは思わない	38	1.3%
99	無回答	110	3.6%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-4-5　「時間や手間がかかり大変だと思うか」回答状況

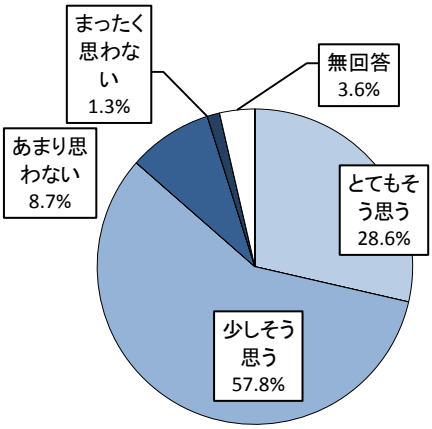


図　5-4-13　「時間や手間がかかり大変だと思うか」回答率

② 市町別集計

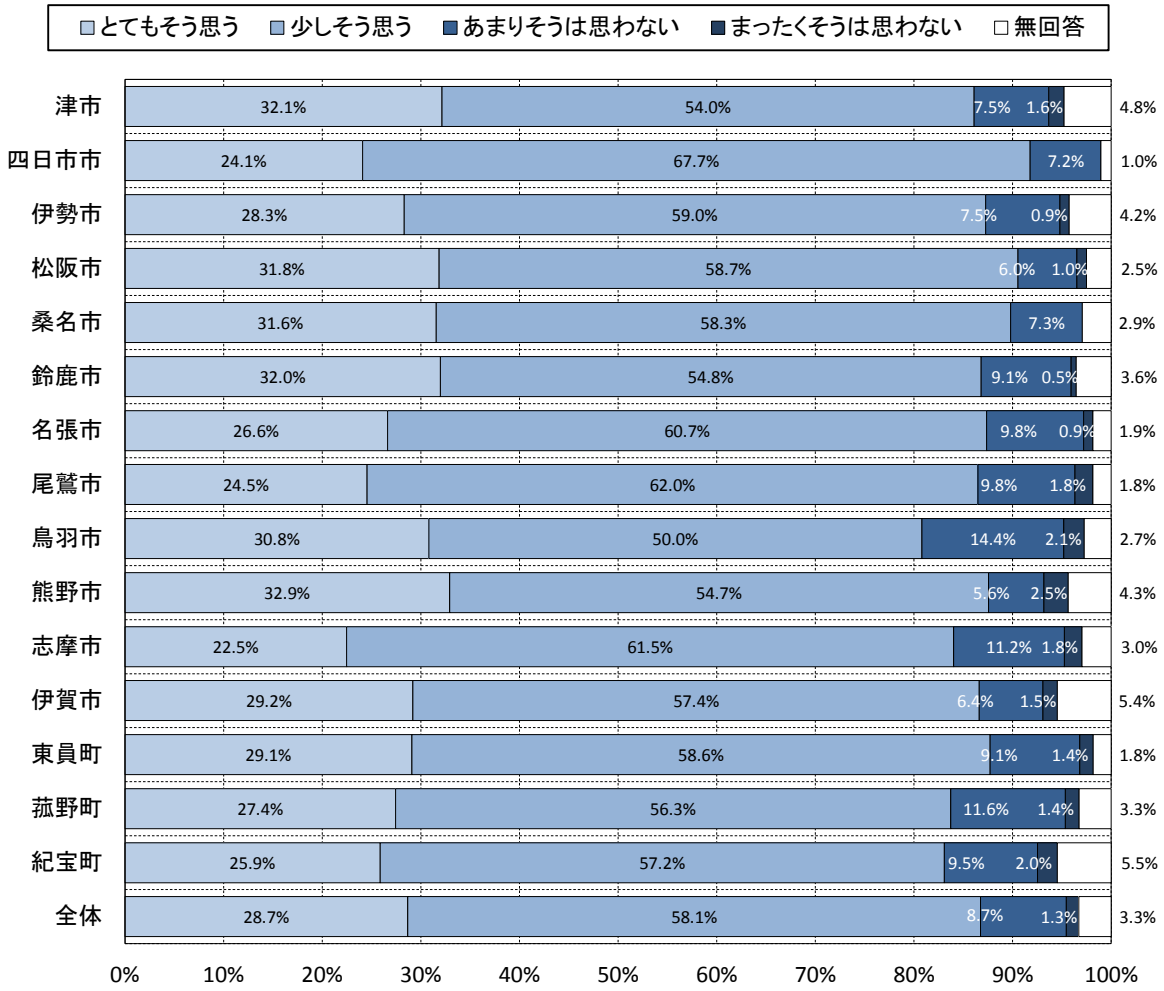


図 5-4-14 「市町別 時間や手間がかかり大変だと思うか」

③ 年代別集計

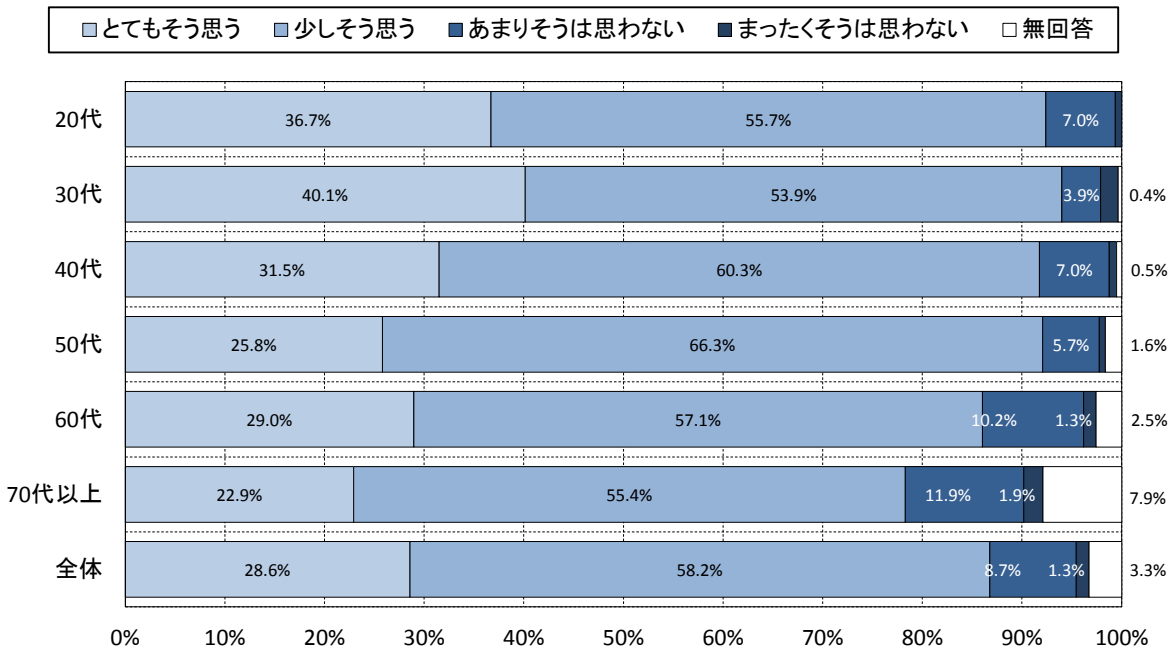


図 5-4-14 「年代別 時間や手間がかかり大変だと思うか」

⑹　今後、このような計画づくりに住民参画の機会があった場合、あなたは参画したいですか？

「住民参画の機会があれば、参画したいか」については、「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計が48.9%となっている。
市町別では、上記の計が41.8%から55.8%であり、大きな偏りはみられない。
性別では、上記の計が49.1%から49.3%であり、大きな偏りはみられない。
年代別では、、上記の計が38%から52.4%であり、年代により差があり、「30代」が最も低く、「60代」が最も高くなっている。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	とてもそう思う	153	5.1%
2	少しそう思う	1,306	43.8%
3	あまりそうは思わない	1,108	37.2%
4	まったくそうは思わない	282	9.5%
99	無回答	130	4.4%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-4-6　「住民参画の機会があれば、参画したいか」回答状況

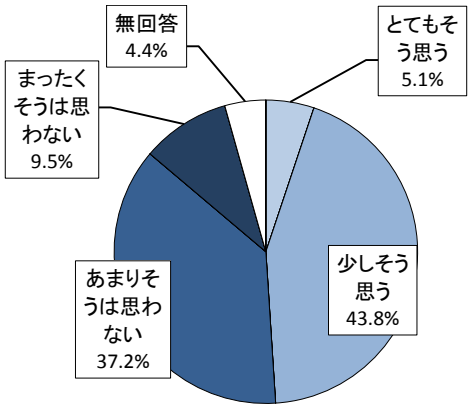


図　5-4-16　「住民参画の機会があれば、参画したいか」回答率

②　市町別集計

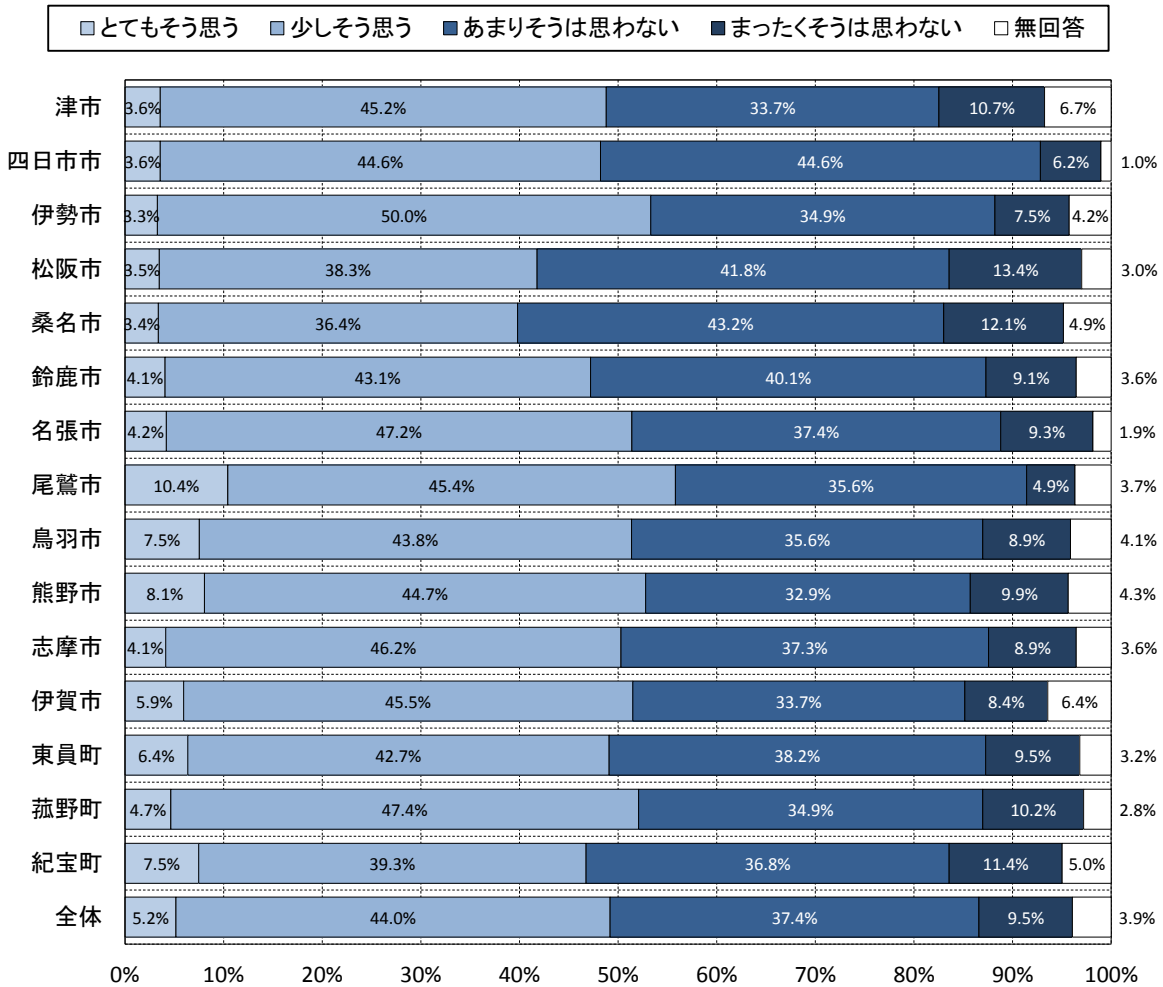


図　5-4-17　「市町別　住民参画の機会があれば、参画したいか」回答率

③　性別集計

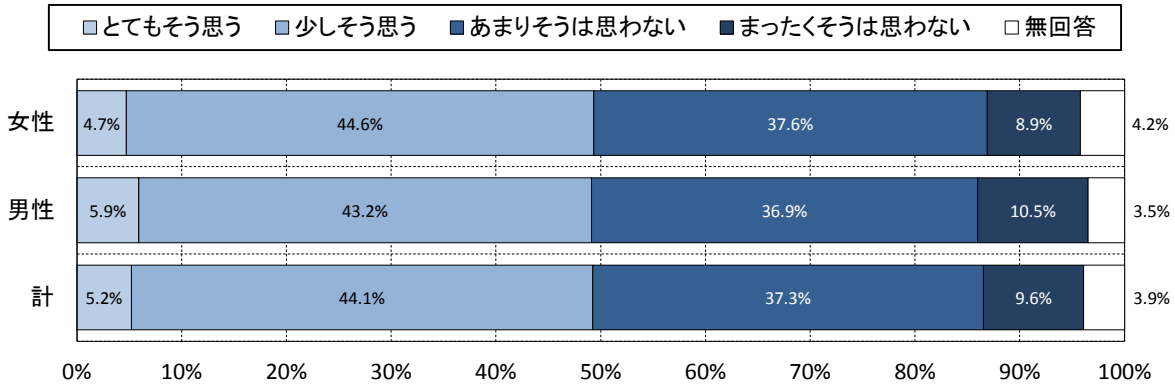


図　5-4-18　「性別　住民参画の機会があれば、参画したいか」回答率

④　年代別集計

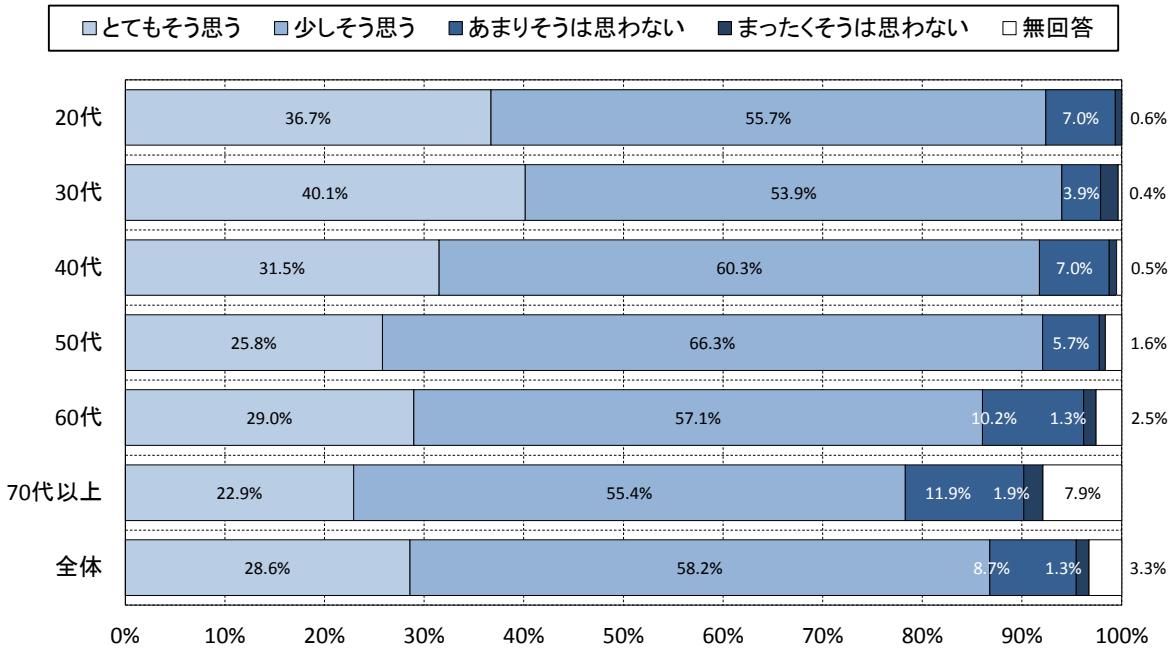


図　5-4-19　「年代別　住民参画の機会があれば、参画したいか」回答率

5-5　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について

問43	三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存知ですか？（○は1つ）

「ごみゼロ社会実現プランを知っているか」については、「しらない」が59.1%を占め、次いで「名前は聞いたことがある」が33.9%となっている。
市町別については、「知っている」と「名前は聞いたことがある」の計が30.1%から48.1%であり、市町によって少し幅がある。
年代別については、上記の計が「70代以上」（41.3%）で高い。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	知っている	135	4.5%
2	名前は聞いたことがある	1,009	33.9%
3	知らない	1,762	59.1%
99	無回答	73	2.5%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-5-1　「プランを知っているか」回答状況

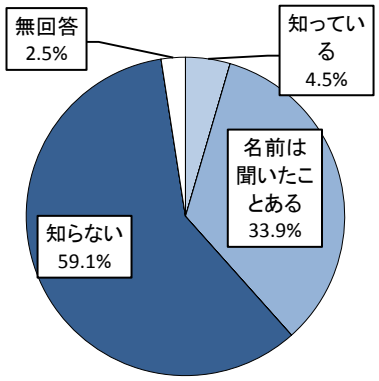


図　5-5-1　「プランを知っているか」回答率

② 市町別集計

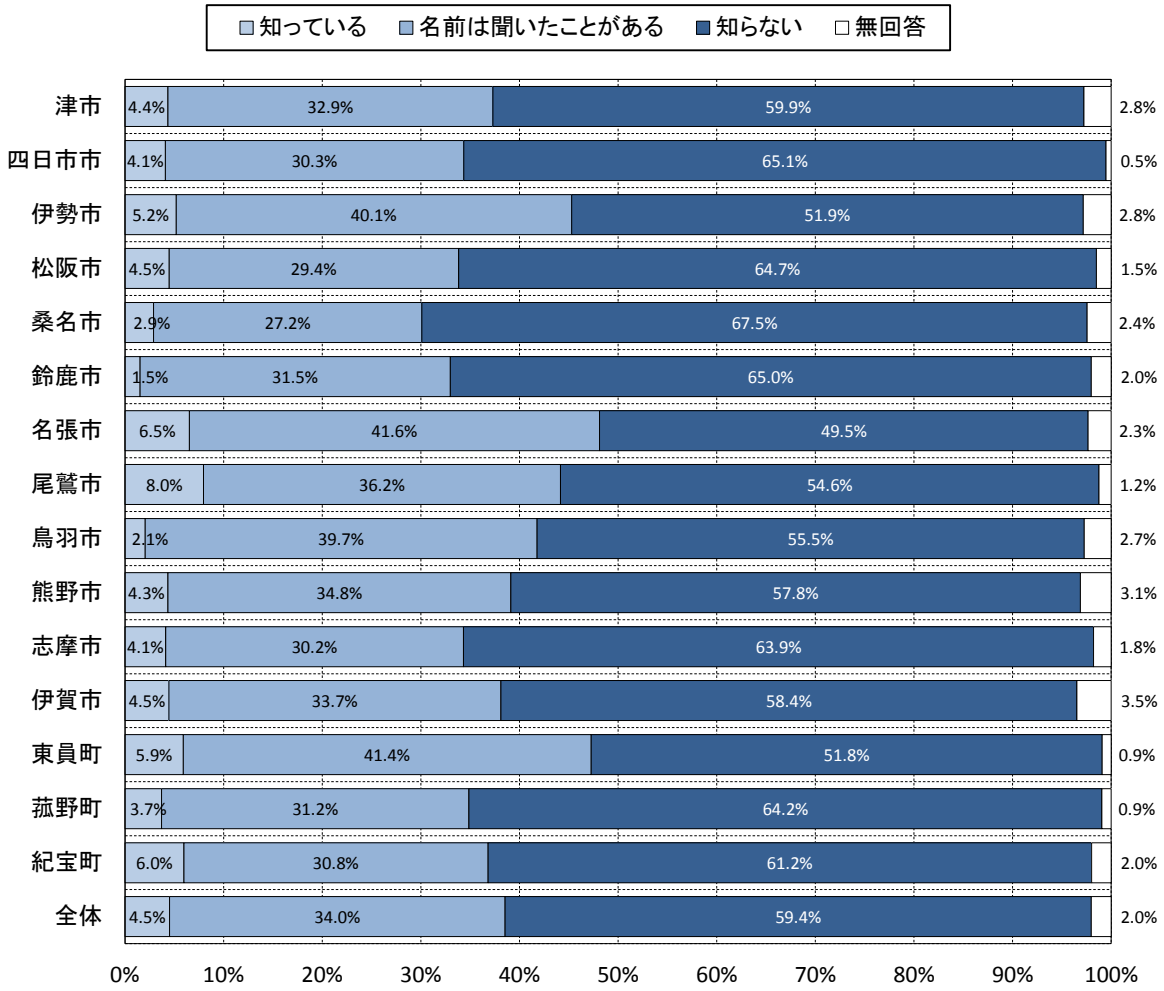


図 5-5-2 「市町別 プランを知っているか」回答率

③ 年代別集計

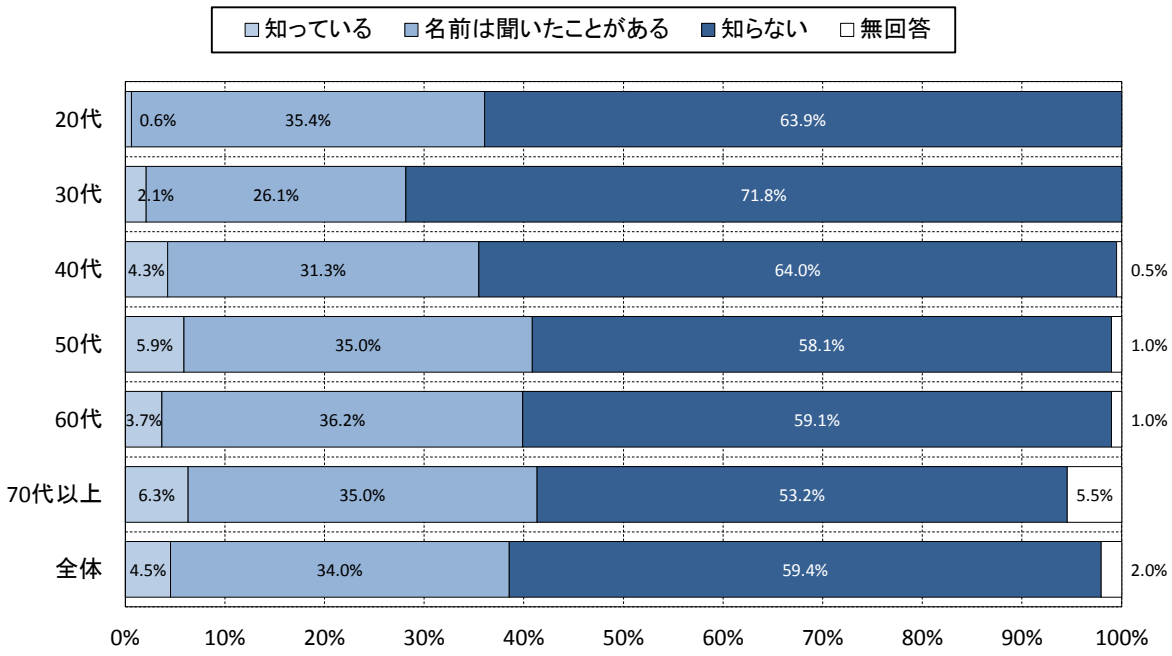


図 5-5-2 「年代別 プランを知っているか」回答率

問44	三重県のごみゼロキャラクター『ゼロ吉』をご存知ですか？（○は1つ）

「三重県のごみゼロキャラクター『ゼロ吉』を知っているか』については、「知らない」が80.8%を占め、次いで「見たことはあるが、三重県のごみゼロキャラクターであることは知らなかった」が12.5%となっている。
市町別については、大きな偏りはみられない。
年代別については、「知らない」が「70代以上」で73.9%と一番低い。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	知っている	124	4.2%
2	見たことはあるが、三重県のごみゼロキャラクターであることは知らなかった	371	12.5%
3	知らない	2,407	80.8%
99	無回答	77	2.5%
有効回答数		2,979	100.0%

表 5-5-2 「『ゼロ吉』を知っているか」回答状況

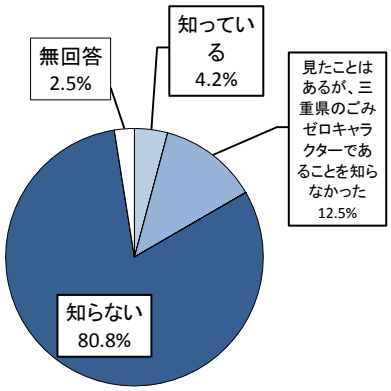
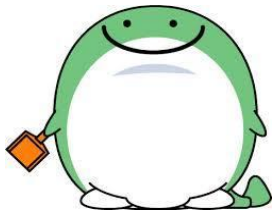


図 5-5-4 「『ゼロ吉』を知っているか」回答率



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

② 市町別集計

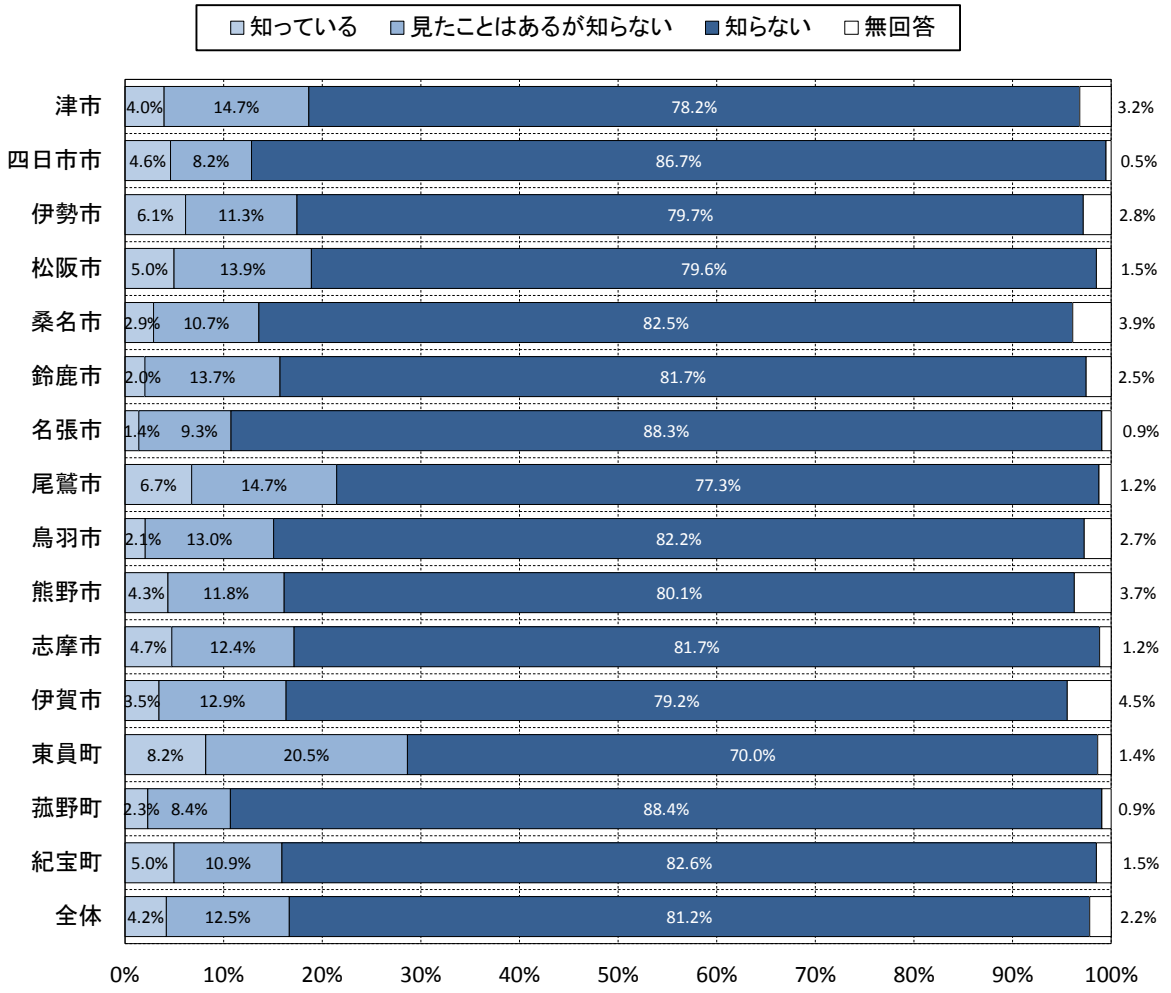


図 5-5-5 「市町別 『ゼロ吉』を知っているか」回答率

③ 年代別集計

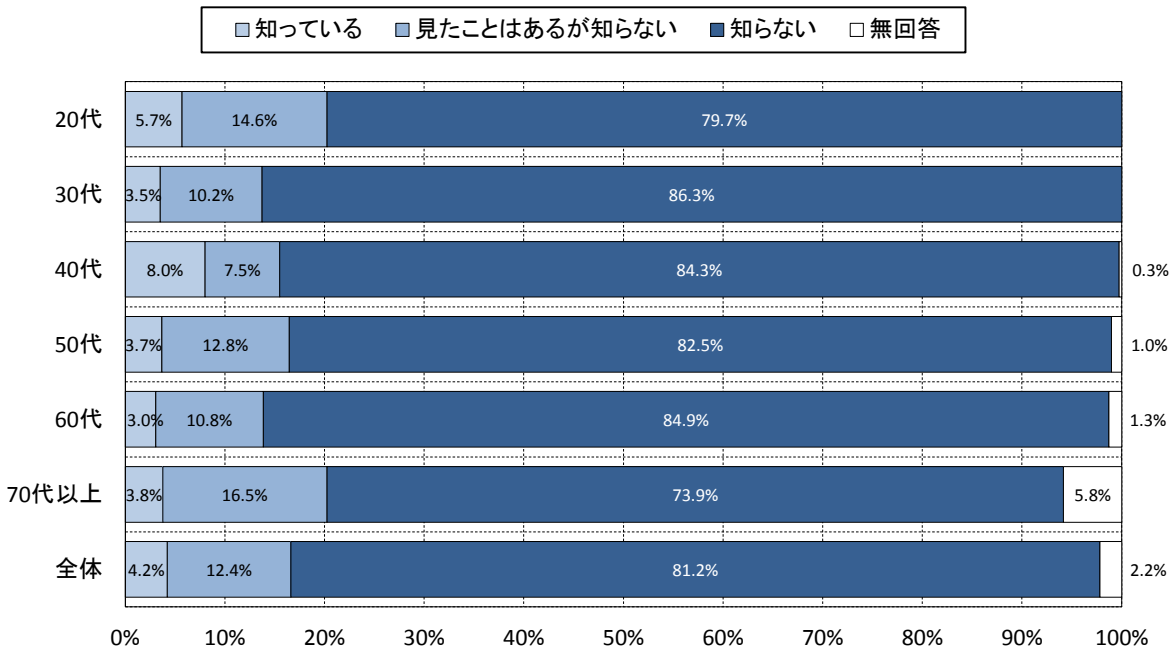


図 5-5-5 「年代別 『ゼロ吉』を知っているか」回答率

問45	三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参画の取組に参加したいと思いますか？（あてはまるものすべてに○）

「三重県の『ごみゼロ社会実現プラン』に関する取組に参加したいか」については、『アンケートなどに協力したい」が一番高く33.3%であり、次いで「いずれにも参加したいとは思わない」（25.8%）、「ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい」（23.9%）となっている。
氏町別及び性別については、大きな差はみられない。
年代別については、「地域ごみゼロ交流会に参加したい」や「ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい」は、年代が上がるごとに高い傾向になっている。

① 単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	地域ごみゼロ交流会に参加したい	223	7.5%
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	298	10.0%
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	666	22.4%
4	ゼロ吉Facebookでイベントなどの情報を読みたい	193	6.5%
5	ごみゼロプランの進み具合やごみ減量化などの取組をまとめた「点検・評価」を読みたい	713	23.9%
6	アンケートなどに協力したい	992	33.3%
7	自分の意見をＦＡＸなどで県に寄せたい	55	1.8%
8	ごみゼロプランの進捗状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい	107	3.6%
9	いずれにも参加したいとは思わない	770	25.8%
11	その他	61	2.0%
総回答数		4,078	136.8%
有効回答数		2,979	100.0%

表　5-5-3　「県民参画の取組に参加したいか」回答状況

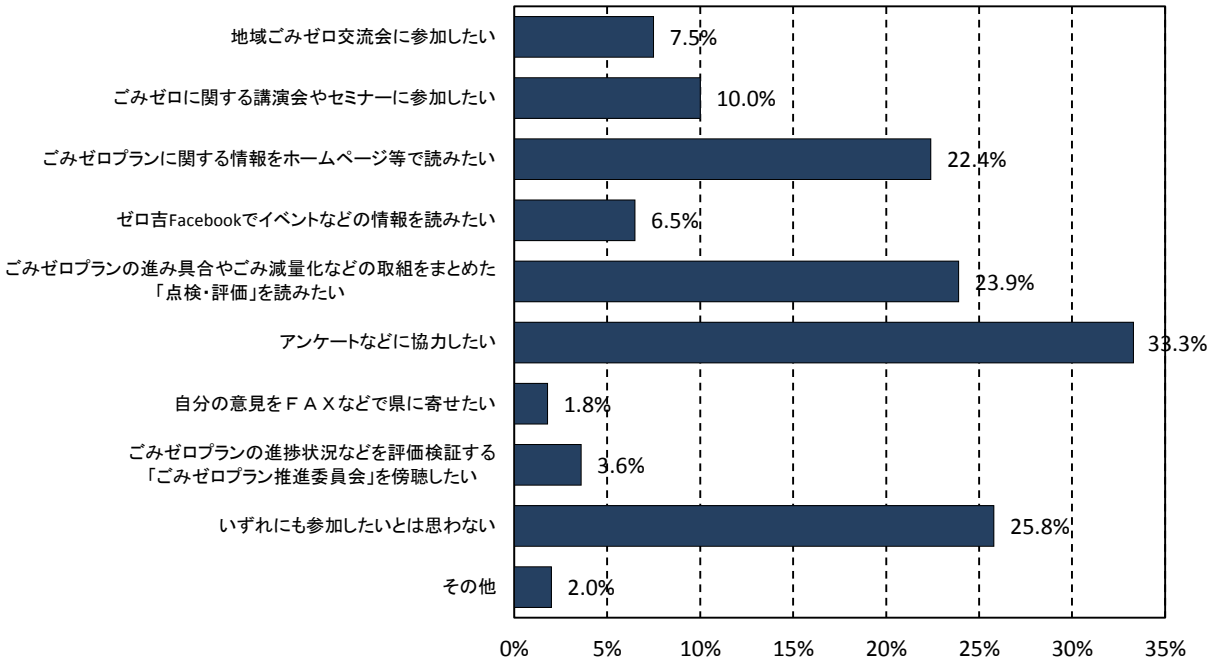


図　5-5-7　「県民参画の取組に参加したいか」回答率

② 市町別集計

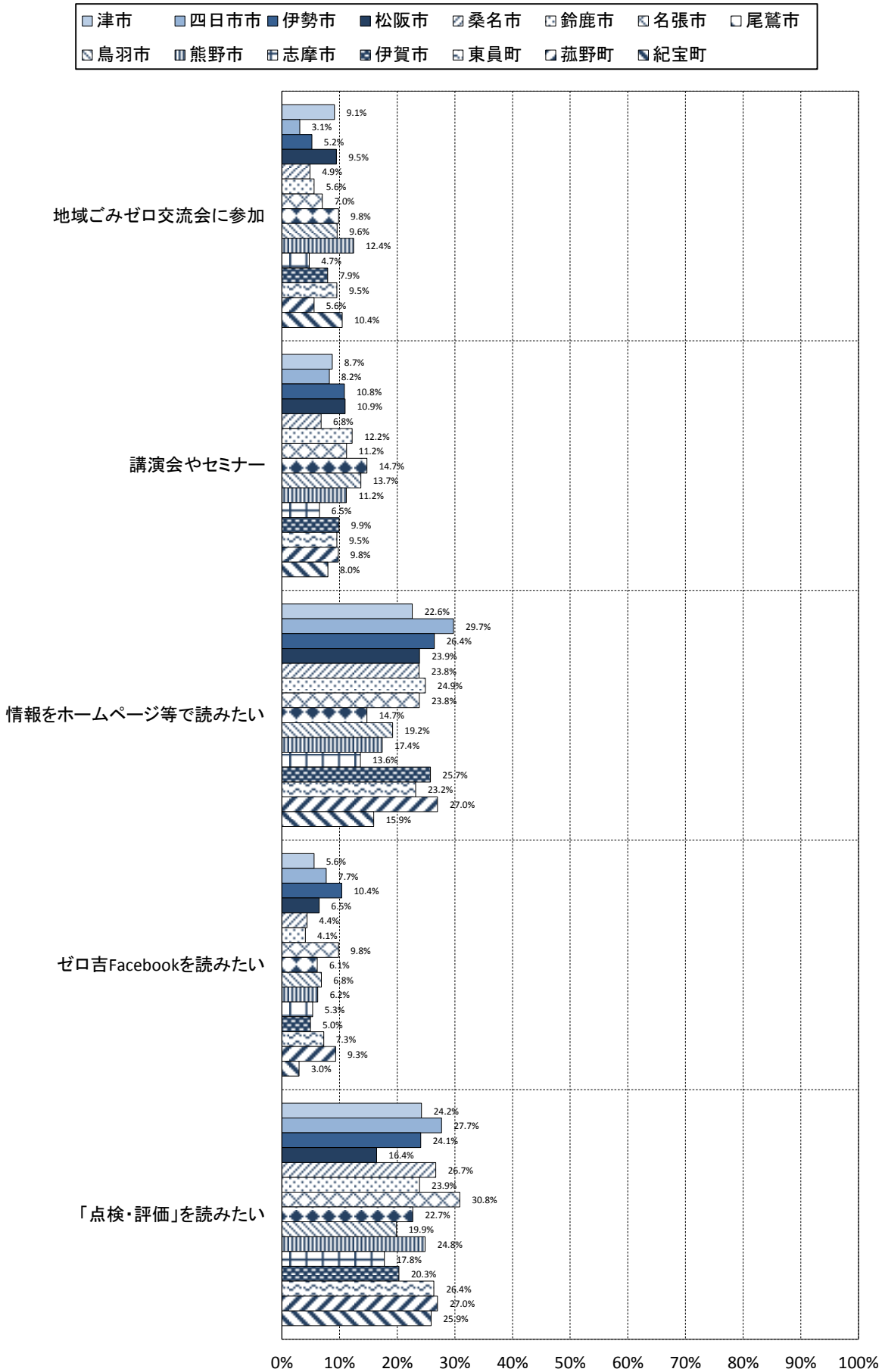


図 5-5-8（1/2） 「市町別 県民参画の取組に参加したいか」回答率

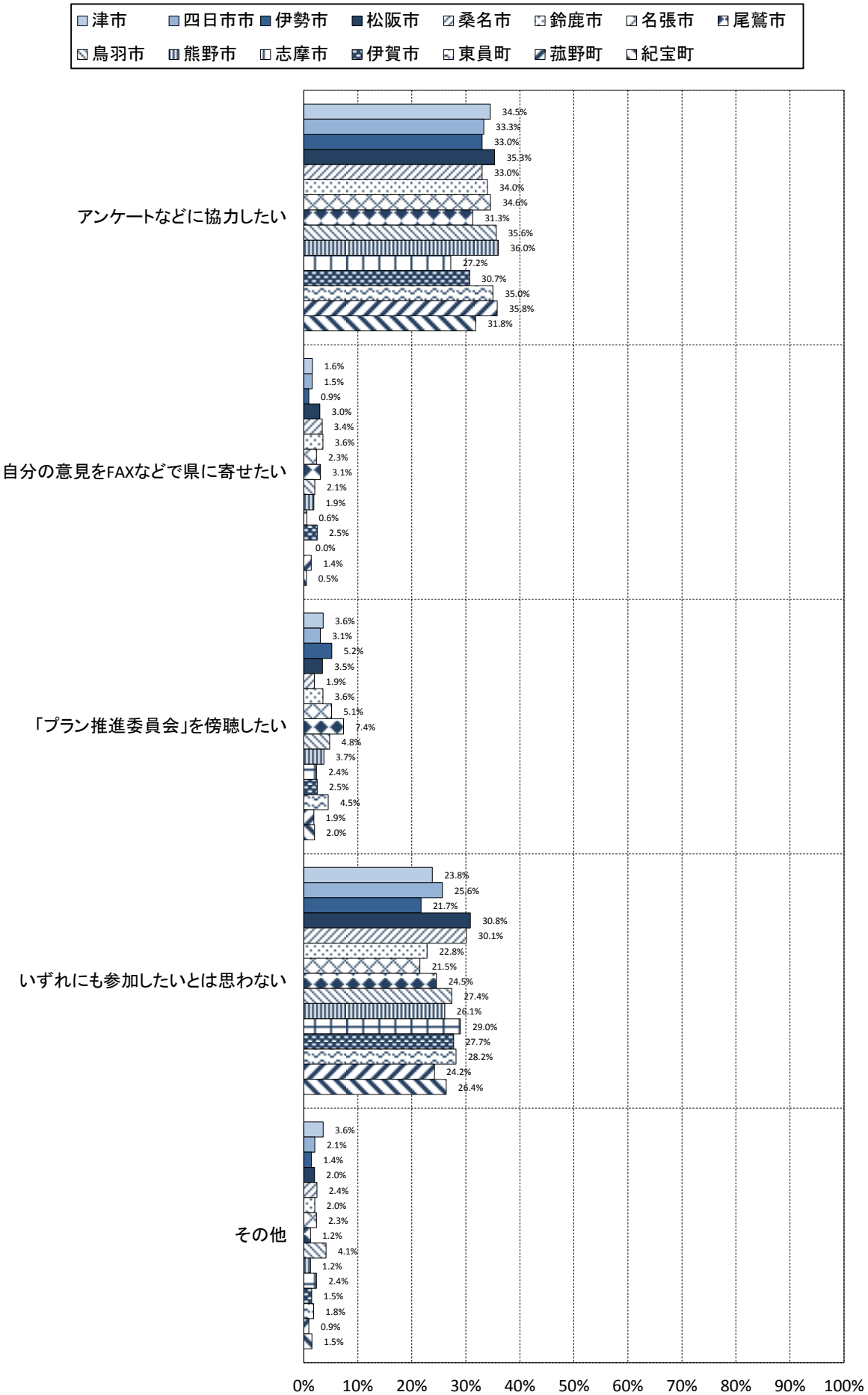


図　5-5-8（2/2）　「市町別　県民参画の取組に参加したいか」回答率

③　性別集計

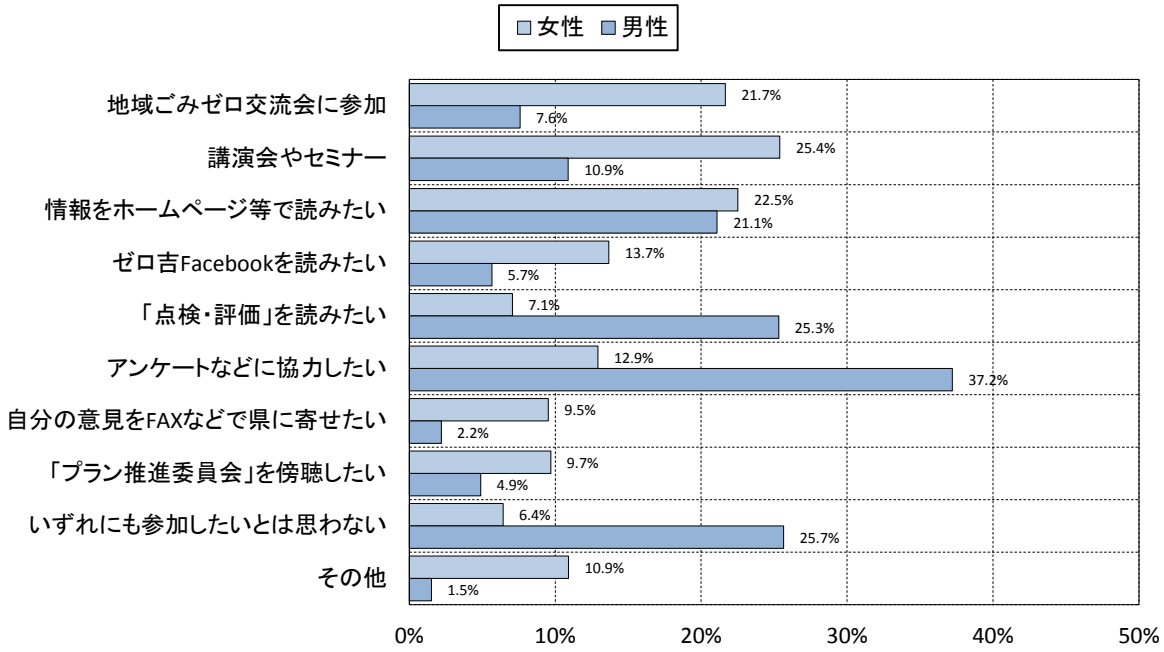


図　5-5-9　「性別　県民参画の取組に参加したいか」回答率

④　年代別集計

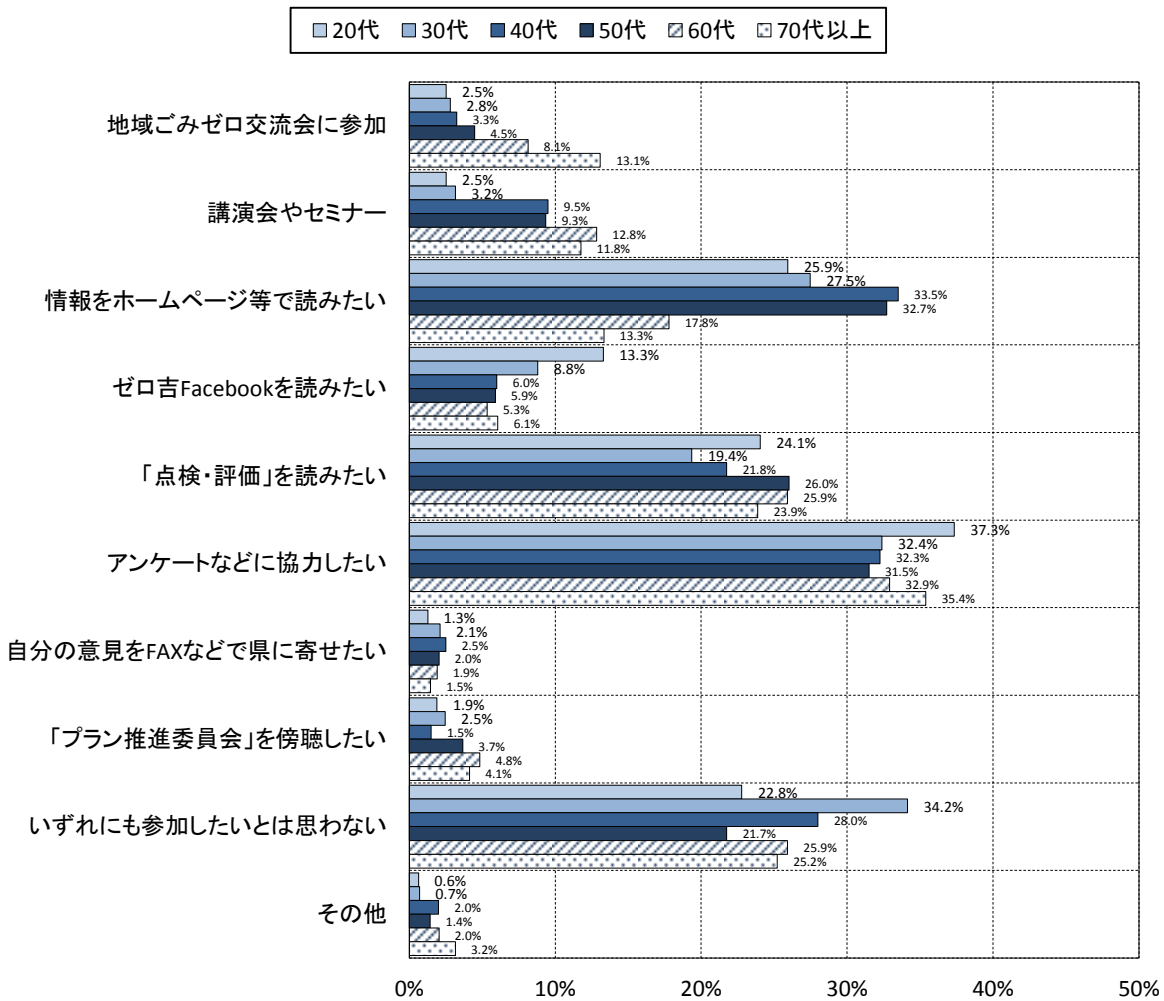


図　5-5-10　「年代別　県民参画の取組に参加したいか」回答率

6　意識・行動解析

6-1　目標指標の達成状況の違いによる県民の行動及び意識の差の分析

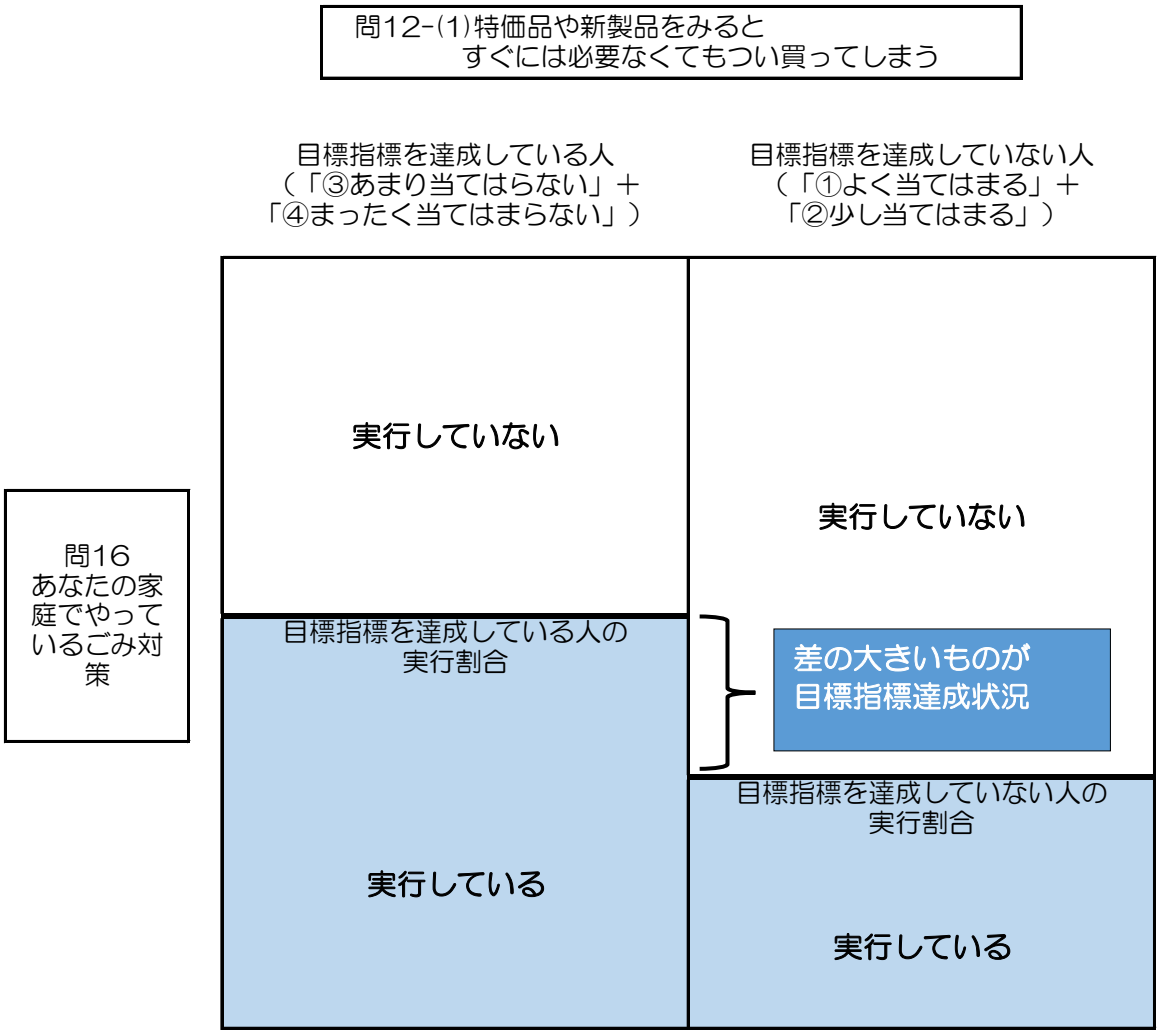
ここでは、目標指標の達成状況の違いによる県民の行動及び意識の差の分析を行い、差が解消されることで目標指標の達成率の向上に資すると仮定して、今後県民に普及・周知を図るべき項目を検討する。計算方法は平成22年度調査と同じである。

目標指標の達成状況の違いによる県民の行動及び意識の差の計算方法

（問26と問12-(1)における目標指標達成状況との相関で例示する）

a．問12-(1)「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう」について、目標指標を達成している人（「③あまり当てはまらない」＋「④まったく当てはまらない」）、目標指標を達成していない人（「①よく当てはまる」＋「②少し当てはまる」）ごとに回答数を計算し、それぞれについて回答者数を母数にして比率にする。

b．上記で出た比率を元に、目標指標を達成している人と目標指標を達成していない人の差をみる。



（1）問26と問12-(1)における目標指標達成状況との相関

問26「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問12-(1)特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう」における目標指標の達成状況をみてみる。
目標指標を達成している人の方が実行している割合が5%以上高かったのは「13：食品は買いすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「17：資源とごみの分別を徹底している」の3項目であった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目が「9：詰め替え容器を使用した商品を買っている」、「16：不用物ををフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている」など8項目あったが、いずれも5%未満の差となっている。

番号	問26選択肢	A	B	C	B−C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.5%	85.7%	83.3%	2.4%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	12.3%	12.2%	12.2%	0.0%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.2%	10.5%	9.3%	1.2%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	3.0%	3.3%	2.5%	0.8%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	2.7%	2.6%	2.9%	-0.3%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	10.1%	11.3%	8.1%	3.2%
7	紙くずなどを庭や畑で焼却している	7.0%	7.0%	7.4%	-0.4%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	89.2%	89.7%	89.9%	-0.2%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	60.6%	59.9%	63.1%	-3.2%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	14.2%	15.1%	12.5%	2.6%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	9.2%	9.3%	9.1%	0.2%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	36.1%	36.7%	36.0%	0.7%
13	食品は買い過ぎないように注意している	57.5%	62.9%	47.6%	15.3%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	3.0%	3.3%	2.6%	0.7%
15	食事を食べ残さないようにしている	68.8%	72.7%	61.9%	10.8%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	19.9%	19.3%	21.8%	-2.5%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.4%	63.1%	56.4%	6.7%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	56.1%	57.6%	-1.5%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	8.4%	9.7%	6.1%	3.6%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	24.9%	26.0%	23.5%	2.5%
21	マイ箸を携帯している	7.5%	7.4%	7.8%	-0.4%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	15.2%	15.1%	15.5%	-0.4%
23	その他	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
24	これらいずれもやっていない	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%

表　6-1-1　「問26と問12-(1)の相関表」

（2）問26と問12-⑵における目標指標達成状況との相関

問26「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問12-⑵買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える」における目標指標の達成状況をみてみる。
目標指標を達成している人の方が実行している割合が5%以上高かったのは「9：詰め替え容器を使用した商品を買っている」、「12：包装を断ったり、簡易包装を依頼している」、「13：食品は買いすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「17：資源とごみの分別を徹底している」、「18：地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」の6項目であった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目は「7：紙くずなどを庭や畑で焼却している」など4項目あったが、いずれも1%未満の僅差となっている。

番号	問26選択肢	A	B	C	B−C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.5%	86.1%	83.3%	2.8%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	12.3%	13.0%	11.2%	1.8%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.2%	11.2%	8.8%	2.4%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	3.0%	3.3%	2.8%	0.5%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	2.7%	2.7%	2.8%	-0.1%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	10.1%	11.7%	8.4%	3.3%
7	紙くずなどを庭や畑で焼却している	7.0%	6.8%	7.5%	-0.7%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	89.2%	91.7%	87.3%	4.4%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	60.6%	64.3%	56.9%	7.4%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	14.2%	14.7%	13.6%	1.1%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	9.2%	9.0%	9.4%	-0.4%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	36.1%	39.7%	32.5%	7.2%
13	食品は買い過ぎないように注意している	57.5%	61.3%	53.3%	8.0%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	3.0%	3.3%	2.8%	0.5%
15	食事を食べ残さないようにしている	68.8%	73.7%	63.5%	10.2%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	19.9%	21.5%	18.4%	3.1%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.4%	64.0%	57.0%	7.0%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	59.5%	53.0%	6.5%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	8.4%	9.9%	6.7%	3.2%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	24.9%	27.3%	22.5%	4.8%
21	マイ箸を携帯している	7.5%	8.1%	6.8%	1.3%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	15.2%	16.8%	13.3%	3.5%
23	その他	0.6%	0.7%	0.6%	0.1%
24	これらいずれもやっていない	0.5%	0.4%	0.6%	-0.2%

表　6-1-2　「問26と問12-⑵の相関表」

（3）問26と問12-⑶における目標指標達成状況との相関

問26「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問12-⑶お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ」における目標指標の達成状況をみてみる。
目標指標を達成している人の方が実行している割合が5%以上高かったのは「12：包装を断ったり、簡易包装を依頼している」、「13：食品は買いすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「17：資源とごみの分別を徹底している」、「20：マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている」の6項目であった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目は「市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している」など3項目であったが、いずれも2%未満の差となっている。

番号	問26選択肢	A	B	C	B−C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.5%	85.7%	84.5%	1.2%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	12.3%	12.5%	12.1%	0.4%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.2%	12.0%	8.9%	3.1%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	3.0%	2.3%	3.5%	-1.2%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	2.7%	2.8%	2.5%	0.3%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	10.1%	11.9%	8.9%	3.0%
7	紙くずなどを庭や畑で焼却している	7.0%	6.9%	7.1%	-0.2%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	89.2%	91.4%	88.8%	2.6%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	60.6%	63.5%	59.4%	4.1%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	14.2%	16.9%	12.7%	4.2%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	9.2%	10.0%	8.8%	1.2%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	36.1%	41.6%	33.5%	8.1%
13	食品は買い過ぎないように注意している	57.5%	63.3%	54.3%	9.0%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	3.0%	3.9%	2.5%	1.4%
15	食事を食べ残さないようにしている	68.8%	73.9%	66.4%	7.5%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	19.9%	20.8%	19.9%	0.9%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.4%	66.6%	57.4%	9.2%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	59.6%	54.7%	4.9%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	8.4%	11.0%	6.9%	4.1%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	24.9%	29.8%	22.2%	7.6%
21	マイ箸を携帯している	7.5%	8.9%	0.0%	8.9%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	15.2%	16.6%	14.4%	2.2%
23	その他	0.6%	0.7%	0.6%	0.1%
24	これらいずれもやっていない	0.5%	0.4%	0.5%	-0.1%

表　6-1-3　「問26と問12-⑶の相関表」

（4）問26と問12-(4)における目標指標達成状況との相関

問26「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問12-(4)時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する」における目標指標の達成状況をみてみる。
目標指標を達成している人の方が実行している割合が5%以上高かったのは「12：包装を断ったり、簡易舗装を依頼している」、「13：食品は買いすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「15：不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている」、「19：無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている」、「20：マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている」の6項目であった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目は「18：地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」など4項目であったが、いずれも1%未満の僅差となっている。

番号	問26選択肢	A	B	C	B−C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.5%	85.6%	84.5%	1.1%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	12.3%	12.8%	11.5%	1.3%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.2%	10.0%	10.3%	-0.3%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	3.0%	3.8%	2.5%	1.3%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	2.7%	3.2%	2.3%	0.9%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	10.1%	11.7%	8.8%	2.9%
7	紙くずなどを庭や畑で焼却している	7.0%	7.3%	6.6%	0.7%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	89.2%	91.2%	89.0%	2.2%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	60.6%	62.2%	60.2%	2.0%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	14.2%	14.5%	14.1%	0.4%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	9.2%	11.1%	8.0%	3.1%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	36.1%	39.4%	34.4%	5.0%
13	食品は買い過ぎないように注意している	57.5%	64.7%	52.5%	12.2%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	3.0%	4.2%	2.2%	2.0%
15	食事を食べ残さないようにしている	68.8%	75.1%	64.7%	10.4%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	19.9%	23.9%	17.6%	6.3%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.4%	62.2%	60.0%	2.2%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	56.6%	56.9%	-0.3%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	8.4%	13.2%	4.7%	8.5%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	24.9%	28.2%	22.9%	5.3%
21	マイ箸を携帯している	7.5%	7.8%	7.3%	0.5%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	15.2%	16.7%	14.2%	2.5%
23	その他	0.6%	0.5%	0.7%	-0.2%
24	これらいずれもやっていない	0.5%	0.2%	0.6%	-0.4%

表　6-1-4　「問26と問12-(4)の相関表」

（5）問26と問14-(1)における目標指標達成状況との相関

問26「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問14-(1)使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか」における目標指標の達成状況をみてみる。
目標指標を達成している人の方が実行している割合が5%以上高かったのは「12：包装を断ったり、簡易包装を依頼している」、「13：食品は買い過ぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「17：資源とごみの分別を徹底している」、「18：地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」、「20：マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている」の6項目であった。特に「15：食事を食べ残さないようにしている」は21.1%と高かった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目は「24：これらいずれもやっていない」など2項目であったが、いずれも1%未満と僅差となっている。

番号	問26選択肢	A	B	C	B−C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.5%	85.2%	84.7%	0.5%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	12.3%	14.6%	10.9%	3.7%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.2%	12.3%	9.0%	3.3%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	3.0%	3.3%	2.9%	0.4%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	2.7%	3.0%	2.6%	0.4%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	10.1%	12.8%	8.7%	4.1%
7	紙くずなどを庭や畑で焼却している	7.0%	7.1%	7.0%	0.1%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	89.2%	91.3%	88.7%	2.6%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	60.6%	63.4%	59.5%	3.9%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	14.2%	15.8%	13.2%	2.6%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	9.2%	11.6%	8.0%	3.6%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	36.1%	40.2%	34.3%	5.9%
13	食品は買い過ぎないように注意している	57.5%	68.2%	51.9%	16.3%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	3.0%	3.3%	2.9%	0.4%
15	食事を食べ残さないようにしている	68.8%	82.8%	61.6%	21.2%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	19.9%	22.4%	19.0%	3.4%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.4%	65.8%	57.9%	7.9%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	60.4%	54.2%	6.2%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	8.4%	11.6%	6.8%	4.8%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	24.9%	31.8%	21.4%	10.4%
21	マイ箸を携帯している	7.5%	9.0%	6.5%	2.5%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	15.2%	16.4%	14.6%	1.8%
23	その他	0.6%	0.6%	0.7%	-0.1%
24	これらいずれもやっていない	0.5%	0.1%	0.6%	-0.5%

表　6-1-5　「問26と問14-(1)の相関表」

（6）問26と問14-⑵における目標指標達成状況との相関

問26「あなたの家庭でやっているごみ対策」について、「問14-⑵食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか」における目標指標の達成状況をみてみる。
目標指標を達成している人の方が実行している割合が5%以上高かったのは「9：詰め替え容器を使用した商品を買っている」、「12：包装を断ったり、簡易包装を依頼している」、「13：食品は買いすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」、「16：不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている」、「17：資源とごみの分別を徹底している」、「18：地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している」、「20：マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている」の8項目であった。特に「15：食事を食べ残さないようにしている」は33%と高かった。一方、目標指標を達成している人の方が実行している割合が低かった項目は「紙くずなどを庭や畑で焼却している」など4項目であったが、いずれも2%未満の差となっている。

番号	問26選択肢	A	B	C	B−C
		全体	目標指標達成している	目標指標達成していない	差
1	台所ごみの水切りをしている	84.5%	84.9%	85.0%	-0.1%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	12.3%	13.4%	10.7%	2.7%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	10.2%	11.2%	8.6%	2.6%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	3.0%	3.1%	3.0%	0.1%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	2.7%	2.7%	2.6%	0.1%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	10.1%	11.6%	8.2%	3.4%
7	紙くずなどを庭や畑で焼却している	7.0%	6.3%	7.8%	-1.5%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	89.2%	91.3%	87.7%	3.6%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	60.6%	64.7%	56.4%	8.3%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	14.2%	15.1%	13.1%	2.0%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	9.2%	10.3%	8.0%	2.3%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	36.1%	39.0%	33.5%	5.5%
13	食品は買い過ぎないように注意している	57.5%	64.4%	50.0%	14.4%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	3.0%	3.4%	2.6%	0.8%
15	食事を食べ残さないようにしている	68.8%	82.2%	53.3%	28.9%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	19.9%	23.4%	16.4%	7.0%
17	資源とごみの分別を徹底している	60.4%	65.3%	55.0%	10.3%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	56.2%	60.6%	51.5%	9.1%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	8.4%	10.2%	6.3%	3.9%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	24.9%	29.1%	20.3%	8.8%
21	マイ箸を携帯している	7.5%	8.2%	6.4%	1.8%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	15.2%	17.3%	12.8%	4.5%
23	その他	0.6%	0.6%	0.7%	-0.1%
24	これらいずれもやっていない	0.5%	0.2%	0.5%	-0.3%

表　6-1-5　「問26と問14-⑵の相関表」

（7）目標指標達成状況による差

目標指標を達成している人と達成していない人の差について全体的にみてみると、すべてが5%以上は「13：食品は買いすぎないように注意している」、「15：食事を食べ残さないようにしている」の2項目であった。
5%以上が5つあるのは、「12：包装を断ったり、簡易包装を依頼している」、「17：資源とごみの分別を徹底している」の2項目であった。
5%以上が4つあるのは、「20：マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている」であった。
以上の5項目の行動は、目標指標の達成と相関が強いといえる。

番号	問26選択肢	ものを大切に長く使おうとする県民の率		環境に配慮した消費行動をとる県民の率		食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	
		問2-1	問2-2	問2-3	問2-4	問4-1	問4-2
1	台所ごみの水切りをしている	2.4%	2.8%	1.2%	1.1%	0.5%	-0.1%
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている	0.0%	1.8%	0.4%	1.3%	3.7%	2.7%
3	台所ごみを、市町の助成を受けて購入した堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している	1.2%	2.4%	3.1%	-0.3%	3.3%	2.6%
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している	0.8%	0.5%	-1.2%	1.3%	0.4%	0.1%
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている	-0.3%	-0.1%	0.3%	0.9%	0.4%	0.1%
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている	3.2%	3.3%	3.0%	2.9%	4.1%	3.4%
7	紙くずなどを庭や畑で焼却している	-0.4%	-0.7%	-0.2%	0.7%	0.1%	-1.5%
8	買い物袋（マイバッグ）等を持参し、レジ袋をもらわない	-0.2%	4.4%	2.6%	2.2%	2.6%	3.6%
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている	-3.2%	7.4%	4.1%	2.0%	3.9%	8.3%
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う	2.6%	1.1%	4.2%	0.4%	2.6%	2.0%
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる	0.2%	-0.4%	1.2%	3.1%	3.6%	2.3%
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している	0.7%	7.2%	8.1%	5.0%	5.9%	5.5%
13	食品は買い過ぎないように注意している	15.3%	8.0%	9.0%	12.2%	16.3%	14.4%
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている	0.7%	0.5%	1.4%	2.0%	0.4%	0.8%
15	食事を食べ残さないようにしている	10.8%	10.2%	7.5%	10.4%	21.2%	28.9%
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている	-2.5%	3.1%	0.9%	6.3%	3.4%	7.0%
17	資源とごみの分別を徹底している	6.7%	7.0%	9.2%	2.2%	7.9%	10.3%
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している	-1.5%	6.5%	4.9%	-0.3%	6.2%	9.1%
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている	3.6%	3.2%	4.1%	8.5%	4.8%	3.9%
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている	2.5%	4.8%	7.6%	5.3%	10.4%	8.8%
21	マイ箸を携帯している	-0.4%	1.3%	8.9%	0.5%	2.5%	1.8%
22	携帯電話の店頭回収に協力している	-0.4%	3.5%	2.2%	2.5%	1.8%	4.5%
23	その他	0.0%	0.1%	0.1%	-0.2%	-0.1%	-0.1%
24	これらいずれもやっていない	0.0%	-0.2%	-0.1%	-0.4%	-0.5%	-0.3%

表　6-1-7　「目標指標達成状況による差」

6-2　意識と行動の相関分析

ここでは、意識と行動の相関を点数化した。意識と行動の相関を見ることにより、どのような意識が行動に結びつくか、また、行動を高めるためにはどのような意識を向上させる必要があるかを分析する。

意識パターンと行動パターンの相関を下表に示した。

意識と行動の相関			行動パターン			
			1	2	3	4
			よく当てはまる	少し当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない
意識パターン	1	とてもそう思う	全く相関なし	相関なし	相関あり	強い相関あり
	2	少しそう思う	相関なし	相関あり	強い相関あり	相関あり
	3	あまりそう思わない	相関あり	強い相関あり	相関あり	相関なし
	4	全くそうは思わない	強い相関あり	相関あり	相関なし	全く相関なし

表　6-2-1　「意識と行動の相関表」

相関点数は、「強い相関あり」を2点、「相関あり」を1点、「相関なし」を-1点、「全く相関なし」を-2点とした。

意識と行動の相関			行動パターン			
			1	2	3	4
			よく当てはまる	少し当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない
意識パターン	1	とてもそう思う	-2	-1	1	2
	2	少しそう思う	-1	1	2	1
	3	あまりそう思わない	1	2	1	-1
	4	全くそうは思わない	2	1	-1	-2

表　6-2-2　「意識と行動の相関点数表」

6-2-1　計算例：問11-1と問12-1の相関

（1）問11-1と問12-1のクロス集計で回答数を算定する。

回答数		1	2	3	4	99	計
		よく当てはまる	少し当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	無回答	
1	とてもそう思う	85	320	320	147	3	875
2	少しそう思う	58	430	668	297	3	1456
3	あまりそう思わない	8	83	266	165	0	522
4	全くそうは思わない	4	15	27	48	1	95
99	無回答	1	1	1	5	23	31
計		156	849	1282	662	30	2979

表　6-2-3　「問11-1と問12-1」クロス集計

（2）表6-2-3の回答数に表6-2-2の相関点数を乗ずる。
相関点数の計を総回答数で除して平均相関点数を求める。
平均相関点数を相関点数の満点である2点で除して相関点数率を算定する。

回答数		1 よく当てはまる	2 少し当てはまる	3 あまり当てはまらない	4 まったく当てはまらない	99 無回答	計	相関点数計／総回答数＝平均相関点数
1	とてもそう思う	-170	-320	320	294	0	124	
2	少しそう思う	-58	430	1336	297	0	2005	
3	あまりそう思わない	8	166	266	-165	0	275	
4	全くそうは思わない	8	15	-27	-96	0	-100	
99	無回答	0	0	0	0	0	0	
計		-212	291	1895	330	0	2304	0.77
相関点数率（平均相関点数/相関点数満点：2点）								38.5%

表　6-2-4　「問11-1と問12-1」相関点数表

以下同様の手段で、問11-1～6（意識に関する質問）と問12-1～4及び問14-1、2（行動に関する質問）の相関点数を求めることにより意識と行動の相関を分析した。

6-2-1　意識と行動の相関分析

（1）問11-1「家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う」と行動の相関

意識：問11-1と行動の相関は、問12-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう」が最も高く、問14-1「使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか」が最も低い。最大と最小の差は0.28あり、ばらつきが大きい。

			相関点数	率
問11-1 あまり必要ないものがたくさんあると思う	問12-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう	0.77	38.5%
	問12-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.70	35.2%
	問12-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.60	30.0%
	問12-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.52	26.0%
	問14-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.49	24.7%
	問14-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.68	34.0%
	最大値と最小値の差		0.28	14.0%

表　6-2-5　「問11-1と行動のまとめ」

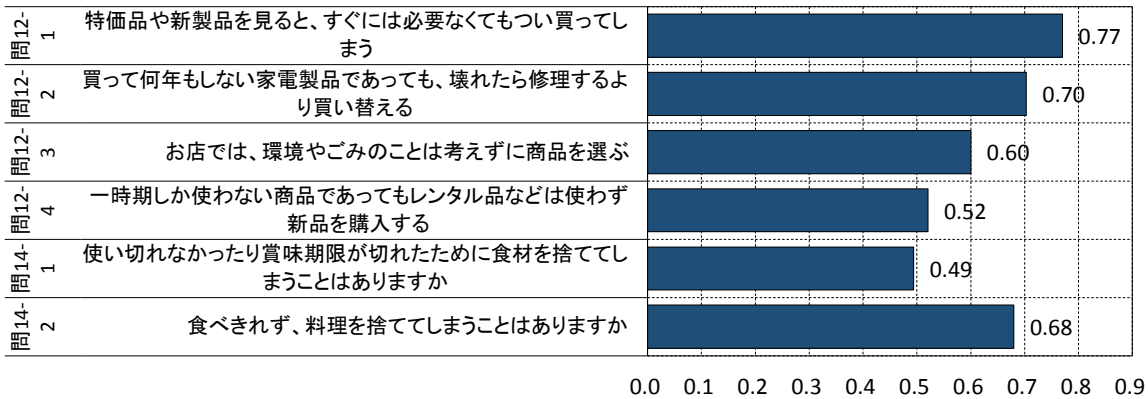


図　6-2-1　「問11-1と行動のまとめ」

（2）問11-2「ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう」と行動の相関

意識：問11-2と行動の相関は、問12-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう」が最も高く、問12-4「一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する」が最も低い。最大と最小の差は0.25あり、ばらつきが大きい。

			相関点数	率
問11-2 ものを捨てる時、つい「もったいない」とおもってしまう	問12-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう	0.87	43.4%
	問12-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.86	42.8%
	問12-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.70	35.2%
	問12-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.62	31.1%
	問14-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.68	34.2%
	問14-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.85	42.7%
	最大値と最小値の差		0.25	12.3%

表　6-2-6　「問11-2と行動のまとめ」

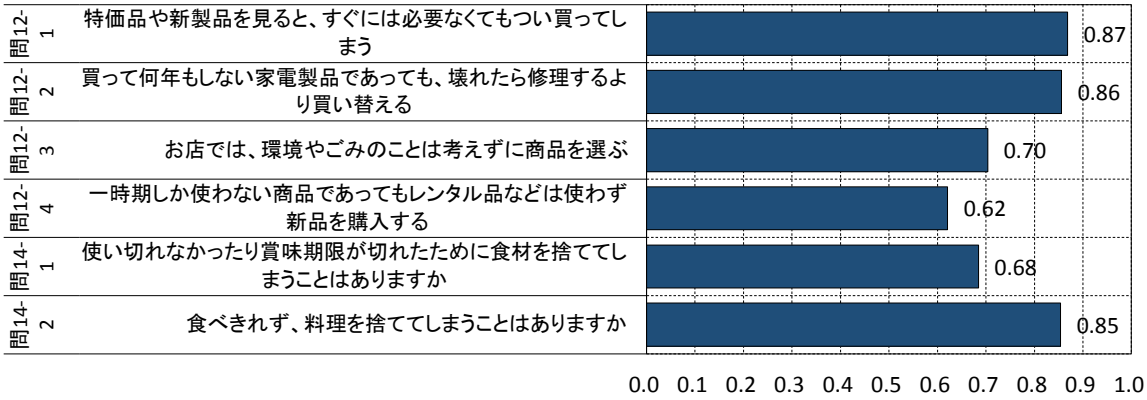


図　6-2-2　「問11-2と行動のまとめ」

（3）問11-3「商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う」と行動の相関

意識：問11-3と行動の相関は、問12-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう」が最も高く、問12-3「お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ」、問12-4「一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する」、問14-1「使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか」、が最も低い。最大と最小の差は0.52あり、ばらつきがかなり大きい。

			相関点数	率
問11-3 商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う	問12-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう	0.88	43.8%
	問12-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.62	31.2%
	問12-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.36	18.0%
	問12-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.36	18.2%
	問14-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.36	18.1%
	問14-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.70	34.9%
	最大値と最小値の差		0.52	25.8%

表　6-2-7　「問11-3と行動のまとめ」

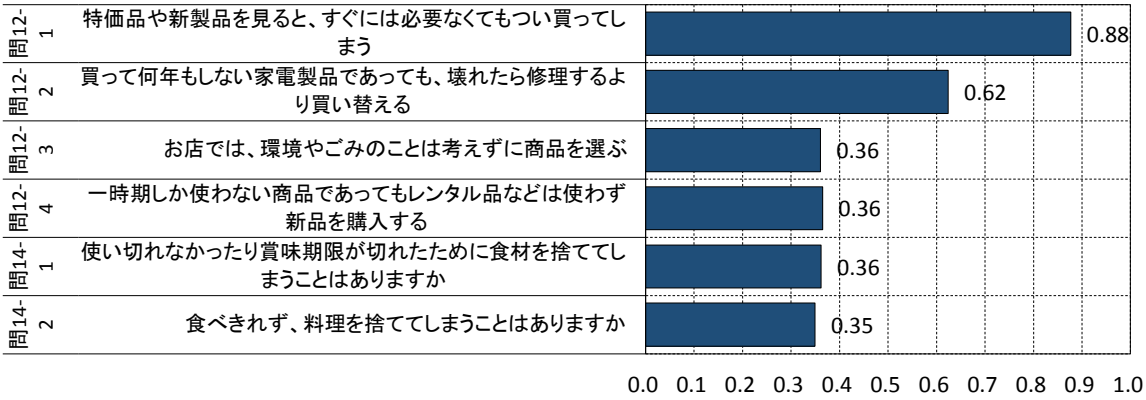


図　6-2-3　「問11-3と行動のまとめ」

（4）問11-4「レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない」と行動の相関

意識：問11-4と行動の相関は、問12-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう」が最も高く、問14-1「使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか」が最も低い。最大と最小の差は0.07であり、ばらつきは小さい。

			相関点数	率
問11-4 レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない	問12-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう	0.88	43.8%
	問12-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.85	42.4%
	問12-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.81	40.5%
	問12-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.81	40.5%
	問14-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.80	39.9%
	問14-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.81	40.5%
	最大値と最小値の差		0.07	3.9%

表　6-2-8　「問11-4と行動のまとめ」

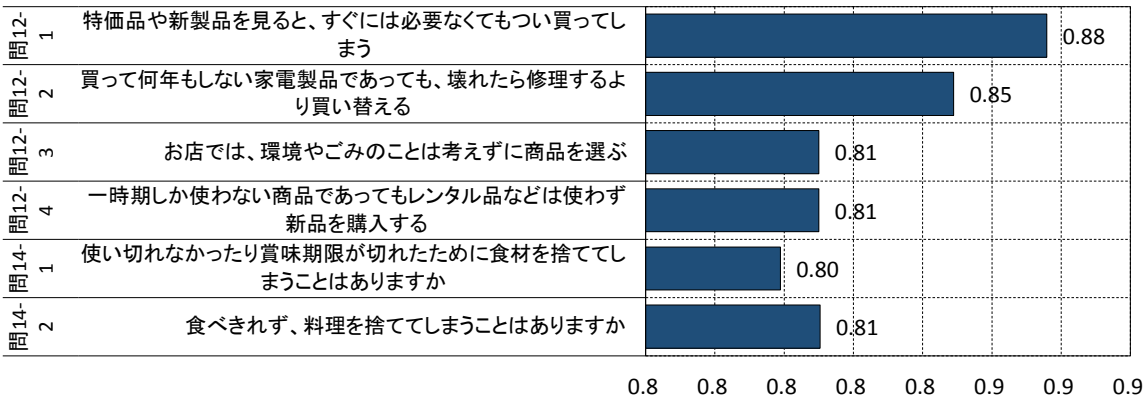


図　6-2-4　「問11-4と行動のまとめ」

（5）問11-5「日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う」と行動の相関

意識：問11-5と行動の相関は、問12-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう」が最も高く、問14-1「使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか」が最も低い。最大と最小の差は0.4あり、ばらつきはかなり大きい。

			相関点数	率
問11-5 日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う	問12-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう	0.84	42.2%
	問12-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.74	37.1%
	問12-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.47	23.6%
	問12-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.59	29.5%
	問14-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.44	21.8%
	問14-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.73	36.6%
	最大値と最小値の差		0.40	20.4%

表　6-2-9　「問11-5と行動のまとめ」

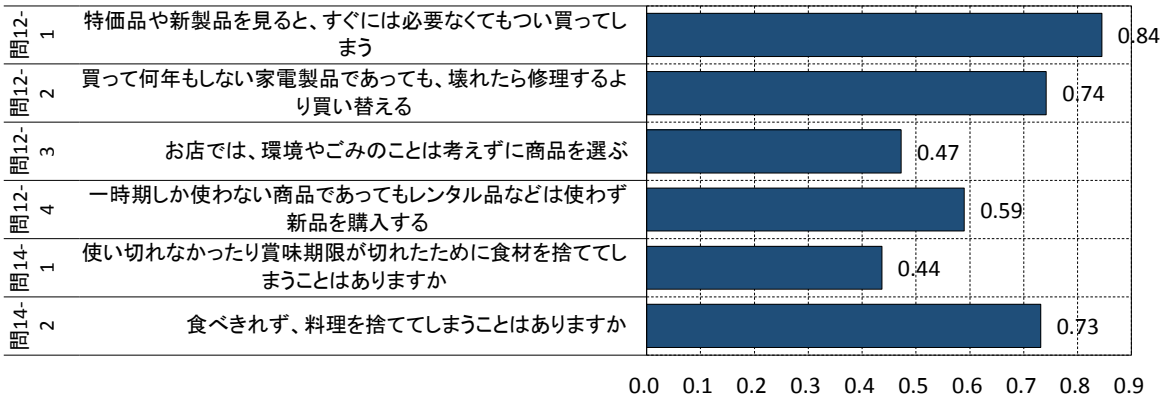


図　6-2-5　「問11-5と行動のまとめ」

（6）問11-6「環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う」と行動の相関

意識：問11-6と行動の相関は、問2-1「特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう」が最も高く、問2-3「お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ」が最も低い。最大と最小の差は0.48であり、ばらつきはかなり大きい。

			相関点数	率
問11-6 技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う	問12-1	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう	0.79	39.4%
	問12-2	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	0.55	27.3%
	問12-3	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	0.31	15.4%
	問12-4	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	0.34	16.9%
	問14-1	使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか	0.32	15.8%
	問14-2	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか	0.63	31.6%
	最大値と最小値の差		0.48	24.0%

表　6-2-10　「問11-6と行動のまとめ」

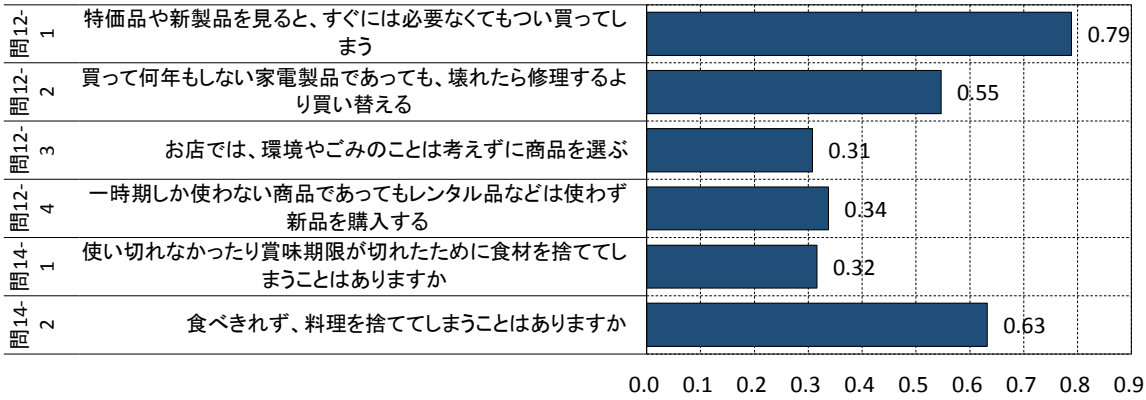


図　6-2-6　「問11-6と行動のまとめ」

（7）意識と行動の相関まとめ（意識・行動の相関点数の平均値）

意識から行動の相関をみると、問11-4「レンタル製品に抵抗感ない」の意識が行動に対し0.83と最も高い相関を示している。次いで問11-2「捨てるともったいない」（0.76）、問11-3「容器・包装材は少なくてよい」（0.74）となっている。
相関が最も低い意識は、問11-6「技術開発・研究が大事」で0.49、次いで問11-1「不用なものが多い」（0.63）、問11-5「一人ひとりの行動が影響を及ぼす」となっている。
行動から意識をみると、相関の高い行動は、問12-1「必要なくても買ってしまう」（0.84）、問12-2「修理より買い替え」（0.76）、問14-2「食べきれず料理を捨てる」（0.73）となっている。
相関が低い行動は、問14-1「期限切れで食材を捨てる」（0.57）となっている。

意識・行動　相関		問12-1 必要なくても買ってしまう	問12-2 修理より買い替え	問12-3 環境・ごみを考えず商品を選ぶ	問12-4 レンタル品でなく新品を購入	問14-1 期限切れで食材を捨てる	問14-2 食べきれず料理を捨てる	平均値
問11-1	不用なものが多い	0.77	0.70	0.60	0.52	0.49	0.68	0.63
問11-2	捨てるともったいない	0.87	0.86	0.70	0.62	0.68	0.85	0.76
問11-3	容器・包装材は少なくてよい	0.88	0.86	0.70	0.62	0.68	0.70	0.74
問11-4	レンタル製品に抵抗感ない	0.88	0.85	0.81	0.81	0.80	0.81	0.83
問11-5	一人ひとりの行動が影響を及ぼす	0.84	0.74	0.47	0.59	0.44	0.73	0.64
問11-6	技術開発・研究が大事	0.79	0.55	0.31	0.34	0.32	0.63	0.49
平均		0.84	0.76	0.60	0.58	0.57	0.73	0.68

表　6-2-11　意識と行動の相関まとめ　平均値

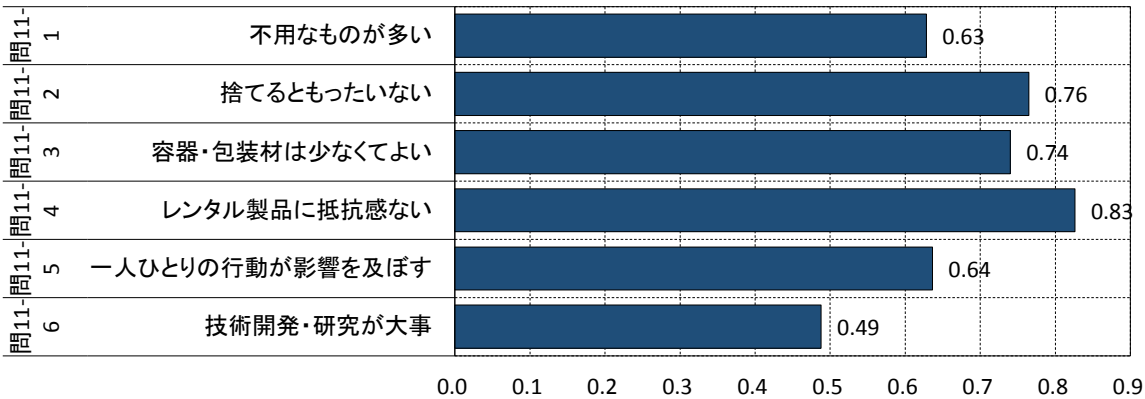


図　6-2-7　「意識と行動の相関まとめ」平均値

7　平成16年度・平成19年度・平成22年度・平成27年度比較

平成16年度・平成19年度・平成22年度・平成27年度比較は、同一設問について行った。
同一設問でも選択肢のことなるものは、除外してある。

7-1　属性

（1）年代

年代の構成比率は、調査年度ごとに「70代以上」の比率が高くなってきている。

年代		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	20代	99	2.6%	233	6.3%	207	6.6%	158	5.3%
2	30代	421	11.0%	466	12.7%	416	13.2%	284	9.5%
3	40代	604	15.7%	572	15.5%	444	14.1%	400	13.4%
4	50代	991	25.8%	847	23.0%	638	20.2%	492	16.5%
5	60代	910	23.7%	808	21.9%	815	25.8%	787	26.4%
6	70代以上	614	16.0%	646	17.5%	582	18.5%	825	27.7%
99	無回答	196	5.1%	110	3.0%	52	1.6%	33	1.1%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-1-1　「年度別年代」　構成比率

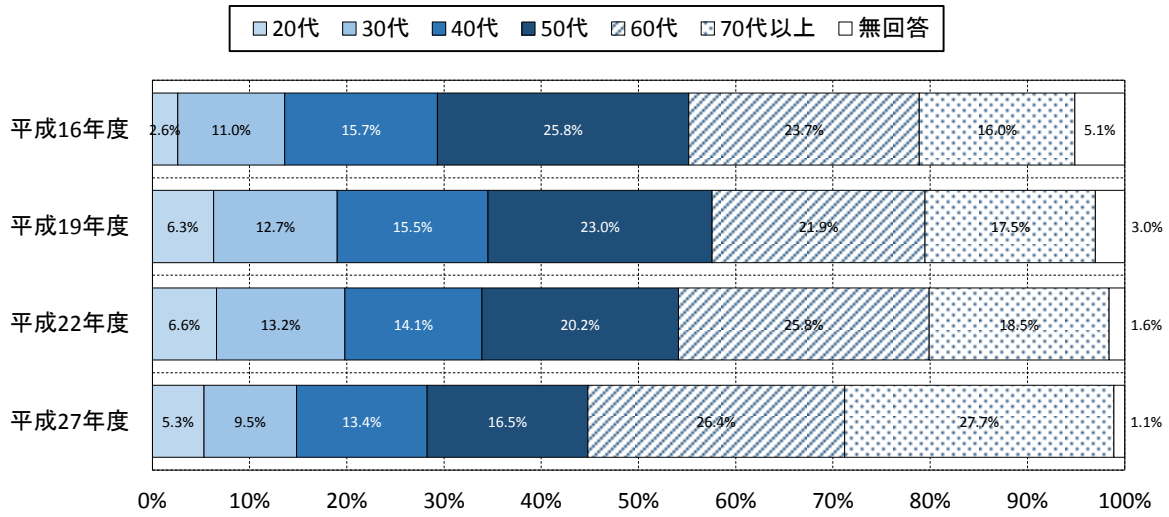


図　7-1-1　「年代別　年代」構成比率

（2）性別

性別の構成比率は、調査年度での大きな差はみられない。

年代		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	女性	1,655	43.2%	2,097	57.0%	1,881	59.6%	1,741	58.4%
2	男性	1,966	51.3%	1,461	39.7%	1,214	38.5%	1,185	39.8%
99	無回答	214	5.6%	124	3.4%	59	19.0%	53	1.8%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-1-2　年度別性別　構成比率

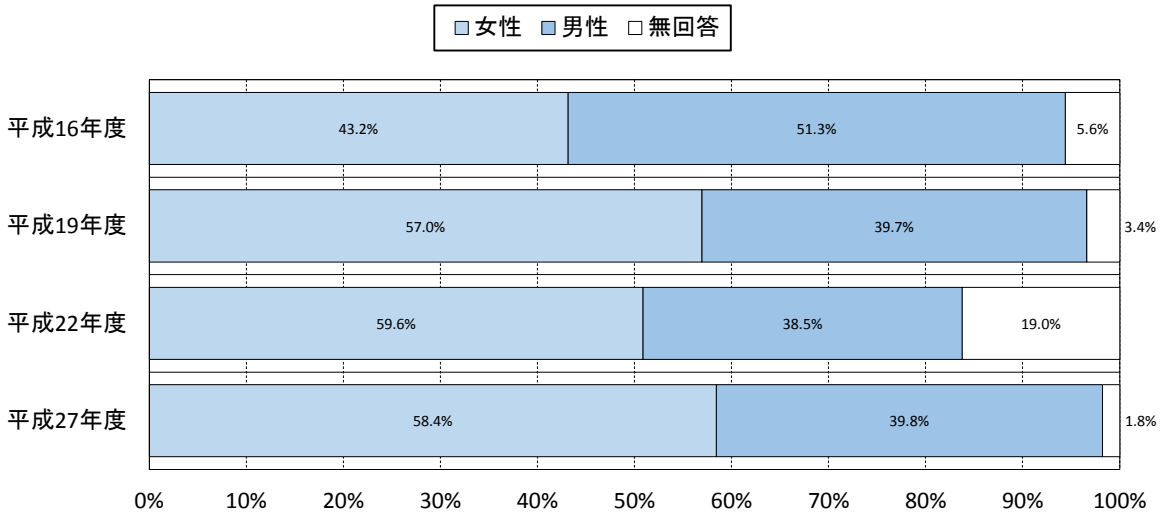


図　7-1-2　「年度別　性別」構成比率

（3）職業

職業の構成比率は、調査年度ごとに「無職」の比率が高くなってきている。

職業		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	会社員・公務員	1,087	28.3%	1,014	27.6%	854	27.1%	801	26.9%
2	パート・アルバイト	421	11.0%	519	14.1%	461	14.6%	461	15.5%
3	農林水産業	157	4.1%	81	2.2%	74	2.3%	82	2.8%
4	自営業	510	13.3%	389	10.6%	261	8.3%	222	7.5%
5	家事・家事手伝い	288	7.5%	400	10.9%	360	11.4%	288	9.7%
6	学生	17	0.4%	40	1.1%	30	1.0%	31	1.0%
7	無職	996	26.0%	968	26.3%	927	29.4%	1,023	34.3%
8	その他	147	3.8%	143	3.9%	128	4.0%	26	0.9%
99	無回答	212	5.6%	120	3.3%	59	1.9%	45	1.4%
計		3,835	100%	3,674	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-1-3　年度別職業　構成比率

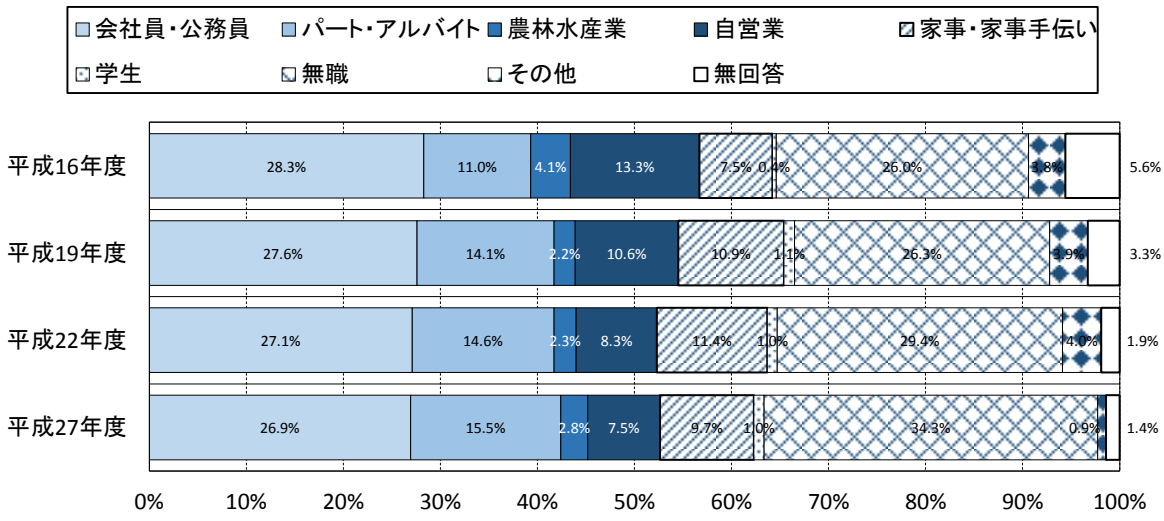


図　7-1-3　「年度別　職業」構成比率

（4）世帯人員

世帯人員の構成比率は、調査年度ごとに「2人」の比率が高くなっている。

世帯人員		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	1人	343	8.9%	517	14.0%	530	16.8%	299	10.0%
2	2人	972	25.3%	1,033	28.1%	918	29.1%	1,027	34.5%
3	3人	874	22.8%	837	22.7%	717	22.7%	689	23.1%
4	4人	663	17.3%	593	16.1%	479	15.2%	513	17.2%
5	5人以上	789	20.6%	575	15.6%	452	14.3%	418	14.0%
99	無回答	194	5.1%	127	3.5%	58	1.9%	33	1.2%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-1-4　年度別世帯人員　構成比率

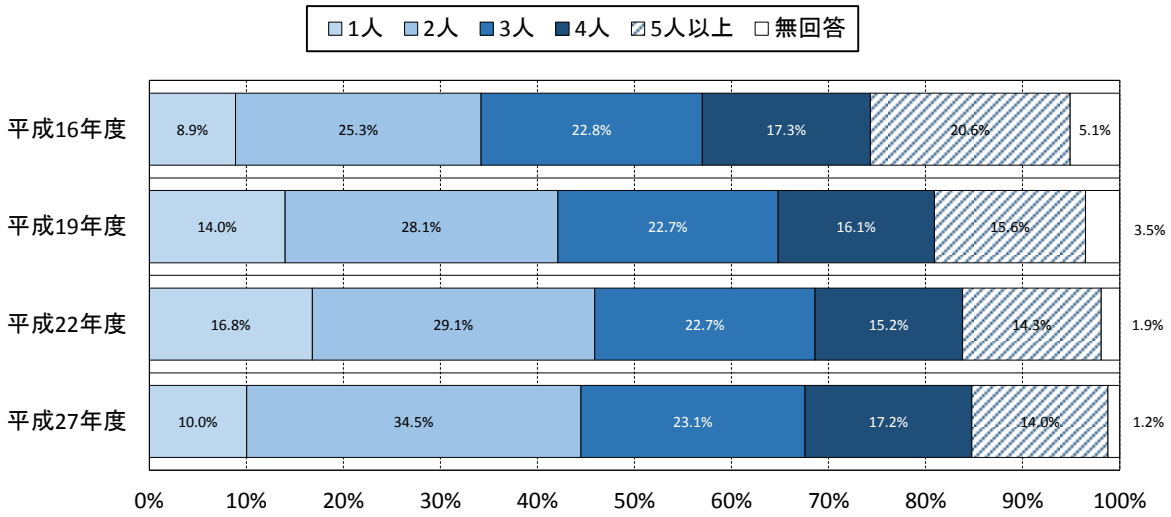


図　7-1-4　「年度別　世帯人員」構成比率

7-2　暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について

7-2-1　問11　次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？

（1）家の中を見ましてみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う。

「必要でないもの」の構成比率は、調査年度ごとに「あまりそうは思わない」と「全くそうは思わない」の比率が高くなっている。

問11-1		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,192	31.1%	1,137	30.9%	1,013	32.1%	875	29.4%
2	少しそう思う	1,831	47.7%	1,824	49.5%	1,535	48.7%	1,456	48.9%
1＋2		3,023	78.8%	2,961	80.4%	2,548	80.8%	2,331	78.3%
3	あまりそうは思わない	587	15.3%	577	15.7%	520	16.5%	522	17.5%
4	全くそうは思わない	83	2.2%	73	2.0%	71	2.3%	95	3.2%
99	無回答	142	3.7%	71	1.9%	15	0.4%	31	1.0%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-2-1　「年度別　必要でないもの」　構成比率

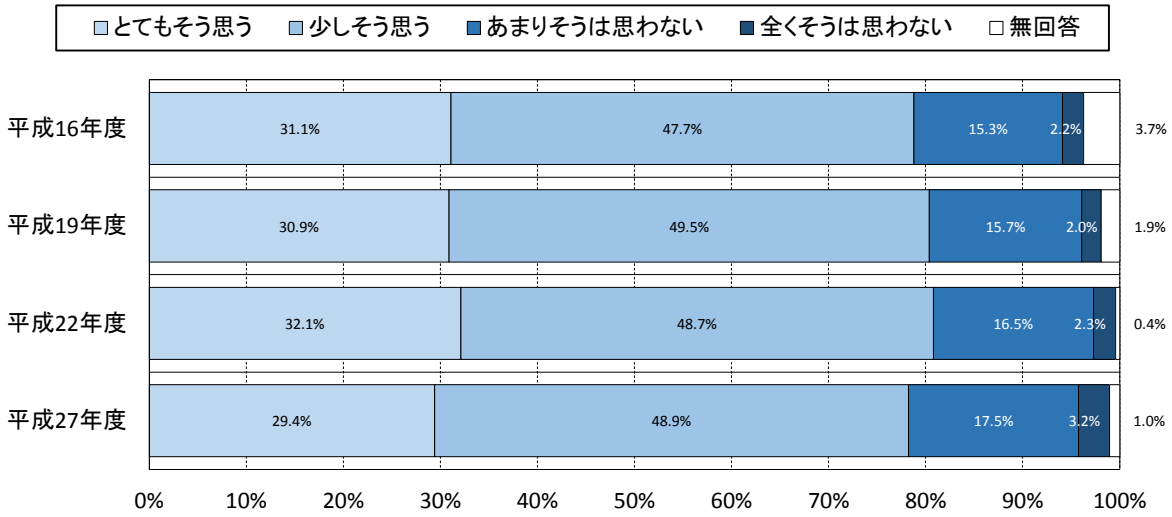


図　7-2-1　「年度別　必要ないもの」構成比率

（2）ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう。

「もったいない」の構成比率は、調査年度ごとに「あまりそうは思わない」の比率が高くなっている。

問11-2		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	とてもそう思う	1,277	33.3%	1,265	34.4%	1,098	34.8%	717	24.1%
2	少しそう思う	1,980	51.6%	1,888	51.3%	1,626	51.6%	1,638	55.0%
1＋2		3,257	84.9%	3,153	85.7%	2,724	86.4%	2,355	79.1%
3	あまりそうは思わない	355	9.3%	375	10.2%	357	11.3%	492	16.5%
4	全くそうは思わない	79	2.1%	87	2.4%	54	1.7%	102	3.4%
99	無回答	144	3.7%	67	1.7%	19	0.6%	30	1.0%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-2-2　「年度別　もったいない」　構成比率

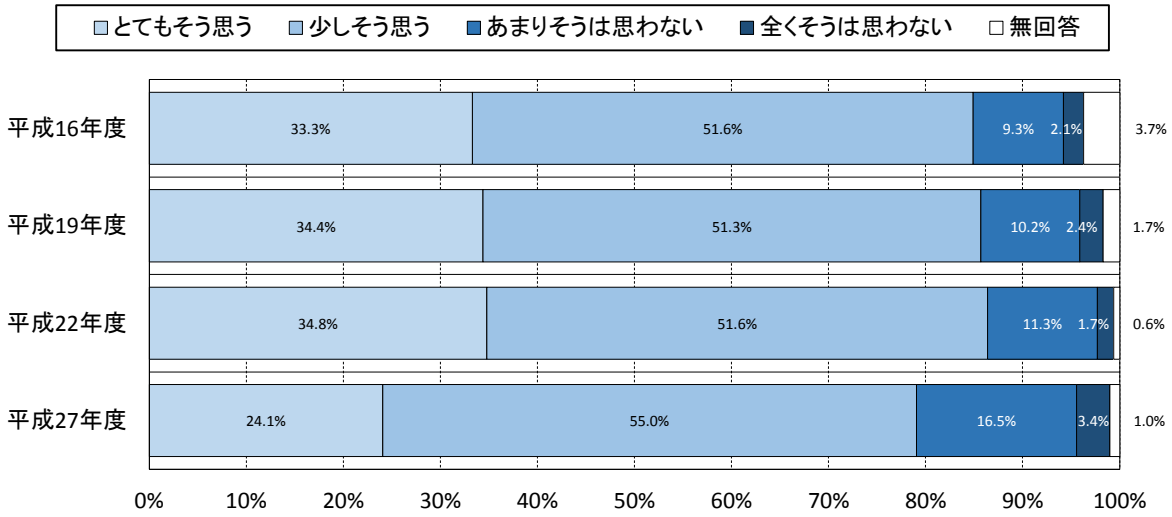


図　7-2-2　「年度別　もったいない」構成比率

（3）商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う。

「過剰容器や包装材」の構成比率は、調査年度ごとに「少しそう思う」と「あまりそうは思わない」の比率が高くなっている。

問11-3		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	とてもそう思う	2,444	63.7%	2,356	64.0%	1,882	59.7%	1,507	50.6%
2	少しそう思う	1,055	27.5%	1,069	29.0%	1,078	34.2%	1,245	41.8%
1＋2		3,499	91.2%	3,425	93.0%	2,960	93.9%	2,752	92.4%
3	あまりそうは思わない	161	4.2%	166	4.5%	156	4.9%	178	6.0%
4	全くそうは思わない	29	0.8%	19	0.5%	17	0.5%	15	0.5%
99	無回答	146	3.8%	72	2.0%	21	0.7%	34	1.1%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-2-3　「年度別　過剰容器や包装材」　構成比率

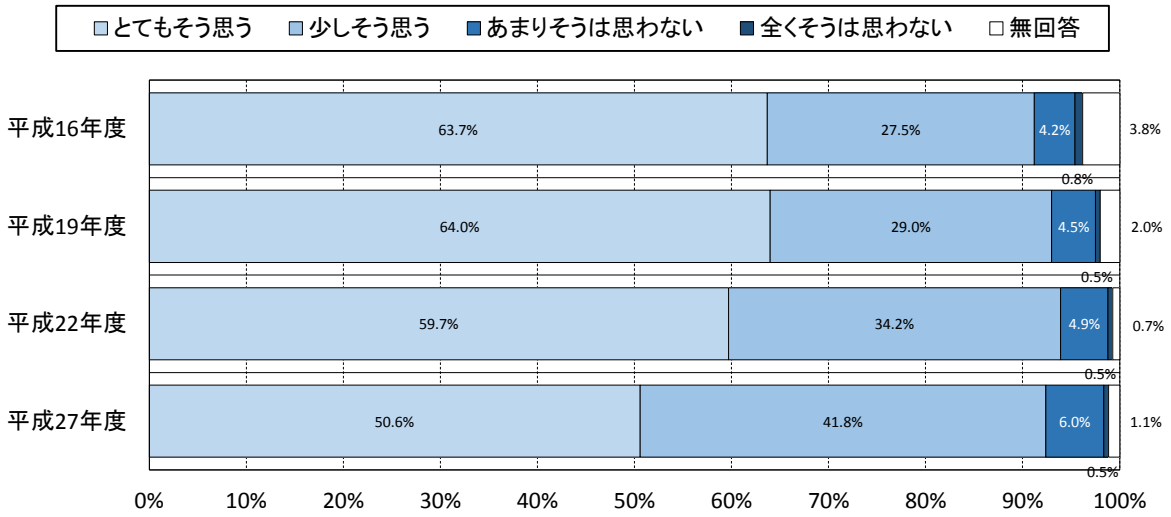


図　7-2-3　「年度別　過剰容器や包装材」構成比率

（4）レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない。

「レンタル製品等への抵抗感」の構成比率は、調査年度ごとに「少しそう思う」の比率が高くなっている。

問1-4		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	とてもそう思う	622	16.2%	637	17.3%	556	17.6%	457	15.3%
2	少しそう思う	1,543	40.2%	1,578	42.9%	1,364	43.2%	1,304	43.8%
3	あまりそうは思わない	1,118	29.2%	1,003	27.2%	878	27.8%	860	28.9%
4	全くそうは思わない	334	8.7%	338	9.2%	301	9.5%	277	9.3%
99	無回答	218	5.7%	126	3.4%	55	1.9%	81	2.7%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-2-4　「年度別　レンタル製品等への抵抗感」　構成比率

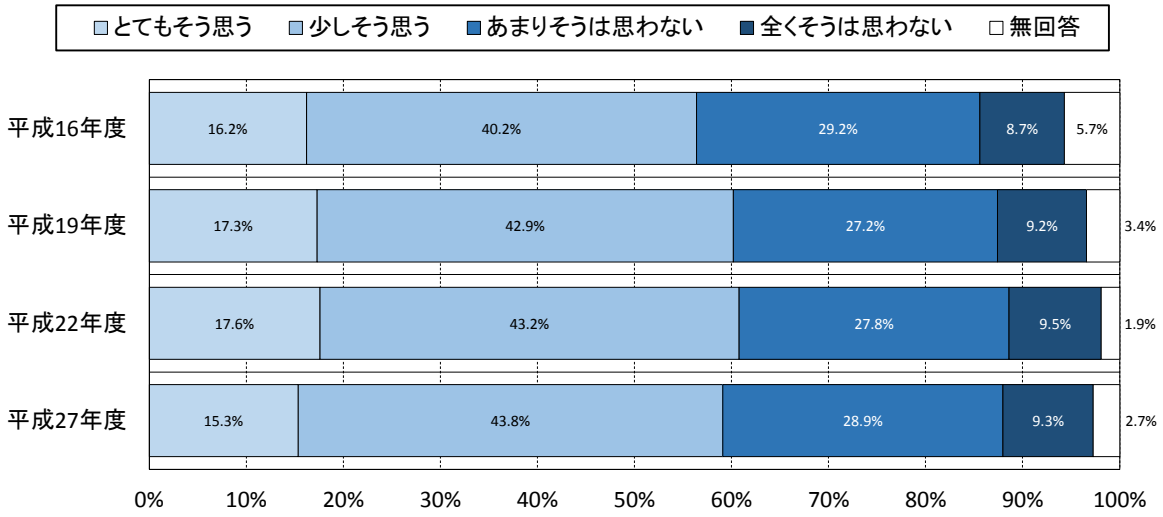


図　7-2-4　「年度別　レンタル製品等への抵抗感」構成比率

7-2-2　問12　次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？

（1）特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう。

「必要なくても買ってしまう」の構成比率は、調査年度ごとに「あまり当てはまらない」と「全く当てはまらない」の計の比率が高くなっている。

問12-1		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よく当てはまる	215	5.6%	240	6.5%	204	6.5%	156	5.2%
2	少し当てはまる	1,174	30.6%	1,131	30.7%	988	31.3%	849	28.5%
3	あまり当てはまらない	1,450	37.8%	1,350	36.7%	1,205	38.2%	1,282	43.0%
4	全く当てはまらない	852	22.2%	888	24.1%	738	23.4%	662	22.2%
3+4		2,302	60.0%	2,238	60.8%	1,943	61.6%	1,944	65.2%
99	無回答	144	3.8%	73	2.0%	19	0.6%	30	1.1%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-2-5　「年度別　必要なくても買ってしまう」　構成比率

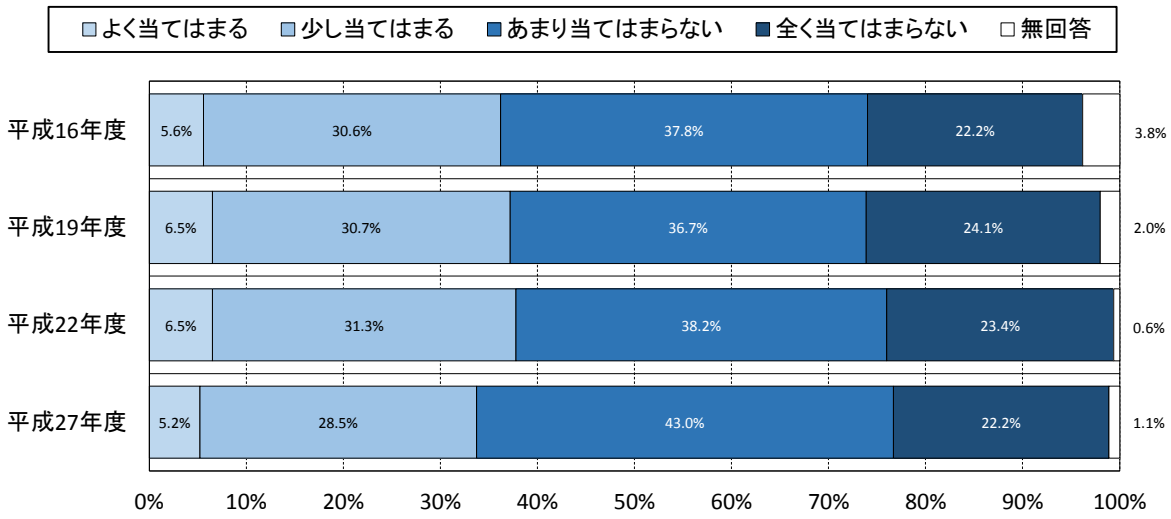


図　7-2-5　「年度別　必要なくても買ってしまう」構成比率

（2）買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い換える。

「修理より買い替え」の構成比率は、調査年度ごとの変化はあまりみられない。

問12-2		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よく当てはまる	455	11.9%	431	11.7%	379	12.0%	380	12.8%
2	少し当てはまる	1,060	27.6%	1,108	30.1%	942	29.9%	955	32.1%
3	あまり当てはまらない	1,432	37.3%	1,293	35.1%	1,185	37.6%	1,162	39.0%
4	全く当てはまらない	734	19.1%	764	20.7%	621	19.7%	447	15.0%
3+4		2,166	56.4%	2,057	55.8%	1,806	57.3%	1,609	54.0%
99	無回答	154	4.1%	86	2.4%	27	0.8%	35	1.1%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-2-6　「年度別　修理より買い替え」　構成比率

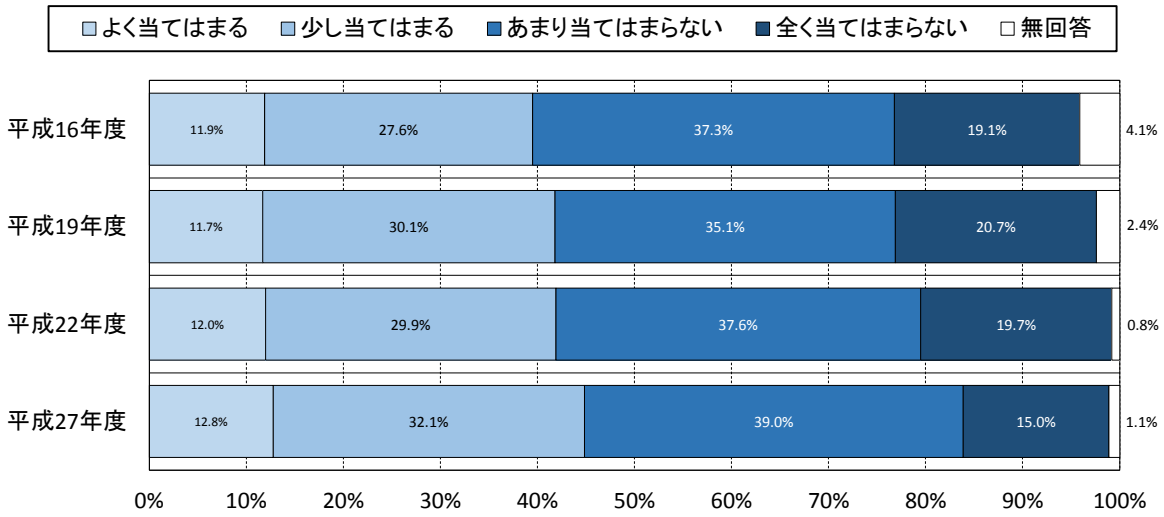


図　7-2-6　「年度別　修理より買い替え」構成比率

（3）お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ。

「環境やごみを考えず商品を選ぶ」の構成比率は、調査年度ごとの変化はあまりみられない。

問12-3		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よく当てはまる	670	17.5%	652	17.7%	533	16.9%	486	16.3%
2	少し当てはまる	1,624	42.3%	1,601	43.5%	1,399	44.4%	1,322	44.4%
3	あまり当てはまらない	1,121	29.2%	1,089	29.6%	952	30.2%	916	30.7%
4	全く当てはまらない	256	6.7%	260	7.1%	248	7.9%	199	6.7%
3+4		1,377	35.9%	1,349	36.7%	1,200	38.1%	1,115	37.4%
99	無回答	164	4.3%	80	2.1%	22	0.6%	56	1.9%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-2-7　「年度別　環境やごみを考えず商品を選ぶ」　構成比率

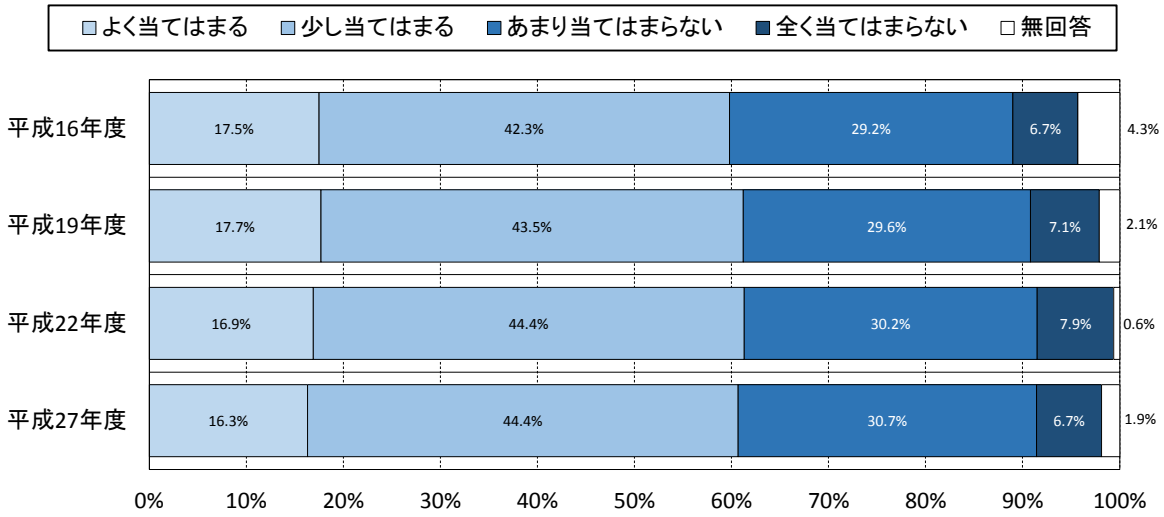


図　7-2-7　「年度別　環境やごみを考えず商品を選ぶ」構成比率

（4）一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する。

「レンタルよりも新品購入」の構成比率は、調査年度ごとの変化はあまりみられない。

問12-4		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よく当てはまる	789	20.6%	771	20.9%	637	20.2%	594	19.9%
2	少し当てはまる	1,235	32.2%	1,209	32.8%	1,076	34.1%	1,041	34.9%
3	あまり当てはまらない	1,050	27.4%	1,043	28.3%	883	28.0%	859	28.8%
4	全く当てはまらない	595	15.5%	567	15.4%	520	16.5%	415	13.9%
3+4		1,645	42.9%	1,610	43.7%	1,403	44.5%	1,274	42.7%
99	無回答	166	4.3%	92	2.6%	38	1.2%	70	2.5%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-2-8　「年度別　レンタルよりも新品購入」　構成比率

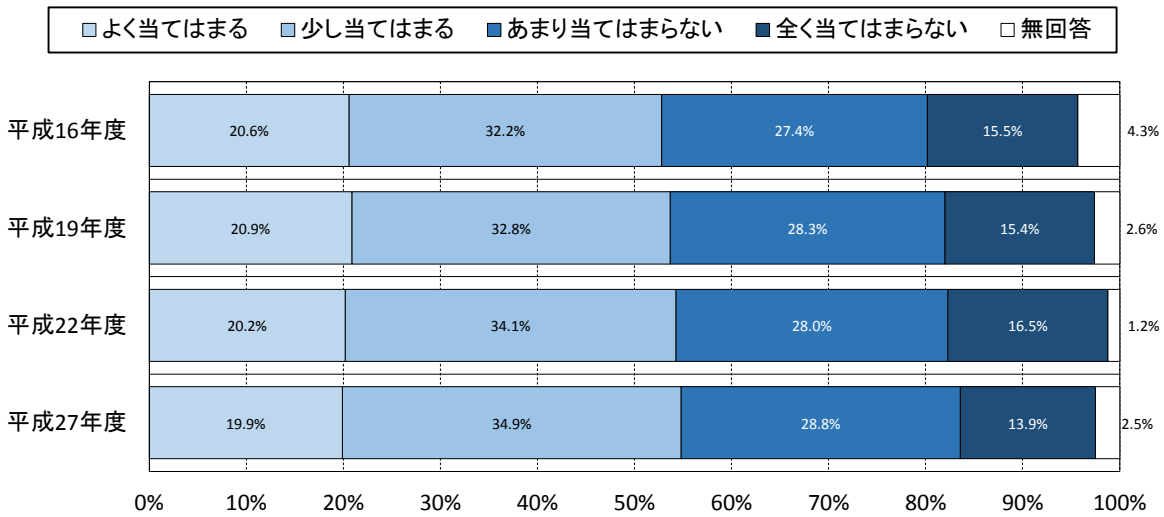


図　7-2-8　「年度別　レンタルよりも新品購入」構成比率

7-2-3　問14　食べ物のごみについてお聞きします。

（1）使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？

「食材を捨てる」の構成比率は、調査年度ごとに「よくある」の比率が低くなっている。

問14-1		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よくある	651	17.0%	624	16.9%	402	12.7%	377	12.7%
2	たまにある	2,004	52.3%	1,843	50.1%	1,571	49.8%	1,533	51.5%
3	あまりない	642	16.7%	651	17.7%	624	19.8%	628	21.1%
4	ほとんどない	494	12.9%	502	13.6%	541	17.2%	404	13.6%
99	無回答	44	1.1%	62	1.7%	16	0.5%	37	1.1%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-2-9　「年度別　食材を捨てる」構成比率

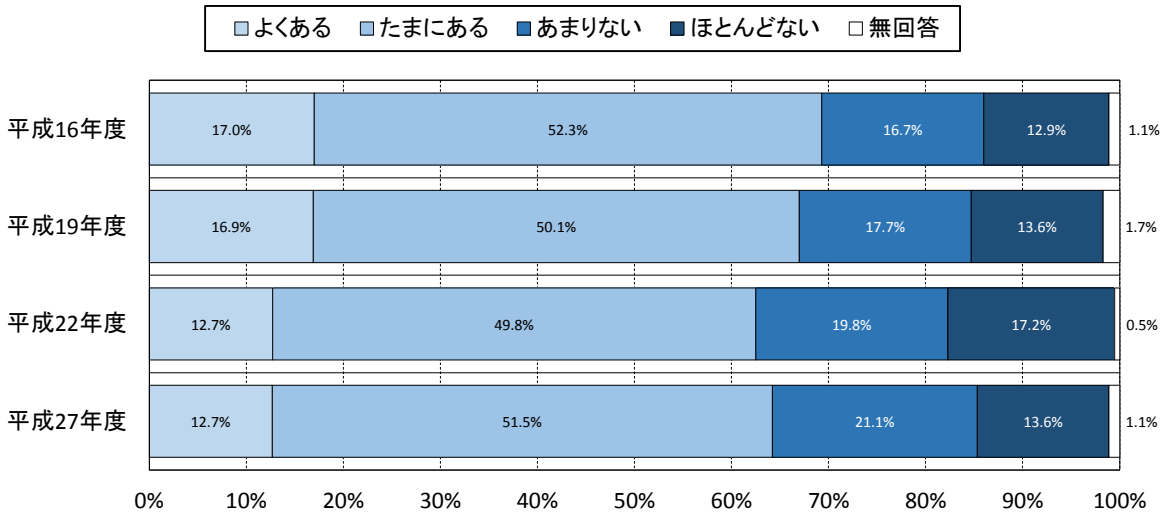


図　7-2-9　「年度別　食材を捨てる」構成比率

（2）食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？

「食べきれず料理を捨てる」の構成比率は、調査年度ごとに「あまりない」の比率が高くなっている。

問14-2		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	よくある	400	10.4%	368	10.0%	199	6.3%	207	6.9%
2	たまにある	1,578	41.1%	1,410	38.3%	1,119	35.5%	1,120	37.6%
3	あまりない	970	25.3%	928	25.2%	886	28.1%	887	29.8%
4	ほとんどない	845	22.0%	906	24.6%	930	29.5%	717	24.1%
99	無回答	42	1.2%	70	1.9%	20	0.6%	48	1.6%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-2-10　「年度別　食べきれず料理を捨てる」構成比率

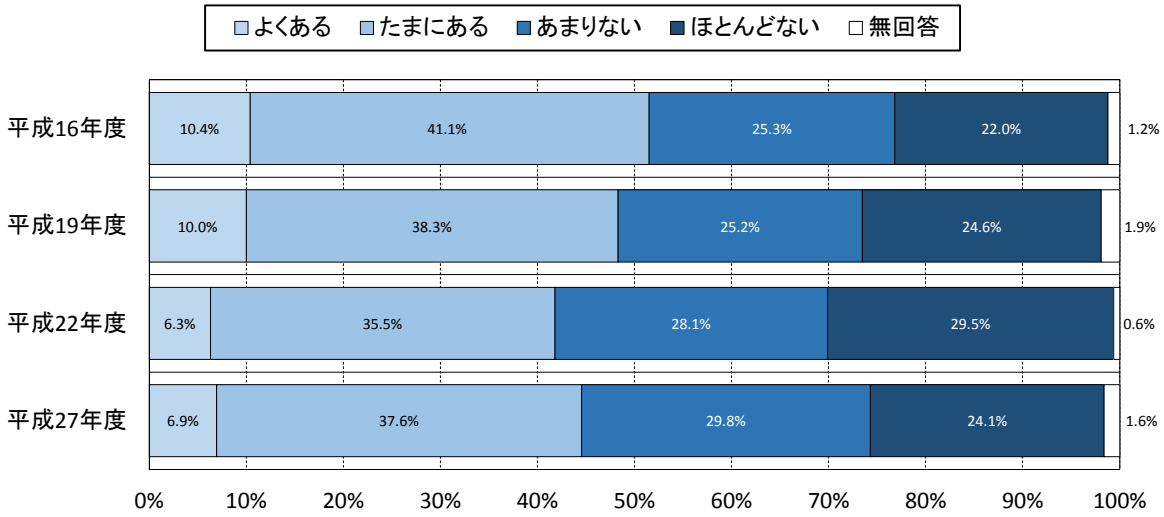


図　7-2-10　「年度別　食べきれず料理を捨てる」構成比率

7-2-4　問17　使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどう感じていますか？

「使い捨て商品と大量のごみ」の構成比率は、調査年度ごとに「どちらかというと疑問を感じる」の比率が減少してきている。

問17		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	特に疑問は感じていない	152	4.0%	131	3.6%	137	4.5%	210	7.0%
2	どちらかというと疑問を感じる	3,463	90.3%	3,298	89.6%	2,641	86.9%	2,396	80.4%
3	よくわからない	166	4.3%	173	4.7%	216	7.1%	302	10.1%
99	無回答	54	1.4%	80	2.1%	44	1.5%	71	2.5%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,038	100%	2,979	100%

表　7-2-11　「年度別　使い捨て商品と大量のごみ」構成比率

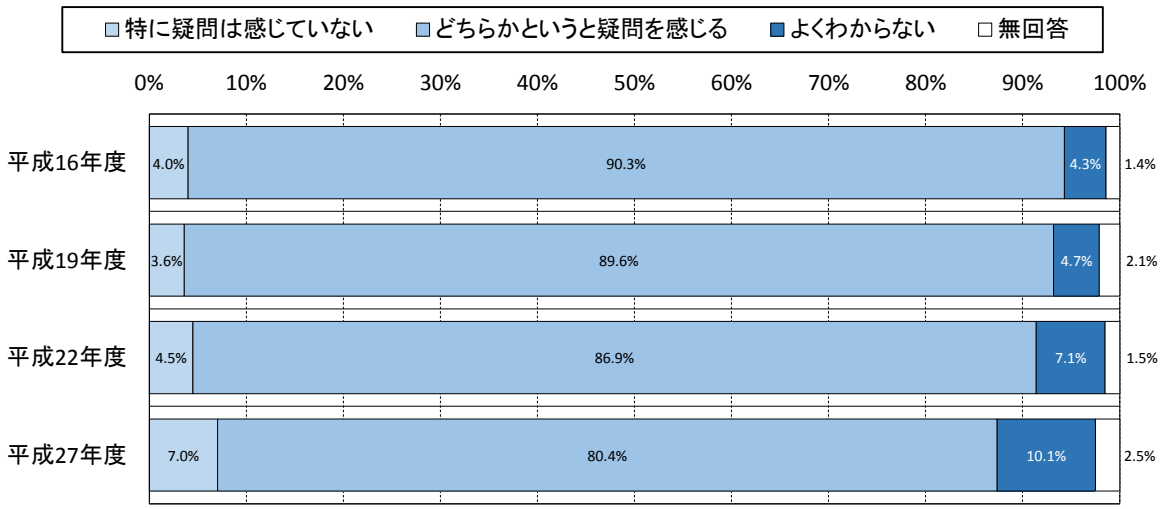


図　7-2-11　「年度別　使い捨て商品と大量のごみ」構成比率

7-2-5　問18　ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？

「コストをかけた資源としての有効利用」の構成比率は、調査年度ごとに「とてもそう思う」が大幅に減少し、「少しそう思う」は調査年度ごとに増加している。「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計は調査年度ごとに減少している。

問18		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	とてもそう思う	2,293	59.8%	2,057	55.9%	1,420	46.7%	1,179	39.6%
2	少しそう思う	1,320	34.4%	1,333	36.2%	1,353	44.5%	1,510	50.7%
1+2		3,613	94.2%	3,390	92.1%	2,773	91.2%	2,689	90.3%
3	あまりそうは思わない	142	3.7%	194	5.3%	186	6.1%	203	6.8%
3	全くそうは思わない	28	0.7%	26	0.7%	24	0.8%	16	0.5%
99	無回答	52	1.4%	72	1.9%	55	1.9%	71	2.4%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,038	100%	2,979	100.0%

表　7-2-12　「年度別　コストをかけた資源としての有効活用」構成比率

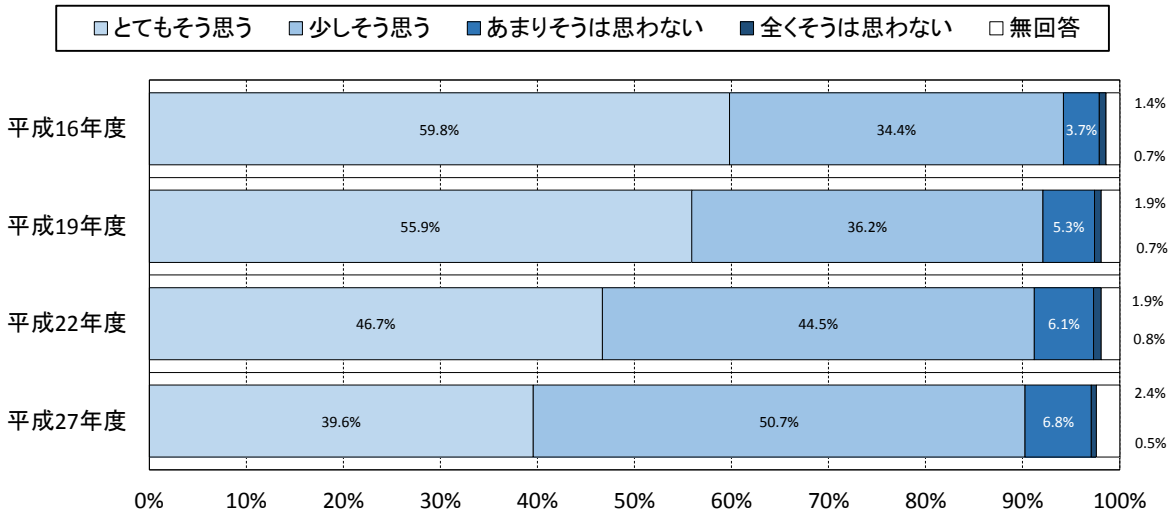


図　7-2-12　「年度別　コストをかけた資源としての有効利用」構成比率

7-3　現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について

7-3-1　問19　ごみを減らす取組の中でどれが大切だと思いますか？

（1）最も大切だと思うごみを減らす取組

「最も大切な取組」の構成比率は、いずれの年度においても「ごみの発生を減らすこと」が最も高くなっている。

問19-1		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	ごみの発生を減らすこと	2,146	56.0%	2,149	58.4%	1,811	57.4%	1,557	52.3%
2	製品等を繰り返し使うこと	522	13.6%	490	13.3%	451	14.3%	387	13.0%
3	原材料として有効利用すること	838	21.9%	703	19.1%	791	25.1%	845	28.4%
99	無回答	329	8.5%	340	9.2%	101	3.2%	190	6.3%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-3-1　「年度別　最も大切な取組」構成比率

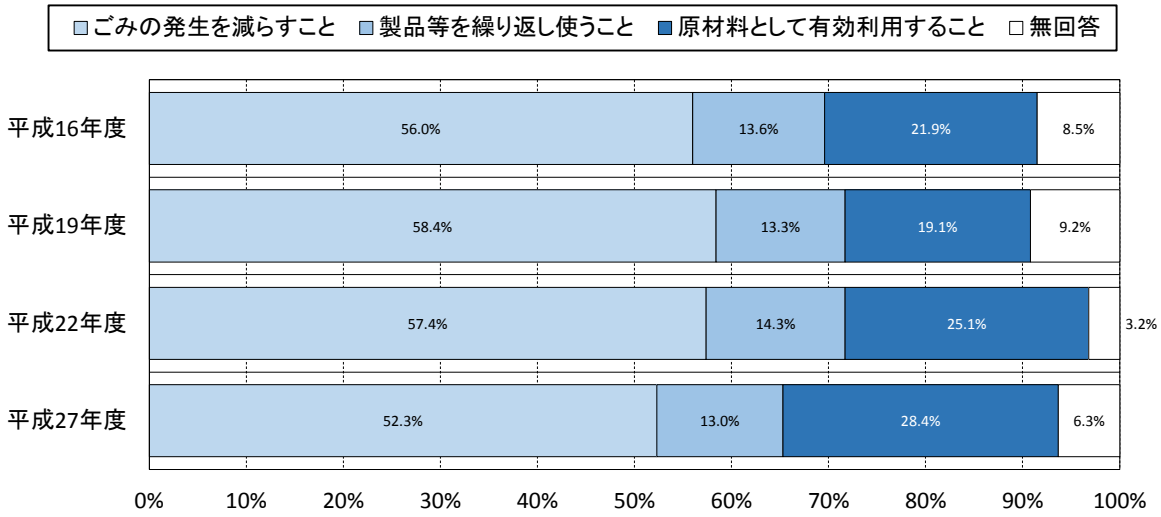


図　7-3-1　「年度別　最も大切な取組」構成比率

（2）次に大切だと思うごみを減らす取組

「次に大切な取組」の構成比率は、いずれの年度においても「原材料として有効利用すること」が最も高くなっている。

問19-2		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	ごみの発生を減らすこと	491	12.8%	433	11.8%	481	15.3%	543	18.2%
2	製品等を繰り返し使うこと	1,036	27.0%	1,228	33.4%	1,114	35.3%	922	30.9%
3	原材料として有効利用すること	1,551	40.4%	1,541	41.9%	1,211	38.4%	1,170	39.3%
99	無回答	757	19.8%	480	12.9%	348	11.0%	344	11.6%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-3-2　「年度別　次に大切な取組」構成比率

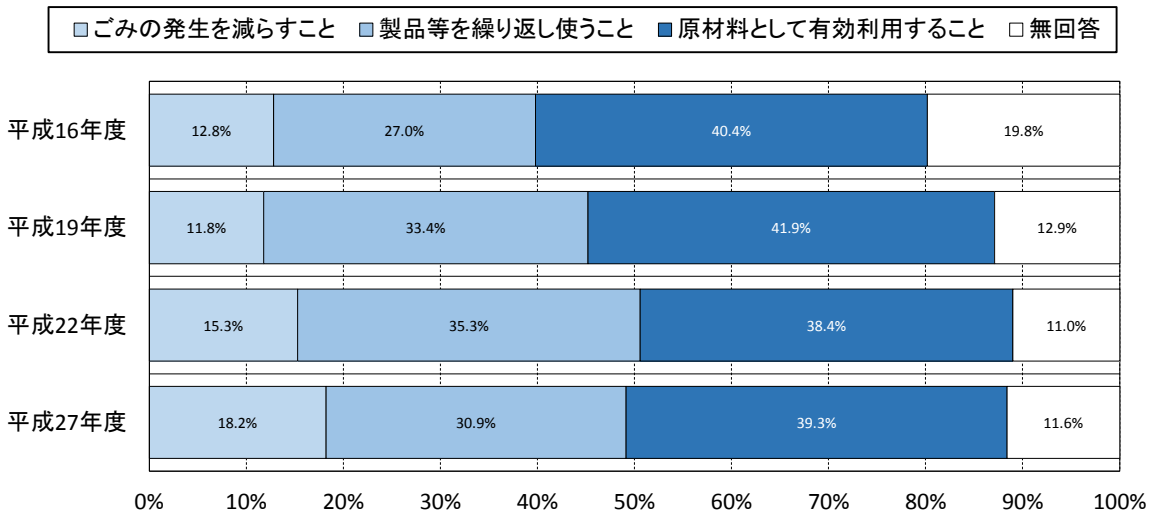


図　7-3-2　「年度別　次に大切な取組」構成比率

7-3-2　問20　あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町の収集に出している品目はどれですか？

「市町の収集に資源ごみとして出している品目」の各年度の上位5品目は、順位は変化しているが、「空きびん」、「アルミ缶」、「ペットボトル」、「新聞」、「雑誌」で、いずれもほぼ8割と高い割合になっている。

問20		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	新聞	3,168	82.6%	3,001	81.5%	2,567	81.4%	2,239	75.2%
2	雑誌	2,967	77.4%	2,872	78.0%	2,542	80.6%	2,266	76.1%
3	牛乳パック	2,165	56.5%	1,957	53.2%	1,811	57.4%	1,593	53.5%
4	古布や衣類	2,144	55.9%	2,282	62.0%	2,133	67.6%	2,050	68.8%
5	食品トレイ	2,197	57.3%	1,957	53.2%	1,863	59.1%	1,772	59.5%
6	ペットボトル	3,042	79.3%	2,996	81.4%	2,669	84.6%	2,424	81.4%
7	アルミ缶	3,201	83.5%	3,039	82.5%	2,711	86.0%	2,451	82.3%
8	スチール缶	2,841	74.1%	2,677	72.7%	2,464	78.1%	2,316	77.7%
9	空きびん	3,111	81.1%	2,983	81.0%	2,713	86.0%	2,555	85.8%
10	蛍光管	1,630	42.5%	1,598	43.4%	1,716	54.4%	1,814	60.9%
11	電池類	1,977	51.6%	1,920	52.1%	2,066	65.5%	2,115	71.0%
12	あてはまるものなし	50	1.3%	40	1.1%	36	1.1%	62	2.1%
総回答数		28,493	743.1%	27,322	742.1%	25,291	801.8%	23,657	794.3%
有効回答数		3,835		3,682		3,154		2,979	

表　7-3-3　「年度別　市町の収集に出している品目」回答状況

問20順位表		平成16年度	平成19年度	平成22年度	平成27年度
1	空きびん	3	4	1	1
2	アルミ缶	1	1	2	2
3	ペットボトル	4	3	3	3
4	スチール缶	6	6	6	4
5	雑誌	5	5	5	5
6	新聞	2	2	4	6
7	電池類	10	10	8	7
8	古布や衣類	9	7	7	8
9	蛍光管	11	11	11	9
10	食品トレイ	7	8	9	10
11	牛乳パック	8	9	10	11
12	あてはまるものなし	12	12	12	12

表　7-3-4　「年度別　市町の収集に出している品目」順位表

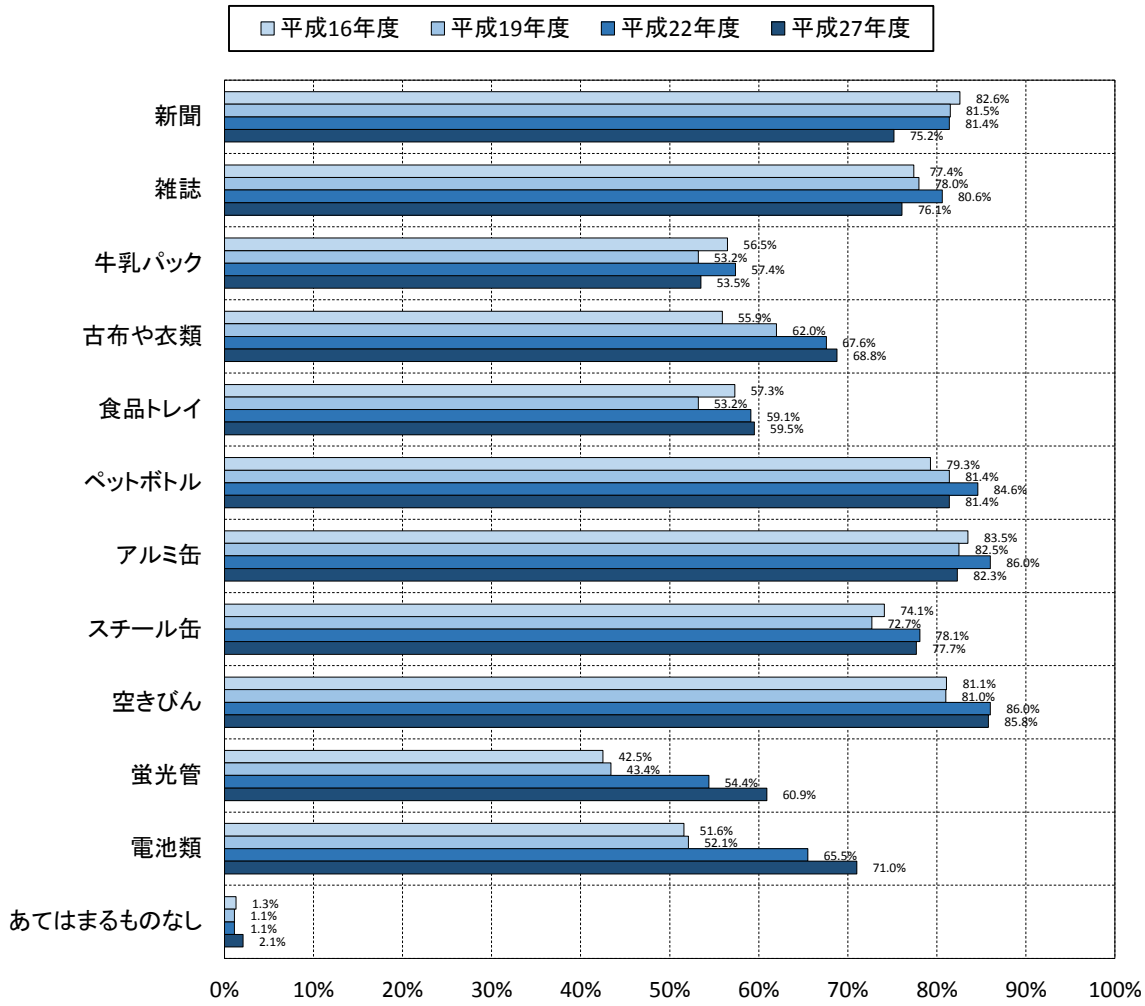


図　7-3-3　「年度別　市町の収集に出している品目」回答率

7-3-3　問21　あなたのご家庭では、次のうち、お店に持っていって回収してもらっている品目はどれですか？

「店頭で回収してもらっている品目」は、いずれの年度も上位3品目の順位は変化しているが、「食品トレイ」、「ペットボトル」、「牛乳パック」となっている。

問11		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	新聞	179	4.7%	215	5.8%	288	9.1%	419	14.1%
2	雑誌	126	3.3%	163	4.4%	226	7.2%	345	11.6%
3	牛乳パック	1,070	27.9%	1,018	27.6%	899	28.5%	852	28.6%
4	古布や衣類	60	1.6%	83	2.3%	134	4.2%	209	7.0%
5	食品トレイ	1,487	38.8%	1,364	37.0%	1,298	41.2%	1,169	39.2%
6	ペットボトル	1,073	28.0%	1,126	30.6%	1,029	32.6%	1,108	37.2%
7	アルミ缶	507	13.2%	569	15.5%	619	19.6%	752	25.2%
8	スチール缶	277	7.2%	270	7.3%	321	10.2%	373	12.5%
9	空きびん	549	14.3%	444	12.1%	355	11.3%	344	11.5%
10	蛍光管	354	9.2%	297	8.1%	288	9.1%	286	9.6%
11	電池類	592	15.4%	506	13.7%	453	14.4%	373	12.5%
12	あてはまるものなし	1,119	29.2%	1,107	30.1%	943	29.9%	867	29.1%
総回答数		7,393	192.8%	7,162	194.5%	6,853	217.3%	7,097	238.1%
有効回答数		3,835		3,682		3,154		2,979	

表　7-3-5　「年度別　店頭で回収してもらっている品目 」回答状況

問21順位表		平成16年度	平成19年度	平成22年度	平成27年度
1	食品トレイ	1	1	1	1
2	ペットボトル	3	2	2	2
3	あてはまるものなし	2	3	3	3
4	牛乳パック	4	4	4	4
5	アルミ缶	7	5	5	5
6	新聞	10	10	10	6
7	スチール缶	9	9	8	7
8	電池類	5	6	6	8
9	雑誌	11	11	11	9
10	空きびん	6	7	7	10
11	蛍光管	8	8	9	11
12	古布や衣類	12	12	12	12

表　7-3-6　「年度別　店頭で回収してもらっている品目」順位表

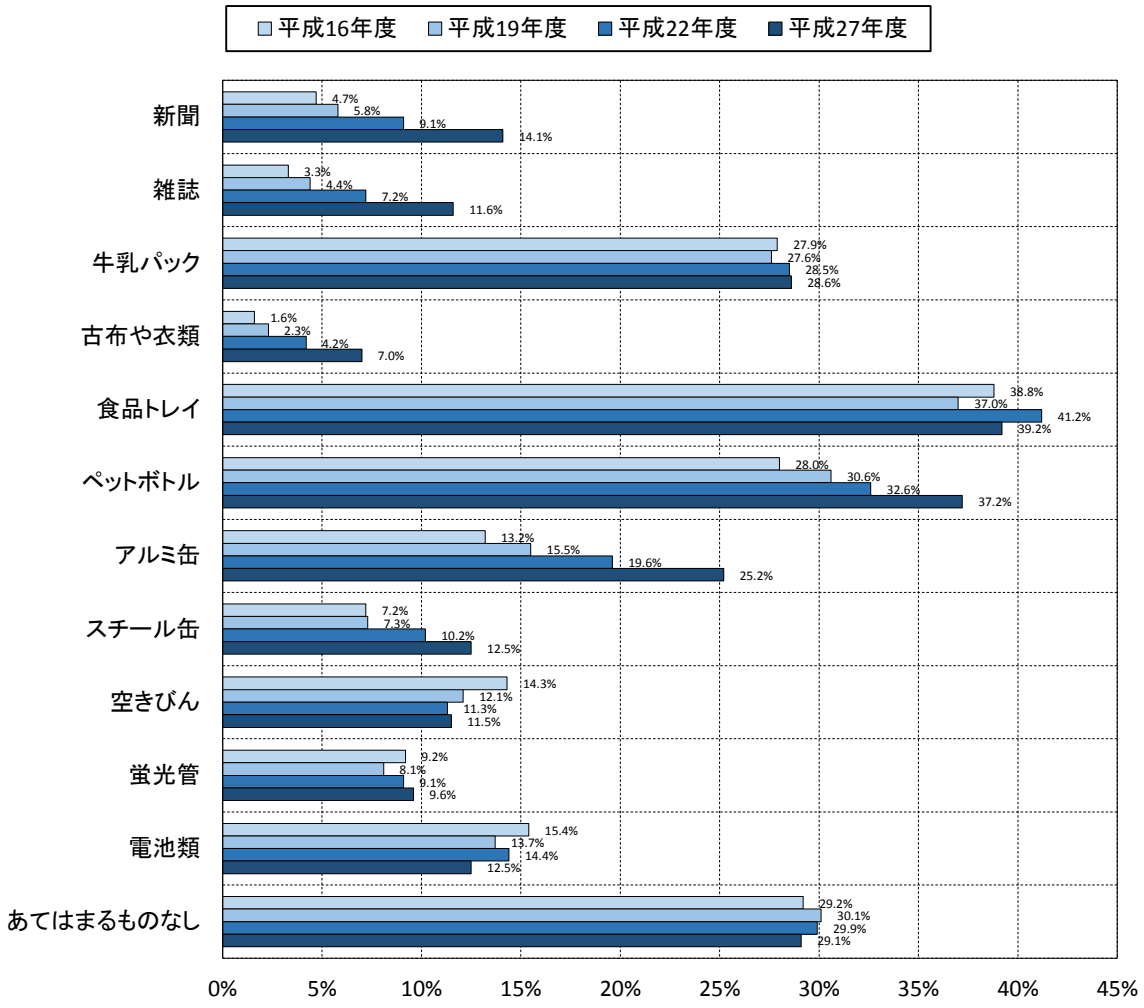


図　7-3-4　「年度別　店頭で回収してもらっている品目」回答率

7-3-4　問22　あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われている廃品回収（集団回収）に出している品目はどれですか？

「集団回収に出している品目」は、上位5品目の順位は同じである。

問21		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	新聞	2,445	63.8%	2,169	58.9%	1,958	62.1%	1,758	59.0%
2	雑誌	2,102	54.8%	1,884	51.2%	1,794	56.9%	1,626	54.6%
3	牛乳パック	783	20.4%	760	20.6%	765	24.3%	762	25.6%
4	古布や衣類	1,295	33.8%	1,225	33.3%	1,170	37.1%	1,110	37.3%
5	食品トレイ	621	16.2%	536	14.6%	580	18.4%	616	20.7%
6	ペットボトル	893	23.3%	885	24.0%	969	30.7%	944	31.7%
7	アルミ缶	1,528	39.8%	1,364	37.0%	1,367	43.3%	1,258	42.2%
8	スチール缶	976	25.4%	882	24.0%	967	30.7%	946	31.8%
9	空きびん	1,255	32.7%	1,083	29.4%	1,140	36.1%	1,038	34.8%
10	蛍光管	579	15.1%	584	15.9%	675	21.4%	705	23.7%
11	電池類	644	16.8%	655	17.8%	715	22.7%	794	26.7%
12	あてはまるものなし	684	17.8%	808	21.9%	696	22.1%	713	23.9%
総回答数		13,805	359.9%	12,835	348.6%	12,796	405.8%	12,270	412.0%
有効回答数		3,835		3,682		3,154		2,979	

表　7-3-7　「年度別　集団回収に出している品目 」回答状況

問22順位表		平成16年度	平成19年度	平成22年度	平成27年度
1	新聞	1	1	1	1
2	雑誌	2	2	2	2
3	アルミ缶	3	3	3	3
4	古布や衣類	4	4	4	4
5	空きびん	5	5	5	5
6	スチール缶	6	7	7	6
7	ペットボトル	7	6	6	7
8	電池類	10	10	9	8
9	牛乳パック	8	9	8	9
10	あてはまるものなし	9	8	10	10
11	蛍光管	12	11	11	11
12	食品トレイ	11	12	12	12

表　7-3-8　「年度別　集団回収に出している品目」順位表

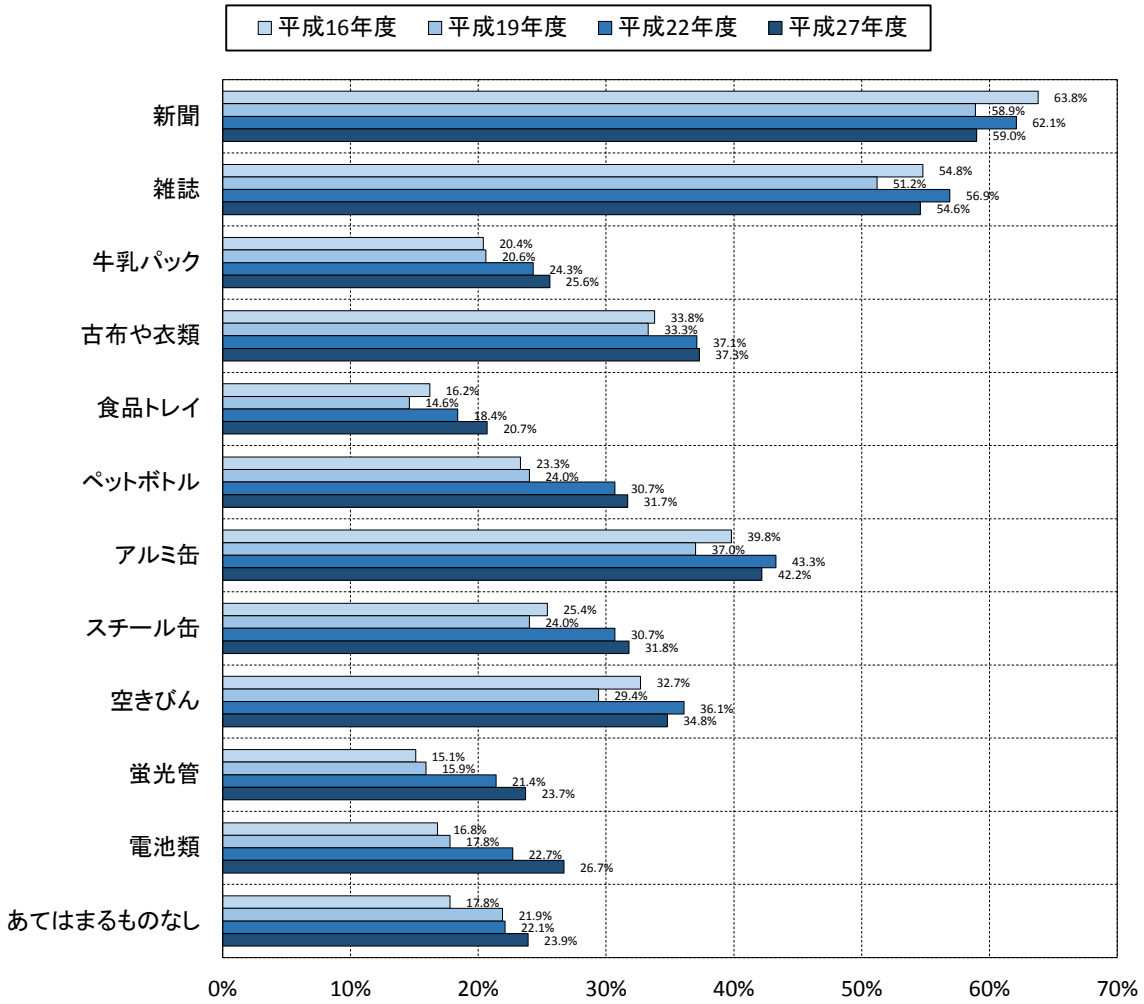


図　7-3-5　「年度別　集団回収に出している品目」回答率

7-3-5　問24　ごみを分別するのに、あなたは1日あたりおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？

「ごみの分別時間」については、平成27年度は平成22年度と大きな変化はない。

問24		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	1時間以上	66	1.7%	73	2.0%	269	8.5%	216	7.3%
2	30分～1時間	195	5.1%	170	4.6%	173	5.5%	158	5.3%
3	10分～30分	1,131	29.5%	958	26.0%	874	27.7%	801	26.9%
4	数分程度	1,704	44.4%	1,740	47.3%	1,433	45.4%	1,403	47.0%
5	ほとんどかけていない	615	16.0%	609	16.5%	341	10.8%	324	10.9%
99	無回答	124	3.3%	132	3.6%	64	2.1%	77	2.6%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100.0%

表　7-3-9　「年度別　ごみの分別時間」回答状況

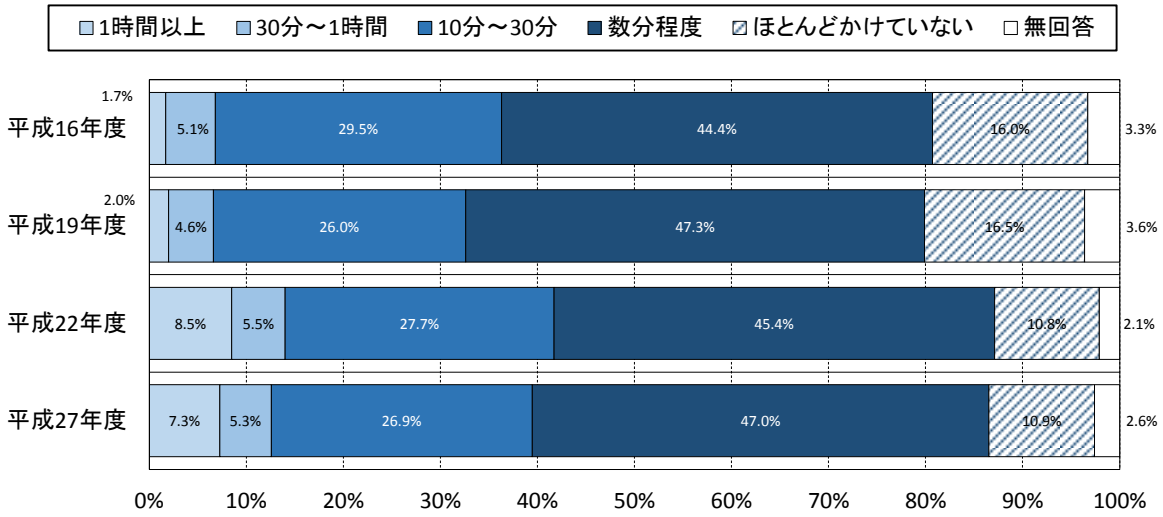


図　7-3-6　「年度別　ごみの分別時間」回答率

7-3-6　問27　あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？

「ごみを出すにあたっての問題」については、「収集日時が限られている」が各年度で最も高くなっている。各年度の順位は多少の変化はあるが、上位4項目は同じである。

問27		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	分別ルールが複雑でわかりにくい	770	20.1%	701	19.0%	700	22.2%	558	18.7%
2	市町ごとにルールが異なり覚えにくい	327	8.5%	356	9.7%	378	9.9%	305	10.2%
3	次の収集日までごみを保管しておく場所がない	900	23.5%	693	18.8%	639	16.7%	561	18.8%
4	収集日時が限られている	1,609	42.0%	1,384	37.6%	1,197	31.2%	1,034	34.7%
5	ごみ集積所（ステーション）まで遠い	401	10.5%	350	9.5%	284	7.4%	289	9.7%
6	洗ったり束ねたり手間がかかる	1,216	31.7%	975	26.5%	753	19.6%	662	22.2%
7	その他	408	10.6%	313	8.5%	137	3.6%	104	3.5%
8	特に問題はない	-	-	-	-	1,000	26.1%	1,153	38.7%
総回答数		5,631	146.9%	4,772	129.6%	5,088	136.7%	4,666	156.6%
有効回答数		3,835		3,682		3,154		2,979	

表　7-3-10　「年度別　ごみを出すに当たっての問題 」回答状況

問17順位表		平成16年度	平成19年度	平成22年度	平成27年度
1	収集日時が限られている	1	1	1	1
2	洗ったり束ねたり手間がかかる	2	2	2	2
3	分別ルールが複雑でわかりにくい	4	3	3	3
4	次の収集日までごみを保管しておく場所がない	3	4	4	4
5	市町ごとにルールが異なり覚えにくい	7	5	5	5
6	ごみ集積所（ステーション）まで遠い	6	6	6	6
7	その他	5	7	7	7

表　7-3-11　「年度別　ごみを出すにあたっての問題」順位表

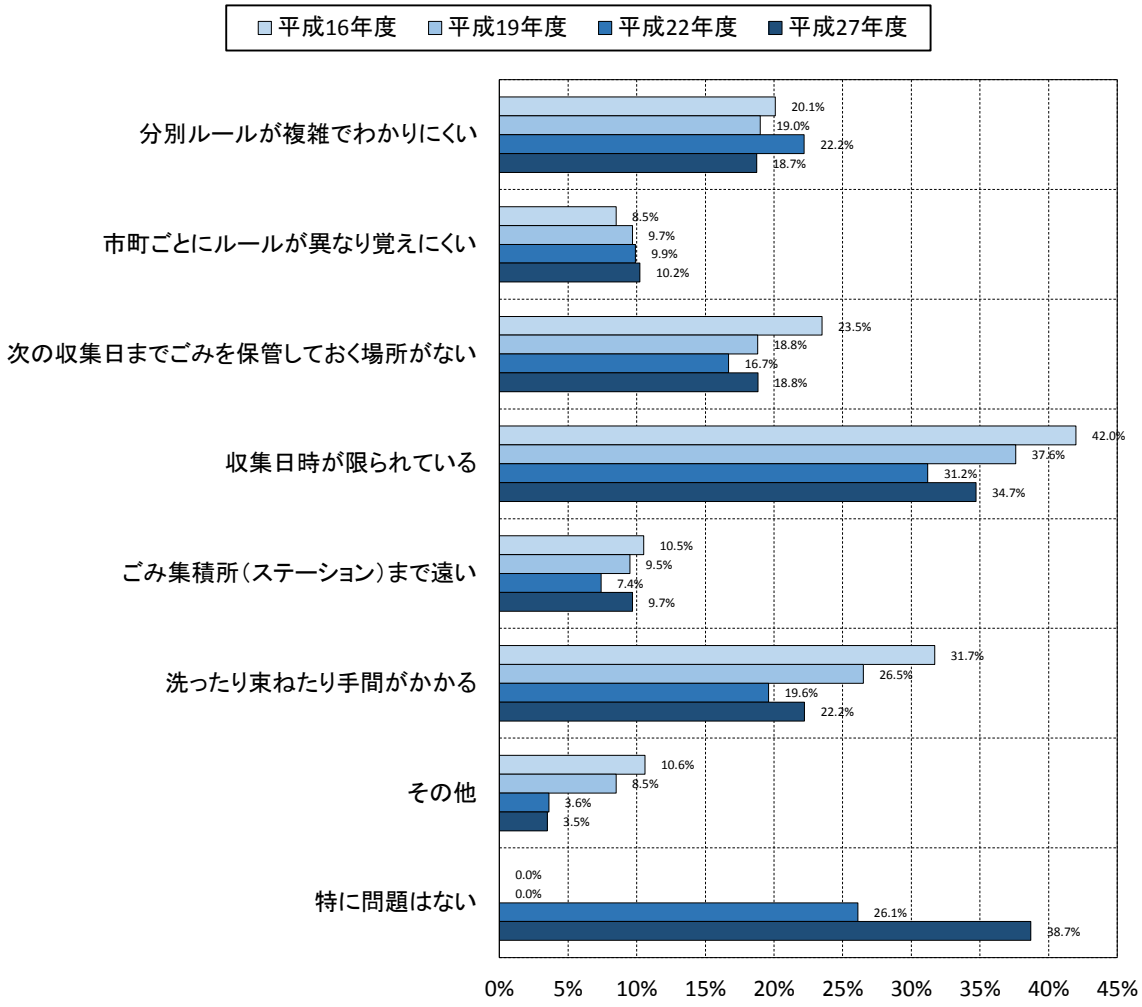


図　7-3-7　「年度別　問題」回答率

7-4　今後の方策に対する意向について

7-4-1　問28　今後あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？

「家庭から出る量を減らせるごみ」の各年度の上位5項目を比較すると、「食べ残し」、「調理くず」、「賞味期限切れ食品」といった食べ物のごみが上位を占めている。
各年度と比較し平成27年度は、「紙容器、紙袋や包装紙」、「新聞」、「プラスチック容器」、「紙パック」が大幅に増加している。容器包装リサイクル法により市町の分別が進み、「紙容器、紙袋や包装紙」、「プラスチック容器」、「紙パック」への関心が高まったことがうかがえる。
また、「レジ袋」は平成22年度では1.5%であったが、平成27年度は22.7%と大幅に減少している。レジ袋の有料化が導入された平成22年度頃のレジ袋への意識が常識化されたことが一因であると思われる。

問28		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	調理くず	1,653	43.1%	1,512	41.1%	1,432	45.4%	1,153	38.7%
2	食べ残し	2,131	55.6%	2,173	59.0%	2,001	63.4%	1,227	41.2%
3	賞味期限切れ食品	2,143	55.9%	2,060	55.9%	1,906	60.4%	1,810	60.8%
4	紙容器、紙袋や包装紙	1,262	32.9%	1,201	32.6%	906	28.7%	1,766	59.3%
5	新聞	381	9.9%	386	10.5%	371	11.8%	770	25.8%
6	チラシ	658	17.2%	675	18.3%	597	18.9%	366	12.3%
7	雑誌	613	16.0%	645	17.5%	586	18.6%	594	19.9%
8	段ボール	501	13.1%	501	13.6%	487	15.4%	525	17.6%
9	紙パック	381	9.9%	383	10.4%	383	12.1%	476	16.0%
10	古着類	780	20.3%	809	22.0%	701	22.2%	290	9.7%
11	ペットボトル	722	18.8%	802	21.8%	900	28.5%	650	21.8%
12	レジ袋	1,754	45.7%	1,883	51.1%	1,404	44.5%	676	22.7%
13	プラスチック容器	671	17.5%	706	19.2%	611	19.4%	1,075	36.1%
14	びん	414	10.8%	435	11.8%	376	11.9%	492	16.5%
15	缶	372	9.7%	386	10.5%	431	13.7%	335	11.2%
16	粗大ごみ	686	17.9%	688	18.7%	623	19.8%	369	12.4%
17	その他	64	1.7%	49	1.3%	63	2.0%	505	17.0%
総回答数		15,186	396.0%	15,294	415.3%	13,778	436.8%	13,079	439.0%
有効回答数		3,835		3,682		3,154		2,979	

表　7-4-1　「年度別　家庭から出る量を減らせるごみ 」回答状況

問28順位表		平成16年度	平成19年度	平成22年度	平成27年度
1	賞味期限切れ食品	1	2	3	1
2	紙容器、紙袋や包装紙	5	5	4	2
3	食べ残し	2	1	1	3
4	調理くず	4	4	2	4
5	プラスチック容器	9	8	13	5
6	新聞	14	14	6	6
7	レジ袋	3	3	8	7
8	ペットボトル	7	7	10	8
9	雑誌	11	11	7	9
10	段ボール	12	12	14	10
11	その他	17	17	11	11
12	紙パック	15	16	15	12
13	粗大ごみ	8	9	12	13
14	チラシ	10	10	5	14
15	びん	13	13	16	15
16	缶	16	15	17	16
17	古着類	6	6	9	17

表　7-4-2　「年度別　家庭から出る量を減らせるごみ」順位表

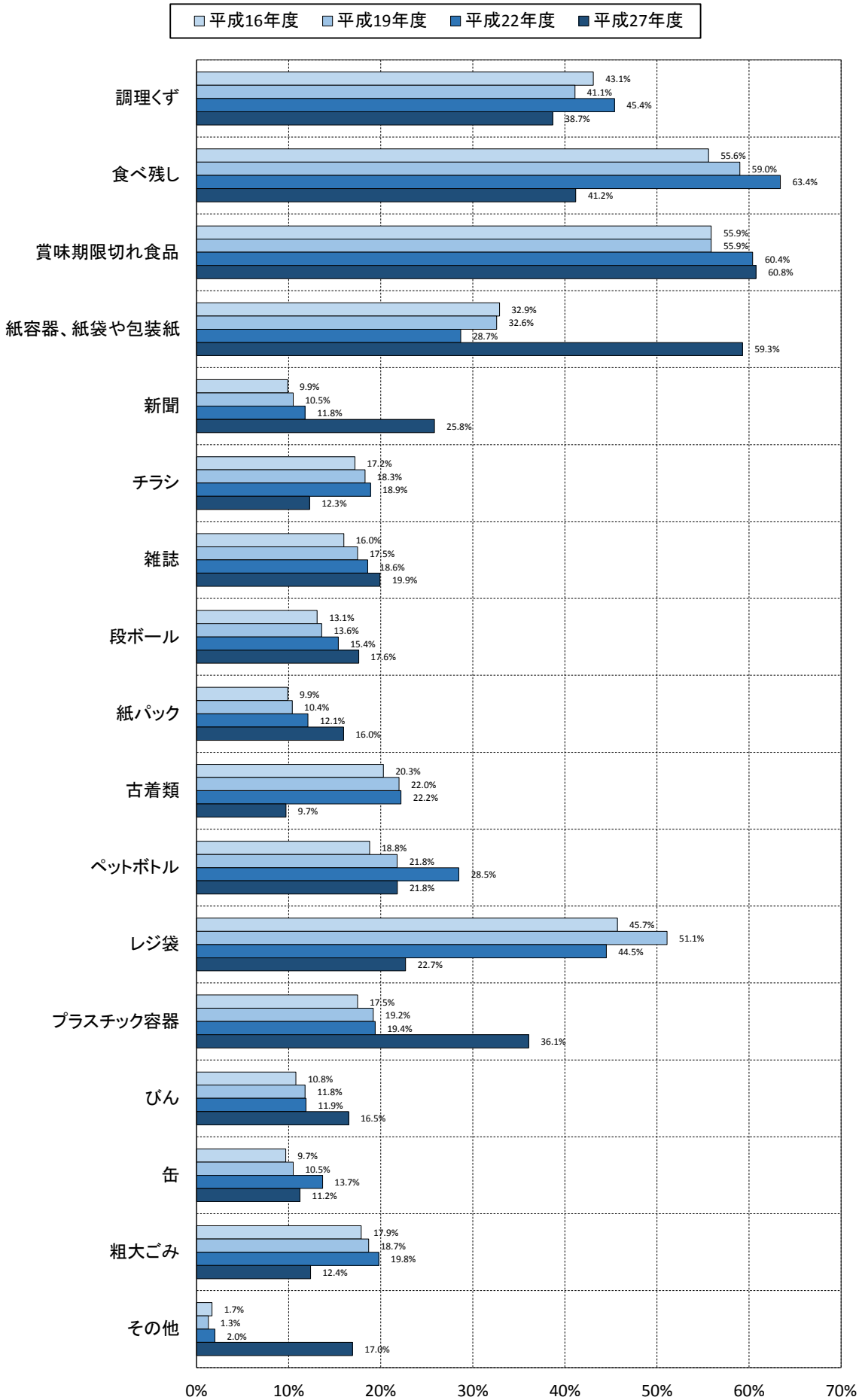


図　7-4-1　「年度別　家庭から出る量を減らせるごみ」回答率

7-4-2　問35　増え続けるごみを減らすため、ごみ（可燃ごみ）の排出に料金を課す市町が増えています。税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか？

「税金を使ってごみ処理を行うこと」については、「量に応じ出す人が負担する」が各年度で最も高くなっている。
調査年度ごとの変化はあまりみられないが、「よくわからない」が調査年度ごとに増えている。
「税金で処理する」が27.6%⇒22.1%⇒24.5%⇒23.6%、また「量に応じ出す人が負担する」は、44.8%⇒49.5%⇒46.8%⇒47.6%と変化している。

問35		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	税金で処理する	1,058	27.6%	815	22.1%	773	24.5%	703	23.6%
2	量に応じ出す人が負担する	1,718	44.8%	1,821	49.5%	1,475	46.8%	1,418	47.6%
3	福祉や教育等に使うのがよい	485	12.6%	521	14.1%	372	11.8%	297	10.0%
4	よくわからない	80	2.1%	76	2.1%	403	12.8%	413	13.9%
5	その他	241	6.3%	292	7.9%	53	1.7%	42	1.4%
99	無回答	253	6.6%	157	4.3%	78	2.4%	106	3.5%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-4-3　年度別「税金を使ってごみ処理を行うこと」　回答状況

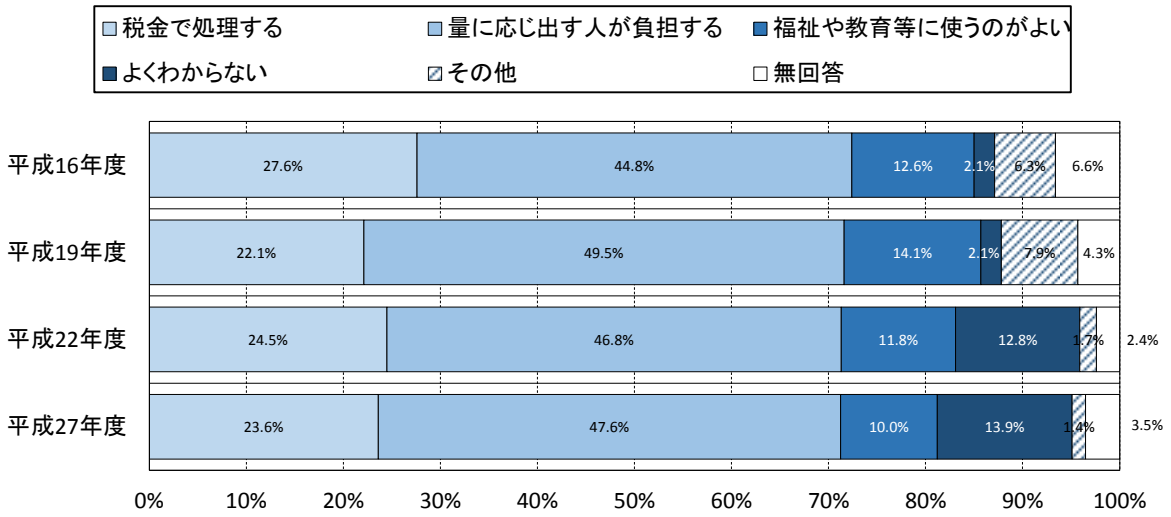


図　7-4-2　「年度別　税金を使ってごみ処理を行うこと」回答率

7-4-3　問36　出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？

「ごみの量に応じたごみの有料化」については、調査年度ごとの変化はあまりみられない。

問36		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	賛成	1,064	27.7%	1,149	31.2%	744	23.6%	620	20.8%
2	どちらかというと賛成	1,460	38.1%	1,474	40.0%	1,353	42.9%	1,313	44.1%
1+2		2,524	65.8%	2,623	71.2%	2,097	66.5%	1,933	64.9%
3	どちらかというと反対	653	17.0%	577	15.7%	644	20.4%	592	19.9%
4	反対	400	10.4%	316	8.6%	309	9.8%	302	10.1%
3+4		1,053	27.4%	893	24.3%	953	30.2%	894	30.0%
99	無回答	258	6.8%	166	4.5%	104	3.3%	152	5.1%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-4-4　「年度別　ごみの量に応じたごみの有料化」回答状況

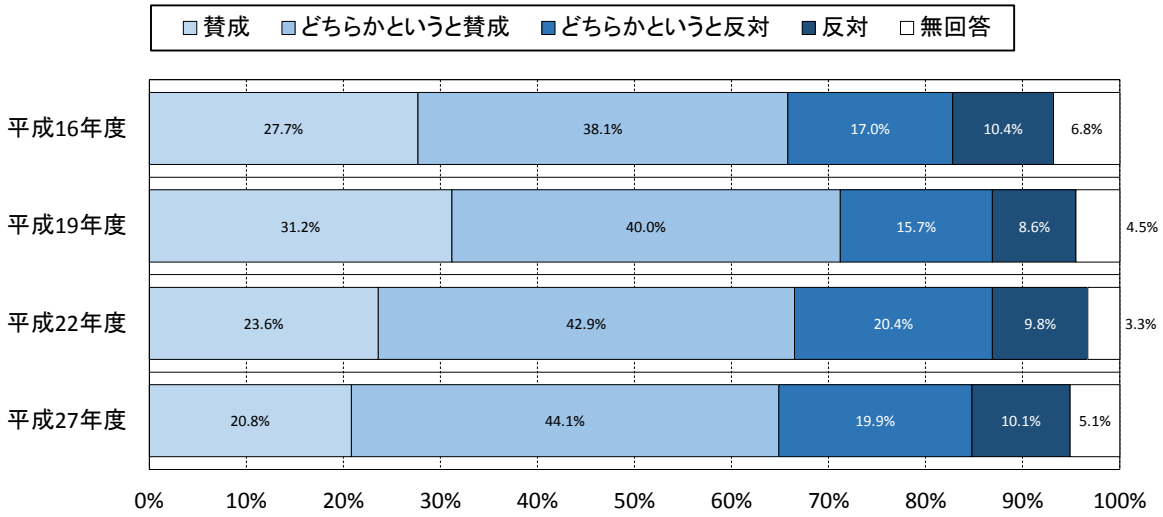


図　7-4-3　「年度別　ごみの量に応じたごみの有料化」回答率

7-4-4　問37　ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？

「ごみ有料化で重視すべきこと」については、「家計への負担が少ない料金とすること」、「ルール違反（不法投棄など）を許さないこと」が各年度いずれも上位に入っている。

問37		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平な仕組みとすること	1,104	28.8%	1,037	28.2%	1,092	34.6%	996	33.4%
2	家計への負担が少ない料金とすること	1,655	43.2%	1,628	44.2%	1,641	52.0%	1,628	54.6%
3	ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること	459	12.0%	343	9.3%	404	12.8%	371	12.5%
4	一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること	702	18.3%	710	19.3%	669	21.2%	643	21.6%
5	有料化によって得られた成果をきちんと説明すること	961	25.1%	1,020	27.7%	1,017	32.2%	919	30.8%
6	ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	1,901	49.6%	1,483	40.3%	1,160	36.8%	941	31.6%
7	ルール違反（不法投棄など）を許さないこと	1,589	41.4%	1,541	41.9%	1,332	42.2%	1,250	42.0%
8	有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を合わせて検討すること	1,227	32.0%	920	25.0%	715	22.7%	703	23.6%
9	有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途（福祉や教育等）に使うことを検討すること	399	10.4%	459	12.5%	338	10.7%	365	12.3%
10	その他	82	2.1%	58	1.6%	59	1.9%	67	2.2%
総回答数		10,079	262.9%	9,199	250.0%	8,427	267.1%	7,883	264.6%
有効回答数		3,835		3,682		3,154		2,979	

表　7-4-5　「年度別　ごみ有料化で重視すべきこと」回答状況

問27順位表		平成16年度	平成19年度	平成22年度	平成27年度
1	家計への負担が少ない料金とすること	2	1	1	1
2	ルール違反（不法投棄など）を許さないこと	3	2	2	2
3	ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平な仕組みとすること	5	4	4	3
4	ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること	1	3	3	4
5	有料化によって得られた成果をきちんと説明すること	6	5	5	5
6	有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を合わせて検討すること	4	6	6	6
7	一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること	7	7	7	7
8	ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること	8	9	8	8
9	有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途（福祉や教育等）に使うことを検討すること	9	8	9	9
10	その他	10	10	10	10

表　7-4-6　「年度別　ごみ有料化で重視すべきこと」順位表

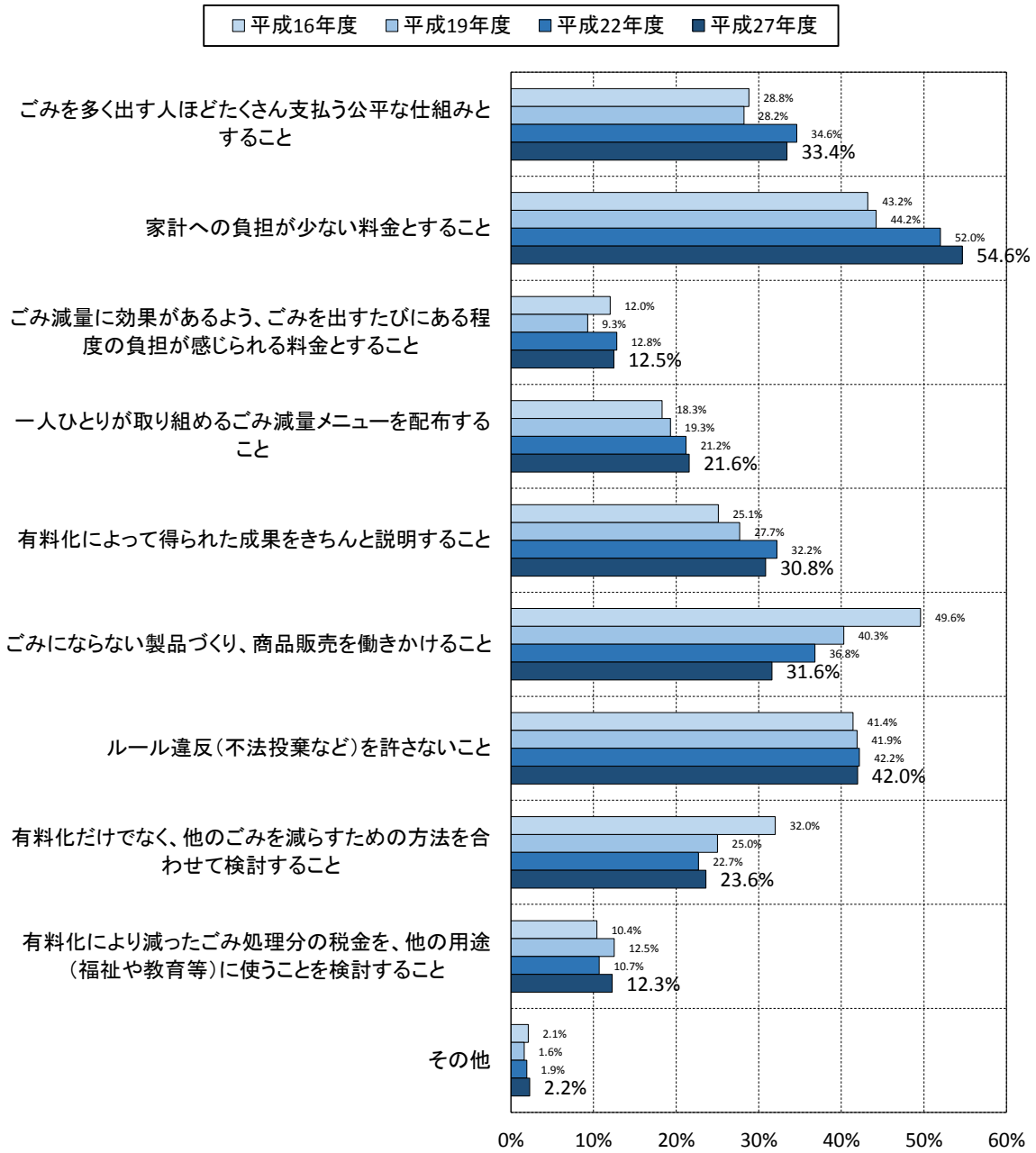


図　7-4-4　「年度別　ごみ有料化で重視すべきこと」回答率

7-4-5　問38　ごみ処理を有料化した市町では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れますか？

「ごみ有料化の料金」については、調査年度ごとの変化はあまりみられない。

問38		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	10円	2,038	53.1%	2,095	56.9%	1,755	55.6%	1,671	56.1%
2	50円程度	1,097	28.6%	1,041	28.3%	900	28.5%	806	27.1%
3	100円程度	349	9.1%	258	7.0%	258	8.2%	251	8.4%
4	200円程度	32	0.8%	38	1.0%	50	1.6%	53	1.8%
5	それ以上	24	0.6%	12	0.3%	11	0.3%	10	0.3%
99	無回答	295	7.8%	238	6.5%	180	5.8%	188	6.3%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-4-7　「年度別　ごみ有料化の料金」回答状況

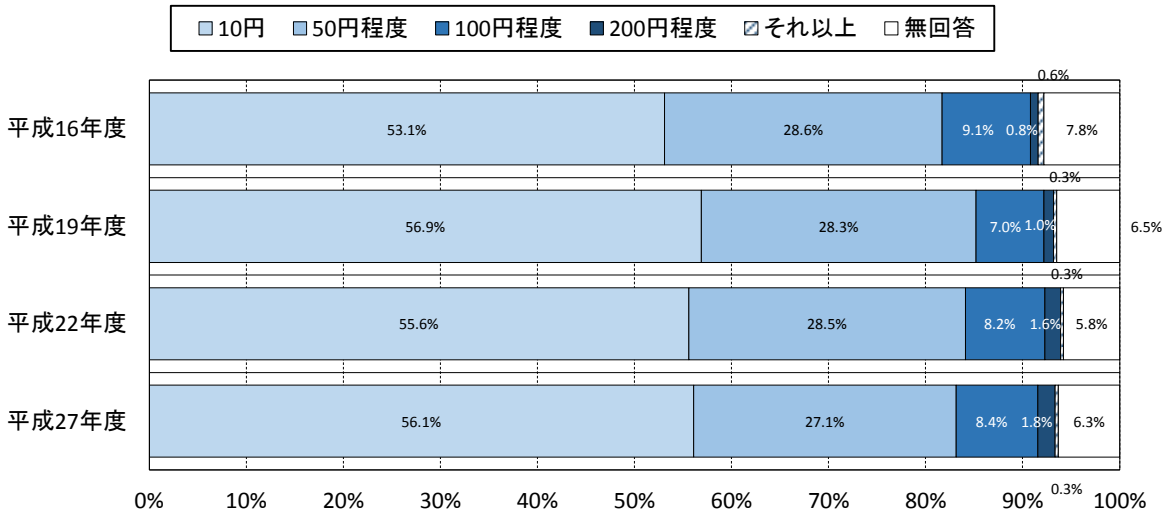


図　7-4-5　「年度別　ごみ有料化の料金」回答率

7-4-6　問41　あなたのご家庭から出る可燃ごみに限っていえば、努力によりどれだけ減らせると思いますか？

「ごみの減らせる量」については、「10%～30%」が各年度いずれも50%前後で最も高く、次いで「10%未満」が20%台となっている。ごみを減らせる量を多く考える人が減少傾向にある。

問41		平成16年度		平成19年度		平成22年度		平成27年度	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	10%未満	969	25.3%	757	20.6%	740	23.5%	806	27.1%
2	10～30%	1,802	47.0%	1,832	49.8%	1,629	51.6%	1,452	48.7%
3	30～50%	430	11.2%	516	14.0%	347	11.0%	281	9.4%
4	50～80%	99	2.6%	93	2.5%	70	2.2%	62	2.1%
5	80%以上	24	0.6%	32	0.9%	17	0.5%	16	0.5%
6	減らせない	306	8.0%	279	7.6%	256	8.1%	238	8.0%
99	無回答	205	5.3%	173	4.6%	95	3.1%	124	4.2%
計		3,835	100%	3,682	100%	3,154	100%	2,979	100%

表　7-4-8　年度別「ごみの減らせる量」　回答状況

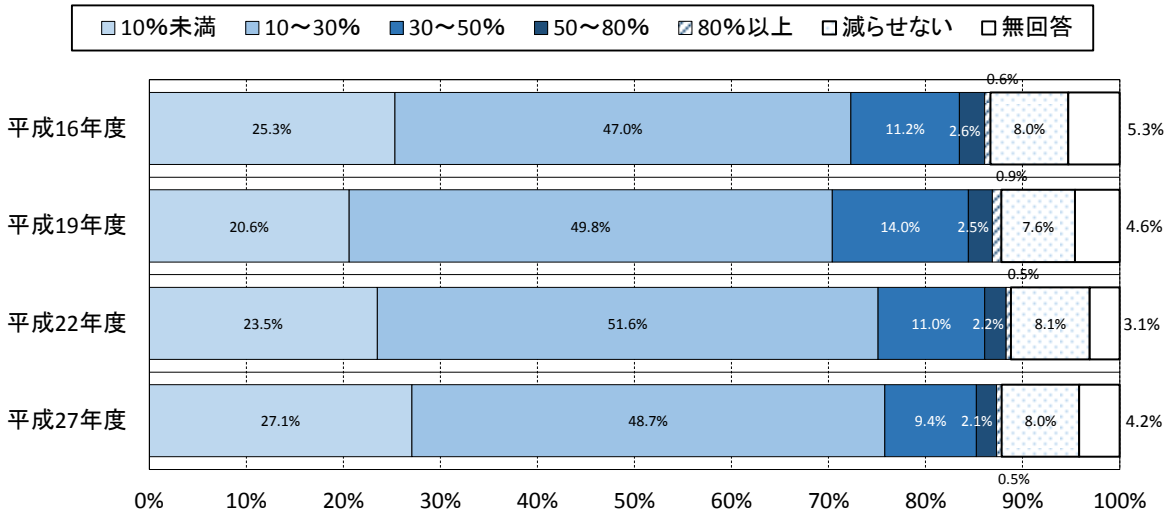


図　7-4-6　「年度別　ごみの減らせる量」回答率

8　平成19年度・平成22年度・平成27年度比較

8-1　現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について

8-1-1　問25　ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？

年度別「分別数の増加について」は、「賛成（“賛成”＋“どちらかというと賛成”）」は調査年度ごとに減少している。

問25		1 賛成	2 どちらかというと賛成	1+2 賛成	3 どちらかというと反対	4 反対	3+4 反対	5 無回答	計
平成19年度	回答数	1,411	1,584	2,995	446	70	516	171	3,682
	回答率	38.3%	43.0%	81.3%	12.1%	1.9%	14.0%	4.7%	100%
平成22年度	回答数	1,152	1,449	2,601	410	94	504	49	3,154
	回答率	36.5%	45.9%	82.4%	13.0%	3.0%	16.0%	1.6%	100%
平成27年度	回答数	912	1,444	2,356	472	77	549	74	2,979
	回答率	30.6%	48.5%	79.1%	15.8%	2.6%	18.4%	2.5%	100%

表　8-1-1　「年度別　分別数の増加について」回答状況

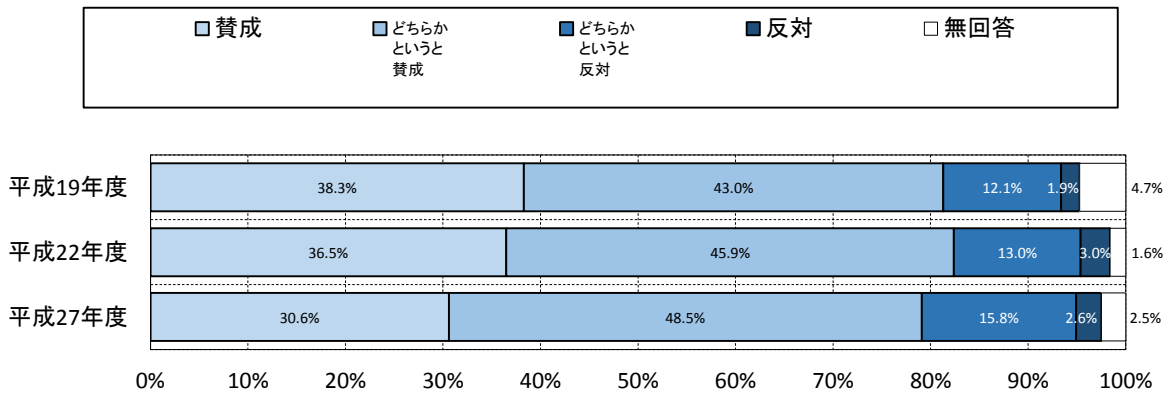


図　8-1-1　「年度別　分別数の増加について」回答率

8-2　「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画について

8-2-1　問42　ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてあなたの意見をお聞きします。

（1）計画づくりには、できるだけ多くの住民が参画することが必要だと思いますか？

「ごみ処理基本計画への住民参画」については、「思う（“とてもそう思う”＋“少しそう思う”）」は調査年度ごとに減少している。

問42-1		1 とてもそう思う	2 少しそう思う	1+2 思う	3 あまりそうは思わない	4 まったくそうは思わない	3+4 思わない	5 無回答	計
平成19年度	回答数	1,715	1,466	3,181	320	37	357	144	3,682
	回答率	46.6%	39.8%	86.4%	8.7%	1.0%	9.7%	3.9%	100%
平成22年度	回答数	1,317	1,381	2,698	335	28	363	93	3,154
	回答率	41.8%	43.8%	85.6%	10.6%	0.9%	11.5%	2.9%	100%
平成27年度	回答数	1,109	1,230	2,339	497	43	540	100	2,979
	回答率	37.2%	41.3%	78.5%	16.7%	1.4%	18.1%	3.4%	100%

表　8-2-1　「年度別　ごみ処理基本計画への住民参画」回答状況

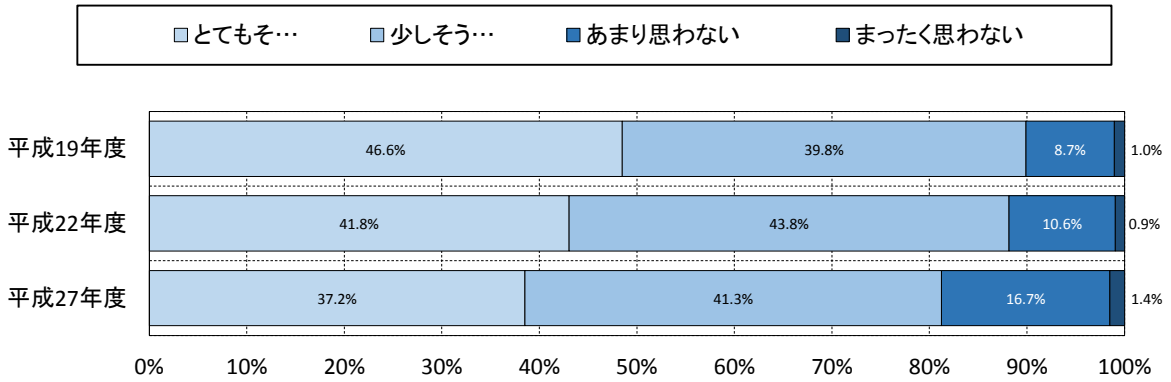


図　8-2-1　「年度別　ごみ処理基本計画への住民参画」回答率

（2）計画づくりに住民が参画すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？

「計画づくりへの住民参画による要望や意見の反映」については、「思う（“とてもそう思う”＋“少しそう思う”）」が平成27年度は平成22年度に比べ4.1%減少している。

問42-2		1 とてもそう思う	2 少しそう思う	1+2 思う	3 あまりそうは思わない	4 まったくそうは思わない	3+4 思わない	5 無回答	計
平成19年度	回答数	1,172	1,835	3,007	481	54	535	140	3,682
	回答率	31.8%	49.8%	81.6%	13.1%	1.5%	14.6%	3.8%	100%
平成22年度	回答数	865	1,718	2,583	423	51	474	97	3,154
	回答率	27.4%	54.5%	81.9%	13.4%	1.6%	15.0%	3.1%	100%
平成27年度	回答数	708	1,611	2,319	487	75	562	98	2,979
	回答率	23.8%	54.1%	77.9%	16.3%	2.5%	18.8%	3.3%	100%

表　8-2-2　年度別「計画づくりへの住民参画による要望や意見の反映」　回答状況

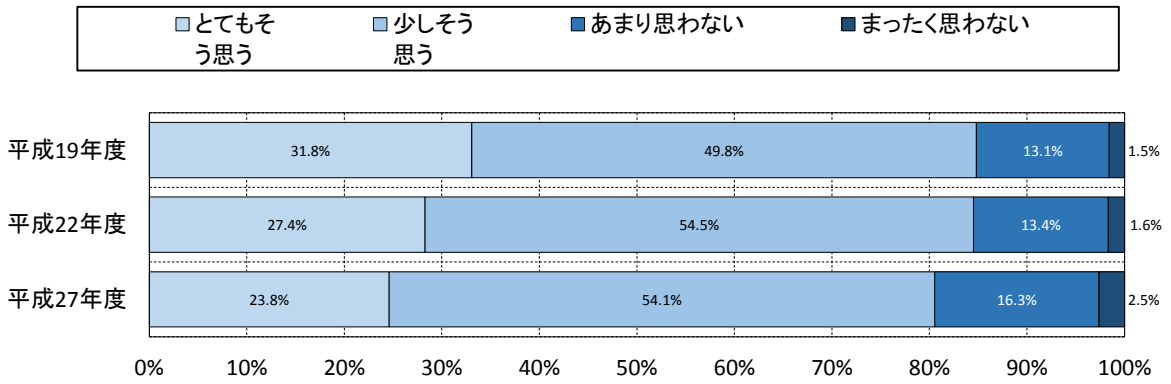


図　8-2-2　「年度別　計画づくりへの住民参画による要望や意見の反映」回答率

（3）計画は市町が主体的につくる方がよいと思いますか？

「計画は市町が主体的につくる方がよい」は、「思う（“とてもそう思う”＋“少しそう思う”）」が調査年度ごとに増加している。

問42-3		1 とてもそう思う	2 少しそう思う	1+2 思う	3 あまりそうは思わない	4 まったくそうは思わない	3+4 思わない	5 無回答	計
平成19年度	回答数	1,077	1,495	2,572	747	185	932	178	3,682
	回答率	29.3%	40.6%	69.9%	20.3%	5.0%	25.3%	4.8%	100%
平成22年度	回答数	942	1,418	2,360	566	110	676	118	3,154
	回答率	29.9%	45.0%	74.9%	17.9%	3.5%	21.4%	3.7%	100%
平成27年度	回答数	838	1,419	2,257	517	90	607	115	2,979
	回答率	28.1%	47.6%	75.7%	17.4%	3.0%	20.4%	3.9%	100%

表　8-2-3　「年度別　計画は市町が主体的につくる方がよい」回答状況

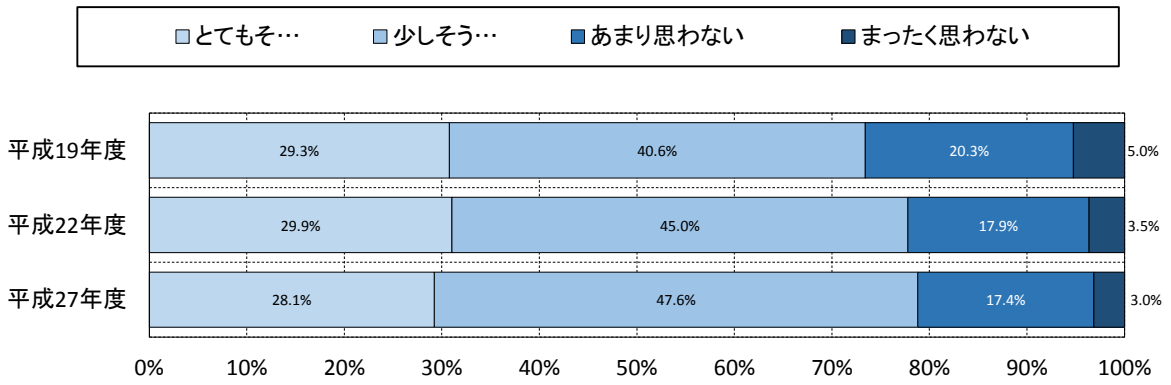


図　8-2-3　「年度別　計画は市町が主体的につくる方がよい」回答率

（4）あなたが計画づくりに参画することで、様々な情報を入手できると思いますか？

「計画づくりに参画することによる情報の入手」は、「思う（“とてもそう思う”＋“少しそう思う”）」が調査年度ごとに増加している。

問42-4		1 とてもそう思う	2 少しそう思う	1+2 思う	3 あまりそうは思わない	4 まったくそうは思わない	3+4 思わない	5 無回答	計
平成19年度	回答数	809	1,955	2,764	671	88	759	159	3,682
	回答率	22.0%	53.1%	75.1%	18.2%	2.4%	20.6%	4.3%	100%
平成22年度	回答数	593	1,802	2,395	558	85	643	116	3,154
	回答率	18.8%	57.1%	75.9%	17.7%	2.7%	20.4%	3.7%	100%
平成27年度	回答数	442	1,697	2,139	627	90	717	123	2,979
	回答率	14.8%	57.0%	71.8%	21.0%	3.0%	24.0%	4.2%	100%

表　8-2-4　「年度別　計画づくりに参画することによる情報の入手」回答状況

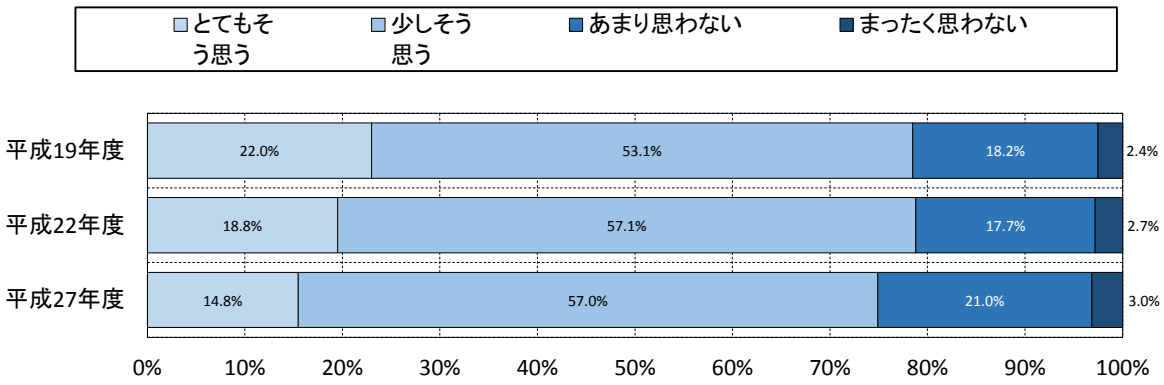


図　8-2-4　「年度別　計画づくりに参画することによる情報の入手」回答率

（5）あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？

「計画づくりには時間や手間がかかり大変である」は、「思う（“とてもそう思う”＋“少しそう思う”）」が調査年度ごとに増加している。

問42-5		1 とてもそう思う	2 少しそう思う	1+2 思う	3 あまりそうは思わない	4 まったくそうは思わない	3+4 思わない	5 無回答	計
平成19年度	回答数	1,063	2,061	3,124	327	65	392	165	3,681
	回答率	28.9%	56.0%	84.9%	8.9%	1.8%	10.7%	4.4%	100%
平成22年度	回答数	929	1,786	2,715	275	48	323	116	3,154
	回答率	29.5%	56.6%	86.1%	8.7%	1.5%	10.2%	3.7%	100%
平成27年度	回答数	851	1,722	2,573	258	38	296	110	2,979
	回答率	28.6%	57.8%	86.4%	8.7%	1.3%	10.0%	3.6%	100%

表　8-2-5　年度別「計画づくりには時間や手間がかかり大変である」　回答状況

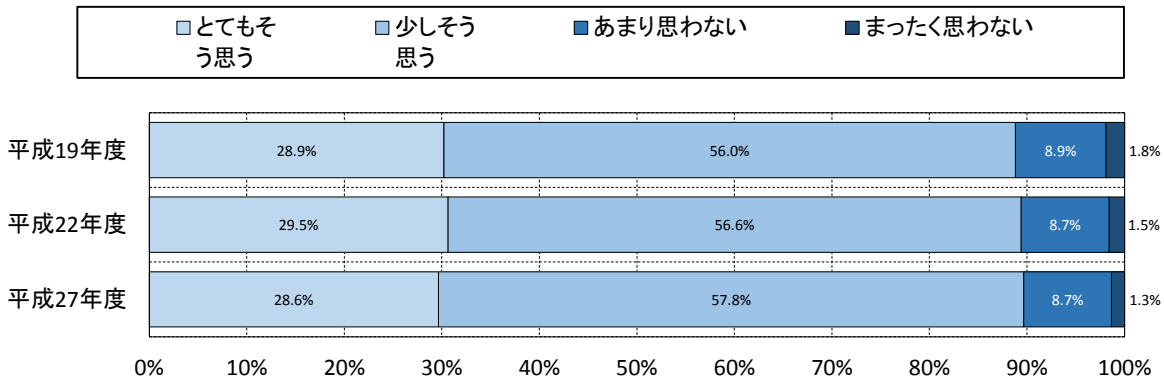


図　8-2-5　「年度別　計画づくりには時間や手間がかかり大変である」回答率

（6）今後、このような計画づくりに住民参画の機会があった場合、あなたは参画したですか？

「計画づくりへの参画の意向」は、「思う（“とてもそう思う”＋“少しそう思う”）」が調査年度ごとに減少している。

問42-6		1 とてもそう思う	2 少しそう思う	1+2 思う	3 あまりそうは思わない	4 まったくそうは思わない	3+4 思わない	5 無回答	計
平成19年度	回答数	323	1,772	2,095	1,134	277	1,411	176	3,682
	回答率	8.8%	48.1%	56.9%	30.8%	7.5%	38.3%	4.8%	100%
平成22年度	回答数	224	1,487	1,711	1,038	279	1,317	126	3,154
	回答率	7.1%	47.1%	54.2%	32.9%	8.8%	41.7%	4.1%	100%
平成27年度	回答数	153	1,306	1,459	1,108	282	1,390	130	2,979
	回答率	5.1%	43.8%	48.9%	37.2%	9.5%	46.7%	4.4%	100%

表　8-2-6　「年度別　参加の意向」回答状況

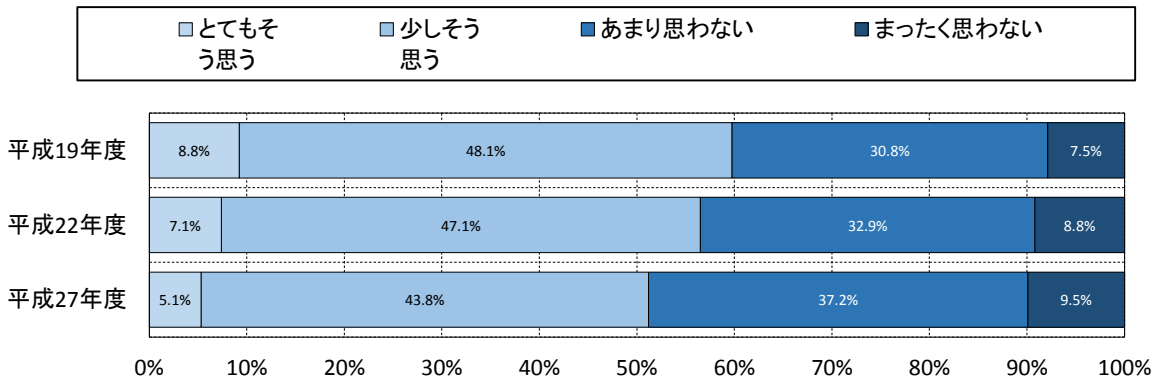


図　8-2-6　「年度別　参画の意向」回答率

8-3　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について

8-3-1　問43　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？

（1）全体

「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、全体でみると、平成27年度は平成22年度と比較して、「知っている」、「知らない」が1.6%から0.4%減少し、「名前は聞いたことがある」が1.9%増加している。「知っている」は調査年度ごとに減少している。

問43-1：全体		年度	回答数	回答率	平成27年度-平成19年度	平成27年度-平成22年度
1	知っている	平成19年度	351	9.5%	-5.0%	-0.4%
		平成22年度	156	4.9%		
		平成27年度	135	4.5%		
2	名前は聞いたことがある	平成19年度	1328	36.1%	-2.2%	1.9%
		平成22年度	1006	32.0%		
		平成27年度	1009	33.9%		
3	知らない	平成19年度	1882	51.1%	8.0%	-1.6%
		平成22年度	1920	60.7%		
		平成27年度	1762	59.1%		
4	無回答	平成19年度	121	3.3%	-0.8%	0.1%
		平成22年度	72	2.4%		
		平成27年度	73	2.5%		
計		平成19年度	3682	100%		
		平成22年度	3154	100%		
		平成27年度	2979	100%		

表　8-3-1　「全体　年度別　ごみゼロ社会実現プランの認知度」回答状況

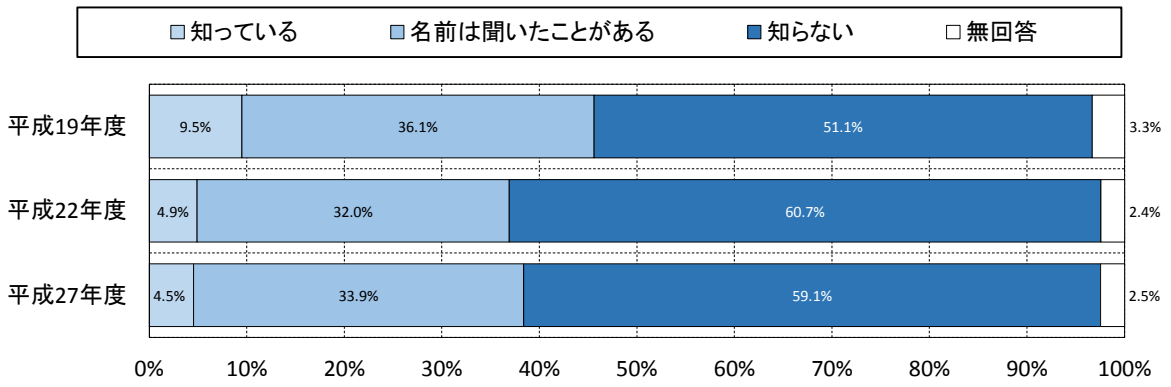


図　8-3-1　「全体　年度別　ごみゼロ社会実現プランの認知度」回答率

（2）年代別

「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、年代別でみると「知っている」は「40代」、「50代」を除き減少している。「知らない」、「名前は聞いたことがある」は「60代」、「70代以下」を除き増加している。

問43：年代別：回答数		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	計
20代	平成19年度	18	58	154	3	233
	平成22年度	5	60	140	2	207
	平成27年度	1	56	101	0	158
30代	平成19年度	22	144	289	11	466
	平成22年度	10	96	309	1	416
	平成27年度	6	74	204	0	284
40代	平成19年度	39	185	337	11	572
	平成22年度	19	118	306	1	444
	平成27年度	17	125	256	2	400
50代	平成19年度	74	314	436	23	847
	平成22年度	25	198	413	2	638
	平成27年度	29	172	286	5	492
60代	平成19年度	88	344	351	25	808
	平成22年度	56	305	446	8	815
	平成27年度	29	285	465	8	787
70代以上	平成19年度	99	247	268	32	646
	平成22年度	41	225	298	18	582
	平成27年度	52	289	439	45	825

表　8-3-2　「年代別　年度別　ごみゼロ社会実現プランの認知度」回答数

問43：年代別：回答率		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	計
20代	平成19年度	7.7%	24.9%	66.1%	1.3%	100%
	平成22年度	2.4%	29.0%	67.6%	1.0%	100%
	平成27年度	0.6%	35.4%	64.0%	0.0%	100%
30代	平成19年度	4.7%	30.9%	62.0%	2.4%	100%
	平成22年度	2.4%	23.1%	74.3%	0.2%	100%
	平成27年度	2.1%	26.1%	71.8%	0.0%	100%
40代	平成19年度	6.8%	32.3%	58.9%	2.0%	100%
	平成22年度	4.3%	26.6%	68.9%	0.2%	100%
	平成27年度	4.3%	31.3%	64.0%	0.4%	100%
50代	平成19年度	8.7%	37.1%	51.5%	2.7%	100%
	平成22年度	4.0%	31.0%	64.7%	0.3%	100%
	平成27年度	5.9%	35.0%	58.1%	1.0%	100%
60代	平成19年度	10.9%	42.6%	43.4%	3.1%	100%
	平成22年度	6.9%	37.4%	54.7%	1.0%	100%
	平成27年度	3.7%	36.2%	59.1%	1.0%	100%
70代以上	平成19年度	15.3%	38.2%	41.5%	5.0%	100%
	平成22年度	7.0%	38.7%	51.2%	3.1%	100%
	平成27年度	6.3%	35.0%	53.2%	5.5%	100%

表　8-3-3　「年代別　年度別　ごみゼロ社会実現プランの認知度」回答率

問43：年代別：回答率差		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
20代	平成22年度-平成19年度	-5.3%	4.1%	1.5%	-0.3%
30代		-2.3%	-7.8%	12.3%	-2.1%
40代		-2.5%	-5.8%	10.0%	-1.7%
50代		-4.8%	-6.0%	13.3%	-2.4%
60代		-4.0%	-5.2%	11.3%	-2.1%
70代以上		-8.3%	0.4%	9.7%	-1.9%
20代	平成27年度-平成22年度	-1.8%	6.4%	-3.6%	-1.0%
30代		-0.3%	3.0%	-2.5%	-0.2%
40代		0.0%	4.7%	-4.9%	0.2%
50代		1.9%	4.0%	-6.6%	0.7%
60代		-2.2%	-1.2%	4.4%	4.0%
70代以上		-0.7%	-3.7%	2.0%	2.4%
20代	平成27年度-平成19年度	-7.1%	10.5%	-2.1%	-1.3%
30代		-2.6%	-4.8%	9.8%	-2.4%
40代		-2.6%	-1.1%	5.1%	-1.6%
50代		-2.8%	-2.1%	6.6%	-1.7%
60代		-7.2%	-6.4%	15.7%	-2.1%
70代以上		-9.0%	-3.2%	11.7%	0.5%

表　8-3-4　「年代別　年度別　ごみゼロ社会実現プランの認知度」回答率差

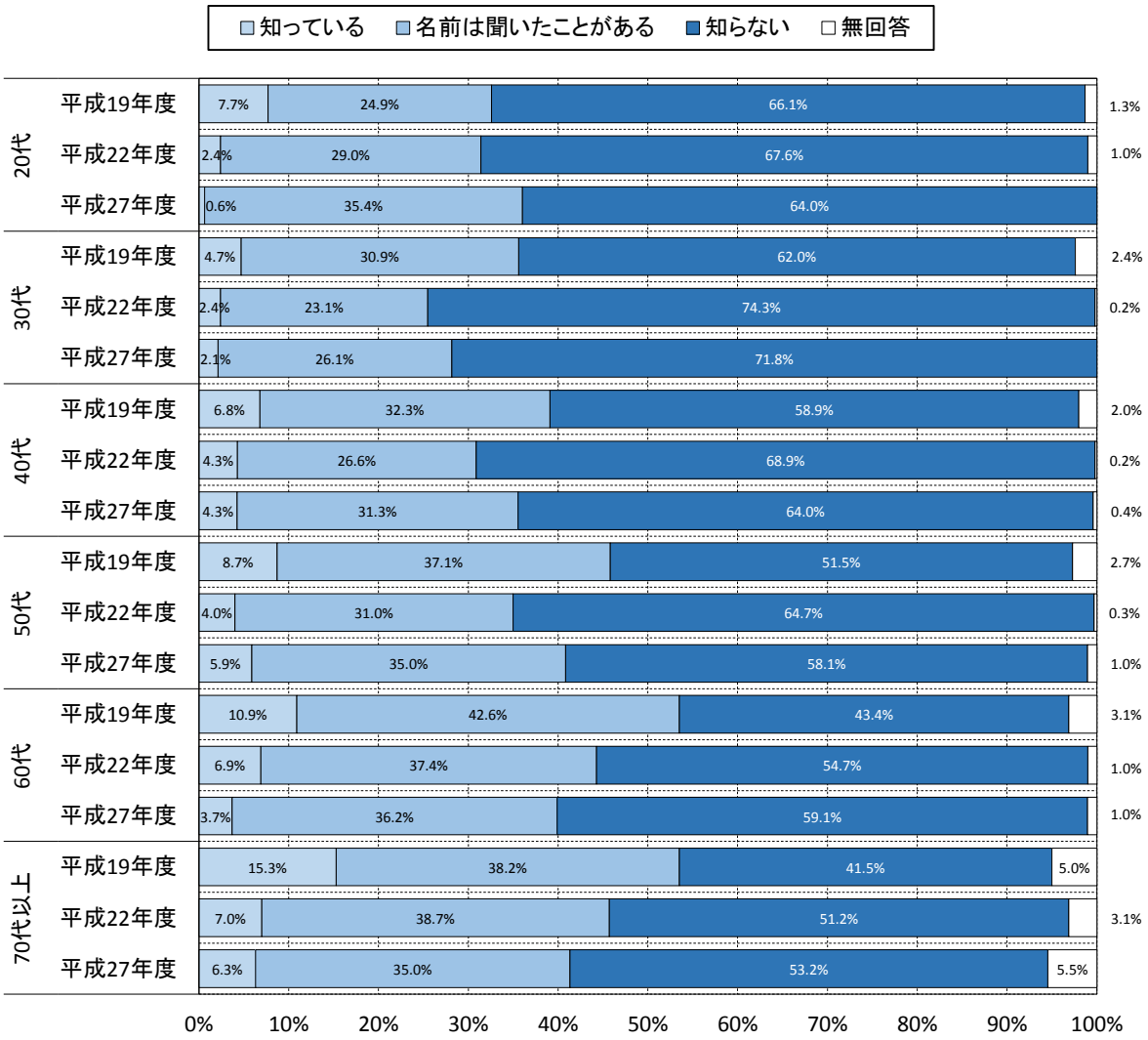


図　8-3-2　「年代別　年度別　ごみゼロ社会実現プランの認知度」回答率

（3）性別

「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、性別でみると「知っている」、「知らない」は男女ともに減少し、「名前は聞いたことがある」は男女ともに増加している。

問43：性別：回答数		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	計
女性	平成19年度	202	779	1,049	67	2,097
	平成22年度	80	632	1,150	19	1,881
	平成27年度	73	597	1,036	35	1,741
男性	平成19年度	135	508	783	35	1,461
	平成22年度	74	369	759	12	1,214
	平成27年度	59	399	703	24	1,185
問43：性別：回答率		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	計
女性	平成19年度	9.6%	37.1%	50.0%	3.3%	100%
	平成22年度	4.3%	33.6%	61.1%	1.0%	100%
	平成27年度	4.2%	34.3%	59.5%	2.0%	100%
男性	平成19年度	9.2%	34.8%	53.6%	2.4%	100%
	平成22年度	6.1%	30.4%	62.5%	1.0%	100%
	平成27年度	5.0%	33.7%	59.3%	2.0%	100%
問43：性別：回答率差		知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	
女性	平成22年度-平成19年度	-5.4%	-3.5%	11.1%	-2.2%	
男性		-3.1%	-4.4%	8.9%	-1.4%	
女性	平成27年度-平成22年度	-0.1%	0.7%	-1.6%	1.0%	
男性		-1.1%	3.3%	-3.2%	1.0%	
女性	平成27年度-平成19年度	-5.4%	-2.8%	9.5%	-1.3%	
男性		-4.2%	-1.1%	5.7%	-0.4%	

表　8-3-5　「性別　年度別　ごみゼロ社会実現プランの認知度」回答状況、回答率差

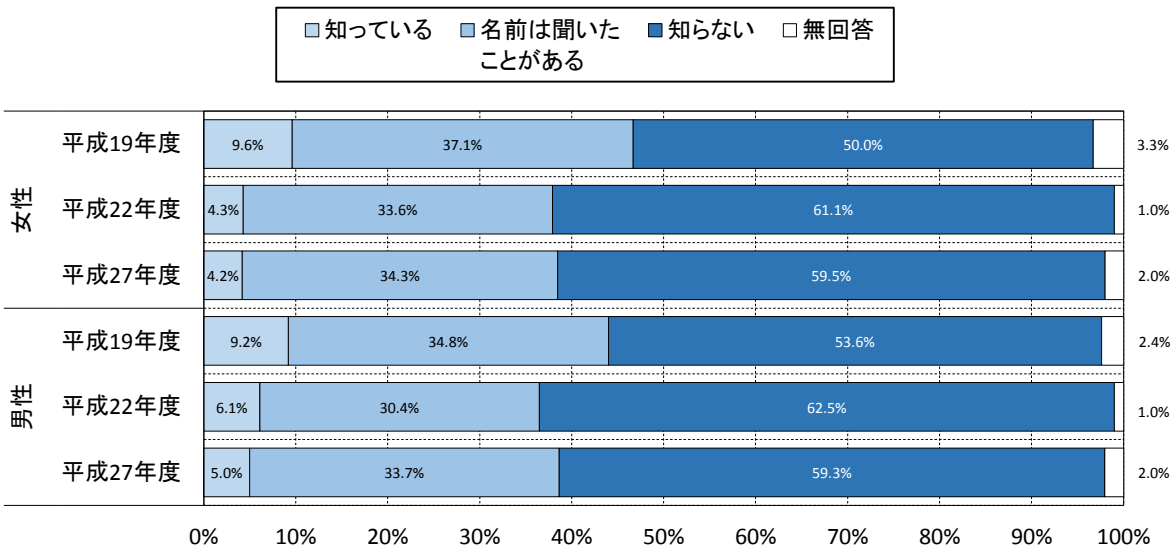


図　8-3-3　「性別　年度別　ごみゼロ社会実現プランの認知度」回答率

8-3-1　問44　三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？

（1）全体

三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」の認知度は、全体でみると、平成27年度は平成22年度と比較して、「知っている」、「見たことがある」が0.9%から1.4%減少し、「知らない」が2%増加している。「知っている」は調査年度ごとに減少し、「知らない」は増加している。

問44：全体		年度	回答数	回答率	平成27年度-平成19年度	平成27年度-平成22年度
1	知っている	平成19年度	341	9.3%	-5.1%	-0.9%
		平成22年度	156	5.1%		
		平成27年度	124	4.2%		
2	見たことはある	平成19年度	660	17.9%	-5.4%	-1.4%
		平成22年度	423	13.9%		
		平成27年度	371	12.5%		
3	知らない	平成19年度	2569	69.8%	11.0%	2.0%
		平成22年度	2393	78.8%		
		平成27年度	2407	80.8%		
4	無回答	平成19年度	112	3.0%	-0.5%	0.3%
		平成22年度	66	2.2%		
		平成27年度	77	2.5%		
計		平成19年度	3682	100%		
		平成22年度	3038	100%		
		平成27年度	2979	100%		

表　8-3-6　「全体　年度別　ゼロ吉の認知度」回答状況

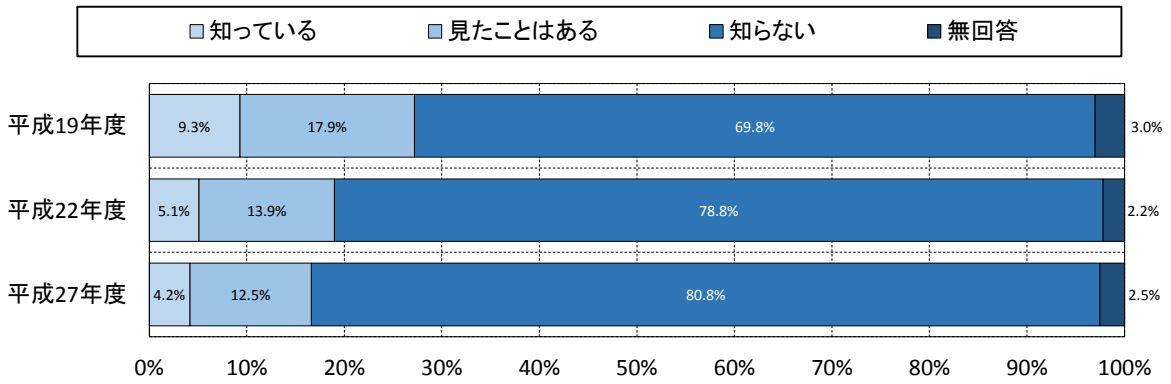


図　8-3-4　「全体　年度別　ゼロ吉の認知度」回答率

（2）年代

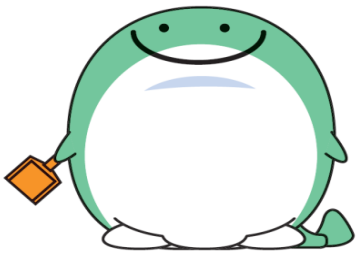
三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」の認知度は、性別でみると「知っている」が「20代」、「40代」を除き減少し、「知らない」が「20代以下」、「50代」を除き増加している。
「見たことはある」は、「20代」、「30代」、「50代」を除き減少している。

問44：年代別：回答数		知っている	見たことはある	知らない	無回答	計
20代	平成19年度	17	18	195	3	233
	平成22年度	6	25	174	2	207
	平成27年度	9	23	126	0	158
30代	平成19年度	46	36	374	10	466
	平成22年度	23	36	357	0	416
	平成27年度	10	29	245	0	284
40代	平成19年度	58	78	425	11	572
	平成22年度	30	45	367	2	444
	平成27年度	32	30	337	1	400
50代	平成19年度	60	163	602	22	847
	平成22年度	29	76	531	2	638
	平成27年度	18	63	406	5	492
60代	平成19年度	74	186	524	24	808
	平成22年度	41	128	641	5	815
	平成27年度	24	85	668	10	787
70代以上	平成19年度	74	161	383	28	646
	平成22年度	33	129	405	15	582
	平成27年度	31	136	610	48	825

表　8-3-7　「年代別　年度別　ゼロ吉の認知度」回答数

問44：年代別：回答率		知っている	見たことはある	知らない	無回答	計
20代	平成19年度	7.3%	7.7%	83.7%	1.3%	100%
	平成22年度	2.9%	12.1%	84.1%	0.9%	100%
	平成27年度	5.7%	14.6%	79.7%	0.0%	100%
30代	平成19年度	9.9%	7.7%	80.3%	2.1%	100%
	平成22年度	5.5%	8.7%	85.8%	0.0%	100%
	平成27年度	3.5%	10.2%	86.3%	0.0%	100%
40代	平成19年度	10.1%	13.6%	74.3%	2.0%	100%
	平成22年度	6.8%	10.1%	82.7%	0.4%	100%
	平成27年度	8.0%	7.5%	84.3%	0.2%	100%
50代	平成19年度	7.1%	19.2%	71.1%	2.6%	100%
	平成22年度	4.5%	11.9%	83.2%	0.4%	100%
	平成27年度	3.7%	12.8%	82.5%	1.0%	100%
60代	平成19年度	9.2%	23.0%	64.9%	2.9%	100%
	平成22年度	5.0%	15.7%	78.7%	0.6%	100%
	平成27年度	3.0%	10.8%	84.9%	1.3%	100%
70代以上	平成19年度	11.5%	24.9%	59.3%	4.3%	100%
	平成22年度	5.7%	22.2%	69.6%	2.5%	100%
	平成27年度	3.8%	16.5%	73.9%	5.8%	100%

表　8-3-8　「年代別　年度別　ゼロ吉の認知度」回答率



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

問44：年代別：回答率差		知っている	見たことはある	知らない	無回答
20代	平成22年度-平成19年度	-4.4%	4.4%	0.4%	-0.3%
30代		-4.3%	0.9%	5.6%	-2.1%
40代		-3.4%	-3.5%	8.4%	-1.5%
50代		-2.5%	-7.3%	12.2%	-2.3%
60代		-4.1%	-7.3%	13.8%	-2.4%
70代以上		-5.8%	-2.8%	10.3%	-1.8%
20代	平成27年度-平成22年度	2.8%	2.5%	-4.4%	-0.9%
30代		-2.0%	1.5%	0.5%	0.0%
40代		1.2%	-2.6%	1.6%	-0.2%
50代		-0.8%	0.9%	-0.7%	0.6%
60代		-2.0%	-4.9%	6.2%	0.7%
70代以上		-1.9%	-5.7%	4.3%	3.3%
20代	平成27年度-平成19年度	-1.6%	6.9%	-4.0%	-1.3%
30代		-6.4%	2.5%	6.0%	-2.1%
40代		-2.1%	-6.1%	10.0%	-1.8%
50代		-3.4%	-6.4%	11.4%	-1.6%
60代		-6.2%	-12.2%	20.0%	-1.6%
70代以上		-7.7%	-8.4%	14.6%	1.5%

表　8-3-9　「年代別　年度別　ゼロ吉の認知度」回答率差

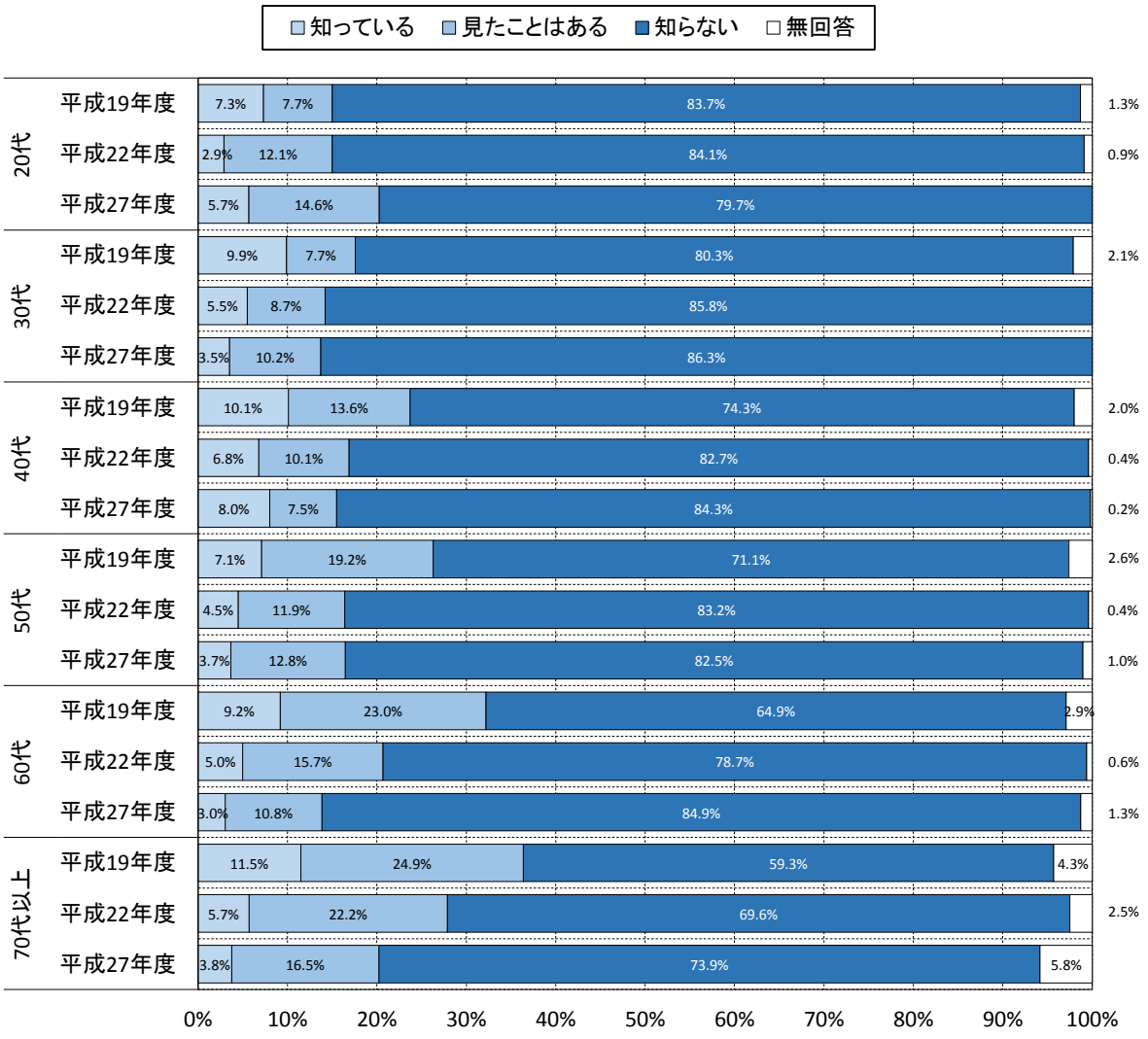


図　8-3-5　「年代別　年度別　ゼロ吉の認知度」回答率

（3）性別

三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」の認知度は、性別でみると「知っている」が「20代以下」、「40代」を除き減少し、「知らない」が「20代以下」、「50代」を除き増加している。「見たことはある」は、「20代」、「30代」、「50代」を除き減少している。

問44：性別：回答数		知っている	見たことはある	知らない	無回答	計
女性	平成19年度	202	779	1,049	67	2,097
	平成22年度	80	632	1,150	19	1,881
	平成27年度	78	220	1,406	37	1,741
男性	平成19年度	135	508	783	35	1,461
	平成22年度	74	369	759	12	1,214
	平成27年度	44	146	969	26	1,185
問44：性別：回答率		知っている	見たことはある	知らない	無回答	計
女性	平成19年度	9.6%	37.1%	50.0%	3.3%	100%
	平成22年度	4.3%	33.6%	61.1%	1.0%	100%
	平成27年度	4.5%	12.6%	80.8%	2.1%	100%
男性	平成19年度	9.2%	34.8%	53.6%	2.4%	100%
	平成22年度	6.1%	30.4%	62.5%	1.0%	100%
	平成27年度	3.7%	12.3%	81.8%	2.2%	100%
問44：性別：回答率差		知っている	見たことはある	知らない	無回答	
女性	平成22年度-平成19年度	-5.4%	-3.5%	11.1%	-2.2%	
男性		-3.1%	-4.4%	8.9%	-1.4%	
女性	平成27年度-平成22年度	0.2%	-21.0%	19.7%	1.1%	
男性		-2.4%	-18.1%	19.3%	1.2%	
女性	平成27年度-平成19年度	-5.1%	-24.5%	30.8%	-1.2%	
男性		-5.5%	-22.5%	28.2%	-0.2%	

表　8-3-10　「性別　年度別　ゼロ吉の認知度」回答状況、回答差

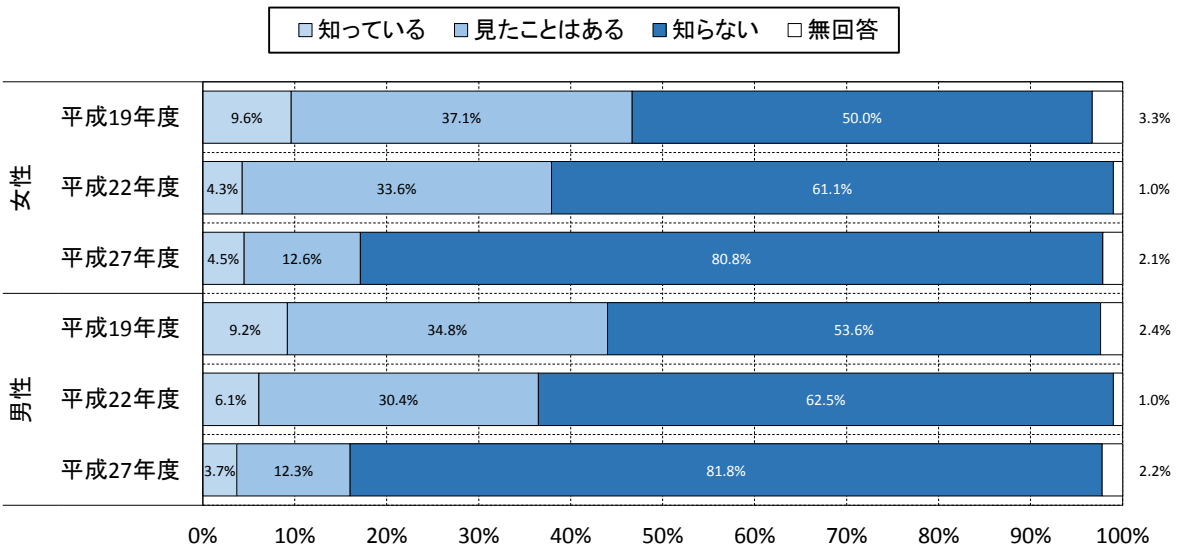


図　8-3-6　「性別　年度別　ゼロ吉の認知度」回答率差

8-3-3　問45　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参画の取組に参加したいと思いますか？

（1）全体

「県民参画の取組への参加」は、いずれの年度でも「アンケートなどに協力したい」が高いが、調査年度ごとに全体的に低下傾向にある。
平成27年度は平成22年度と比較して、「ごみゼロの取組をまとめた「ごみゼロレポート」を読みたい」が2.8%増加し、「アンケートなどに協力したい」が3.2%減少した。「いずれにも参加したいとは思わない」は1.6%増加している。

問44：全体		年度	回答数	回答率	平成27年度-平成19年度	平成27年度-平成22年度
1	地域ごみゼロ交流会に参加したい	平成19年度	421	11.4%	-3.9%	-1.7%
		平成22年度	289	9.2%		
		平成27年度	223	7.5%		
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	平成19年度	488	13.3%	-3.3%	-1.2%
		平成22年度	352	11.2%		
		平成27年度	298	10.0%		
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	平成19年度	808	21.9%	0.5%	2.8%
		平成22年度	619	19.6%		
		平成27年度	666	22.4%		
4	ゼロ吉Facebookでイベントなどの情報を読みたい	平成19年度	－	－	－	－
		平成22年度	－	－		
		平成27年度	193	6.5%		
5	ごみゼロプランの進み具合やごみ減量化などの取組をまとめた「点検・評価」を読みたい	平成19年度	－	－	－	－
		平成22年度	－	－		
		平成27年度	713	23.9%		
6	アンケートなどに協力したい	平成19年度	1382	37.5%	-4.2%	-3.2%
		平成22年度	1152	36.5%		
		平成27年度	992	33.3%		
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	平成19年度	112	3.0%	-1.2%	-0.4%
		平成22年度	68	2.2%		
		平成27年度	55	1.8%		
8	ごみゼロプランの進歩状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい	平成19年度	115	3.1%	0.5%	0.7%
		平成22年度	92	2.9%		
		平成27年度	107	3.6%		
9	いずれにも参加したいとは思わない	平成19年度	657	17.8%	8.0%	1.6%
		平成22年度	762	24.2%		
		平成27年度	770	25.8%		
10	その他	平成19年度	82	2.2%	-0.2%	-0.6%
		平成22年度	82	2.6%		
		平成27年度	61	2.0%		
総回答数		平成19年度	4065	110.2%		
有効回答数			3682			
総回答数		平成22年度	3416	108.4%		
有効回答数			3154			
総回答数		平成27年度	4078	136.8%		
有効回答数			2979			

表　8-3-11　「全体　年度別　県民参画の取組への参加」回答状況

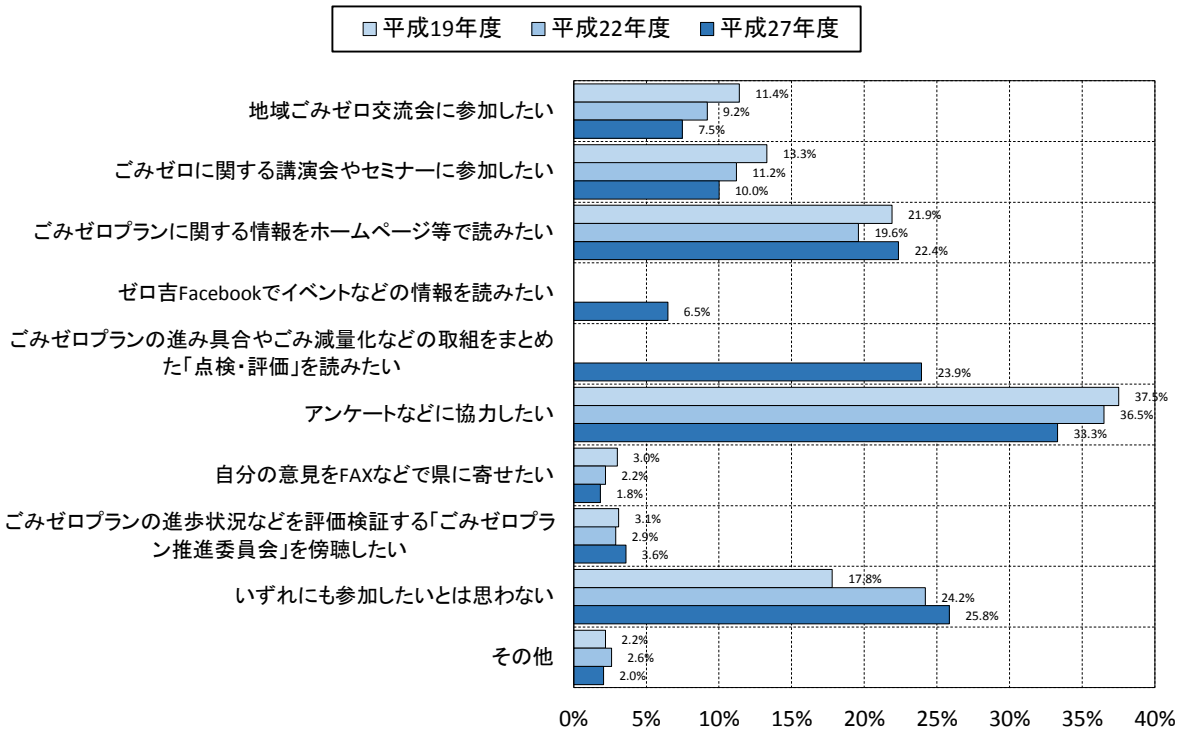


図　8-3-7　「全体　年度別　県民参画の取組への参加」回答率差

（2）年代別

「県民参画の取組への参加」の年代別では、「いずれにも参加したいと思わない」が平成27年度は平成22年度と比較して「50代」をのぞき増加している。特に30代以下は5%以上の増加となっている。
「地域ごみゼロ交流会に参加」は、すべての年代で減少している。

問45 年代別：回答率		年度	1	2	3	4	5	6	99
			20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
1	地域ごみゼロ交流会に参加	平成19年度	6.9%	5.8%	7.2%	9.1%	16.5%	17.0%	15.6%
		平成22年度	3.9%	5.5%	5.0%	6.4%	12.9%	15.3%	1.9%
		平成27年度	2.5%	2.8%	3.3%	4.5%	8.1%	13.1%	12.1%
2	講演会やセミナーへ参加	平成19年度	6.4%	9.0%	11.2%	11.9%	17.9%	16.6%	12.8%
		平成22年度	5.3%	4.8%	7.7%	11.8%	15.6%	14.6%	0.0%
		平成27年度	2.5%	3.2%	9.5%	9.3%	12.8%	11.8%	9.1%
3	情報をホームページ等で読みたい	平成19年度	30.5%	33.7%	30.9%	21.8%	13.1%	14.2%	18.3%
		平成22年度	30.4%	29.1%	29.5%	20.2%	13.4%	11.2%	1.9%
		平成27年度	25.9%	27.5%	33.5%	32.7%	17.8%	13.3%	6.1%
4	ゼロ吉Facebookで情報を読みたい	平成19年度	11.2%	12.9%	14.3%	11.7%	5.6%	5.7%	10.1%
		平成22年度	8.2%	6.3%	7.9%	9.7%	6.4%	3.8%	1.9%
		平成27年度	13.3%	8.8%	6.0%	5.9%	5.3%	6.1%	6.1%
5	「点検・評価」を読みたい	平成19年度	24.9%	24.2%	28.3%	26.8%	31.3%	24.9%	17.4%
		平成22年度	23.7%	21.2%	23.2%	22.9%	28.1%	21.5%	1.9%
		平成27年度	24.1%	19.4%	21.8%	26.0%	25.9%	23.9%	12.1%
6	アンケートなどに協力したい	平成19年度	44.6%	40.6%	36.7%	37.9%	38.6%	32.4%	33.9%
		平成22年度	43.5%	43.0%	35.1%	36.2%	36.8%	33.0%	7.7%
		平成27年度	37.3%	32.4%	32.3%	31.5%	32.9%	35.4%	18.2%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	平成19年度	4.3%	5.8%	3.5%	2.6%	1.9%	2.3%	2.8%
		平成22年度	2.4%	2.4%	2.7%	2.7%	1.7%	1.7%	0.0%
		平成27年度	1.3%	2.1%	2.5%	2.0%	1.9%	1.5%	0.0%
8	「プラン推進委員会」を傍聴したい	平成19年度	1.7%	4.9%	2.6%	2.6%	3.0%	3.4%	4.6%
		平成22年度	2.9%	2.6%	2.3%	2.2%	3.8%	3.4%	0.0%
		平成27年度	1.9%	2.5%	1.5%	3.7%	4.8%	4.1%	3.0%
9	いずれにも参加したいとは思わない	平成19年度	26.6%	17.2%	15.9%	19.4%	17.1%	19.3%	15.6%
		平成22年度	17.6%	27.4%	25.2%	24.6%	23.2%	22.5%	7.7%
		平成27年度	22.8%	34.2%	28.0%	21.7%	25.9%	25.2%	18.2%
10	その他	平成19年度	0.9%	1.7%	2.1%	1.9%	2.5%	3.1%	3.7%
		平成22年度	1.0%	1.0%	2.9%	2.5%	2.0%	5.3%	0.0%
		平成27年度	0.6%	0.7%	2.0%	1.4%	2.0%	3.2%	3.0%

表　8-3-12　「年代別　年度別　県民参画の取組への参加」回答率

問45：年代別 平成27年度-平成22年度回答率差		1	2	3	4	5	6
		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1	地域ごみゼロ交流会に参加	-1.4%	-2.7%	-1.8%	-1.9%	-4.8%	-2.2%
2	講演会やセミナーへ参加	-2.8%	-1.6%	1.8%	-2.5%	-2.8%	-2.8%
3	情報をホームページ等で読みたい	-4.5%	-1.6%	4.0%	12.5%	4.4%	2.1%
4	ゼロ吉Facebookで情報を読みたい	5.1%	2.5%	-1.9%	-3.8%	-1.1%	2.3%
5	「点検・評価」を読みたい	0.4%	-1.8%	-1.5%	3.1%	-2.2%	2.4%
6	アンケートなどに協力したい	-6.2%	-10.6%	-2.9%	-4.7%	-3.9%	2.4%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	-1.1%	-0.3%	-0.2%	-0.7%	0.2%	-0.2%
8	「プラン推進委員会」を傍聴したい	-1.0%	-0.1%	-0.8%	1.5%	1.0%	0.7%
9	いずれにも参加したいとは思わない	5.2%	6.8%	2.8%	-2.9%	2.7%	2.7%
10	その他	-0.4%	-0.3%	-0.9%	-1.1%	0.0%	-2.1%

表　8-3-13　「年代別　平成27年度-平成22年度　県民参画の取組への参加」回答率差

問45：年代別 平成27年度-平成19年度回答率差		1 20代以下	2 30代	3 40代	4 50代	5 60代	6 70代以上
1	地域ごみゼロ交流会に参加	-4.4%	-3.0%	-4.0%	-4.6%	-8.4%	-3.9%
2	講演会やセミナーへ参加	-3.9%	-5.8%	-1.7%	-2.6%	-5.1%	-4.8%
3	情報をホームページ等で読みたい	-4.6%	-6.2%	2.6%	10.9%	4.7%	-0.9%
4	ゼロ吉Facebookで情報を読みたい	2.1%	-4.1%	-8.3%	-5.8%	-0.3%	0.4%
5	「点検・評価」を読みたい	-0.8%	-4.8%	-6.6%	-0.8%	-5.4%	-1.0%
6	アンケートなどに協力したい	-7.3%	-8.2%	-4.5%	-6.4%	-5.7%	3.0%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	-3.0%	-3.7%	-1.0%	-0.6%	0.0%	-0.8%
8	「プラン推進委員会」を傍聴したい	0.2%	-2.4%	-1.1%	1.1%	1.8%	0.7%
9	いずれにも参加したいとは思わない	-3.8%	17.0%	12.1%	2.3%	8.8%	5.9%
10	その他	-0.3%	-1.0%	-0.1%	-0.5%	-0.5%	0.1%

表　8-3-14　「年代別　平成27年度-平成19年度　県民参画の取組への参加」回答率差

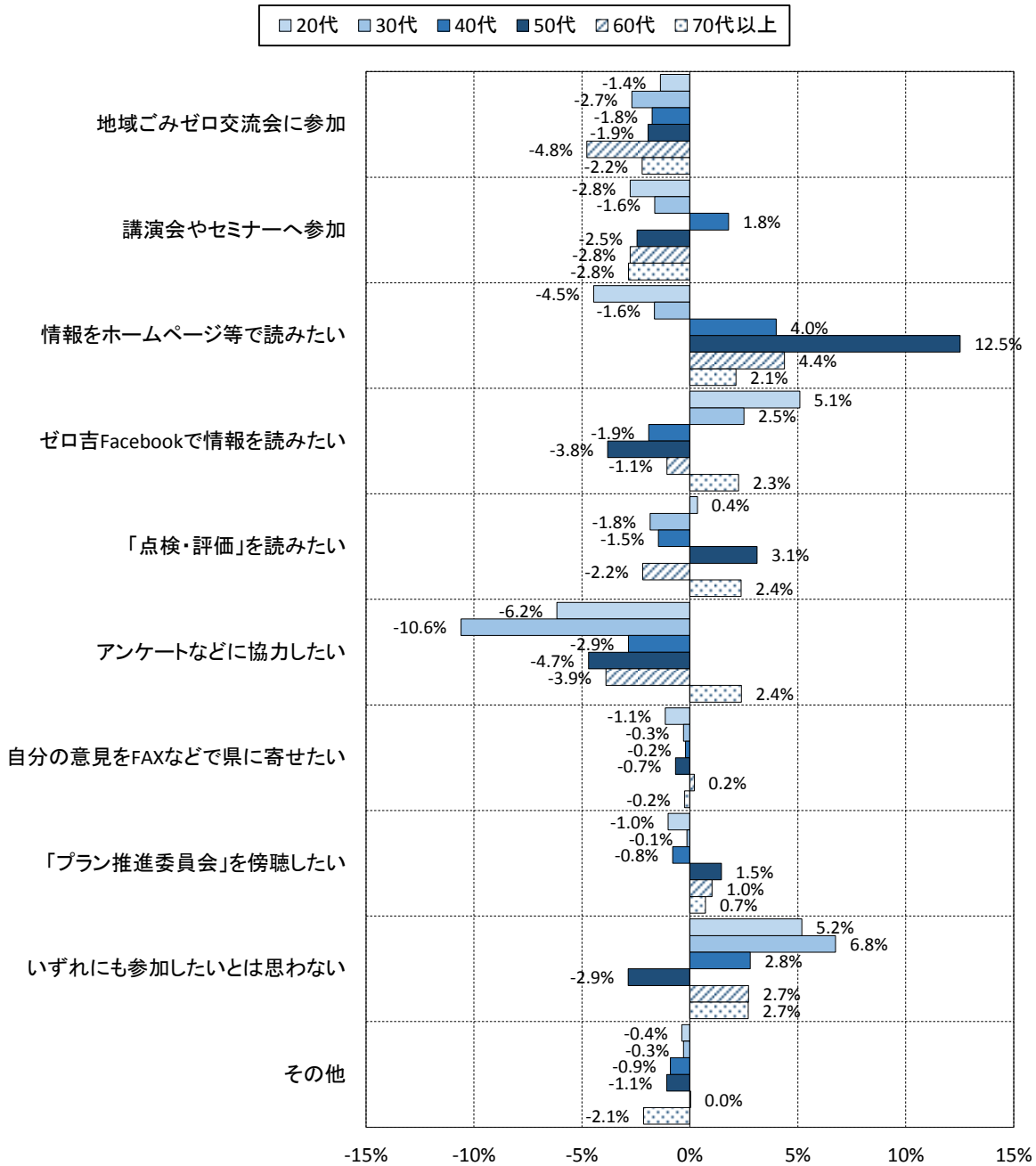


図　8-3-8　「年代別　平成27年度-平成22年度　県民参画の取組への参加」回答率差

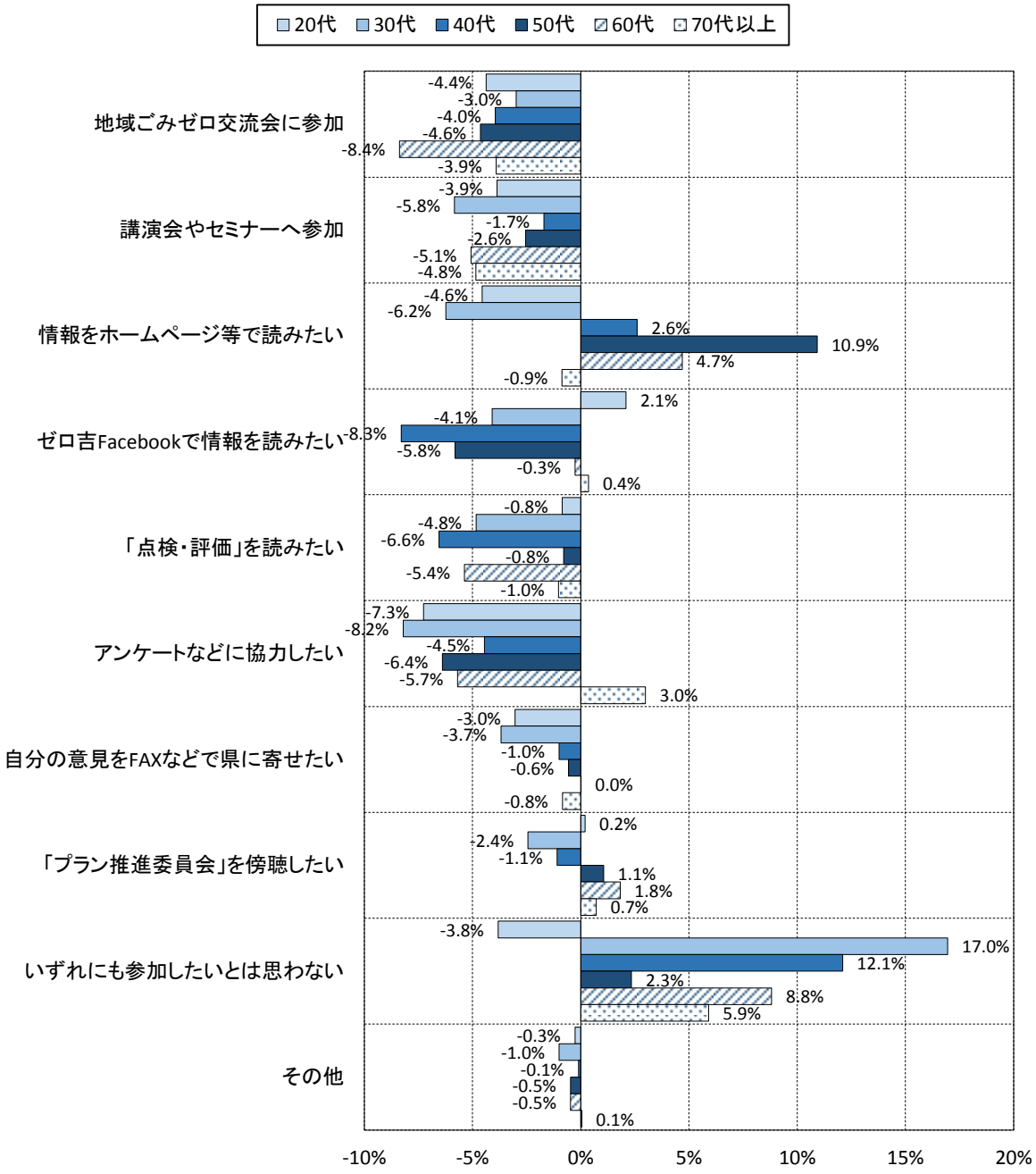


図　8-3-9　「年代別　平成27年度-平成19年度　県民参画の取組への参加」回答率差

（3）性別

「県民参画の取組への参加」の性別は、「いずれにも参加したいと思わない」が、平成27年度は平成22年度と比較して男女ともに約1%の増加となっている。
「情報をホームページ等で読みたい」は男女ともに1.2%から3.4%の増加となっている。

問45　性別：回答率		年度	1	2	99
			女性	男性	無回答
1	地域ごみゼロ交流会に参加	平成19年度	10.4%	12.5%	17.2%
		平成22年度	9.0%	9.8%	1.7%
		平成27年度	7.5%	7.6%	3.8%
2	講演会やセミナー	平成19年度	12.0%	15.0%	13.9%
		平成22年度	10.7%	12.4%	0.0%
		平成27年度	9.6%	10.9%	3.8%
3	情報をホームページ等で読みたい	平成19年度	22.2%	22.0%	15.6%
		平成22年度	19.9%	19.9%	5.1%
		平成27年度	23.3%	21.1%	21.2%
4	ゼロ吉Facebookで情報を読みたい	平成19年度	9.9%	9.7%	9.0%
		平成22年度	6.5%	7.5%	1.7%
		平成27年度	7.0%	5.7%	7.7%
5	「点検・評価」を読みたい	平成19年度	27.4%	27.2%	17.2%
		平成22年度	23.4%	24.5%	3.4%
		平成27年度	23.3%	25.3%	13.5%
6	アンケートなどに協力したい	平成19年度	36.1%	39.8%	36.1%
		平成22年度	35.4%	39.8%	5.1%
		平成27年度	31.0%	37.2%	21.2%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	平成19年度	2.2%	4.1%	4.9%
		平成22年度	2.0%	2.6%	0.0%
		平成27年度	1.7%	2.2%	0.0%
8	「プラン推進委員会」を傍聴したい	平成19年度	2.1%	4.4%	4.9%
		平成22年度	1.9%	4.7%	0.0%
		平成27年度	2.7%	4.9%	3.8%
9	いずれにも参加したいとは思わない	平成19年度	17.7%	18.3%	13.1%
		平成22年度	24.5%	24.5%	6.8%
		平成27年度	26.0%	25.7%	25.0%
10	その他	平成19年度	2.5%	1.8%	3.3%
		平成22年度	3.1%	1.9%	1.7%
		平成27年度	2.4%	1.5%	1.9%

表　8-3-16　「性別　年度別　県民参画の取組への参加」回答率

問45：性別 平成27年度-平成22年度回答率差		1	2
		女性	男性
1	地域ごみゼロ交流会に参加	-1.5%	-2.2%
2	講演会やセミナー	-1.1%	-1.5%
3	情報をホームページ等で読みたい	3.4%	1.2%
4	ゼロ吉Facebookで情報を読みたい	0.5%	-1.8%
5	「点検・評価」を読みたい	-0.1%	0.8%
6	アンケートなどに協力したい	-4.4%	-2.6%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	-0.3%	-0.4%
8	「プラン推進委員会」を傍聴したい	0.8%	0.2%
9	いずれにも参加したいとは思わない	1.5%	1.2%
10	その他	-0.7%	-0.4%

表　8-3-17　「性別　平成27年度-平成22年度　県民参画の取組への参加」回答率差

問45：性別 平成27年度-平成19年度回答率差		1	2
		女性	男性
1	地域ごみゼロ交流会に参加	-2.9%	-4.9%
2	講演会やセミナー	-2.4%	-4.1%
3	情報をホームページ等で読みたい	1.1%	-0.9%
4	ゼロ吉Facebookで情報を読みたい	-2.9%	-4.0%
5	「点検・評価」を読みたい	-4.1%	-1.9%
6	アンケートなどに協力したい	-5.1%	-2.6%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	-0.5%	-1.9%
8	「プラン推進委員会」を傍聴したい	0.6%	0.5%
9	いずれにも参加したいとは思わない	8.3%	7.4%
10	その他	-0.1%	-0.3%

表　8-3-18　「性別　平成27年度-平成19年度　県民参画の取組への参加」回答率差

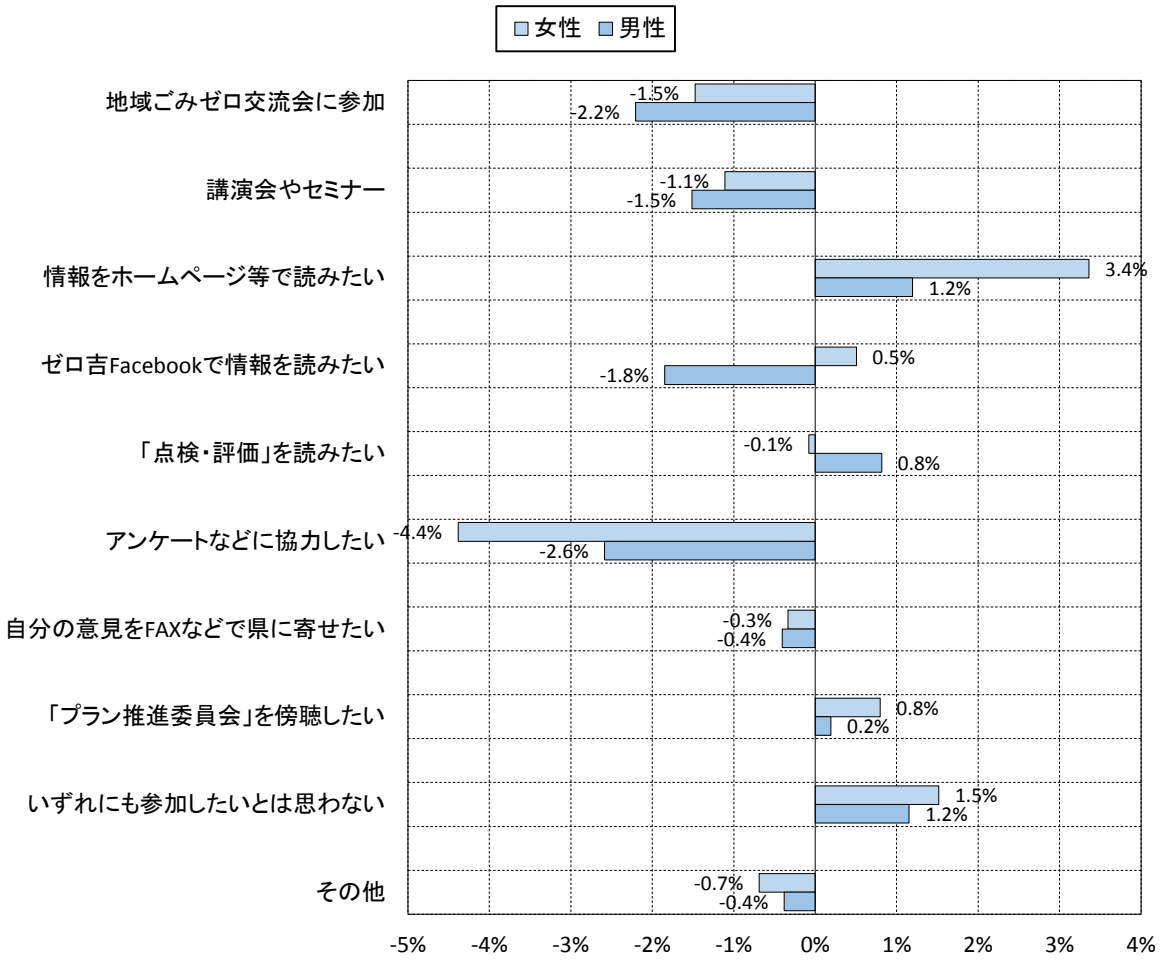


図　8-3-10　「性別　平成27年度-平成22年度　県民参画の取組への参加」回答率差

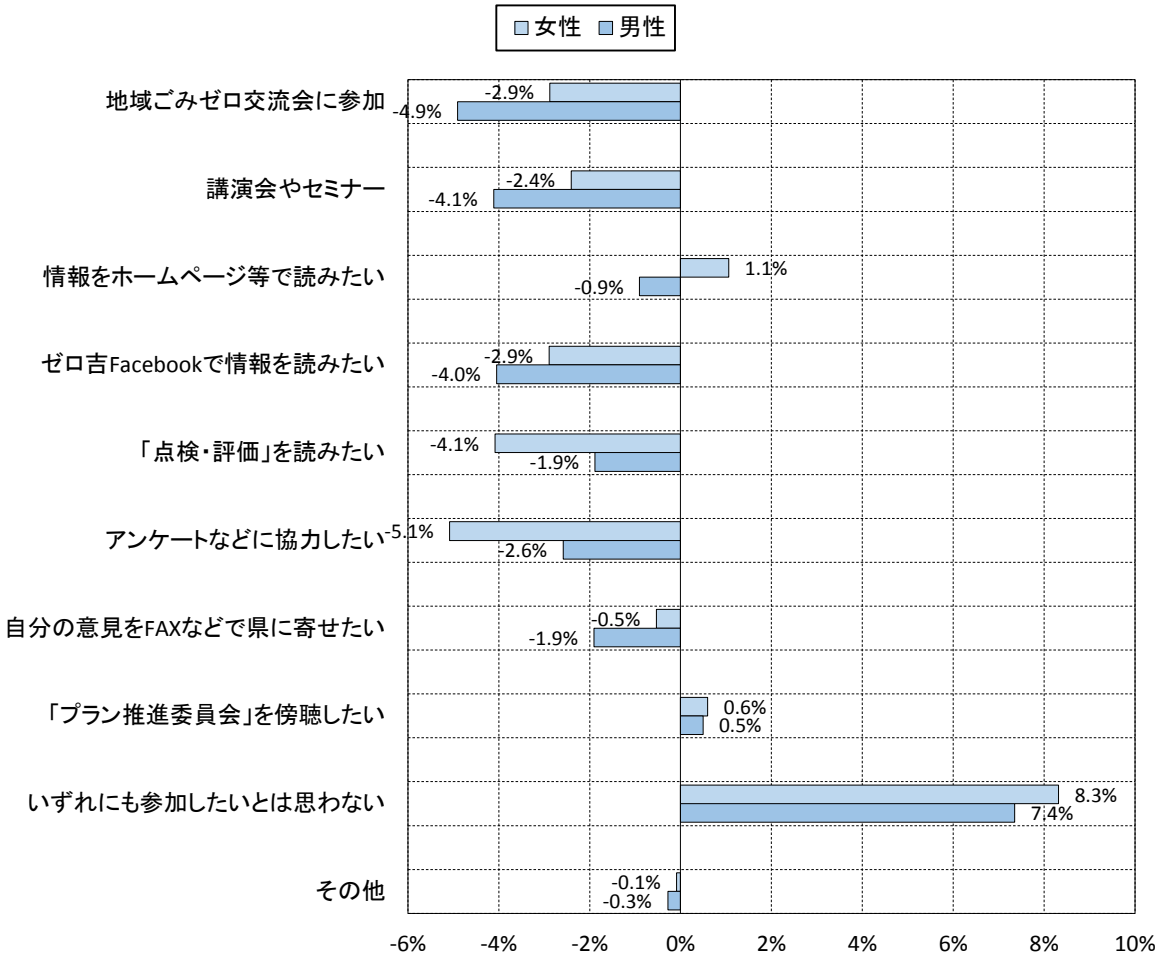


図　8-3-11　「性別　平成27年度-平成19年度　県民参画の取組への参加」回答率差

9　国との比較

国において、平成26年11月に行われた「循環型社会に関する意識・行動調査」の調査項目と今回（平成27年度三重県調査）の調査項目が同じ内容のものを抽出して比較した。

9-1　暮らしの中での関心ごとや考えられる行動について

問11	次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？ それぞれの考えについて、あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

（1）日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う。

「日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う」での「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計は、三重県93.3%、国94.2%とほぼ同じであるが、「とてもそう思う」は三重県が16.5%高い。三重県では「一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う」の割合はかなり高いと思われる。

問11-5		1 とても そう思う	2 少し そう思う	3 あまりそうは 思わない	4 全くそうは思 わない	5 無回答	計
三重県：H27	回答数	1911	867	141	19	41	2979
	回答率	64.1%	29.1%	4.7%	0.6%	1.5%	100.0%
国調査：H26	回答率	47.6%	46.6%	4.7%	1.1%	0.0%	100.0%
三重県－国調査		16.5%	-17.5%	0.0%	-0.5%	1.5%	－
問1-5　まとめ		思う（1+2）		思わない（3+4）		無回答	計
平成27年度：三重県		93.2%		5.3%		1.5%	100.0%
H26：国調査26：国調査		94.2%		5.8%		0.0%	100.0%
三重県－国調査		-1.0%		-0.5%		1.5%	－

表　9-1　「問11-5」回答状況

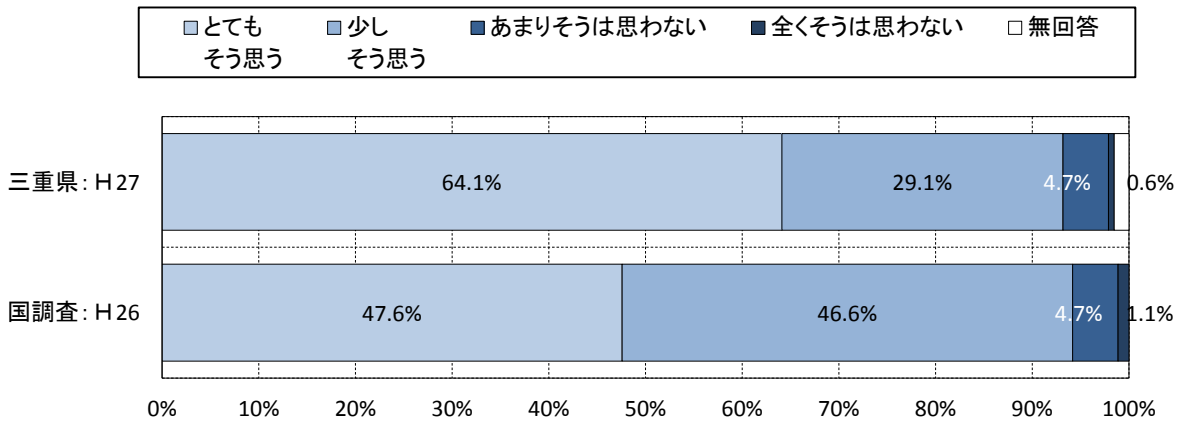


図　9-1　「問11-5」回答率

（2）環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う。

「環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う」の「とてもそう思う」と「少しそう思う」の計は、三重県88.2%、国93.5%と三重県が5.3%低いが、「とてもそう思う」は、三重県が9.9%上回っている。

問11-6		1 とても そう思う	2 少し そう思う	3 あまりそうは 思わない	4 全くそうは思 わない	5 無回答	計
三重県：H27	回答数	1554	1073	267	31	54	2979
	回答率	52.2%	36.0%	9.0%	1.0%	1.8%	100.0%
国調査：H26	回答率	42.3%	51.2%	5.5%	1.0%	0.0%	100.0%
三重県－国調査		9.9%	-15.2%	3.5%	0.0%	1.8%	－
問1-5　まとめ		思う（1+2）		思わない（3+4）		無回答	計
平成27年度：三重県		88.2%		10.0%		1.8%	100.0%
H26：国調査26：国調査		93.5%		6.5%		0.0%	100.0%
三重県－国調査		-5.3%		3.5%		1.8%	－

表　9-2　「問11-6」回答状況

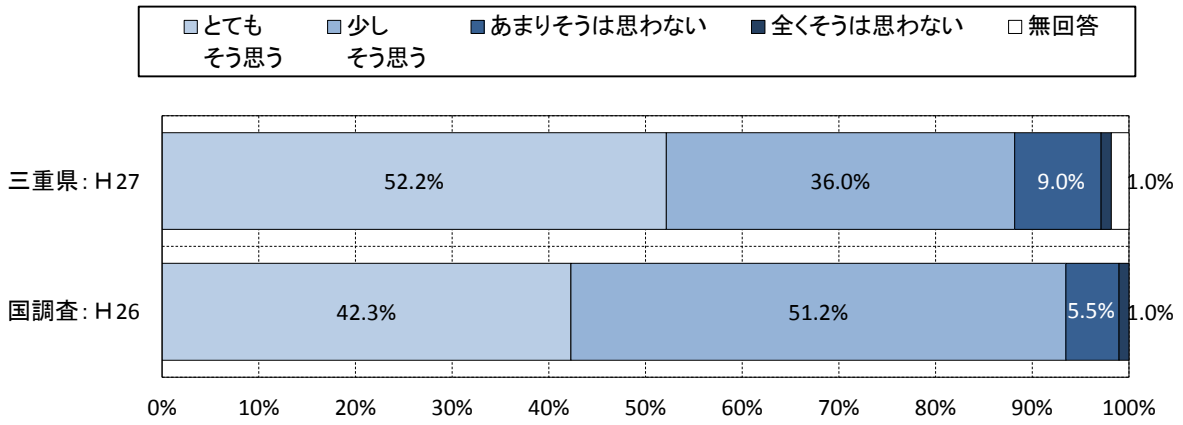


図　9-2　「問11-6」回答率

問16	あなたは、ごみ問題について、どのようなことを知っていますか？ あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。　**（複数回答）**

ごみ問題の知識では、8項目中7項目を三重県が上回っている。

番号	選択肢	三重県：H27		国調査：H26	三重県－国
		回答数	回答率		
1	ごみの最終処分場の容量が残り少なくなってきている	1,484	49.8%	54.1%	-4.3%
2	ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設することには反対すると考えている人が多い	1,999	67.1%	63.5%	3.6%
3	規制の強化によりダイオキシン類の排出量が大幅に削減されている	1,203	40.4%	38.4%	2.0%
4	野山や河原等への不法投棄が大きな社会問題になっている	2,310	77.5%	68.5%	9.0%
5	私有地に廃タイヤやパチンコ台などが将来リサイクルするとの名目で、放置されている	915	30.7%	29.4%	1.3%
6	海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている	2,095	70.3%	57.3%	13.0%
7	稲わらや間伐材など、資源として利用できるものを生かしきっていないものがある	1,037	34.8%	26.6%	8.2%
8	テレビやパソコンなどの身近な使用済み家電が海外へ輸出され、その一部が不適正に処理されることによる環境汚染が生じている	1,050	35.2%	30.7%	4.5%
9	その他	35	1.2%	1.2%	0.0%
10	特に知っているものはない	154	5.2%	7.8%	-2.6%
総回答数		12,282	412.2%	377.5%	34.7%
有効回答数		2,979			

表　9-5　「問16」回答状況

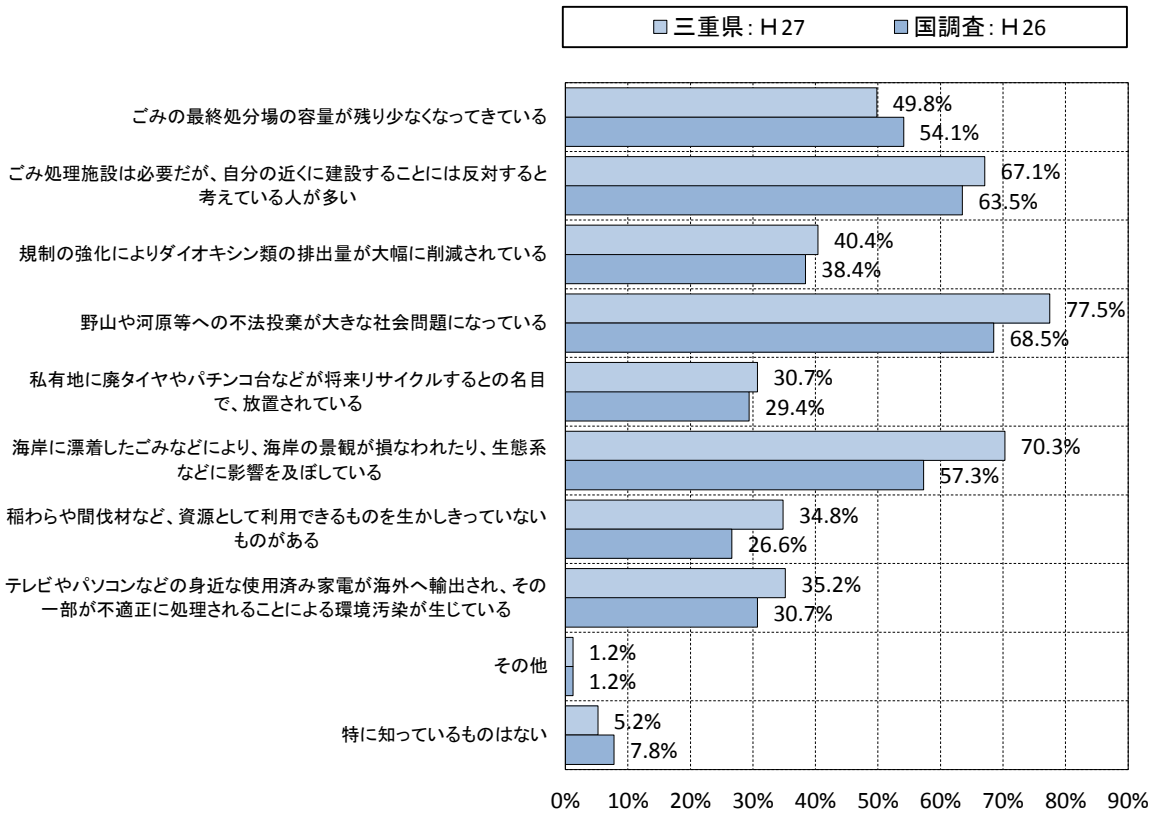


図　9-5　「問16」回答率

9-2　今後の方策に対する意向について

問29	イベントなどにおいて、使い捨てコップの替わりに洗って繰り返し再利用できるプラスチック製のカップ（リユースカップ）を使うことについて、あなたはどう思いますか？ あなたのお考えに最も近いものを1つ選び番号に○を付けてください。

リユースカップの使用については、「使った方がよい」（選択肢の1と2の計）では、三重県は国調査より20.4%低い。
「使わない方がよい」（選択肢の3と4の計）では、三重県は国調査より26.4%高い。
リユースカップの使用の意識は、国の調査結果とかなりギャップがある。

問29		1 ぜひ使うべきである	2 できれば使った方がよい	3 どちらかというと使ってほしくない	4 使うべきでない	5 無回答 その他 わからない	計
三重県：H27	回答数	253	1,000	1,290	292	144	2,979
	回答率	8.5%	33.6%	43.3%	9.8%	4.8%	100.0%
国調査：H26	回答率	17.6%	44.9%	23.2%	3.5%	10.8%	100.0%
三重県－国調査		-9.1%	-11.3%	20.1%	6.3%	-6.0%	－
問13　まとめ		使った方がよい		使わない方がよい		無回答他	計
平成27年度：三重県		42.1%		53.1%		4.8%	100.0%
H26：国調査26：国調査		62.5%		26.7%		10.8%	100.0%
三重県－国調査		-20.4%		26.4%		-6.0%	－

表　9-6　「問29」回答状況

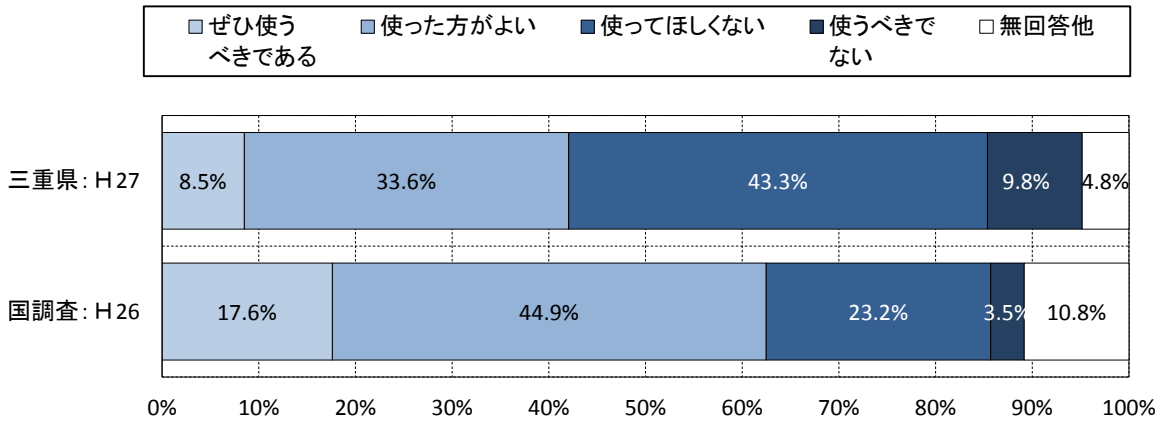


図　9-6　「問29」回答率

問30	（問い29で「1　ぜひ使うべきである」「2　できれば使った方がよい」と答えた方のみ） 「ぜひ使うべきである」又は「できれば使った方がよい」と思う理由はなんですか？（あてはまるものすべてに○）

リユースカップの「使った方がよい」（選択肢の1と2の計）の理由では、三重県・国調査ともに「ごみの減量化につながるから」が最も多く、次いで「資源の有効利用につながるから（使い捨てコップはもったいない）」が2番目に高くなっている。

番号	選択肢	三重県：H27		国調査：H26	三重県－国
		回答数	回答率		
1	資源の有効利用につながるから（使い捨てコップはもったいない）	885	70.6%	28.4%	42.2%
2	ごみの減量化につながるから	1,058	84.4%	37.9%	46.5%
3	利用者にとっては特に大きな負担にならないから	399	31.8%	14.0%	17.8%
4	環境問題への意識向上に役立つから	500	39.9%	17.0%	22.9%
5	リユースカップで飲む方がおいしく感じられるから	36	2.9%	1.6%	1.3%
6	その他	20	1.6%	0.6%	1.0%
7	特にない、わからない	11	0.9%	0.6%	0.3%
総回答数		2,909	232.1%	100.0%	132.0%
有効回答数		1,253			

表　9-7　「問30」回答状況

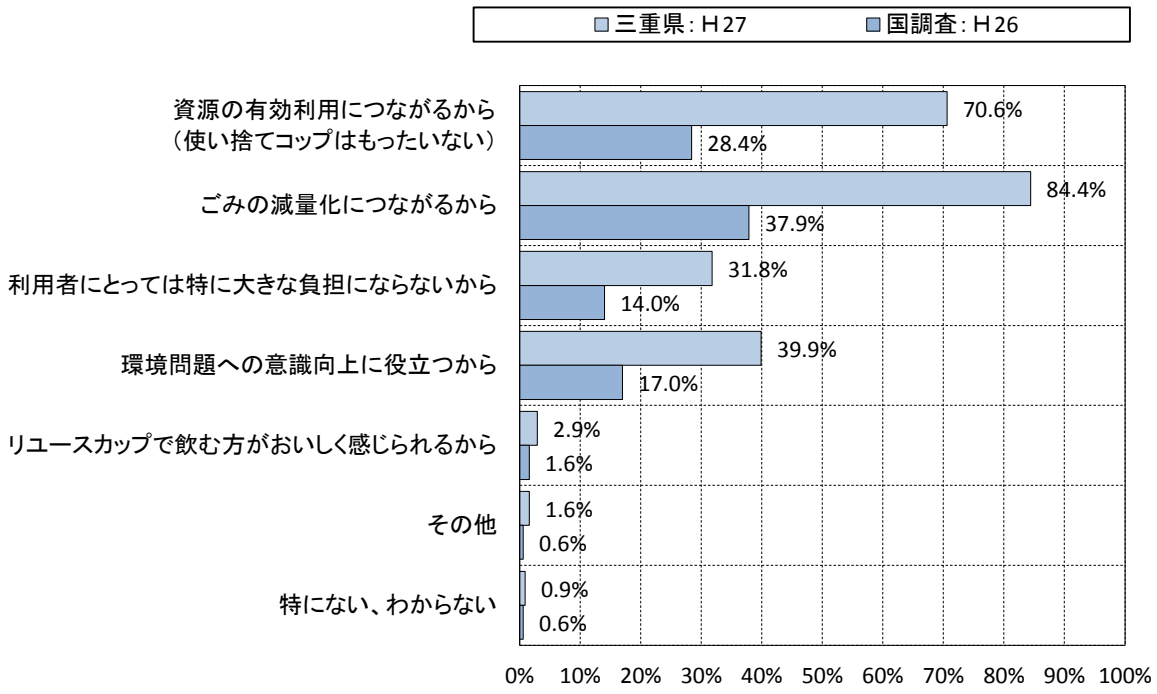


図　9-7　「問30」回答率

問31	（問い29で「3　どちらかというと使ってほしくない」「4　使うべきでない」と答えた方のみ） 「どちらかというと使ってほしくない」又は「使うべきでない」と思う理由はなんですか？（あてはまるものすべてに○）

リユースカップの「使わない方がよい」（選択肢の3と4の計）の理由では、三重県・国調査ともに「衛生上の不安があるから」が最も高く、次いで「リユースカップの回収率が低い場合や洗浄のことを考えると、使い捨てコップの方が結果的に環境への負荷が小さいと思うから」が2番目に高くなっている。

番号	選択肢	三重県：H27		国調査：H26	三重県－国
		回答数	回答率		
1	指定場所への返却など、手間がかかるから	148	9.4%	7.0%	2.4%
2	商品の値上げにつながる可能性があるから	61	3.9%	4.2%	-0.3%
3	衛生上の不安があるから	1,476	93.3%	62.8%	30.5%
4	リユースカップの回収率が低い場合や洗浄のことを考えると、使い捨てコップの方が結果的に環境への負担が小さいと思うから	740	46.8%	19.5%	27.3%
5	使い捨てコップで飲む方がおいしく感じられるから	106	6.7%	3.0%	3.7%
6	その他	42	2.7%	1.6%	1.1%
7	特にない	18	1.1%	1.9%	-0.8%
総回答数		2,591	163.9%	100.0%	63.9%
有効回答数		1,582			

表　9-8　「問31」回答状況

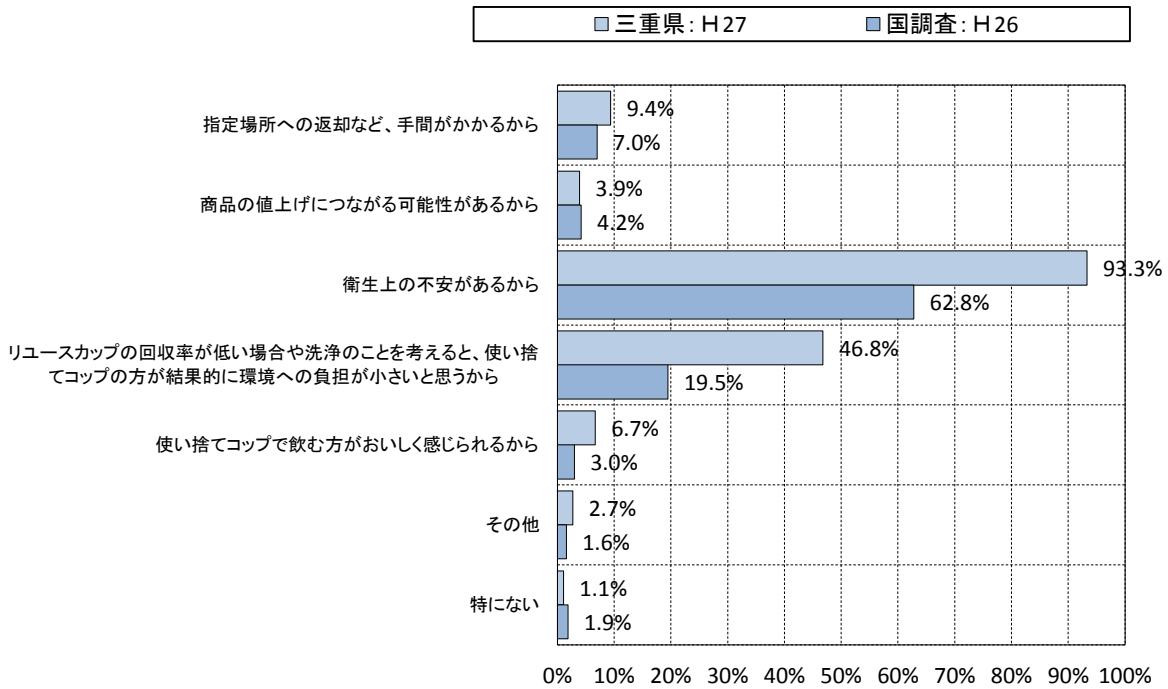


図　9-8　「問31」回答率

１０　自由記入意見まとめ

有効回答数２，９７９のうち、自由記入意見は７０１件あり、多種多様な意見が寄せられている。分類ごとに主な意見をまとめると、次のとおりである。

① 発生・排出抑制に関して（113件）

ⅰ）ごみの有料化について（46件）

・市指定のごみ袋は高価格なのにとっても弱くすぐ破れる。丈夫なものにして欲しい。

・有料化は高齢者には負担が大きい。有料化にするにも、あまり高額になると、不法投棄する人が増える。なんでも有料化にすればいいというわけではない。

ⅱ）暮らしの工夫によるごみ減量について（67件）

・資源ごみの分別や食品トレーのスーパーへの返却はしてきましたが、生ごみの堆肥化処理をして燃えるごみの量を減らしていきたいと思います。

・必要なものを必要なときに必要なだけ求める。

② 分別・収集に関して（128件）

ⅰ）ごみの分別について（49件）

・ごみの分別は大切だと思いますが、高齢者には手の力が弱くラベルをはがしたり牛乳パックをひらけたりするのが大変です。

・ごみは個々に気をつけて集合所へ出すことが一番だと思います。地域皆様の協力にて努力しましょう。

ⅱ）ごみ出し・収集について（59件）

・コンビニのごみ分別BOXへ家庭ごみを捨てる人が多くいます。ひとつの集積場所としては非常に便利なところだと思います。これらを利用してうまく再生できるごみの収集できないか？

・敷地内での木や笹竹などを指定の長さに裁断するのが大変です。何とか大きなものでも収集していただきたい。

ⅲ）ごみ収集後の処理について（20件）

・資源ごみ、プラスチック類と分別しているが、何に生まれ変わっているのか正直わからないので教えて欲しい。

・粗大ごみ等の回収業者が車で回っているがエアコンや冷蔵庫等も回収している。当然無資格だし無料で持っていくだろう。エアコンであればフロンの回収もせず大気放出は当然だろう。こういったことは警察と連携して取り締まるべき。

③ 経済活動に関して（８８件）

ⅰ）ごみを出さない製品づくり・商品販売について（73件）

・環境を悪くするものやごみを出さない製品作りをすすめ、原因の元をなくして欲しい。回収したごみを再利用できるものを販売したどうですか？

・企業やメーカーにもっと包装を少なくする工夫を促すべきです。家庭レベルの問題では限界があり、国をあげて商品を作る側がもっと減らしてくれなければごみゼロ？なんて無理。

ⅱ）ごみの回収・処理に関する企業責任について（15件）

・大型家電等有料処分のものはどうしても無料回収業者に渡してしまう人が多いと思う。そういう業者のストック用地も増えている気がする。景観も悪いしどうにかしてもらえたらと思う。

④ 意識・モラルに関して（156件）

ⅰ）一人ひとりの心がけについて（86件）

・ごみゼロにはならないと思いますが、毎日のごみを少しでも出さないように気をつけたいと思います。

・食品を購入する際には、なるべく賞味期限の間近のものを求め、廃棄する食品（ごみになる）を減らす為にと心がけています。

ⅱ）マナー違反について（31件）

・「正直者がバカを見る」ような事がないルールがあればなぁと思います。不法投棄　ダメ！絶対！

・他地区から持ち込みが多くなっている。こうしたマナー違反が横行する現状を正さない限り社会は良くならない。何らかの対策が必要と思う。

ⅲ）教育・広報啓発活動について（39件）

・ごみの処分にはお金がかかるということをもっと知らせるべきではないか。

・幼稚園や小学校の授業や家庭で幼い頃からごみゼロ教育をすることで意識が高まると思います。

⑤ ごみ対策全般に関して・その他（216件）

ⅰ）現代の生活スタイルについて（58件）

・高齢化になって来るにつれてオムツ処理が今後の大きな課題になると思います。身内の介護でオムツを使用していますので。

・修理すればまだ使える物でも修理代の方が高く、家電販売店では買替えをすすめられる。また、修理をしてくれる所（オモチャなど）がない。使わなくなった物を出すリサイクルショップなどが近くにない。

ⅱ）ごみゼロ社会の実現について（53件）

・各家庭のごみより企業のごみの方が多いのでは？その対策は？

・ごみゼロは大切だと思います。しかしまだまだ意識が低いと思います。やればごみは減らせると思います。ごみの有料化も反対ではありませんが不法投棄が心配です。

ⅲ）住民参加によるごみゼロ運動について（24件）

・住民の意識がさらに高まり、みんなが積極的に取り組み、その成果が目に見えると、関心の無かった人まで影響され、良い方向に向かっていくと思います。

・定期的に自治会あるいは市町村でリサイクル市を催したらどうでしょうか？自分では不用な品も他の人が必要としている場合もあります。自宅の庭で少々の物は焼却できると助かります。

ⅳ）行政の姿勢について（28件）

・「ごみゼロ社会実施プラン」こんなの全く知らなかった。PR不足です。

・生ごみ処理機を補助金をいただき購入しましたが、壊れて買い換えたいのですが、補助金は一度限りということで、高すぎて購入できません。ごみが減って便利だったんですけど、残念です。

・大変だと思いますが必要な行政サービスだと思います。がんばってください。

ⅴ）ごみゼロアンケートに関するもの（４１件）

・アンケート、紙じゃなくインターネット回答の方が助かります。

・高齢のため、アンケートの意味がわからなくなってしまいました。もっと簡単な設問にして欲しい。

vi）その他（12件）

・一般家庭のごみ以上に核のごみ処理をする場所がなく困っているのに、原発を再稼動してどんどんと核のごみを増やし、これからの日本　これからの子供達に大変な荷物を負わせる事についての方が一般のごみ以上に問題だと思います。

11　県民アンケート　調査票

◎ まず、あなたご自身や世帯についてお聞きします。

問１　あなたの年齢は？　　あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	20 代以下	2	30 代	3	40 代
4	50 代	5	60 代	6	70 代以上

問２　あなたの性別は？　　あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	女性	2	男性

問３　あなたのお仕事は？　　あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	会社員・公務員	2	パート・アルバイト
3	農林水産業	4	自営業
5	家事・家事手伝い	6	学生
7	無職	8	その他（具体的に：　　）

問４　いっしょに住んでいる家族の人数は？（あなた自身を含めた人数）
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	１人	2	２人	3	３人
4	４人	5	５人以上		

問５　お住まいの市町は？　　あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	津市	2	四日市市	3	伊勢市
4	松阪市	5	桑名市	6	鈴鹿市
7	名張市	8	尾鷲市	9	鳥羽市
10	熊野市	11	志摩市	12	伊賀市
13	東員町	14	菰野町	15	紀宝町

問６　お住まいの形態は？　　あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	戸建住宅	2	ワンルームのマンションやアパート	3	学校や会社の寮
4	その他のマンションやアパート	5	その他（具体的に：　　）		

問７　お住まいの周辺の様子は？　あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	住宅地	2	住宅とお店や工場などが混在している地域
3	住宅が点在する農山漁村	4	その他（具体的に：　　）

問８　次のうち、あなたの家庭にあてはまることはありますか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に**○**を付けてください。

1	夫婦共働き	2	就学前の乳幼児がいる	3	小中学生がいる
4	家族は全員 60 歳以上	6	いずれにもあてはまらない		

問９　あなたの住んでいる地域では、自治会や子供会などの地域活動は盛んですか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	とても盛ん	2	比較的盛ん
3	あまり盛んでない	4	まったく盛んでない

問10　あなた自身は家庭でごみの分別にどうかかわっていますか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	家族の中心になって熱心に分別している
2	家族の中心ではないが、ごみは分別している
3	ごみの分別にはあまりかかわらない

◎ 暮らしの中での関心ごとや考えられる行動についてお聞きします。

問11　次のそれぞれの考えについてあなたはどの程度あてはまりますか？
それぞれの考えについて、あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

（１）家の中を見回してみると、あまり必要ないものがたくさんあると思う。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

（２）ものを捨てる時、つい「もったいない」と思ってしまう。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

（３）商品についている容器や包装材は、もっと少なくていいと思う。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

（４）レンタル製品など多くの人が使いまわすものでも、特に抵抗感はない。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

（５）日常生活における一人ひとりの行動が環境に大きな影響を及ぼすと思う。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

（６）環境問題解決のためには、技術開発や研究を一層充実させることが必要だと思う。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

問12　次のそれぞれの場合についてあなたはどの程度あてはまりますか？
それぞれの場合について、あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

（１）特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまう。

1	よくあてはまる	2	少しあてはまる
3	あまりあてはまらない	4	まったくあてはまらない

（２）買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える。

1	よくあてはまる	2	少しあてはまる
3	あまりあてはまらない	4	まったくあてはまらない

（3）お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ。

1	よくあてはまる	2	少しあてはまる
3	あまりあてはまらない	4	まったくあてはまらない

（4）一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する。

1	よくあてはまる	2	少しあてはまる
3	あまりあてはまらない	4	まったくあてはまらない

問13　物を買うときの環境への配慮について、あなたはどう感じていますか？
最も近いものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	環境保全のために良いことなので、常に意識している
2	習慣になっており、特に意識することではない
3	店頭に環境配慮の情報が明示されていれば考慮する
4	家計の圧迫につながるので避けたい
5	手間や時間がかかる・面倒だ
6	生活の便利さや快適さを損なう
7	その他（具体的に：　　）
8	わからない

問 14　食べ物のごみについてお聞きします。
それぞれについて、あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

（1）使い切れなかったり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？

1	よくある	2	たまにある
3	あまりない	4	ほとんどない

（2）食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？

1	よくある	2	たまにある
3	あまりない	4	ほとんどない

問15　次のうち、だいたい意味がわかる言葉はどれですか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に**○**を付けてください。

1	循環型社会	2	低炭素社会
3	ごみゼロ社会	4	リデュース
5	リユース	6	リサイクル
7	３Ｒ（さんアール、スリーアール）	8	エコライフ
9	スローライフ	10	容器包装リサイクル法
11	家電リサイクル法	12	食品リサイクル法
13	排出者責任	14	拡大生産者責任
15	マイバッグ	16	レジ袋の有料化
17	ごみの有料化	18	どれも知らない

問16　あなたは、ごみ問題について、どのようなことを知っていますか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に○を付けてください。

1	ごみの最終処分場の容量が残り少なくなってきている
2	ごみ処理施設は必要だが、自分の近くに建設することには反対すると考えている人が多い
3	規制の強化によりダイオキシン類の排出量が大幅に削減されている
4	野山や河原などへの不法投棄が大きな社会問題になっている
5	私有地に廃タイヤやパチンコ台などが将来リサイクルするとの名目で、放置されている
6	海岸に漂着したごみなどにより、海岸の景観が損なわれたり、生態系などに影響を及ぼしている
7	稲わらや間伐材など、資源として利用できるものを活かしきっていないものがある
8	テレビやパソコンなどの身近な使用済み家電が海外へ輸出され、その一部が不適正に処理されることによる環境汚染が生じている
9	その他（具体的に：　　）
10	特に知っているものはない

問17　使い捨て商品が身の回りにあふれ、その結果としてごみが大量に捨てられる現代の社会を、あなたはどう感じていますか？
あなたのお考えに**最も近いものを１つ**選び番号に○を付けてください。

1	どちらかというと、便利で暮らしやすく、特に疑問は感じていない
2	どちらかというと、将来のことを考えると「このままでいいのか」という疑問を感じる
3	よくわからない

問18　ごみは手間やコストをかけてでも、できるだけ資源として有効利用すべきだと思いますか？
あなたのお考えに**最も近いものを１つ**選び番号に○を付けてください。

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

◎ 現在行っているごみ減量やリサイクルの取組についてお聞きします。

問19　ごみを減らす取組の中でどれが大切だと思いますか？
それぞれの枠内に**番号を１つ**ずつ記入してください。

1	ごみそのものの発生を減らすこと
2	まだ使える製品や容器などを、くり返し使うこと
3	ごみではなく資源として分別し、再び原材料として有効利用すること

設問	番号を記入
最も大切だと思う→	番
次に大切だと思う→	番

問20　あなたのご家庭では、次のうち、資源ごみとして市町の収集に出している品目はどれですか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に○を付けてください。

1	新聞	2	雑誌
3	牛乳パック	4	古布や衣類
5	食品トレイ	6	ペットボトル
7	アルミ缶	8	スチール缶
9	空きびん	10	蛍光管
11	電池類	12	あてはまるものなし

問21　あなたのご家庭では、次のうち、お店に持っていって回収してもらっている品目はどれですか？あてはまるもの**すべて**を選び、番号に○を付けてください。

1	新聞	2	雑誌
3	牛乳パック	4	古布や衣類
5	食品トレイ	6	ペットボトル
7	アルミ缶	8	スチール缶
9	空きびん	10	蛍光管
11	電池類	12	あてはまるものなし

問22　あなたのご家庭では、次のうち、地域で行われる廃品回収（集団回収）に出している品目はどれですか？　　あてはまるもの**すべて**を選び、番号に○を付けてください。

1	新聞	2	雑誌
3	牛乳パック	4	古布や衣類
5	食品トレイ	6	ペットボトル
7	アルミ缶	8	スチール缶
9	空きびん	10	蛍光管
11	電池類	12	あてはまるものなし

問23　あなたは、分別したごみがあなたの市町でどのように処理・リサイクルされるかご存知ですか？あてはまるものを**１つ**選び番号に○を付けてください。

1	知っている	2	少し知っている
3	あまり知らない	4	まったく知らない

問24　ごみを分別するのに、あなたは１日あたりおよそどのくらいの時間をかけていると思いますか？あてはまるものを**１つ**選び番号に○を付けてください。

1	１時間以上	2	30 分～１時間くらい
3	10 分～30 分くらい	4	数分程度
5	ほとんどかけていない		

問25　ごみを資源としてより有効に利用するために、資源やごみの分別数が増えることなどについてどう思われますか？　　あなたのお考えに最も近いものを**１つ**選び番号に○を付けてください。

1	賛成	2	どちらかというと賛成
3	どちらかというと反対	4	反対

設問は次ページへ続きます

問26　次のうち、あなたのご家庭でやっていることはどれですか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に**○**を付けてください。

1	台所ごみの水切りをしている
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋めている
3	台所ごみを、堆肥化容器や生ごみ処理機で処理している
4	市町や団体で取り組んでいる生ごみ堆肥化に参加している
5	台所ごみを、その他の方法で堆肥化などしている
6	生ごみ堆肥を利用して園芸や野菜作りをしている
7	紙くずなどを庭や畑で焼却している
8	買い物袋（マイバッグ）などを持参し、レジ袋をもらわない
9	詰め替え容器を使用した商品を買っている
10	ビールや牛乳のびんなど再使用可能な容器を使った製品を買う
11	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選んでいる
12	包装を断ったり、簡易包装を依頼している
13	食品は買いすぎないように注意している
14	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにしている
15	食事を食べ残さないようにしている
16	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりしている
17	資源とごみの分別を徹底している
18	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用している
19	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにしている
20	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにしている
21	マイ箸を携帯している
22	携帯電話の店頭回収に協力している
23	その他（具体的に：　　）
24	これらのいずれもやっていない

問27　あなたのご家庭では、ごみを出すにあたり、どのような問題がありますか？
あてはまるものを**３つまで**選び、番号に**○**を付けてください。

1	分別ルールが複雑でわかりにくい	2	市町ごとにルールが異なり覚えにくい
3	次の収集日までごみを保管しておく場所がない	4	収集日時が限られている
5	ごみ集積所（ステーション）まで遠い	6	洗ったり束ねたり手間がかかる
7	その他（具体的に：　　）		
8	特に問題はない		

◎ 今後の方策に対する意向についてお聞きします。

問28　今後あなたが、暮らしの工夫によって「家庭から出る量を減らせる」と思えるものはどれですか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に**○**を付けてください。

1	調理くず	2	食べ残し
3	賞味期限切れ食品	4	紙容器、紙袋や包装紙
5	新聞	6	チラシ
7	雑誌	8	段ボール
9	紙パック	10	古着類
11	ペットボトル	12	レジ袋
13	プラスチック容器	14	びん
15	缶	16	粗大ごみ
17	その他（具体的に：　　）		

問29　イベントなどにおいて、使い捨てコップの替わりに洗って繰り返し再利用できるプラスチック製のカップ（リユースカップ）を使うことについて、あなたはどう思いますか？
あなたのお考えに**最も近いものを１つ**選び番号に○を付けてください。

1	ぜひ使うべきである⇒**問 30 へ**	2	できれば使った方がよい⇒**問 30 へ**
3	どちらかというと使ってほしくない ⇒**問 31 へ**	4	使うべきでない⇒**問 31 へ**

問30　**（問29で「1 ぜひ使うべきである」「2 できれば使った方がよい」と答えた方のみ）**
「ぜひ使うべきである」又は「できれば使った方がよい」と思う理由はなんですか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に○を付けてください。

1	資源の有効利用につながるから（使い捨てコップはもったいない）	2	ごみの減量化につながるから
3	利用者にとっては特に大きな負担にならないから	4	環境問題への意識向上に役立つから
5	リユースカップで飲む方がおいしく感じられるから		
6	その他（具体的に：　　）		
7	特にない		

問31　**（問29で「3 どちらかというと使ってほしくない」「4 使うべきでない」と答えた方のみ）**
「どちらかというと使ってほしくない」又は「使うべきでない」と思う理由はなんですか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に○を付けてください。

1	指定場所への返却など、手間がかかるから	2	商品の値上げにつながる可能性があるから
3	衛生上の不安があるから	4	リユースカップの回収率が低い場合や洗浄のことを考えると、使い捨てコップの方が結果的に環境への負荷が小さいと思うから
5	使い捨てコップで飲む方がおいしく感じられるから		
6	その他（具体的に　　）		
7	特にない		

問32　ごみに関する情報を、あなたはどのような方法で手に入れていますか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に○を付けてください。

1	市町の広報や分別マニュアルを通じて	2	市町のホームページを通じて
3	公共施設などでのポスターやチラシを通じて	4	地域の回覧板や掲示物を通じて
5	防災無線や広報スピーカーで	6	住民説明会を通じて
7	新聞などマスコミを通じて	8	企業の広告、広報誌、パンフレット、環境報告書で
9	家族や友人・知人を通じて	10	子供（学校などの情報）を通じて
11	書籍から	12	スーパーマーケットなど地域の店舗や流通業者を通じて
13	エコ製品やサービスを展示するイベントを通じて	14	PTA・自治会などの地域の活動を通じて
15	勤務先・取引先など仕事を通じて	16	環境保護団体・環境 NGO の広報誌やパンフレットを通じて
17	生協活動・ボランティア活動など社会活動を通じて	18	シンポジウムや講演会、市民大学などで
19	その他（具体的に：　　）		
20	あてはまるものなし		

問33　今後、ごみに関してどのような情報がほしいですか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に**○**を付けてください。

1	わかりやすい分別方法	2	ごみ処理コスト
3	ごみの減量方法	4	地域の集団（資源）回収
5	生ごみ処理機などの購入費助成制度	6	ごみ減量・リサイクル推進活動団体の紹介
7	ごみ減量・リサイクルに関する講座・セミナー	8	ごみ減量による CO_2 削減量を表示するなど、地球温暖化防止効果の「見える化」
9	市町のごみの量やリサイクル率などのごみ処理状況		
10	その他（具体的に：　　）		
11	あてはまるものなし		

問34　家庭から出されるごみを市町が処理するのに、どれくらい費用がかかっているかをご存知ですか？　　あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	知っている	2	少し知っている
3	あまり知らない	4	まったく知らない

問35　増え続けるごみを減らすため、ごみ（可燃ごみ）の排出に料金を課す市町が増えています。
税金を使ってごみ処理を行うことについてどう思いますか？
あなたのお考えに最も近いものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	ごみ処理は公共サービスなので、税金で処理するのがよい
2	最低限のごみ処理は税金で行い、それ以上のごみ処理は量に応じ出す人が負担するのがよい
3	ごみ処理費用はごみの量に応じて出す人が負担する仕組みとすることで、これまでごみ処理に使っていた税金を福祉や教育などにまわすのがよい
4	よくわからない
5	その他（具体的に　　）

問36　出したごみの量に応じて、多く出した者が多く負担するごみの有料化についてどう思いますか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	賛成	2	どちらかというと賛成
3	どちらかというと反対	4	反対

問37　ごみ有料化を検討する場合、どのようなことを重視すべきだと思いますか？
特に重要と思われるものを**３つまで**選び、番号に**○**を付けてください。

1	ごみを多く出す人ほどたくさん支払う公平なしくみとすること
2	家計への負担が少ない料金とすること
3	ごみ減量に効果があるよう、ごみを出すたびにある程度の負担が感じられる料金とすること
4	一人ひとりが取り組めるごみ減量メニューを配布すること
5	有料化によって得られた成果をきちんと説明すること
6	ごみにならない製品づくり、商品販売を働きかけること
7	ルール違反（不法投棄など）を許さないこと
8	有料化だけでなく、他のごみを減らすための方法を併せて検討すること
9	有料化により減ったごみ処理分の税金を、他の用途（福祉や教育など）に使うことを検討すること
10	その他（具体的に　　）

問38　ごみ処理を有料化した市町では、料金を「指定のごみ袋」を購入するという形で支払うことが多く、「指定のごみ袋」は普通のごみ袋に比べて値段が高くなっています。有料化する場合、その料金としていくらまでなら受け入れられますか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	ごみ袋大（45 リットル）が 1 袋 10 円程度	2	ごみ袋大が 1 袋 50 円程度
3	ごみ袋大が 1 袋 100 円程度	4	ごみ袋大が 1 袋 200 円程度
5	それ以上		

問39　あなたの市町でごみの有料化が実施された場合、どのようにごみを減らしますか？
既に実施している市町の方については、どのように減らしていますか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に**○**を付けてください。

1	台所ごみの水切りをする
2	台所ごみを、そのまま庭や畑に埋める
3	台所ごみを堆肥化処理する
4	紙くずなど少量のごみを庭や畑で焼却する
5	買い物袋（マイバッグ）などを持参しレジ袋をもらわない
6	詰め替え容器を使用した商品を買う
7	量り売り、ばら売りなど容器包装の少ないものを選ぶ
8	包装を断ったり、簡易包装を依頼する
9	食品は買いすぎないように注意する
10	生ごみなどの堆肥を利用した野菜や果物などを買うようにする
11	食事を食べ残さないようにする
12	不用物をフリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売ったりする
13	資源とごみの分別をより徹底する
14	地域の集団回収やスーパーの店頭回収を利用する
15	無駄な製品をできるだけ買わないよう、レンタル・リースの製品を使うようにする
16	マイボトル・マイカップの持参などで、ペットボトルなどの使い捨て型飲料容器をなるべく使わないようにする
17	マイ箸を携帯する
18	その他（具体的に：　　）
19	これらいずれもしない

問40　あなたの家の近くに中古の家電製品や家具を扱うお店（リサイクルショップ）ができたとします。この店がどんな店だったら、あなたは足を運んでみようと思いますか？
あてはまるものを**３つまで**選び、番号に**○**を付けてください。

1	店舗がきれい、明るい	2	取り扱っている商品がきれい
3	商品の品ぞろえがある	4	商品が探しやすい
5	品質など信頼できる	6	販売金額は安く、買取金額は高め
7	その他（具体的に：　　）		
8	どんな店でも足は運ばないと思う		

問41　あなたのご家庭から出る可燃ごみに限っていえば、努力によりどれだけ減らせると思いますか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	10%未満	2	10%～30%
3	30%～50%	4	50%～80%
5	80%以上	6	これ以上は減らせない

◎「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてお聞きします。

問42　ごみ処理のあり方や具体的なごみ減量化施策について定めた市町の「ごみ処理基本計画」づくりへの住民参画についてあなたの意見をお聞きします。
それぞれの意見について、あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

（１）計画づくりには、できるだけ多くの住民が参画することが必要だと思いますか？

1	とてもそう思う	3	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

（２）計画づくりに住民が参画すれば、住民の要望や意見を反映できると思いますか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

（３）計画は市町が主体的につくる方がよいと思いますか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

（４）あなたが計画づくりに参画することで、様々な情報を入手できると思いますか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

（５）あなたが計画づくりに参画すると、時間や手間がかかり大変だと思いますか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

（６）今後、このような計画づくりに住民参画の機会があった場合、あなたは参画したいですか？

1	とてもそう思う	2	少しそう思う
3	あまりそうは思わない	4	まったくそうは思わない

◎ 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」についてお聞きします。

問43　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	知っている	2	名前は聞いたことがある
3	知らない		

三重県のごみゼロキャラクター

問44　この三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	知っている	2	見たことはあるが、三重県のごみゼロキャラクターであることは知らなかった	3	知らない

問45　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」に関する県民参画の取組に参加したいと思いますか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に○を付けてください。

1	地域ごみゼロ交流会に参加したい
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい
4	ゼロ吉 Facebook でイベントなどの情報を読みたい
5	ごみゼロプランの進み具合やごみ減量化などの取組をまとめた「点検・評価」を読みたい
6	アンケートなどに協力したい
7	自分の意見をＦＡＸ、メールなどで県に寄せたい
8	ごみゼロプランの進捗状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい
9	いずれにも参加したいとは思わない
10	その他（具体的に：　　）

ごみゼロ社会の実現に向けてのご意見やご要望、アイデア等がありましたら、自由にお書きください。

質問は以上となります。お忙しいところ調査にご協力いただき、ありがとうございました。

Ⅱ．　事業者アンケート結果

1　調査の概要

1-1　調査の目的

この調査は、ごみに対する事業所の取組や考え方を把握することにより「ごみゼロ社会実現プラン」の推進に必要な基礎資料を得るため、実施する。

1-2　調査対象

総務省統計局の事業所母集団データベースのうち、三重県内の事業所から産業分類により件数按分を行い、計2,000件の事業所を無作為抽出し調査対象とした。

1-3　調査方法

調査票を郵送、回収した。回収期限前にはがきによる督促を行った。

1-4　調査期間

平成27年8月3日に調査票を発送し、8月21日を回答期限として回収した。なお回答期限後も回答があったため、10月1日を最終回収期限として有効回答に含めた。

1-5　抽出状況

従業員ランク	従業員数	1 農林漁業	2 建設業	3 製造業	4 電気ガス水道業	5 運輸情報通信業	6 卸売小売業宿泊業飲食店	7 金融保険不動産業	8 サービス業	9 その他	合計
1	1～9人	30	262	199	27	50	393	127	407	27	1,522
2	10～29人	19	32	66	10	33	91	20	61	9	341
3	30～99人	1	6	25	8	15	16	2	28	11	112
4	100人以上	0	0	10	5	2	0	1	4	3	25
合計（抽出件数）		50	300	300	50	100	500	150	500	50	2,000
合計（抽出率）		2.5%	15.0%	15.0%	2.5%	5.0%	25.0%	7.5%	25.0%	2.5%	100.0%
抽出母数		585	8,766	8,213	179	2,482	30,198	5,640	26,995	916	83,974
抽出率（対抽出母数）		8.5%	3.4%	3.7%	27.9%	4.0%	1.7%	2.7%	1.9%	5.5%	2.4%

表　1-1　「抽出状況」

※抽出状況における業務種別、従業員数は、総務省統計局の事業所母集団データベースの産業分類、従業員数により分類。

1-6　回収状況

番号	業種名	発送先	宛先不明	有効発送数	有効回収数	有効回収率
1	農林漁業	50	3	47	24	51.1%
2	建設業	300	11	289	80	27.7%
3	製造業	300	7	293	85	29.0%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	50	0	50	25	50.0%
5	運輸・情報通信業	100	4	96	37	38.5%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	500	37	463	118	25.5%
7	金融・保険・不動産業	150	12	138	43	31.2%
8	サービス業	500	16	484	175	36.2%
9	その他	50	11	39	66	169.2%
10	業種名未記入分	-	-	-	14	-
全体		2,000	101	1,899	667	35.1%

※「その他」は、公務を含む。「発送数」は、公務のみ。

表　1-2　「業種別」回収状況

番号	従業員数	発送先	有効回収数	有効回収率
1	1～9人	1,522	467	30.7%
2	10～29人	341	97	28.4%
3	30～99人	112	69	61.6%
4	100人以上	25	24	96.0%
5	無回答	―	10	―
全体		2,000	667	33.4%

表　1-3　「従業員数別」回収状況

1-7　平成16年度・平成22年度との比較

1-7-1　回収状況　業種別平成16年度・平成22年度との比較

番号	業種名	平成16年度	平成22年度	平成27年度	平成16年度との差	平成22年度との差
1	農林漁業	57.5%	61.2%	51.1%	-6.4%	-10.1%
2	建設業	39.5%	23.8%	27.7%	-11.8%	3.9%
3	製造業	43.2%	26.6%	29.0%	-14.2%	2.4%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	37.5%	83.3%	50.0%	12.5%	-33.3%
5	運輸・情報通信業	35.3%	28.0%	38.5%	3.2%	10.5%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	20.5%	20.4%	25.5%	5.0%	5.1%
7	金融・保険・不動産業	41.9%	24.1%	31.2%	-10.7%	7.1%
8	サービス業	44.0%	29.7%	36.2%	-7.8%	6.5%
9	その他	67.5%	67.3%	169.2%	101.7%	101.9%
全体		40.7%	29.9%	35.1%	-5.6%	5.2%

表　1-4　「業種別　平成16・22年度との比較」回収状況

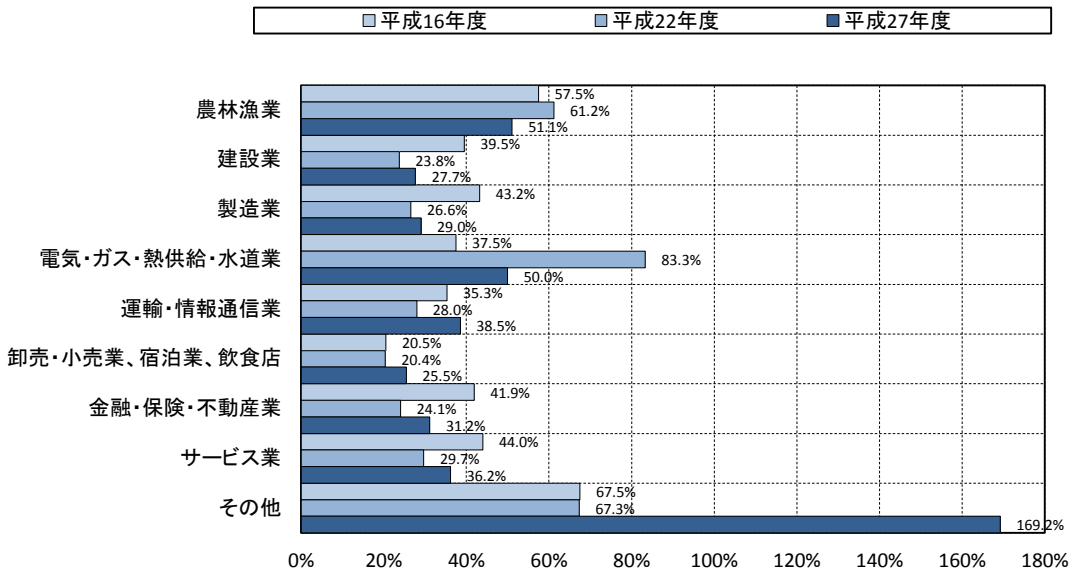


図　1-1　「業種別　平成16・22・27年度との比較」回収状況

平成27年度調査の回収率は平成16年度より低く、平成22年度より高い。

1-7-2　業種別従業員規模別回答状況

平成27年度	業種名	1～9人	10～29人	30～99人	100人以上	無回答	計
業種	農林漁業	19 (2.8%)	5 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (3.6%)
	建設業	72 (10.8%)	6 (0.9%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	80 (12.0%)
	製造業	46 (6.9%)	19 (2.8%)	11 (1.6%)	9 (1.3%)	0 (0.0%)	85 (12.7%)
	電気・ガス・熱供給・水道業	15 (2.2%)	3 (0.4%)	5 (0.7%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	25 (3.7%)
	運輸・情報通信業	16 (2.4%)	11 (1.6%)	9 (1.3%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	37 (5.5%)
	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	94 (14.1%)	15 (2.2%)	8 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	118 (17.7%)
	金融・保険・不動産業	29 (4.3%)	13 (1.9%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	43 (6.4%)
	サービス業	131 (19.6%)	18 (2.7%)	20 (3.0%)	6 (0.9%)	0 (0.0%)	175 (26.2%)
	その他	37 (5.5%)	7 (1.0%)	13 (1.9%)	6 (0.9%)	3 (0.4%)	66 (9.9%)
	無回答	8 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.9%)	14 (2.1%)
	計	467 (70.0%)	97 (14.5%)	69 (10.3%)	24 (3.6%)	10 (1.5%)	667 (100.0%)

表　1-5　「業種別　従業員規模別回答状況（平成27年度）」

平成22年度	業種名	1～9人	10～29人	30～99人	100人以上	無回答	計
業種	農林漁業	21 (3.8%)	8 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	30 (5.4%)
	建設業	52 (9.3%)	13 (2.3%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	67 (12.0%)
	製造業	44 (7.9%)	11 (2.0%)	15 (2.7%)	6 (1.1%)	1 (0.2%)	77 (13.8%)
	電気・ガス・熱供給・水道業	17 (3.1%)	7 (1.3%)	8 (1.4%)	8 (1.4%)	0 (0.0%)	40 (7.2%)
	運輸・情報通信業	8 (1.4%)	11 (2.0%)	5 (0.9%)	2 (0.4%)	0 (0.0%)	26 (4.7%)
	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	73 (13.1%)	9 (1.6%)	9 (1.6%)	2 (0.4%)	1 (0.2%)	94 (16.9%)
	金融・保険・不動産業	20 (3.6%)	8 (1.4%)	2 (0.4%)	1 (0.2%)	2 (0.4%)	33 (5.9%)
	サービス業	103 (18.5%)	21 (3.8%)	10 (1.8%)	5 (0.9%)	3 (0.5%)	142 (25.5%)
	その他	20 (3.6%)	7 (1.3%)	6 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (5.9%)
	無回答	3 (0.5%)	2 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (1.8%)	15 (2.7%)
	計	361 (64.8%)	97 (17.4%)	56 (10.1%)	24 (4.3%)	19 (3.4%)	557 (100.0%)

表　1-6　「業種別　従業員規模別回答状況（平成22年度）」

平成16年度	業種名	1～9人	10～29人	30～99人	100人以上	無回答	計
業種	農林漁業	19 (1.8%)	11 (1.1%)	8 (0.8%)	8 (0.8%)	0 (0.0%)	46 (4.4%)
	建設業	31 (3.0%)	33 (3.2%)	12 (1.2%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	79 (7.6%)
	製造業	28 (2.7%)	33 (3.2%)	48 (4.6%)	149 (14.3%)	1 (0.1%)	259 (24.9%)
	電気・ガス・熱供給・水道業	9 (0.9%)	8 (0.8%)	6 (0.6%)	7 (0.7%)	0 (0.0%)	30 (2.9%)
	運輸・情報通信業	7 (0.7%)	13 (1.3%)	22 (2.1%)	11 (1.1%)	0 (0.0%)	53 (5.1%)
	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	66 (6.4%)	21 (2.0%)	29 (2.8%)	18 (1.7%)	0 (0.0%)	134 (12.9%)
	金融・保険・不動産業	35 (3.4%)	14 (1.3%)	11 (1.1%)	7 (0.7%)	0 (0.0%)	67 (6.4%)
	サービス業	73 (7.0%)	65 (6.3%)	61 (5.9%)	52 (5.0%)	2 (0.2%)	253 (24.4%)
	その他	35 (3.4%)	12 (1.2%)	3 (0.3%)	4 (0.4%)	0 (0.0%)	54 (5.2%)
	無回答	8 (0.8%)	4 (0.4%)	3 (0.3%)	1 (0.1%)	48 (4.6%)	64 (6.2%)
	計	311 (29.9%)	214 (20.6%)	203 (19.5%)	260 (25.0%)	51 (4.9%)	1039 (100.0%)

表　1-7　「業種別　従業員規模別回答状況（平成16年度）」

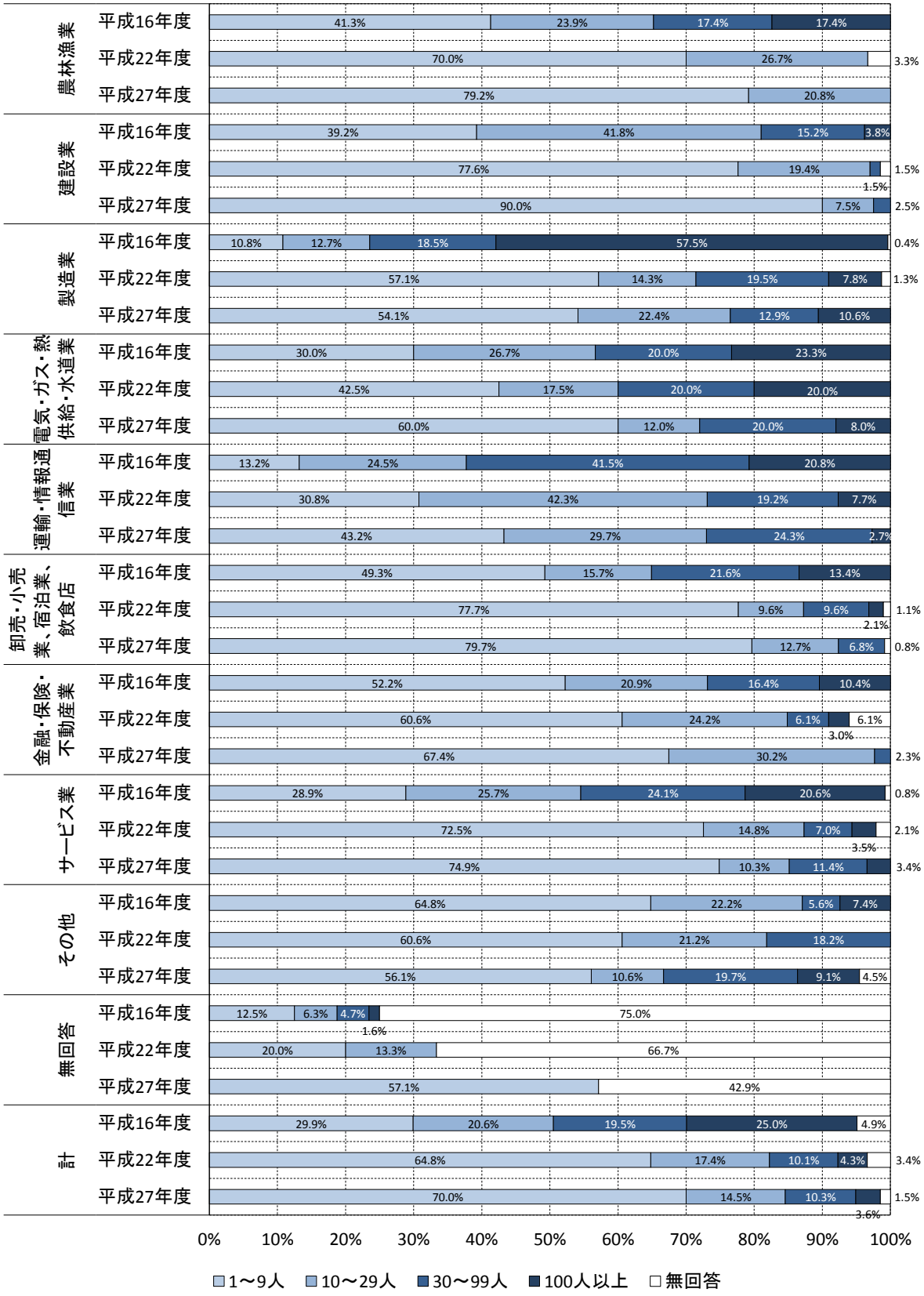


図　1-2　「従業員規模別　回答数比率比較」

従業員規模別の回答状況は、小規模事業所（1～9人）では平成27年度が69.9%に対し、平成22年度は64.8%、平成16年度は29.9%である。大規模事業所（100人以上）では平成27年度が3.6%に対し、平成22年度は4.3%、平成16年度は25.0%となっている。平成27年度の回答事業所は小規模事業所の比率が平成22年度よりも高くなっている。

1-8　分析結果の見方

①各比率は、各設問の回答数を有効回答数の100分率で示している。比率は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならないことがある。

②複数回答の場合の各比率は、その項目を選んだ人が有効回答数の何%に当たるかを算出している。従って各項目の比率の合計は100%を超える場合がある。

③ある設問の指定された回答を選んだ人を対象回答者としている場合がある。このような場合指定回答者以外の回答は無効回答としている。

1-9　標本誤差の範囲

事業者意識調査を実施する場合、本来は県内の全事業者を対象とすることが望ましいが、実際には適当な事業者を選んで精度の高い調査結果（全数調査の結果に近い調査結果）を得ることになる。今回は667事業者から回答を得た。

この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるかは、アンケート結果に対する標本誤差を算定することで検証できる。

統計学的には、標本誤差が3%以下であれば精度の高い調査結果であるとされている。

標本誤差が3%ということは、調査結果が母集団の真値に対し、ある信頼度（今回の信頼度は95%とした）でプラス・マイナス3%の範囲にあるということである。

標本誤差σは次式で算定される。

$$\sigma = k \sqrt{\frac{(M-n)}{(M-1)} \times \frac{p\ (1-p)}{n}}$$

記号	項目	内容
σ	標本誤差	上記による
M	母集団	総務省統計局の事業所母集団データベースから
n	有効回収数	表　1-5　の通り
k	信頼度による定数	信頼度95%の時、1.96
p	結果の比率	50%の時が最も大きな値となる

表　1-8　記号の説明

		p：結果の比率					M：母集団	n：有効回答数
		50%・50%	40%・60%	30%・70%	20%・80%	10%・90%		
全体		3.78	3.70	3.46	3.02	2.14	83,974	667
業種	農林漁業	19.61	19.21	17.97	15.69	11.09	585	24
	建設業	10.91	10.69	10.00	8.73	6.17	8,766	80
	製造業	10.58	10.36	9.69	8.46	5.98	8,213	85
	電気・ガス・熱供給・水道業	18.23	17.86	16.71	14.58	10.31	179	25
	運輸・情報通信業	15.99	15.67	14.66	12.80	9.05	2,482	37
	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	9.00	8.82	8.25	7.20	5.09	30,198	118
	金融・保険・不動産業	14.89	14.59	13.65	11.91	8.42	5,640	43
	サービス業	7.38	7.23	6.77	5.91	4.18	26,995	175
	その他	11.63	11.39	10.66	9.30	6.58	916	66

表　1-9　標本誤差算定結果

標本誤差の算定結果は、最も大きな値を示す結果の比率が50%の場合でも事業者アンケート全体の回答結果では、全事業者に対する質問の回答から±3.78%以下の僅差と考えられる。

2　調査結果（属性）

2-1　業種

問1	あなたの事業所はどのような業種にあてはまりますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けて下さい。

業種別では「サービス業」が26.2%で最も高く、「卸売・小売業、宿泊業、飲食店」が17.7%、「製造業」が12.7%、「建設業」が12.0%と続いている。他の業種は10%未満である。

①　単純集計

問1	業種名	回答数	回答率
1	農林漁業	24	3.6%
2	建設業	80	12.0%
3	製造業	85	12.7%
4	電機・ガス・熱供給・水道業	25	3.7%
5	運輸・情報通信業	37	5.5%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	118	17.7%
7	金融・保険・不動産業	43	6.4%
8	サービス業	175	26.2%
9	その他	66	9.9%
99	無回答	14	2.3%
計		667	100.0%

表　2-1　「業種」回答状況

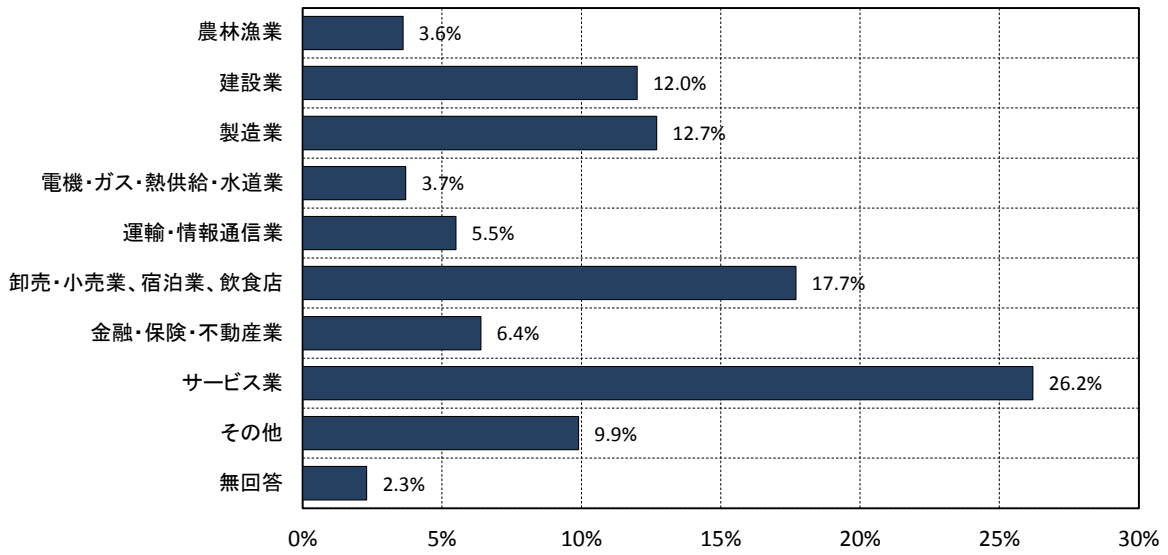


図　2-1　「業種」回答率

2-2　建物形態

問2	あたなの事業所はどのような建物形態ですか？ あてはまるものを１つ選び番号に○を付けてください。

「1社占有」が57.4%を占めている。次いで「自宅兼用」が25.1%となっている。

①　単純集計

問2	業種名	回答数	回答率
1	1社占有	382	57.3%
2	テナントやマンション	102	15.3%
3	自宅兼用	167	25.0%
4	その他	4	0.6%
99	無回答	12	1.8%
計		667	100.0%

表　2-2　「建物携帯」回答状況

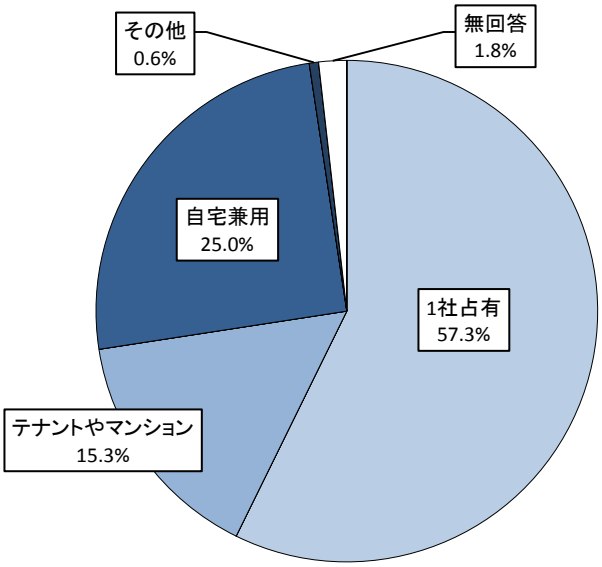


図　2-2　「建物形態」回答率

2-3　従業員数

問3	あなたの事業所の従業員は何名ですか？ あてはまるもの1つ選び、番号に○を付けてください。

「1～4人」で約半数を占めており、一方100人以上は3%弱となっている。
小規模事業所の回答割合が高い結果となっている。

①　単純集計

問3	業種名	回答数	回答率
1	1～4人	358	54.0%
2	5～9人	109	16.0%
3	10～19人	73	11.0%
4	20～29人	24	4.0%
5	30～49人	35	5.0%
6	50～99人	34	5.0%
7	100～299人	15	2.2%
8	300人以上	9	1.3%
99	無回答	10	1.5%
計		667	100.0%

表　2-3　「従業員数」回答状況

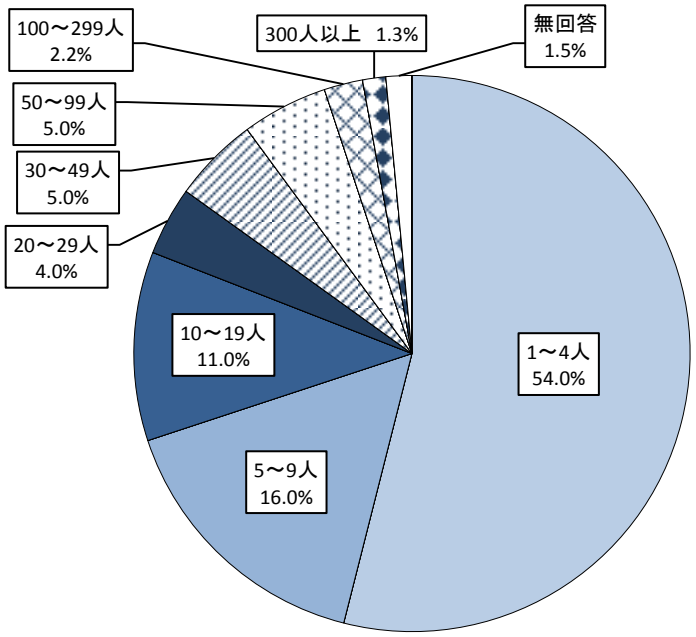


図　2-3　「従業員数」回答率

2-4　所在地

問4	あなたの事業所の所在地はどちらですか？ あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

事業所の所在地は、津市：15%、四日市市：14.5%、松阪市：10%、伊勢市：9%が多く、他の市町は8%未満となっている。
地域別では、北勢地域が38%と最も割合が多い。

①　単純集計

問1	市町名	回答数	回答率
1	津市	98	15.0%
2	四日市市	97	14.5%
3	伊勢市	60	9.0%
4	松阪市	66	10.0%
5	桑名市	41	6.1%
6	いなべ市	16	2.4%
7	鈴鹿市	52	8.0%
8	亀山市	21	3.1%
9	伊賀市	39	5.8%
10	名張市	26	4.0%
11	尾鷲市	15	2.2%
12	鳥羽市	9	1.3%
13	熊野市	9	1.3%
14	志摩市	24	3.6%
15	菰野町	14	2.1%
16	東員町	5	0.7%
17	木曽岬町	0	0.0%
18	朝日町	3	0.4%
19	川越町	7	1.0%
20	明和町	2	0.3%
21	多気町	8	1.2%
22	大台町	5	0.7%
23	玉城町	7	1.0%
24	度会町	7	1.0%
25	大紀町	1	0.1%
26	南伊勢町	4	0.6%
27	紀北町	14	2.1%
28	御浜町	4	0.6%
29	紀宝町	4	0.6%
99	無回答	9	1.3%
計		667	100.0%

表　2-4　「市町」回答状況

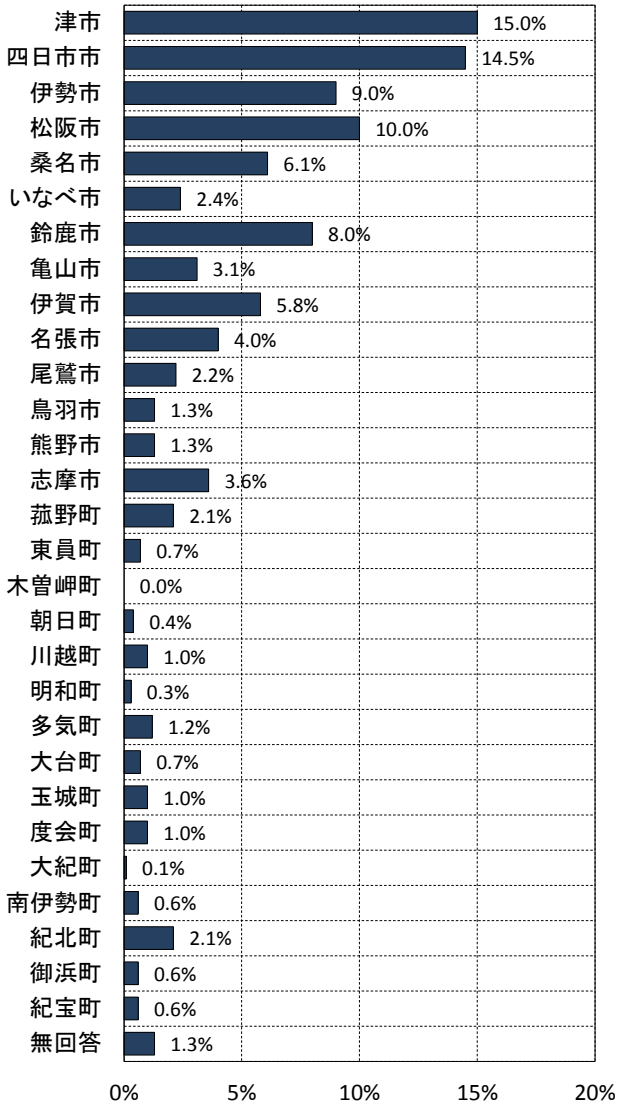


図　2-4　「市町」回答率

番号	地域名	回答数	回答率
1	北勢（四日市市、桑名市、いなべ市、鈴鹿市、亀山市、 菰野町、東員町、木曽岬町、朝日町、川越町）	256	38.0%
2	中勢（津市）	98	15.0%
3	南勢志摩（伊勢市、松阪市、鳥羽市、志摩市、明和町、多気町、 大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町）	193	29.0%
4	伊賀（伊賀市、名張市）	65	10.0%
5	東紀州（尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町）	46	7.0%
6	無回答	9	1.0%
計		667	100.0%

表　2-5　「地域」回答状況

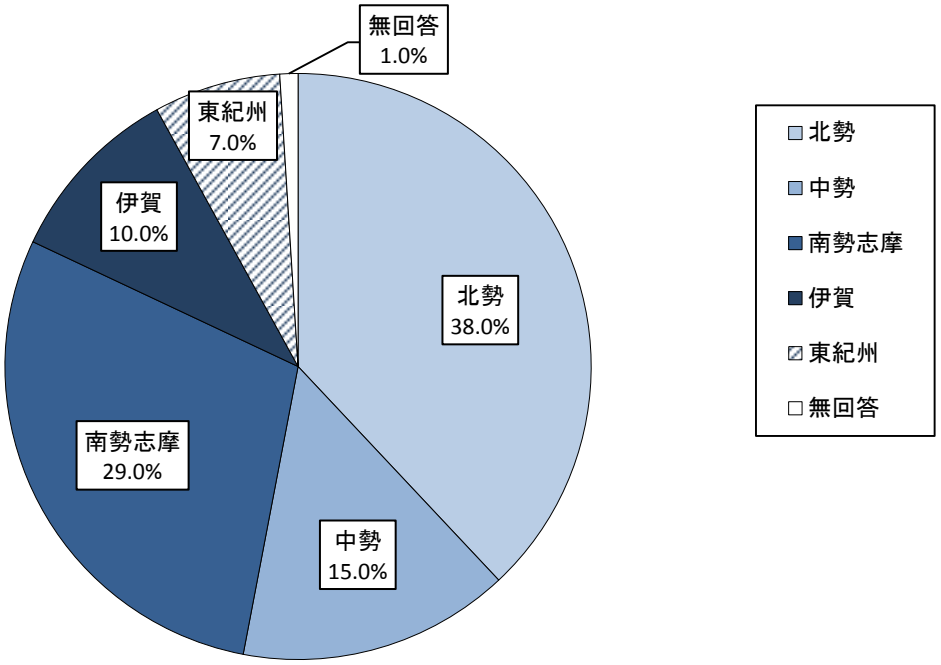


図　2-5　「地域」回答率

3　調査結果（詳細）

3-1　事業系ごみ（事業系一般廃棄物）の減量やリサイクルの取組

問5	あなたの事業所ではごみの減量化に取り組んでいますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

減量化の取組は、「かなり取り組んでいる」、「ある程度取り組んでいる」をあわせて64%を占めている。
上記の計をみると業種別では、「電気・ガス・熱供給・水道業」が76.0%と最も高く、次いで「建設業」が74%となっている。「農林漁業」は、54.2%で最も低い。
規模別（従業員数別）では、規模が大きくなるにつれて割合が高くなっている。

調査結果の算定は次のように行っている。
単純集計：総回答数667件について無回答を含め算定している。
クロス集計：クロス項目（業種別、従業員数別）の無回答は、削除して算定している。
したがって、クロス集計の全体の数値は単純集計の数値と異なっている。

①　単純集計

問1	減量化への取組	回答数	回答率
1	かなり取り組んでいる	88	13.2%
2	ある程度取り組んでいる	340	51.0%
3	あまり取り組んでいない	193	28.9%
4	全く取り組んでいない	32	4.8%
99	無回答	14	2.1%
計		667	100.0%

表　3-1　ごみ減量化の取組「回答状況」

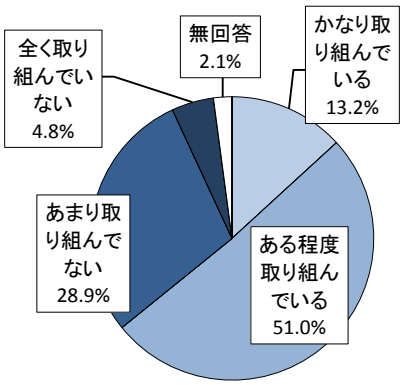


図　3-1　ごみ減量化の取組「回答率」

② 業種別クロス集計

問5 業種別減量化の取組（回答数）		1 かなり取り組んでいる	2 ある程度取り組んでいる	1+2	3 あまり取り組んでいない	4 全く取り組んでいない	3+4	99 無回答	計
1	農林漁業	4	9	13	8	2	10	1	24
2	建設業	8	51	59	17	3	20	1	80
3	製造業	13	44	57	22	3	25	3	85
4	電機・ガス・熱供給・水道業	5	14	19	6	0	6	0	25
5	運輸・情報通信業	9	18	27	9	1	10	0	37
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	15	55	70	37	8	45	3	118
7	金融・保険・不動産	6	22	28	13	1	14	1	43
8	サービス業	19	83	102	60	12	72	1	175
9	その他	9	38	47	17	2	19	0	66
計		88	334	422	189	32	221	10	653

問5 業種別減量化の取組（回答率）		1 かなり取り組んでいる	2 ある程度取り組んでいる	1+2	3 あまり取り組んでいない	4 全く取り組んでいない	3+4	99 無回答	計
1	農林漁業	16.7%	37.5%	54.2%	33.3%	8.3%	41.6%	4.2%	100.0%
2	建設業	10.0%	64.0%	74.0%	21.0%	4.0%	25.0%	1.0%	100.0%
3	製造業	15.0%	51.8%	66.8%	25.9%	3.5%	29.4%	3.5%	100.0%
4	電機・ガス・熱供給・水道業	20.0%	56.0%	76.0%	24.0%	0.0%	24.0%	0.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	24.3%	48.6%	73.0%	24.3%	2.7%	27.0%	0.0%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	12.7%	46.6%	59.3%	31.4%	6.8%	38.2%	2.5%	100.0%
7	金融・保険・不動産	14.0%	51.2%	65.1%	30.2%	2.3%	32.6%	2.3%	100.0%
8	サービス業	10.9%	47.4%	58.3%	34.3%	6.9%	41.1%	0.6%	100.0%
9	その他	13.6%	57.6%	71.2%	25.8%	3.0%	28.8%	0.0%	100.0%
全体		13.5%	51.1%	64.6%	28.9%	4.9%	33.8%	1.5%	100.0%

表 3-2 「業種別 ごみ減量化の取組」回答状況

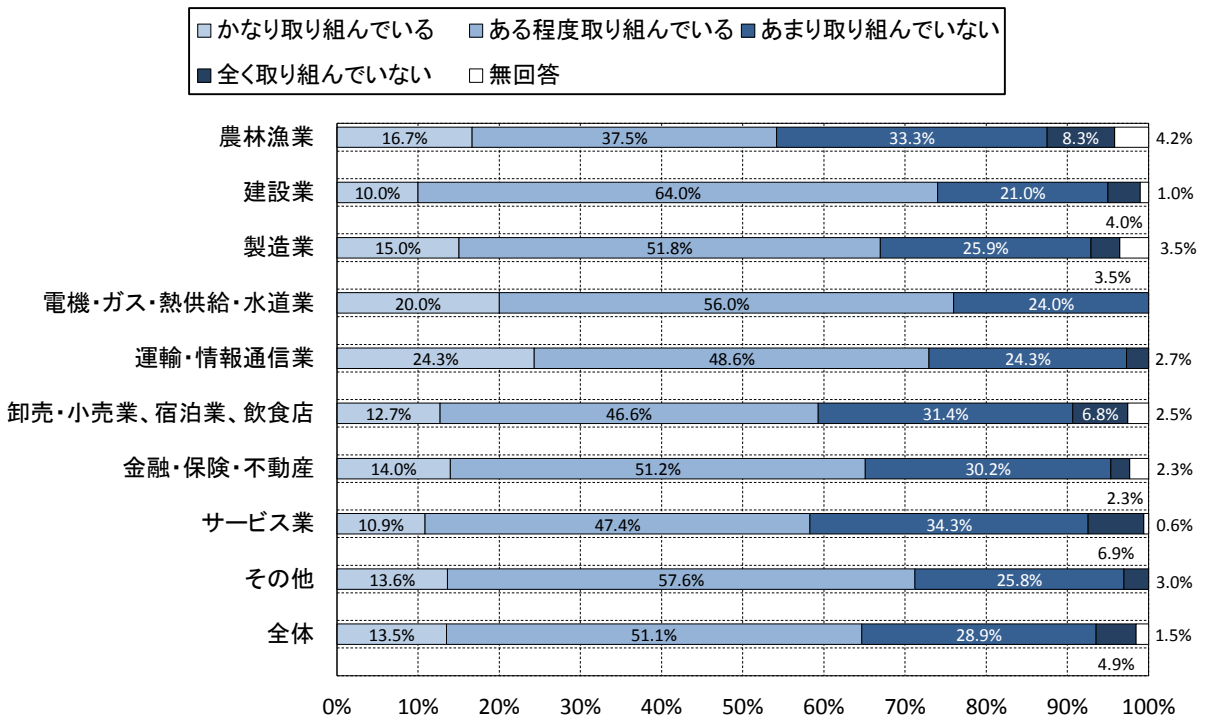


図 3-2 「業種別 ごみ減量化の取組」回答率

③　従業員数クロス集計

問5 従業員数別減量化の取組（回答数）		1 かなり取り組んでいる	2 ある程度取り組んでいる	1+2	3 あまり取り組んでいない	4 全く取り組んでいない	3+4	99 無回答	計
1	1～4人	45	171	216	112	23	135	7	358
2	5～9人	9	64	73	29	5	34	2	109
3	10～19人	10	37	47	24	1	25	1	73
4	20～29人	4	10	14	9	1	10	0	24
5	30～49人	7	20	27	7	1	8	0	35
6	50～99人	10	17	27	7	0	7	0	34
7	100～299人	1	11	12	3	0	3	0	15
8	300人以上	2	7	9	0	0	0	0	9
計		88	337	425	191	31	222	10	657

問5 従業員別減量化の取組（回答率）		1 かなり取り組んでいる	2 ある程度取り組んでいる	1+2	3 あまり取り組んでいない	4 全く取り組んでいない	3+4	99 無回答	計
1	1～4人	12.6%	47.8%	60.3%	31.3%	6.4%	37.7%	2.0%	100.0%
2	5～9人	8.3%	58.7%	67.0%	26.6%	4.6%	31.2%	1.8%	100.0%
3	10～19人	13.7%	50.7%	64.4%	32.9%	1.4%	34.2%	1.4%	100.0%
4	20～29人	16.7%	41.7%	58.3%	37.5%	4.2%	41.7%	0.0%	100.0%
5	30～49人	20.0%	57.1%	77.1%	20.0%	2.9%	22.9%	0.0%	100.0%
6	50～99人	29.4%	50.0%	79.4%	20.6%	0.0%	20.6%	0.0%	100.0%
7	100～299人	6.7%	73.3%	80.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
8	300人以上	22.2%	77.8%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体		13.4%	51.3%	64.7%	29.1%	4.7%	33.8%	1.5%	100.0%

表　3-3　「業種別　ごみ減量化の取組」回答状況

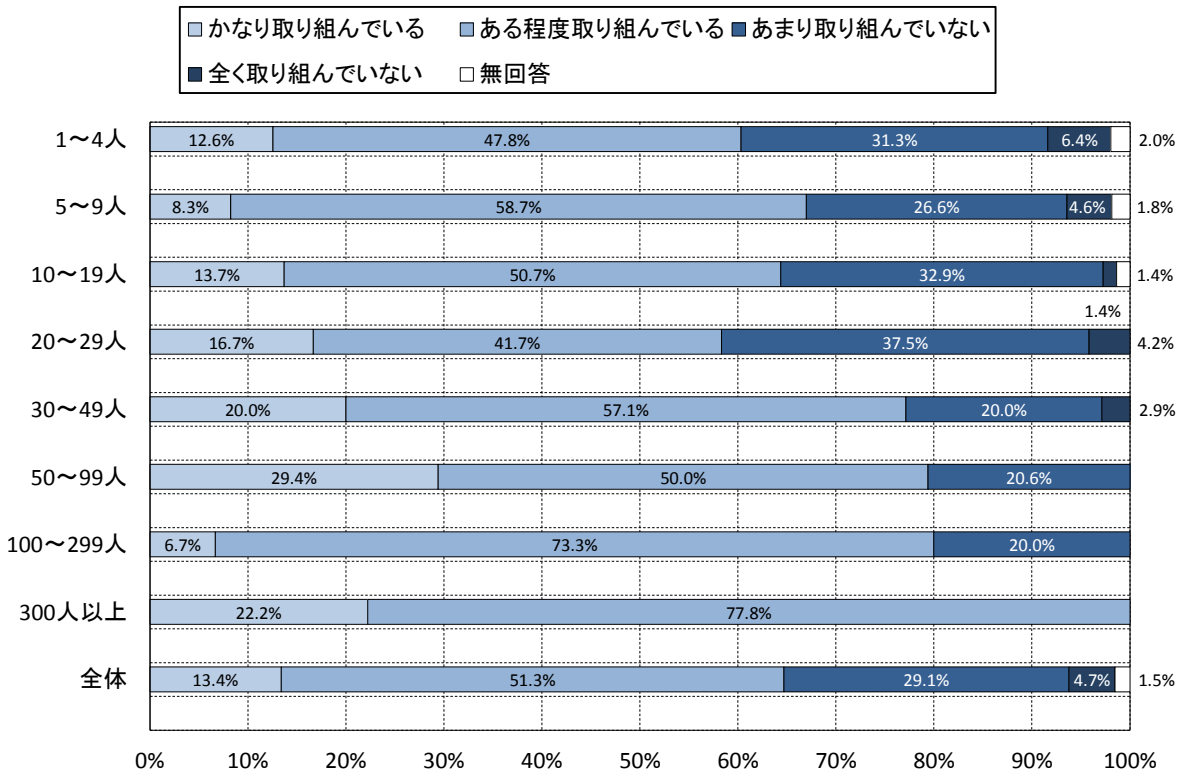


図　3-3　「従業員数別　ごみ減量化の取組」回答率

問6	（問5で「1　かなり取り組んでいる」「2　ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ） ごみ減量化に取り組む理由は何ですか？ あてはまるものを3つまで選び、番号に○を付けてください。

減量化への取組理由は、最も高かったのは「経費削減のため」が57.9%、「企業としての社会的責任を果たすため」が57.9%となっている。
業種別でも上記2項目が上位を占めている。

①　単純集計

問6	業種名	回答数	回答率
1	経費削減のため	248	57.9%
2	社の宣伝やイメージアップのため	24	5.6%
3	企業としての社会的責任を果たすため	248	57.9%
4	法律等の規制があるため	68	15.9%
5	業界全体で取り組んでいるため	62	14.5%
6	競合他社が取り組んでいるため	1	0.2%
7	ごみ保管場所に制約があるため	122	28.5%
8	その他	25	5.8%
総回答数		798	186.3%
有効回答数		428	

表　3-4　ごみ減量化の取組理由「回答状況」

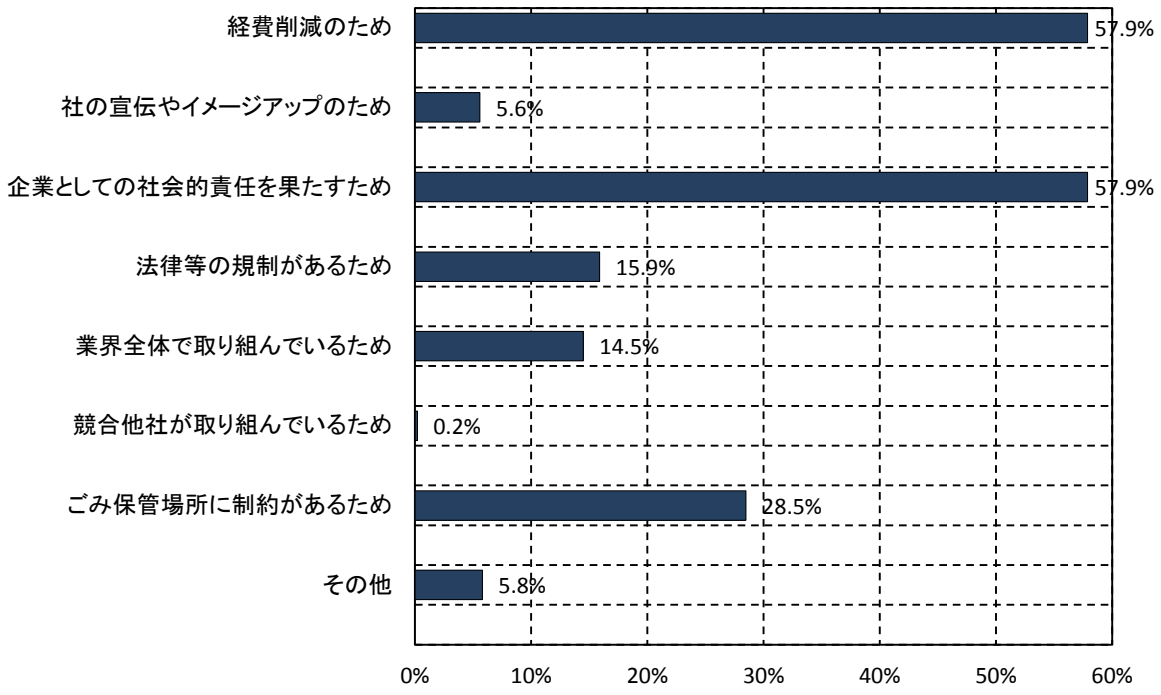
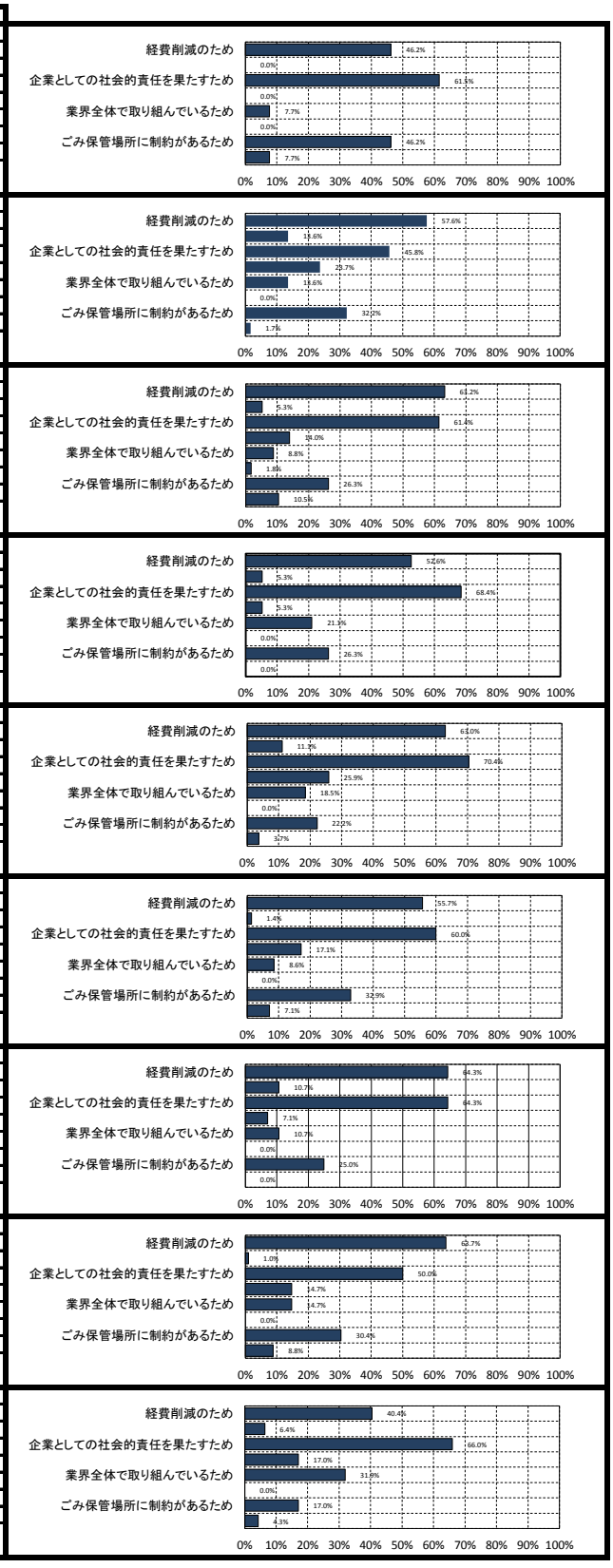


図　3-4　ごみ減量化の取組理由「回答率」

②　業種別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	経費削減のため	6	46.2%
		2	社の宣伝やイメージアップのため	0	0.0%
		3	企業としての社会的責任を果たすため	8	61.5%
		4	法律等の規制があるため	0	0.0%
		5	業界全体で取り組んでいるため	1	7.7%
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%
		7	ごみ保管場所に制約があるため	6	46.2%
		8	その他	1	7.7%
			総回答数	22	169.3%
			有効回答数	13	
2	建設業	1	経費削減のため	34	57.6%
		2	社の宣伝やイメージアップのため	8	13.6%
		3	企業としての社会的責任を果たすため	27	45.8%
		4	法律等の規制があるため	14	23.7%
		5	業界全体で取り組んでいるため	8	13.6%
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%
		7	ごみ保管場所に制約があるため	19	32.2%
		8	その他	1	1.7%
			総回答数	111	188.2%
			有効回答数	59	
3	製造業	1	経費削減のため	36	63.2%
		2	社の宣伝やイメージアップのため	3	5.3%
		3	企業としての社会的責任を果たすため	35	61.4%
		4	法律等の規制があるため	8	14.0%
		5	業界全体で取り組んでいるため	5	8.8%
		6	競合他社が取り組んでいるため	1	1.8%
		7	ごみ保管場所に制約があるため	15	26.3%
		8	その他	6	10.5%
			総回答数	109	191.3%
			有効回答数	57	
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	経費削減のため	10	52.6%
		2	社の宣伝やイメージアップのため	1	5.3%
		3	企業としての社会的責任を果たすため	13	68.4%
		4	法律等の規制があるため	1	5.3%
		5	業界全体で取り組んでいるため	4	21.1%
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%
		7	ごみ保管場所に制約があるため	5	26.3%
		8	その他	0	0.0%
			総回答数	34	179.0%
			有効回答数	19	
5	運輸 情報 通信業	1	経費削減のため	17	63.0%
		2	社の宣伝やイメージアップのため	3	11.1%
		3	企業としての社会的責任を果たすため	19	70.4%
		4	法律等の規制があるため	7	25.9%
		5	業界全体で取り組んでいるため	5	18.5%
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%
		7	ごみ保管場所に制約があるため	6	22.2%
		8	その他	1	3.7%
			総回答数	58	214.8%
			有効回答数	27	
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	経費削減のため	39	55.7%
		2	社の宣伝やイメージアップのため	1	1.4%
		3	企業としての社会的責任を果たすため	42	60.0%
		4	法律等の規制があるため	12	17.1%
		5	業界全体で取り組んでいるため	6	8.6%
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%
		7	ごみ保管場所に制約があるため	23	32.9%
		8	その他	5	7.1%
			総回答数	128	182.8%
			有効回答数	70	
7	金融 保険 不動産業	1	経費削減のため	18	64.3%
		2	社の宣伝やイメージアップのため	3	10.7%
		3	企業としての社会的責任を果たすため	18	64.3%
		4	法律等の規制があるため	2	7.1%
		5	業界全体で取り組んでいるため	3	10.7%
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%
		7	ごみ保管場所に制約があるため	7	25.0%
		8	その他	0	0.0%
			総回答数	51	182.1%
			有効回答数	28	
8	サービス業	1	経費削減のため	65	63.7%
		2	社の宣伝やイメージアップのため	1	1.0%
		3	企業としての社会的責任を果たすため	51	50.0%
		4	法律等の規制があるため	15	14.7%
		5	業界全体で取り組んでいるため	15	14.7%
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%
		7	ごみ保管場所に制約があるため	31	30.4%
		8	その他	9	8.8%
			総回答数	187	183.3%
			有効回答数	102	
9	その他	1	経費削減のため	19	40.4%
		2	社の宣伝やイメージアップのため	3	6.4%
		3	企業としての社会的責任を果たすため	31	66.0%
		4	法律等の規制があるため	8	17.0%
		5	業界全体で取り組んでいるため	15	31.9%
		6	競合他社が取り組んでいるため	0	0.0%
		7	ごみ保管場所に制約があるため	8	17.0%
		8	その他	2	4.3%
			総回答数	86	183.0%
			有効回答数	47	



表・図　3-5　「業種別　ごみ減量化の取組理由」回答状況

問7	（問5で「1　かなり取り組んでいる」「2　ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ） あなたの事業所ではどのようなごみ減量に取り組んでいますか？ あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。　（複数回答）

ごみ減量の取組内容では、「コピー用紙等の削減」が49.8%で最も高く、次いで「ごみ箱の廃止」29.9%、「自販機設置業者による容器の引き取り」26.9%となっている。業種別でも同じ傾向が見られる。

①　単純集計

問7	業種名	回答数	回答率
1	ISO14001　認証取得等	57	13.3%
2	ごみ箱の廃止	128	29.9%
3	ごみ管理責任者の設置	66	15.4%
4	生ごみの堆肥化	48	11.2%
5	通い箱の活用等納入業者との連携	79	18.5%
6	コピー用紙等の削減	213	49.8%
7	自販機設置業者による容器の引き取り	115	26.9%
8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	78	18.2%
9	その他	41	9.6%
総回答数		825	192.8%
有効回答数		428	

表　3-6　「ごみ減量化の取組内容」回答状況

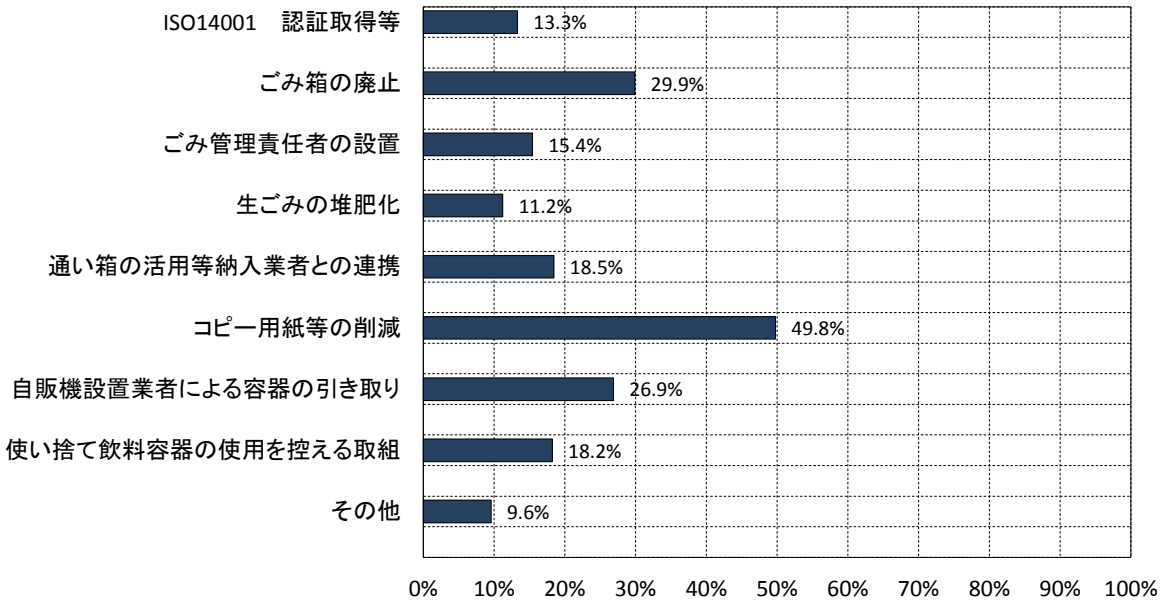
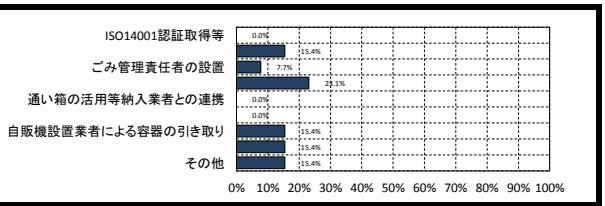
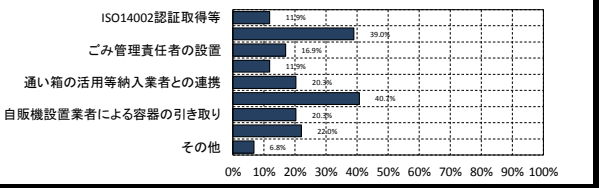


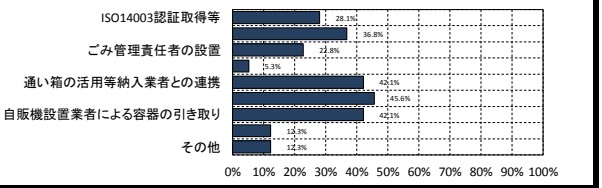
図　3-6　「ごみ減量化の取組内容」回答率

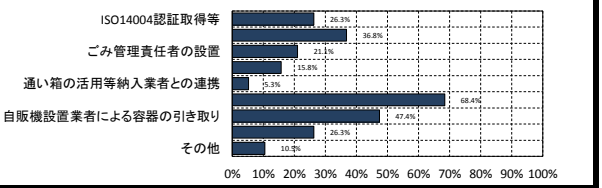
②　業種別クロス集計

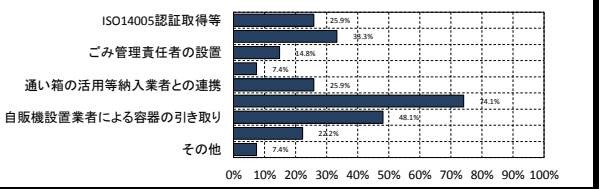
番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	ISO14001認証取得等	0	0.0%
		2	ごみ箱の廃止	2	15.4%
		3	ごみ管理責任者の設置	1	7.7%
		4	生ごみの堆肥化	3	23.1%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	0	0.0%
		6	コピー用紙等の削減	0	0.0%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	2	15.4%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	2	15.4%
		9	その他	2	15.4%
			総回答数	12	92.4%
			有効回答数	13	
2	建設業	1	ISO14002認証取得等	7	11.9%
		2	ごみ箱の廃止	23	39.0%
		3	ごみ管理責任者の設置	10	16.9%
		4	生ごみの堆肥化	7	11.9%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	12	20.3%
		6	コピー用紙等の削減	24	40.7%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	12	20.3%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	13	22.0%
		9	その他	4	6.8%
			総回答数	112	189.8%
			有効回答数	59	
3	製造業	1	ISO14003認証取得等	16	28.1%
		2	ごみ箱の廃止	21	36.8%
		3	ごみ管理責任者の設置	13	22.8%
		4	生ごみの堆肥化	3	5.3%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	24	42.1%
		6	コピー用紙等の削減	26	45.6%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	24	42.1%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	7	12.3%
		9	その他	7	12.3%
			総回答数	141	247.4%
			有効回答数	57	
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	ISO14004認証取得等	5	26.3%
		2	ごみ箱の廃止	7	36.8%
		3	ごみ管理責任者の設置	4	21.1%
		4	生ごみの堆肥化	3	15.8%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	1	5.3%
		6	コピー用紙等の削減	13	68.4%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	9	47.4%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	5	26.3%
		9	その他	2	10.5%
			総回答数	49	257.9%
			有効回答数	19	
5	運輸 情報 通信業	1	ISO14005認証取得等	7	25.9%
		2	ごみ箱の廃止	9	33.3%
		3	ごみ管理責任者の設置	4	14.8%
		4	生ごみの堆肥化	2	7.4%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	7	25.9%
		6	コピー用紙等の削減	20	74.1%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	13	48.1%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	6	22.2%
		9	その他	2	7.4%
			総回答数	70	259.1%
			有効回答数	27	
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	ISO14006認証取得等	7	10.0%
		2	ごみ箱の廃止	19	27.1%
		3	ごみ管理責任者の設置	11	15.7%
		4	生ごみの堆肥化	6	8.6%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	16	22.9%
		6	コピー用紙等の削減	30	42.9%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	17	24.3%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	10	14.3%
		9	その他	6	8.6%
			総回答数	122	174.4%
			有効回答数	70	
7	金融 保険 不動産業	1	ISO14007認証取得等	2	7.1%
		2	ごみ箱の廃止	5	17.9%
		3	ごみ管理責任者の設置	2	7.1%
		4	生ごみの堆肥化	5	17.9%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	2	7.1%
		6	コピー用紙等の削減	20	71.4%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	5	17.9%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	3	10.7%
		9	その他	4	14.3%
			総回答数	48	171.4%
			有効回答数	28	
8	サービス業	1	ISO14008認証取得等	6	5.9%
		2	ごみ箱の廃止	26	25.5%
		3	ごみ管理責任者の設置	18	17.6%
		4	生ごみの堆肥化	12	11.8%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	12	11.8%
		6	コピー用紙等の削減	51	50.0%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	18	17.6%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	19	18.6%
		9	その他	11	10.8%
			総回答数	173	169.6%
			有効回答数	102	
9	その他	1	ISO14009認証取得等	7	14.9%
		2	ごみ箱の廃止	14	29.8%
		3	ごみ管理責任者の設置	3	6.4%
		4	生ごみの堆肥化	6	12.8%
		5	通い箱の活用等納入業者との連携	3	6.4%
		6	コピー用紙等の削減	26	55.3%
		7	自販機設置業者による容器の引き取り	14	29.8%
		8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	11	23.4%
		9	その他	2	4.3%
			総回答数	86	183.1%
			有効回答数	47	

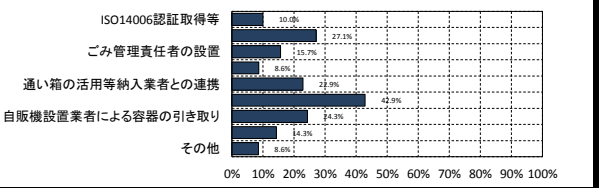


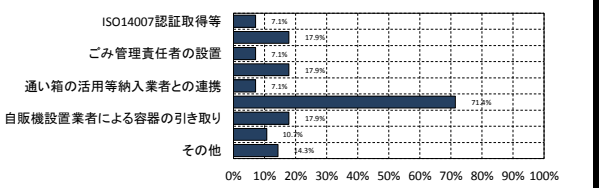


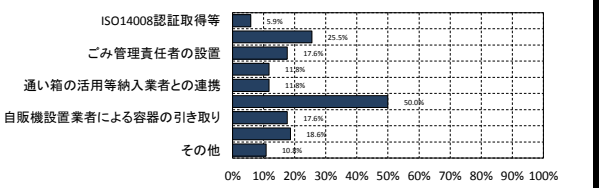


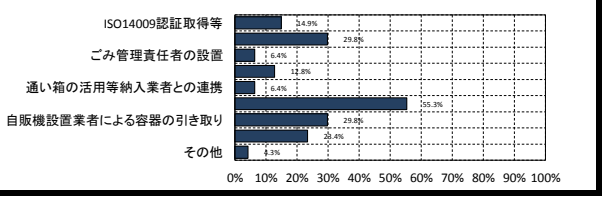












表・図　3-7　「業種別　ごみ減量化の取組内容」回答状況

問8	（問5で「3　あまり取り組んでいない」「4　全く取り組んでいない」と答えた方のみ） あなたの事業所でごみ減量に取り組んでいないのはなぜですか？ あてはまるものを3つまで選び、番号に○を付けてください。　（複数回答）

減量化へ取り組まない理由は、「ごみが出ない」が63.6%で最も高く、次いで「一括契約で料金が減らない」が26.7%となっている。
業種別でも全ての業種で「ごみが出ない」が最も高い。

①　単純集計

問8	業種名	回答数	回答率
1	一括契約で料金が減らない	60	26.7%
2	処理料金が安く効果がない	7	3.1%
3	従業員の協力が得られない	14	6.2%
4	ごみが出ない	143	63.6%
5	事業優先	11	4.9%
6	その他	28	12.4%
総回答数		263	116.9%
有効回答数		225	

表　3-8　「ごみ減量化の取り組まない理由」回答状況

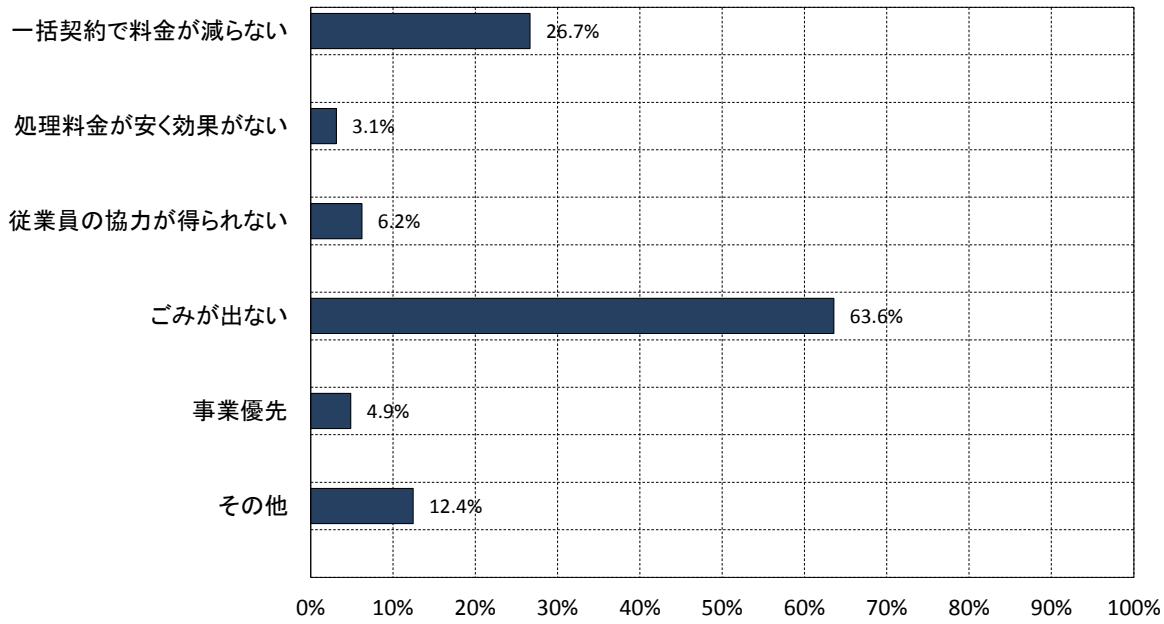
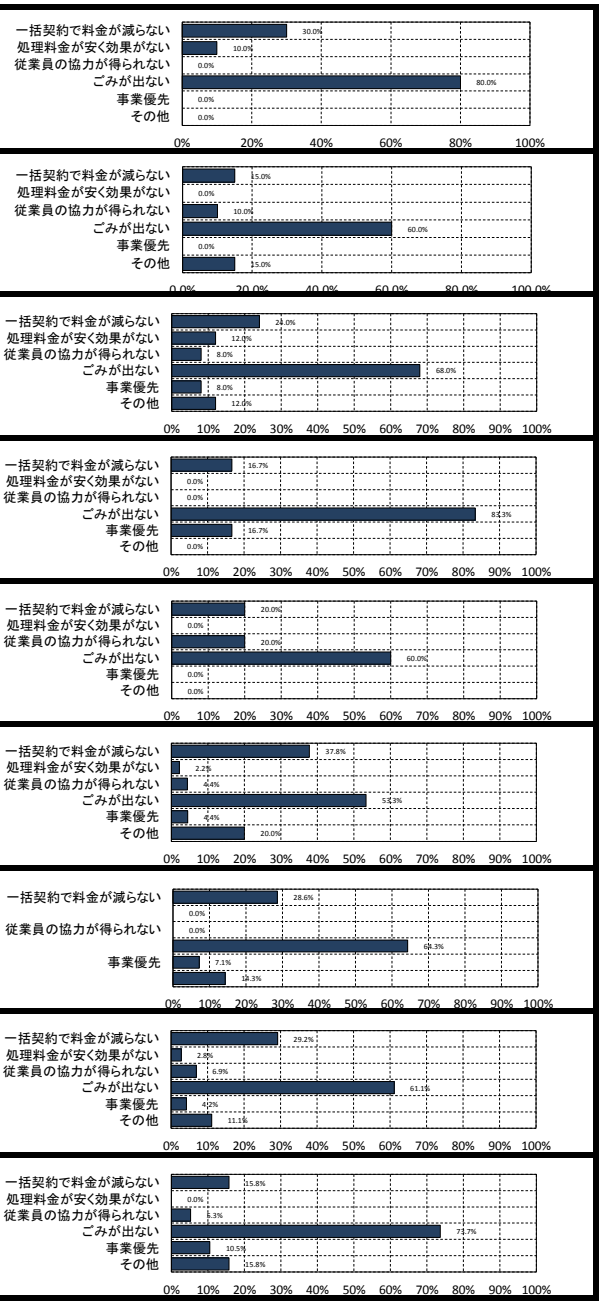


図　3-8　「ごみ減量化の取り組まない理由」回答率

②　業種別クロス集計

番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	一括契約で料金が減らない	3	30.0%
		2	処理料金が安く効果がない	1	10.0%
		3	従業員の協力が得られない	0	0.0%
		4	ごみが出ない	8	80.0%
		5	事業優先	0	0.0%
		6	その他	0	0.0%
			総回答数	12	120.0%
			有効回答数	10	
2	建設業	1	一括契約で料金が減らない	3	15.0%
		2	処理料金が安く効果がない	0	0.0%
		3	従業員の協力が得られない	2	10.0%
		4	ごみが出ない	12	60.0%
		5	事業優先	0	0.0%
		6	その他	3	15.0%
			総回答数	20	100.0%
			有効回答数	20	
3	製造業	1	一括契約で料金が減らない	6	24.0%
		2	処理料金が安く効果がない	3	12.0%
		3	従業員の協力が得られない	2	8.0%
		4	ごみが出ない	17	68.0%
		5	事業優先	2	8.0%
		6	その他	3	12.0%
			総回答数	33	132.0%
			有効回答数	25	
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	一括契約で料金が減らない	1	16.7%
		2	処理料金が安く効果がない	0	0.0%
		3	従業員の協力が得られない	0	0.0%
		4	ごみが出ない	5	83.3%
		5	事業優先	1	16.7%
		6	その他	0	0.0%
			総回答数	7	116.7%
			有効回答数	6	
5	運輸 情報 通信業	1	一括契約で料金が減らない	2	20.0%
		2	処理料金が安く効果がない	0	0.0%
		3	従業員の協力が得られない	2	20.0%
		4	ごみが出ない	6	60.0%
		5	事業優先	0	0.0%
		6	その他	0	0.0%
			総回答数	10	100.0%
			有効回答数	10	
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	一括契約で料金が減らない	17	37.8%
		2	処理料金が安く効果がない	1	2.2%
		3	従業員の協力が得られない	2	4.4%
		4	ごみが出ない	24	53.3%
		5	事業優先	2	4.4%
		6	その他	9	20.0%
			総回答数	55	122.1%
			有効回答数	45	
7	金融 保険 不動産業	1	一括契約で料金が減らない	4	28.6%
		2	処理料金が安く効果がない	0	0.0%
		3	従業員の協力が得られない	0	0.0%
		4	ごみが出ない	9	64.3%
		5	事業優先	1	7.1%
		6	その他	2	14.3%
			総回答数	16	114.3%
			有効回答数	14	
8	サービス業	1	一括契約で料金が減らない	21	29.2%
		2	処理料金が安く効果がない	2	2.8%
		3	従業員の協力が得られない	5	6.9%
		4	ごみが出ない	44	61.1%
		5	事業優先	3	4.2%
		6	その他	8	11.1%
			総回答数	83	115.3%
			有効回答数	72	
9	その他	1	一括契約で料金が減らない	3	15.8%
		2	処理料金が安く効果がない	0	0.0%
		3	従業員の協力が得られない	1	5.3%
		4	ごみが出ない	14	73.7%
		5	事業優先	2	10.5%
		6	その他	3	15.8%
			総回答数	23	121.1%
			有効回答数	19	



表・図　3-9　「業種別　ごみ減量化の取り組まない理由」回答状況

問9	あなたの事業所から出たごみは誰が管理していますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

ごみの管理は「事業所内の担当が管理」が最も高く57.0%となっている。
業種別、従業員別でも「事業所内の担当が管理」が最も高い。

① 単純集計

問9	ごみの管理	回答数	回答率
1	事業所内の担当が管理	379	57.0%
2	本社等で一括管理	33	4.9%
3	処理委託先が管理	76	11.4%
4	建物管理会社が管理	33	4.9%
5	その他	69	10.3%
99	無回答	77	11.5%
計		667	100.0%

表　3-10　「ごみの管理」回答状況

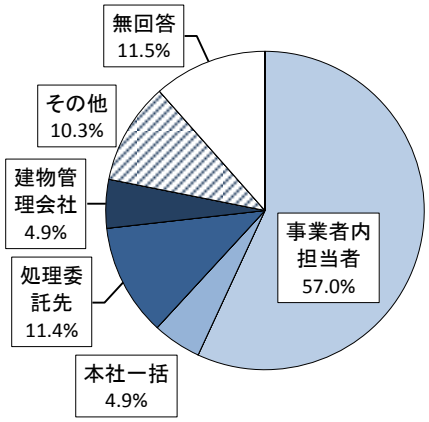


図　3-10　「ごみの管理」回答率

② 業種別クロス集計

問9 業種別ごみの管理（回答数）		1 事業所内の担当が管理	2 本社等で一括管理	3 処理委託先が管理	4 建物管理会社が管理	5 その他	99 無回答	計
1	農林漁業	15	0	1	0	3	5	24
2	建設業	52	5	11	4	5	3	80
3	製造業	58	4	9	0	5	9	85
4	電機・ガス・熱供給・水道業	14	1	5	0	1	4	25
5	運輸・情報通信業	16	4	7	5	2	3	37
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	55	6	18	7	15	17	118
7	金融・保険・不動産	29	1	3	2	2	6	43
8	サービス業	94	9	20	10	25	17	175
9	その他	38	3	2	5	8	10	66
計		371	33	76	33	66	74	653
問9 業種別ごみの管理（回答率）		1 事業所内の担当が管理	2 本社等で一括管理	3 処理委託先が管理	4 建物管理会社が管理	5 その他	99 無回答	計
1	農林漁業	62.5%	0.0%	4.2%	0.0%	12.5%	20.8%	100.0%
2	建設業	65.0%	6.0%	14.0%	5.0%	6.0%	4.0%	100.0%
3	製造業	68.2%	5.0%	11.0%	0.0%	5.9%	10.6%	100.0%
4	電機・ガス・熱供給・水道業	56.0%	4.0%	20.0%	0.0%	4.0%	16.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	43.2%	11.0%	18.9%	13.5%	5.4%	8.0%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	46.6%	5.1%	15.3%	5.9%	12.7%	14.4%	100.0%
7	金融・保険・不動産	67.0%	2.3%	7.0%	5.0%	4.7%	14.0%	100.0%
8	サービス業	54.0%	5.0%	11.0%	6.0%	14.0%	10.0%	100.0%
9	その他	57.6%	4.5%	3.0%	7.6%	12.1%	15.2%	100.0%
全体		56.8%	5.1%	11.6%	5.1%	10.1%	11.3%	100.0%

表　3-11　「業種別　ごみの管理」回答状況

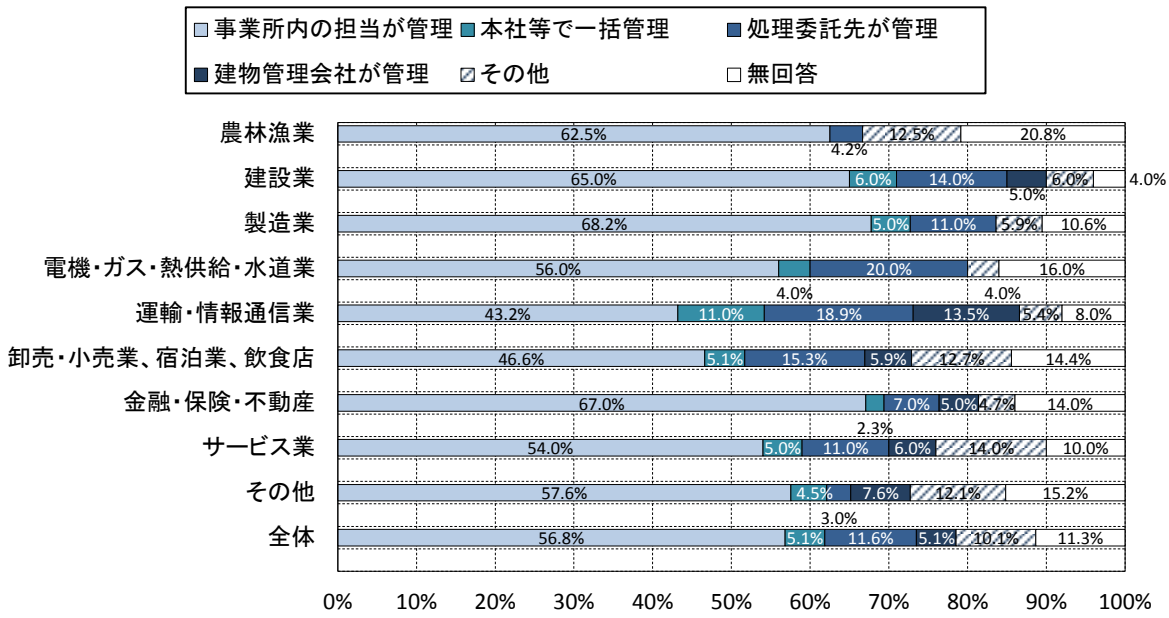


図　3-11　「業種別　ごみの管理」回答率

③　従業員別クロス集計

問9 従業員数別ごみの管理（回答数）		1 事業所内の担当が管理	2 本社等で一括管理	3 処理委託先が管理	4 建物管理会社が管理	5 その他	99 無回答	計
1	1～4人	204	14	29	16	49	46	358
2	5～9人	57	7	21	5	8	11	109
3	10～19人	45	4	7	4	6	7	73
4	20～29人	18	1	1	2	1	1	24
5	30～49人	14	4	10	1	3	3	35
6	50～99人	24	1	4	3	0	2	34
7	100～299人	8	2	2	1	1	1	15
8	300人以上	7	0	2	0	0	0	9
計		377	33	76	32	68	71	657
問9 従業員数別ごみの管理（回答率）		1 事業所内の担当が管理	2 本社等で一括管理	3 処理委託先が管理	4 建物管理会社が管理	5 その他	99 無回答	計
1	1～4人	57.0%	3.9%	8.1%	4.5%	13.7%	12.8%	100.0%
2	5～9人	52.3%	6.4%	19.3%	4.6%	7.3%	10.1%	100.0%
3	10～19人	61.6%	5.5%	9.6%	5.5%	8.2%	9.6%	100.0%
4	20～29人	75.0%	4.2%	4.2%	8.3%	4.2%	4.2%	100.0%
5	30～49人	40.0%	11.4%	28.6%	2.9%	8.6%	8.6%	100.0%
6	50～99人	70.6%	2.9%	11.8%	8.8%	0.0%	5.9%	100.0%
7	100～299人	53.3%	13.3%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	100.0%
8	300人以上	77.8%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体		57.0%	5.0%	12.0%	5.0%	10.0%	11.0%	100.0%

表　3-12　「従業員数別　ごみの管理」回答状況

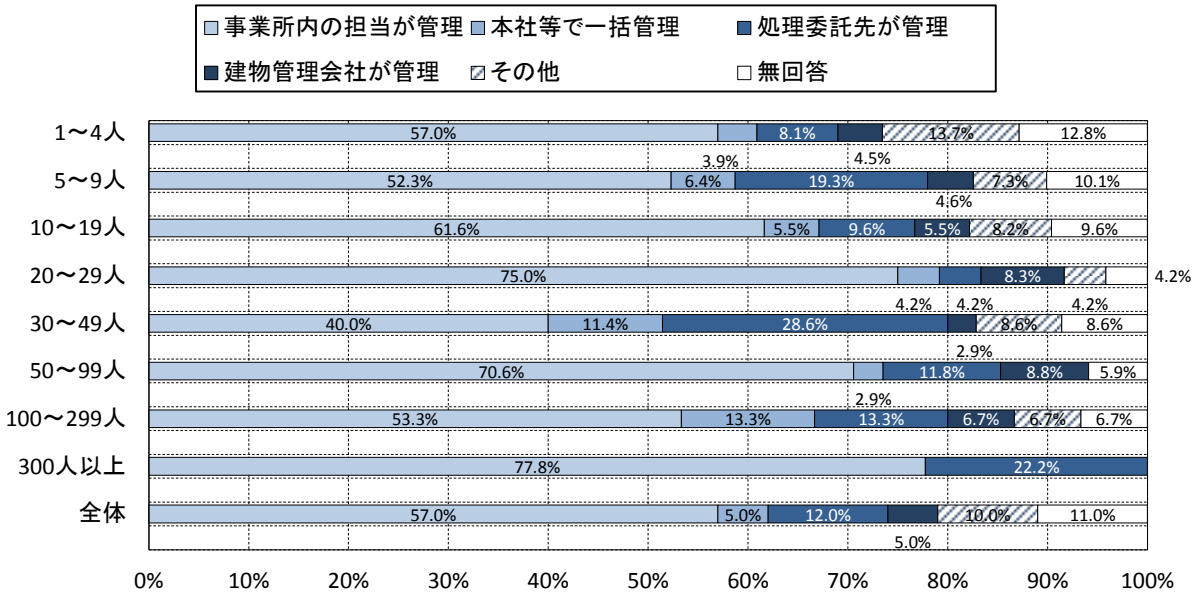


図　3-12　「従業員数別　ごみの管理」回答率

3-2　事業所から出る事業系ごみ（事業系一般廃棄物）について

問10	あなたの事業所ではごみはどのように処理していますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

ごみ処理方法は、「収集運搬業者に委託」が最も高く37.2%、次いで「地域のごみ集積所に排出」が32.0%となっている。
業種別では、「地域のごみ集積所に排出」が最も高いのは、「農林漁業」が37.5%、「サービス業」が43.0%、「その他」が31.8%となっている。それ以外の業種は「収集運搬業者に委託」が最も高い。
従業員数別では、「地域のごみ集積所に排出」が最も高いのは、「1～4人」が46.9%、5人以上の従業員数では「収集運搬業者に委託」が最も高い。

①　単純集計

問10	ごみの処理方法	回答数	回答率
1	収集運搬業者に委託	248	37.2%
2	市町の処理施設に持ち込み	87	13.0%
3	本社等で一括して処理	48	7.2%
4	地域のごみ集積所に排出	213	32.0%
5	その他	41	6.1%
99	無回答	30	4.5%
計		667	100.0%

表　3-13　「ごみの処理方法」回答状況

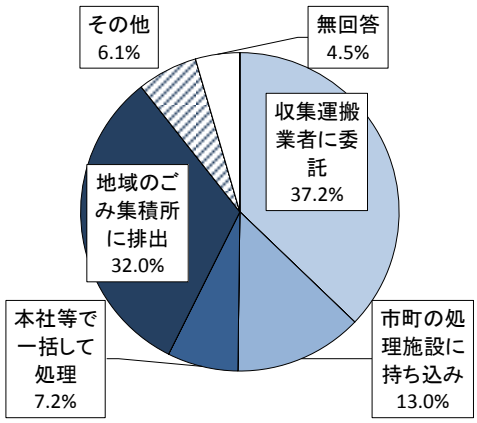


図　3-13　「ごみの処理方法」回答率

② 業種別クロス集計

問10 業種別ごみの処理方法（回答数）		1 業者委託	2 市町処理施設に持ち込み	3 本社等で一括管理	4 地域のごみ集積所に排出	5 その他	99 無回答	計
1	農林漁業	3	6	2	9	1	3	24
2	建設業	35	15	2	23	2	3	80
3	製造業	40	14	3	19	8	1	85
4	電機・ガス・熱供給・水道業	13	4	4	3	0	1	25
5	運輸・情報通信業	19	2	5	7	1	3	37
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	43	12	9	41	7	6	118
7	金融・保険・不動産	18	6	3	9	2	5	43
8	サービス業	57	17	12	75	11	3	175
9	その他	19	10	7	21	8	1	66
計		247	86	47	207	40	26	653

問10 業種別ごみの処理方法（回答率）		1 業者委託	2 市町処理施設に持ち込み	3 本社等で一括管理	4 地域のごみ集積所に排出	5 その他	99 無回答	計
1	農林漁業	12.5%	25.0%	8.3%	37.5%	4.2%	12.5%	100.0%
2	建設業	43.8%	18.8%	2.5%	28.8%	2.5%	3.8%	100.0%
3	製造業	47.1%	16.0%	3.5%	22.0%	9.4%	1.2%	100.0%
4	電機・ガス・熱供給・水道業	52.0%	16.0%	16.0%	12.0%	0.0%	4.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	51.4%	5.4%	13.5%	18.9%	2.7%	8.1%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	36.4%	10.2%	7.6%	34.7%	6.0%	5.1%	100.0%
7	金融・保険・不動産	41.9%	14.0%	7.0%	20.9%	4.7%	11.6%	100.0%
8	サービス業	32.6%	9.7%	7.0%	43.0%	6.0%	1.7%	100.0%
9	その他	28.8%	15.2%	10.6%	31.8%	12.1%	1.5%	100.0%
全体		37.8%	13.2%	7.2%	31.7%	6.1%	4.0%	100.0%

表 3-14 「業種別 ごみの処理方法」回答状況

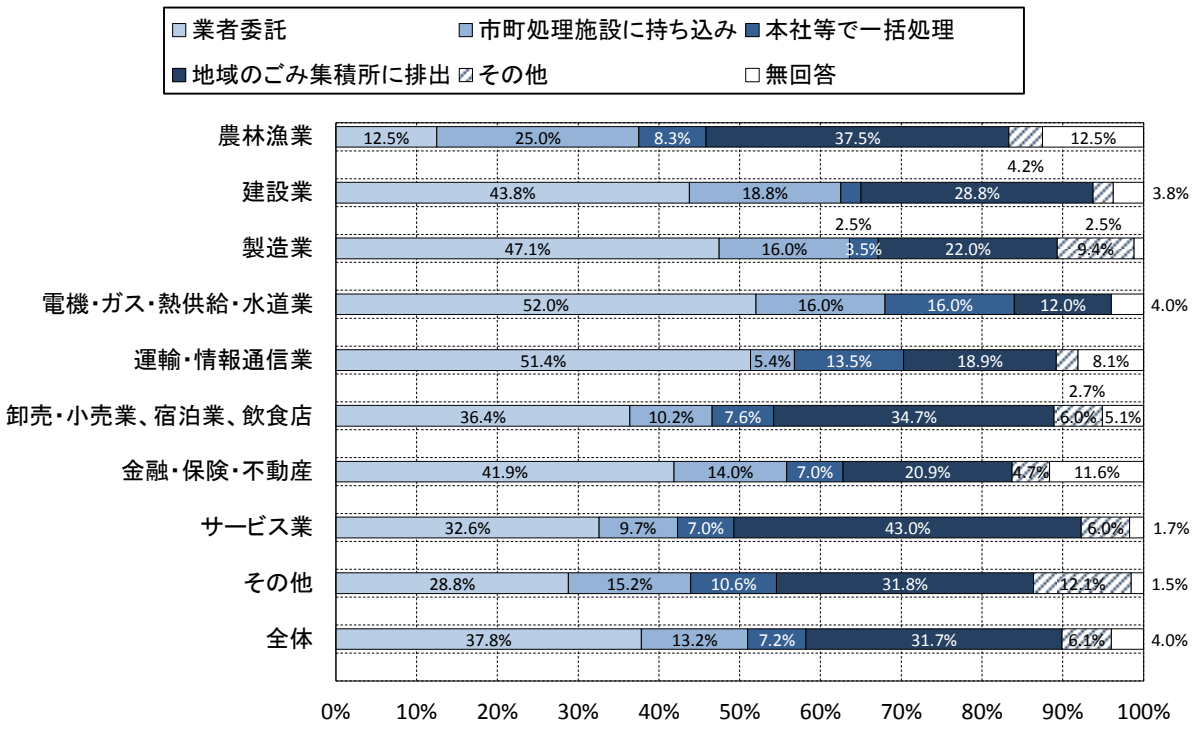


図 3-14 「業種別 ごみの処理方法」回答率

③　従業員別クロス集計

問10 従業員数別 ごみの処理方法（回答数）		1 業者委託	2 市町処理施設に持ち込み	3 本社等で一括管理	4 地域のごみ集積所に排出	5 その他	99 無回答	計
1	1～4人	73	57	18	168	25	17	358
2	5～9人	50	15	11	23	5	5	109
3	10～19人	41	4	9	13	3	3	73
4	20～29人	12	6	3	2	1	0	24
5	30～49人	23	2	3	6	1	0	35
6	50～99人	29	0	2	0	3	0	34
7	100～299人	10	2	0	1	1	1	15
8	300人以上	8	0	0	0	1	0	9
計		246	86	46	213	40	26	657

問10 従業員数別 ごみの処理方法（回答率）		1 業者委託	2 市町処理施設に持ち込み	3 本社等で一括管理	4 地域のごみ集積所に排出	5 その他	99 無回答	計
1	1～4人	20.4%	16.0%	5.0%	46.9%	7.0%	4.7%	100.0%
2	5～9人	45.9%	13.8%	10.0%	21.1%	4.6%	4.6%	100.0%
3	10～19人	56.2%	5.5%	12.3%	17.8%	4.1%	4.1%	100.0%
4	20～29人	50.0%	25.0%	12.5%	8.3%	4.2%	0.0%	100.0%
5	30～49人	65.7%	5.7%	8.6%	17.1%	2.9%	0.0%	100.0%
6	50～99人	85.3%	0.0%	5.9%	0.0%	8.8%	0.0%	100.0%
7	100～299人	66.7%	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	100.0%
8	300人以上	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%
全体		37.4%	13.1%	7.0%	32.4%	6.1%	4.0%	100.0%

表　3-15　「従業員数別　ごみの処理方法」回答状況

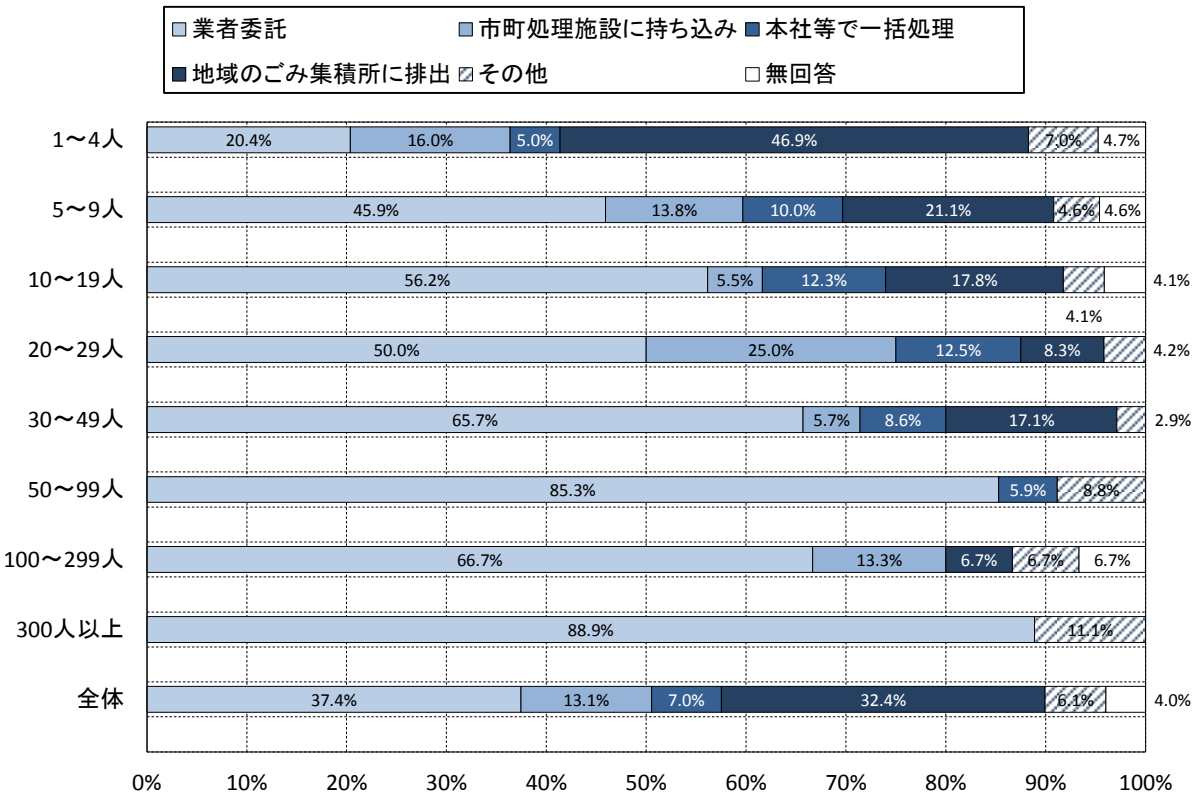


図　3-15　「従業員数別　ごみの処理方法」回答率

問11	（問10で「1　収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ） 収集運搬業者との契約では、収集は週何回くらいですか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

ごみの収集回数は、「週1回以下」が40.3%で最も高く、次いで「週2回」の17.7%、それ以外は10%以下となっている。
業種別でみると、「卸売・小売業、宿泊業、飲食店」では「週6回」が45.0%と最も高く、他の業種は「週1回以下」が最も高い。規模別では、「300人以上」と「100～299人」が「週2回」で最も高く、それ以外は、「週1回以下」が最も高い。

①　単純集計

問11	ごみの処理方法	回答数	回答率
1	週1回以下	100	40.3%
2	週2回	44	17.7%
3	週3回	22	8.9%
4	週4回	4	1.6%
5	週5回	15	6.0%
6	週6回	32	13.0%
7	その他	13	5.2%
99	無回答	18	7.3%
計		248	100.0%

表　3-16　「ごみの収集回数」回答状況

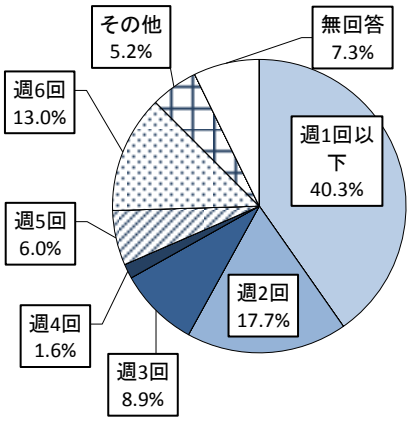


図　3-16　「ごみの収集回数」回答率

②　業種別クロス集計

問11 業種別ごみ収集回数（回答数）		1 週1回以下	2 週2回	3 週3回	4 週4回	5 週5回	6 週6回	7 その他	99 無回答	計
1	農林漁業	1	1	1	0	0	0	0	0	3
2	建設業	22	2	0	2	0	1	4	4	35
3	製造業	21	11	1	0	3	2	0	2	40
4	電機・ガス・熱供給・水道業	7	2	1	1	0	1	0	1	13
5	運輸・情報通信業	8	5	2	1	0	1	0	2	19
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	8	5	2	0	3	18	4	0	40
7	金融・保険・不動産	8	5	1	0	2	0	1	0	17
8	サービス業	20	8	10	0	5	9	2	3	57
9	その他	4	5	4	0	2	1	2	0	18
計		99	44	22	4	15	33	13	12	242

問11 業種別ごみ収集回数（回答率）		1 週1回以下	2 週2回	3 週3回	4 週4回	5 週5回	6 週6回	7 その他	99 無回答	計
1	農林漁業	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2	建設業	62.9%	5.7%	0.0%	5.7%	0.0%	2.9%	11.4%	11.4%	100.0%
3	製造業	52.5%	27.5%	2.5%	0.0%	7.5%	5.0%	0.0%	5.0%	100.0%
4	電機・ガス・熱供給・水道業	53.8%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	100.0%
5	運輸・情報通信業	42.1%	26.3%	10.5%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	10.5%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	20.0%	12.5%	5.0%	0.0%	7.5%	45.0%	10.0%	0.0%	100.0%
7	金融・保険・不動産	47.0%	29.4%	5.9%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%	100.0%
8	サービス業	35.1%	14.0%	17.5%	0.0%	8.8%	15.8%	3.5%	5.3%	100.0%
9	その他	22.2%	27.8%	22.2%	0.0%	11.1%	5.6%	11.1%	0.0%	100.0%
全体		40.9%	18.2%	9.0%	1.7%	6.2%	13.6%	5.4%	5.0%	100.0%

表　3-17　「業種別　ごみの収集回数」回答状況

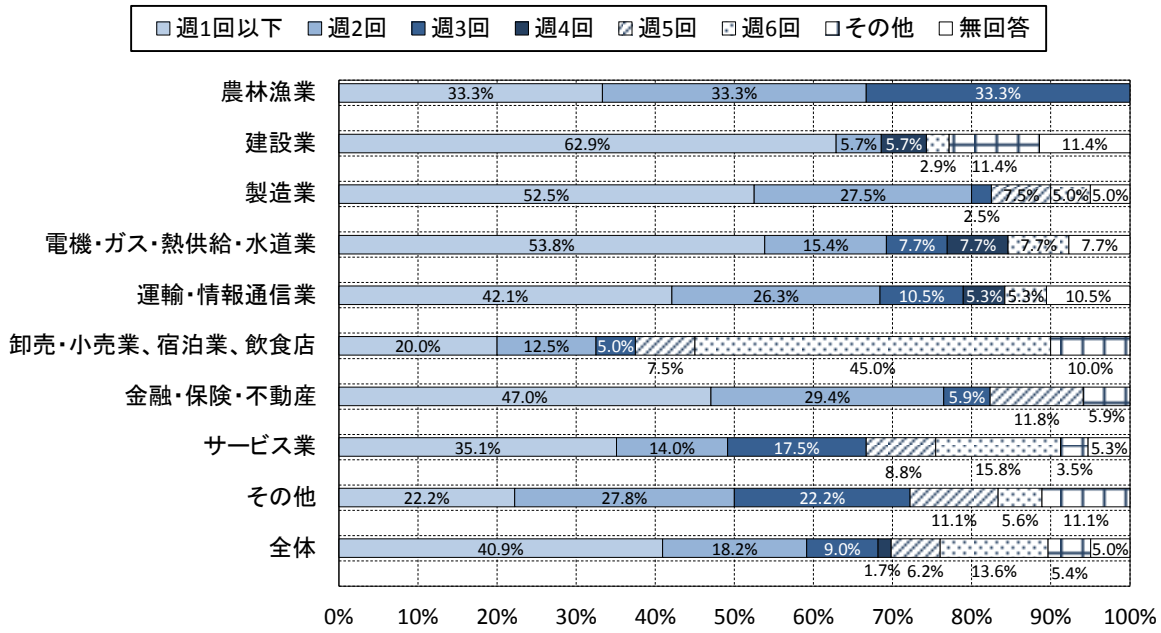


図　3-17　「業種別　ごみの収集回数」回答率

③　従業員数別クロス集計

問11 従業員数別 ごみ収集回数 （回答数）		1 週1回以下	2 週2回	3 週3回	4 週4回	5 週5回	6 週6回	7 その他	99 無回答	計
1	1～4人	35	8	4	1	4	9	5	7	73
2	5～9人	20	7	6	2	1	5	2	0	43
3	10～19人	20	7	1	0	4	8	0	1	41
4	20～29人	4	4	1	0	2	0	1	0	12
5	30～49人	9	4	5	0	2	2	1	0	23
6	50～99人	9	5	3	0	0	7	3	2	29
7	100～299人	0	4	2	1	1	1	0	1	10
8	300人以上	3	4	0	0	1	0	0	0	8
計		100	43	22	4	15	32	12	11	239

問11 従業員数別 ごみ収集回数 （回答率）		1 週1回以下	2 週2回	3 週3回	4 週4回	5 週5回	6 週6回	7 その他	99 無回答	計
1	1～4人	47.9%	11.0%	5.5%	1.4%	5.5%	12.3%	6.8%	9.6%	100.0%
2	5～9人	47.0%	16.0%	14.0%	4.7%	2.0%	11.6%	4.7%	0.0%	100.0%
3	10～19人	48.8%	17.1%	2.4%	0.0%	9.8%	19.5%	0.0%	2.4%	100.0%
4	20～29人	33.3%	33.3%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%
5	30～49人	39.0%	17.0%	22.0%	0.0%	9.0%	9.0%	4.0%	0.0%	100.0%
6	50～99人	31.0%	17.2%	10.3%	0.0%	0.0%	24.1%	10.3%	6.9%	100.0%
7	100～299人	0.0%	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	100.0%
8	300人以上	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体		41.8%	18.0%	9.2%	1.7%	6.3%	13.4%	5.0%	4.6%	100.0%

表　3-18　「従業員数別　ごみの収集回数」回答率

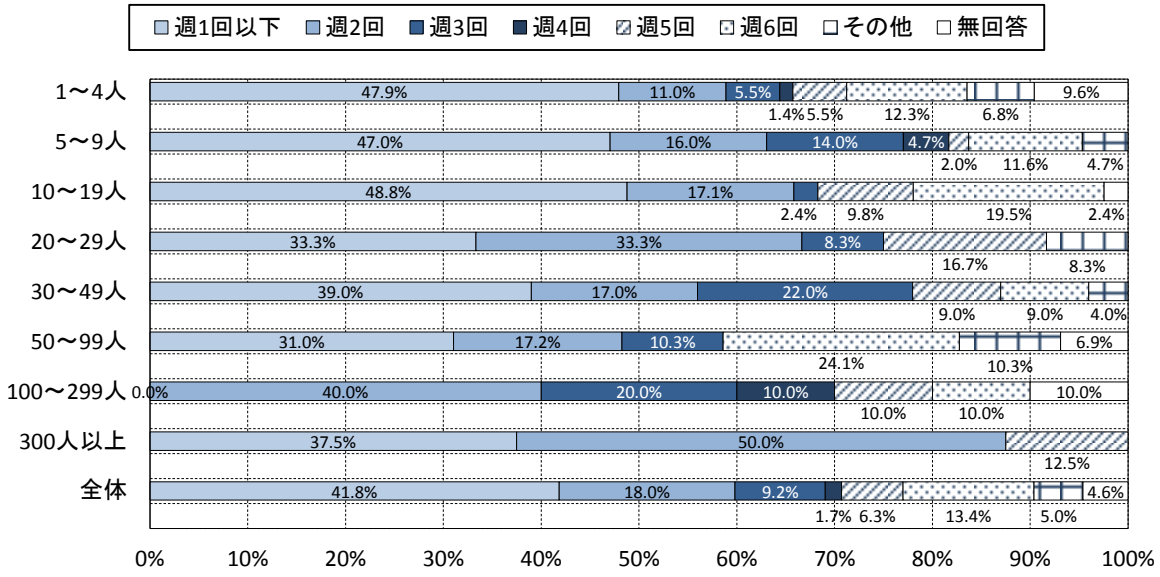


図　3-18　「従業員数別　ごみの収集回収」回答率

問12	（問10で「1　収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ） あなたの事業所では、ひと月あたりのごみ処理費はどのくらいですか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

ごみ処理費用は、「1万～3万円未満」が29.8%で最も高く、次いで「5千～1万円未満」が16.0%となっている。
業種別では、ほぼすべての業種で「1万～3万円未満」の割合が高い。
従業員数別では、規模が大きくなるにつれて金額が大きくなっている。

①　単純集計

問12	ごみ処理料金	回答数	回答率
1	千円未満	13	5.0%
2	千～5千円未満	23	9.3%
3	5千～1万円未満	39	16.0%
4	1万～3万円未満	74	29.8%
5	3万～5万円未満	35	14.1%
6	5万～10万円未満	18	7.3%
7	10万～30万円未満	15	6.0%
8	30万円以上	0	0.0%
99	無回答	31	12.5%
計		248	100.0%

表　3-19　「ごみ処理料金」　回答状況

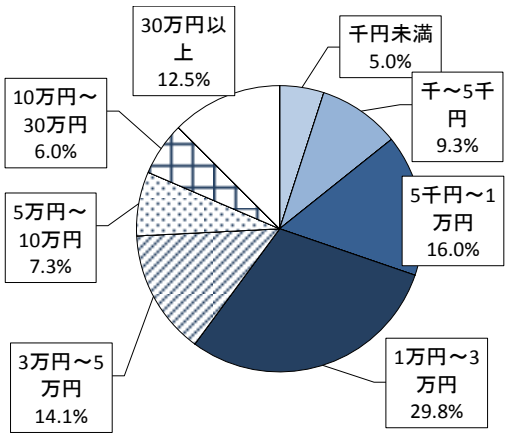


図　3-19　「ごみ処理料金」回答率

② 業種別クロス集計

問12 業種別ごみ処理費（回答数）		1 千円未満	2 千～5千円未満	3 5千～1万円未満	4 1万～3万円未満	5 3万～5万円未満	6 5万～10万円未満	7 10万～30万円未満	8 30万円以上	99 無回答	計
1	農林漁業	0	1	1	0	1	0	0	0	0	3
2	建設業	3	5	6	12	3	2	0	0	4	35
3	製造業	5	7	1	8	6	5	5	0	3	40
4	電機・ガス・熱供給・水道業	1	1	1	4	3	2	1	0	0	13
5	運輸・情報通信業	2	0	5	5	2	0	3	0	2	19
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	0	1	8	17	8	2	2	0	5	43
7	金融・保険・不動産	0	0	3	8	2	1	0	0	4	18
8	サービス業	2	8	9	15	7	5	2	0	9	57
9	その他	0	0	5	4	3	1	2	0	4	19
計		13	23	39	73	35	18	15	0	31	247

問12 業種別ごみ処理費（回答数）		1 千円未満	2 千～5千円未満	3 5千～1万円未満	4 1万～3万円未満	5 3万～5万円未満	6 5万～10万円未満	7 10万～30万円未満	8 30万円以上	99 無回答	計
1	農林漁業	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2	建設業	8.6%	14.3%	17.1%	34.3%	8.6%	5.7%	0.0%	0.0%	11.4%	100.0%
3	製造業	12.5%	17.5%	2.5%	20.0%	15.0%	12.5%	12.5%	0.0%	7.5%	100.0%
4	電機・ガス・熱供給・水道業	7.7%	7.7%	7.7%	30.8%	23.0%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	11.0%	0.0%	26.0%	26.0%	10.5%	0.0%	16.0%	0.0%	10.5%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	0.0%	2.3%	18.6%	39.5%	18.6%	4.7%	4.7%	0.0%	11.6%	100.0%
7	金融・保険・不動産	0.0%	0.0%	16.7%	44.4%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	22.2%	100.0%
8	サービス業	3.5%	14.0%	15.8%	26.3%	12.3%	8.8%	3.5%	0.0%	15.8%	100.0%
9	その他	0.0%	0.0%	26.3%	21.1%	15.8%	5.3%	10.5%	0.0%	21.0%	100.0%
全体		5.3%	9.3%	15.8%	29.6%	14.0%	7.3%	6.1%	0.0%	12.6%	100.0%

表 3-20 「業種別 ごみの収集回数」回答状況

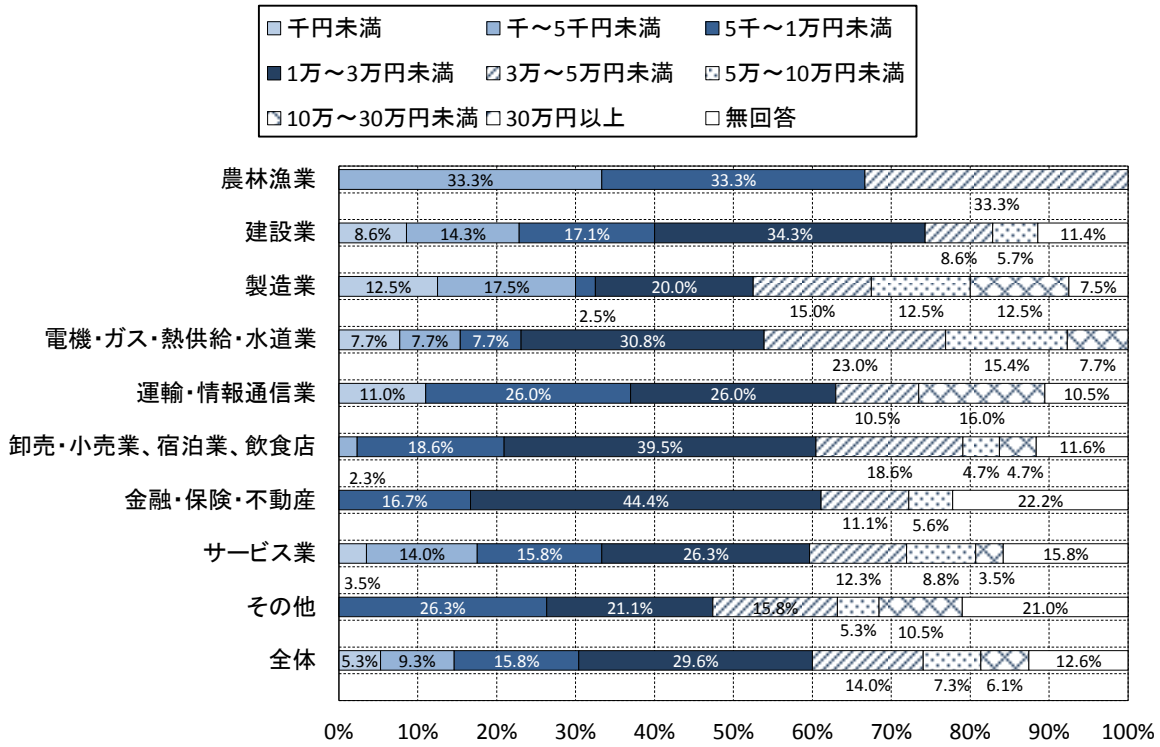


図 3-20 「業種別 ごみ処理料金」回答率

③　従業員数別クロス集計

問12 従業員数別 ごみ処理費 （回答数）		1 千円未満	2 千～5千円未満	3 5千～1万円未満	4 1万～3万円未満	5 3万～5万円未満	6 5万～10万円未満	7 10万～30万円未満	8 30万円以上	99 無回答	計
1	1～4人	8	14	15	22	3	1	0	0	10	73
2	5～9人	1	5	11	15	7	2	1	0	8	50
3	10～19人	1	3	6	17	9	2	0	0	3	41
4	20～29人	0	0	1	4	3	1	1	0	2	12
5	30～49人	2	0	3	8	2	2	2	0	4	23
6	50～99人	1	0	2	5	5	7	7	0	2	29
7	100～299人	0	1	0	2	4	2	1	0	0	10
8	300人以上	0	0	0	1	2	1	4	0	0	8
計		13	23	38	74	35	18	16	0	29	246

問12 従業員数別 ごみ処理費 （回答率）		1 千円未満	2 千～5千円未満	3 5千～1万円未満	4 1万～3万円未満	5 3万～5万円未満	6 5万～10万円未満	7 10万～30万円未満	8 30万円以上	99 無回答	計
1	1～4人	11.0%	19.2%	20.5%	30.1%	4.1%	1.4%	0.0%	0.0%	13.7%	100.0%
2	5～9人	2.0%	10.0%	22.0%	30.0%	14.0%	4.0%	2.0%	0.0%	16.0%	100.0%
3	10～19人	2.4%	7.3%	14.6%	41.5%	22.0%	4.9%	0.0%	0.0%	7.3%	100.0%
4	20～29人	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%	16.7%	100.0%
5	30～49人	8.7%	0.0%	13.0%	34.8%	8.7%	8.7%	8.7%	0.0%	17.4%	100.0%
6	50～99人	3.4%	0.0%	7.0%	17.2%	17.2%	24.1%	24.1%	0.0%	7.0%	100.0%
7	100～299人	0.0%	10.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
8	300人以上	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体		5.3%	9.3%	15.4%	30.0%	14.2%	7.3%	6.5%	0.0%	12.0%	100.0%

表　3-21　「従業員数別　ごみ処理料金」回答状況

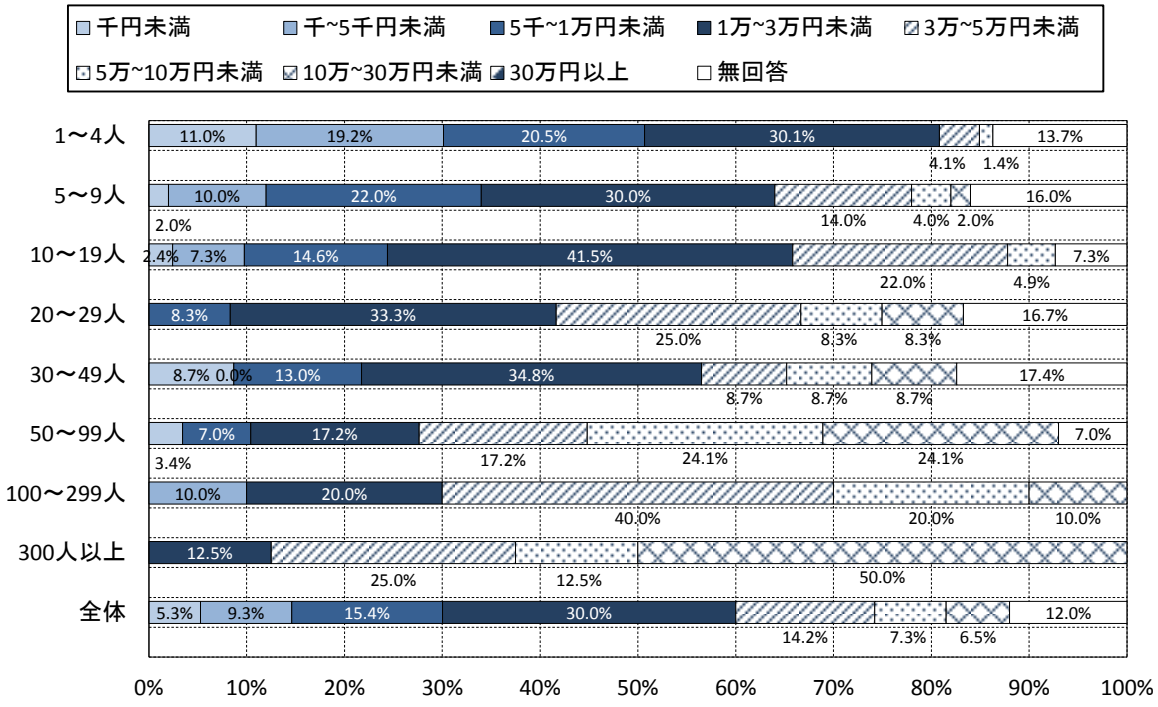


図　3-21　「従業員数別　ごみ処理料金」回答率

問13	（問10で「1　収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ） ごみの処理料金はどのように決めていますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

ごみ処理料金の決め方は、「月額・年額制」が42.3%で最も高く、次いで「従量制」の24.2%となっている。業種別、従業員数別でも最も高いのは、上記のいずれかとなっている。

① 単純集計

問13	ごみ処理料金の決め方	回答数	回答率
1	従量制	60	24.2%
2	一定量同額、それ以上は従量制	58	23.4%
3	月額・年額制	105	42.3%
4	その他	12	4.8%
99	無回答	13	5.2%
計		248	100.0%

表　3-22　「ごみ処理料金の決め方」回答状況

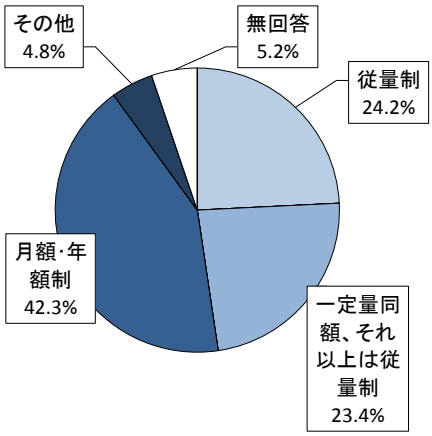


図　3-22　「ごみ処理料金の決め方」回答率

② 業種別クロス集計

問13 業種別ごみ料金の決め方（回答数）		1 従量制	2 一定量同額、それ以上は従量制	3 月額・年額制	4 その他	99 無回答	計
1	農林漁業	0	2	1	0	0	3
2	建設業	18	8	5	3	1	35
3	製造業	14	12	13	1	0	40
4	電機・ガス・熱供給・水道業	1	5	7	0	0	13
5	運輸・情報通信業	3	5	9	0	2	19
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	5	9	25	2	2	43
7	金融・保険・不動産	3	3	10	1	1	18
8	サービス業	13	14	22	3	5	57
9	その他	3	0	12	2	2	19
計		60	58	104	12	13	247
問13 業種別ごみ料金の決め方（回答数）		1 従量制	2 一定量同額、それ以上は従量制	3 月額・年額制	4 その他	99 無回答	計
1	農林漁業	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2	建設業	51.0%	23.0%	14.0%	9.0%	3.0%	100.0%
3	製造業	35.0%	30.0%	32.5%	2.5%	0.0%	100.0%
4	電機・ガス・熱供給・水道業	7.7%	38.5%	53.8%	0.0%	0.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	15.8%	26.3%	47.4%	0.0%	10.5%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	11.6%	20.9%	58.1%	4.7%	4.7%	100.0%
7	金融・保険・不動産	16.7%	16.7%	55.6%	5.6%	5.6%	100.0%
8	サービス業	22.8%	24.6%	38.6%	5.0%	9.0%	100.0%
9	その他	15.8%	0.0%	63.2%	10.5%	10.5%	100.0%
全体		24.3%	23.5%	42.0%	4.9%	5.3%	100.0%

表　3-23　「業種別　ごみ処理料金の決め方」回答状況

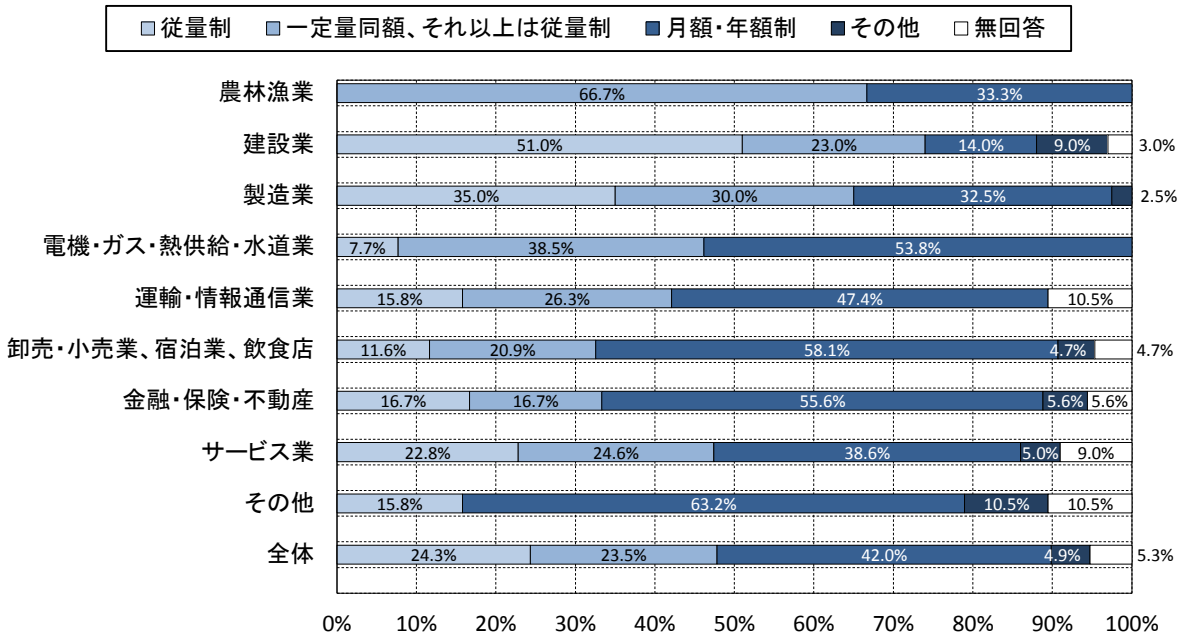


図　3-23　「業種別　ごみ処理料金の決め方」回答率

③　従業員数別クロス集計

問13 従業員数別 ごみ処理料金の決め方 （回答数）		1 従量制	2 一定量同額、それ以上は従量制	3 月額・年額制	4 その他	99 無回答	計
1	1～4人	20	20	23	5	5	73
2	5～9人	13	12	18	2	5	50
3	10～19人	11	9	19	1	1	41
4	20～29人	3	2	6	1	0	12
5	30～49人	2	5	13	3	0	23
6	50～99人	3	8	17	0	1	29
7	100～299人	3	2	5	0	0	10
8	300人以上	4	0	4	0	0	8
計		59	58	105	12	12	246

問13 従業員数別 ごみ処理料金の決め方 （回答率）		1 従量制	2 一定量同額、それ以上は従量制	3 月額・年額制	4 その他	99 無回答	計
1	1～4人	27.0%	27.0%	32.0%	7.0%	7.0%	100.0%
2	5～9人	26.0%	24.0%	36.0%	4.0%	10.0%	100.0%
3	10～19人	26.8%	22.0%	46.3%	2.4%	2.4%	100.0%
4	20～29人	25.0%	16.7%	50.0%	8.3%	0.0%	100.0%
5	30～49人	8.7%	21.7%	56.5%	13.0%	0.0%	100.0%
6	50～99人	10.0%	28.0%	59.0%	0.0%	3.0%	100.0%
7	100～299人	30.0%	20.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
8	300人以上	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体		24.0%	23.6%	42.7%	4.9%	4.9%	100.0%

表　3-24　「従業員数別　ごみ処理料金の決め方」回答状況

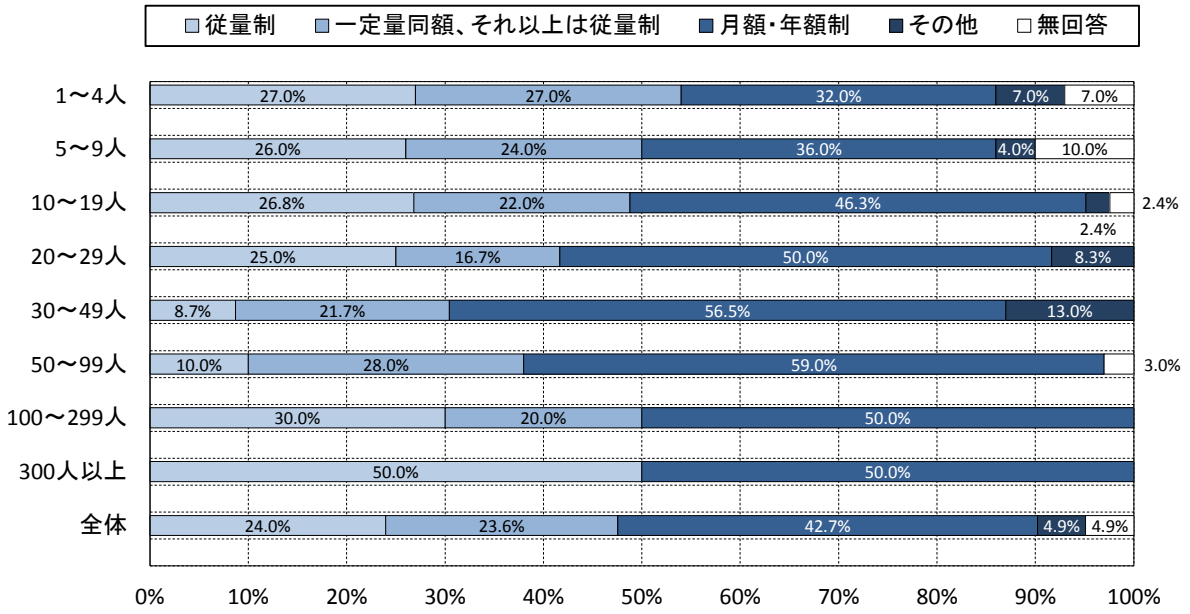


図　3-24　「従業員数別　ごみ処理料金の決め方」回答率

問14	（問10で「4　地域のごみ集積所に出している」と答えた方のみ） 収集運搬業者にごみ処理を委託せず、地域のごみ集積所に出すのはなぜですか？ あてはまるものを2つまで選び番号に○を付けてください。　（複数回答）

地域のごみ集積所に出す理由は、「事業に伴って出るごみが少ないため」が76.1%で最も高く、次いで「地域のごみ集積所に出しておけば、市町が収集してくれるため」が38%となっている。
業種別、従業員数別でも「事業に伴って出るごみが少ないため」が最も高くなっている。

①　単純集計

問14	地域のごみ集積所に出す理由	回答数	回答率
1	事業に伴って出るごみが少ないため	162	76.1%
2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	12	5.6%
3	業者に委託すると、ごみ処理にかかる経費負担が大きくなるため	4	1.9%
4	家庭ごみと事業ごみの区分けに手間がかかるため	8	3.8%
5	地域のごみ集積所に出しておけば、市町が収集してくれるため	81	38.0%
6	その他	13	6.1%
総回答数		280	131.5%
有効回答数		213	

表　3-25　「地域のごみ集積所に出す理由」回答状況

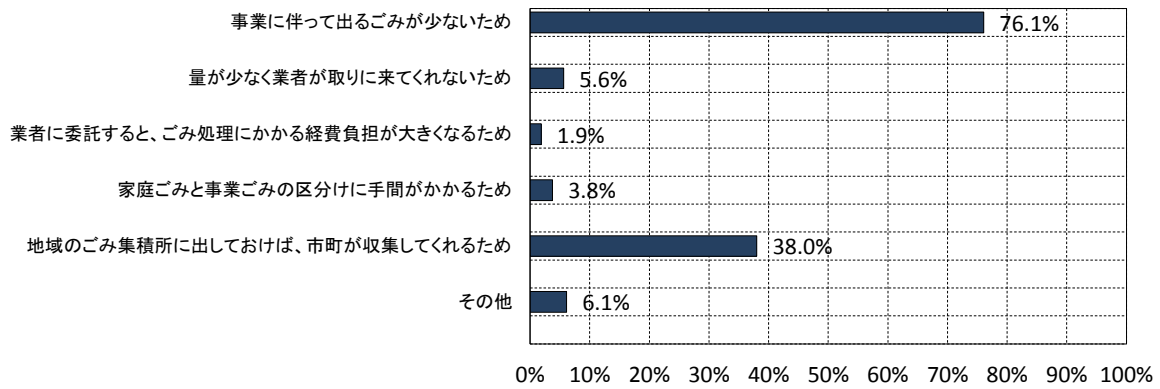
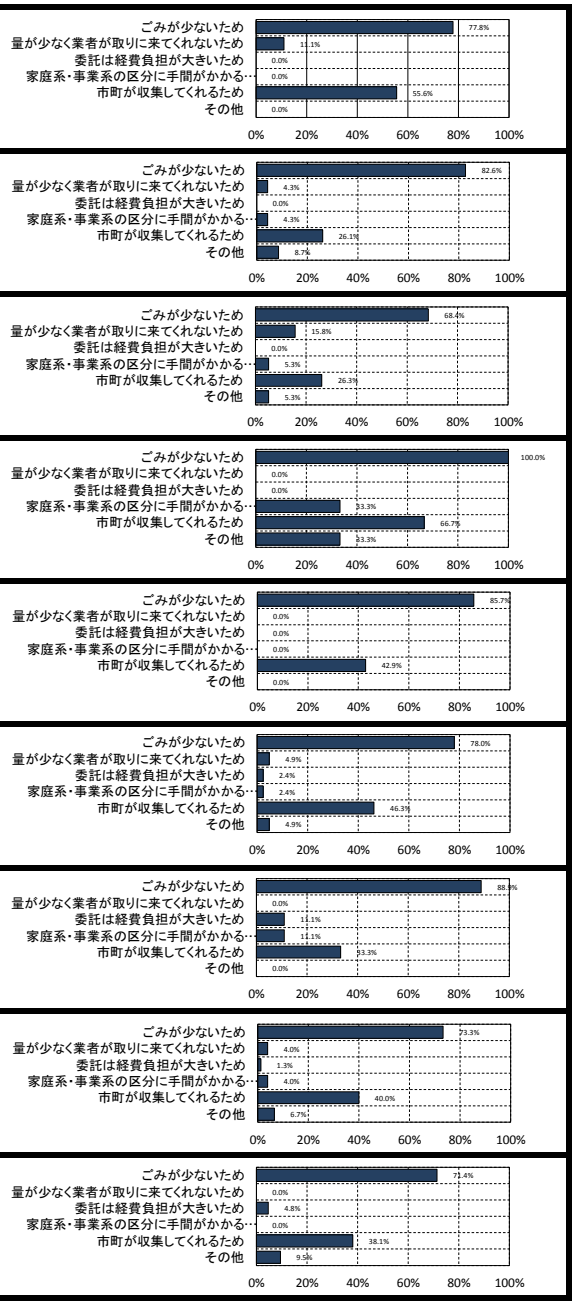


図　3-25　「地域のごみ集積所に出す理由」回答率

②　業種別クロス集計

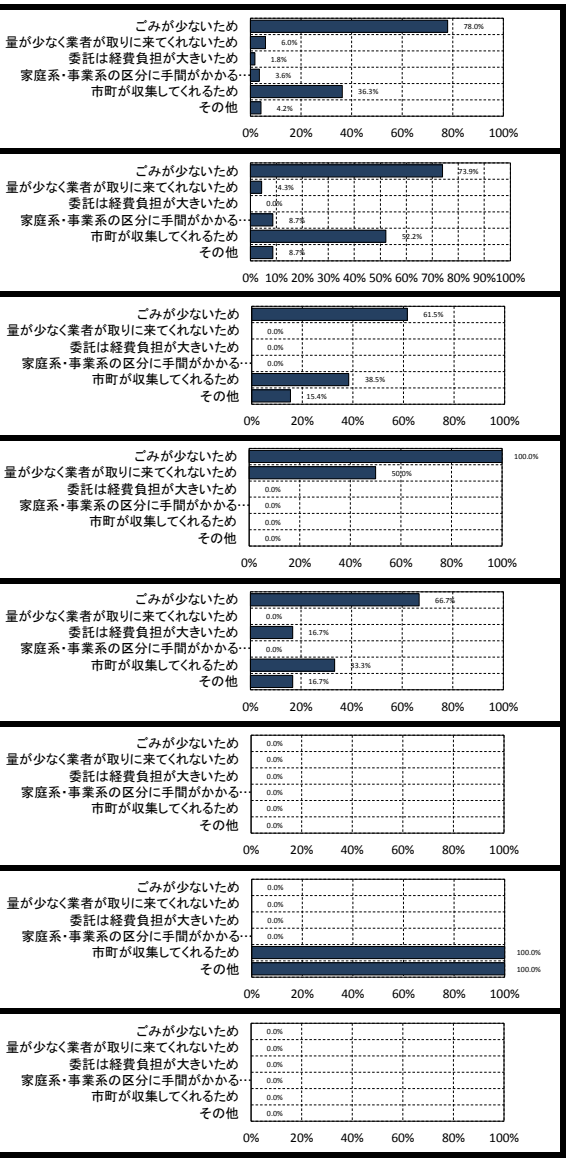
番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	ごみが少ないため	7	77.8%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	1	11.1%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%
		5	市町が収集してくれるため	5	55.6%
		6	その他	0	0.0%
			総回答数	13	144.5%
			有効回答数	9	
2	建設業	1	ごみが少ないため	19	82.6%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	1	4.3%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	1	4.3%
		5	市町が収集してくれるため	6	26.1%
		6	その他	2	8.7%
			総回答数	29	126.0%
			有効回答数	23	
3	製造業	1	ごみが少ないため	13	68.4%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	3	15.8%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	1	5.3%
		5	市町が収集してくれるため	5	26.3%
		6	その他	1	5.3%
			総回答数	23	121.1%
			有効回答数	19	
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	ごみが少ないため	3	100.0%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	1	33.3%
		5	市町が収集してくれるため	2	66.7%
		6	その他	1	33.3%
			総回答数	7	233.3%
			有効回答数	3	
5	運輸 情報 通信業	1	ごみが少ないため	6	85.7%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%
		5	市町が収集してくれるため	3	42.9%
		6	その他	0	0.0%
			総回答数	9	128.6%
			有効回答数	7	
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	ごみが少ないため	32	78.0%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	2	4.9%
		3	委託は経費負担が大きいため	1	2.4%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	1	2.4%
		5	市町が収集してくれるため	19	46.3%
		6	その他	2	4.9%
			総回答数	57	138.9%
			有効回答数	41	
7	金融 保険 不動産業	1	ごみが少ないため	8	88.9%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	1	11.1%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	1	11.1%
		5	市町が収集してくれるため	3	33.3%
		6	その他	0	0.0%
			総回答数	13	144.4%
			有効回答数	9	
8	サービス業	1	ごみが少ないため	55	73.3%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	3	4.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	1	1.3%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	3	4.0%
		5	市町が収集してくれるため	30	40.0%
		6	その他	5	6.7%
			総回答数	97	129.3%
			有効回答数	75	
9	その他	1	ごみが少ないため	15	71.4%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	1	4.8%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%
		5	市町が収集してくれるため	8	38.1%
		6	その他	2	9.5%
			総回答数	26	123.8%
			有効回答数	21	



表・図　3-26　「業種別　地域のごみ集積所に出す理由」回答状況

③　従業員数別クロス集計

番号	従業員数	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	1～4人	1	ごみが少ないため	131	78.0%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	10	6.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	3	1.8%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	6	3.6%
		5	市町が収集してくれるため	61	36.3%
		6	その他	7	4.2%
			総回答数	218	129.9%
			有効回答数	168	
2	5～9人	1	ごみが少ないため	17	73.9%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	1	4.3%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	2	8.7%
		5	市町が収集してくれるため	12	52.2%
		6	その他	2	8.7%
			総回答数	34	147.8%
			有効回答数	23	
3	10～19人	1	ごみが少ないため	8	61.5%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%
		5	市町が収集してくれるため	5	38.5%
		6	その他	2	15.4%
			総回答数	15	115.4%
			有効回答数	13	
4	20～29人	1	ごみが少ないため	2	100.0%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	1	50.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%
		5	市町が収集してくれるため	0	0.0%
		6	その他	0	0.0%
			総回答数	3	150.0%
			有効回答数	2	
5	30～49人	1	ごみが少ないため	4	66.7%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	1	16.7%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%
		5	市町が収集してくれるため	2	33.3%
		6	その他	1	16.7%
			総回答数	8	133.4%
			有効回答数	6	
6	50～99人	1	ごみが少ないため	0	0.0%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%
		5	市町が収集してくれるため	0	0.0%
		6	その他	0	0.0%
			総回答数	0	0.0%
			有効回答数	0	
7	100～299人	1	ごみが少ないため	0	0.0%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%
		5	市町が収集してくれるため	1	100.0%
		6	その他	1	100.0%
			総回答数	2	200.0%
			有効回答数	1	
8	300人以上	1	ごみが少ないため	0	0.0%
		2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	0	0.0%
		3	委託は経費負担が大きいため	0	0.0%
		4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	0	0.0%
		5	市町が収集してくれるため	0	0.0%
		6	その他	0	0.0%
			総回答数	0	0.0%
			有効回答数	0	



表・図　3-27　「従業員数別　地域のごみ集積所に出す理由」回答状況

3-3　今後の方策や意向について

問18	今後あなたの事業所で特に減らしたいと考えているごみは何ですか？ あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。　（複数回答）

減らしたいごみは、「事務用紙（コピー用紙等）」が最も高く34%、次いで「生ごみ・厨芥類」の13.8%、「その他紙類」の12.9%、「その他プラスチック類」の11.1%と続いている。また、「特に減らしたいと考えるごみはない」も28.3%となっている。
業種別でみると、「農林漁業」及び「卸売・小売業、宿泊業、飲食店」以外の業種では「事務用紙（コピー用紙等）」の割合が高くなっている。
規模別（従業員数別）では、「1～4人」以外の従業員数では「事務用紙（コピー用紙等）」の割合が高くなっている。

①　単純集計

問18	減らしたいごみ	回答数	回答率
1	生ごみ・厨芥類	92	13.8%
2	木・草類	29	4.3%
3	新聞	18	2.7%
4	ダンボール	68	10.2%
5	雑誌・書籍	41	6.1%
6	事務用紙（コピー用紙等）	227	34.0%
7	その他紙類	86	12.9%
8	布類・繊維類	12	1.8%
9	空きびん	24	3.6%
10	空き缶	38	5.7%
11	ペットボトル	66	9.9%
12	その他プラスチック類	74	11.1%
13	その他	14	2.1%
14	特に減らしたいと考えるごみはない	189	28.3%
総回答数		978	146.5%
有効回答数		667	

表　3-28　「減らしたいごみ」回答状況

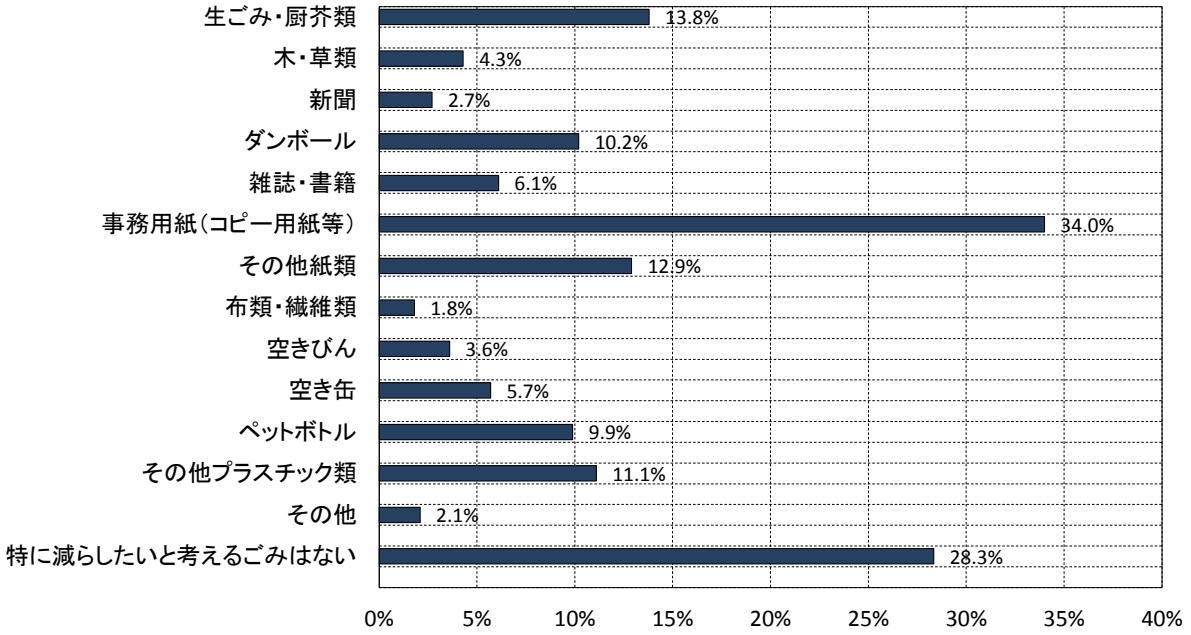
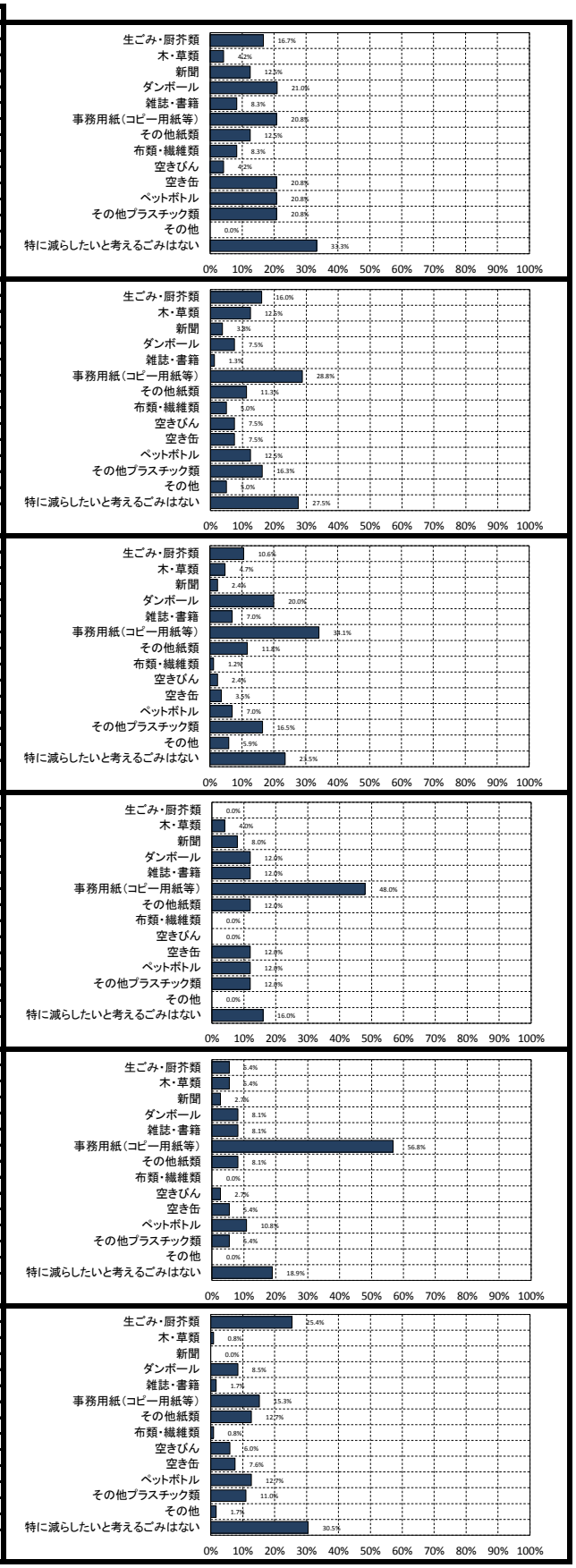


図　3-28　「減らしたいごみ」回答率

②-1　業種別クロス集計

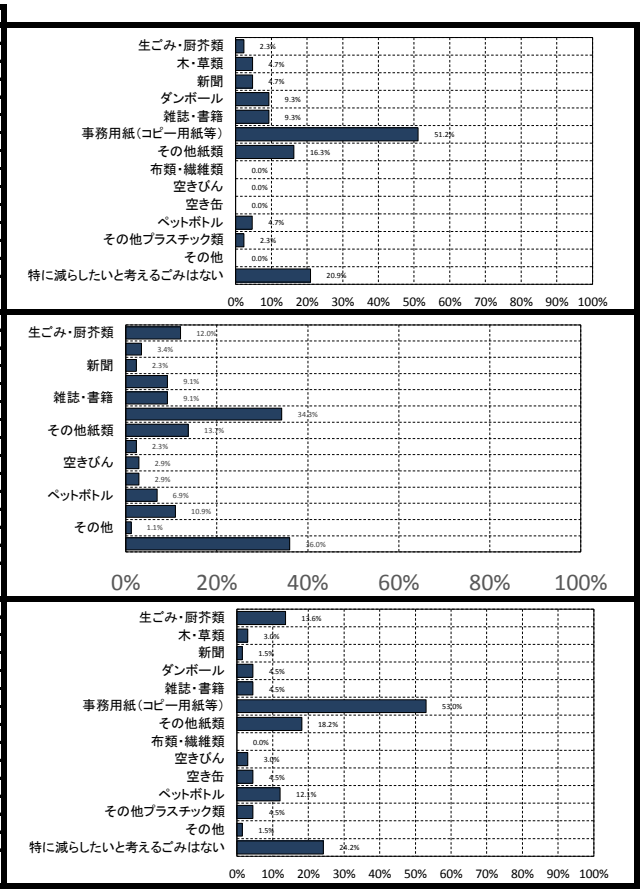
番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	生ごみ・厨芥類	4	16.7%
		2	木・草類	1	4.2%
		3	新聞	3	12.5%
		4	ダンボール	5	21.0%
		5	雑誌・書籍	2	8.3%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	5	20.8%
		7	その他紙類	3	12.5%
		8	布類・繊維類	2	8.3%
		9	空きびん	1	4.2%
		10	空き缶	5	20.8%
		11	ペットボトル	5	20.8%
		12	その他プラスチック類	5	20.8%
		13	その他	0	0.0%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	8	33.3%
			総回答数	49	204.2%
			有効回答数	24	
2	建設業	1	生ごみ・厨芥類	13	16.0%
		2	木・草類	10	12.5%
		3	新聞	3	3.8%
		4	ダンボール	6	7.5%
		5	雑誌・書籍	1	1.3%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	23	28.8%
		7	その他紙類	9	11.3%
		8	布類・繊維類	4	5.0%
		9	空きびん	6	7.5%
		10	空き缶	6	7.5%
		11	ペットボトル	10	12.5%
		12	その他プラスチック類	13	16.3%
		13	その他	4	5.0%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	22	27.5%
			総回答数	130	162.5%
			有効回答数	80	
3	製造業	1	生ごみ・厨芥類	9	10.6%
		2	木・草類	4	4.7%
		3	新聞	2	2.4%
		4	ダンボール	17	20.0%
		5	雑誌・書籍	6	7.0%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	29	34.1%
		7	その他紙類	10	11.8%
		8	布類・繊維類	1	1.2%
		9	空きびん	2	2.4%
		10	空き缶	3	3.5%
		11	ペットボトル	6	7.0%
		12	その他プラスチック類	14	16.5%
		13	その他	5	5.9%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	20	23.5%
			総回答数	128	150.6%
			有効回答数	85	
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	生ごみ・厨芥類	0	0.0%
		2	木・草類	1	4.0%
		3	新聞	2	8.0%
		4	ダンボール	3	12.0%
		5	雑誌・書籍	3	12.0%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	12	48.0%
		7	その他紙類	3	12.0%
		8	布類・繊維類	0	0.0%
		9	空きびん	0	0.0%
		10	空き缶	3	12.0%
		11	ペットボトル	3	12.0%
		12	その他プラスチック類	3	12.0%
		13	その他	0	0.0%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	4	16.0%
			総回答数	37	148.0%
			有効回答数	25	
5	運輸 情報 通信業	1	生ごみ・厨芥類	2	5.4%
		2	木・草類	2	5.4%
		3	新聞	1	2.7%
		4	ダンボール	3	8.1%
		5	雑誌・書籍	3	8.1%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	21	56.8%
		7	その他紙類	3	8.1%
		8	布類・繊維類	0	0.0%
		9	空きびん	1	2.7%
		10	空き缶	2	5.4%
		11	ペットボトル	4	10.8%
		12	その他プラスチック類	2	5.4%
		13	その他	0	0.0%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	7	18.9%
			総回答数	51	137.8%
			有効回答数	37	
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	生ごみ・厨芥類	30	25.4%
		2	木・草類	1	0.8%
		3	新聞	0	0.0%
		4	ダンボール	10	8.5%
		5	雑誌・書籍	2	1.7%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	18	15.3%
		7	その他紙類	15	12.7%
		8	布類・繊維類	1	0.8%
		9	空きびん	7	6.0%
		10	空き缶	9	7.6%
		11	ペットボトル	15	12.7%
		12	その他プラスチック類	13	11.0%
		13	その他	2	1.7%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	36	30.5%
			総回答数	159	134.7%
			有効回答数	118	



表・図　3-29　「業種別　減らしたいごみ」回答状況①

②-2　業種別クロス集計

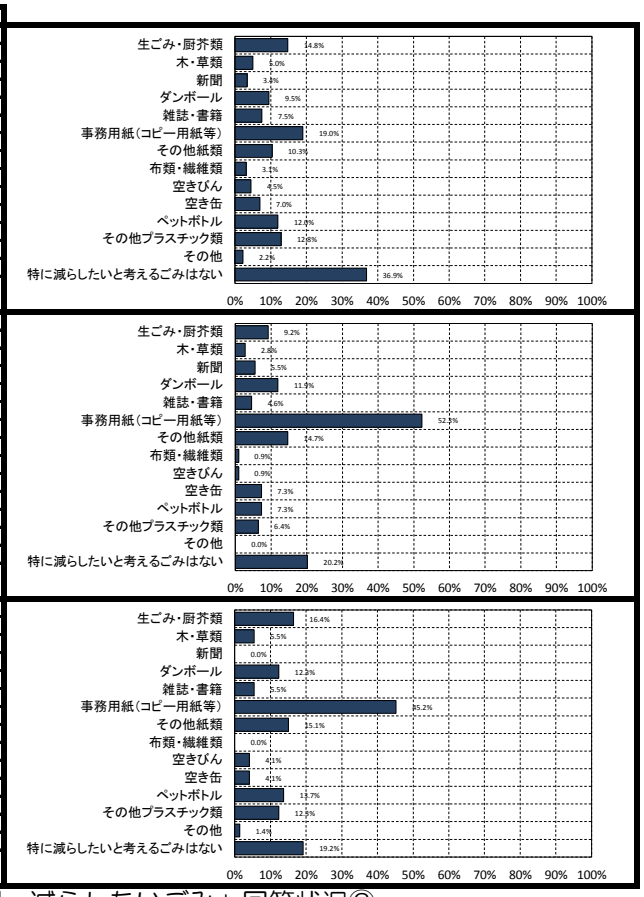
番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
7	金融 保険 不動産業	1	生ごみ・厨芥類	1	2.3%
		2	木・草類	2	4.7%
		3	新聞	2	4.7%
		4	ダンボール	4	9.3%
		5	雑誌・書籍	4	9.3%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	22	51.2%
		7	その他紙類	7	16.3%
		8	布類・繊維類	0	0.0%
		9	空きびん	0	0.0%
		10	空き缶	0	0.0%
		11	ペットボトル	2	4.7%
		12	その他プラスチック類	1	2.3%
		13	その他	0	0.0%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	9	20.9%
			総回答数	54	125.7%
			有効回答数	43	
8	サービス業	1	生ごみ・厨芥類	21	12.0%
		2	木・草類	6	3.4%
		3	新聞	4	2.3%
		4	ダンボール	16	9.1%
		5	雑誌・書籍	16	9.1%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	60	34.3%
		7	その他紙類	24	13.7%
		8	布類・繊維類	4	2.3%
		9	空きびん	5	2.9%
		10	空き缶	5	2.9%
		11	ペットボトル	12	6.9%
		12	その他プラスチック類	19	10.9%
		13	その他	2	1.1%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	63	36.0%
			総回答数	257	146.9%
			有効回答数	175	
9	その他	1	生ごみ・厨芥類	9	13.6%
		2	木・草類	2	3.0%
		3	新聞	1	1.5%
		4	ダンボール	3	4.5%
		5	雑誌・書籍	3	4.5%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	35	53.0%
		7	その他紙類	12	18.2%
		8	布類・繊維類	0	0.0%
		9	空きびん	2	3.0%
		10	空き缶	3	4.5%
		11	ペットボトル	8	12.1%
		12	その他プラスチック類	3	4.5%
		13	その他	1	1.5%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	16	24.2%
			総回答数	98	148.1%
			有効回答数	66	



表・図　3-29　「業種別　減らしたいごみ」回答状況②

③-1　従業員数別クロス集計

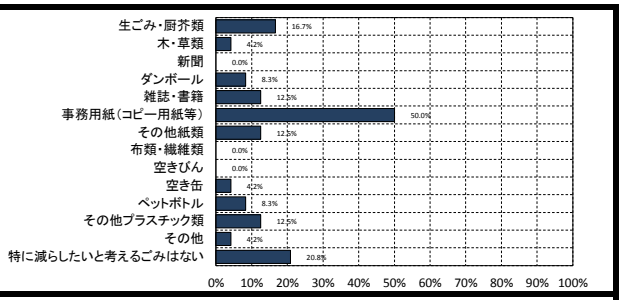
番号	従業員数	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	1～4人	1	生ごみ・厨芥類	53	14.8%
		2	木・草類	18	5.0%
		3	新聞	12	3.4%
		4	ダンボール	34	9.5%
		5	雑誌・書籍	27	7.5%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	68	19.0%
		7	その他紙類	37	10.3%
		8	布類・繊維類	11	3.1%
		9	空きびん	16	4.5%
		10	空き缶	25	7.0%
		11	ペットボトル	43	12.0%
		12	その他プラスチック類	46	12.8%
		13	その他	8	2.2%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	132	36.9%
			総回答数	530	148.0%
			有効回答数	358	
2	5～9人	1	生ごみ・厨芥類	10	9.2%
		2	木・草類	3	2.8%
		3	新聞	6	5.5%
		4	ダンボール	13	11.9%
		5	雑誌・書籍	5	4.6%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	57	52.3%
		7	その他紙類	16	14.7%
		8	布類・繊維類	1	0.9%
		9	空きびん	1	0.9%
		10	空き缶	8	7.3%
		11	ペットボトル	8	7.3%
		12	その他プラスチック類	7	6.4%
		13	その他	0	0.0%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	22	20.2%
			総回答数	157	144.0%
			有効回答数	109	
3	10～19人	1	生ごみ・厨芥類	12	16.4%
		2	木・草類	4	5.5%
		3	新聞	0	0.0%
		4	ダンボール	9	12.3%
		5	雑誌・書籍	4	5.5%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	33	45.2%
		7	その他紙類	11	15.1%
		8	布類・繊維類	0	0.0%
		9	空きびん	3	4.1%
		10	空き缶	3	4.1%
		11	ペットボトル	10	13.7%
		12	その他プラスチック類	9	12.3%
		13	その他	1	1.4%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	14	19.2%
			総回答数	113	154.8%
			有効回答数	73	

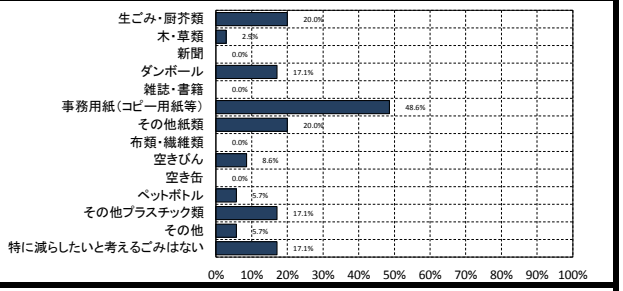


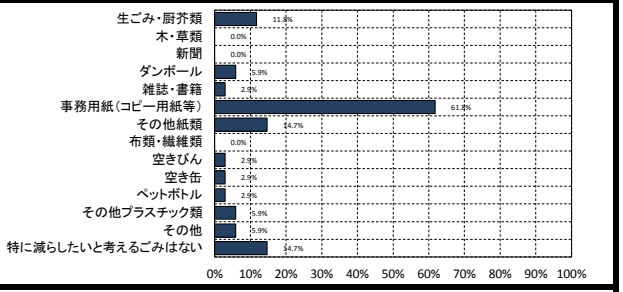
表・図3-30　「従業員数別　減らしたいごみ」回答状況②

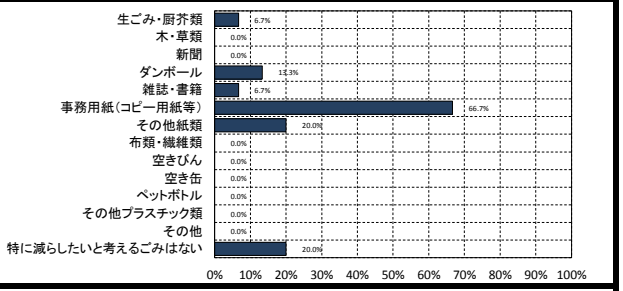
③-2　従業員数別クロス集計

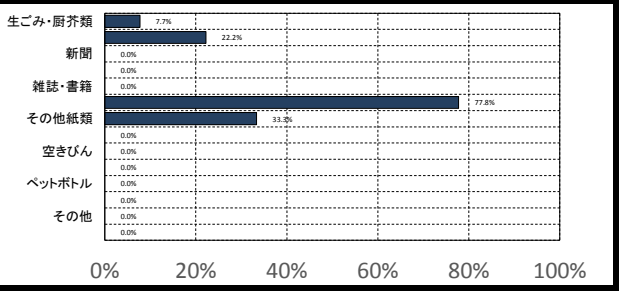
番号	従業員数	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
4	20～29人	1	生ごみ・厨芥類	4	16.7%
		2	木・草類	1	4.2%
		3	新聞	0	0.0%
		4	ダンボール	2	8.3%
		5	雑誌・書籍	3	12.5%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	12	50.0%
		7	その他紙類	3	12.5%
		8	布類・繊維類	0	0.0%
		9	空きびん	0	0.0%
		10	空き缶	1	4.2%
		11	ペットボトル	2	8.3%
		12	その他プラスチック類	3	12.5%
		13	その他	1	4.2%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	5	20.8%
			総回答数	37	154.2%
			有効回答数	24	
5	30～49人	1	生ごみ・厨芥類	7	20.0%
		2	木・草類	1	2.9%
		3	新聞	0	0.0%
		4	ダンボール	6	17.1%
		5	雑誌・書籍	0	0.0%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	17	48.6%
		7	その他紙類	7	20.0%
		8	布類・繊維類	0	0.0%
		9	空きびん	3	8.6%
		10	空き缶	0	0.0%
		11	ペットボトル	2	5.7%
		12	その他プラスチック類	6	17.1%
		13	その他	2	5.7%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	6	17.1%
			総回答数	57	162.9%
			有効回答数	35	
6	50～99人	1	生ごみ・厨芥類	4	11.8%
		2	木・草類	0	0.0%
		3	新聞	0	0.0%
		4	ダンボール	2	5.9%
		5	雑誌・書籍	1	2.9%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	21	61.8%
		7	その他紙類	5	14.7%
		8	布類・繊維類	0	0.0%
		9	空きびん	1	2.9%
		10	空き缶	1	2.9%
		11	ペットボトル	1	2.9%
		12	その他プラスチック類	2	5.9%
		13	その他	2	5.9%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	5	14.7%
			総回答数	45	132.4%
			有効回答数	34	
7	100～299人	1	生ごみ・厨芥類	1	6.7%
		2	木・草類	0	0.0%
		3	新聞	0	0.0%
		4	ダンボール	2	13.3%
		5	雑誌・書籍	1	6.7%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	10	66.7%
		7	その他紙類	3	20.0%
		8	布類・繊維類	0	0.0%
		9	空きびん	0	0.0%
		10	空き缶	0	0.0%
		11	ペットボトル	0	0.0%
		12	その他プラスチック類	0	0.0%
		13	その他	0	0.0%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	3	20.0%
			総回答数	20	133.3%
			有効回答数	15	
8	300人以上	1	生ごみ・厨芥類	1	7.7%
		2	木・草類	2	22.2%
		3	新聞	0	0.0%
		4	ダンボール	0	0.0%
		5	雑誌・書籍	0	0.0%
		6	事務用紙（コピー用紙等）	7	77.8%
		7	その他紙類	3	33.3%
		8	布類・繊維類	0	0.0%
		9	空きびん	0	0.0%
		10	空き缶	0	0.0%
		11	ペットボトル	0	0.0%
		12	その他プラスチック類	0	0.0%
		13	その他	0	0.0%
		14	特に減らしたいと考えるごみはない	0	0.0%
			総回答数	13	144.4%
			有効回答数	9	











表・図3-30　「従業員数別　減らしたいごみ」回答状況②

問19	あなたの事業所では、ごみの減量目標は定めていますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

ごみ減量目標の設定では、「設定済み」は9.5%で非常に低く、また「設定するかどうかは不明」が74.0%を占める。業種別では、「設定済み」が10%を超えているのは「建設業」、「製造業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「運輸・情報通信業」、「その他」の5業種となっている。規模別では、規模が大きくなると「設定済み」の割合が高くなっている。

① 単純集計

問19	ごみ減量目標の設定	回答数	回答率
1	設定済み	63	9.4%
2	設定予定あり	60	9.0%
3	設定するかどうかは不明	492	73.8%
99	無回答	52	7.8%
計		667	100.0%

表　3-31　「ごみの減量目標の設定」回答状況

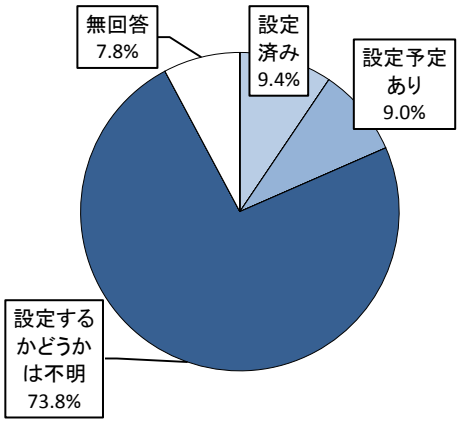


図　3-31　「ごみの減量目標の設定」回答率

② 業種別クロス集計

問19 業種別ごみの減量目標設定 （回答数）		1 設定済み	2 設定予定あり	3 設定は不明	99 無回答	計
1	農林漁業	2	1	19	2	24
2	建設業	8	8	59	5	80
3	製造業	17	6	56	6	85
4	電機・ガス・熱供給・水道業	4	1	18	2	25
5	運輸・情報通信業	4	5	25	3	37
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	6	14	87	11	118
7	金融・保険・不動産	3	7	31	2	43
8	サービス業	12	11	141	11	175
9	その他	7	5	48	6	66
計		63	58	484	48	653
問19 業種ｖｓごみの減量目標設定 （回答率）		1 設定済み	2 設定予定あり	3 設定は不明	99 無回答	計
1	農林漁業	8.3%	4.2%	79.2%	8.3%	100.0%
2	建設業	10.0%	10.0%	74.0%	6.0%	100.0%
3	製造業	20.0%	7.1%	65.9%	7.1%	100.0%
4	電機・ガス・熱供給・水道業	16.0%	4.0%	72.0%	8.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	10.8%	13.5%	67.6%	8.1%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	5.1%	11.9%	73.7%	9.3%	100.0%
7	金融・保険・不動産	7.0%	16.3%	72.0%	4.7%	100.0%
8	サービス業	7.0%	6.0%	81.0%	6.0%	100.0%
9	その他	10.6%	7.6%	72.7%	9.1%	100.0%
全体		9.6%	8.9%	74.1%	7.4%	100.0%

表　3-32　「業種別　ごみの減量目標の設定」回答状況

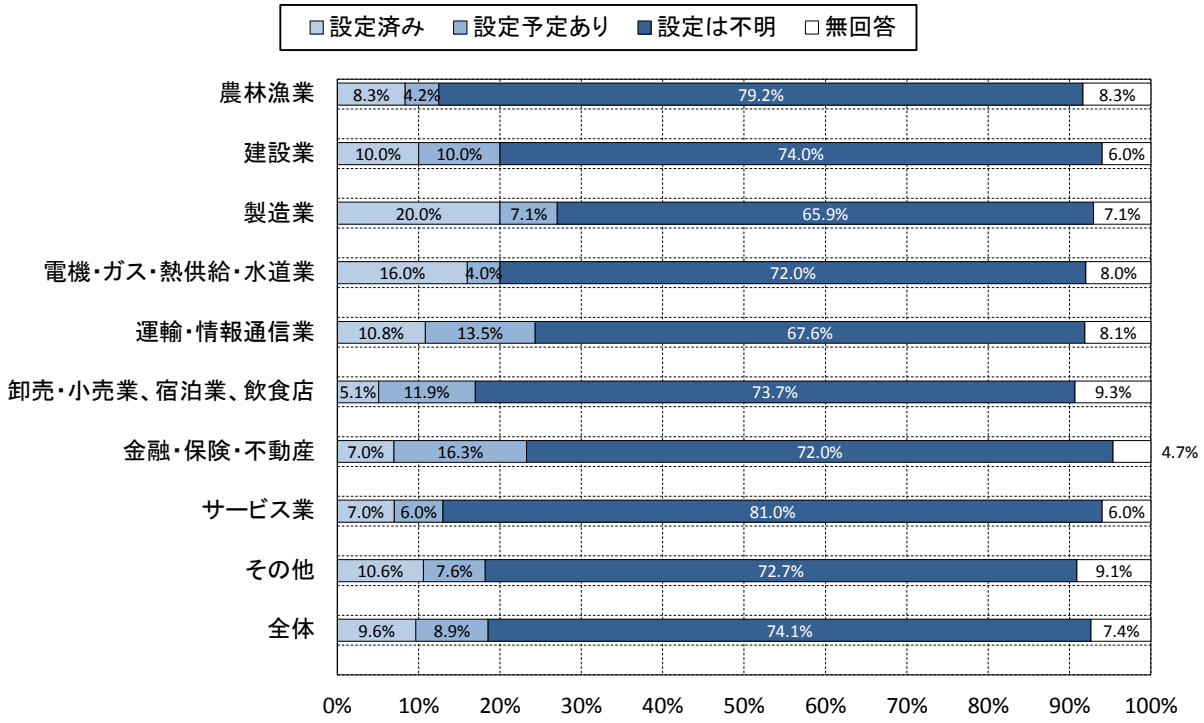


図　3-32　「業種別　ごみの減量目標の設定」回答率

③　従業員数別クロス集計

問19 従業員数別 ごみの減量目標設定 （回答数）		1 設定済み	2 設定予定あり	3 設定は不明	99 無回答	計
1	1~4人	24	21	278	35	358
2	5~9人	5	14	85	5	109
3	10~19人	6	14	51	2	73
4	20~29人	4	1	18	1	24
5	30~49人	5	5	21	4	35
6	50~99人	11	2	21	0	34
7	100~299人	4	1	10	0	15
8	300人以上	4	1	4	0	9
計		63	59	488	47	657

問19 従業員数別 ごみの減量目標設定 （回答率）		1 設定済み	2 設定予定あり	3 設定は不明	99 無回答	計
1	1~4人	6.7%	5.9%	77.7%	9.8%	100.0%
2	5~9人	4.6%	12.8%	78.0%	4.6%	100.0%
3	10~19人	8.2%	19.2%	69.9%	2.7%	100.0%
4	20~29人	17.0%	4.0%	75.0%	4.0%	100.0%
5	30~49人	14.3%	14.3%	60.0%	11.4%	100.0%
6	50~99人	32.0%	6.0%	62.0%	0.0%	100.0%
7	100~299人	26.7%	6.7%	66.7%	0.0%	100.0%
8	300人以上	44.4%	11.1%	44.4%	0.0%	100.0%
全体		10.0%	9.0%	74.0%	7.0%	100.0%

表　3-33　「従業員数別　ごみの減量目標の設定」回答状況

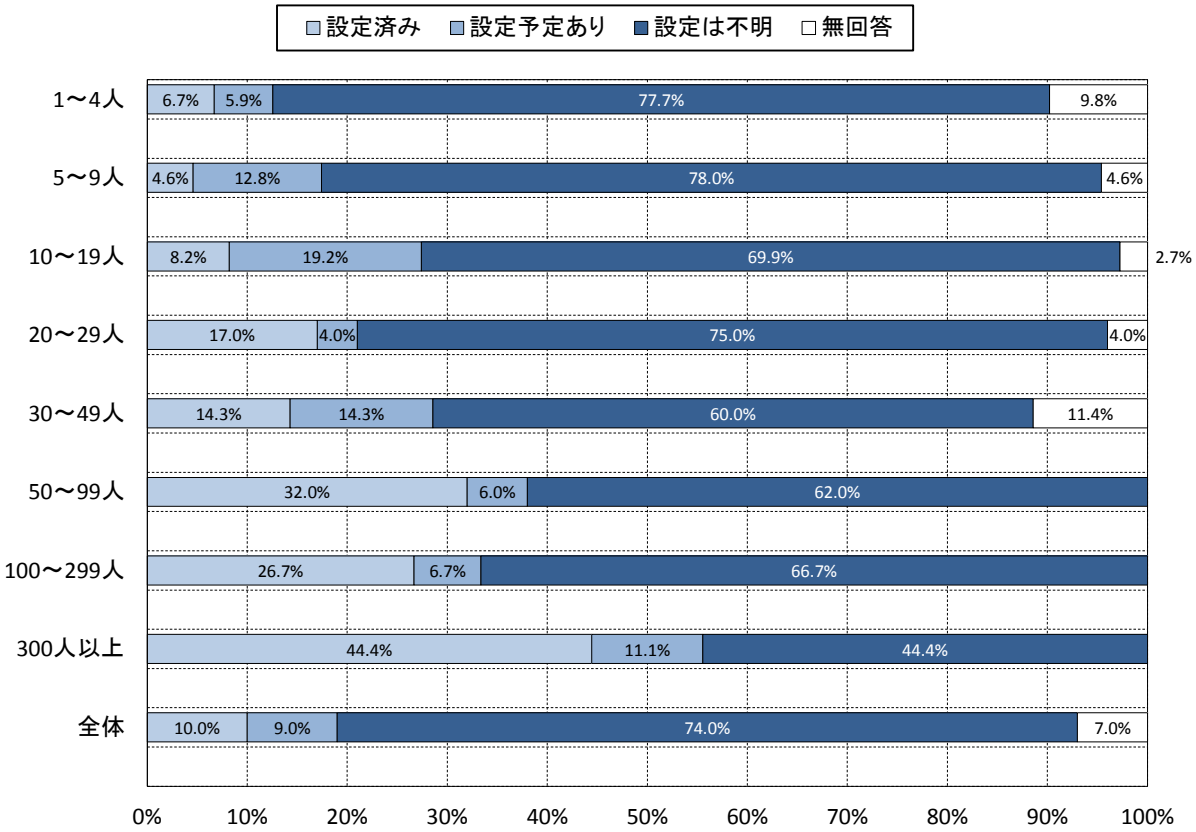


図　3-33　「従業員数別　ごみの減量目標の設定」回答率

問20	あなたの事業所では、ごみを減らしたり、リサイクルを進めるに当たってどのような問題がありますか？ あてはまるものを2つまで選び番号に○を付けてください。　（複数回答）

リサイクルを進めるにあたっての問題点は、「リサイクルのシステムがつくれない」が最も高く33.2%、次いで「減量しても経費削減につながらない」、「減量と事業が両立しない」となっている。
業種別では、業種による違いはあまりみられない。
規模別（従業員数別）では、「リサイクルのシステムがつくれない」と回答した事業者は、20人未満の小規模では最も高いが、規模が大きくなると、その割合が低くなっている。

① 単純集計

問20	リサイクルの問題点	回答数	回答率
1	具体的方法がわからない	73	10.9%
2	リサイクルのシステムがつくれない	221	33.1%
3	産業廃棄物の区分が障害	53	7.9%
4	減量しても経費削減につながらない	111	16.6%
5	事業系ごみのことがよくわからない	26	3.9%
6	減量と事業が両立しない	88	13.2%
7	その他	68	10.2%
総回答数		640	95.8%
有効回答数		667	

表　3-34　「リサイクルを進めるにあたっての問題点」回答状況

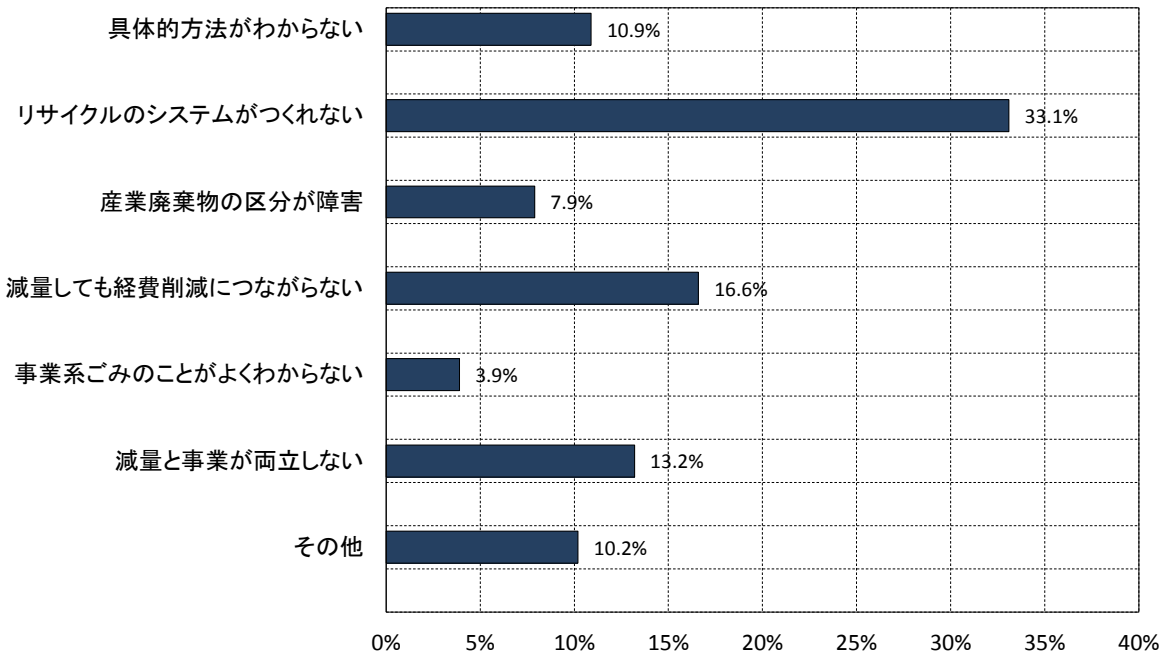
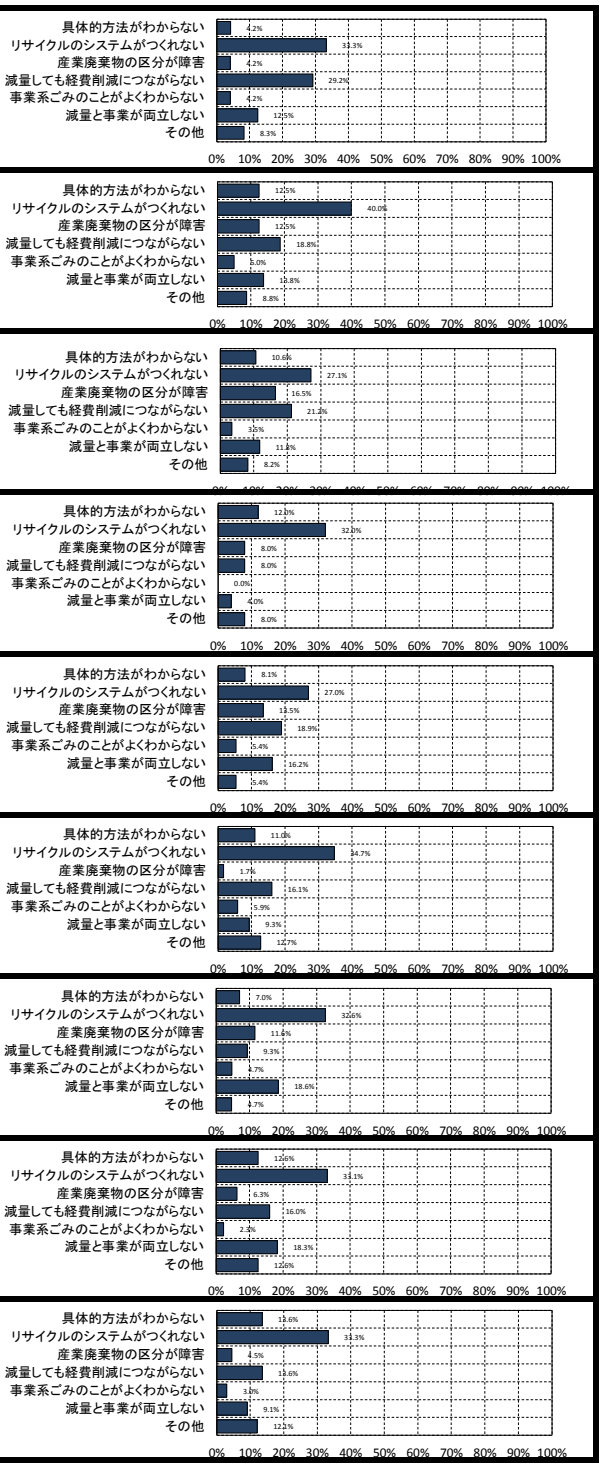


図　3-33　「リサイクルを進めるにあたっての問題点」回答率

②　業種別クロス集計

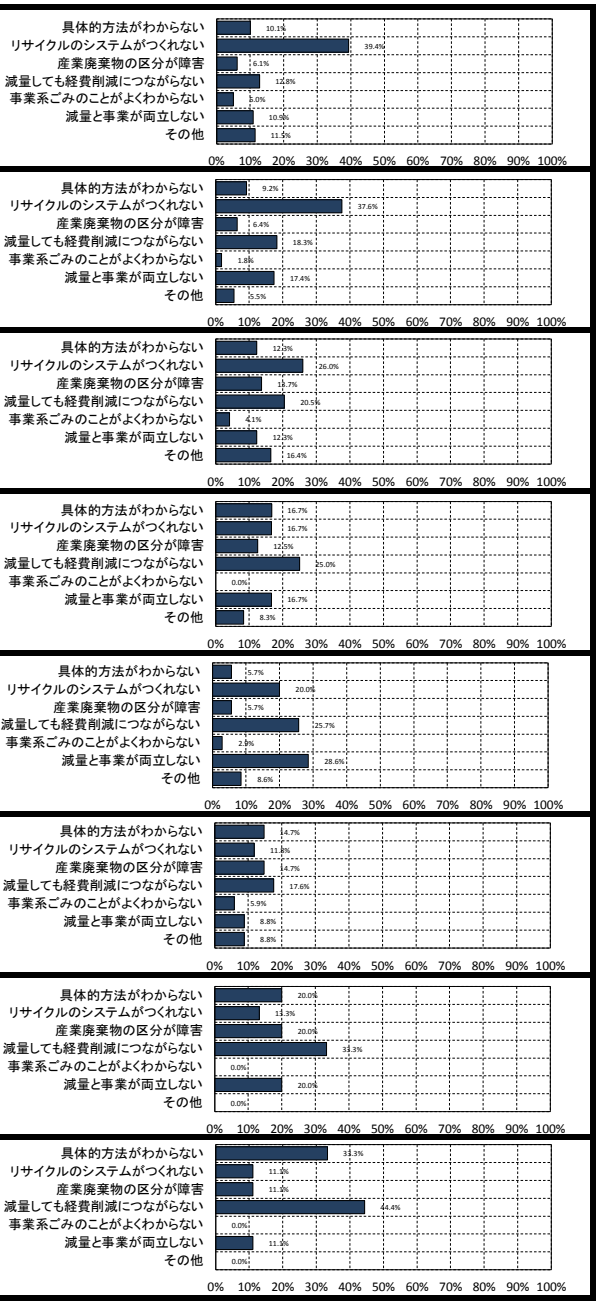
番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	具体的方法がわからない	1	4.2%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	8	33.3%
		3	産業廃棄物の区分が障害	1	4.2%
		4	減量しても経費削減につながらない	7	29.2%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	1	4.2%
		6	減量と事業が両立しない	3	12.5%
		7	その他	2	8.3%
			総回答数	23	95.9%
			有効回答数	24	
2	建設業	1	具体的方法がわからない	10	12.5%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	32	40.0%
		3	産業廃棄物の区分が障害	10	12.5%
		4	減量しても経費削減につながらない	15	18.8%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	4	5.0%
		6	減量と事業が両立しない	11	13.8%
		7	その他	7	8.8%
			総回答数	89	111.4%
			有効回答数	80	
3	製造業	1	具体的方法がわからない	9	10.6%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	23	27.1%
		3	産業廃棄物の区分が障害	14	16.5%
		4	減量しても経費削減につながらない	18	21.2%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	3	3.5%
		6	減量と事業が両立しない	10	11.8%
		7	その他	7	8.2%
			総回答数	84	98.9%
			有効回答数	85	
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	具体的方法がわからない	3	12.0%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	8	32.0%
		3	産業廃棄物の区分が障害	2	8.0%
		4	減量しても経費削減につながらない	2	8.0%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	0	0.0%
		6	減量と事業が両立しない	1	4.0%
		7	その他	2	8.0%
			総回答数	18	72.0%
			有効回答数	25	
5	運輸 情報 通信業	1	具体的方法がわからない	3	8.1%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	10	27.0%
		3	産業廃棄物の区分が障害	5	13.5%
		4	減量しても経費削減につながらない	7	18.9%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	2	5.4%
		6	減量と事業が両立しない	6	16.2%
		7	その他	2	5.4%
			総回答数	35	94.5%
			有効回答数	37	
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	具体的方法がわからない	13	11.0%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	41	34.7%
		3	産業廃棄物の区分が障害	2	1.7%
		4	減量しても経費削減につながらない	19	16.1%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	7	5.9%
		6	減量と事業が両立しない	11	9.3%
		7	その他	15	12.7%
			総回答数	108	91.4%
			有効回答数	118	
7	金融 保険 不動産業	1	具体的方法がわからない	3	7.0%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	14	32.6%
		3	産業廃棄物の区分が障害	5	11.6%
		4	減量しても経費削減につながらない	4	9.3%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	2	4.7%
		6	減量と事業が両立しない	8	18.6%
		7	その他	2	4.7%
			総回答数	38	88.5%
			有効回答数	43	
8	サービス業	1	具体的方法がわからない	22	12.6%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	58	33.1%
		3	産業廃棄物の区分が障害	11	6.3%
		4	減量しても経費削減につながらない	28	16.0%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	4	2.3%
		6	減量と事業が両立しない	32	18.3%
		7	その他	22	12.6%
			総回答数	177	101.2%
			有効回答数	175	
9	その他	1	具体的方法がわからない	9	13.6%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	22	33.3%
		3	産業廃棄物の区分が障害	3	4.5%
		4	減量しても経費削減につながらない	9	13.6%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	2	3.0%
		6	減量と事業が両立しない	6	9.1%
		7	その他	8	12.1%
			総回答数	59	89.2%
			有効回答数	66	



表・図　3-35　「業種別　リサイクルを進めるにあたっての問題点」回答状況

③　従業員数別クロス集計

番号	従業員数別	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	1～4人	1	具体的方法がわからない	36	10.1%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	141	39.4%
		3	産業廃棄物の区分が障害	22	6.1%
		4	減量しても経費削減につながらない	46	12.8%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	18	5.0%
		6	減量と事業が両立しない	39	10.9%
		7	その他	41	11.5%
			総回答数	343	95.8%
			有効回答数	358	
2	5～9人	1	具体的方法がわからない	10	9.2%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	41	37.6%
		3	産業廃棄物の区分が障害	7	6.4%
		4	減量しても経費削減につながらない	20	18.3%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	2	1.8%
		6	減量と事業が両立しない	19	17.4%
		7	その他	6	5.5%
			総回答数	105	96.2%
			有効回答数	109	
3	10～19人	1	具体的方法がわからない	9	12.3%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	19	26.0%
		3	産業廃棄物の区分が障害	10	13.7%
		4	減量しても経費削減につながらない	15	20.5%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	3	4.1%
		6	減量と事業が両立しない	9	12.3%
		7	その他	12	16.4%
			総回答数	77	105.3%
			有効回答数	73	
4	20～29人	1	具体的方法がわからない	4	16.7%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	4	16.7%
		3	産業廃棄物の区分が障害	3	12.5%
		4	減量しても経費削減につながらない	6	25.0%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	0	0.0%
		6	減量と事業が両立しない	4	16.7%
		7	その他	2	8.3%
			総回答数	23	95.9%
			有効回答数	24	
5	30～49人	1	具体的方法がわからない	2	5.7%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	7	20.0%
		3	産業廃棄物の区分が障害	2	5.7%
		4	減量しても経費削減につながらない	9	25.7%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	1	2.9%
		6	減量と事業が両立しない	10	28.6%
		7	その他	3	8.6%
			総回答数	34	97.2%
			有効回答数	35	
6	50～99人	1	具体的方法がわからない	5	14.7%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	4	11.8%
		3	産業廃棄物の区分が障害	5	14.7%
		4	減量しても経費削減につながらない	6	17.6%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	2	5.9%
		6	減量と事業が両立しない	3	8.8%
		7	その他	3	8.8%
			総回答数	28	82.3%
			有効回答数	34	
7	100～299人	1	具体的方法がわからない	3	20.0%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	2	13.3%
		3	産業廃棄物の区分が障害	3	20.0%
		4	減量しても経費削減につながらない	5	33.3%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	0	0.0%
		6	減量と事業が両立しない	3	20.0%
		7	その他	0	0.0%
			総回答数	16	106.6%
			有効回答数	15	
8	300人以上	1	具体的方法がわからない	3	33.3%
		2	リサイクルのシステムがつくれない	1	11.1%
		3	産業廃棄物の区分が障害	1	11.1%
		4	減量しても経費削減につながらない	4	44.4%
		5	事業系ごみのことがよくわからない	0	0.0%
		6	減量と事業が両立しない	1	11.1%
		7	その他	0	0.0%
			総回答数	10	111.0%
			有効回答数	9	



表・図　3-36　「従業員数別　リサイクルを進めるにあたっての問題点」回答状況

問21	ごみに関する情報を、あなたの事業所はどのような方法で手に入れていますか？ あてはまるものを3つまで選び番号に○を付けてください。　（複数回答）

情報入手方法は、「市町の広報やパンフレットを通じて」が最も高く63%であり、次いで「処理業者からの情報を通じて」が24.2%、「新聞やマスコミを通じて」が16.2%となっている。
業種別でも、いずれの業種も「市町の広報やパンフレットを通じて」が40%以上で最も高い。
規模別（従業員数別）では、規模が大きくなると 「処理業者からの情報を通じて」の比率が増加している。

①　単純集計

問21	情報入手方法	回答数	回答率
1	市町の広報やパンフレットを通じて	420	63.0%
2	市町のホームページを通じて	98	14.7%
3	市町等主催の説明会を通じて	27	4.0%
4	市町の訪問指導を通じて	8	1.2%
5	新聞やマスコミを通じて	108	16.2%
6	業界からの情報を通じて	70	10.5%
7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	40	6.0%
8	処理業者からの情報を通じて	161	24.1%
9	その他	26	3.9%
総回答数		958	143.6%
有効回答数		667	

表　3-37　「情報入手方法」回答状況

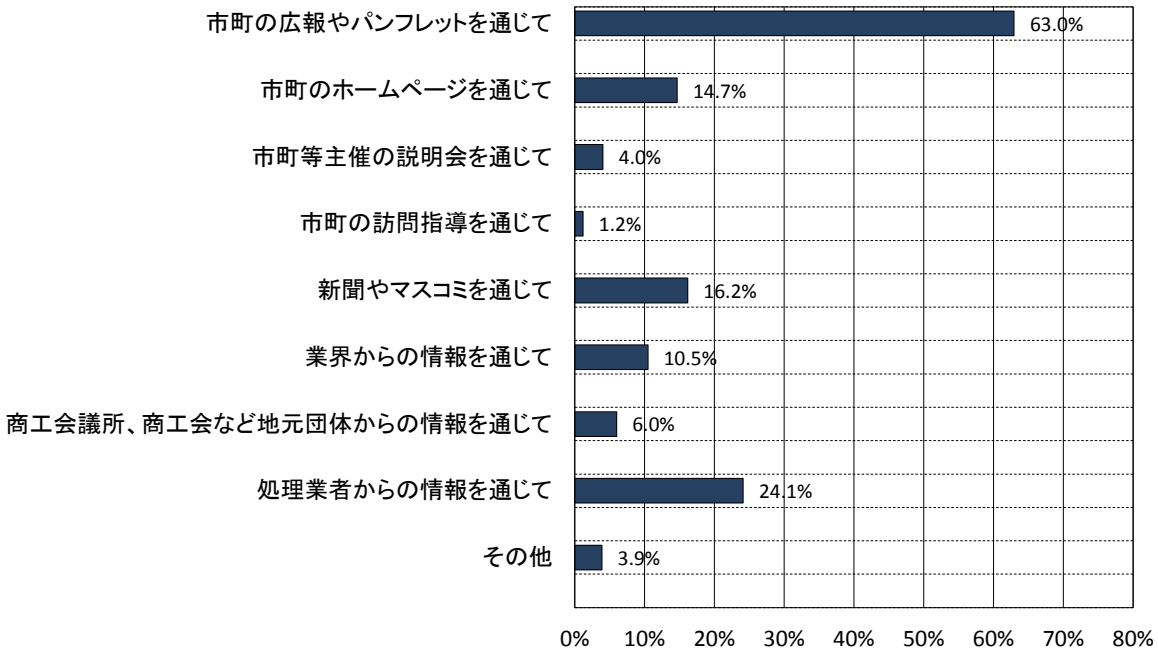
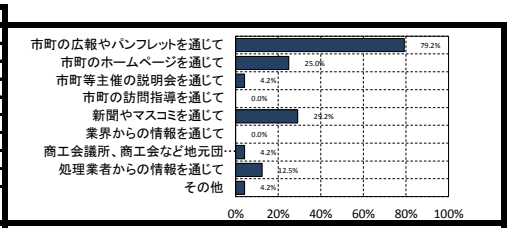
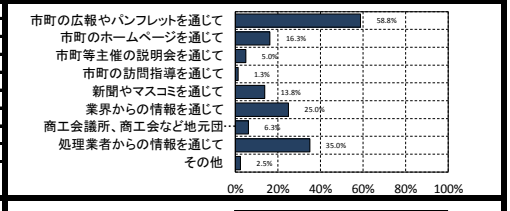


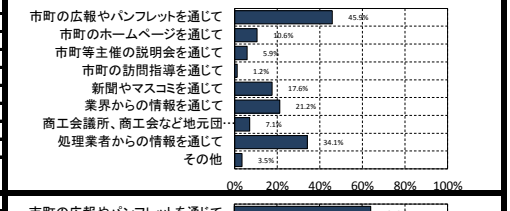
図　3-37　「情報入手方法」回答率

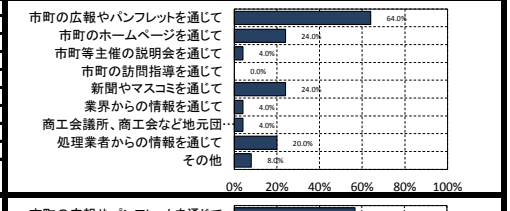
②　業種別クロス集計

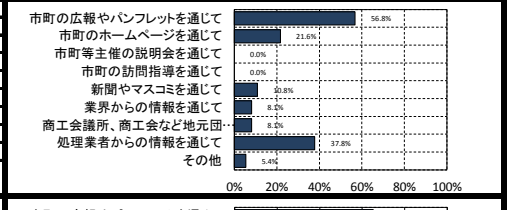
番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	19	79.2%
		2	市町のホームページを通じて	6	25.0%
		3	市町等主催の説明会を通じて	1	4.2%
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%
		5	新聞やマスコミを通じて	7	29.2%
		6	業界からの情報を通じて	0	0.0%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	1	4.2%
		8	処理業者からの情報を通じて	3	12.5%
		9	その他	1	4.2%
			総回答数	38	158.5%
			有効回答数	24	
2	建設業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	47	58.8%
		2	市町のホームページを通じて	13	16.3%
		3	市町等主催の説明会を通じて	4	5.0%
		4	市町の訪問指導を通じて	1	1.3%
		5	新聞やマスコミを通じて	11	13.8%
		6	業界からの情報を通じて	20	25.0%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	5	6.3%
		8	処理業者からの情報を通じて	28	35.0%
		9	その他	2	2.5%
			総回答数	131	164.0%
			有効回答数	80	
3	製造業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	39	45.9%
		2	市町のホームページを通じて	9	10.6%
		3	市町等主催の説明会を通じて	5	5.9%
		4	市町の訪問指導を通じて	1	1.2%
		5	新聞やマスコミを通じて	15	17.6%
		6	業界からの情報を通じて	18	21.2%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	6	7.1%
		8	処理業者からの情報を通じて	29	34.1%
		9	その他	3	3.5%
			総回答数	125	147.1%
			有効回答数	85	
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	16	64.0%
		2	市町のホームページを通じて	6	24.0%
		3	市町等主催の説明会を通じて	1	4.0%
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%
		5	新聞やマスコミを通じて	6	24.0%
		6	業界からの情報を通じて	1	4.0%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	1	4.0%
		8	処理業者からの情報を通じて	5	20.0%
		9	その他	2	8.0%
			総回答数	38	152.0%
			有効回答数	25	
5	運輸 情報 通信業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	21	56.8%
		2	市町のホームページを通じて	8	21.6%
		3	市町等主催の説明会を通じて	0	0.0%
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%
		5	新聞やマスコミを通じて	4	10.8%
		6	業界からの情報を通じて	3	8.1%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	3	8.1%
		8	処理業者からの情報を通じて	14	37.8%
		9	その他	2	5.4%
			総回答数	55	148.6%
			有効回答数	37	
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	市町の広報やパンフレットを通じて	77	65.3%
		2	市町のホームページを通じて	8	6.8%
		3	市町等主催の説明会を通じて	6	5.1%
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%
		5	新聞やマスコミを通じて	13	11.0%
		6	業界からの情報を通じて	11	9.3%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	10	8.5%
		8	処理業者からの情報を通じて	26	22.0%
		9	その他	4	3.4%
			総回答数	155	131.4%
			有効回答数	118	
7	金融 保険 不動産業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	29	67.4%
		2	市町のホームページを通じて	11	25.6%
		3	市町等主催の説明会を通じて	0	0.0%
		4	市町の訪問指導を通じて	2	4.7%
		5	新聞やマスコミを通じて	7	16.3%
		6	業界からの情報を通じて	1	2.3%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	2	4.7%
		8	処理業者からの情報を通じて	7	16.3%
		9	その他	1	2.3%
			総回答数	60	139.6%
			有効回答数	43	
8	サービス業	1	市町の広報やパンフレットを通じて	119	68.0%
		2	市町のホームページを通じて	26	14.9%
		3	市町等主催の説明会を通じて	6	3.4%
		4	市町の訪問指導を通じて	1	0.6%
		5	新聞やマスコミを通じて	32	18.3%
		6	業界からの情報を通じて	11	6.3%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	11	6.3%
		8	処理業者からの情報を通じて	39	22.3%
		9	その他	8	4.6%
			総回答数	253	144.7%
			有効回答数	175	
9	その他	1	市町の広報やパンフレットを通じて	46	69.7%
		2	市町のホームページを通じて	8	12.1%
		3	市町等主催の説明会を通じて	4	6.1%
		4	市町の訪問指導を通じて	3	4.5%
		5	新聞やマスコミを通じて	11	16.7%
		6	業界からの情報を通じて	4	6.1%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	0	0.0%
		8	処理業者からの情報を通じて	8	12.1%
		9	その他	2	3.0%
			総回答数	86	130.3%
			有効回答数	66	

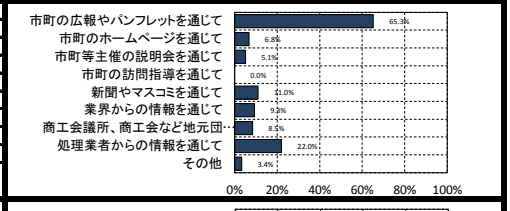


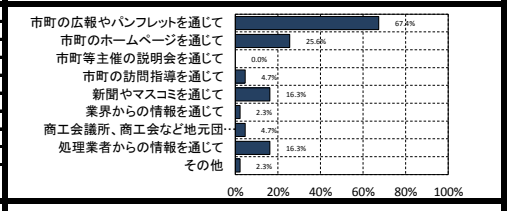


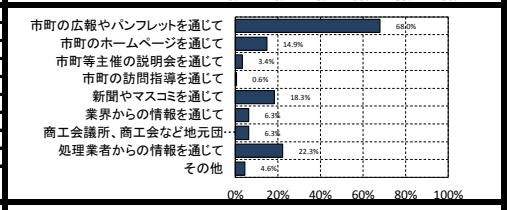


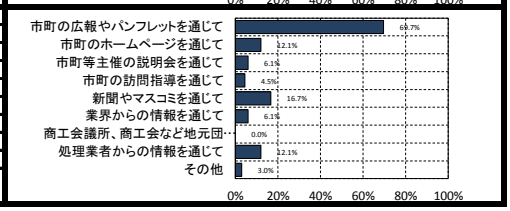








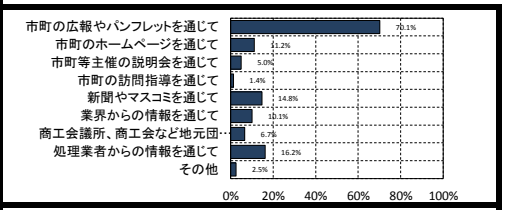


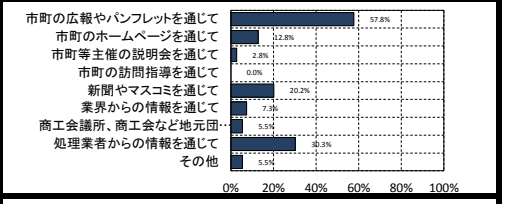


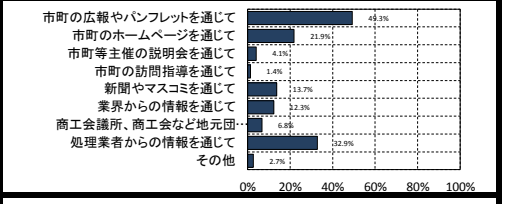
表・図　3-38　「業種別　情報入手方法」回答状況

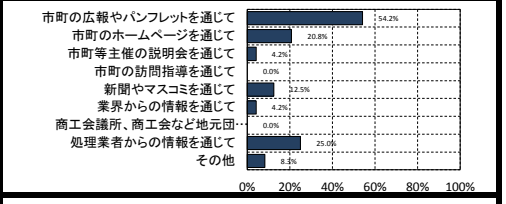
③　従業員数別クロス集計

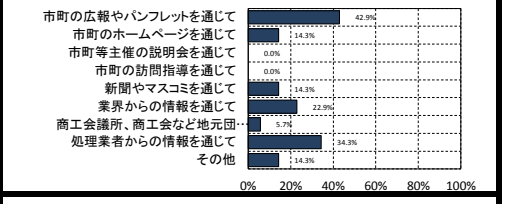
番号	従業員数別	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	1～4人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	251	70.1%
		2	市町のホームページを通じて	40	11.2%
		3	市町等主催の説明会を通じて	18	5.0%
		4	市町の訪問指導を通じて	5	1.4%
		5	新聞やマスコミを通じて	53	14.8%
		6	業界からの情報を通じて	36	10.1%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	24	6.7%
		8	処理業者からの情報を通じて	58	16.2%
		9	その他	9	2.5%
			総回答数	494	138.0%
			有効回答数	358	
2	5～9人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	63	57.8%
		2	市町のホームページを通じて	14	12.8%
		3	市町等主催の説明会を通じて	3	2.8%
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%
		5	新聞やマスコミを通じて	22	20.2%
		6	業界からの情報を通じて	8	7.3%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	6	5.5%
		8	処理業者からの情報を通じて	33	30.3%
		9	その他	6	5.5%
			総回答数	155	142.2%
			有効回答数	109	
3	10～19人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	36	49.3%
		2	市町のホームページを通じて	16	21.9%
		3	市町等主催の説明会を通じて	3	4.1%
		4	市町の訪問指導を通じて	1	1.4%
		5	新聞やマスコミを通じて	10	13.7%
		6	業界からの情報を通じて	9	12.3%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	5	6.8%
		8	処理業者からの情報を通じて	24	32.9%
		9	その他	2	2.7%
			総回答数	106	145.1%
			有効回答数	73	
4	20～29人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	13	54.2%
		2	市町のホームページを通じて	5	20.8%
		3	市町等主催の説明会を通じて	1	4.2%
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%
		5	新聞やマスコミを通じて	3	12.5%
		6	業界からの情報を通じて	1	4.2%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	0	0.0%
		8	処理業者からの情報を通じて	6	25.0%
		9	その他	2	8.3%
			総回答数	31	129.2%
			有効回答数	24	
5	30～49人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	15	42.9%
		2	市町のホームページを通じて	5	14.3%
		3	市町等主催の説明会を通じて	0	0.0%
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%
		5	新聞やマスコミを通じて	5	14.3%
		6	業界からの情報を通じて	8	22.9%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	2	5.7%
		8	処理業者からの情報を通じて	12	34.3%
		9	その他	5	14.3%
			総回答数	52	148.7%
			有効回答数	35	
6	50～99人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	23	67.6%
		2	市町のホームページを通じて	11	32.4%
		3	市町等主催の説明会を通じて	0	0.0%
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%
		5	新聞やマスコミを通じて	7	20.6%
		6	業界からの情報を通じて	3	8.8%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	2	5.9%
		8	処理業者からの情報を通じて	18	52.9%
		9	その他	0	0.0%
			総回答数	64	188.2%
			有効回答数	34	
7	100～299人	1	市町の広報やパンフレットを通じて	9	60.0%
		2	市町のホームページを通じて	3	20.0%
		3	市町等主催の説明会を通じて	2	13.3%
		4	市町の訪問指導を通じて	0	0.0%
		5	新聞やマスコミを通じて	4	26.7%
		6	業界からの情報を通じて	5	33.3%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	1	6.7%
		8	処理業者からの情報を通じて	6	40.0%
		9	その他	1	6.7%
			総回答数	31	206.7%
			有効回答数	15	
8	300人以上	1	市町の広報やパンフレットを通じて	7	77.8%
		2	市町のホームページを通じて	4	44.4%
		3	市町等主催の説明会を通じて	0	0.0%
		4	市町の訪問指導を通じて	2	22.2%
		5	新聞やマスコミを通じて	2	22.2%
		6	業界からの情報を通じて	0	0.0%
		7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて	0	0.0%
		8	処理業者からの情報を通じて	3	33.3%
		9	その他	0	0.0%
			総回答数	18	199.9%
			有効回答数	9	

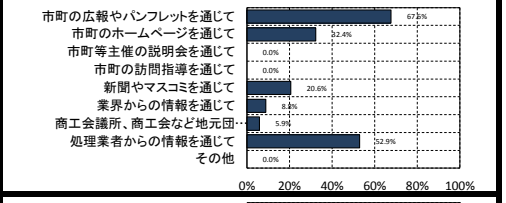


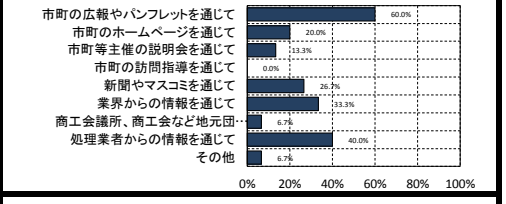


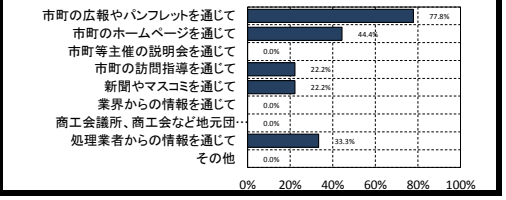












表・図　3-39　「従業員数別　情報入手方法」回答状況

問22	今後の具体的なごみ減量やリサイクルの取組を検討するうえでぜひほしいと思う情報はありますか？ あてはまるものを3つまで選び番号に○を付けてください。　（複数回答）

欲しい情報では、「処理業者・資源回収業者情報」が最も高く31.2%であり、次いで「特になし」が29.2%、「成功事例・失敗事例」が24.6%、「県・市町の環境関連事業」が24%となっている。
業種別では、「電気・ガス・熱供給・水道業」の「県・市町の環境関連事業」の割合が高くなっている。
規模別（従業員数別）では、従業員数が多くなると、「法律の規制情報」や「成功事例・失敗事例」の割合が高くなる傾向にある。

① 単純集計

問22	欲しい情報	回答数	回答率
1	処理業者・資源回収業者情報	208	31.2%
2	法律の規制情報	132	19.8%
3	県・市町の環境関連事業	160	24.0%
4	国や県等の動向	69	10.3%
5	成功事例・失敗事例	164	24.6%
6	CO2削減に関する情報	33	4.9%
7	その他	9	1.3%
8	特になし	195	29.2%
総回答数		970	145.3%
有効回答数		667	

表　3-40　「欲しい情報」回答状況

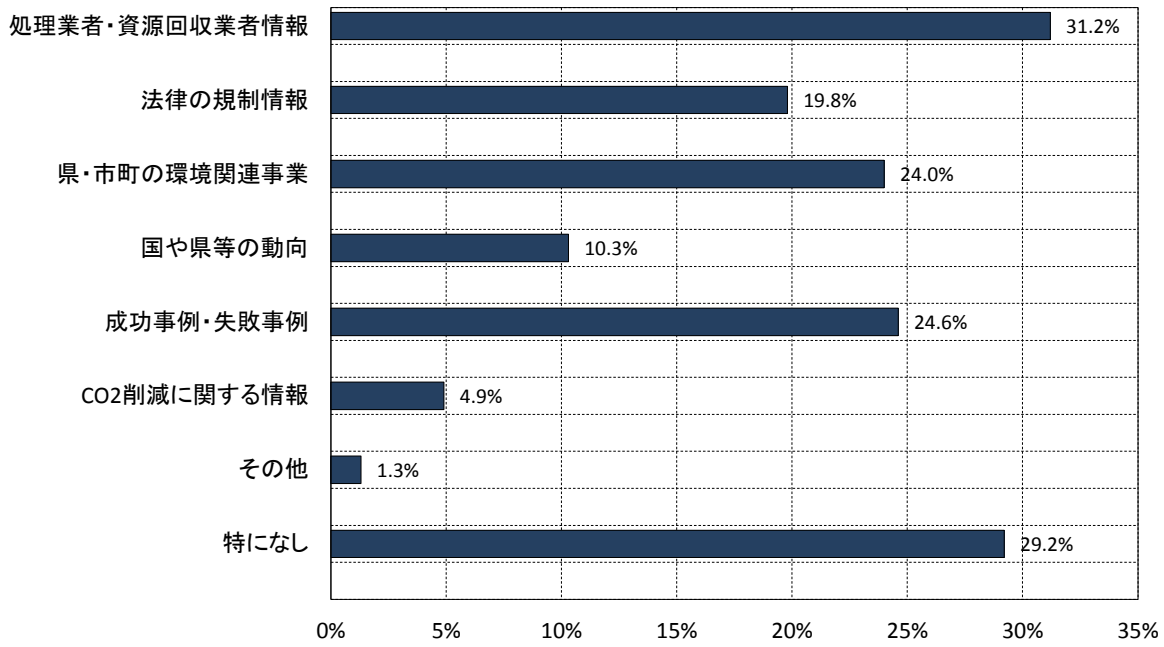
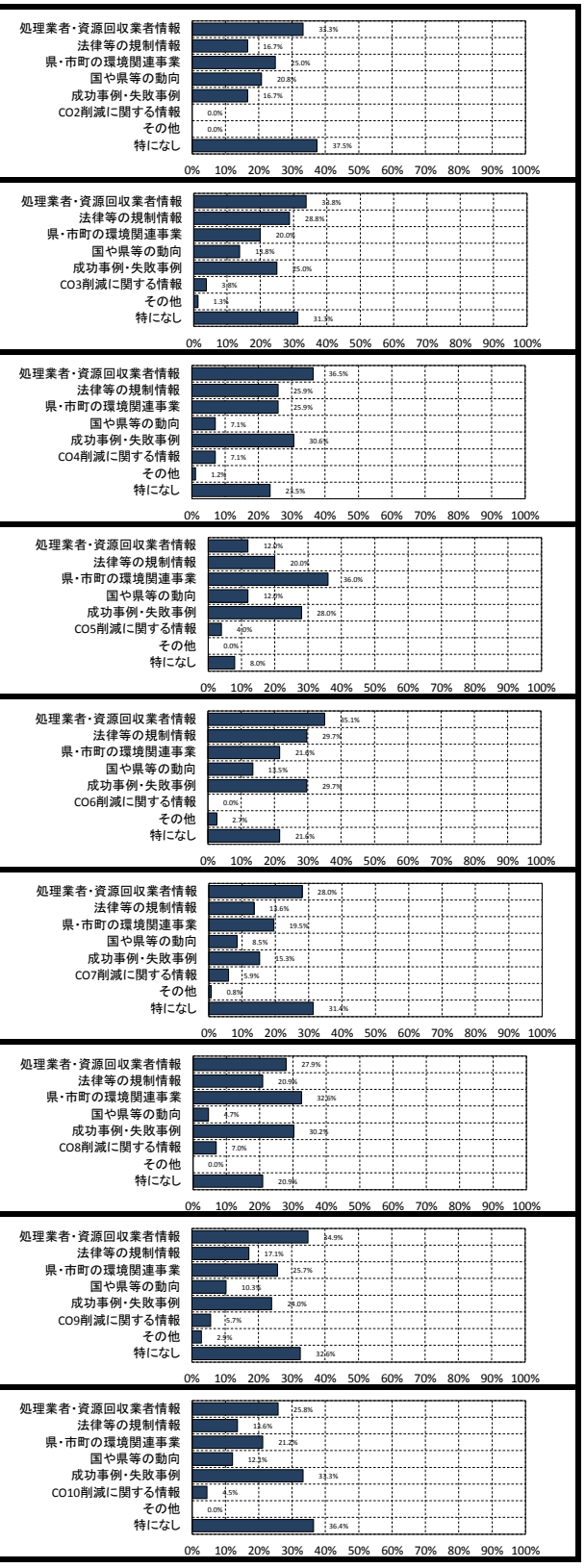


図　3-40　「欲しい情報」回答率

② 業種別クロス集計

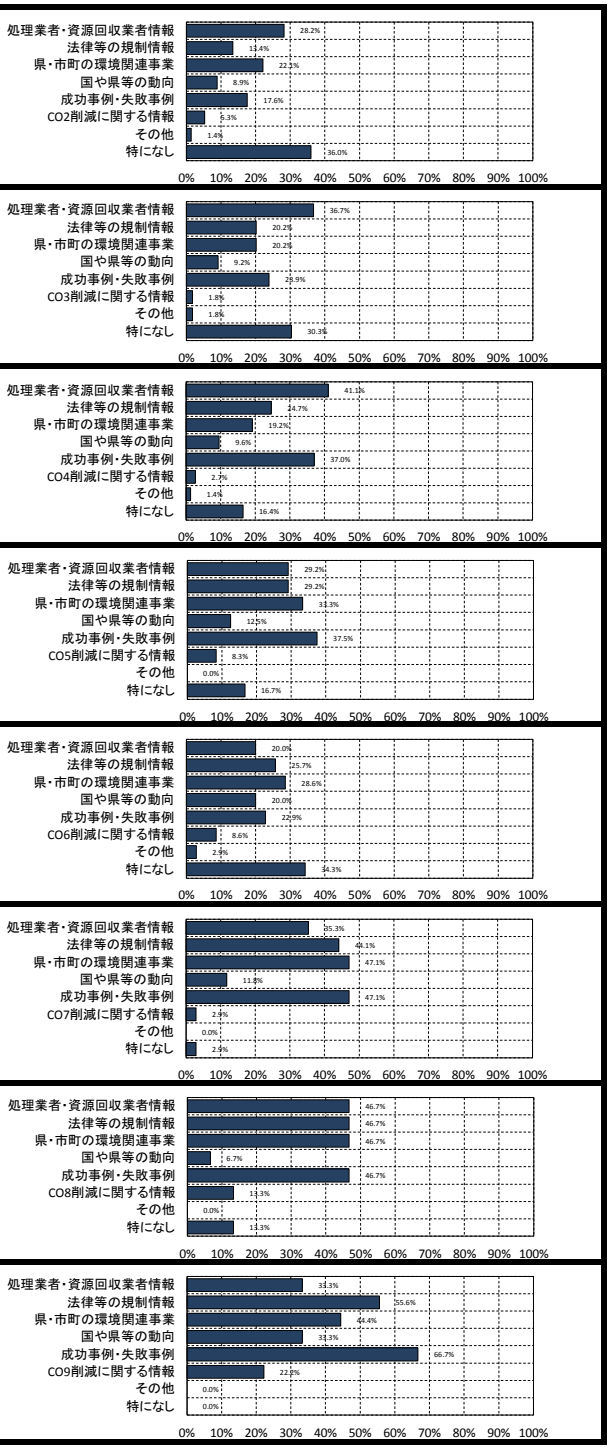
番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	処理業者・資源回収業者情報	8	33.3%
		2	法律等の規制情報	4	16.7%
		3	県・市町の環境関連事業	6	25.0%
		4	国や県等の動向	5	20.8%
		5	成功事例・失敗事例	4	16.7%
		6	CO2削減に関する情報	0	0.0%
		7	その他	0	0.0%
		8	特になし	9	37.5%
			総回答数	36	150.0%
			有効回答数	24	
2	建設業	1	処理業者・資源回収業者情報	27	33.8%
		2	法律等の規制情報	23	28.8%
		3	県・市町の環境関連事業	16	20.0%
		4	国や県等の動向	11	13.8%
		5	成功事例・失敗事例	20	25.0%
		6	CO3削減に関する情報	3	3.8%
		7	その他	1	1.3%
		8	特になし	25	31.3%
			総回答数	126	157.8%
			有効回答数	80	
3	製造業	1	処理業者・資源回収業者情報	31	36.5%
		2	法律等の規制情報	22	25.9%
		3	県・市町の環境関連事業	22	25.9%
		4	国や県等の動向	6	7.1%
		5	成功事例・失敗事例	26	30.6%
		6	CO4削減に関する情報	6	7.1%
		7	その他	1	1.2%
		8	特になし	20	23.5%
			総回答数	134	157.6%
			有効回答数	85	
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	処理業者・資源回収業者情報	3	12.0%
		2	法律等の規制情報	5	20.0%
		3	県・市町の環境関連事業	9	36.0%
		4	国や県等の動向	3	12.0%
		5	成功事例・失敗事例	7	28.0%
		6	CO5削減に関する情報	1	4.0%
		7	その他	0	0.0%
		8	特になし	2	8.0%
			総回答数	30	120.0%
			有効回答数	25	
5	運輸 情報 通信業	1	処理業者・資源回収業者情報	13	35.1%
		2	法律等の規制情報	11	29.7%
		3	県・市町の環境関連事業	8	21.6%
		4	国や県等の動向	5	13.5%
		5	成功事例・失敗事例	11	29.7%
		6	CO6削減に関する情報	0	0.0%
		7	その他	1	2.7%
		8	特になし	8	21.6%
			総回答数	57	153.9%
			有効回答数	37	
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	処理業者・資源回収業者情報	33	28.0%
		2	法律等の規制情報	16	13.6%
		3	県・市町の環境関連事業	23	19.5%
		4	国や県等の動向	10	8.5%
		5	成功事例・失敗事例	18	15.3%
		6	CO7削減に関する情報	7	5.9%
		7	その他	1	0.8%
		8	特になし	37	31.4%
			総回答数	145	123.0%
			有効回答数	118	
7	金融 保険 不動産業	1	処理業者・資源回収業者情報	12	27.9%
		2	法律等の規制情報	9	20.9%
		3	県・市町の環境関連事業	14	32.6%
		4	国や県等の動向	2	4.7%
		5	成功事例・失敗事例	13	30.2%
		6	CO8削減に関する情報	3	7.0%
		7	その他	0	0.0%
		8	特になし	9	20.9%
			総回答数	62	144.2%
			有効回答数	43	
8	サービス業	1	処理業者・資源回収業者情報	61	34.9%
		2	法律等の規制情報	30	17.1%
		3	県・市町の環境関連事業	45	25.7%
		4	国や県等の動向	18	10.3%
		5	成功事例・失敗事例	42	24.0%
		6	CO9削減に関する情報	10	5.7%
		7	その他	5	2.9%
		8	特になし	57	32.6%
			総回答数	268	153.2%
			有効回答数	175	
9	その他	1	処理業者・資源回収業者情報	17	25.8%
		2	法律等の規制情報	9	13.6%
		3	県・市町の環境関連事業	14	21.2%
		4	国や県等の動向	8	12.1%
		5	成功事例・失敗事例	22	33.3%
		6	CO10削減に関する情報	3	4.5%
		7	その他	0	0.0%
		8	特になし	24	36.4%
			総回答数	97	146.9%
			有効回答数	66	



表・図　3-41　「業種別　欲しい情報」回答状況

③　従業員数別クロス集計

番号	従業員数別	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	1～4人	1	処理業者・資源回収業者情報	101	28.2%
		2	法律等の規制情報	48	13.4%
		3	県・市町の環境関連事業	79	22.1%
		4	国や県等の動向	32	8.9%
		5	成功事例・失敗事例	63	17.6%
		6	CO2削減に関する情報	19	5.3%
		7	その他	5	1.4%
		8	特になし	129	36.0%
			総回答数	476	132.9%
			有効回答数	358	
2	5～9人	1	処理業者・資源回収業者情報	40	36.7%
		2	法律等の規制情報	22	20.2%
		3	県・市町の環境関連事業	22	20.2%
		4	国や県等の動向	10	9.2%
		5	成功事例・失敗事例	26	23.9%
		6	CO3削減に関する情報	2	1.8%
		7	その他	2	1.8%
		8	特になし	33	30.3%
			総回答数	157	144.1%
			有効回答数	109	
3	10～19人	1	処理業者・資源回収業者情報	30	41.1%
		2	法律等の規制情報	18	24.7%
		3	県・市町の環境関連事業	14	19.2%
		4	国や県等の動向	7	9.6%
		5	成功事例・失敗事例	27	37.0%
		6	CO4削減に関する情報	2	2.7%
		7	その他	1	1.4%
		8	特になし	12	16.4%
			総回答数	111	152.1%
			有効回答数	73	
4	20～29人	1	処理業者・資源回収業者情報	7	29.2%
		2	法律等の規制情報	7	29.2%
		3	県・市町の環境関連事業	8	33.3%
		4	国や県等の動向	3	12.5%
		5	成功事例・失敗事例	9	37.5%
		6	CO5削減に関する情報	2	8.3%
		7	その他	0	0.0%
		8	特になし	4	16.7%
			総回答数	40	166.7%
			有効回答数	24	
5	30～49人	1	処理業者・資源回収業者情報	7	20.0%
		2	法律等の規制情報	9	25.7%
		3	県・市町の環境関連事業	10	28.6%
		4	国や県等の動向	7	20.0%
		5	成功事例・失敗事例	8	22.9%
		6	CO6削減に関する情報	3	8.6%
		7	その他	1	2.9%
		8	特になし	12	34.3%
			総回答数	57	163.0%
			有効回答数	35	
6	50～99人	1	処理業者・資源回収業者情報	12	35.3%
		2	法律等の規制情報	15	44.1%
		3	県・市町の環境関連事業	16	47.1%
		4	国や県等の動向	4	11.8%
		5	成功事例・失敗事例	16	47.1%
		6	CO7削減に関する情報	1	2.9%
		7	その他	0	0.0%
		8	特になし	1	2.9%
			総回答数	65	191.2%
			有効回答数	34	
7	100～299人	1	処理業者・資源回収業者情報	7	46.7%
		2	法律等の規制情報	7	46.7%
		3	県・市町の環境関連事業	7	46.7%
		4	国や県等の動向	1	6.7%
		5	成功事例・失敗事例	7	46.7%
		6	CO8削減に関する情報	2	13.3%
		7	その他	0	0.0%
		8	特になし	2	13.3%
			総回答数	33	220.1%
			有効回答数	15	
8	300人以上	1	処理業者・資源回収業者情報	3	33.3%
		2	法律等の規制情報	5	55.6%
		3	県・市町の環境関連事業	4	44.4%
		4	国や県等の動向	3	33.3%
		5	成功事例・失敗事例	6	66.7%
		6	CO9削減に関する情報	2	22.2%
		7	その他	0	0.0%
		8	特になし	0	0.0%
			総回答数	23	255.5%
			有効回答数	9	



表・図　3-42　「業種別　欲しい情報」回答状況

問23	あなたの事業所では、事業系ごみの減量やリサイクルについて県に対してどのような役割を期待していますか？ あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。　（複数回答）

県に期待する役割では、「特に必要なし」が33.9%で最も高く、次いで「成功・失敗事例の紹介」が27.6%、「全県的な啓発」が24.3%となっている。
業種別でもほぼ同じ傾向であるが、「運輸・情報通信行」では「調査研究や情報提供」が24.3%と高い。
規模別（従業員数別）では、従業員数が多くなると、「成功事例・失敗事例」の割合が高くなる傾向にある。

①　単純集計

問23	県に期待する役割	回答数	回答率
1	全県的な啓発	162	24.3%
2	調査研究や情報提供	100	15.0%
3	情報交換の場や機会の提供	62	9.3%
4	成功・失敗事例の紹介	184	27.6%
5	その他	10	1.5%
6	特に必要なし	226	33.9%
総回答数		744	111.6%
有効回答数		667	

表　3-43　「県に期待する役割」回答状況

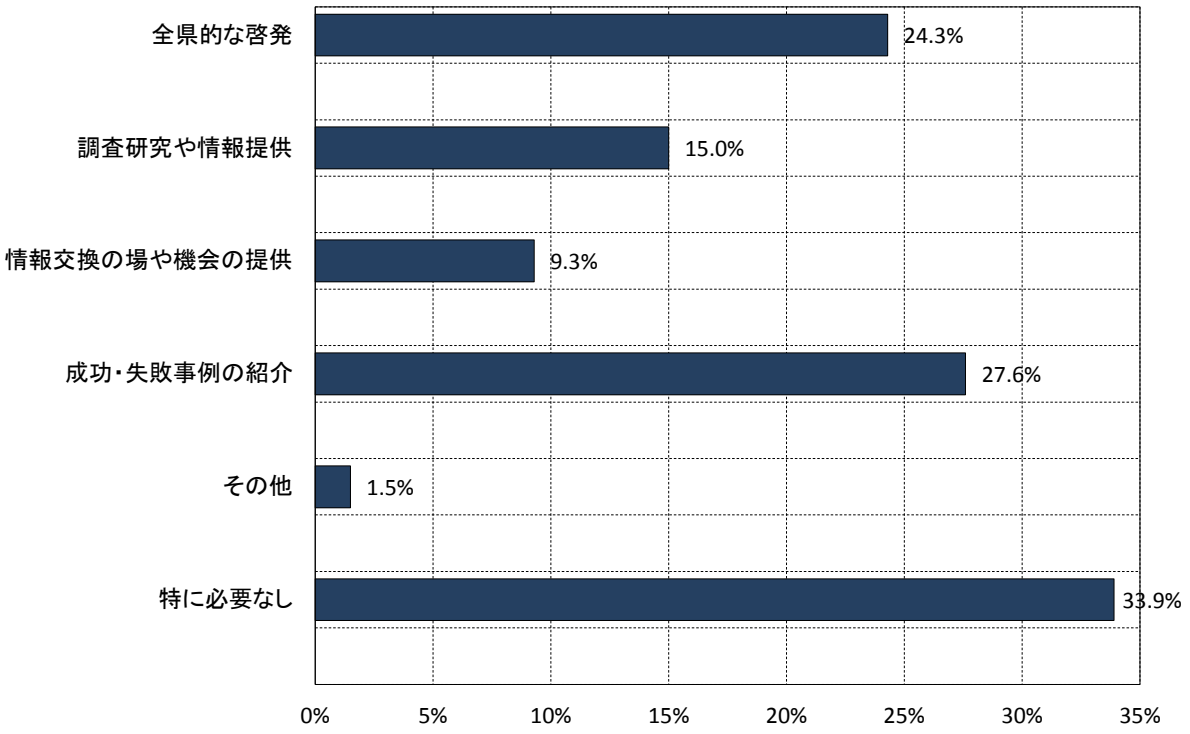
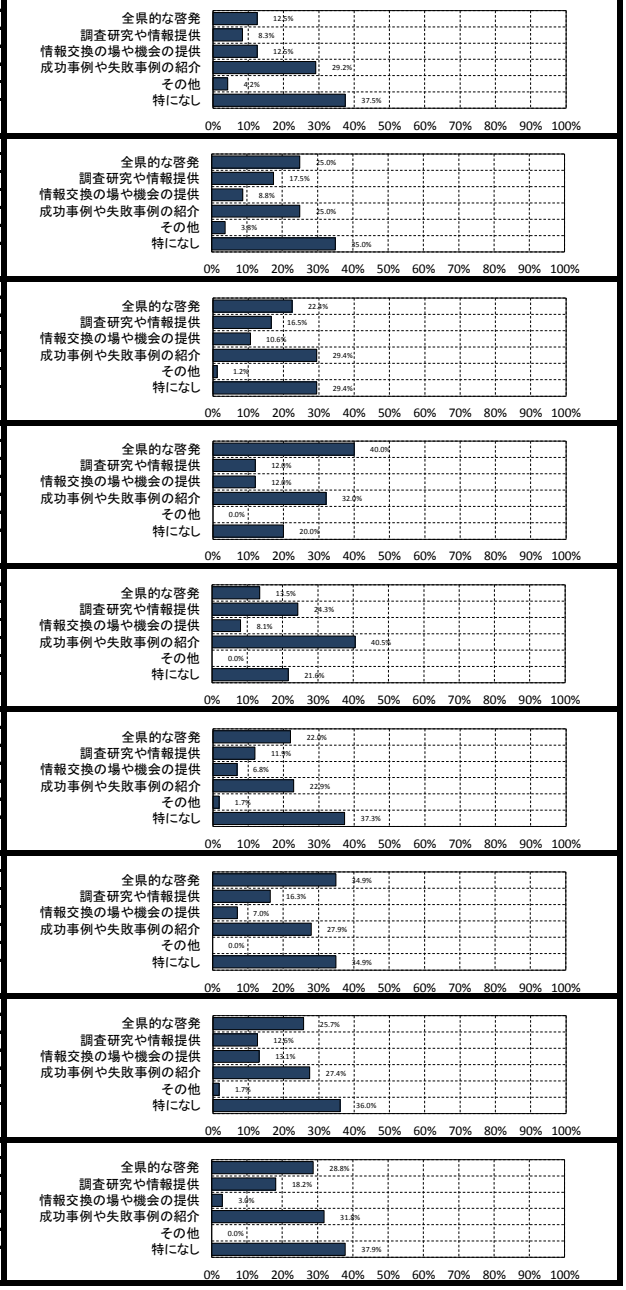


図　3-43　「県に期待する役割」回答率

②　業種別クロス集計

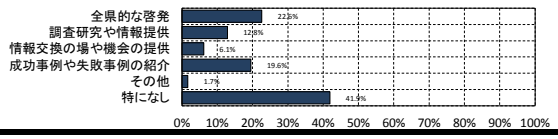
番号	業種名	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	農林漁業	1	全県的な啓発	3	12.5%
		2	調査研究や情報提供	2	8.3%
		3	情報交換の場や機会の提供	3	12.5%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	7	29.2%
		5	その他	1	4.2%
		6	特になし	9	37.5%
			総回答数	25	104.2%
			有効回答数	24	
2	建設業	1	全県的な啓発	20	25.0%
		2	調査研究や情報提供	14	17.5%
		3	情報交換の場や機会の提供	7	8.8%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	20	25.0%
		5	その他	3	3.8%
		6	特になし	28	35.0%
			総回答数	92	115.1%
			有効回答数	80	
3	製造業	1	全県的な啓発	19	22.4%
		2	調査研究や情報提供	14	16.5%
		3	情報交換の場や機会の提供	9	10.6%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	25	29.4%
		5	その他	1	1.2%
		6	特になし	25	29.4%
			総回答数	93	109.5%
			有効回答数	85	
4	電気 ガス 熱供給 水道業	1	全県的な啓発	10	40.0%
		2	調査研究や情報提供	3	12.0%
		3	情報交換の場や機会の提供	3	12.0%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	8	32.0%
		5	その他	0	0.0%
		6	特になし	5	20.0%
			総回答数	29	116.0%
			有効回答数	25	
5	運輸 情報 通信業	1	全県的な啓発	5	13.5%
		2	調査研究や情報提供	9	24.3%
		3	情報交換の場や機会の提供	3	8.1%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	15	40.5%
		5	その他	0	0.0%
		6	特になし	8	21.6%
			総回答数	40	108.0%
			有効回答数	37	
6	卸売 小売業 宿泊業 飲食店	1	全県的な啓発	26	22.0%
		2	調査研究や情報提供	14	11.9%
		3	情報交換の場や機会の提供	8	6.8%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	27	22.9%
		5	その他	2	1.7%
		6	特になし	44	37.3%
			総回答数	121	102.6%
			有効回答数	118	
7	金融 保険 不動産業	1	全県的な啓発	15	34.9%
		2	調査研究や情報提供	7	16.3%
		3	情報交換の場や機会の提供	3	7.0%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	12	27.9%
		5	その他	0	0.0%
		6	特になし	15	34.9%
			総回答数	52	121.0%
			有効回答数	43	
8	サービス業	1	全県的な啓発	45	25.7%
		2	調査研究や情報提供	22	12.6%
		3	情報交換の場や機会の提供	23	13.1%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	48	27.4%
		5	その他	3	1.7%
		6	特になし	63	36.0%
			総回答数	204	116.5%
			有効回答数	175	
9	その他	1	全県的な啓発	19	28.8%
		2	調査研究や情報提供	12	18.2%
		3	情報交換の場や機会の提供	2	3.0%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	21	31.8%
		5	その他	0	0.0%
		6	特になし	25	37.9%
			総回答数	79	119.7%
			有効回答数	66	

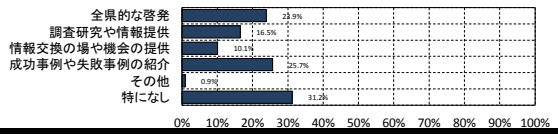


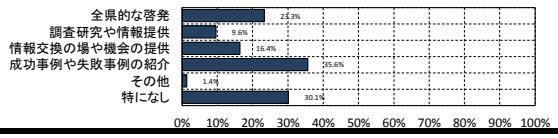
表・図　3-44　「業種別　県に期待する役割」回答状況

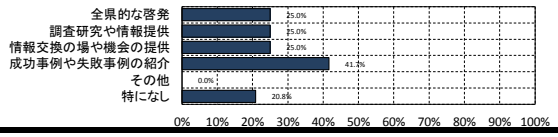
③　従業員数別クロス集計

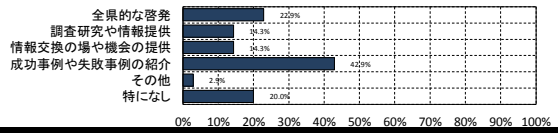
番号	従業員数別	選択肢番号	選択肢	回答数	回答率
1	1～4人	1	全県的な啓発	81	22.6%
		2	調査研究や情報提供	46	12.8%
		3	情報交換の場や機会の提供	22	6.1%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	70	19.6%
		5	その他	6	1.7%
		6	特になし	150	41.9%
			総回答数	375	104.7%
			有効回答数	358	
2	5～9人	1	全県的な啓発	26	23.9%
		2	調査研究や情報提供	18	16.5%
		3	情報交換の場や機会の提供	11	10.1%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	28	25.7%
		5	その他	1	0.9%
		6	特になし	34	31.2%
			総回答数	118	108.3%
			有効回答数	109	
3	10～19人	1	全県的な啓発	17	23.3%
		2	調査研究や情報提供	7	9.6%
		3	情報交換の場や機会の提供	12	16.4%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	26	35.6%
		5	その他	1	1.4%
		6	特になし	22	30.1%
			総回答数	85	116.4%
			有効回答数	73	
4	20～29人	1	全県的な啓発	6	25.0%
		2	調査研究や情報提供	6	25.0%
		3	情報交換の場や機会の提供	6	25.0%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	10	41.7%
		5	その他	0	0.0%
		6	特になし	5	20.8%
			総回答数	33	137.5%
			有効回答数	24	
5	30～49人	1	全県的な啓発	8	22.9%
		2	調査研究や情報提供	5	14.3%
		3	情報交換の場や機会の提供	5	14.3%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	15	42.9%
		5	その他	1	2.9%
		6	特になし	7	20.0%
			総回答数	41	117.3%
			有効回答数	35	
6	50～99人	1	全県的な啓発	15	44.1%
		2	調査研究や情報提供	8	23.5%
		3	情報交換の場や機会の提供	5	14.7%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	19	55.9%
		5	その他	0	0.0%
		6	特になし	3	8.8%
			総回答数	50	147.0%
			有効回答数	34	
7	100～299人	1	全県的な啓発	6	40.0%
		2	調査研究や情報提供	5	33.3%
		3	情報交換の場や機会の提供	1	6.7%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	10	66.7%
		5	その他	0	0.0%
		6	特になし	1	6.7%
			総回答数	23	153.4%
			有効回答数	15	
8	300人以上	1	全県的な啓発	3	33.3%
		2	調査研究や情報提供	3	33.3%
		3	情報交換の場や機会の提供	0	0.0%
		4	成功事例や失敗事例の紹介	5	55.6%
		5	その他	1	11.1%
		6	特になし	1	11.1%
			総回答数	13	144.4%
			有効回答数	9	

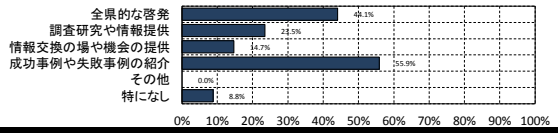


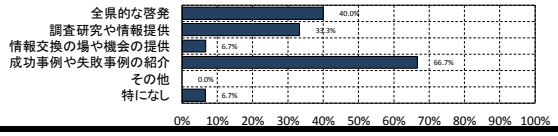


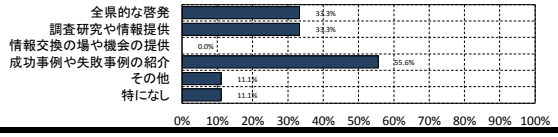












表・図　3-45　「業種別　県に期待する役割」回答状況

3-4　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」について

問24	三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、「知っている」は7.8%と低く、「知らない」が、59.1%で半数を超える。
業種別では、「知っている」が「電気・ガス・熱供給・水道業」で20.0%と最も高く、「その他」で16.7%となっており、他の業種は10%以下となっている。一方、「知らない」は「農林漁業」、「建設業」、「卸売・小売業、宿泊業、飲食店」、「金融・保険・不動産業」、「サービス業」では60%以上と高く、50%を下回ったのは、「その他」の1業種である。
規模別（従業員数別）では、規模が大きくなるにつれ「知っている」の率が増加し、「知らない」の率が減少する傾向が見られる。

①　単純集計

問24	「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度	回答数	回答率
1	知っている	52	7.8%
2	名前は聞いたことがある	192	28.8%
3	知らない	393	58.9%
99	無回答	30	4.5%
計		667	100.0%

表　3-46　「プラン認知度」回答状況

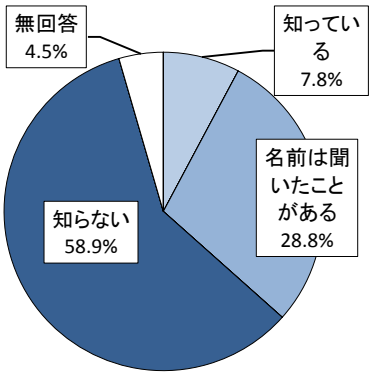


図　3-46　「プラン認知度」回答率

② 業種別クロス集計

問24 業種別認知度（回答数）		1 知っている	2 名前は聞いたことがある	3 知らない	99 無回答	計
1	農林漁業	3	3	16	2	24
2	建設業	6	24	48	2	80
3	製造業	5	28	46	6	85
4	電機・ガス・熱供給・水道業	5	7	13	0	25
5	運輸・情報通信業	0	12	22	3	37
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	5	33	72	8	118
7	金融・保険・不動産	2	5	35	1	43
8	サービス業	14	56	103	2	175
9	その他	11	22	31	2	66
計		51	190	386	26	653

問24 業種別認知度（回答率）		1 知っている	2 名前は聞いたことがある	3 知らない	99 無回答	計
1	農林漁業	12.5%	12.5%	66.7%	8.3%	100.0%
2	建設業	7.5%	30.0%	60.0%	2.5%	100.0%
3	製造業	5.9%	32.9%	54.1%	7.1%	100.0%
4	電機・ガス・熱供給・水道業	20.0%	28.0%	52.0%	0.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	0.0%	32.4%	59.5%	8.1%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	4.2%	28.0%	61.0%	6.8%	100.0%
7	金融・保険・不動産	4.7%	11.6%	81.4%	2.3%	100.0%
8	サービス業	8.0%	32.0%	58.9%	1.1%	100.0%
9	その他	16.7%	33.3%	47.0%	3.0%	100.0%
全体		7.8%	29.1%	59.1%	4.0%	100.0%

表 3-47 「業種別 認知度」回答状況

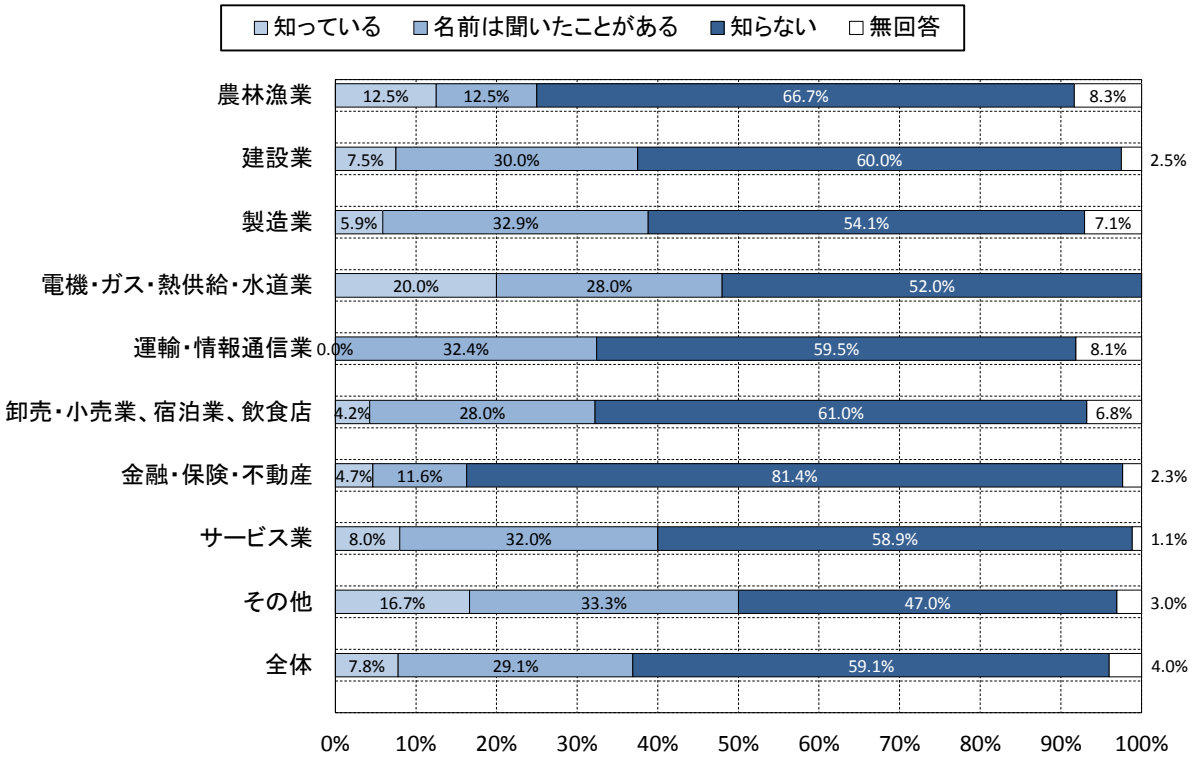


図 3-47 「業種別 認知度」回答率

③　従業員数別クロス集計

問24 従業員数別認知度（回答数）		1 知っている	2 名前は聞いたことがある	3 知らない	99 無回答	計
1	1～4人	25	103	211	19	358
2	5～9人	7	28	71	3	109
3	10～19人	4	18	47	4	73
4	20～29人	2	9	13	0	24
5	30～49人	4	11	20	0	35
6	50～99人	4	12	12	18	46
7	100～299人	4	5	6	0	15
8	300人以上	1	5	3	0	9
計		51	191	383	44	669

問24 従業員数別認知度（回答率）		1 知っている	2 名前は聞いたことがある	3 知らない	99 無回答	計
1	1～4人	7.0%	28.8%	58.9%	5.3%	100.0%
2	5～9人	6.4%	25.7%	65.1%	2.8%	100.0%
3	10～19人	5.5%	25.0%	64.0%	5.5%	100.0%
4	20～29人	8.3%	37.5%	54.2%	0.0%	100.0%
5	30～49人	11.4%	31.4%	57.1%	0.0%	100.0%
6	50～99人	8.7%	26.1%	26.1%	39.1%	100.0%
7	100～299人	26.7%	33.3%	40.0%	0.0%	100.0%
8	300人以上	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%	100.0%
全体		7.6%	28.6%	57.2%	6.6%	100.0%

表　3-48　「従業員数別　認知度」回答状況

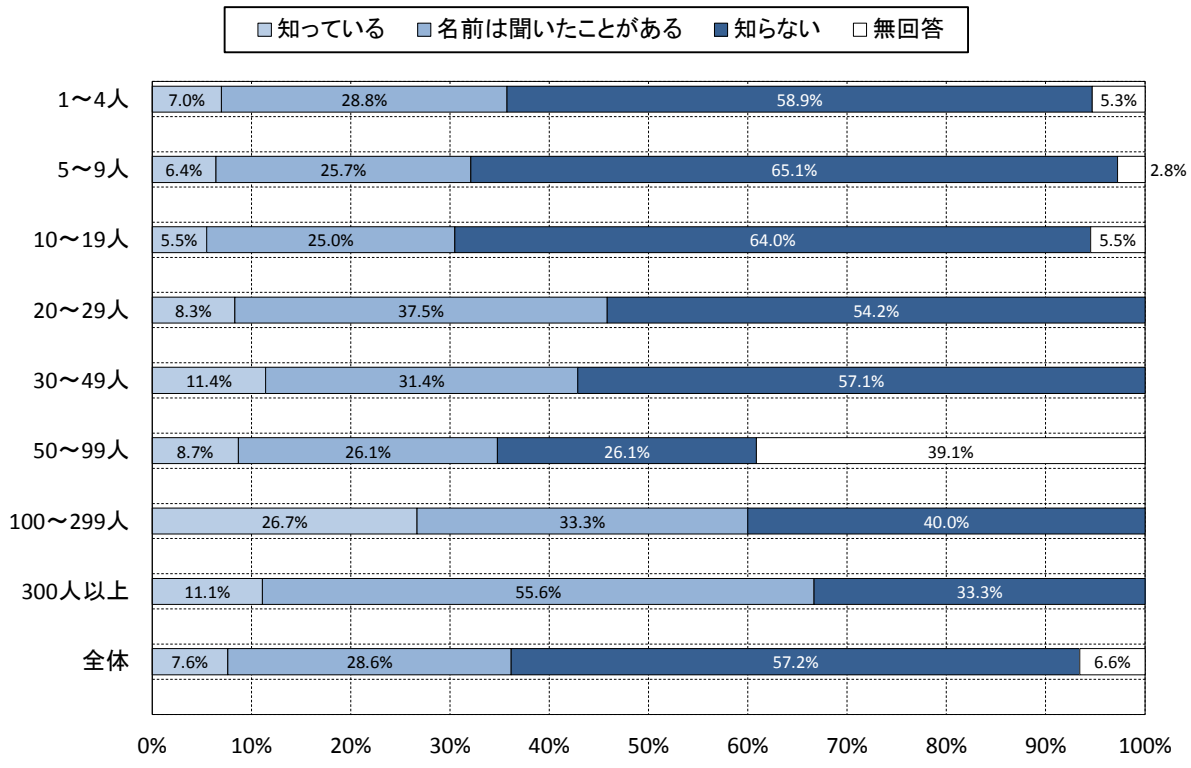


図　3-48　「従業員数別　認知度」回答率

問25	三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？

「ゼロ吉」の認知度は、「知っている」は6.2%と低く、「知らない」は、82.0%を占めている。業種別では、「知っている」が「電気・ガス・熱供給・水道業」で20.0%、「その他」で13.6%、「農林漁業」で12.5%と高く、他の業種は10%以下となっている。「知らない」の回答率は、すべての業種で60%を超えている。

① 単純集計

問25	「ゼロ吉」の認知度	回答数	回答率
1	知っている	41	6.1%
2	見たことはある	50	7.5%
3	知らない	545	81.7%
99	無回答	31	4.6%
計		667	100.0%

表　3-49　「ゼロ吉の認知度」回答状況

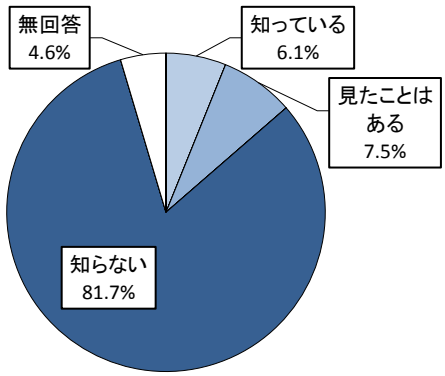
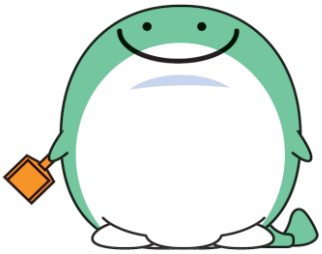
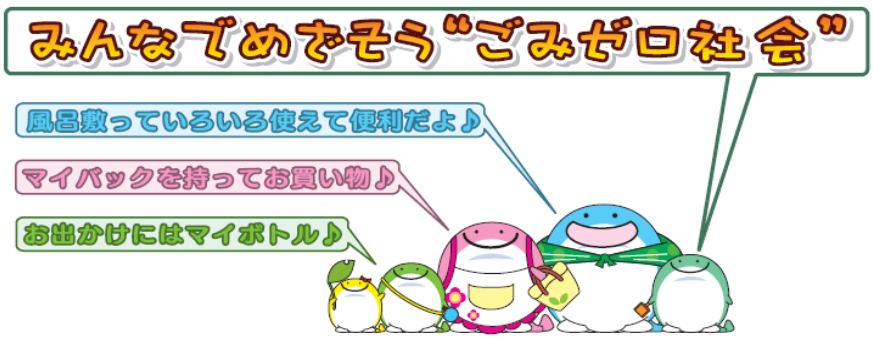


図　3-49　「ゼロ吉の認知度」回答率



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」



ゼロ吉ファミリー

② 業種別クロス集計

問25 業種別「ゼロ吉」の認知度（回答数）		1 知っている	2 見たことはある	3 知らない	99 無回答	計
1	農林漁業	3	3	16	2	24
2	建設業	4	8	66	2	80
3	製造業	5	8	66	6	85
4	電機・ガス・熱供給・水道業	5	0	20	0	25
5	運輸・情報通信業	0	2	32	3	37
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	6	7	96	9	118
7	金融・保険・不動産	0	2	40	1	43
8	サービス業	9	16	148	2	175
9	その他	9	3	52	2	66
計		41	49	536	27	653

問25 業種別「ゼロ吉」の認知度（回答率）		1 知っている	2 見たことはある	3 知らない	99 無回答	計
1	農林漁業	12.5%	12.5%	66.7%	8.3%	100.0%
2	建設業	5.0%	10.0%	82.5%	2.5%	100.0%
3	製造業	5.9%	9.4%	77.6%	7.1%	100.0%
4	電機・ガス・熱供給・水道業	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100.0%
5	運輸・情報通信業	0.0%	5.4%	86.5%	8.1%	100.0%
6	卸売・小売業、宿泊業、飲食店	5.1%	5.9%	81.4%	7.6%	100.0%
7	金融・保険・不動産	0.0%	4.7%	93.0%	2.3%	100.0%
8	サービス業	5.0%	9.0%	85.0%	1.0%	100.0%
9	その他	13.6%	4.5%	78.8%	3.0%	100.0%
全体		6.3%	7.5%	82.1%	4.1%	100.0%

表 3-50 「業種別 「ゼロ吉」の認知度」回答状況

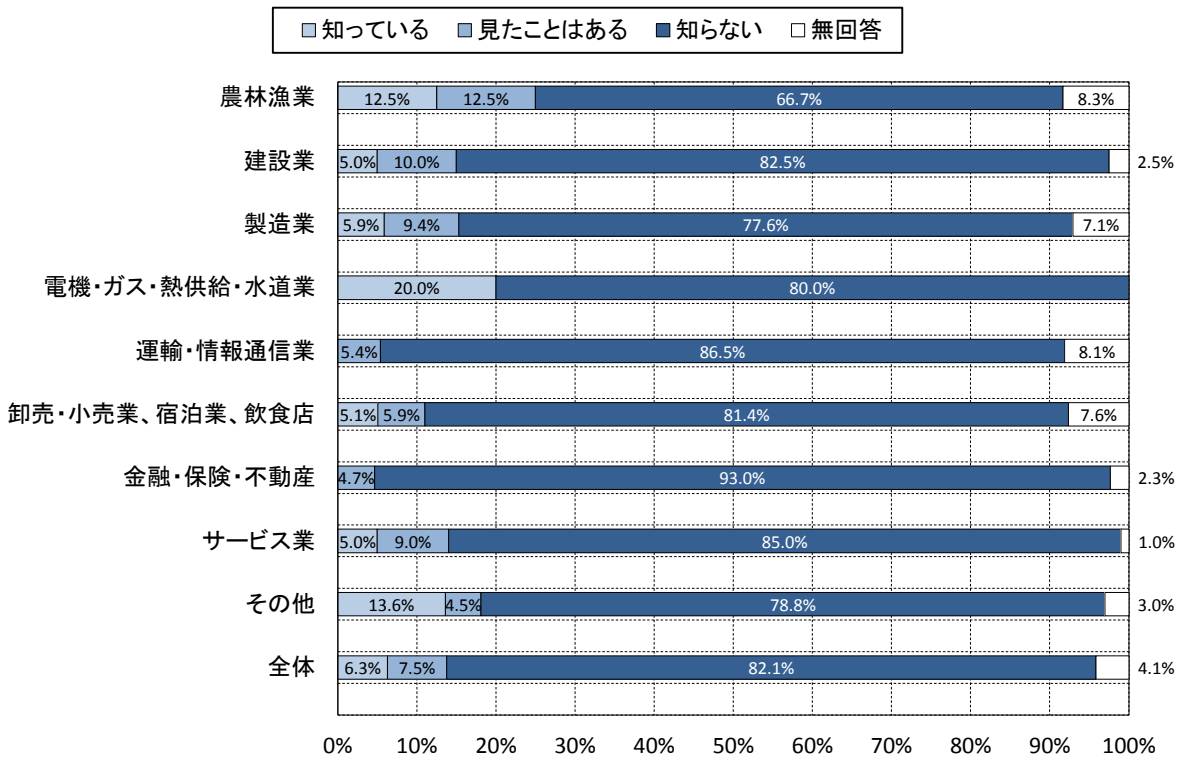


図 3-50 「業種別 「ゼロ吉」の認知度」回答率

③　従業員数別クロス集計

問25 従業員数別「ゼロ吉」の認知度（回答数）		1 知っている	2 見たことはある	3 知らない	99 無回答	計
1	1～4人	17	26	296	19	358
2	5～9人	5	8	93	3	109
3	10～19人	4	3	61	5	73
4	20～29人	2	3	19	0	24
5	30～49人	3	28	0	0	31
6	50～99人	3	3	28	0	34
7	100～299人	3	3	3	3	12
8	300人以上	3	1	5	0	9
計		40	75	505	30	650

問25 従業員数別「ゼロ吉」の認知度（回答率）		1 知っている	2 見たことはある	3 知らない	99 無回答	計
1	1～4人	4.7%	7.3%	82.7%	5.3%	100.0%
2	5～9人	4.6%	7.3%	85.3%	2.8%	100.0%
3	10～19人	5.5%	4.1%	83.6%	6.8%	100.0%
4	20～29人	8.3%	12.5%	79.2%	0.0%	100.0%
5	30～49人	9.7%	90.3%	0.0%	0.0%	100.0%
6	50～99人	8.8%	8.8%	82.4%	0.0%	100.0%
7	100～299人	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	100.0%
8	300人以上	33.3%	11.1%	55.6%	0.0%	100.0%
全体		6.2%	11.5%	77.7%	4.6%	100.0%

表　3-51　「従業員数別　認知度」回答状況

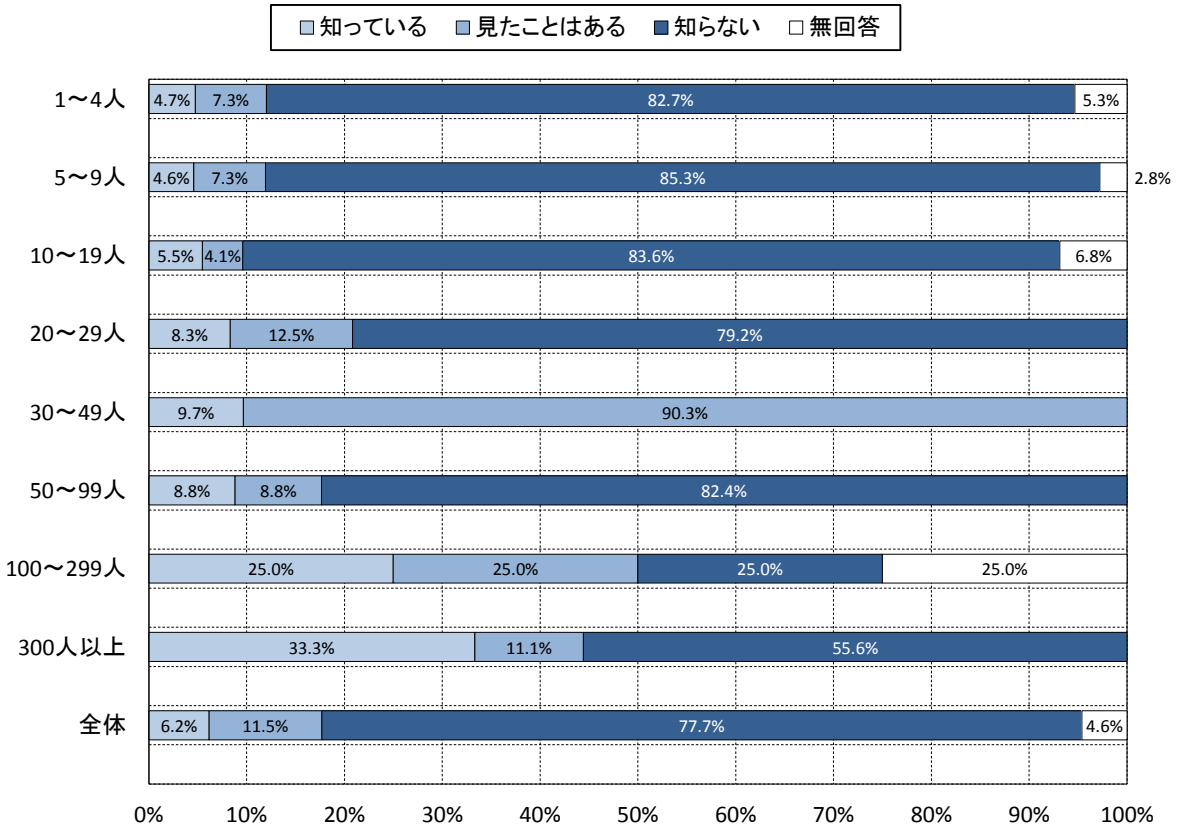


図　3-51　「従業員数別　「ゼロ吉」の認知度」回答率

4　調査結果（事業系ごみ組成調査）

事業系ごみ組成調査は、問15から問17を集計・分析することにより算定した。

問15は問10で「2　自ら市町の処理施設に持ち込んでいる」「3　本社等で各事業所のごみを一括して処理している」「5　その他」と答えた方のみ回答するよう回答者に制限がかかっていたため多量の排出事業所が除外されてしまう結果となり、参考の扱いとした。

平成27年度のデータは業種別と従業員数別で有効回答数が異なるため、全体平均が異なってい場合がある。

4-1　ごみとしての排出量

①業種別　ごみ排出量（容積ベース）

ごみ排出量（容積ベース）の平成16年度と平成22年度、平成27年度を比較すると、ごみ種別の「紙類」及び「プラスチック類」が平成27年度では増加している。特に「農林漁業」と「建設業」の「紙類」及び「プラスチック類」、「運輸・情報通信業」と「その他」の「紙類」で大きく増加している。

1事業所排出量（リットル/1週）		年度	1	2	3	4	5	6	7	計
			厨芥類等	紙類	繊維類	プラスチック類	金属類	びん類	その他	
全体平均		平成16年度	2.1	6.4	0.3	1.7	0.3	0.1	0.7	11.6
		平成22年度	4.4	5.4	0.5	2.0	0.2	0.1	0.1	12.7
		平成27年度	4.5	8.3	0.4	2.3	0.8	0.2	0.3	16.8
1	農林漁業	平成16年度	0.7	4.9	0.1	0.6	0.1	0.1	0.0	6.5
		平成22年度	0.5	0.5	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	1.7
		平成27年度	2.5	8.2	0.0	8.4	3.3	0.0	0.9	23.3
2	建設業	平成16年度	0.6	2.0	0.0	1.0	0.1	0.0	0.4	4.1
		平成22年度	1.0	1.2	0.0	0.3	0.2	0.0	0.0	2.7
		平成27年度	2.8	4.6	0.0	2.8	0.8	0.0	0.3	11.3
3	製造業	平成16年度	2.1	10.0	0.9	2.9	0.3	0.1	1.9	18.2
		平成22年度	2.2	4.6	0.1	6.3	0.1	0.1	0.1	13.5
		平成27年度	6.0	6.9	1.9	0.6	0.4	0.3	0.4	16.5
4	電気・ガス 熱供給・水道業	平成16年度	0.6	5.9	0.0	1.1	0.1	0.0	0.0	7.7
		平成22年度	32.8	8.5	0.0	1.0	0.3	0.0	0.0	42.6
		平成27年度	0.5	2.9	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	4.2
5	運輸 情報通信業	平成16年度	2.0	5.7	0.0	1.9	0.4	0.1	0.4	10.5
		平成22年度	2.2	1.8	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	4.8
		平成27年度	0.4	13.6	0.0	1.5	0.5	0.1	0.0	16.1
6	卸売・小売業 宿泊業・飲食店	平成16年度	4.1	4.7	0.0	1.7	0.6	0.3	0.4	11.8
		平成22年度	6.7	17.6	2.4	3.8	0.2	0.2	0.0	30.9
		平成27年度	17.4	10.3	0.3	3.1	1.4	0.7	0.1	33.3
7	金融・保険 不動産業	平成16年度	0.7	6.0	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	7.2
		平成22年度	0.7	2.1	0.0	0.6	0.2	0.1	0.1	3.8
		平成27年度	0.2	6.1	0.3	0.8	0.1	0.0	0.0	7.5
8	サービス業	平成16年度	2.9	6.1	0.1	1.7	0.6	0.3	0.7	12.4
		平成22年度	0.8	2.1	0.0	0.9	0.1	0.0	0.1	4.0
		平成27年度	2.6	8.5	0.2	3.0	0.1	0.1	0.5	15.0
9	その他	平成16年度	1.0	3.1	0.0	0.7	0.1	0.0	0.0	4.9
		平成22年度	0.2	2.7	0.0	0.3	0.2	0.1	0.1	3.6
		平成27年度	3.6	11.3	0.2	1.1	1.2	0.4	0.0	17.8

表　4-1　「業種別　1事業所あたりの排出量（容積ベース）:平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

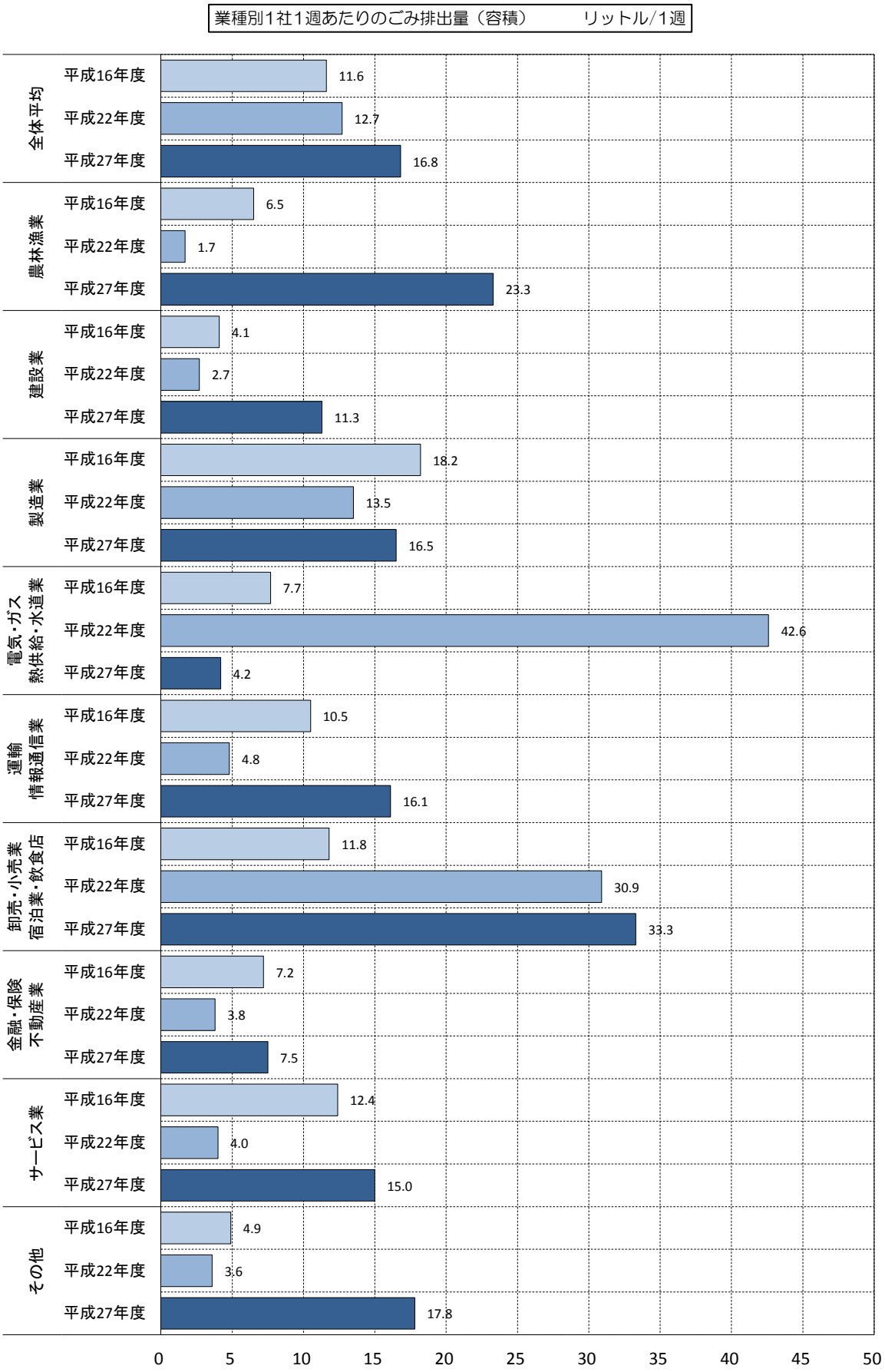


図　4-1　「業種別　1事業所あたりの排出量（容積ベース）：平成16年度、平成22年度、平成27年度」比較

②業種別　ごみ排出量（重量ベース）

ごみ排出量（重量ベース）の平成16年度と平成22年度、平成27年度を比較すると、平成27年度は増加しているが、これは、すべての業種の「厨芥類等」及び「紙類」での差が大きいことによる。

1事業所排出量（kg/1週）		年度	1	2	3	4	5	6	7	計
			厨芥類等	紙類	繊維類	プラスチック類	金属類	びん類	その他	
全体平均		平成16年度	0.3	0.8	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	1.4
		平成22年度	0.5	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	1.3
		平成27年度	0.6	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	2.0
1	農林漁業	平成16年度	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4
		平成22年度	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
		平成27年度	0.4	1.2	0.0	0.5	0.3	0.0	0.1	2.5
2	建設業	平成16年度	0.3	1.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2	2.0
		平成22年度	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
		平成27年度	0.3	0.6	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	1.2
3	製造業	平成16年度	0.1	0.8	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.0
		平成22年度	0.3	0.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.2
		平成27年度	0.7	0.9	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	2.0
4	電気・ガス 熱供給・水道業	平成16年度	0.3	0.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.1
		平成22年度	3.3	1.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	4.4
		平成27年度	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
5	運輸 情報通信業	平成16年度	0.6	0.5	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	1.4
		平成22年度	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
		平成27年度	0.1	1.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.5
6	卸売・小売業 宿泊業・飲食店	平成16年度	0.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
		平成22年度	1.0	1.6	0.4	0.3	0.0	0.1	0.0	3.4
		平成27年度	2.3	1.5	0.0	0.2	0.1	0.2	0.0	4.3
7	金融・保険 不動産業	平成16年度	0.4	0.7	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	1.5
		平成22年度	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
		平成27年度	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
8	サービス業	平成16年度	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
		平成22年度	0.1	0.4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6
		平成27年度	0.3	1.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	1.5
9	その他	平成16年度	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
		平成22年度	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
		平成27年度	0.5	1.4	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	2.2

表　4-2　業種別　1事業所あたりの排出量（重量ベース）:平成16年度・平成22年度・平成27年度　比較表

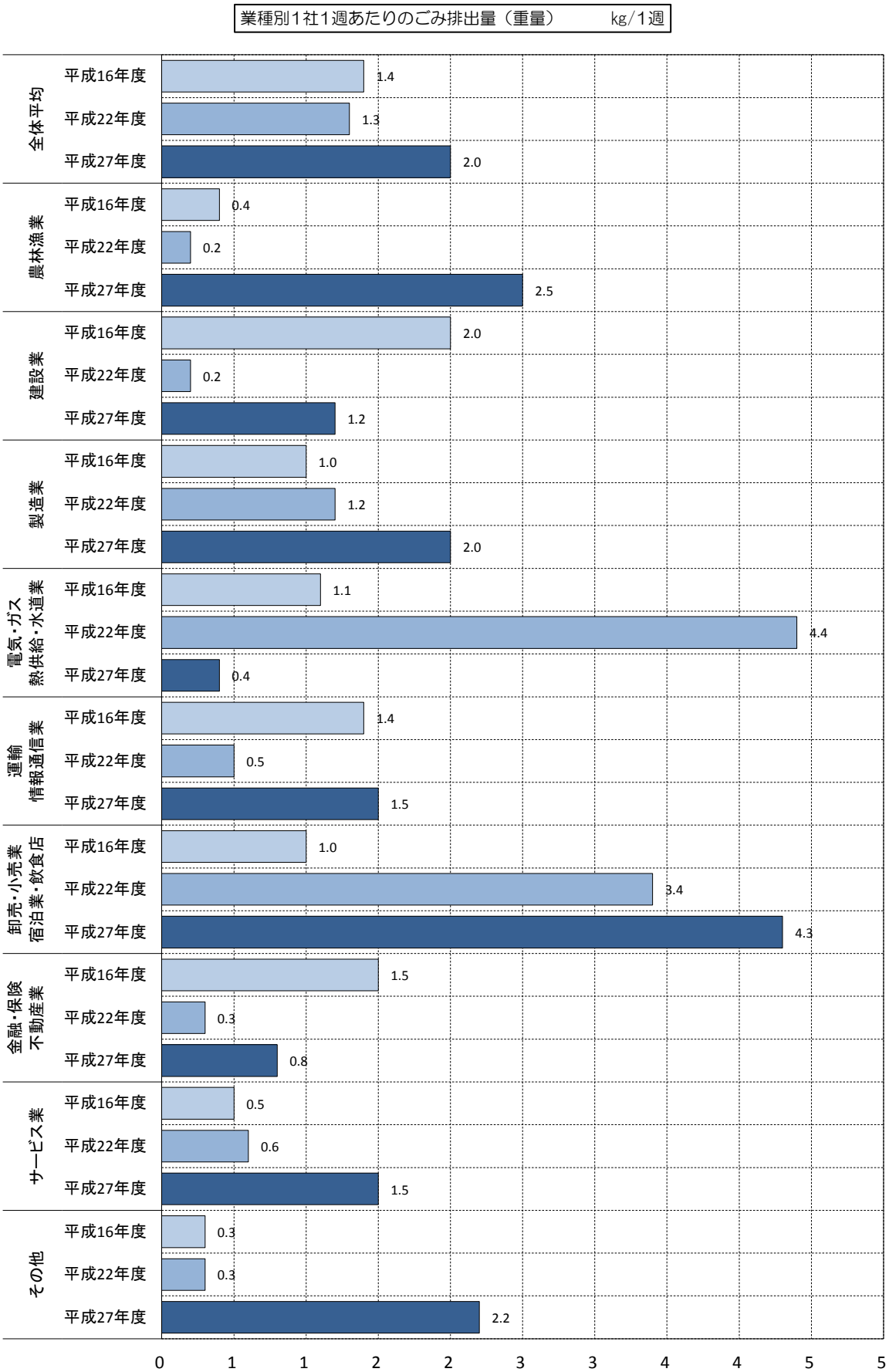


図　4-2　「業種別　1事業所あたりの排出量（重量ベース）：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

③従業員数別　ごみ排出量（容積ベース）

従業員数別ごみ排出量（容積ベース）の平成16年度と平成22年度、平成27年度を比較すると、すべての従業員数別で差が出ている。これは、「厨芥類等」、「紙類」で差が大きいことによる。

1事業所排出量（リットル/1週）		年度	1 厨芥類等	2 紙類	3 繊維類	4 プラスチック類	5 金属類	6 びん類	7 その他	計
全体平均		平成16年度	2.1	6.4	0.3	1.7	0.3	0.1	0.7	11.6
		平成22年度	4.4	5.5	0.5	2.0	0.2	0.1	0.1	12.8
		平成27年度	4.5	8.2	0.4	2.3	0.8	0.2	0.3	16.7
1	1～9人	平成16年度	0.6	0.9	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	1.8
		平成22年度	0.8	1.0	0.0	0.3	0.1	0.0	0.1	2.3
		平成27年度	3.3	5.4	0.5	2.2	0.8	0.1	0.3	12.6
2	10～29人	平成16年度	1.1	2.6	0.0	0.7	0.3	0.1	0.3	5.1
		平成22年度	1.2	3.4	0.1	4.9	0.2	0.0	0.1	9.9
		平成27年度	6.9	11.0	0.1	2.7	0.4	0.4	0.4	21.9
3	30～99人	平成16年度	3.1	6.7	0.3	2.4	0.6	0.3	1.4	14.8
		平成22年度	3.1	8.1	3.7	2.4	0.3	0.2	0.1	17.9
		平成27年度	8.5	21.3	0.4	2.5	1.0	0.5	0.0	34.2
4	100人以上	平成16年度	4.3	17.0	0.9	4.3	0.6	0.3	1.6	29.0
		平成22年度	74.9	75.2	0.6	15.3	0.9	0.5	0.0	167.4
		平成27年度	4.7	15.5	0.0	1.4	1.4	0.3	0.8	24.1

表　4-3　「従業員数別　1事業所あたりの排出量（容積ベース）:平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

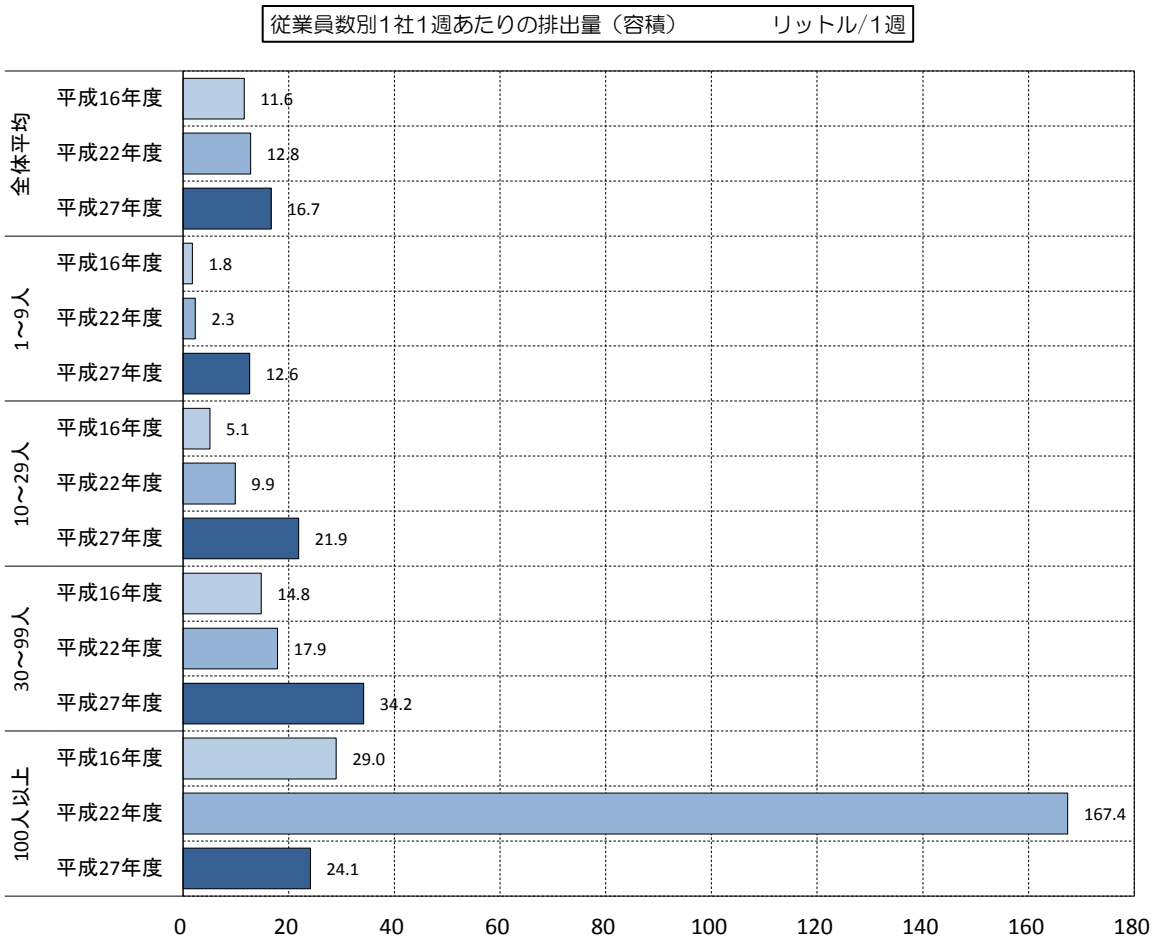


図　4-3　「従業員数別　1事業所あたりの排出量（容積ベース）:平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

④従業員数別　ごみ排出量（重量ベース）

従業員数別ごみ排出量（重量ベース）の平成16年度と平成22年度、平成27年度を比較すると、「1～9人」、「100人以上」で差が出ている。これは「厨芥類等」及び「紙類」で差が大きいことによる。

1事業所排出量（kg/1週）		年度	1 厨芥類等	2 紙類	3 繊維類	4 プラスチック類	5 金属類	6 びん類	7 その他	計
全体平均		平成16年度	0.3	0.8	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	1.4
		平成22年度	0.5	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	1.3
		平成27年度	0.6	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	2.0
1	1～9人	平成16年度	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
		平成22年度	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
		平成27年度	0.4	0.7	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	1.4
2	10～29人	平成16年度	0.5	0.8	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	1.8
		平成22年度	0.2	0.5	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.0
		平成27年度	0.9	1.4	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	2.6
3	30～99人	平成16年度	0.6	2.0	0.1	0.3	0.1	0.1	0.2	3.4
		平成22年度	0.4	0.9	0.6	0.2	0.0	0.1	0.0	2.2
		平成27年度	1.2	2.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	3.9
4	100人以上	平成16年度	0.3	0.8	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	1.4
		平成22年度	8.6	7.7	0.1	1.0	0.1	0.1	0.0	17.6
		平成27年度	0.6	2.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	3.2

表　4-4　「従業員数別　1事業所あたりの排出量（重量ベース）:平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

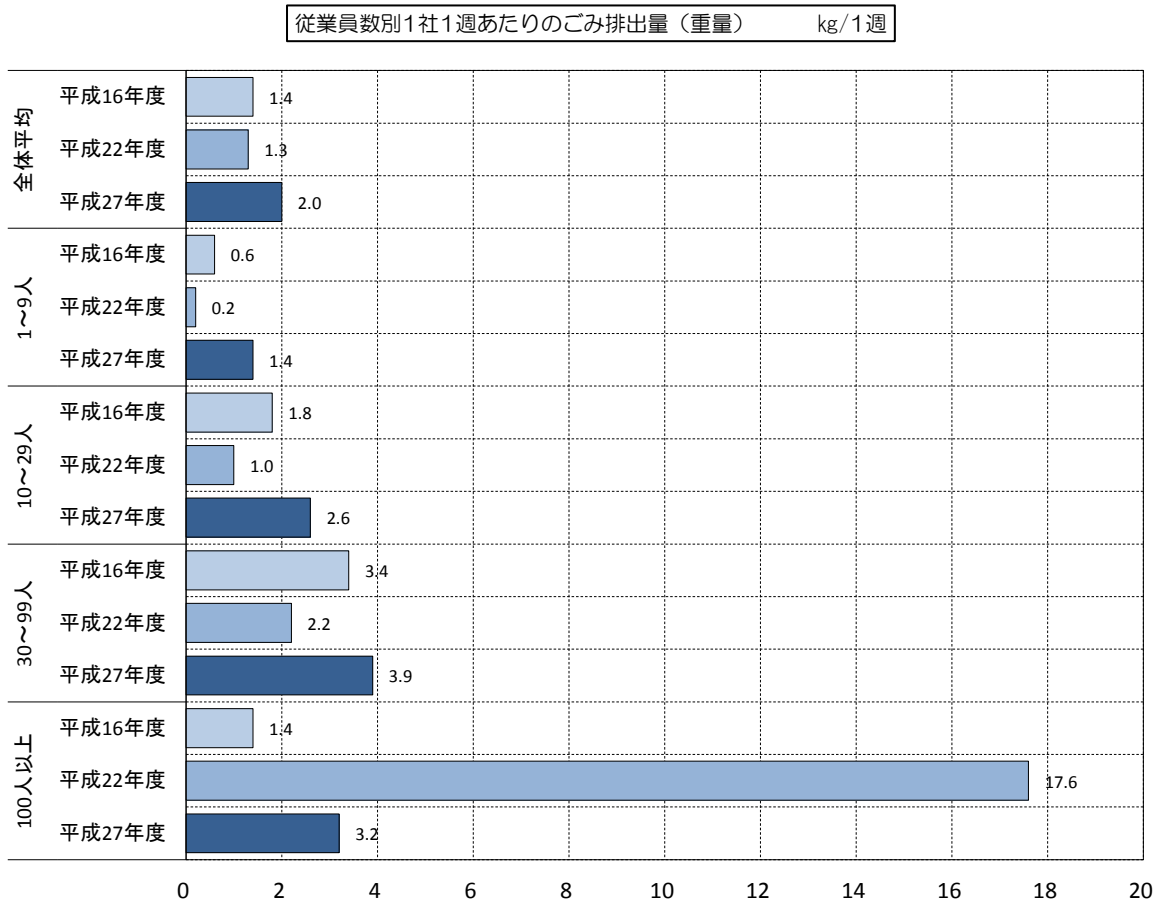


図　4-4　「従業員数別　1事業所あたりの排出量（重量ベース）:平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

4-2　ごみの組成

ごみの組成の全体平均の平成16年度と平成22年度、平成27年度を比較すると、平成22年度で減少した「厨芥類等」及び「紙類」が平成27年度では増加している。業種別もほぼ同様の傾向であるが、「サービス業」以外では「プラスチック類」も増加していることで差が出ている。

①ごみの組成：全体平均

ごみの組成 全体平均	容積比			重量比		
	平成16年	平成22年	平成27年	平成16年	平成22年	平成27年
厨芥類等	18.2%	35.1%	26.7%	22.2%	38.6%	29.0%
紙類	53.6%	43.2%	49.4%	54.5%	43.4%	52.1%
繊維類	2.4%	3.6%	2.6%	3.1%	4.9%	3.2%
プラスチック類	15.0%	15.9%	13.7%	8.3%	9.9%	7.1%
金属類	3.0%	1.3%	4.7%	2.5%	1.2%	3.9%
びん類	1.5%	0.6%	1.3%	4.0%	1.6%	3.2%
その他	6.3%	0.4%	1.7%	5.4%	0.4%	1.4%

表　4-5　「ごみの組成：全体平均：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

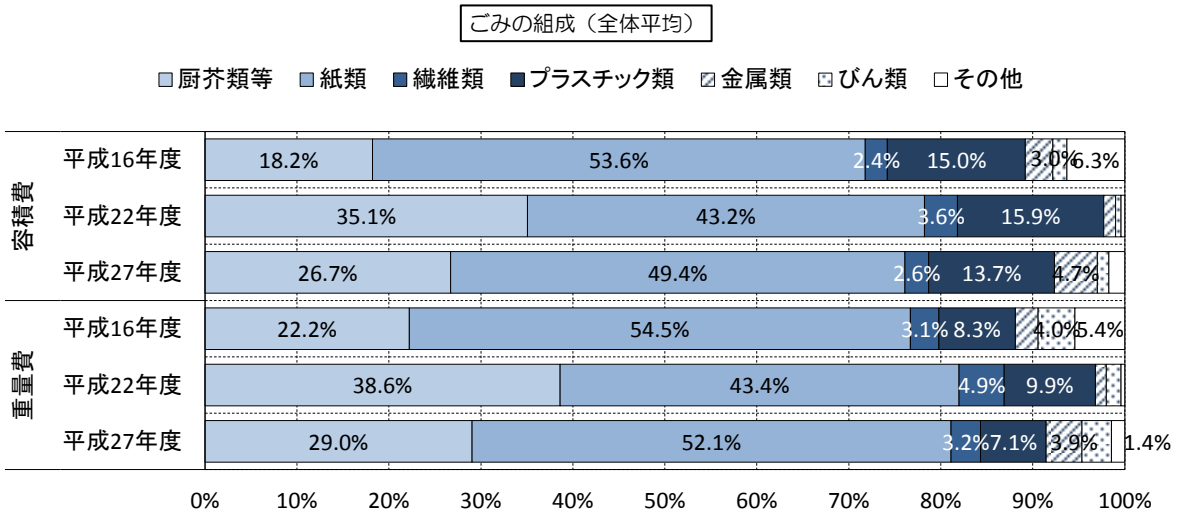


図　4-5　「ごみの組成：全体平均：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

②ごみの組成：農林漁業

ごみの組成 農林漁業	容積比			重量比		
	平成16年	平成22年	平成27年	平成16年	平成22年	平成27年
厨芥類等	10.9%	30.0%	10.9%	12.5%	39.2%	14.9%
紙類	73.9%	27.4%	35.3%	73.2%	30.6%	48.8%
繊維類	2.2%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%
プラスチック類	8.7%	39.6%	35.9%	5.4%	26.9%	20.0%
金属類	2.2%	2.5%	14.1%	1.8%	2.4%	12.8%
びん類	2.2%	0.3%	0.0%	3.6%	0.7%	0.0%
その他	0.0%	0.2%	3.8%	0.0%	0.2%	3.5%

表　4-6　「ごみの組成：農林漁業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

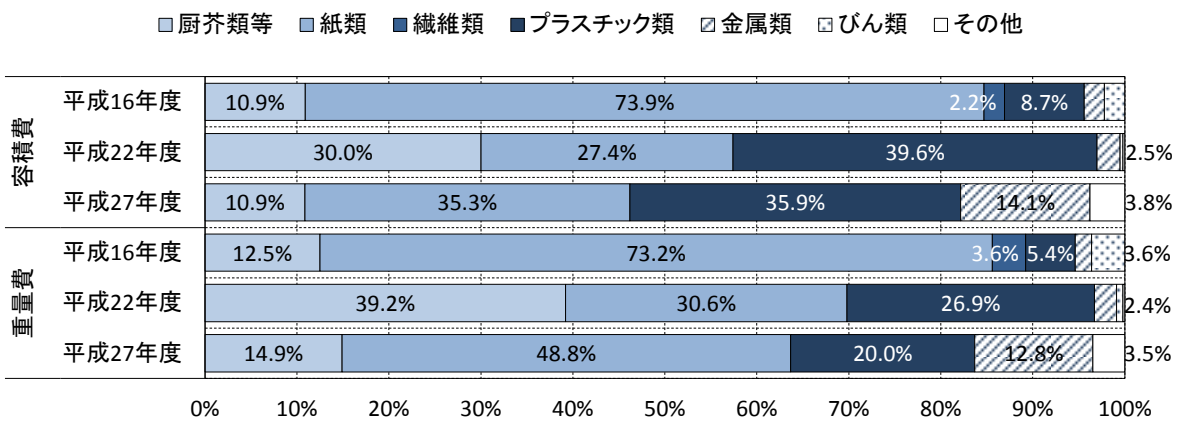


図　4-6　「ごみの組成：農林漁業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

③ごみの組成：建設業

ごみの組成 建設業	容積比			重量比		
	平成16年	平成22年	平成27年	平成16年	平成22年	平成27年
厨芥類等	13.8%	37.3%	24.6%	15.6%	35.9%	24.9%
紙類	48.3%	44.1%	40.5%	53.1%	48.3%	50.1%
繊維類	0.0%	0.4%	0.3%	3.1%	0.5%	0.4%
プラスチック類	24.1%	9.8%	24.9%	12.5%	5.5%	15.3%
金属類	3.4%	5.8%	6.9%	3.1%	5.4%	6.6%
びん類	0.0%	1.0%	0.0%	3.1%	2.8%	0.0%
その他	10.3%	1.5%	2.8%	9.4%	1.4%	2.7%

表　4-7　「ごみの組成：建設業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

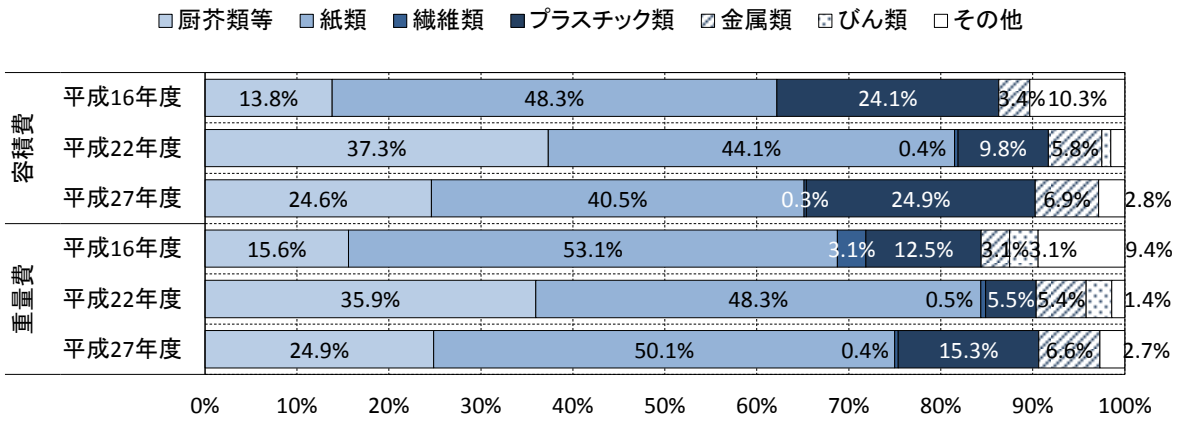


図　4-7　「ごみの組成：建設業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

④ごみの組成：製造業

ごみの組成 製造業	容積比			重量比		
	平成16年	平成22年	平成27年	平成16年	平成22年	平成27年
厨芥類等	11.8%	16.5%	36.3%	14.5%	24.5%	33.4%
紙類	55.1%	34.3%	42.1%	55.1%	37.3%	43.7%
繊維類	4.7%	0.8%	11.3%	6.5%	1.2%	13.4%
プラスチック類	15.7%	46.3%	3.9%	10.1%	33.3%	1.9%
金属類	1.6%	0.8%	2.4%	1.4%	0.8%	1.9%
びん類	0.8%	0.7%	1.7%	2.9%	2.2%	3.9%
その他	10.2%	0.6%	2.3%	9.4%	0.6%	1.8%

表　4-8　「ごみの組成：製造業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

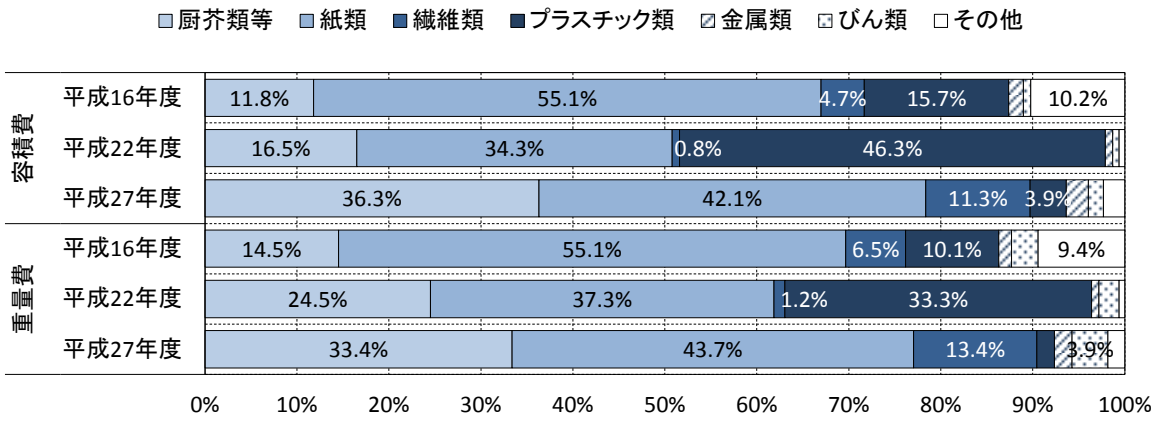


図　4-8　「ごみの組成：製造業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

⑤ごみの組成：電気・ガス・熱供給・水道業

ごみの組成 電気・ガス・熱供給・水道業	容積比			重量比		
	平成16年	平成22年	平成27年	平成16年	平成22年	平成27年
厨芥類等	7.4%	77.0%	12.5%	10.3%	75.1%	18.1%
紙類	75.9%	19.9%	68.8%	79.4%	22.6%	66.6%
繊維類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
プラスチック類	14.8%	2.3%	9.4%	7.4%	1.5%	6.2%
金属類	1.9%	0.7%	0.6%	1.5%	0.7%	0.6%
びん類	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.1%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	8.8%	0.0%	0.0%	8.4%

表　4-9　「ごみの組成：電気・ガス・熱供給・水道業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

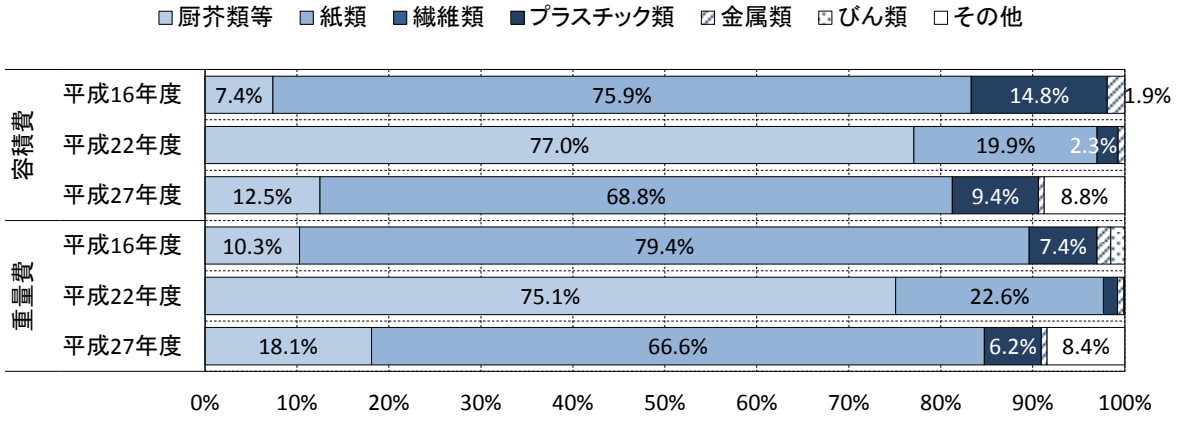


図　4-9　「ごみの組成：電気・ガス・熱供給・水道業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

⑥ごみの組成：運輸・情報通信業

ごみの組成 運輸・情報通信業	容積比			重量比		
	平成16年	平成22年	平成27年	平成16年	平成22年	平成27年
厨芥類等	18.9%	44.5%	2.4%	22.6%	50.3%	3.7%
紙類	54.1%	37.7%	84.4%	58.3%	37.5%	85.5%
繊維類	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
プラスチック類	17.6%	7.2%	9.6%	9.5%	3.0%	5.9%
金属類	4.1%	8.6%	3.0%	3.6%	6.5%	3.1%
びん類	1.4%	0.5%	0.0%	2.4%	1.2%	1.8%
その他	4.1%	0.7%	0.0%	3.6%	0.6%	0.0%

表　4-10　「ごみの組成：運輸・情報通信業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

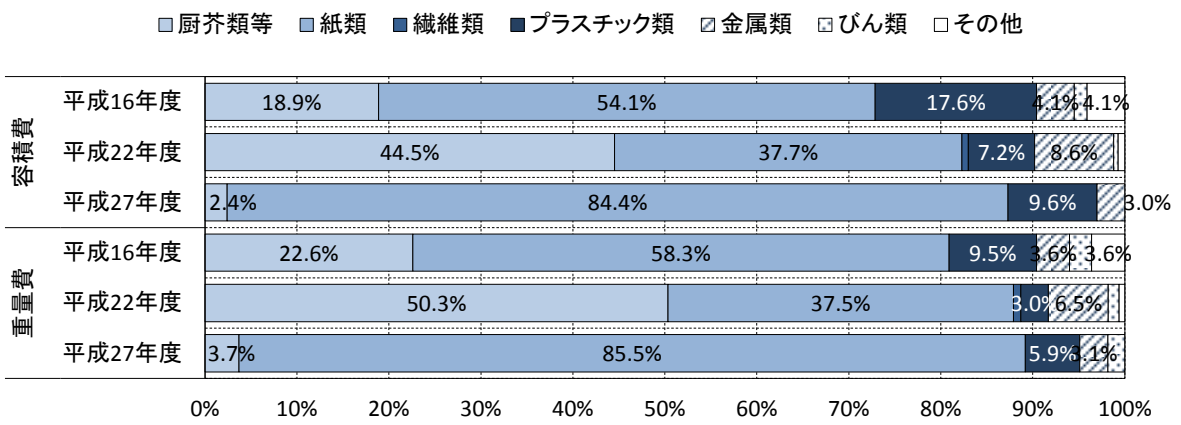


図　4-10　「ごみの組成：運輸・情報通信業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

⑦ごみの組成：卸売・小売業、宿泊業、飲食店

ごみの組成 卸売・小売業・宿泊業・飲食店	容積比			重量比		
	平成16年	平成22年	平成27年	平成16年	平成22年	平成27年
厨芥類等	34.9%	21.6%	52.4%	43.0%	30.3%	52.6%
紙類	39.8%	56.8%	30.9%	37.0%	48.2%	34.3%
繊維類	0.0%	7.8%	0.9%	0.0%	11.1%	1.0%
プラスチック類	14.5%	12.4%	9.3%	7.0%	7.9%	4.2%
金属類	4.8%	0.7%	4.2%	4.0%	0.6%	3.1%
びん類	2.4%	0.6%	2.1%	6.0%	1.8%	4.7%
その他	3.6%	0.1%	0.2%	3.0%	0.1%	0.2%

表　4-11　「ごみの組成：卸売・小売業、宿泊業、飲食店：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

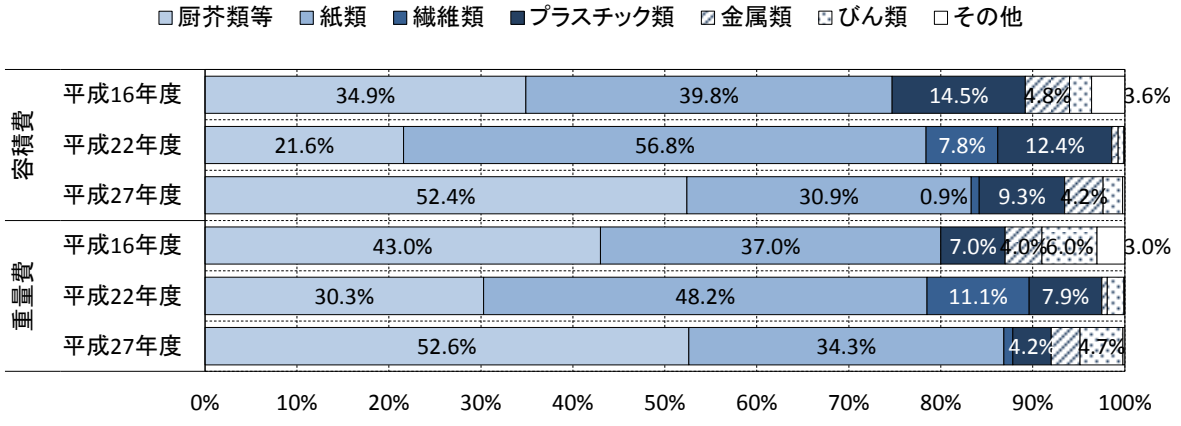


図　4-11　「ごみの組成：卸売・小売業、宿泊業、飲食店：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

⑧ごみの組成：金融・保険・不動産業

ごみの組成 金融・保険・不動産	容積比			重量比		
	平成16年	平成22年	平成27年	平成16年	平成22年	平成27年
厨芥類等	9.8%	19.5%	2.4%	9.5%	24.3%	2.8%
紙類	82.4%	57.1%	81.0%	85.1%	57.2%	85.4%
繊維類	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	5.1%
プラスチック類	5.9%	14.9%	10.5%	2.7%	8.2%	5.1%
金属類	2.0%	5.1%	1.4%	1.4%	4.5%	1.1%
びん類	0.0%	1.7%	0.0%	1.4%	4.3%	0.0%
その他	0.0%	1.7%	0.5%	0.0%	1.4%	0.4%

表　4-12　「ごみの組成：金融・保険・不動産：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

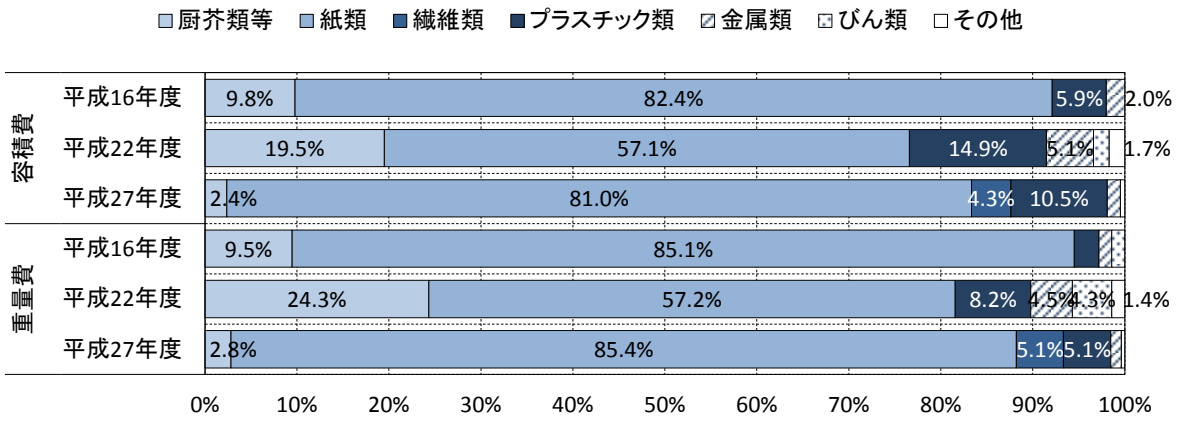


図　4-12　「ごみの組成：金融・保険・不動産：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

⑨ごみの組成：サービス業

ごみの組成 サービス業	容積比			重量比		
	平成16年	平成22年	平成27年	平成16年	平成22年	平成27年
厨芥類等	23.0%	19.3%	17.4%	27.4%	17.2%	21.1%
紙類	49.4%	52.8%	56.6%	49.1%	68.6%	59.8%
繊維類	1.1%	1.1%	1.5%	1.9%	1.0%	2.0%
プラスチック類	13.8%	22.6%	20.2%	7.5%	9.4%	12.1%
金属類	4.6%	1.7%	0.6%	3.8%	1.1%	0.5%
びん類	2.3%	1.0%	0.6%	5.7%	1.8%	1.5%
その他	5.7%	1.4%	3.2%	4.7%	0.8%	3.0%

表　4-13　「ごみの組成：サービス業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

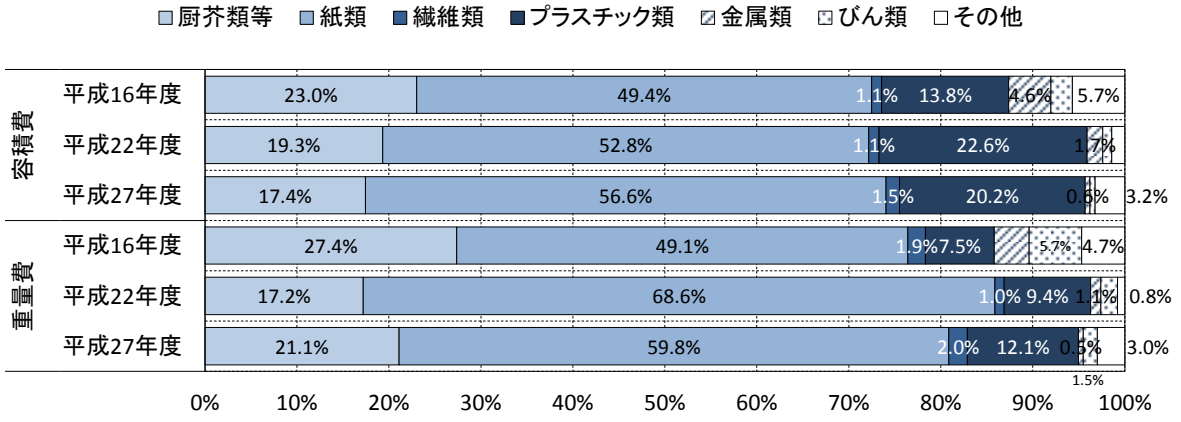


図　4-13　「ごみの組成：サービス業：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

⑩ごみの組成：その他

ごみの組成 その他	容積比			重量比		
	平成16年	平成22年	平成27年	平成16年	平成22年	平成27年
厨芥類等	20.0%	6.0%	20.3%	21.4%	7.2%	22.1%
紙類	62.9%	71.9%	63.1%	66.7%	68.9%	62.5%
繊維類	0.0%	0.7%	1.0%	0.0%	1.0%	1.2%
プラスチック類	14.3%	7.9%	6.3%	7.1%	4.1%	2.9%
金属類	2.9%	6.6%	7.0%	2.4%	5.9%	5.6%
びん類	0.0%	3.8%	2.4%	2.4%	10.1%	5.8%
その他	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%

表　4-14　「ごみの組成：その他：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

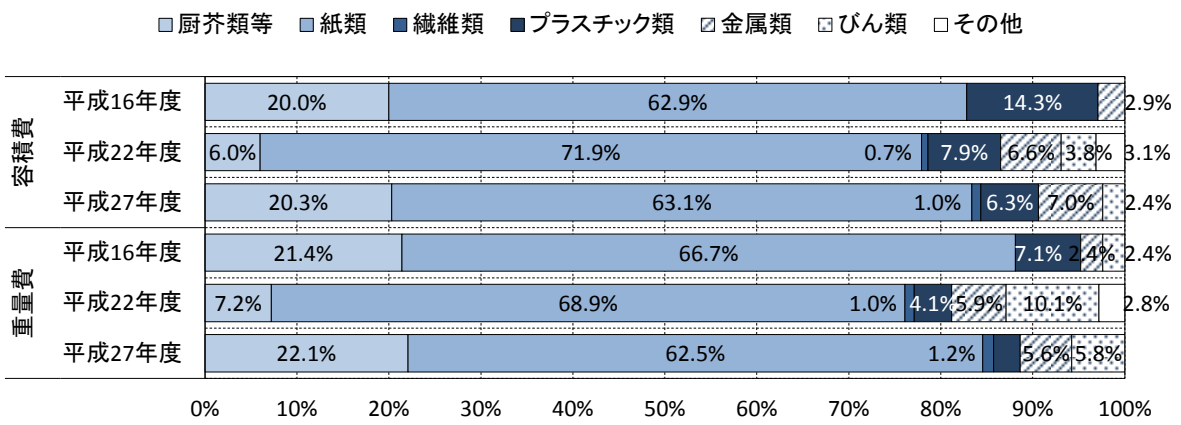


図　4-14　「ごみの組成：その他：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

4-3　資源としての排出量

①業種別　資源排出量（重量）

業種別の資源としての排出量の平成16年度と平成22年度、平成27年度を比較すると、全体平均は平成27年度は低く、「電気・ガス・熱供給・水道業」及び「卸売・小売業、宿泊業、飲食店」で、差が出ている。そのうち、特に「厨芥類」と、「紙類」において、差が大きい。

資源排出量 (kg/1日・1事業所)		年度	1 厨芥類等	2 紙類	3 繊維類	4 プラスチック類	5 金属類	6 びん類	7 その他	計
全体平均		平成16年度	2.0	6.5	0.3	1.2	0.9	0.5	0.0	11.4
		平成22年度	4.8	5.2	0.6	1.1	0.2	0.3	0.0	12.2
		平成27年度	2.1	5.9	0.1	0.5	0.3	0.4	0.6	9.9
1	農林漁業	平成16年度	4.0	2.9	0.0	0.9	0.2	0.2	0.0	8.2
		平成22年度	1.1	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	1.9
		平成27年度	0.9	1.0	0.0	0.7	0.1	0.1	0.1	2.9
2	建設業	平成16年度	1.0	3.7	0.0	2.1	0.5	0.3	0.0	7.6
		平成22年度	1.4	2.0	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	3.9
		平成27年度	2.3	1.0	0.1	0.5	0.2	0.1	0.1	4.3
3	製造業	平成16年度	1.2	9.0	0.5	1.4	1.0	0.3	0.0	13.4
		平成22年度	2.6	8.6	0.1	3.2	0.4	0.2	0.1	15.2
		平成27年度	1.0	7.1	0.1	0.3	0.2	0.1	0.0	8.8
4	電気・ガス 熱供給・水道業	平成16年度	0.8	4.4	0.0	0.4	0.6	0.4	0.0	6.6
		平成22年度	24.2	6.7	0.0	0.5	0.2	0.0	0.0	31.6
		平成27年度	0.8	8.3	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	9.5
5	運輸 情報通信業	平成16年度	0.6	3.9	0.0	0.5	1.3	1.5	0.0	7.8
		平成22年度	0.7	1.5	0.0	0.1	0.2	0.2	0.0	2.7
		平成27年度	0.3	21.1	0.0	0.4	0.7	1.2	1.7	25.4
6	卸売・小売業 宿泊業・飲食店	平成16年度	3.3	5.6	0.1	0.7	0.7	0.5	0.0	10.9
		平成22年度	11.9	12.1	3.3	2.1	0.3	1.1	0.0	30.8
		平成27年度	2.6	2.8	0.0	0.5	0.3	0.3	0.2	6.7
7	金融・保険 不動産業	平成16年度	0.3	7.4	0.0	0.3	0.2	0.1	0.0	8.3
		平成22年度	0.9	1.6	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	2.8
		平成27年度	0.3	1.8	0.1	0.3	0.0	0.1	0.0	2.6
8	サービス業	平成16年度	2.7	4.7	0.2	0.8	1.0	0.8	0.0	10.2
		平成22年度	0.8	2.6	0.0	0.5	0.1	0.1	0.1	4.2
		平成27年度	1.8	1.2	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1	3.6
9	その他	平成16年度	0.5	2.9	0.1	0.9	1.0	0.3	0.0	5.7
		平成22年度	0.2	3.6	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	4.2
		平成27年度	0.9	5.7	0.0	0.4	0.4	0.6	2.2	10.2

表　4-15　「業種別　資源排出量:平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

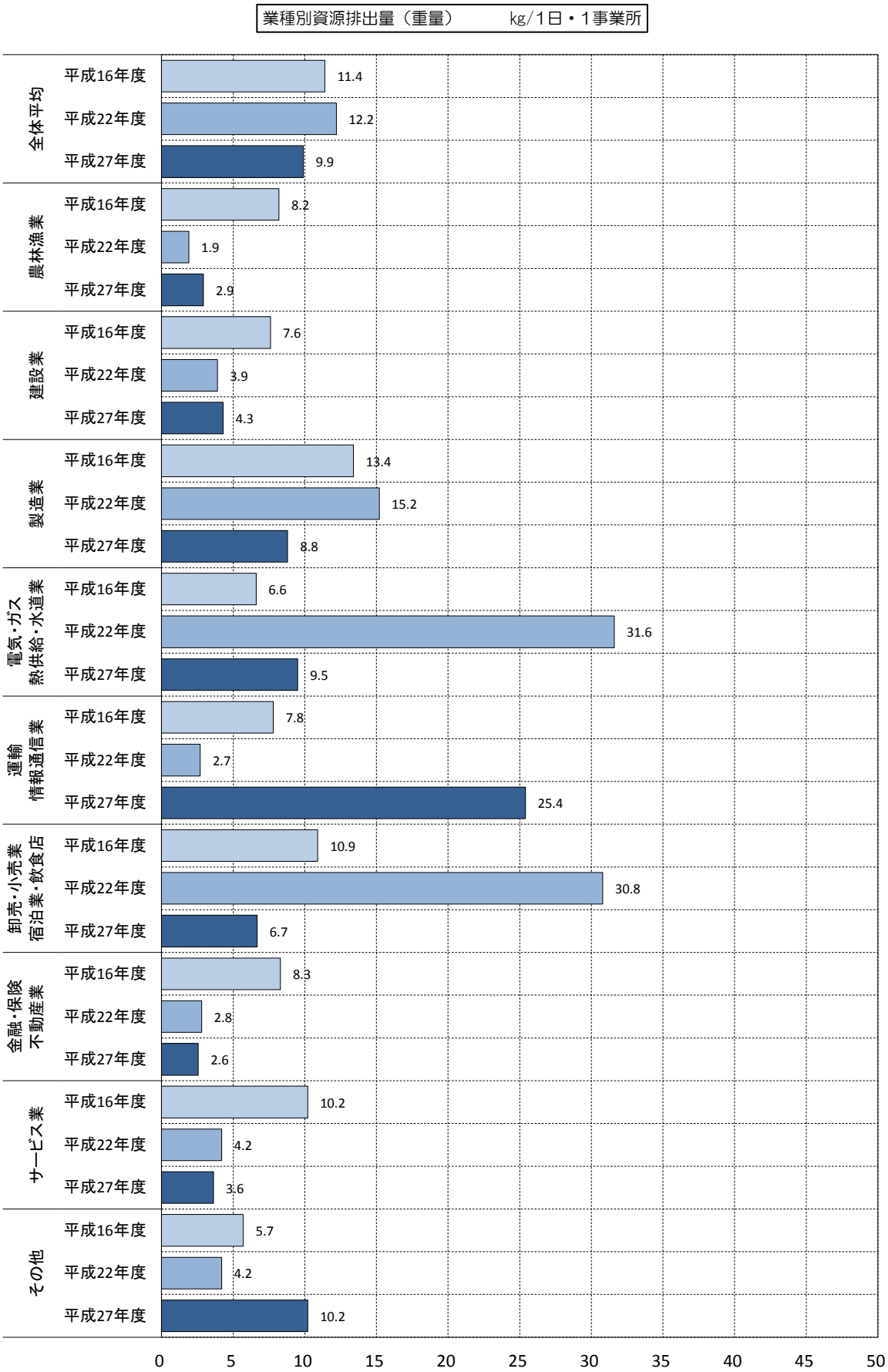


図　4-15　「業種別　資源排出量：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

②従業員数別　資源排出量（重量）

従業員数別の資源としての排出量の平成16年度と平成22年度、平成27年度を比較すると、全体平均は平成27年度は低く、「30～99人」及び「100人以上」で、差が出ている。そのうち、特に「厨芥類」と、「紙類」において、差が大きい。

資源排出量(kg/1日・1事業所)		年度	1 厨芥類等	2 紙類	3 繊維類	4 プラスチック類	5 金属類	6 びん類	7 その他	計
全体平均		平成16年度	2.0	6.5	0.3	1.2	0.9	0.5	0.0	11.4
		平成22年度	4.8	5.2	0.6	1.1	0.2	0.3	0.0	12.2
		平成27年度	2.1	5.9	0.1	0.5	0.3	0.4	0.6	9.9
1	1～9人	平成16年度	0.8	1.0	0.1	0.6	0.3	0.2	0.0	3.0
		平成22年度	0.8	1.0	0.2	0.2	0.1	0.3	0.0	2.6
		平成27年度	1.0	0.9	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1	2.5
2	10～29人	平成16年度	0.9	3.4	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	5.8
		平成22年度	2.2	2.8	0.1	2.4	0.4	0.1	0.0	8.0
		平成27年度	1.5	2.4	0.1	0.5	0.3	0.1	0.1	5.0
3	30～99人	平成16年度	1.9	5.8	0.2	1.0	1.6	0.7	0.0	11.2
		平成22年度	3.1	11.2	3.9	1.1	0.2	0.4	0.0	19.9
		平成27年度	2.9	17.9	0.0	0.9	0.7	0.8	1.4	24.6
4	100人以上	平成16年度	3.6	13.4	0.5	1.9	1.2	0.8	0.0	21.4
		平成22年度	79.6	64.4	0.6	8.2	1.4	0.9	0.0	155.1
		平成27年度	6.9	33.1	0.0	0.5	1.2	1.3	5.1	48.1

表　4-16　「従業員数別　資源排出量:平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較表

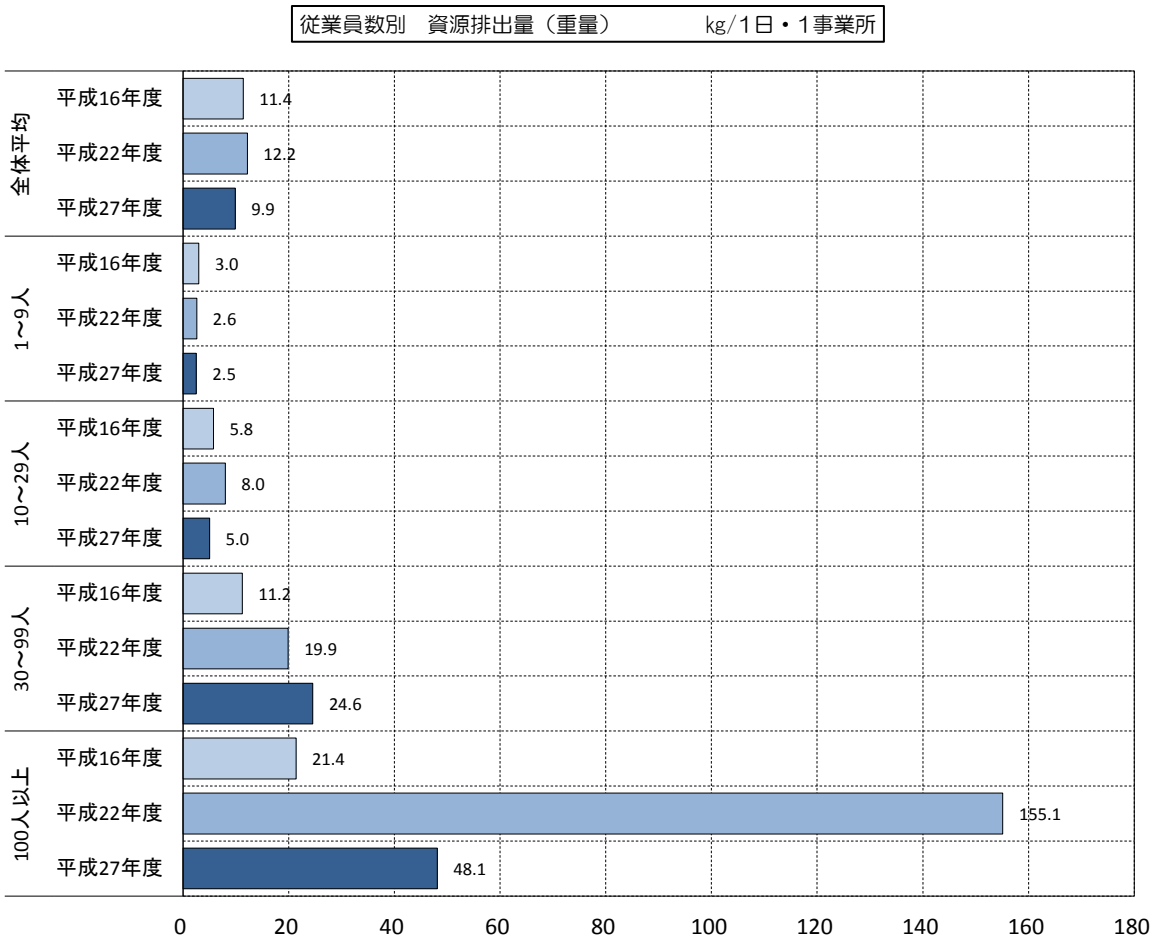


図　4-16　「従業員数別　資源排出量：平成16年度・平成22年度・平成27年度」比較

5　意識・行動　解析

平成27年度の事業所アンケートの結果から、問5「ごみの減量化の取組状況」と「意識・行動」に関するいくつかの設問とのクロス集計を行って解析した。各問いの無回答は、削除して算定しているため、クロス集計の全体の数値は単純集計の数値と異なっている。

①　問5と問19「ごみの減量化の目標設定」のクロス集計

「減量化の取組状況」と「ごみの減量化の目標設定」では、「減量にかなり取り組んでいる」で「目標を定めている」が24%となっているが、「定めるかどうかは不明」が67%である。
ごみの減量目標を定めている事業所ほど、ごみの減量化に取り組む割合が高くなっている。

問5と問19 回答数		1 定めている	2 定める予定がある	3 定めるかどうかは不明	計
1	かなり取り組んでいる	19	7	52	78
2	ある程度取り組んでいる	38	45	238	321
3	あまり取り組んでいない	5	8	169	182
4	全く取り組んでいない	1	0	28	29
計		63	60	487	610

表　5-1　「問5と問19　クロス集計」回答数

問5と問19 問5選択肢別回答率		1 定めている	2 定める予定がある	3 定めるかどうかは不明	計
1	かなり取り組んでいる	24.0%	9.0%	67.0%	100.0%
2	ある程度取り組んでいる	12.0%	14.0%	74.0%	100.0%
3	あまり取り組んでいない	2.7%	4.4%	92.9%	100.0%
4	全く取り組んでいない	3.4%	0.0%	96.6%	100.0%

表　5-2　「問5と問19　問5選択肢別クロス集計」回答率

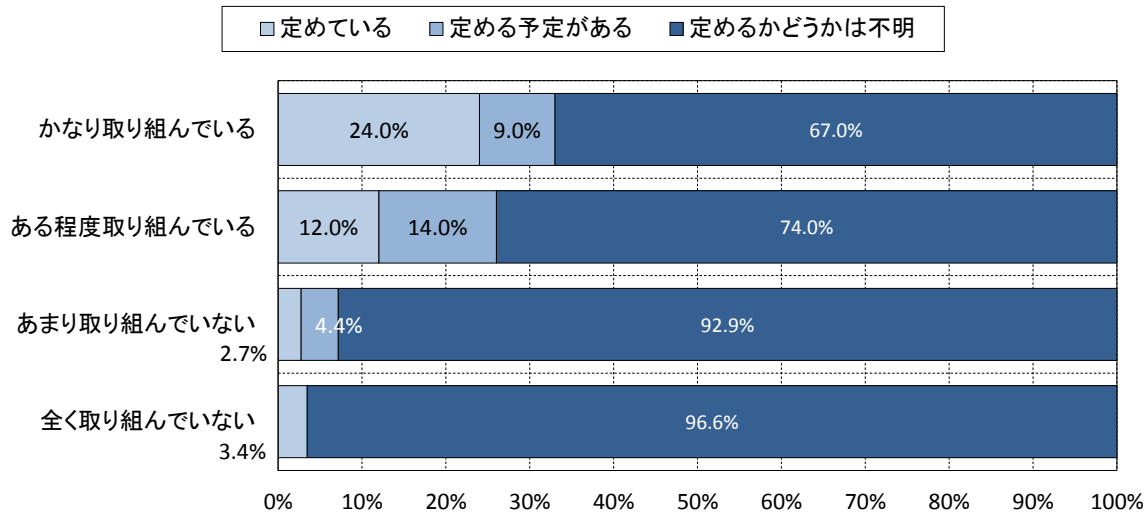


図　5-1　「問5と問19　問1選択肢別クロス集計　回答率」

② 問5と問20「ごみの減量化・リサイクル推進の問題点」のクロス集計

「減量化の取組状況」と「ごみの減量化・リサイクル推進の問題点」では、取組みの状況に関わらず「システムができない」が最も高くなっている。

問5と問20 回答数		1 減量等の方法	2 システムができない	3 ごみ区分が障害	4 経費削減にならない	5 事業系ごみが分からない	6 両立しない	7 その他	計
1	かなり取り組んでいる	6	28	4	9	3	9	10	69
2	ある程度取り組んでいる	34	103	39	68	9	50	29	332
3	あまり取り組んでいない	31	78	9	29	13	21	24	205
4	全く取り組んでいない	2	9	0	5	1	6	5	28
計		73	218	52	111	26	86	68	

表 5-3 「問5ｖｓ問20 クロス集計」 回答数

問5と問20 問5選択肢別回答率		1 減量等の方法	2 システムができない	3 ごみ区分が障害	4 経費削減にならない	5 事業系ごみが分からない	6 両立しない	7 その他	計
1	かなり取り組んでいる	8.7%	41.0%	5.8%	13.0%	4.0%	13.0%	14.5%	100%
2	ある程度取り組んでいる	10.0%	31.0%	12.0%	20.5%	2.7%	15.1%	8.7%	100%
3	あまり取り組んでいない	15.1%	38.0%	4.4%	14.0%	6.3%	10.2%	12.0%	100%
4	全く取り組んでいない	7.1%	32.1%	0.0%	17.9%	3.6%	21.4%	17.9%	100%

表 5-4 「問5ｖｓ問20 問5選択肢別クロス集計」 回答率

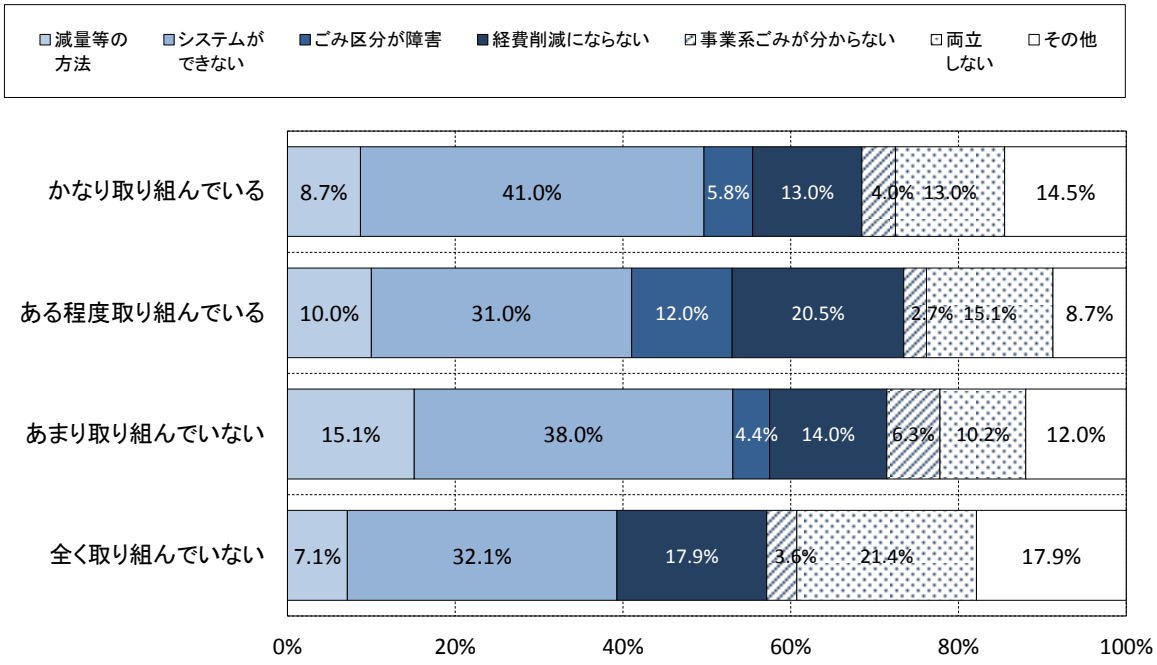


図 5-2 「問5と問20 問5選択肢別クロス集計」回答率

③　問5と問23「県に期待する役割」のクロス集計

「減量化への取組状況」と「県に期待する役割」では、ごみの減量化に取り組んでいる事業者ほど「調査研究や情報提供」を望む傾向があり、取り組んでいない事業者ほど「特に必要なし」の割合が高くなっている。

問5と問23 回答数		1 全県的な啓発	2 調査研究や情報提供	3 情報交換の場の提供	4 成功・失敗事例	5 その他	6 特に必要なし	計
1	かなり取り組んでいる	11	32	7	27	4	23	104
2	ある程度取り組んでいる	86	56	33	105	1	99	380
3	あまり取り組んでいない	38	30	20	47	4	83	222
4	全く取り組んでいない	4	2	2	3	1	19	31
計		139	120	62	182	10	224	737

表　5-5　「問5と問23　クロス集計」回答数

問5と問23 問5選択肢別回答率		1 全県的な啓発	2 調査研究や情報提供	3 情報交換の場の提供	4 成功・失敗事例	5 その他	6 特に必要なし	計
1	かなり取り組んでいる	10.6%	30.8%	6.7%	26.0%	3.8%	22.1%	100%
2	ある程度取り組んでいる	22.6%	14.7%	8.7%	27.6%	0.3%	26.1%	100%
3	あまり取り組んでいない	17.1%	13.5%	9.0%	21.2%	1.8%	37.4%	100%
4	全く取り組んでいない	13.0%	6.5%	6.5%	9.7%	3.0%	61.3%	100%

表5-6　「問5と問23　問5選択肢別クロス集計」回答率

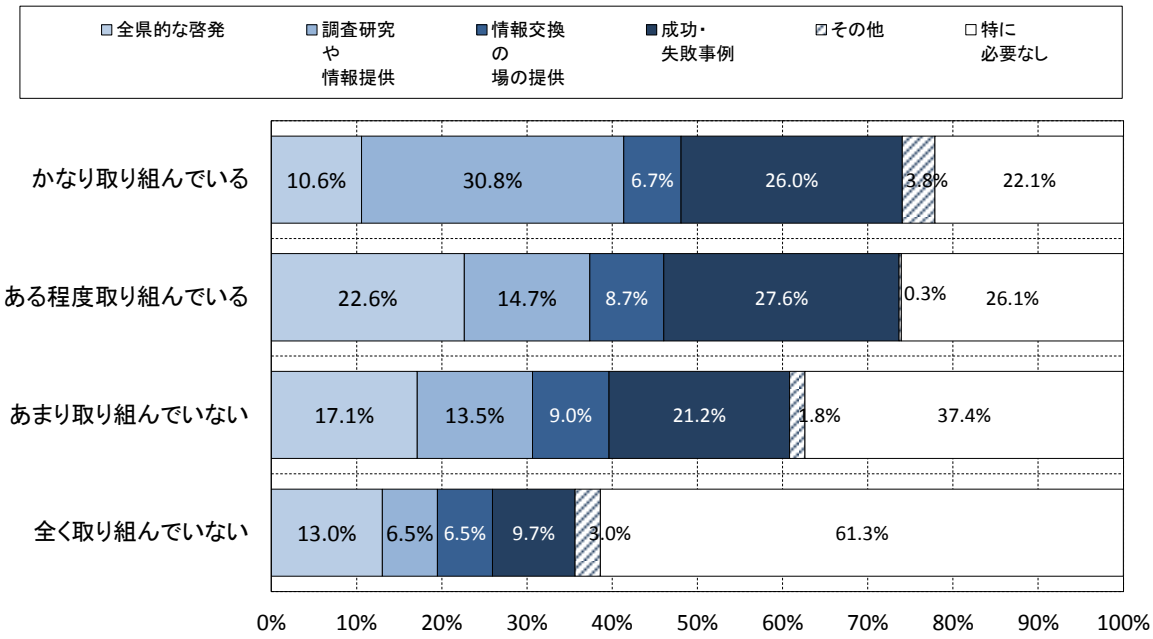


図　5-3　「問5と問23　問5選択肢別クロス集計」回答率

④　問5と問24「ごみゼロ社会実現プランの認知度」のクロス集計

「減量化の取組状況」と「ごみゼロ社会実現プランの認知度」では、ごみの減量化に「かなり取り組んでいる」で、プランを「知っている」が20.7%であり、そのほかは「知っている」は10%未満となっている。
減量化に取り組んでいる事業者ほど、プランを「知っている」割合は高くなっている。

問5と問24 回答数		1 知っている	2 名前は聞いたことがある	3 知らない	計
1	かなり取り組んでいる	17	30	35	82
2	ある程度取り組んでいる	24	104	203	331
3	あまり取り組んでいない	9	48	130	187
4	全く取り組んでいない	2	7	22	31
計		52	189	390	631

表　5-7　「問5と問24　クロス集計」回答数

問5と問24 問5選択肢別回答率		1 知っている	2 名前は聞いたことがある	3 知らない	計
1	かなり取り組んでいる	20.7%	36.6%	42.7%	100.0%
2	ある程度取り組んでいる	7.3%	31.4%	61.3%	100.0%
3	あまり取り組んでいない	4.8%	25.7%	69.5%	100.0%
4	全く取り組んでいない	6.0%	23.0%	71.0%	100.0%

表　5-8　「問5と問24　問5選択肢別クロス集計」回答率

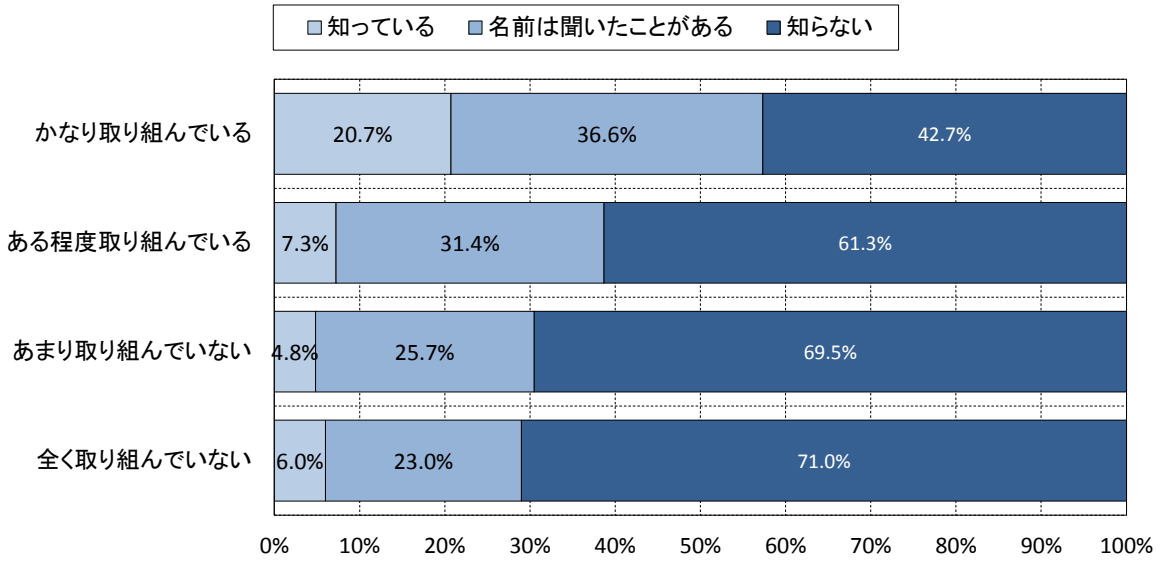


図　5-4　「問5と問24　問5選択肢別クロス集計」回答率

⑤　問5と問25「ゼロ吉の認知度」のクロス集計

「減量化の取組状況」と「ゼロ吉の認知度」では、ごみの減量化に「かなり取り組んでいる」でゼロ吉を「知っている」が17.1%であり、そのほかは「知っている」は10%未満となっている。減量化に取り組んでいる事業者ほど、ゼロ吉を「知っている」割合は高くなっている。

問5と問25 回答数		1 知っている	2 見たことはある	3 知らない	計
1	かなり取り組んでいる	14	7	61	82
2	ある程度取り組んでいる	18	28	284	330
3	あまり取り組んでいない	9	13	165	187
4	全く取り組んでいない	0	1	30	31
計		41	49	540	

表　5-9　「問5と問25　クロス集計」回答数

問5と問25 問5選択肢別回答率		1 知っている	2 見たことはある	3 知らない	計
1	かなり取り組んでいる	17.1%	8.5%	74.4%	100.0%
2	ある程度取り組んでいる	5.5%	8.5%	86.0%	100.0%
3	あまり取り組んでいない	4.8%	7.0%	88.2%	100.0%
4	全く取り組んでいない	0.0%	3.2%	96.8%	100.0%

表　5-10　「問5と問25　問5選択肢別クロス集計」回答率

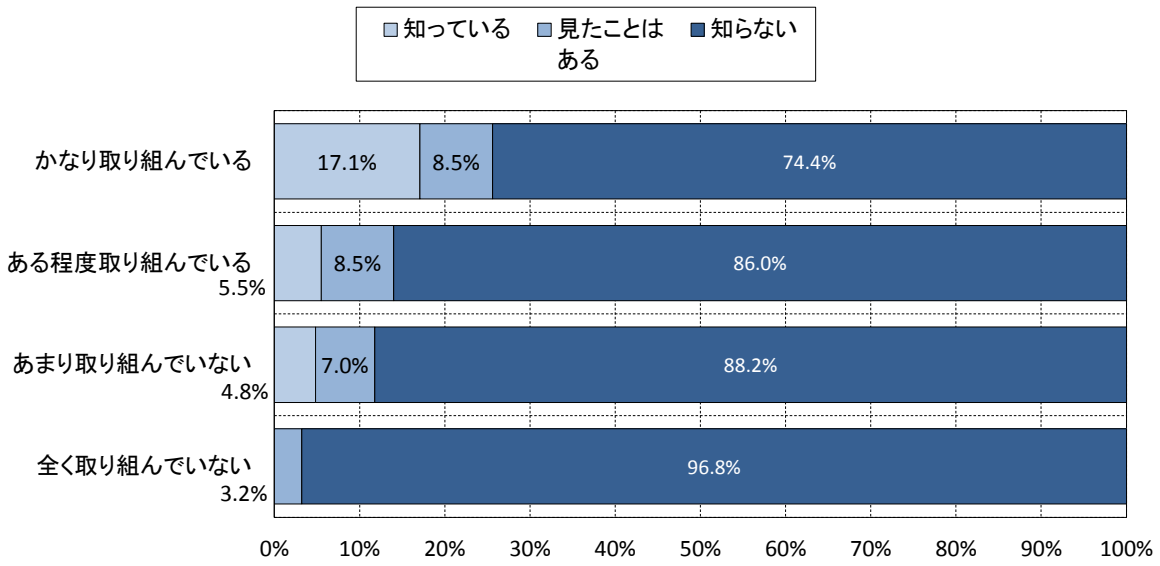


図　5-5　「問5と問25　問5選択肢別クロス集計」回答率

⑥　問5と問26「事業者参画の取組への参加」のクロス集計

「減量化の取組状況」と「事業者参画の取組への参加」では、減量化に取り組んでいる事業者ほど、「地域ごみゼロ交流会に参加したい」や「ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい」、「ごみ減量化等の取組をまとめた「点検・評価」を読みたい」の割合が高く、減量化に取り組んでいない事業者ほど「いずれにも参加したいとは思わない」の割合が高くなっている。

問5と問26 回答数		1 かなり取り組んでいる	2 ある程度取り組んでいる	3 あまり取り組んでいない	4 全く取り組んでいない	計
1	地域ごみゼロ交流会に参加したい	7	17	6	0	30
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	4	27	14	0	45
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	26	83	45	5	159
4	ゼロ吉Facebookで情報を得たい	1	9	8	0	18
5	ごみ減量化等の取組をまとめた「点検・評価」を読みたい	13	49	25	0	87
6	アンケートなどに協力したい	19	85	42	7	153
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	0	4	0	0	4
8	ごみゼロプランの進歩状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい	0	5	1	0	6
9	その他	0	7	5	1	13
10	いずれにも参加したいとは思わない	25	104	79	16	224
計		95	390	225	29	739

表　5-11　「問5と問26　クロス集計」回答数

問5と問26 回答率		1 かなり取り組んでいる	2 ある程度取り組んでいる	3 あまり取り組んでいない	4 全く取り組んでいない	全体
1	地域ごみゼロ交流会に参加したい	7.4%	4.4%	2.7%	0.0%	4.1%
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい	4.2%	6.9%	6.2%	0.0%	6.1%
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい	27.4%	21.3%	20.0%	17.2%	21.5%
4	ゼロ吉Facebookで情報を得たい	1.0%	2.3%	3.6%	0.0%	2.4%
5	ごみ減量化等の取組をまとめた「点検・評価」を読みたい	13.7%	12.6%	11.1%	0.0%	11.8%
6	アンケートなどに協力したい	20.0%	21.8%	18.7%	24.1%	20.7%
7	自分の意見をFAXなどで県に寄せたい	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.5%
8	ごみゼロプランの進歩状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい	0.0%	1.0%	0.4%	0.0%	0.8%
9	その他	0.0%	2.0%	2.2%	3.4%	1.8%
10	いずれにも参加したいとは思わない	26.3%	26.7%	35.1%	55.2%	30.3%
計		100%	100%	100%	100%	100%

表　5-12　「問5と問26　問5選択肢別クロス集計」回答率

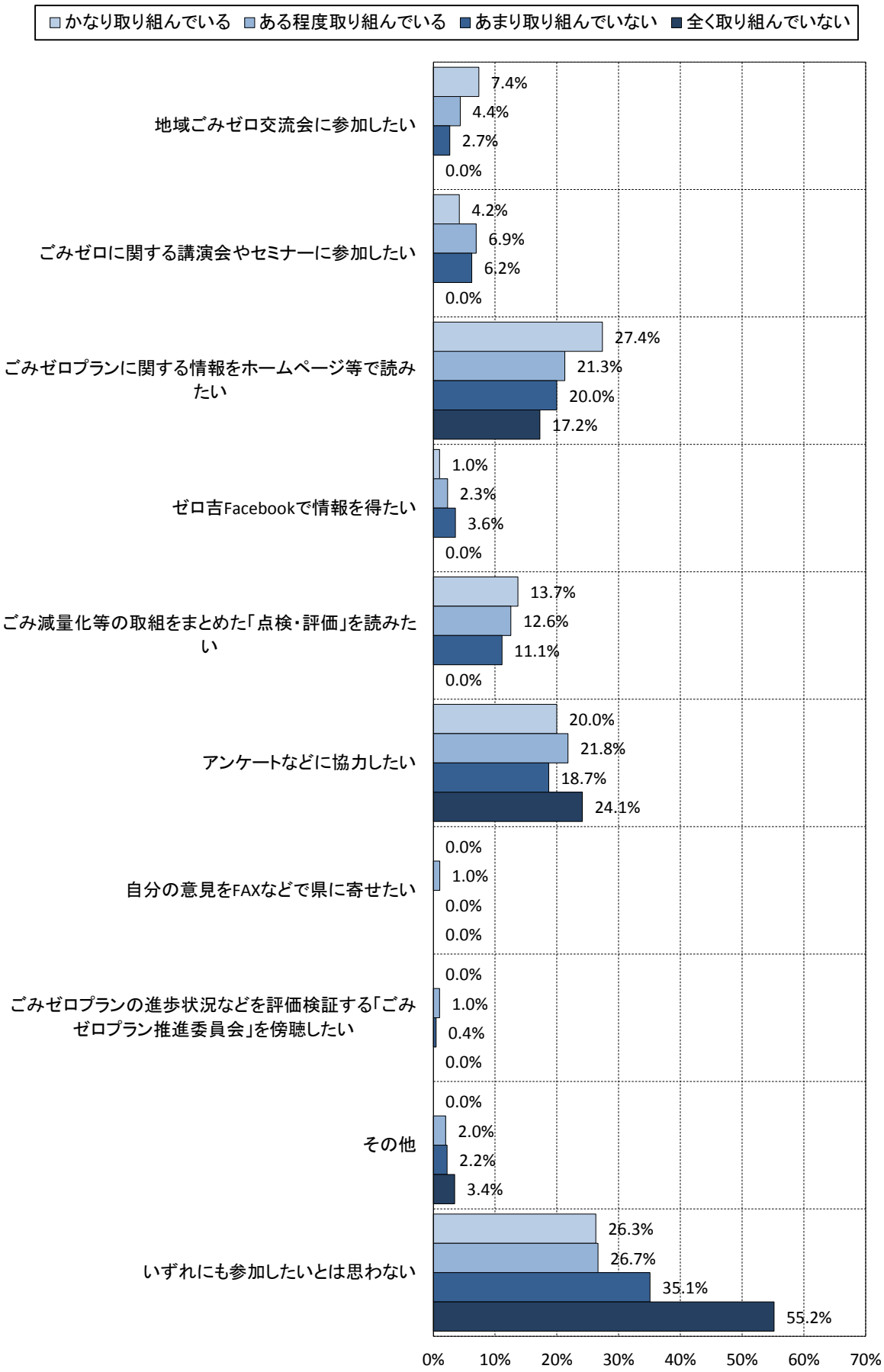


図　5-6　「問5と問26　問5選択肢別クロス集計」回答率

6　平成16年度・平成22年度・平成27年度比較

6-1　現在行っているごみ減量やリサイクルの取組について

問5	あなたの事業所ではごみの減量化に取り組んでいますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

①　全体

年度別「減量化の取組」の全体は、調査年度ごとに「取り組んでいる（1＋2）」が減少している。

減量化の取組		1 かなり取り組んでいる	2 ある程度取り組んでいる	1＋2 取り組んでいる	3 あまり取り組んでいない	4 全く取り組んでいない	3＋4 取り組んでいない	99 無回答	計
回答数	平成16年度	228	544	772	222	29	251	16	1,039
	平成22年度	87	292	379	143	21	164	14	557
	平成27年度	88	340	428	193	32	225	14	667
回答率	平成16年度	21.9%	52.4%	74.0%	21.4%	2.8%	24.0%	1.5%	100%
	平成22年度	15.6%	52.4%	68.0%	25.7%	3.8%	29.0%	2.5%	100%
	平成27年度	13.2%	51.0%	64.2%	28.9%	4.8%	33.7%	2.1%	100%
回答率差（平成22年度－平成16年度）		-6.3%	0.1%	-6.3%	4.3%	1.0%	5.3%	1.0%	
回答率差（平成27年度－平成16年度）		-8.7%	-1.4%	-9.8%	7.5%	2.0%	9.7%	0.6%	
回答率差（平成27年度－平成22年度）		-2.4%	-1.4%	-3.8%	3.2%	1.0%	4.7%	-0.4%	

表　6-1-1　「全体　年度別　減量化の取組」回答状況

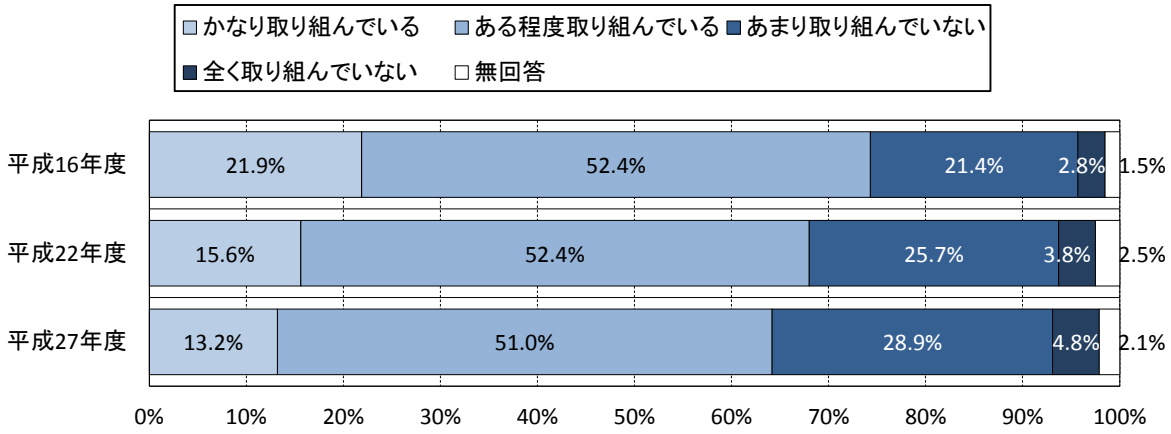


図　6-1-1　「全体　年度別　減量化の取組」回答率

② 業種別

年度別「減量化の取組」の業種別は、「取り組んでいる（1＋2）」では、「農林漁業」、「建設業」、「金融・保険不動産業」、「その他」が1.5%から10.9%増加しているが、それ以外の業種では減少していおり、特に「製造業」と「サービス業」の減少傾向が目立つ。「取り組んでいない（3＋4）」では、「金融・保険不動産業」が13.5%と大幅に減少した。

減量化の取組		年度	かなり取り組んでいる	ある程度取り組んでいる	あまり取り組んでいない	全く取り組んでいない	無回答	計
1	農林漁業	平成16年度	17.4%	41.3%	34.8%	6.5%	0.0%	100%
		平成22年度	3.3%	40.0%	43.4%	3.3%	10.0%	100%
		平成27年度	16.7%	37.5%	33.3%	8.3%	4.2%	100%
2	建設業	平成16年度	24.1%	48.0%	24.1%	1.3%	2.5%	100%
		平成22年度	6.0%	65.7%	23.8%	3.0%	1.5%	100%
		平成27年度	10.0%	64.0%	21.0%	4.0%	1.0%	100%
3	製造業	平成16年度	28.6%	54.8%	13.9%	1.2%	1.5%	100%
		平成22年度	15.6%	58.4%	22.1%	2.6%	1.3%	100%
		平成27年度	15.0%	51.8%	25.9%	3.5%	3.5%	100%
4	電気・ガス 熱供給・水道業	平成16年度	30.0%	56.7%	13.3%	0.0%	0.0%	100%
		平成22年度	52.5%	25.0%	20.0%	2.5%	0.0%	100%
		平成27年度	20.0%	56.0%	24.0%	0.0%	0.0%	100%
5	運輸 情報通信業	平成16年度	20.8%	56.6%	22.6%	0.0%	0.0%	100%
		平成22年度	12.0%	69.0%	19.0%	0.0%	0.0%	100%
		平成27年度	24.0%	49.0%	24.0%	3.0%	0.0%	100%
6	卸売・小売業 宿泊業・飲食店	平成16年度	24.6%	48.0%	23.0%	3.7%	0.7%	100%
		平成22年度	11.7%	55.3%	29.8%	1.1%	2.1%	100%
		平成27年度	12.7%	46.6%	31.4%	6.8%	2.5%	100%
7	金融・保険 不動産業	平成16年度	11.9%	59.7%	20.9%	6.0%	1.5%	100%
		平成22年度	9.1%	51.5%	21.2%	18.2%	0.0%	100%
		平成27年度	14.0%	51.2%	30.2%	2.3%	2.3%	100%
8	サービス業	平成16年度	17.4%	54.9%	23.7%	3.6%	0.4%	100%
		平成22年度	15.5%	49.3%	27.5%	4.9%	2.8%	100%
		平成27年度	11.0%	47.0%	34.0%	7.0%	1.0%	100%
9	その他	平成16年度	20.4%	50.0%	22.2%	1.9%	5.5%	100%
		平成22年度	24.2%	45.5%	21.2%	3.0%	6.1%	100%
		平成27年度	13.6%	57.6%	25.8%	3.0%	0.0%	100%
99	無回答	平成16年度	17.2%	43.8%	28.1%	4.7%	6.2%	100%
		平成22年度	13.3%	60.0%	20.0%	0.0%	6.7%	100%
		平成27年度	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	28.6%	100%
計		平成16年度	21.9%	52.4%	21.4%	2.8%	1.5%	100%
		平成22年度	15.6%	52.4%	25.7%	3.8%	2.5%	100%
		平成27年度	13.5%	51.1%	28.9%	4.9%	1.5%	100%

表 6-1-2 「業種別 年度別 減量化の取組」 回答率

問6	（問5で「1 かなり取り組んでいる」「2 ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ） ごみ減量化に取り組む理由は何ですか？ あてはまるものを3つまで選び、番号に○を付けてください。

「ごみ減量化に取り組む理由」は、各年度ともに「企業としての社会的責任を果たすため」が最も多く、平成27年度では「経費削減のため」と同数になっている。「企業としての社会的責任を果たすため」は調査年度ごとに減少傾向にあり、「ごみ保管場所に制約があるため」は増加傾向になっている。

減量化に取り組む理由		年度	回答数	回答率	平成22年度-平成16年度	平成27年度-平成22年度	平成27年度-平成16年度
1	経費削減のため	平成16年度	460	59.6%	2.9%	-4.6%	-1.7%
		平成22年度	237	62.5%			
		平成27年度	248	57.9%			
2	社の宣伝やイメージアップのため	平成16年度	68	8.8%	-0.4%	-2.8%	-3.2%
		平成22年度	32	8.4%			
		平成27年度	24	5.6%			
3	企業としての社会的責任を果たすため	平成16年度	558	72.3%	-6.3%	-8.1%	-14.4%
		平成22年度	250	66.0%			
		平成27年度	248	57.9%			
4	法令等の規制があるため	平成16年度	101	13.1%	6.7%	-3.9%	2.8%
		平成22年度	75	19.8%			
		平成27年度	68	15.9%			
5	業界全体で取り組んでいるため	平成16年度	88	11.4%	-0.3%	3.4%	3.1%
		平成22年度	42	11.1%			
		平成27年度	62	14.5%			
6	競合他社が取り組んでいるため	平成16年度	4	0.5%	4.8%	-5.1%	-0.3%
		平成22年度	20	5.3%			
		平成27年度	1	0.2%			
7	ごみ保管場所に制約があるため	平成16年度	134	17.4%	5.1%	6.1%	11.1%
		平成22年度	85	22.4%			
		平成27年度	122	28.5%			
8	その他	平成16年度	48	6.2%	0.9%	-1.3%	-0.4%
		平成22年度	27	7.1%			
		平成27年度	25	5.8%			

表　6-1-4　「全体　年度別　減量化の取組理由」回答率差

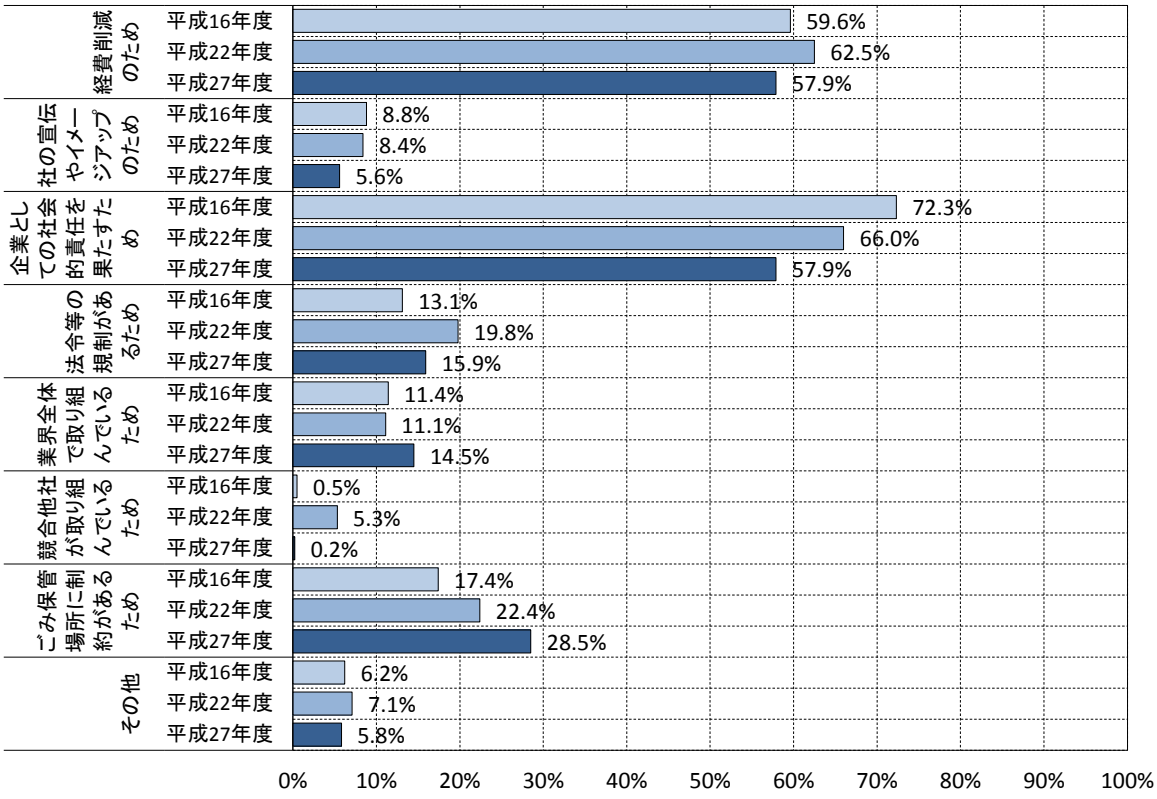


図　6-1-4　「全体　年度別　減量化の取組理由」回答率

問7	（問5で「1　かなり取り組んでいる」「2　ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ） あなたの事業所ではどのようなごみ減量に取り組んでいますか？ あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。　（複数回答）

「ごみ減量の取組内容」は、各年度ともに「コピー用紙等の削減」が最も高くなっている。全体的に、調査年度ごとに取組が減少傾向となっている。

取り組み内容		年度	回答数	回答率	平成22年度-平成16年度	平成27年度-平成22年度	平成27年度-平成16年度
1	ISO14001 認証取得等	平成16年度	222	28.8%	-17.1%	1.7%	-15.5%
		平成22年度	44	11.6%			
		平成27年度	57	13.3%			
2	ごみ箱の廃止	平成16年度	291	37.7%	-6.6%	-1.2%	-7.8%
		平成22年度	118	31.1%			
		平成27年度	128	29.9%			
3	ごみ管理責任者の設置	平成16年度	189	24.5%	-4.7%	-4.4%	-9.1%
		平成22年度	58	19.8%			
		平成27年度	66	15.4%			
4	生ごみの堆肥化	平成16年度	108	14.0%	11.1%	-13.9%	-2.8%
		平成22年度	64	25.1%			
		平成27年度	48	11.2%			
5	通い箱の活用等納入業者との連携	平成16年度	200	25.9%	-1.1%	-6.3%	-7.4%
		平成22年度	75	24.8%			
		平成27年度	79	18.5%			
6	コピー用紙等の削減	平成16年度	442	57.3%	-9.8%	2.3%	-7.5%
		平成22年度	176	47.5%			
		平成27年度	213	49.8%			
7	自販機設置業者による容器の引き取り	平成16年度	342	44.3%	-2.9%	-14.5%	-17.4%
		平成22年度	104	41.4%			
		平成27年度	115	26.9%			
8	使い捨て飲料容器の使用を控える取組	平成16年度	－	－	24.5%	-6.3%	18.2%
		平成22年度	82	24.5%			
		平成27年度	78	18.2%			
9	その他	平成16年度	82	10.6%	3.1%	-4.1%	-1.0%
		平成22年度	52	13.7%			
		平成27年度	41	9.6%			

※選択肢として設定していないものは「－」で示している。

表　6-1-5　「全体　年度別　減量化の取組理由」回答状況

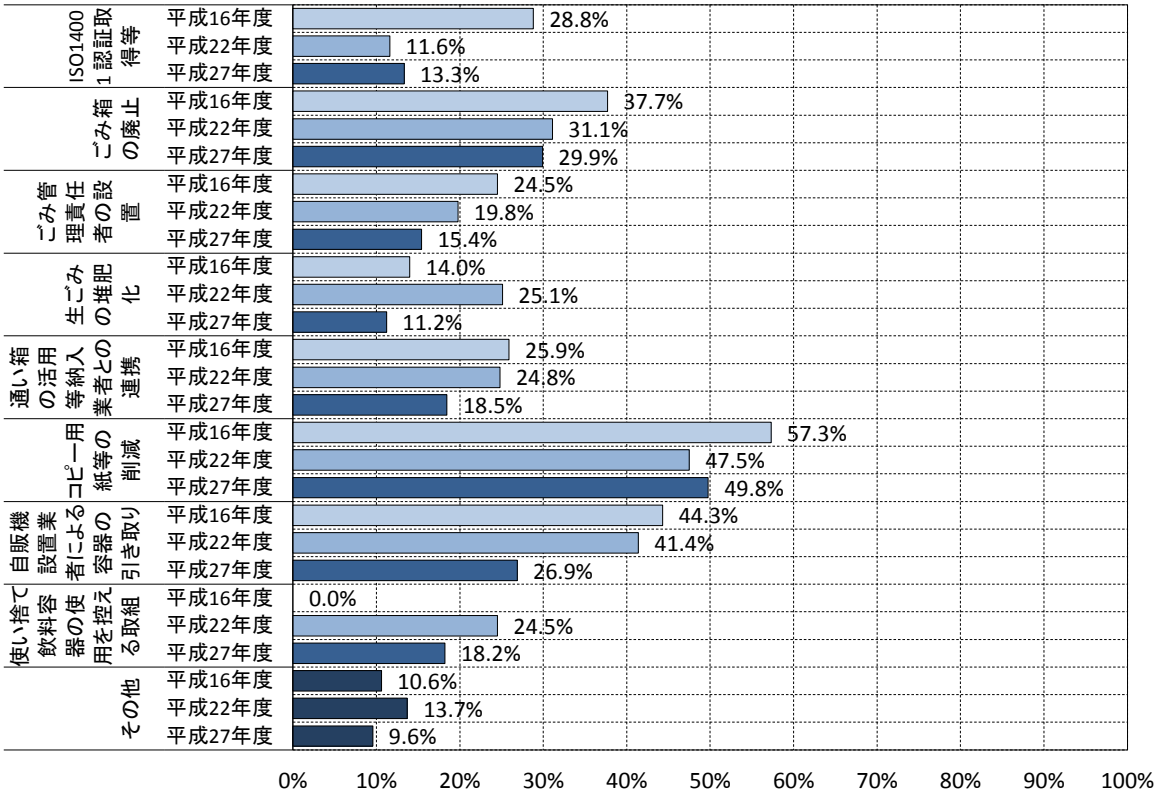


図　6-1-5　「全体　年度別　減量化の取組理由」回答率

ISO14001認証取得等の従業員規模別回答状況比較

年度	項目	1～9人	10～29人	30～99人	100人以上	無回答	計
平成16年度	回答数	14	27	49	127	5	222
	回答率	1.8%	3.5%	6.4%	16.5%	0.6%	28.8%
平成22年度	回答数	10	7	17	10	0	44
	回答率	2.6%	18.0%	4.5%	2.6%	0.0%	11.6%
平成27年度	回答数	10	18	21	8	0	57
	回答率	2.1%	18.6%	30.4%	33.3%	0.0%	13.3%

表　6-1-6　「ISO14001 認証取得等の従業員規模別回答状況比較」回答状況

ISO14001認証取得等の従業員規模別回答状況を比較すると、大規模事業所（100人以上）の回答状況に差が出ている。大規模事業所の回答状況によって平成27年度と平成22年度の差が生じていると思われる。

問8	（問5で「3　あまり取り組んでいない」「4　全く取り組んでいない」と答えた方のみ） あなたの事業所でごみ減量に取り組んでいないのはなぜですか？ あてはまるものを3つまで選び、番号に○を付けてください。　（複数回答）

「取り組まない理由」は、各年度ともに「ごみが出ない」が最も高く、次いで「一括契約で料金が減らない」となっている。「一括契約で料金が減らない」は平成27年度で平成22年度よりも12.1%増加している。

取り組まない理由		年度	回答数	回答率	平成22年度-平成16年度	平成27年度-平成22年度	平成27年度-平成16年度
1	一括契約で料金が減らない	平成16年度	62	24.7%	-10.1%	12.1%	2.0%
		平成22年度	24	14.6%			
		平成27年度	60	26.7%			
2	処理料金が安く効果がない	平成16年度	8	3.2%	-0.1%	0.1%	-0.1%
		平成22年度	5	3.0%			
		平成27年度	7	3.1%			
3	従業員の協力が得られない	平成16年度	34	13.5%	-8.1%	0.7%	-7.3%
		平成22年度	9	5.5%			
		平成27年度	14	6.2%			
4	ごみが出ない	平成16年度	149	59.4%	15.0%	-10.8%	4.2%
		平成22年度	122	74.4%			
		平成27年度	143	63.6%			
5	事業優先	平成16年度	17	6.8%	-1.9%	0.0%	-1.9%
		平成22年度	8	4.9%			
		平成27年度	11	4.9%			
6	その他	平成16年度	31	12.4%	-2.0%	2.0%	0.0%
		平成22年度	17	10.4%			
		平成27年度	28	12.4%			

表　6-1-7　「全体　年度別　取り組まない理由」　回答状況

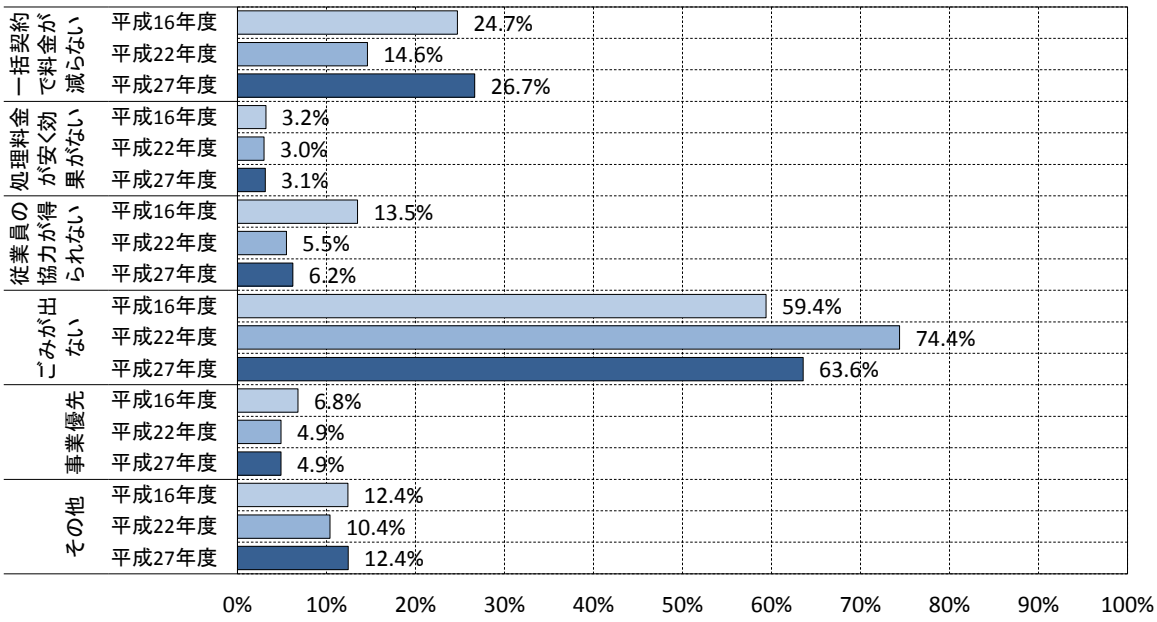


図　6-1-6　「全体　年度別　取り組まない理由」回答率

問9	あなたの事業所から出たごみは誰が管理していますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

「ごみの管理」は、各年度ともに「事業所内の担当が管理」が最も高くなっているが、調査年度ごとに減少傾向となっている。

① 全体

ごみの管理		1 事業所内の担当が管理	2 本社等で一括管理	3 処理委託先が管理	4 建物管理会社が管理	5 その他	99 無回答	計
回答数	平成16年度	675	44	155	32	63	70	1,039
	平成22年度	356	15	50	10	76	50	557
	平成27年度	379	33	76	33	69	77	667
回答率	平成16年度	65.0%	4.2%	14.9%	3.1%	6.1%	6.7%	100%
	平成22年度	63.9%	2.7%	9.0%	1.8%	13.6%	9.0%	100%
	平成27年度	56.8%	5.0%	11.4%	5.0%	10.3%	11.5%	100%
回答率差（平成22年度－平成16年度）		-1.1%	-1.5%	-5.9%	-1.3%	7.6%	2.2%	
回答率差（平成27年度－平成22年度）		-7.1%	2.3%	2.4%	3.2%	-3.3%	2.5%	
回答率差（平成27年度－平成16年度）		-8.2%	0.8%	-3.5%	1.9%	4.2%	4.8%	

表　6-1-8　「全体　年度別　ごみの管理」回答状況

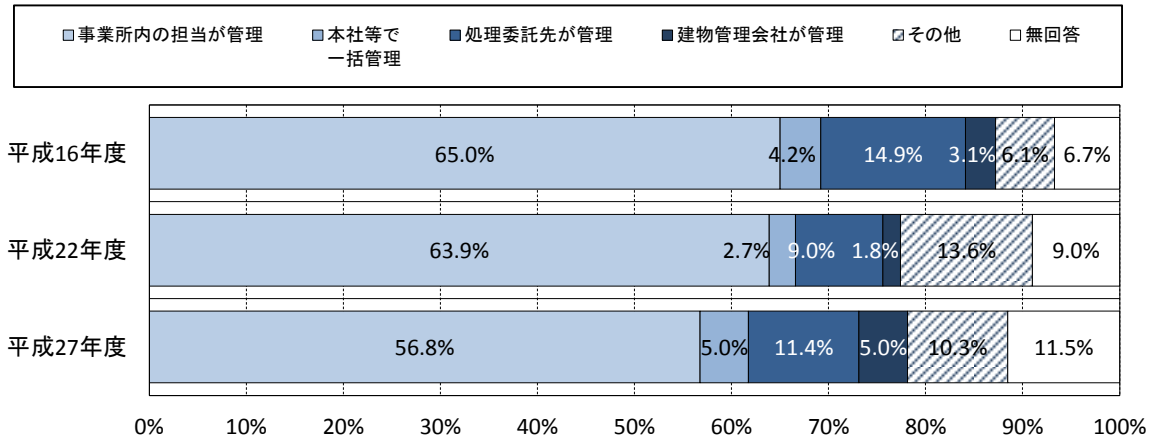


図　6-1-7　「全体　年度別　ごみの管理」回答率

② 業種別

業種別「ごみの管理」は、各年度ともに全ての業種で「事業所内の担当が管理」が最も高くなっている。平成27年度と平成22年度・平成16年度の比較では、「運輸・情報通信業」の「事業所内の担当が管理」が大きく減少し、他の管理が増加している。

業種別：ごみの管理（回答率）		年度	1 事業所内の担当が管理	2 本社等で一括管理	3 処理委託先が管理	4 建物管理会社が管理	5 その他	6 無回答	計
1	農林漁業	平成16年度	69.6%	2.2%	4.3%	0.0%	15.2%	8.7%	100%
		平成22年度	70.0%	6.7%	0.0%	0.0%	10.0%	13.3%	100%
		平成27年度	62.5%	0.0%	4.2%	0.0%	12.5%	20.8%	100%
2	建設業	平成16年度	70.9%	8.9%	12.7%	1.3%	3.8%	2.4%	100%
		平成22年度	73.1%	1.5%	6.0%	1.5%	10.4%	7.5%	100%
		平成27年度	65.0%	6.0%	14.0%	5.0%	6.0%	4.0%	100%
3	製造業	平成16年度	74.9%	2.3%	13.5%	1.5%	1.5%	6.3%	100%
		平成22年度	66.2%	2.6%	7.8%	0.0%	9.1%	14.3%	100%
		平成27年度	68.2%	5.0%	11.0%	0.0%	5.9%	10.6%	101%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	平成16年度	60.0%	6.7%	26.7%	0.0%	0.0%	6.6%	100%
		平成22年度	65.0%	0.0%	7.5%	0.0%	15.0%	12.5%	100%
		平成27年度	56.0%	4.0%	20.0%	0.0%	4.0%	16.0%	100%
5	運輸・情報通信業	平成16年度	69.8%	5.7%	17.0%	5.7%	0.0%	1.8%	100%
		平成22年度	76.9%	3.8%	11.7%	0.0%	3.8%	3.8%	100%
		平成27年度	43.2%	11.0%	18.9%	13.5%	5.4%	8.0%	100%
6	卸売・小売業・宿泊業・飲食店	平成16年度	52.2%	2.2%	23.9%	5.2%	7.5%	9.0%	100%
		平成22年度	55.3%	4.3%	17.0%	3.2%	16.0%	4.2%	100%
		平成27年度	46.6%	5.1%	15.3%	5.9%	12.7%	14.4%	100%
7	金融・保険・不動産業	平成16年度	56.7%	6.0%	14.9%	7.5%	7.5%	7.4%	100%
		平成22年度	51.5%	3.0%	12.1%	9.1%	15.2%	9.1%	100%
		平成27年度	67.0%	2.3%	7.0%	5.0%	4.7%	14.0%	100%
8	サービス業	平成16年度	66.4%	5.5%	12.3%	3.2%	7.5%	5.1%	100%
		平成22年度	65.5%	1.4%	8.5%	1.4%	15.5%	7.7%	100%
		平成27年度	54.0%	5.0%	11.0%	6.0%	14.0%	10.0%	100%
9	その他	平成16年度	59.3%	1.9%	14.8%	7.4%	11.1%	5.5%	100%
		平成22年度	60.6%	6.1%	3.0%	3.0%	18.2%	9.1%	100%
		平成27年度	57.6%	4.5%	3.0%	7.6%	12.1%	15.2%	100%
全体		平成16年度	65.0%	4.2%	14.9%	3.1%	6.1%	6.7%	100%
		平成22年度	63.9%	2.7%	9.0%	1.8%	13.6%	9.0%	100%
		平成27年度	56.8%	5.1%	11.6%	5.1%	10.1%	11.3%	100%

表 6-1-9 「業種別 年度別 ごみの管理」回答率

業種別ごみの管理 平成27年度-平成22年度	事業所内の担当が管理	本社等で一括管理	処理委託先が管理	建物管理会社が管理	その他	無回答
農林漁業	-7.5%	-6.7%	4.2%	0.0%	2.5%	7.5%
建設業	-8.1%	4.5%	8.0%	3.5%	-4.4%	-3.5%
製造業	2.0%	2.4%	3.2%	0.0%	-3.2%	-3.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	-9.0%	4.0%	12.5%	0.0%	-11.0%	3.5%
運輸・情報通信業	-33.7%	7.2%	7.2%	13.5%	1.6%	4.2%
卸売・小売業・宿泊業・飲食店	-8.7%	0.8%	-1.7%	2.7%	-3.3%	10.2%
金融・保険・不動産業	15.5%	-0.7%	-5.1%	-4.1%	-10.5%	4.9%
サービス業	-11.5%	3.6%	2.5%	4.6%	-1.5%	2.3%
その他	-3.0%	-1.6%	0.0%	4.6%	-6.1%	6.1%

表 6-1-10 「業種別 平成27年度-平成22年度 ごみの管理」回答率差

6-2　あなたの事業所から出る事業系ごみ（事業系一般廃棄物）について

問10	あなたの事業所ではごみはどのように処理していますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

①　全体

「ごみの処理」の全体では、平成16年度は「業者委託」が48.6%と最も高く、平成22年度は「ごみ集積所に排出」が38.3%と最も高くなっている。平成27年度は「業者委託」が37.2%で最も高い結果となったが、平成27年度の調査の方が、小規模事業者の回答数が多いことが要因と考えられる。

ごみの処理		1 業者委託	2 市町 処理施設 に持ち込み	3 本社等で 一括処理	4 ごみ集積所 に排出	5 その他	99 無回答	計
回答数	平成16年度	505	141	43	255	49	46	1,039
	平成22年度	189	89	21	216	35	7	557
	平成27年度	248	87	48	213	41	30	667
回答率	平成16年度	48.6%	13.6%	4.1%	24.5%	4.7%	4.5%	100%
	平成22年度	33.9%	16.0%	3.8%	38.8%	6.3%	1.2%	100%
	平成27年度	37.2%	13.0%	7.2%	32.0%	6.1%	4.5%	100%
回答率差（平成22年度－平成16年度）		-14.7%	2.4%	-0.4%	14.2%	1.6%	-3.2%	
回答率差（平成27年度－平成22年度）		3.3%	-3.0%	3.4%	-6.8%	-0.2%	3.3%	
回答率差（平成27年度－平成16年度）		-11.4%	-0.6%	3.1%	7.5%	1.4%	0.0%	

表　6-2-1　「全体　年度別　ごみの処理」回答状況

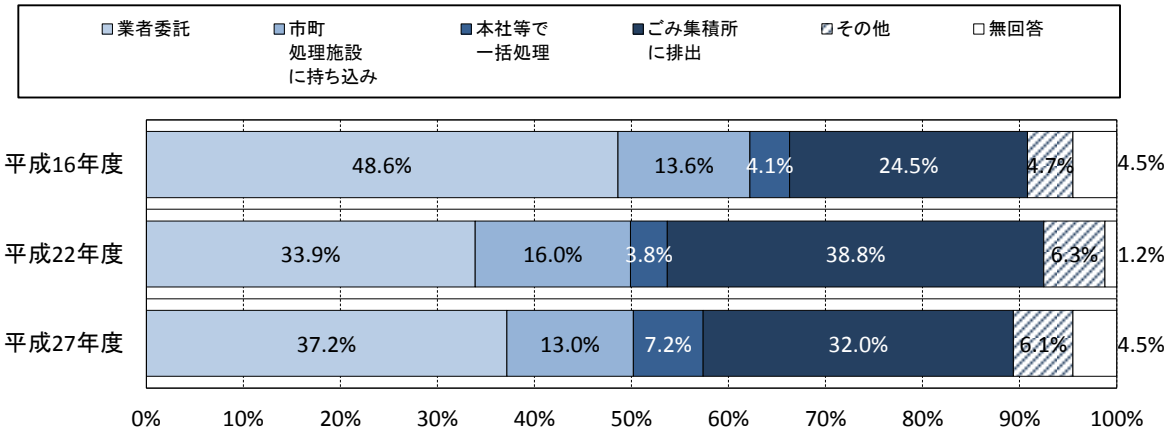


図　6-2-1　「全体　年度別　ごみの処理」回答率

ごみ処理の「業者委託」、「ごみ集積所に排出」の従業員規模別比較

ごみの処理	年度	項目	1～9人	10～29人	30～99人	100人以上	無回答	計
業者委託	平成16年度	回答数	52	94	127	213	19	505
		回答率	5.0%	9.0%	12.2%	20.5%	1.9%	48.6%
	平成22年度	回答数	76	48	41	22	2	189
		回答率	13.6%	8.6%	7.4%	3.9%	0.4%	33.9%
	平成27年度	回答数	123	53	52	18	2	248
		回答率	18.4%	7.9%	7.8%	2.7%	0.4%	37.2%
ごみ集積所に排出	平成16年度	回答数	162	55	21	2	15	255
		回答率	15.6%	5.3%	2.0%	0.2%	1.4%	24.5%
	平成22年度	回答数	185	20	2	0	9	216
		回答率	33.2%	3.6%	0.4%	0.0%	1.6%	38.8%
	平成27年度	回答数	191	15	6	1	0	213
		回答率	28.6%	2.3%	0.9%	0.1%	0.0%	31.9%

表　6-2-2　『ごみの処理の「業者委託」、「ごみ集積所に排出」』　従業員規模別回答状況

ごみ処理の「業者委託」、「ごみ集積所に排出」の従業員規模別回答状況は、「業者委託」では大規模事業所、「ごみ集積所に排出」では小規模事業所に差がでている。

②　業種別

「ごみの処理」の業種別では、「業者委託」は「建設業」、「金融・保険・不動産業」で各年度対比で増加している。
「ごみ集積所に排出」については、平成22年度と比較し、平成27年度は全ての業種が減少している。

業種 ごみの処理別回答		年度	1 業者委託	2 市町処理施設に持ち込み	3 本社等で一括処理	4 ごみ集積所に排出	5 その他	6 無回答	計
1	農林漁業	平成16年度	23.9%	19.6%	2.2%	37.0%	15.2%	2.1%	100%
		平成22年度	20.0%	20.0%	3.3%	43.3%	13.4%	0.0%	100%
		平成27年度	12.5%	25.0%	8.3%	37.5%	4.2%	12.5%	100%
2	建設業	平成16年度	34.2%	16.5%	3.8%	30.4%	6.3%	8.8%	100%
		平成22年度	37.3%	16.4%	6.0%	34.3%	4.5%	1.5%	100%
		平成27年度	43.8%	18.8%	2.5%	28.8%	2.5%	3.8%	100%
3	製造業	平成16年度	71.8%	11.2%	2.7%	7.7%	3.1%	3.5%	100%
		平成22年度	46.8%	15.6%	5.2%	26.0%	6.4%	0.0%	100%
		平成27年度	47.1%	16.0%	3.5%	22.0%	9.4%	1.2%	99%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	平成16年度	46.7%	13.3%	16.7%	23.3%	0.0%	0.0%	100%
		平成22年度	65.0%	12.5%	0.0%	15.0%	5.0%	2.5%	100%
		平成27年度	52.0%	16.0%	16.0%	12.0%	0.0%	4.0%	100%
5	運輸・情報通信業	平成16年度	62.3%	13.2%	5.7%	17.0%	1.8%	0.0%	100%
		平成22年度	38.5%	15.4%	11.5%	34.6%	0.0%	0.0%	100%
		平成27年度	51.4%	5.4%	13.5%	18.9%	2.7%	8.1%	100%
6	卸売・小売業・宿泊業・飲食店	平成16年度	48.5%	12.7%	3.7%	29.9%	3.0%	2.2%	100%
		平成22年度	31.9%	13.8%	3.2%	47.9%	2.1%	1.1%	100%
		平成27年度	36.4%	10.2%	7.6%	34.7%	6.0%	5.1%	100%
7	金融・保険・不動産業	平成16年度	38.8%	10.4%	9.0%	29.9%	6.0%	5.9%	100%
		平成22年度	27.3%	9.1%	6.1%	45.5%	12.0%	0.0%	100%
		平成27年度	41.9%	14.0%	7.0%	20.9%	4.7%	11.6%	100%

表　6-2-3（1/2）　「業種別　年度　ごみの処理」回答率

業種 ごみの 処理別回答		年度	1 業者委託	2 市町 処理施設 に持ち込み	3 本社等で 一括処理	4 ごみ集積所 に排出	5 その他	6 無回答	計
8	サービス業	平成16年度	41.5%	13.0%	4.0%	31.6%	5.5%	4.4%	100%
		平成22年度	28.2%	19.0%	1.4%	46.5%	4.9%	0.0%	100%
		平成27年度	32.6%	9.7%	7.0%	43.0%	6.0%	1.7%	100%
9	その他	平成16年度	25.9%	20.4%	3.7%	37.0%	7.4%	5.6%	100%
		平成22年度	12.1%	21.2%	6.1%	36.4%	21.2%	3.0%	100%
		平成27年度	28.8%	15.2%	10.6%	31.8%	12.1%	1.5%	100%
全体		平成16年度	48.6%	13.6%	4.1%	24.5%	4.7%	4.5%	100%
		平成22年度	33.9%	16.0%	3.8%	38.8%	6.3%	1.2%	100%
		平成27年度	37.8%	13.2%	7.2%	31.7%	6.1%	4.0%	100%

表　6-2-3（2/2）　「業種別　年度　ごみの処理」回答率

問11	（問10で「1　収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ） 収集運搬業者との契約では、収集は週何回くらいですか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

①　全体

「ごみの収集回数」は全体では、各年度ともに「週1回以下」が最も高くなっている。また週3回以上の収集は、調査年度ごとに減少傾向にある。

ごみの収集回数		1 週1回以下	2 週2回	3 週3回	4 週4回	5 週5回	6 週6回	7 その他	99 無回答	計
回答数	平成16年度	159	84	52	12	71	67	48	12	505
	平成22年度	96	27	11	3	14	16	18	4	189
	平成27年度	100	44	22	4	15	32	13	18	248
回答率	平成16年度	31.5%	16.6%	10.3%	2.4%	14.1%	13.3%	9.5%	2.3%	100%
	平成22年度	50.8%	14.3%	5.8%	1.6%	7.4%	8.5%	9.5%	2.1%	100%
	平成27年度	40.3%	17.7%	8.9%	1.6%	6.0%	13.0%	5.2%	7.3%	100%
回答率差（平成22年度－平成16年度）		19.3%	-2.3%	-4.5%	-0.8%	-6.7%	-4.8%	0.0%	-0.3%	
回答率差（平成27年度－平成22年度）		-10.5%	3.4%	3.1%	0.0%	-1.4%	4.5%	-4.3%	5.2%	
回答率差（平成27年度－平成16年度）		8.8%	1.1%	-1.4%	-0.8%	-8.1%	-0.3%	-4.3%	5.0%	

表　6-2-6　「全体　年度別　ごみの収集回数」回答状況

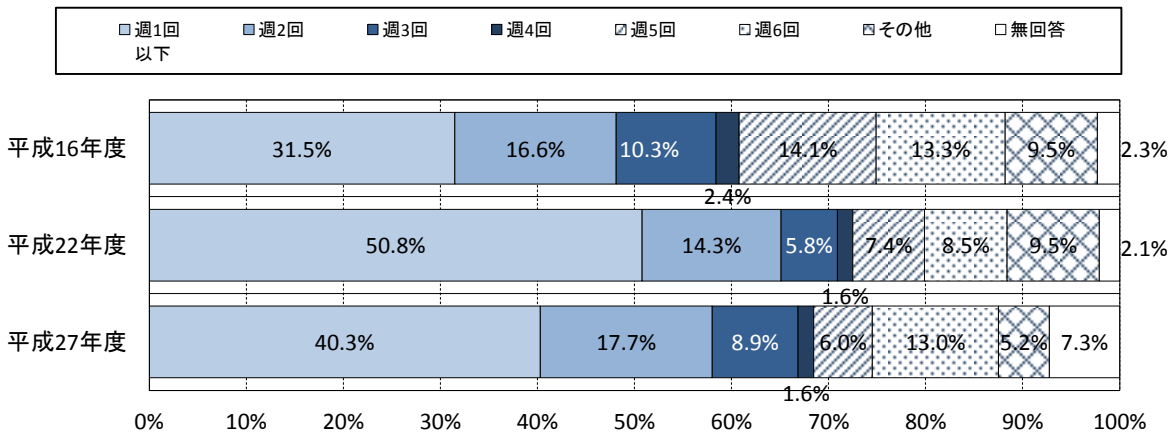


図　6-2-2　「全体　年度別　ごみの収集回数」回答率

② 業種別

「ごみの収集回数」の業種別では、「週1回以下」が「農林漁業」、「製造業」で調査年度ごとに増加している。

業種別 ごみの 収集回数		年度	1 週1回 以下	2 週2回	3 週3回	4 週4回	5 週5回	6 週6回	7 その他	8 無回答	計
1	農林漁業	平成16年度	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%	18.2%	18.2%	9.0%	100%
		平成22年度	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.4%	0.0%	100%
		平成27年度	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
2	建設業	平成16年度	74.1%	3.7%	7.4%	0.0%	3.7%	3.7%	7.4%	0.0%	100%
		平成22年度	80.0%	8.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%	4.0%	100%
		平成27年度	62.9%	5.7%	0.0%	5.7%	0.0%	2.9%	11.4%	11.4%	100%
3	製造業	平成16年度	36.0%	20.4%	9.7%	3.2%	18.8%	4.8%	5.9%	1.2%	100%
		平成22年度	52.8%	16.7%	11.1%	0.0%	5.6%	2.8%	5.6%	5.4%	100%
		平成27年度	52.5%	27.5%	2.5%	0.0%	7.5%	5.0%	0.0%	5.0%	100%
4	電気・ ガス・ 熱供給・ 水道業	平成16年度	57.1%	21.4%	7.1%	0.0%	14.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
		平成22年度	61.5%	11.5%	11.5%	0.0%	15.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
		平成27年度	53.8%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	100%
5	運輸・ 情報通信 業	平成16年度	36.4%	24.2%	18.2%	0.0%	6.1%	6.1%	6.1%	2.9%	100%
		平成22年度	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100%
		平成27年度	42.1%	26.3%	10.5%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	10.5%	100%
6	卸売・ 小売業・ 宿泊業・ 飲食店	平成16年度	18.5%	7.7%	6.2%	1.5%	10.8%	36.9%	16.9%	1.5%	100%
		平成22年度	10.0%	13.3%	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	26.7%	0.0%	100%
		平成27年度	20.0%	12.5%	5.0%	0.0%	7.5%	45.0%	10.0%	0.0%	100%
7	金融・ 保険・ 不動産業	平成16年度	38.5%	7.7%	15.4%	3.8%	11.5%	3.8%	15.4%	3.9%	100%
		平成22年度	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
		平成27年度	47.0%	29.4%	5.9%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%	100%
8	サービス 業	平成16年度	17.1%	20.0%	9.5%	3.8%	13.3%	22.9%	9.5%	3.9%	100%
		平成22年度	55.0%	15.0%	0.0%	5.0%	7.5%	7.5%	10.0%	0.0%	100%
		平成27年度	35.1%	14.0%	17.5%	0.0%	8.8%	15.8%	3.5%	5.3%	100%
9	その他	平成16年度	43.0%	0.0%	21.4%	0.0%	21.4%	7.1%	7.1%	0.0%	100%
		平成22年度	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
		平成27年度	22.2%	27.8%	22.2%	0.0%	11.1%	5.6%	11.1%	0.0%	100%
全体		平成16年度	31.5%	16.6%	10.3%	2.4%	14.1%	13.3%	9.5%	2.3%	100%
		平成22年度	50.8%	14.3%	5.8%	1.6%	7.4%	8.5%	9.5%	2.1%	100%
		平成27年度	40.9%	18.2%	9.0%	1.7%	6.2%	13.6%	5.4%	5.0%	100%

表 6-2-7 「業種別 年度別 ごみの収集回数」回答率

問12	（問10で「1　収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ） あなたの事業所では、ひと月あたりのごみ処理費はどのくらいですか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

①　全体

「ごみの処理費用」は全体では、各年度ともに「1万～3万円未満」が最も高い。全体的には減少傾向にあるが、小規模事業者の回答数が増えたことが要因と考えられる。

ごみの処理費用		1 千円未満	2 千～5千円未満	3 5千～1万円未満	4 1万～3万円未満	5 3万～5万円未満	6 5万～10万円未満	7 10万～30万円未満	8 30万円以上	99 無回答	計
回答数	平成16年度	11	23	29	107	75	89	97	46	28	505
	平成22年度	11	20	25	47	40	21	7	7	11	189
	平成27年度	13	23	39	74	35	18	15	0	31	248
回答率	平成16年度	2.2%	4.6%	5.7%	21.2%	14.9%	17.6%	19.2%	9.1%	5.5%	100%
	平成22年度	5.8%	10.6%	13.2%	24.9%	21.2%	11.1%	3.7%	3.7%	5.8%	100%
	平成27年度	5.2%	9.0%	15.7%	29.8%	14.0%	7.3%	6.0%	0.0%	13.0%	100%
回答率差（平成22年度－平成16年度）		3.6%	6.0%	7.5%	3.7%	6.3%	-6.5%	-15.5%	-5.4%	0.3%	
回答率差（平成27年度－平成22年度）		-0.6%	-1.6%	2.5%	4.9%	-7.2%	-3.8%	2.3%	-3.7%	7.2%	
回答率差（平成27年度－平成16年度）		3.0%	4.4%	10.0%	8.6%	-0.9%	-10.3%	-13.2%	-9.1%	7.5%	

表　6-2-10　「全体　年度別　ごみの処理費用」回答状況

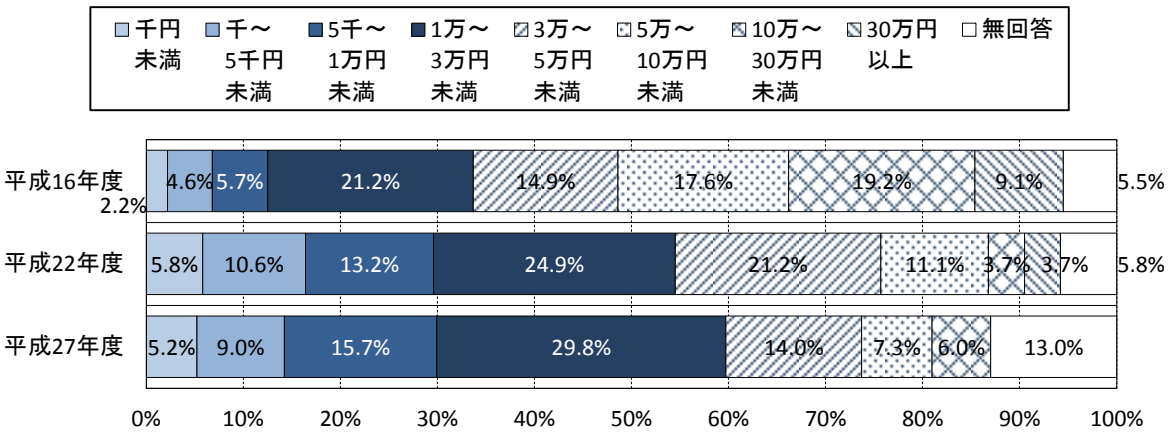


図　6-2-3　「全体　年度別　ごみの処理費用」回答率

② 業種別

「ごみの処理費用」の業種別では、全体的に処理費用が減少傾向にあり、業種による偏りはあまりみられない。

業種別ごみの処理費用		年度	1 千円未満	2 千～5千円未満	3 5千～1万円未満	4 1万～3万円未満	5 3万～5万円未満	6 5万～10万円未満	7 10万～30万円未満	8 30万円以上	9 無回答	計
1	農林漁業	平成16年度	0.0%	9.1%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	9.0%	100%
		平成22年度	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	100%
		平成27年度	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
2	建設業	平成16年度	0.0%	11.1%	11.1%	29.6%	14.8%	22.2%	7.4%	3.8%	0.0%	100%
		平成22年度	4.2%	20.8%	20.8%	33.3%	12.5%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	100%
		平成27年度	8.6%	14.3%	17.1%	34.3%	8.6%	5.7%	0.0%	0.0%	11.4%	100%
3	製造業	平成16年度	2.7%	4.8%	3.8%	12.4%	16.7%	19.9%	25.8%	11.8%	2.1%	100%
		平成22年度	5.6%	5.6%	11.1%	22.2%	16.7%	19.4%	11.1%	2.8%	5.5%	100%
		平成27年度	12.5%	17.5%	2.5%	20.0%	15.0%	12.5%	12.5%	0.0%	7.5%	100%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	平成16年度	0.0%	7.1%	7.1%	28.6%	0.0%	7.1%	21.4%	7.1%	21.6%	100%
		平成22年度	3.8%	0.0%	3.8%	15.4%	69.2%	3.8%	0.0%	0.0%	4.0%	100%
		平成27年度	7.7%	7.7%	7.7%	30.8%	23.0%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	100%
5	運輸・情報通信業	平成16年度	3.0%	12.1%	6.1%	39.4%	12.1%	12.1%	9.1%	3.0%	3.1%	100%
		平成22年度	10.0%	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	100%
		平成27年度	11.0%	0.0%	26.0%	26.0%	10.5%	0.0%	16.0%	0.0%	10.5%	100%
6	卸売・小売業・宿泊業・飲食店	平成16年度	3.1%	0.0%	3.1%	30.8%	16.9%	10.8%	13.8%	13.8%	7.7%	100%
		平成22年度	0.0%	10.0%	6.7%	40.0%	10.0%	20.0%	0.0%	10.0%	3.3%	100%
		平成27年度	0.0%	2.3%	18.6%	39.5%	18.6%	4.7%	4.7%	0.0%	11.6%	100%
7	金融・保険・不動産業	平成16年度	0.0%	0.0%	19.2%	15.4%	15.4%	26.9%	11.5%	7.7%	3.9%	100%
		平成22年度	0.0%	22.2%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.2%	100%
		平成27年度	0.0%	0.0%	16.7%	44.4%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	22.2%	100%
8	サービス業	平成16年度	1.0%	2.9%	6.7%	23.8%	13.3%	20.0%	21.0%	7.6%	3.7%	100%
		平成22年度	15.0%	12.5%	15.0%	22.5%	12.5%	10.0%	5.0%	5.0%	2.5%	100%
		平成27年度	3.5%	14.0%	15.8%	26.3%	12.3%	8.8%	3.5%	0.0%	15.8%	100%
9	その他	平成16年度	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	14.3%	7.1%	14.3%	0.0%	35.8%	100%
		平成22年度	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100%
		平成27年度	0.0%	0.0%	26.3%	21.1%	15.8%	5.3%	10.5%	0.0%	21.0%	100%
全体		平成16年度	2.2%	4.6%	5.7%	21.2%	14.9%	17.6%	19.2%	9.1%	5.5%	100%
		平成22年度	5.8%	10.6%	13.2%	24.9%	21.2%	11.1%	3.7%	3.7%	5.8%	100%
		平成27年度	5.3%	9.3%	15.8%	29.6%	14.0%	7.3%	6.1%	0.0%	12.6%	100%

表 6-2-11 「業種別 年度別 ごみの処理費用」回答率

問13	（問10で「1　収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ） ごみの処理料金はどのように決めていますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

①　全体

「ごみの処理料金」は全体では、各年度ともに「月額・年額制度」が最も高くなっている。調査年度ごとに「一定量同額、それ以上は従量制」が増加傾向にあり、「従量制」が減少傾向となっている。

ごみ処理料金の決め方		1 従量制	2 一定量同額、それ以上は従量制	3 月額・年額制	4 その他	99 無回答	計
回答数	平成16年度	148	75	227	36	19	505
	平成22年度	64	34	77	9	5	189
	平成27年度	60	58	105	12	13	248
回答率	平成16年度	29.3%	14.9%	45.0%	7.1%	3.7%	100%
	平成22年度	33.9%	18.0%	40.7%	4.8%	2.6%	100%
	平成27年度	24.2%	23.4%	42.3%	4.8%	5.3%	100%
回答率差（平成22年度－平成16年度）		4.6%	3.1%	-4.2%	-2.4%	-1.1%	
回答率差（平成27年度－平成22年度）		-9.7%	5.4%	1.6%	0.0%	2.7%	
回答率差（平成27年度－平成16年度）		-5.1%	8.5%	-2.7%	-2.3%	1.6%	

表　6-2-14　「全体　年度別　ごみの処理料金」回答状況

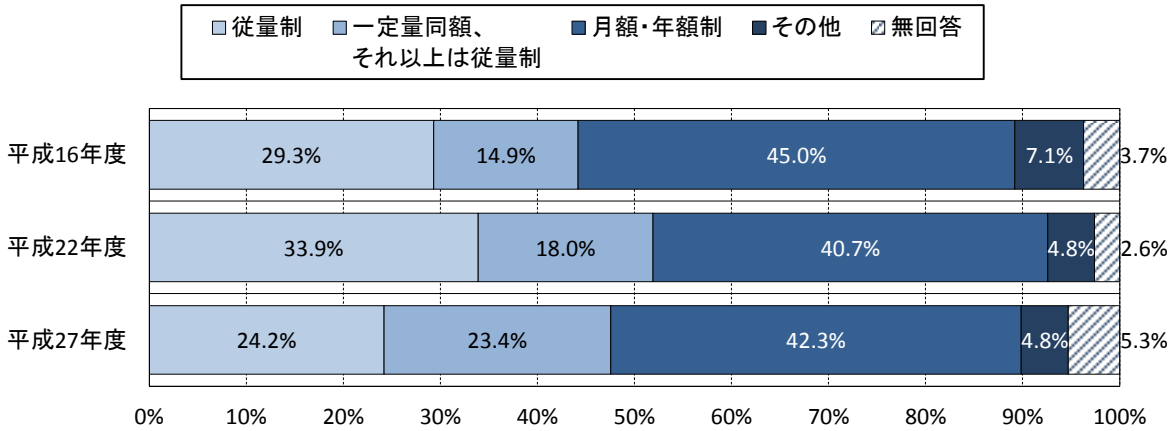


図　6-2-4　「全体　年度別　ごみの処理料金」回答率

② 業種別

「ごみの処理料金」の業種別では、調査年度ごとに「建設業」の「従量制」と「運輸・情報通信業」の「月額・年額制」が増加傾向となっている。

業種 ごみの処理料金		年度	1 従量制	2 一定量同額 それ以上は 従量制	3 月額・ 年額制	4 その他	5 無回答	計
1	農林漁業	平成16年度	27.3%	0.0%	54.5%	9.1%	9.1%	100%
		平成22年度	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
		平成27年度	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100%
2	建設業	平成16年度	40.7%	33.3%	22.2%	3.8%	0.0%	100%
		平成22年度	44.0%	32.0%	16.0%	4.0%	4.0%	100%
		平成27年度	51.0%	23.0%	14.0%	9.0%	3.0%	100%
3	製造業	平成16年度	40.9%	12.4%	34.9%	10.2%	1.6%	100%
		平成22年度	47.2%	19.4%	25.0%	5.6%	2.8%	100%
		平成27年度	35.0%	30.0%	32.5%	2.5%	0.0%	100%
4	電気・ガス 熱供給・水道業	平成16年度	35.7%	0.0%	50.0%	14.3%	0.0%	100%
		平成22年度	15.4%	11.5%	61.5%	11.6%	0.0%	100%
		平成27年度	7.7%	38.5%	53.8%	0.0%	0.0%	100%
5	運輸 情報通信業	平成16年度	18.2%	39.4%	36.4%	3.0%	3.0%	100%
		平成22年度	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%	10.0%	100%
		平成27年度	15.8%	26.3%	47.4%	0.0%	10.5%	100%
6	卸売・小売業 宿泊業・飲食店	平成16年度	12.3%	13.8%	61.5%	6.2%	6.2%	100%
		平成22年度	13.3%	10.0%	70.0%	3.3%	3.4%	100%
		平成27年度	11.6%	20.9%	58.1%	4.7%	4.7%	100%
7	金融・保険 不動産業	平成16年度	11.5%	3.8%	73.1%	3.8%	7.8%	100%
		平成22年度	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	100%
		平成27年度	16.7%	16.7%	55.6%	5.6%	5.4%	100%
8	サービス業	平成16年度	24.8%	14.3%	52.4%	4.8%	3.7%	100%
		平成22年度	50.0%	12.5%	30.0%	5.0%	2.5%	100%
		平成27年度	22.8%	24.6%	38.6%	5.0%	9.0%	100%
9	その他	平成16年度	21.4%	0.0%	50.0%	7.1%	21.5%	100%
		平成22年度	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100%
		平成27年度	15.8%	0.0%	63.2%	10.5%	10.5%	100%
全体		平成16年度	29.3%	14.9%	45.0%	7.1%	3.7%	100%
		平成22年度	33.9%	18.0%	40.7%	4.8%	2.6%	100%
		平成27年度	24.3%	23.5%	42.0%	4.9%	5.4%	100%

表 6-2-15 「業種別 年度 ごみの処理料金」回答率

問14	（問10で「4　地域のごみ集積所に出している」と答えた方のみ） 収集運搬業者にごみ処理を委託せず、地域のごみ集積所に出すのはなぜですか？ あてはまるものを2つまで選び番号に○を付けてください。　（複数回答）

「地域のごみ集積所に出している理由」は全体では、各年度ともに「ごみが少ないため」が最も高く、次いで「市町が収集してくれるため」となっている。

地域のごみ集積所に出している理由		年度	回答数	回答率
1	ごみが少ないため	平成16年度	189	74.1%
		平成22年度	163	75.5%
		平成27年度	162	76.1%
2	量が少なく業者が取りに来てくれないため	平成16年度	17	6.7%
		平成22年度	14	6.5%
		平成27年度	12	5.6%
3	委託は経費負担が大きいため	平成16年度	11	4.3%
		平成22年度	3	1.4%
		平成27年度	4	1.9%
4	家庭系・事業系の区分に手間がかかるため	平成16年度	5	2.0%
		平成22年度	6	2.8%
		平成27年度	8	3.8%
5	市町が収集してくれるため	平成16年度	92	36.1%
		平成22年度	83	38.4%
		平成27年度	81	38.0%
6	その他	平成16年度	16	6.3%
		平成22年度	8	3.7%
		平成27年度	13	6.1%

表　6-2-18　「年度別　地域のごみ集積所に出している理由」回答状況

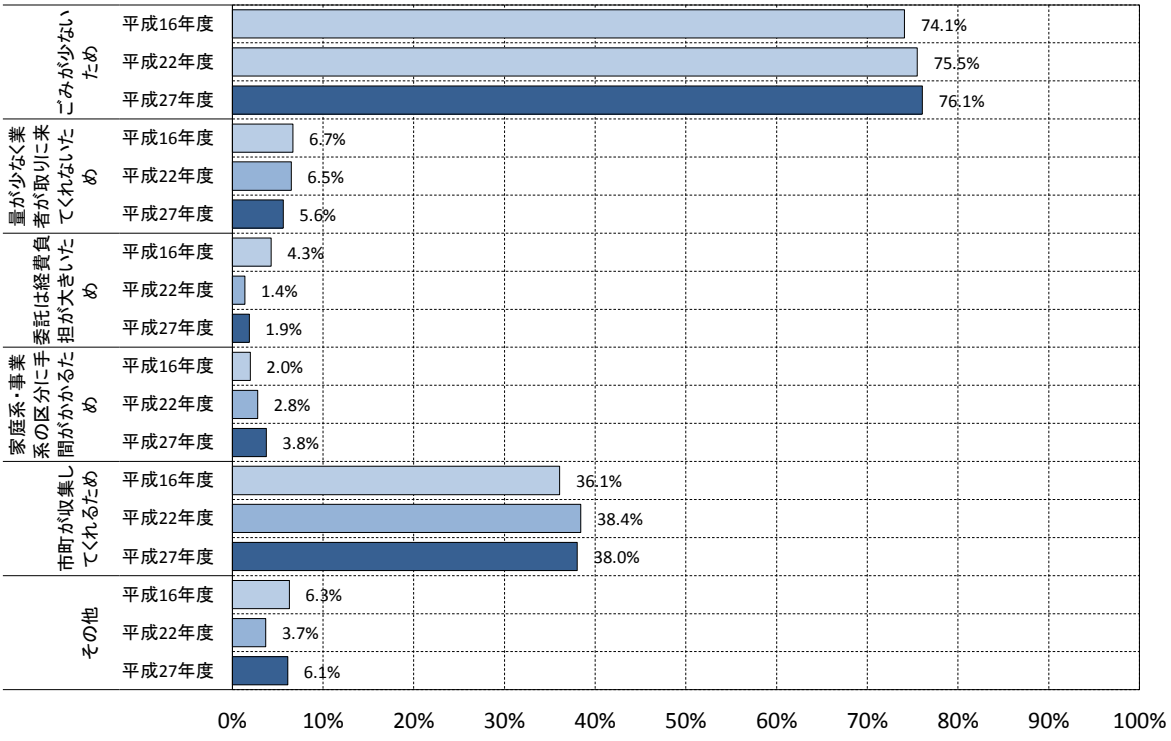


図　6-2-5　「年度別　地域のごみ集積所に出している理由」回答率

6-3　今後の方策や意向について

問18	今後あなたの事業所で特に減らしたいと考えているごみは何ですか？ あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。　（複数回答）

「減らしたいごみ」は、各年度ともに「事務用紙」が最も高く、次いで平成16年度・平成22年度は「ダンボール」となっているが、平成27年度は「生ごみ・厨芥類」となっている。また「特になし」は調査年度ごとに増加している。

減らしたいごみ		年度	回答数	回答率
1	生ごみ・厨芥類	平成16年度	170	16.4%
		平成22年度	74	13.3%
		平成27年度	92	13.8%
2	木・草類	平成16年度	39	3.8%
		平成22年度	26	4.7%
		平成27年度	29	4.3%
3	新聞	平成16年度	38	3.7%
		平成22年度	16	2.9%
		平成27年度	18	2.7%
4	ダンボール	平成16年度	199	19.2%
		平成22年度	77	13.8%
		平成27年度	68	10.2%
5	雑誌・書籍	平成16年度	92	8.9%
		平成22年度	43	7.7%
		平成27年度	41	6.1%
6	事務用紙	平成16年度	426	41.0%
		平成22年度	179	32.1%
		平成27年度	227	34.0%
7	その他紙類	平成16年度	177	17.0%
		平成22年度	66	11.8%
		平成27年度	86	12.9%
8	布類・繊維類	平成16年度	30	2.9%
		平成22年度	9	1.6%
		平成27年度	12	1.8%
9	空きびん	平成16年度	66	6.4%
		平成22年度	32	5.7%
		平成27年度	24	3.6%
10	空き缶	平成16年度	106	10.2%
		平成22年度	47	8.4%
		平成27年度	38	5.7%
11	ペットボトル	平成16年度	115	11.1%
		平成22年度	66	11.8%
		平成27年度	66	9.9%
12	その他プラ	平成16年度	184	17.7%
		平成22年度	71	12.7%
		平成27年度	74	11.1%
13	その他	平成16年度	28	2.7%
		平成22年度	26	4.7%
		平成27年度	14	2.1%
14	特になし	平成16年度	139	13.4%
		平成22年度	128	23.0%
		平成27年度	189	28.3%

表　6-3-1　「年度別　減らしたいごみ」回答状況

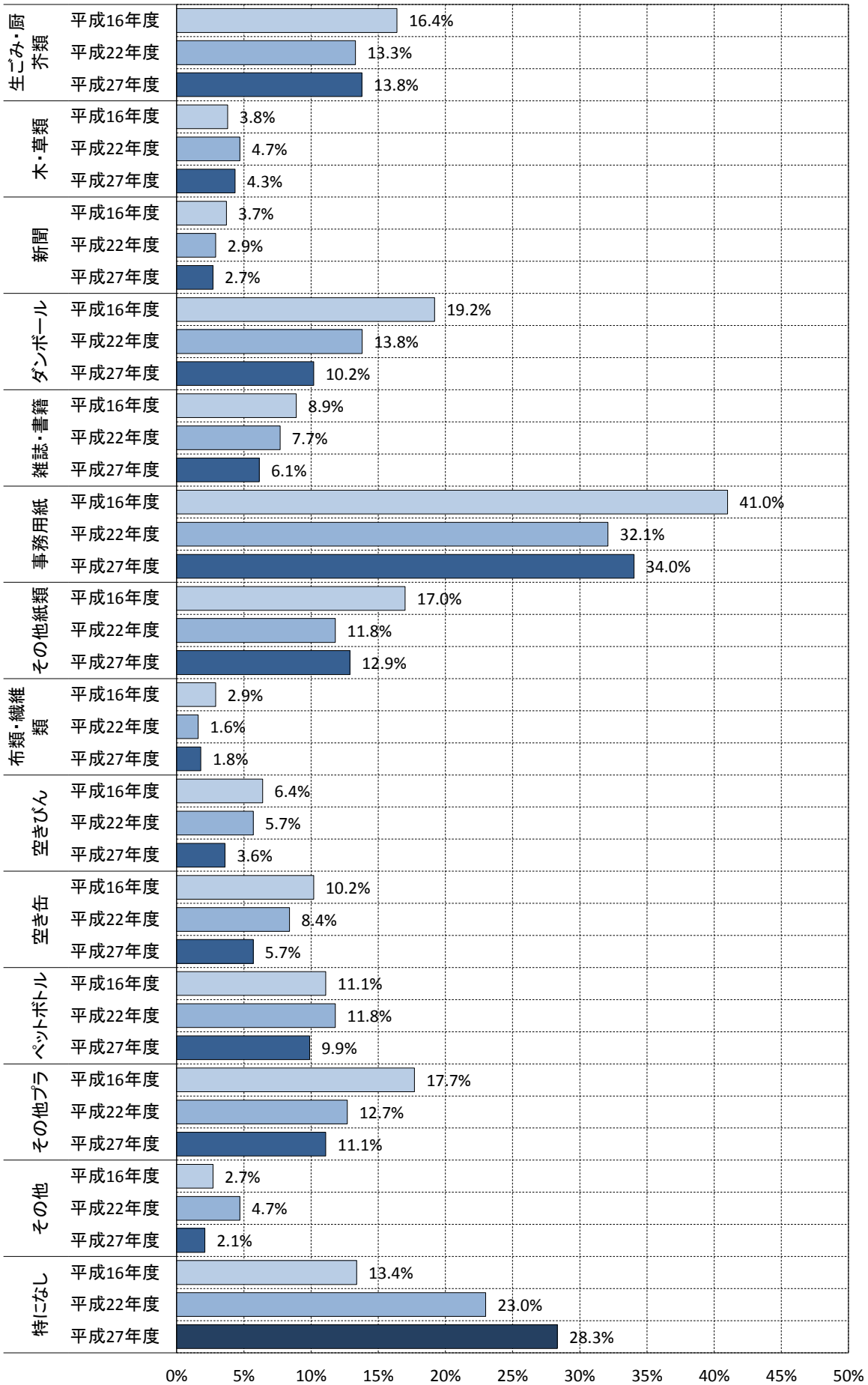


図　6-3-1　「年度別　減らしたいごみ」回答率

問19	あなたの事業所では、ごみの減量目標は定めていますか？ あてはまるものを1つ選び番号に○を付けてください。

① 全体

「ごみの減量目標の設定」は全体では、調査年度ごとに「設定するかどうかは不明」が増加傾向にある。

ごみの削減目標の設定		1 設定済み	2 設定予定あり	3 設定するかどうかは不明	99 無回答	計
回答数	平成16年度	195	176	579	89	1,039
	平成22年度	52	60	380	65	557
	平成27年度	63	60	492	52	667
回答率	平成16年度	18.8%	16.9%	55.7%	8.6%	100%
	平成22年度	9.3%	10.8%	68.2%	11.7%	100%
	平成27年度	9.4%	9.0%	73.8%	7.8%	100%
回答率差（平成27年度－平成16年度）		-9.4%	-7.9%	18.1%	-0.8%	
回答率差（平成27年度－平成22年度）		0.1%	-1.8%	5.6%	-3.9%	

表　6-3-2　「全体　年度別　ごみの減量目標の設定」回答状況

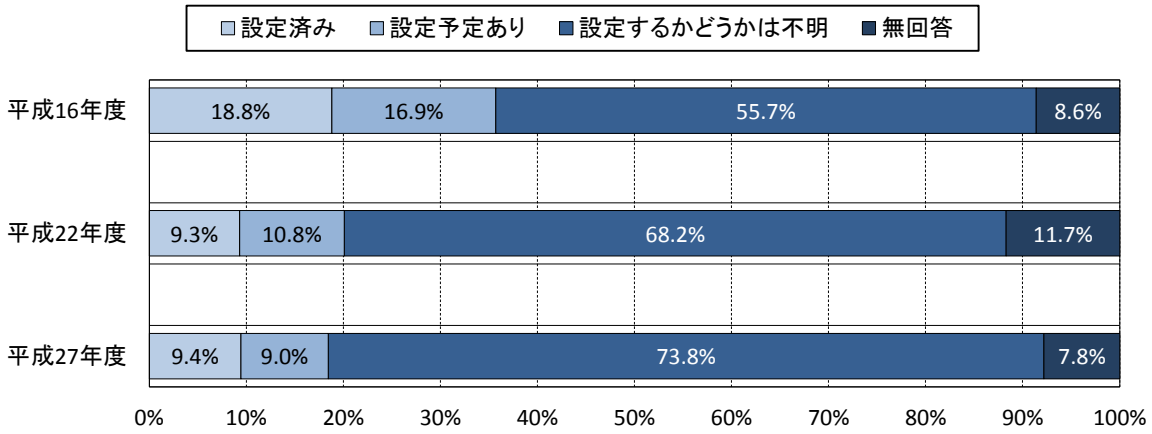


図　6-3-2　「全体　年度別　ごみの減量目標の設定」回答率

② 業種別

「ごみの減量目標の設定」の業種別では、平成16年度から平成22年度で「設定済み」で7業種が減少したが、平成22年度から平成27年度では「卸売・小売業・宿泊業・飲食店」、「サビース業」、「その他」の3業種を除き増加した。

業種 ごみの減量目標の設定		年度	1 設定済み	2 設定予定あり	3 設定は不明	4 無回答	計
1	農林漁業	平成16年度	4.3%	13.0%	73.9%	8.8%	100%
		平成22年度	3.3%	10.0%	70.0%	16.7%	100%
		平成27年度	8.3%	4.2%	79.2%	8.3%	100%
2	建設業	平成16年度	21.5%	16.5%	57.0%	5.0%	100%
		平成22年度	4.5%	14.9%	74.6%	6.0%	100%
		平成27年度	10.0%	10.0%	74.0%	6.0%	100%
3	製造業	平成16年度	38.6%	23.2%	36.7%	1.5%	100%
		平成22年度	14.3%	9.1%	70.1%	6.5%	100%
		平成27年度	20.0%	7.1%	65.9%	7.1%	100%
4	電気・ガス 熱供給・水道業	平成16年度	23.3%	20.0%	56.7%	0.0%	100%
		平成22年度	12.5%	7.5%	47.5%	32.5%	100%
		平成27年度	16.0%	4.0%	72.0%	8.0%	100%
5	運輸 情報通信業	平成16年度	11.3%	26.4%	62.3%	0.0%	100%
		平成22年度	7.7%	19.2%	65.4%	7.7%	100%
		平成27年度	10.8%	13.5%	67.6%	8.1%	100%
6	卸売・小売業 宿泊業・飲食店	平成16年度	11.9%	15.7%	65.7%	6.7%	100%
		平成22年度	9.6%	9.6%	75.5%	5.3%	100%
		平成27年度	5.1%	11.9%	73.7%	9.3%	100%
7	金融・保険 不動産業	平成16年度	6.0%	19.4%	70.1%	4.5%	100%
		平成22年度	6.1%	15.2%	72.7%	6.0%	100%
		平成27年度	7.0%	16.3%	72.0%	4.7%	100%
8	サービス業	平成16年度	12.3%	15.0%	68.4%	4.3%	100%
		平成22年度	9.9%	11.3%	71.8%	7.0%	100%
		平成27年度	7.0%	6.0%	81.0%	6.0%	100%
9	その他	平成16年度	14.8%	7.4%	70.4%	7.4%	100%
		平成22年度	15.2%	3.0%	57.6%	24.2%	100%
		平成27年度	10.6%	7.6%	72.7%	9.1%	100%
全体		平成16年度	18.8%	16.9%	55.7%	8.6%	100%
		平成22年度	9.3%	10.8%	68.2%	11.7%	100%
		平成27年度	9.6%	8.9%	74.1%	7.4%	100%

表 6-3-3 「業種別 年度別 ごみの減量目標の設定」回答率

問20	あなたの事業所では、ごみを減らしたり、リサイクルを進めるに当たってどのような問題がありますか？ あてはまるものを2つまで選び番号に○を付けてください。　（複数回答）

年代別「ごみを減らしたり、リサイクルを進めるに当たっての問題」では、各年度ともに「リサイクルのシステムがつくれない」が最も高く、次いで「減量しても経費削減につながらい」となっている。「減量しても経費削減につながらない」は若干減少傾向にある。

問題点		年度	回答数	回答率
1	具体的方法がわからない	平成16年度	117	11.3%
		平成22年度	53	9.5%
		平成27年度	73	10.9%
2	リサイクルのシステムが作れない	平成16年度	273	26.3%
		平成22年度	195	35.0%
		平成27年度	221	33.1%
3	産業廃棄物の区分が障害	平成16年度	141	13.6%
		平成22年度	54	9.7%
		平成27年度	53	7.9%
4	減量しても経費削減につながらない	平成16年度	200	19.2%
		平成22年度	101	18.1%
		平成27年度	111	16.6%
5	事業系ごみのことがよくわからない	平成16年度	53	5.1%
		平成22年度	26	4.7%
		平成27年度	26	3.9%
6	減量と事業が両立しない	平成16年度	151	14.5%
		平成22年度	75	13.5%
		平成27年度	88	13.2%
7	その他	平成16年度	102	9.8%
		平成22年度	71	12.7%
		平成27年度	68	10.2%

表　6-3-6　「年度別　問題点」　回答状況

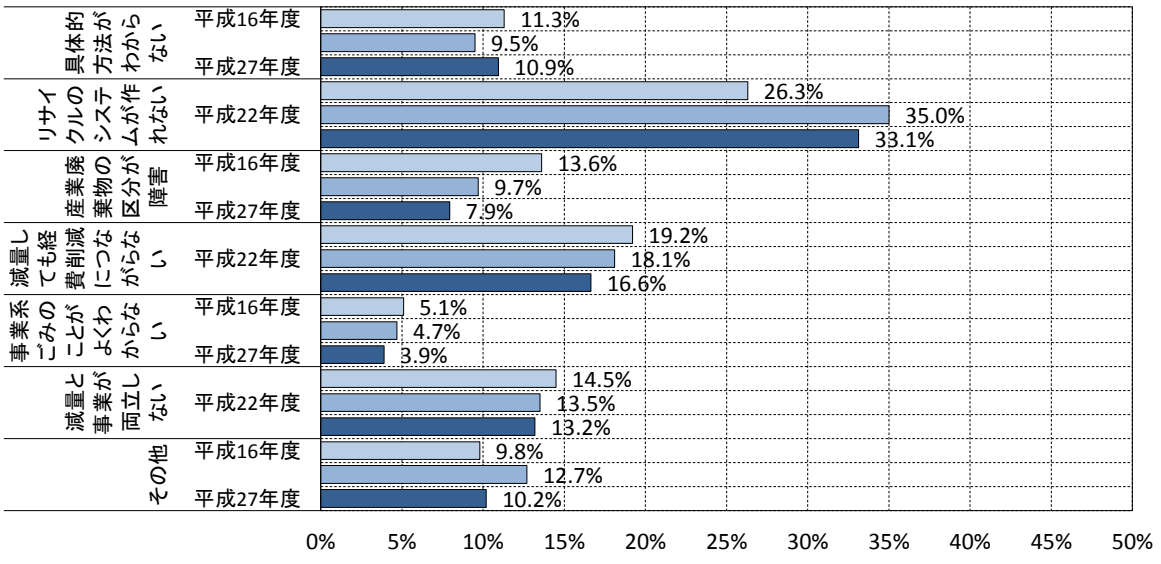


図　6-3-3　「年度別　問題点」回答率

問21	ごみに関する情報を、あなたの事業所はどのような方法で手に入れていますか？ あてはまるものを3つまで選び番号に○を付けてください。　（複数回答）

情報の入手先は、各年度ともに「市町の広報等」が安定して最も高い。調査年度ごとに「市町のホームページ」は増加傾向にあるが、「新聞やマスコミ」及び「処理業者からの情報」は減少傾向となっている。

情報の入手先		年度	回答数	回答率
1	市町の広報等	平成16年度	674	64.9%
		平成22年度	388	69.7%
		平成27年度	420	63.0%
2	市町のホームページ	平成16年度	92	8.9%
		平成22年度	62	11.1%
		平成27年度	98	14.7%
3	市町等主催の説明会	平成16年度	67	6.4%
		平成22年度	36	6.5%
		平成27年度	27	4.0%
4	市町の訪問指導	平成16年度	16	1.5%
		平成22年度	5	0.9%
		平成27年度	8	1.2%
5	新聞やマスコミ	平成16年度	240	23.1%
		平成22年度	140	25.1%
		平成27年度	108	16.2%
6	業界情報	平成16年度	207	19.9%
		平成22年度	76	13.6%
		平成27年度	70	10.5%
7	商工会議所等団体情報	平成16年度	73	7.0%
		平成22年度	41	7.4%
		平成27年度	40	6.0%
8	処理業者からの情報	平成16年度	336	32.3%
		平成22年度	125	22.4%
		平成27年度	161	24.1%
9	その他	平成16年度	40	3.8%
		平成22年度	20	3.6%
		平成27年度	26	3.9%

表　6-3-7　「年度別　　情報の入手先」　回答状況

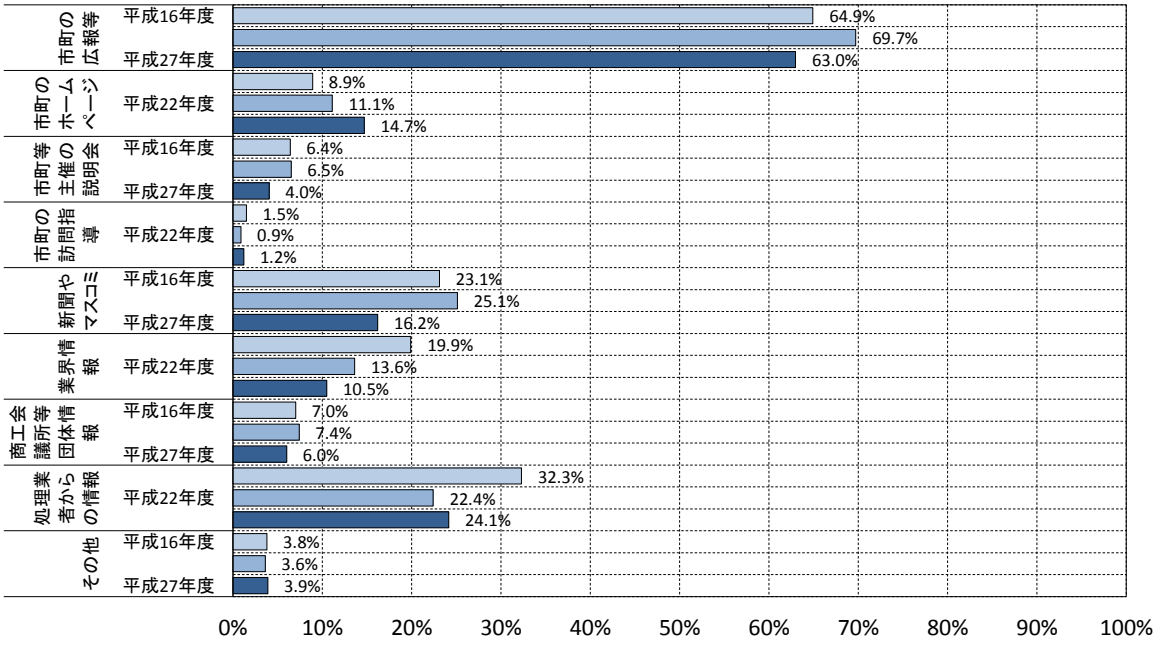


図　6-3-4　「年度別　情報の入手先」回答率

問22	今後の具体的なごみ減量やリサイクルの取組を検討するうえでぜひほしいと思う情報はありますか？ あてはまるものを3つまで選び番号に○を付けてください。　（複数回答）

「欲しい情報」は、平成16年度・平成22年度ともに「成功事例・失敗事例」が最も高かったが、平成27年度は「処理業者・資源回収業者情報」となっている。

欲しい情報		年度	回答数	回答率
1	処理業者・資源回収業者情報	平成16年度	385	28.1%
		平成22年度	158	28.4%
		平成27年度	208	31.2%
2	法律等の規制情報	平成16年度	275	20.0%
		平成22年度	117	21.0%
		平成27年度	132	19.8%
3	県・市町の環境関連事業	平成16年度	33	27.2%
		平成22年度	151	27.1%
		平成27年度	160	24.0%
4	国や県等の動向	平成16年度	158	11.5%
		平成22年度	79	14.2%
		平成27年度	69	10.3%
5	成功事例・失敗事例	平成16年度	403	29.4%
		平成22年度	161	28.9%
		平成27年度	164	24.6%
6	CO_2削減に関する情報	平成16年度	0	0.0%
		平成22年度	54	9.7%
		平成27年度	33	4.9%
7	その他	平成16年度	12	0.9%
		平成22年度	7	1.3%
		平成27年度	9	1.3%
8	特になし	平成16年度	142	10.3%
		平成22年度	149	26.8%
		平成27年度	195	29.2%

表　6-3-8　「年度別　欲しい情報」回答状況

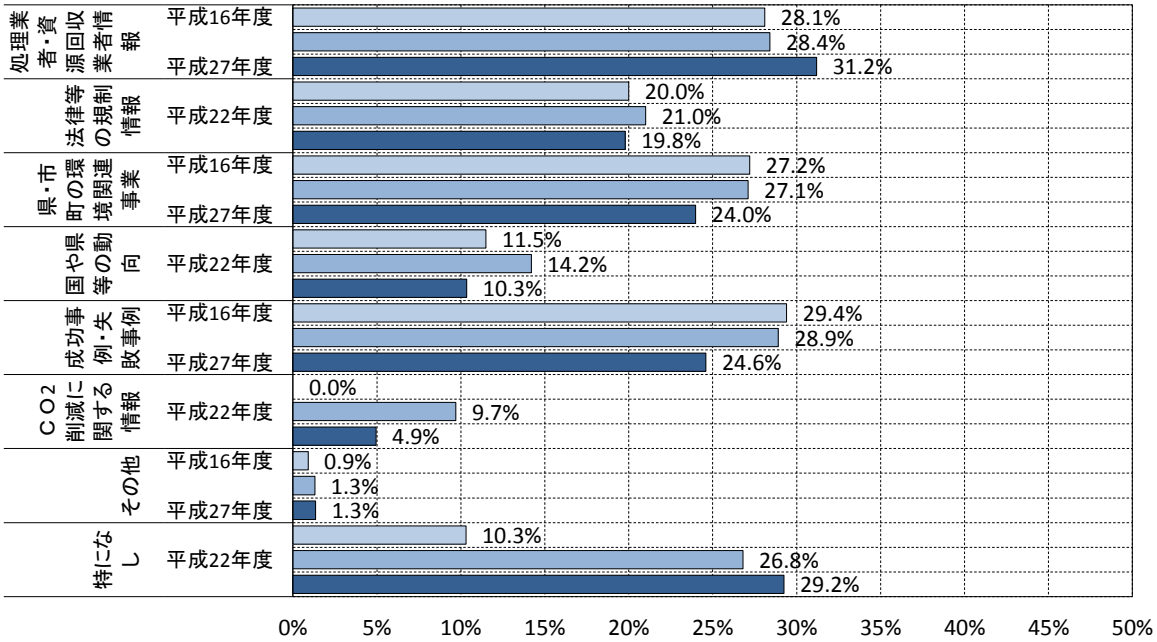


図　6-3-5　「年度別　欲しい情報」回答率

７　自由記入意見まとめ

有効回答数のうち６５事業所から多種多様な意見が寄せられており、内容について分類ごとに数例ずつ示す。

①生産者からのごみの発生およびその抑制について（７事業所）
- リサイクル不能品の買取施設を設置してはどうか。（運輸業、郵便業）
- ビニールやプラスチック等の包装をポリエチレン等の可燃物に切り替え、従来の過剰包装については無駄であることを公的な見解として打ち出す。（その他のサービス業）
- 事業所の近くに集積場がなく一部を持ち帰り、家庭ごみもしくは処理業者に有償で引き取ってもらっている。（運輸業、郵便業）

②意識・モラルを高めることについて（１７事業所）
- ごみをゼロにするのは不可能だと思うが、リサイクル化の促進は可能な限り行っていき、コストが高くなったとしても、地球環境改善の為に必要であると思う。（学術研究、専門・技術サービス業）
- 不燃ごみを洗って分別すると回収前に持っていく人が後を絶たない。袋も破ってそのままにしていく為、かえってごみの量が増えることがある。（運輸業、郵便業）
- 資源ごみステーションの使い方がきちんとしている人とそうでない人の落差が大きく、守る気のない人はそもそもそんなことは考えていない。（その他のサービス業）
- 商店街のごみにカラスがたかる、夏場はひどい悪臭がするなどあり、ごみの出し方に関してしっかりとした指導を行う必要があると思う。（生活関連サービス業、娯楽業）
- このアンケート自体に無駄を感じる。生ごみ処理機の配布・貸出を推進し、月や週、自治体単位でごみ量の推移を公開する。（宿泊業、飲食サービス業）

③ごみ減量・ごみ処理について（１２事業所）
- ごみ処理費の何%かを援助してもらえるようになれば協力するところが増加するのではないかと思う。（その他）
- メーカー側自体に包装資材のリサイクルや回収する為のシステムを作る必要があると思います。（卸売業、小売業）
- 生ごみ、可燃ごみを各自治体や事業所で処理可能な設備を使って処理することでコスト減を図り、削減したコストは設備設置費用等の補助金として充当する。（不動産業、物品賃貸業）
- ごみ等を焼却する時に発生するエネルギーを他に有効活用できる方法を開発してほしい。（生活関連サービス業、娯楽業）

④行政への要望等について（１５事業所）
- 産業廃棄物処理についての相談窓口がない、もしくは周知されていない事から専門業者に頼らざるをえず、金銭的負担が大きい。（その他の製造業）
- 分別しようにも規定や役所の指導に沿って出そうとすると非常に手間と時間を必要とし、結果として分別が進んでいないように思う。例えば容器を洗う事で発生する汚染と資源で出すメリットを比較した場合、最終的にどのようになるのかが見える形で明示されれば出し方も変わるかもしれません。（食品製造業）
- 公的書類の保存期間が長く、処分していくよりも増加していく方が早い。電子化等を検討してもらい、役所の書類主義を根本から見直してほしい。（医療、福祉）
- 小さな地域にも人を派遣し、ごみの事について直接指導したり質問できたり機会を設けるのはどうでしょうか。生のコミュニケーションを行うことでパンフレットや資料等の用紙自体の無駄も削減出来ると感じます。（その他の製造業）

⑤ごみゼロ社会について（５事業所）

- 以前、市で生ごみ処理機を購入したが古くなって今は使っていない。市の方で交換や修繕を行ってもらえるならごみゼロに向けた社会に近づくのでは。（宿泊業、飲食サービス業）
- 今の生活では事業所単位でも個人単位でもごみは出ます。事業所に関しては一定の目標を与えられ、一定の成果は出ているかもしれませんが、むしろ個人単位で出るごみに関して制限をかける事が重要だと感じます。（建設業）
- 今回のアンケートも所詮ごみになります。DMで送る行為自体がごみを減らす行為とはなっていないと思います。ごみが減れば関連企業が衰退し、補助金等の投入が行われる。ごみは絶対ゼロにはならないのだから、RDFの再稼働や増設を行い、新しい有効利用法を考えるしかないと思います。（卸売業、小売業）

⑥その他の意見（９事業所）

- 小さな公民館を自治体で指定管理している状態ですが、そのような組織にはこのようなアンケートは不要だと思います。（その他）
- 当方は市の指導下で下水汚泥の堆肥化処理施設であり、当アンケートの内容にはそぐわないと思われます。（公務）
- 粗大ごみの回収日を増やして欲しい。（卸売業、小売業）

８　事業所アンケート　調査票

「ごみゼロ社会」をめざす事業者意識調査
～事業系ごみの減量とリサイクルの推進に向けて～

◎ まず、あなたの事業所についてお聞きします。

問１　あなたの事業所はどのような業種にあてはまりますか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	農業、林業	2	漁業
3	建設業	4	食品製造業
5	その他の製造業	6	電気・ガス・熱供給・水道業
7	情報通信業	8	運輸業、郵便業
9	卸売業、小売業	10	金融業、保険業
11	不動産業、物品賃貸業	12	学術研究、専門・技術サービス業
13	宿泊業、飲食サービス業	14	生活関連サービス業、娯楽業
15	教育、学習支援業	16	医療、福祉
17	複合サービス事業	18	その他のサービス業
19	公務	20	その他（具体的に：　　）

問２　あなたの事業所はどのような建物形態ですか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	事業所は独立した１つの建物となっている
2	事業所はテナントビルや住宅用マンションの中に入居している
3	事業所は自宅と兼用になっている
4	その他（具体的に：　　）

問３　あなたの事業所の従業員は何名ですか？
あてはまるもの**１つ**選び、番号に**○**を付けてください。

1	１～４人	2	５～９人	3	10～19 人
4	20～29 人	5	30～49 人	6	50～99 人
7	100～299 人	8	300 人以上		

問４　あなたの事業所の所在地はどちらですか？
あてはまるものを**１つ**選び、番号に**○**を付けてください。

1	津市	2	四日市市	3	伊勢市	4	松阪市
5	桑名市	6	いなべ市	7	鈴鹿市	8	亀山市
9	伊賀市	10	名張市	11	尾鷲市	12	鳥羽市
13	熊野市	14	志摩市	15	菰野町	16	東員町
17	木曽岬町	18	朝日町	19	川越町	20	明和町
21	多気町	22	大台町	23	玉城町	24	度会町
25	大紀町	26	南伊勢町	27	紀北町	28	御浜町
29	紀宝町						

◎ 事業系ごみ（事業系一般廃棄物）の減量やリサイクルの取組についてお聞きします。

問５　あなたの事業所ではごみの減量化に取り組んでいますか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	かなり取り組んでいる	（⇒**問　６、問　７へ**）
2	ある程度取り組んでいる	（⇒**問　６、問　７へ**）
3	あまり取り組んでいない	（⇒**問　８へ**）
4	全く取り組んでいない	（⇒**問　８へ**）

問６　**（問５ で「１ かなり取り組んでいる」「２ ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ）**
ごみ減量化に取り組む理由は何ですか？
あてはまるものを**３つまで**選び、番号に**○**を付けてください。

1	経費削減のため	2	社の宣伝やイメージアップのため
3	企業としての社会的責任を果たすため	4	法律等の規制があるため
5	業界全体で取り組んでいるため	6	競合他社が取り組んでいるため
7	ごみ保管場所に制約があるため	8	その他 （具体的に：　　）

問７　**（問５ で「１ かなり取り組んでいる」「２ ある程度取り組んでいる」と答えた方のみ）**
あなたの事業所ではどのようなごみ減量に取り組んでいますか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に**○**を付けてください。

1	ISO14001 や M-EMS（三重県版小規模事業所向け環境マネジメントシステム）など環境マネジメントシステムの認証取得等
2	ごみ箱の廃止、撤去（分別ボックス等の設置）
3	ごみ管理責任者の設置
4	生ごみの堆肥化
5	通い箱の活用など納入業者と協力した取組
6	ペーパーレス化の推進（コピー用紙等の削減）
7	自動販売機設置業者等による容器（空き缶等）の引き取り
8	マイボトル・マイカップ運動の推進やマイカップ自販機の設置など使い捨て飲料容器の使用を控える取組
9	その他（具体的に：　　）

問８　**（問５ で「３ あまり取り組んでいない」「４ 全く取り組んでいない」と答えた方のみ）**
あなたの事業所でごみ減量に取り組んでいないのはなぜですか？
あてはまるものを**３つまで**選び、番号に**○**を付けてください。

1	ごみ処理を一括契約しているため、ごみ量が減っても処理料金は変わらないため
2	もともと処理料金が安いので、ごみが減っても効果的な経費削減にはならないため
3	分別等に手間がかかり従業員の協力が得られないため
4	減らす努力をするほどごみが出ないため
5	ごみ減量化より事業優先のため
6	その他（具体的に：　　）

問９　あなたの事業所から出たごみは誰が管理していますか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	事業所内で責任者や担当を決めて管理している
2	本社、本店で一括して管理している
3	処理委託先が管理も行っている
4	事業所が入っているテナント会社や建物管理会社が管理している
5	その他（具体的に：　　）

◎ あなたの事業所から出る事業系ごみ（事業系一般廃棄物）についてお聞きします。

問10　あなたの事業所ではごみはどのように処理していますか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	処理費を支払って収集運搬業者に委託している	（⇒**問　11, 12, 13 へ**）
2	自ら市町の処理施設に持ち込んでいる	（⟹**問　15 へ**）
3	本社等で各事業所のごみを一括して処理している	（⟹**問　15 へ**）
4	家庭ごみが出される地域のごみ集積所に出している	（⟹**問　14 へ**）
5	その他（具体的に：　　）	（⟹**問　15 へ**）

問11　**（問10 で「1　収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）**
収集運搬業者との契約では、収集は週何回くらいですか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	週１回以下	2	週２回	3	週３回
4	週４回	5	週５回	6	週６回
7	その他（週＿＿＿回）				

問12　**（問10 で「1　収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）**
あなたの事業所では、ひと月あたりのごみ処理費はどのくらいですか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	毎月千円未満	2	毎月千～５千円未満
3	毎月５千～１万円未満	4	毎月１万～３万円未満
5	毎月３万～５万円未満	6	毎月５万～10 万円未満
7	毎月 10 万～30 万円未満	8	毎月 30 万円以上（おおよそ　　万円）

問13　**（問10 で「1　収集運搬業者に委託している」と答えた方のみ）**
ごみの処理料金はどのように決めていますか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に**○**を付けてください。

1	実際に出したごみ袋の個数やごみの重さなどによって料金が決まるしくみになっている
2	一定量までは同額とし、それ以上はごみの量に応じて料金が決まるしくみになっている
3	出すごみの量に関係なく、まとめて「月いくら」、「年いくら」などというように料金を決めている
4	その他（具体的に：　　）

問14　**（問10 で「4　地域のごみ集積所に出している」と答えた方のみ）**

収集運搬業者にごみ処理を委託せず、地域のごみ集積所に出すのはなぜですか？
あてはまるものを**２つまで**選び番号に○を付けてください。

1	事業に伴って出るごみが少ないため
2	量が少なく業者が取りに来てくれないため
3	業者に委託すると、ごみ処理にかかる経費負担が大きくなるため
4	家庭ごみと事業ごみの区分けに手間がかかるため
5	地域のごみ集積所に出しておけば、市町が収集してくれるため
6	その他（具体的に：　　）

問15　１週間あたりのごみ排出量はおおよそどのくらいですか？45リットルのごみ袋に換算して、その個数でお答えください。
あてはまるものを**１つ**選び番号に○を付けてください。

1	45 リットルごみ袋でおおよそ１袋未満
2	45 リットルごみ袋でおおよそ１、２袋
3	45 リットルごみ袋でおおよそ３、４袋
4	45 リットルごみ袋でおおよそ５、６袋
5	45 リットルごみ袋でそれ以上（おおよそ＿＿＿＿袋）
6	ほとんど出ない（⇒**問　16 の回答は不要です**）

問16　あなたの事業所が出しているごみの中にはどのようなものが含まれていますか。
１週間あたりの量について、次の品目ごとに容積比で記入してください。
なお、ここで言う新聞、ダンボールなどは資源として分別されずに、生ごみなどと一緒に混ざったまま出されているものの量を言います。

番号	品目	回答欄 ごみの組成	記入例	記入例の説明
1	生ごみ・厨芥類	割	1　割	＊たとえば、事業所から出されたごみの中身について、シュレッダーしたコピー用紙が約６割、ちり紙や紙くずが約２割、出がらしのお茶や弁当の食べ残しが約１割、ペットボトルが約１割というときは、このように記入してください。 ＊合計が**10 割**となるよう、ご注意ください。
2	木・草類	割	割	
3	新聞	割	割	
4	ダンボール	割	割	
5	雑誌・書籍	割	割	
6	事務用紙（コピー用紙等）	割	6　割	
7	その他紙類	割	2　割	
8	布類・繊維類	割	割	
9	空きびん	割	割	
10	空き缶	割	割	
11	ペットボトル	割	1　割	
12	その他プラスチック類	割	割	
13	その他	割	割	
合計		**10　割**	**10　割**	

◎ あなたの事業所が資源として分別しているものについてお聞きします。

問17　あなたの事業所が資源として分別し、リサイクルしているものについて、品目ごとに**<u>１週間当たりの</u>**<u>排出量と処理方法</u>を、記入例を参考に記入してください。

番号	品目	１週間当たりの発生量の記入欄（①か②のいずれかの欄に記入してください）		処理方法の記入欄						
		①（　　）におおよその数を記入	②具体的に重さを記入	③選択肢から当てはまる番号１つに○						
1	生ごみ・厨芥類	45 リットルごみ袋（　　）袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
2	木・草類	45 リットルごみ袋（　　）袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
3	新聞	朝刊（　　）部程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
4	ダンボール	みかん箱（　　）箱程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
5	雑誌・書籍	週刊誌（　　）冊程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
6	事務用紙（コピー用紙等）	A4 判（　　）枚程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
7	その他紙類	45 リットルごみ袋（　　）袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
8	布類・繊維類	45 リットルごみ袋（　　）袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
9	空きびん	空きびん（　　）本程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
10	空き缶	空き缶（　　）本程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
11	ペットボトル	500ml サイズ（　　）本程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
12	その他プラスチック類	45 リットルごみ袋（　　）袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7
13	生ごみ・厨芥類	45 リットルごみ袋（　　）袋程度	kg/週	1	2	3	4	5	6	7

記入例①：生ごみ・厨芥類	45 リットルごみ袋（　　）袋程度	*30* kg/週	1	2	3	4	5	6	⑦
記入例②：新聞	朝刊（　*20*　）部程度	kg/週	1	②	3	4	5	6	7

記入例の説明
①資源として分別した生ごみは、１週間あたり約 30kg で、自社の施設で堆肥化し、敷地内の植木、花壇に堆肥として活用している。 ② 新聞は、１週間あたり約 20 部で、ある程度貯めてから古紙回収業者に売却している。

処理方法の選択肢	
1	業者等に有償または無償で引き渡している
2	業者等に売却している
3	家庭ごみが出される地域のごみ集積所に出している
4	子ども会等が行う集団回収に出している
5	小売店や販売店の店頭回収に出している
6	納入業者等に返却している
7	堆肥化するなど自社内で処理している

◎ 今後の方策や意向についてお聞きします。

問18　今後、あなたの事業所で特に減らしたいと考えているごみは何ですか？
あてはまるもの<u>すべて</u><u>を選び、番号に**○**</u>を付けてください。

1	生ごみ・厨芥類	2	木・草類
3	新聞	4	ダンボール
5	雑誌・書籍	6	事務用紙（コピー用紙等）
7	その他紙類	8	布類・繊維類
9	空きびん	10	空き缶
11	ペットボトル	12	その他プラスチック類
13	その他（具体的に　　）	14	特に減らしたいと考えるごみはない

問19　あなたの事業所では、ごみの減量目標は定めていますか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に○を付けてください。

1	すでに定めている
2	現段階ではないが定める予定がある
3	現段階では定めておらず、今後定めるかどうかは不明

問20　あなたの事業所では、ごみを減らしたり、リサイクルを進めるにあたってどのような問題がありますか？
あてはまるものを**２つまで**選び番号に○を付けてください。

1	どのようにすれば、ごみを減らしたり、リサイクルできるのか、その方法がわからない
2	資源として分別しても、量が少ないため、リサイクルのシステムがつくれない
3	事業系ごみ（事業系一般廃棄物）と産業廃棄物の区分が障害になっている
4	ごみを減らした分だけ、経費が削減できるしくみになっていない
5	事業系ごみ（事業系一般廃棄物）のことがよくわからない
6	ごみの減量と事業が両立しない
7	その他（具体的に：　　）

問21　ごみに関する情報を、あなたの事業所はどのような方法で手に入れていますか？
あてはまるものを**３つまで**選び番号に○を付けてください。

1	市町の広報やパンフレットを通じて
2	市町のホームページを通じて
3	市町等主催の説明会を通じて
4	市町の訪問指導を通じて
5	新聞やマスコミを通じて
6	業界からの情報を通じて
7	商工会議所、商工会など地元団体からの情報を通じて
8	処理業者からの情報を通じて
9	その他（具体的に：　　）

問22　今後の具体的なごみ減量やリサイクルの取組を検討するうえでぜひほしいと思う情報はありますか？
あてはまるものを**３つまで**選び番号に○を付けてください。

1	処理業者・資源回収業者に関する情報
2	法律や条例等の規制に関する情報
3	県や市町が実施する環境関連事業に関する情報
4	今後の政策など国や県等の動向に関する情報
5	ごみ減量化やリサイクルに関する成功事例・失敗事例
6	低炭素社会に向けた CO_2 削減に関する情報
7	その他（具体的に：　　）
8	特に必要なし

問23　あなたの事業所では、事業系ごみの減量やリサイクルについて県に対してどのような役割を期待していますか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に○を付けてください。

1	全県的な啓発（キャンペーン等の実施）
2	調査研究や情報提供
3	情報交換の場や機会の提供
4	ごみ減量化やリサイクルに関する成功事例や失敗事例の紹介
5	その他（具体的に：　　）
6	特に必要なし

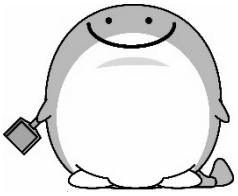
◎ 三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」についてお聞きします。

問24　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に○を付けてください。

1	知っている
2	名前は聞いたことがある
3	知らない

問25　三重県のごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？
あてはまるものを**１つ**選び番号に○を付けてください。

1	知っている
2	見たことはあるが、三重県のごみゼロキャラクターであることは知らなかった
3	知らない



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

問26　三重県の「ごみゼロ社会実現プラン」に関する事業者参画の取組に参加したいと思いますか？
あてはまるもの**すべて**を選び、番号に○を付けてください。

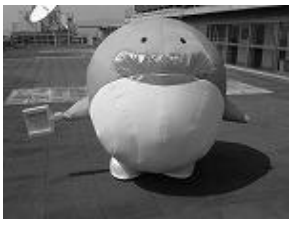
1	地域ごみゼロ交流会に参加したい
2	ごみゼロに関する講演会やセミナーに参加したい
3	ごみゼロプランに関する情報をホームページ等で読みたい
4	ゼロ吉 Facebook でイベント等の情報を得たい
5	ごみゼロプランの進み具合やごみ減量化等の取組をまとめた「点検・評価」を読みたい
6	アンケートなどに協力したい
7	自分の意見を FAX、メールなどで県に寄せたい
8	ごみゼロプランの進捗状況などを評価検証する「ごみゼロプラン推進委員会」を傍聴したい
9	その他（具体的に：　　）
10	いずれにも参加したいとは思わない

◎ ごみゼロ社会の実現に向けてのご意見やご要望、アイデア等がありましたら、自由にご記入ください。

「ゼロ吉」とその家族ゼロ吉ファミリーのキャラクターは、ごみゼロ社会の実現に資する場合には、自由に使用していただけます。また、ごみ削減を啓発するDVDや「ゼロ吉」着ぐるみ“エアゼロ吉”の貸し出しも随時行っています。

ご希望される方は三重県廃棄物対策局廃棄物･リサイクル課までお問い合わせください。

廃棄物･リサイクル課　TEL:059-224-3310　　E-mail：haikik@pref.mie.jp



着ぐるみ“エアゼロ吉”

ゼロ吉ファミリー

質問は以上となります。お忙しいところ調査にご協力いただきましてありがとうございました。

Ⅲ.　NPO等団体アンケート結果

1　調査の概要

1-1　調査の目的

この調査は、ごみに対するNPO等団体の取組や考え方を把握することにより、「ごみゼロ社会実現プラン」の推進に必要な基礎資料を得るため、実施する。

1-2　調査対象

県内に所在する192件のNPO等団体を抽出し調査対象とした。

1-3　調査方法

調査票を郵送、回収した。回収期限前にはがきによる督促を行った。

1-4　調査期間

平成27年8月3日に調査票を発送し、8月21日を回答期限として回収した。なお回答期限後も回答があったため、10月1日を最終回収期限として有効回答に含めた。

1-5　回収状況

発送数	192通
宛先不明	21通
有効発送数	171通
回収数	49通
回収率	28.7%

1-6　分析結果の見方

①各比率は、各設問の回答数を有効回答数の100分率で示している。比率は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならないことがある。
②複数回答の場合の各比率は、その項目を選んだ人が有効回答数の何%に当たるかを算出している。従って各項目の比率の合計は100%を超える場合がある。
③ある設問の指定された回答を選んだ人を対象回答者としている場合がある。このような場合、指定回答者以外の回答は母数に含むが無効回答としている。

2　調査結果（属性）

2-1　属性

1	貴団体の属性

属性では、「任意団体（企業関係以外の個人が中心）」が49%で最も高く、次いで「特定非営利活動法人（NPO法人）」の38.8%となっている。

①　単純集計

番号	選択肢	回答数	回答率
1	特定非営利活動法人（NPO法人）	19	38.8%
2	その他の法人格を持つ法人	4	8.2%
3	任意団体（企業関係者が中心）	0	0.0%
4	任意団体（企業関係以外の個人が中心）	24	49.0%
99	無回答	2	4.0%
計		49	100.0%

表　2-1　「属性」回答状況

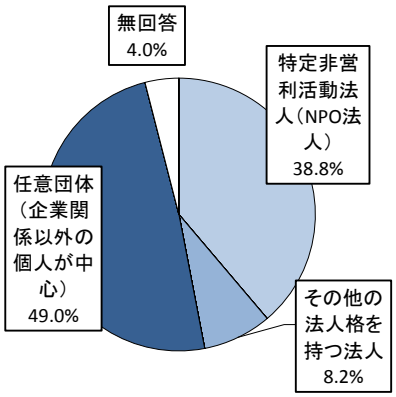


図　2-1　「属性」回答率

2-2　活動分野

2	貴団体の環境保全（全般）に関する活動分野

①　単純集計

活動分野では、「限定せず環境保全全般」が46.9%で最も高く、次いで「廃棄物・リサイクル対策」の34.7%となっている。

番号	選択肢：複数回答	回答数	回答率
1	限定せず環境保全全般	23	46.9%
2	森林保全（熱帯雨林除く）	6	12.2%
3	自然保護・創出・緑化	10	20.4%
4	大気保全（地球規模除く）	1	2.0%
5	水質保全	5	10.2%
6	廃棄物・リサイクル対策	17	34.7%
総回答数		62	126.4%

表　2-2　「活動分野」回答状況

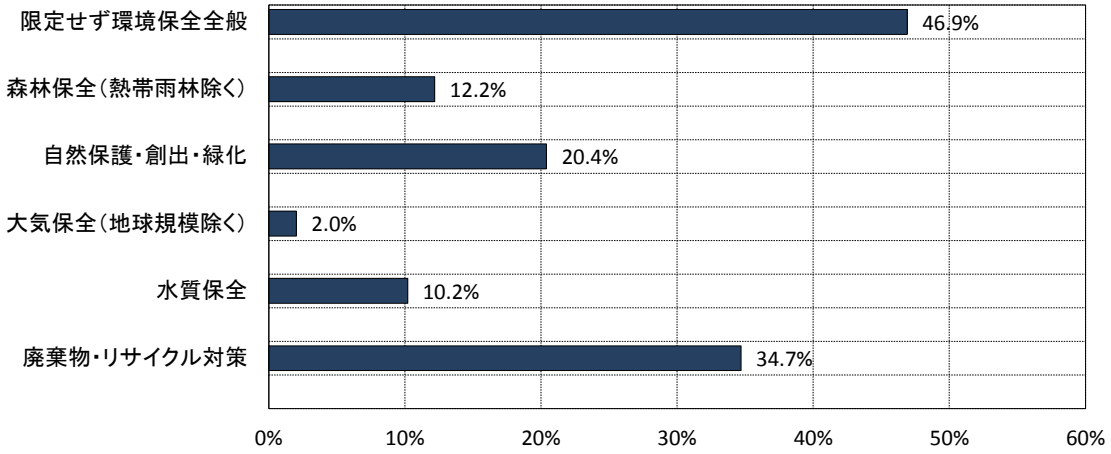


図　2-2　「活動分野」回答率

2-3　活動を始めた時期

3	活動を始めた時期

①　単純集計

活動を始めた時期については2001年（平成13年）から2008年（平成20年）が多くなっている。活動期間が最も長い団体は1966年（昭和41年）から活動しており、今年度で49年目となっている。

活動開始年	1966	1969	1971	1975	1978	1988	1989	1990	1992	1994	1996	1998	1999	2000
	(S41)	(S44)	(S46)	(S50)	(S53)	(S63)	(H元)	(H2)	(H4)	(H6)	(H8)	(H10)	(H11)	(H12)
団体数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
活動開始年	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2013	無回答	計
	(H13)	(H14)	(H15)	(H16)	(H17)	(H18)	(H19)	(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H25)		
団体数	3	1	3	8	2	1	5	3	1	1	1	1	4	49

活動開始年	1950年代 (S25～S34)	1960年代 (S35～S44)	1970年代 (S45～S54)	1980年代 (S55～H元)	1990年代 (H2～H11)	2000年代 (H12～H21)	2010年代 (H22～現在)
団体数	0	2	3	2	7	28	3
率	0.0%	4.1%	6.1%	4.1%	14.3%	57.1%	6.1%

表　2-3　「活動分野」回答状況

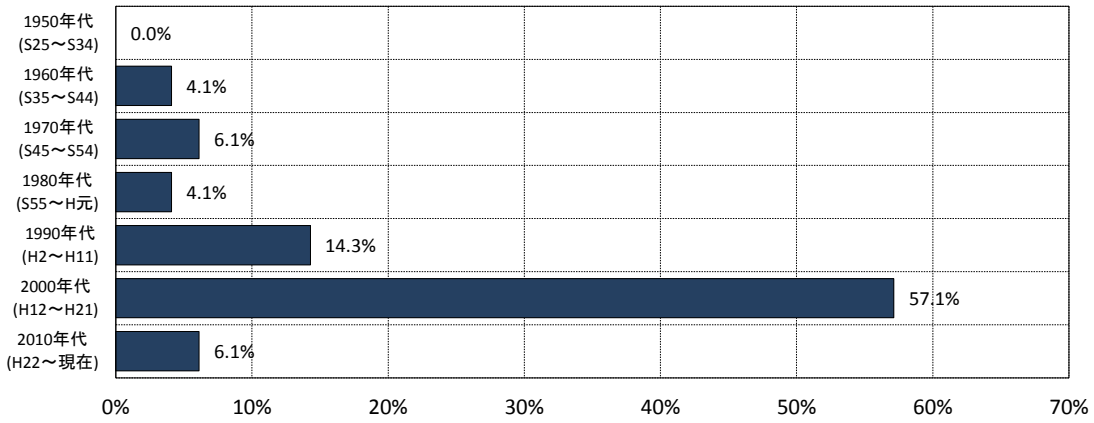


図　2-3　「活動分野」回答率

2-4　活動の範囲

4	活動の範囲　（複数回答）

活動範囲は、「地域・地区内」が42.9%で最も高く、次いで「市町内全域」の28.6%となっている。「全国展開」している団体は、8団体となっている。

①　単純集計

番号	選択肢：複数回答	回答数	回答率
1	地域・地区内	21	42.9%
2	市町内全域	14	28.6%
3	三重県内全域	13	26.5%
4	全国展開	8	16.3%
総回答数		56	114.3%
有効回答数		49	

表　2-4　「活動範囲」回答状況

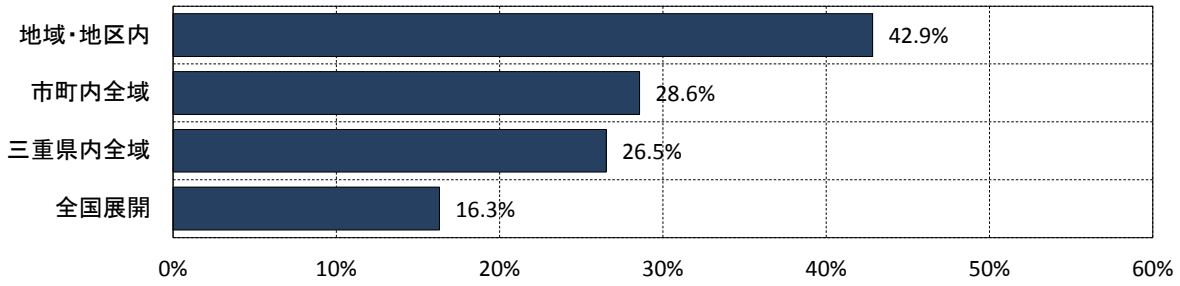


図　2-4　「活動範囲」回答率

2-5　会員数

5	会員数

会員数のうち「特定非営利活動法人（NPO法人）」は30人未満で全体の半数（57.9%）を占め、「任意団体（企業関係以外の個人が中心）」は、20人未満で全体の半数（55.3%）を占める。

①　単純集計

団体の規模	特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）		その他の法人格を持つ法人		任意団体（企業関係者が中心）		任意団体（企業関係以外の個人が中心）		無回答	
	団体数	率	団体数	率	団体数	率	団体数	率	団体数	率
1～9	1	5.3%	1	25.0%	0	0.0%	8	33.3%	0	0.0%
10～19	7	36.8%	0	0.0%	0	0.0%	6	25.0%	0	0.0%
20～29	3	15.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	12.5%	0	0.0%
30～49	3	15.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	12.5%	0	0.0%
50～99	3	15.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
100～499	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
500以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
無回答	2	10.5%	1	25.0%	0	0.0%	2	8.3%	2	100.0%
計	19	100.0%	4	100.0%	0	0.0%	24	100.0%	2	100.0%

表 2-5　「会員数」回答状況

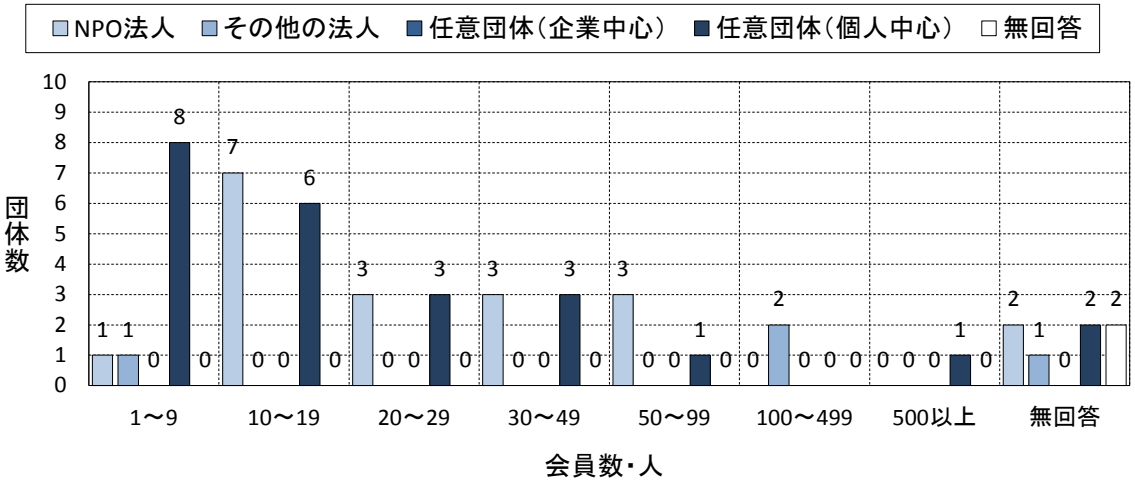


図　2-5　「会員数」回答状況

2-6　主たる事務所（事務局）の所在形態

6	主たる事務所（事務局）の所在形態

主たる事務所（事務局）の所在形態は、「会員自宅や勤務先」が42.9%で最も高く、次いで「他団体と協同賃貸」の16.3%となっている。

①　単純集計

番号	選択肢：複数回答	回答数	回答率
1	専用自己所有	7	14.3%
2	専用賃貸	5	10.2%
3	他団体と協同所有	1	2.0%
4	他団体と協同賃貸	8	16.3%
5	会員自宅や勤務先	21	42.9%
6	特に限定していない	3	6.1%
7	その他	0	0.0%
99	無回答	4	8.2%
計		49	100.0%

表　2-6　「主たる事務所（事務局）の所在形態」回答状況

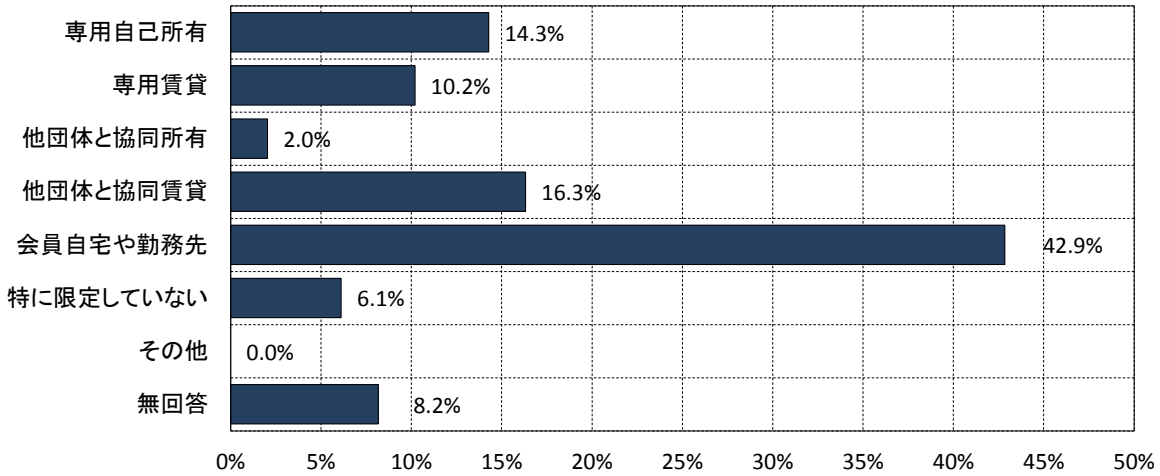


図　2-6　「主たる事務所（事務局）の所在形態」回答率

2-7　主たる事務所の住所

7	主たる事務所の住所

主たる事務所の住所は、「四日市市」が12.2%で最も高く、次いで「津市」10.2%、「名張市」8.2%と続いている。

①　単純集計

番号	住所	団体数	率
1	四日市市	6	12.2%
2	津市	5	10.2%
3	名張市	4	8.2%
4	桑名市	3	6.1%
5	松坂市	3	6.1%
6	鈴鹿市	3	6.1%
7	伊賀市	3	6.1%
8	亀山市	2	4.1%
9	尾鷲市	2	4.1%
10	伊勢市	2	4.1%
11	鳥羽市	2	4.1%
12	菰野町	2	4.1%
13	東員町	2	4.1%
14	志摩市	1	2.0%
15	大台町	1	2.0%
16	明和町	1	2.0%
17	南伊勢町	1	2.0%
18	川越町	1	2.0%
19	紀宝町	1	2.0%
99	無回答	4	8.2%
計		49	100.0%

表　2-7　「主たる事務所の住所」回答状況

3　調査結果（詳細）

3-1　「ごみゼロ社会実現プラン」について

問1	三重県が平成17年3月に策定した「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？

「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、「よく知っている」が55.1%で最も高く、「聞いたことがある」が38.8%となっている。なお「知らない」は、わずか2%となっている。
「ごみゼロ社会実現プラン」の認知度は、非常に高いといえる。

番号	「ごみゼロ社会実現プラン」認知度	回答数	回答率
1	よく知っている	27	55.1%
2	聞いたことがある	19	38.8%
3	知らない	1	2.0%
99	無回答	2	4.1%
有効回答数		49	100.0%

表　3-1　「ごみゼロ社会実現プラン」認知度回答状況

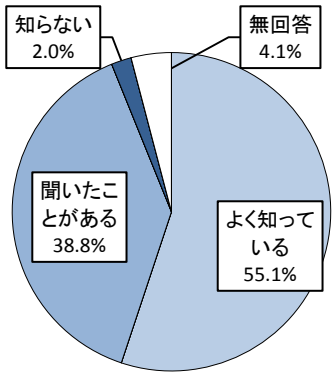


図　3-1　「ごみゼロ社会実現プラン」認知度　回答率

3-2　ごみの減量やリサイクルの取組状況について

問2	現在、貴団体ではごみ減量化等の取組を行っていますか？

ごみ減量化には、59.2%の団体が取り組んでいる。

番号	ごみ減量化の取組	回答数	回答率
1	行っている	29	59.2%
2	行っていない	17	34.7%
99	無回答	3	6.1%
有効回答数		49	100.0%

表　3-2　「ごみ減量化の取組」回答状況

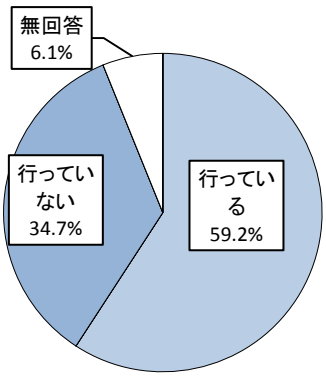


図　3-2　「ごみ減量化の取組」回答率

問3	【問2で「行っている」と答えた方のみお答えください。それ以外の方は問4へ】 現在、貴団体が行っているごみ減量化等の取組は何ですか？ 今後、力を入れていきたい取組は何ですか？あてはまる項目の□にチェックをつけてください。 また、現在、実施している場合は、取組内容を（　　）覧に具体的にご記入ください。

現在行っている取組は、「生ごみ堆肥化の実施・協力」が28.6%で最も高く、次いで「廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など）の実施・協力」18.4%、「生ごみ堆肥化に関する住民への啓発」16.3%と続いている。
今後力を入れて行きたい取組として、「不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり」が8.2%で最も高くなっているが、どの取組についても回答率が低い。

番号	取組内容：有効回答数　49	現在取組		今後予定		現在+今後	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	フリーマーケット等の開催・出展	7	14.3%	1	2.0%	8	16.3%
2	不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり	3	6.1%	4	8.2%	7	14.3%
3	修理教室、リフォーム教室等の実施	2	4.1%	3	6.1%	5	10.2%
4	リサイクルショップの運営	2	4.1%	2	4.1%	4	8.2%
5	リターナブル容器の良さなどのＰＲ	2	4.1%	0	0.0%	2	4.1%
6	新たなリターナブル容器システムの構築、取組への支援・協力	1	2.0%	0	0.0%	1	2.0%
7	リユースカップ・システムの情報発信	2	4.1%	0	0.0%	2	4.1%
8	自治会、ＮＰＯ等民間団体主催のイベント等におけるリターナブル容器の利用	2	4.1%	0	0.0%	2	4.1%
9	移動食器洗浄車の購入・貸し出し	0	0.0%	1	2.0%	1	2.0%
10	リユース食器レンタル事業の企画・運営	1	2.0%	1	2.0%	2	4.1%
11	環境に配慮したエコイベントシステムの導入・実施	2	4.1%	0	0.0%	2	4.1%
12	リース・レンタルのサービスの提供、事業活動におけるレンタルやリースの活用	1	2.0%	0	0.0%	1	2.0%
13	製品等の修理・修繕に関する住民への啓発	2	4.1%	0	0.0%	2	4.1%
14	アップグレード（製品の性能・機能の向上）サービスに関する住民への啓発	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15	市町の分別基準に従った適正な排出	3	6.1%	0	0.0%	3	6.1%
16	容器包装の削減・簡素化に関する啓発・ＰＲ	3	6.1%	0	0.0%	3	6.1%
17	生ごみ堆肥化の実施・協力	14	28.6%	1	2.0%	15	30.6%
18	生ごみ堆肥化に関する地域活動に伴うネットワークづくり	5	10.2%	1	2.0%	6	12.2%
19	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	8	16.3%	2	4.1%	10	20.4%
20	生ごみの水切りの実施・協力	6	12.2%	1	2.0%	7	14.3%
21	廃食用油のリサイクル（ＢＤＦ、石鹸など）の実施・協力	9	18.4%	3	6.1%	12	24.5%

表　3-3（1）　「ごみ減量化の取組内容」回答状況

番号	取組内容：回答対象数　49	現在取組		今後予定		現在+今後	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
22	飲料容器デポジット制度の導入・運用	4	8.2%	0	0.0%	4	8.2%
23	障がい者や高齢者の支援と連携したサイクル事業の実施	4	8.2%	1	2.0%	5	10.2%
24	企業退職者等の地域での活動の受け皿として活動の場の提供	4	8.2%	0	0.0%	4	8.2%
25	地域通貨の仕組みを活用したリサイクルシステムの運営	2	4.1%	1	2.0%	3	6.1%
26	地域通貨の発行	1	2.0%	0	0.0%	1	2.0%
27	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	6	12.2%	1	2.0%	7	14.3%
28	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	7	14.3%	0	0.0%	7	14.3%
29	ＮＰＯ・事業所・行政の連携による資源物回収拠点システムの構築・運営	2	4.1%	1	2.0%	3	6.1%
30	廃プラスチック等の有効利用のための調査研究・技術開発	0	0.0%	2	4.1%	2	4.1%
31	資源回収ステーションの運営受託	4	8.2%	0	0.0%	4	8.2%
32	資源回収ステーションを活用した学習機会の提供	2	4.1%	0	0.0%	2	4.1%
33	集団回収のＰＲ・実施	2	4.1%	0	0.0%	2	4.1%
34	ごみ処理基本計画策定、実行の取組に参画	0	0.0%	1	2.0%	1	2.0%
35	ごみ減量会議等への参画・協働	1	2.0%	2	4.1%	3	6.1%
36	地域ごみゼロ推進交流会への参加	3	6.1%	2	4.1%	5	10.2%
37	レジ袋削減活動の展開	5	10.2%	1	2.0%	6	12.2%
38	行政との協働事業等の企画提案、事業の実施	2	4.1%	1	2.0%	3	6.1%
39	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	4	8.2%	2	4.1%	6	12.2%
40	「ごみゼロ社会」実現プランに関する情報提供への協力	2	4.1%	3	6.1%	5	10.2%
41	ホームページなどを活用したごみ関連情報の発信	3	6.1%	0	0.0%	3	6.1%
42	食品ロス削減に向けた取組への参画、協力	2	4.1%	2	4.1%	4	8.2%
43	環境学習・環境教育のツール・プログラム等の開発、行政の取組への参画	3	6.1%	1	2.0%	4	8.2%
44	20年後のライフスタイル体験プログラムの企画・運営、行政の取組への参画・協力	2	4.1%	2	4.1%	4	8.2%
45	こどもエコクラブ会員を対象とした学習会の企画・開発	2	4.1%	1	2.0%	3	6.1%
46	家庭における環境学習・教育の啓発	4	8.2%	1	2.0%	5	10.2%
47	家庭における環境学習・教育のツールの作成・普及活動	3	6.1%	1	2.0%	4	8.2%
48	ごみゼロ達人育成への協力、派遣制度の活用	0	0.0%	1	2.0%	1	2.0%
49	ごみゼロ人材ガイドブックの活用・情報提供	0	0.0%	1	2.0%	1	2.0%

表　3-3（2）　「ごみ減量化の取組内容」回答状況

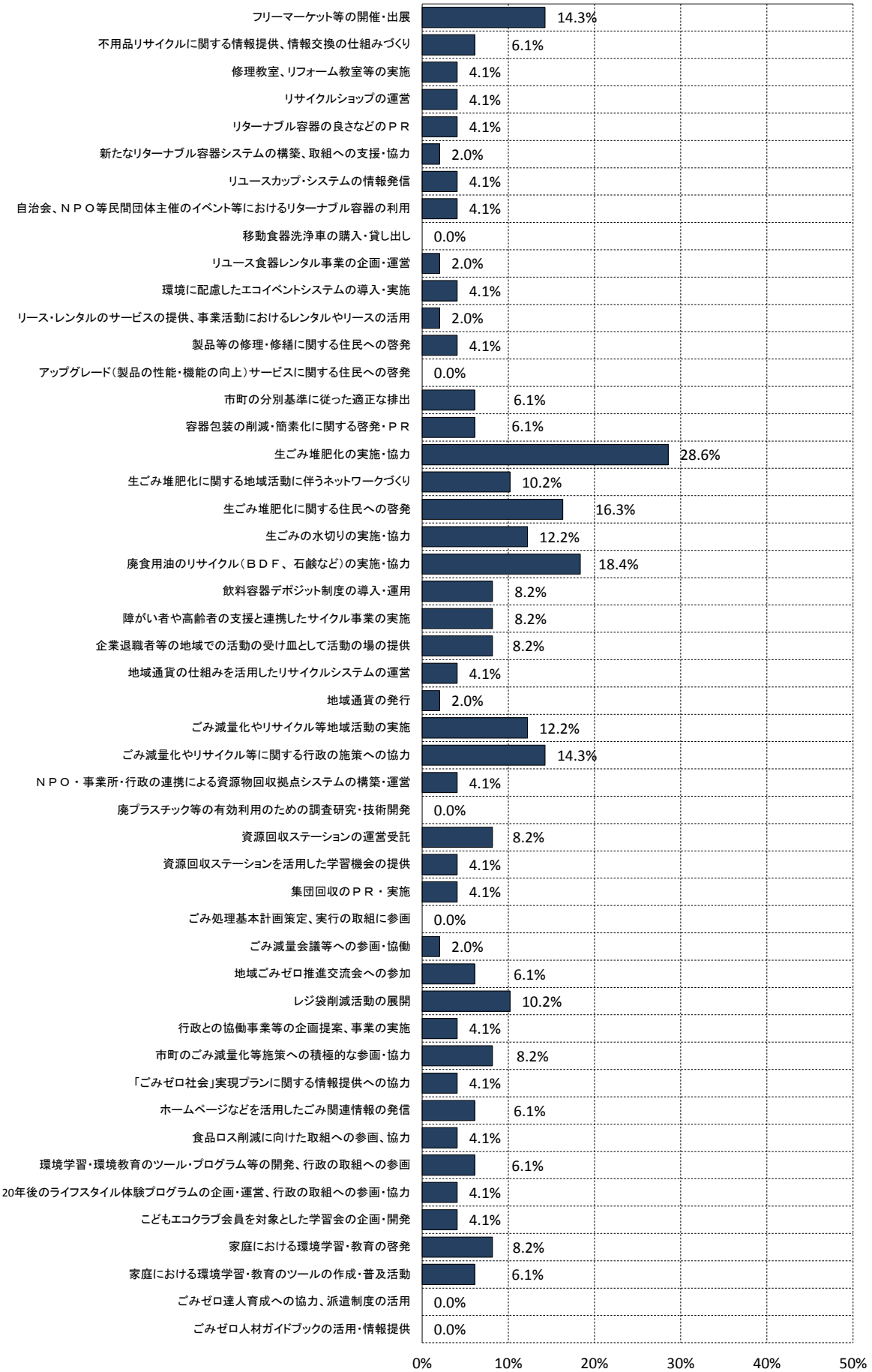


図　3-3　「ごみ減量化の取組内容」回答率

問4	貴団体で、ごみ減量化の取組の連携相手はどこですか？ また、今後、どのような相手と連携したいですか？ 当てはまる項目の□にチェックするとともに取組内容を具体的に記入してください。

ごみ減量化の取組の現在の連携相手は、「学校」が20.4%で最も高く、次いで「市町」の16.3%となっている。
また、今後連携したい相手としては、「学校」が14.3%、「市町」が10.2%となっている。

番号	取組の連携相手 ：回答数　49	現在取組		今後予定		現在+今後	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	ＮＰＯ等団体	6	12.2%	2	4.1%	8	16.3%
2	事業者	6	12.2%	3	6.1%	9	18.4%
3	学校	10	20.4%	7	14.3%	17	34.7%
4	自治会・町内会等団体	7	14.3%	4	8.2%	11	22.4%
5	市町	8	16.3%	5	10.2%	13	26.5%
6	県	4	8.2%	2	4.1%	6	12.2%

表　3-4　「取組の連携相手」回答状況

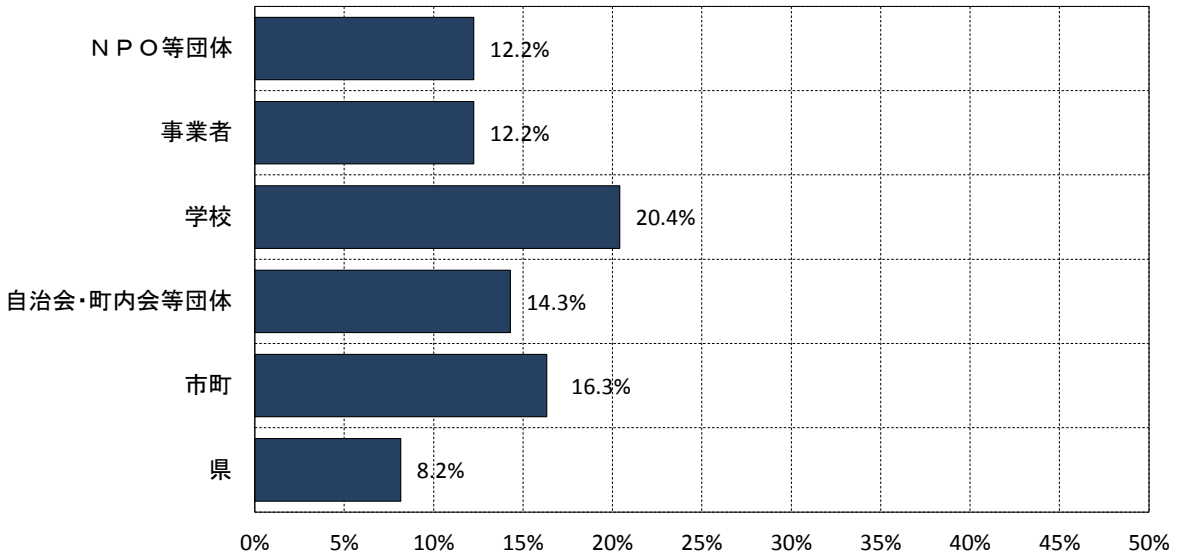


図　3-4　「取組の連携相手」回答率

問5	貴団体では、県に対してどのような役割を期待していますか？　（複数回答）

県に期待する役割は、「全県的な啓発（キャンペーン等の実施）」が32.7%で最も高く、次いで「情報交換の場や機会の提供」の20.4%となっている。

番号	県の役割	回答数	回答率
1	全県的な啓発（キャンペーン等の実施）	16	32.7%
2	調査研究や情報提供	9	18.4%
3	情報交換の場や機会の提供	10	20.4%
4	スタッフ育成の研修	2	4.1%
5	その他	6	12.2%
総回答数		43	87.8%

表　3-5　「県の役割」回答状況

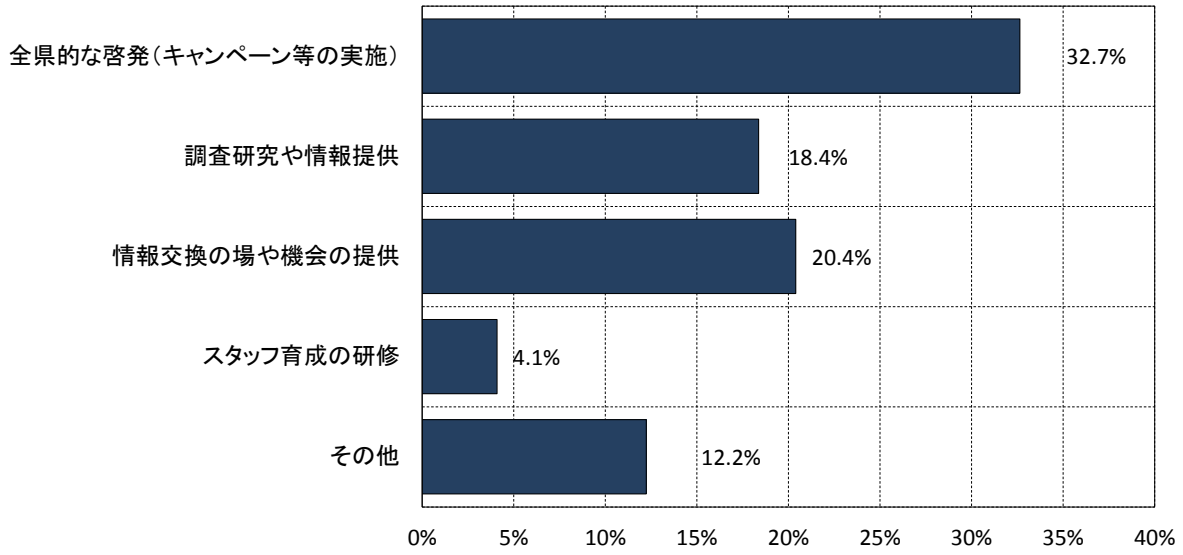


図　3-5　「県の役割」回答率

問6	県では、地域で積極的にごみ減量活動等に取り組まれている方々を対象に、ごみゼロプラン推進の取組への県民のみなさんの参画を促進し、自発的、主体的なごみ減量化の取組のさらなる活性化やそれらの広域展開をはかるため、日頃の活動内容の発表や情報交換など参加者同士の情報交流、先進事例やリサイクル制度等についての交流会を開催しています。より実り多い交流会とするため、皆様のご意見を参考とさせていただきますので、希望するテーマ、内容等をお聞かせください。　（自由記述）

交流会の希望するテーマ・内容は、全体的に回答率が低く、最も高い「その他」が8.2%、次いで「交流会そのものについて」及び「行政の活動について」が6.1%となっている。

番号	希望するテーマ内容（要約）	回答数	回答率
1	リサイクルについて	1	2.0%
2	団体が活動しやすくなるためのものについて	1	2.0%
3	交流会そのものについて	3	6.1%
4	「ごみゼロ」について	0	0.0%
5	行政の活動について	3	6.1%
6	ごみの減量化について	2	4.1%
7	ＲＤＦ発電について	0	0.0%
8	その他	4	8.2%
計		14	28.6%

表　3-6　「希望するテーマ・内容」回答状況

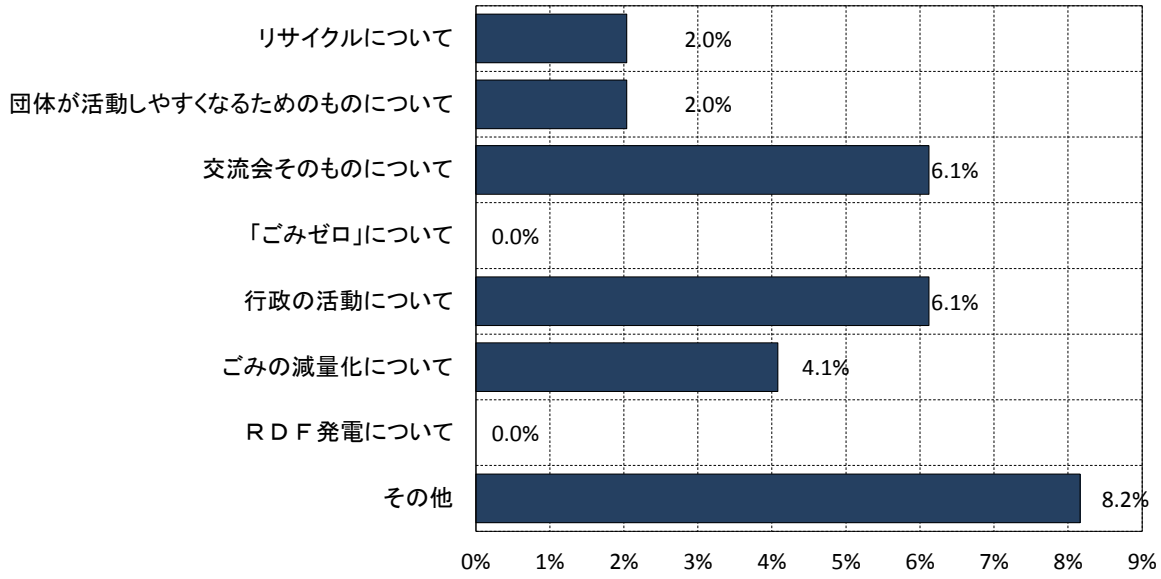


図　3-6　「希望するテーマ・内容」回答率

問7	「ごみゼロ社会」実現に向けて、ご意見等あれば、ご自由にご記入ください。 （自由記述）

自由意見の要約では、「行政への要望についての意見」が16.3%で最も高く、次いで「ごみ処理リサイクル方法、しくみづくりについての意見」及び「県民への啓発についての意見」が6.1%となっている。

番号	「ごみゼロ社会」実現にむけての意見（要約）	回答数	回答率
1	ごみ処理リサイクル方法、しくみづくりについての意見	3	6.1%
2	一人ひとりの関心や活動の大切さについての意見	2	4.1%
3	県民への啓発についての意見	3	6.1%
4	「ごみゼロ」についての意見	2	4.1%
5	団体の活動についての意見	1	2.0%
6	行政間やＮＰＯとの連携についての意見	0	0.0%
7	行政への要望についての意見	8	16.3%
8	自然を大切にすることについての意見	0	0.0%
9	その他の意見	2	4.1%
計		21	42.9%

表　3-7　「「ごみゼロ社会」実現にむけての自由意見」回答状況

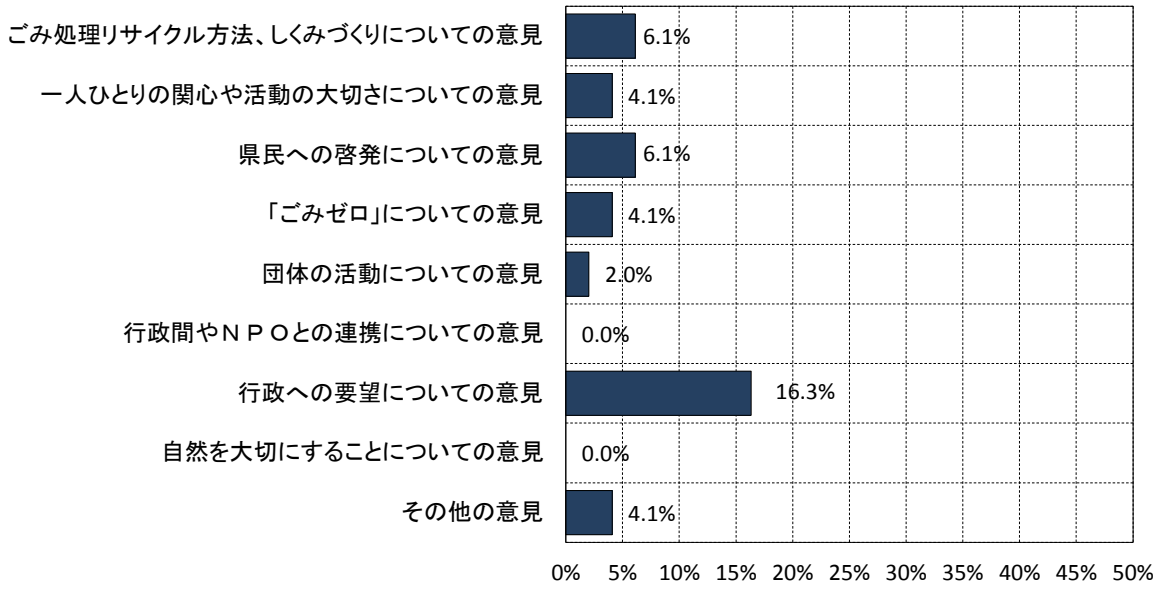


図　3-7　「「ごみゼロ社会」実現にむけての自由意見」回答率

問8	ごみゼロＨＰの「活動団体マップ」にてごみゼロ活動団体の紹介（現在32団体掲載）をしていますが、貴団体の情報についてＨＰに掲載させていただいてもよろしいですか？

HPへの掲載は、「はい」と「いいえ」がともに34.7%となっている。「すでに掲載している」団体は、8.2%となっている。

番号	ＨＰへの掲載	回答数	回答率
1	はい	17	34.7%
2	いいえ	17	34.7%
3	すでに掲載している	4	8.2%
99	無回答	11	22.4%
計		49	100.0%

表　3-8　「ＨＰへの掲載」回答状況

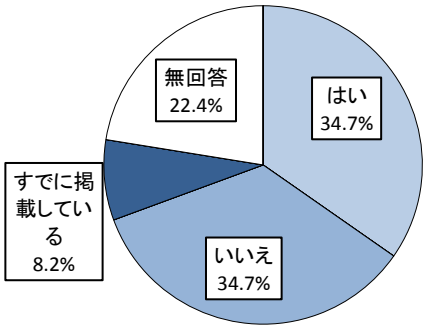


図　3-8　「ＨＰへの掲載」回答率

問9	平成19年に誕生した三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？

「ゼロ吉」の認知度は、「知っている」が65.3%、「知らない」が18.4%となっている。
「ゼロ吉」の認知度はかなり高いといえる。

番号	HPへの掲載	回答数	回答率
1	知っている	32	65.3%
2	知らない	9	18.4%
99	無回答	8	16.3%
計		49	100.0%

表　3-10　「「ゼロ吉」の認知度」回答状況

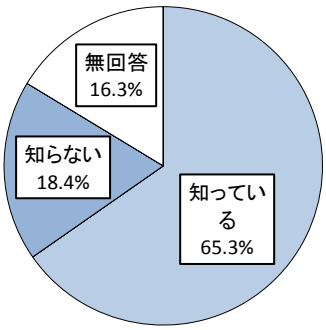
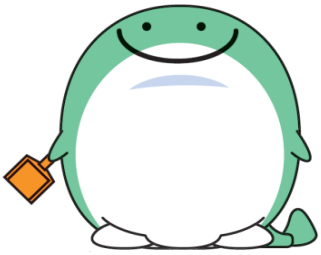
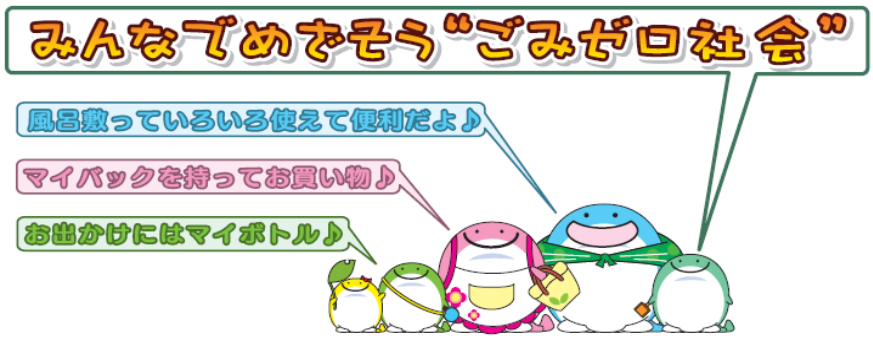


図　3-10　「「ゼロ吉」の認知度」回答率



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」



ゼロ吉ファミリー

4　過去の調査結果との比較

4-1　現在行っている取組内容について

平成23年度から平成27年度の5年間における各年度について、いずれの年度も上位10位に入っている取組は「フリーマーケット等の開催・出展」、「生ごみ堆肥化の実施・協力」、「生ごみ堆肥化に関する住民への啓発」、「廃食用油のリサイクル（ＢＤＦ、石鹸など）の実施・協力」、「ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施」、「レジ袋削減活動への展開」の5項目、4回は「市町の分別基準に従った適正な排出」、「ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力」の2項目となっている。
上記の取組を進めるＮＰＯ等団体の割合が高くなっている。

順位	番号	取組内容	上位10位以内の回数
1	5-1（1）	生ごみ堆肥化の実施・協力	14
2	5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など)の実施・協力	9
3	5-1（3）	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	8
5	3-1（1）	フリーマーケット等の開催・出展	7
5	6-3（4）	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	7
7	5-1（4）	生ごみの水切りの実施・協力	6
7	6-3（3）	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	6
9	5-1（2）	生ごみ堆肥化に関する地域活動に伴うネットワークづくり	5
9	8-3（1）	レジ袋削減活動の展開	5
15	6-1	飲料容器デポジット制度の導入・運用	4
15	6-2（1）	障がい者や高齢者の支援と連携したリサイクル事業の実施	4
15	6-2（2）	企業退職者等の地域での活動での活動の受け皿として活動の場の提供	4
15	7-3（1）	資源回収ステーションの運営受託、人材派遣	4
15	8-4（1）	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	4
15	9-1（5）	家庭における環境学習・教育の啓発	4
計			91

表　4-1　「平成23年度～平成27年度の上位10位以内の回数」

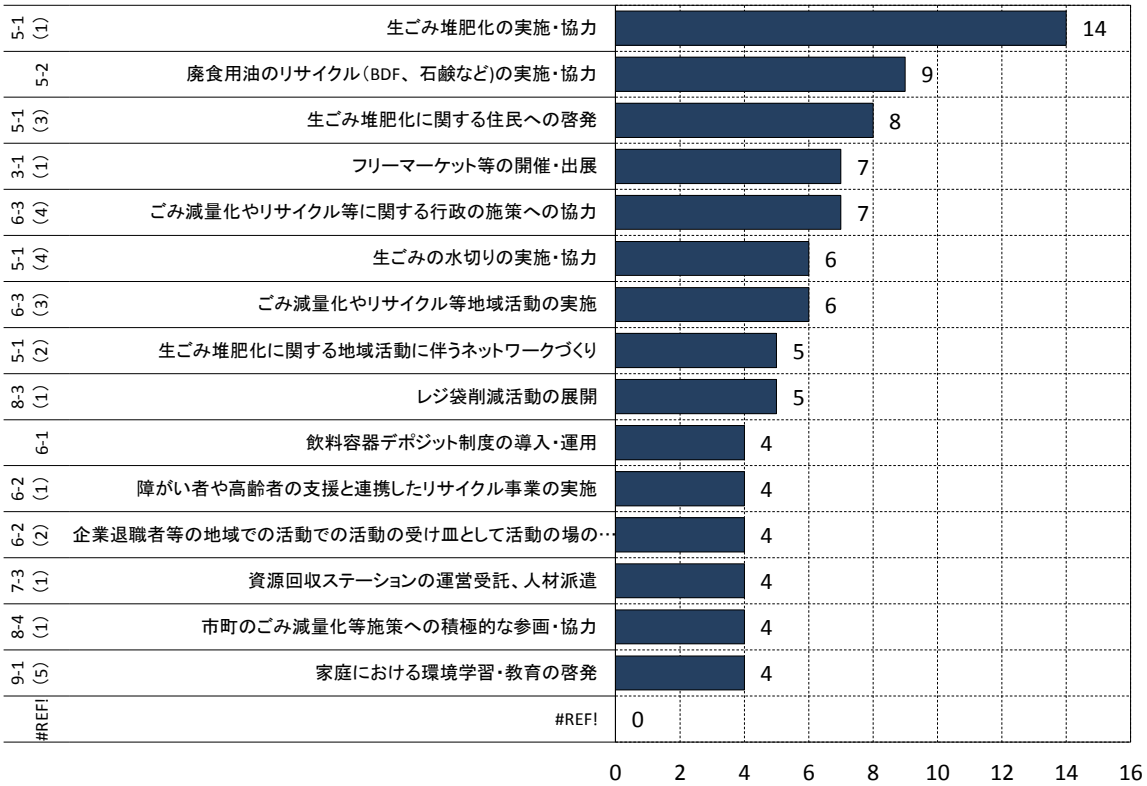


図　4-1　「平成23年度～平成27年度の上位10位以内の回数」

年度	順位	番号	取組内容	回答率
平成23年度	1	5-1(1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	32.0%
	2	4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	26.0%
	3	6-3(3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	24.0%
	4	5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など)の実施・協力	21.0%
	5	5-1(3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	21.0%
	6	3-1(1)	フリーマーケット等の開催・出展	21.0%
	7	8-2	レジ袋削減活動の展開	17.0%
	8	9-1(1)	環境学習・環境教育ツール・プログラム等の開発、行政の取組への参画	17.0%
	9	3-1(4)	リサイクルショップの運営	16.0%
	10	8-3(2)	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	16.0%
年度	順位	番号	取組内容	回答率
平成24年度	1	5-1(1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	26.3%
	2	5-1(3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	22.4%
	3	8-2	レジ袋削減活動の展開	22.4%
	4	3-1(1)	フリーマーケット等の開催・出展	21.1%
	5	4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	19.7%
	6	5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など)の実施・協力	18.4%
	7	6-3(4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	18.4%
	8	3-1(2)	不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり	15.8%
	9	6-3(3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	15.8%
	10	5-1(4)	生ごみの水切りの実施・協力	14.5%
年度	順位	番号	取組内容	回答率
平成25年度	1	5-1(1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	30.2%
	2	4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	23.8%
	3	5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など)の実施・協力	22.2%
	4	6-3(3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	20.6%
	5	6-3(4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	20.6%
	6	5-1(3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	20.6%
	7	3-1(1)	フリーマーケット等の開催・出展	19.0%
	8	8-2	レジ袋削減活動の展開	19.0%
	9	8-3(1)	行政との協働事業等の企画提案、事業の実施	17.5%
	10	8-3(2)	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	17.5%
年度	順位	番号	取組内容	回答率
平成26年度	1	5-1(1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	27.4%
	2	5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など)の実施・協力	24.2%
	3	6-3(3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	19.4%
	4	8-2	レジ袋削減活動の展開	16.1%
	5	5-1(4)	生ごみの水切りの実施・協力	16.1%
	6	4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	16.1%
	7	3-1(1)	フリーマーケット等の開催・出展	14.5%
	8	5-1(3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	14.5%
	9	3-1(2)	不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり	12.9%
	10	6-3(4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	11.3%
年度	順位	番号	取組内容	回答率
平成27年度	1	5-1(1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	28.6%
	2	5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など)の実施・協力	18.4%
	3	5-1(3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	16.3%
	4	3-1(1)	フリーマーケット等の開催・出展	14.3%
	5	6-3(4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	14.3%
	6	5-1(4)	生ごみの水切りの実施・協力	12.2%
	7	6-3(3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	12.2%
	8	5-1(2)	生ごみ堆肥化に関する地域活動に伴うネットワークづくり	10.2%
	9	8-3(1)	レジ袋削減活動の展開	10.2%
	10	6-1	飲料容器デポジット制度の導入・運用	8.2%

表　4-2　「年度別取組内容上位10位」

番号	現在行っている取組内容	平成23年度調査	平成24年度調査	平成25年度調査	平成26年度調査	平成27年度調査
3-1(1)	フリーマーケット等の開催・出展	21.0%	21.1%	19.0%	14.5%	14.3%
3-1(2)	不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり	12.4%	15.8%	12.7%	12.9%	6.1%
3-1(3)	修理教室、リフォーム教室等の実施	15.7%	13.2%	9.5%	4.8%	4.1%
3-1(4)	リサイクルショップの運営	4.5%	3.9%	3.2%	8.1%	4.1%
3-2(1)	リターナブル容器の良さなどのＰＲ	6.7%	6.6%	4.8%	3.2%	4.1%
3-2(2)	新たなリターナブル容器システムの構築、取組への支援・協力	2.2%	2.6%	1.6%	0.0%	2.0%
3-2(3)	リユースカップ・システムの情報発信	3.0%	1.3%	3.2%	1.6%	4.1%
3-2(4)	自治会、NPO等民間団体主催のイベント等におけるリターナブル容器の利用	5.6%	3.9%	7.9%	4.8%	4.1%
3-2(5)	移動食器洗浄車の購入・貸し出し	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3-2(6)	リユース食器レンタル事業の企画・運営	2.2%	2.6%	0.0%	1.6%	2.0%
3-2(7)	環境に配慮したエコイベントシステムの導入・実施	13.5%	11.8%	7.9%	6.5%	4.1%
3-3	リース・レンタルのサービスの提供、事業活動におけるレンタルやリースの活用	0.0%	1.3%	4.8%	1.6%	2.0%
3-4(1)	製品等の修理・修繕に関する住民への啓発	2.2%	2.6%	1.6%	4.8%	4.1%
3-4(2)	アップグレード（製品の性能・機能の向上）サービスに関する住民への啓発	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4-1	市町の分別基準に従った適正な排出	26.0%	19.7%	23.8%	16.1%	6.1%
4-2	容器包装の削減・簡素化に関する啓発・PR	13.5%	6.6%	14.3%	9.7%	6.1%
5-1(1)	生ごみ堆肥化の実施・協力	32.2%	26.3%	30.2%	27.4%	28.6%
5-1(2)	生ごみ堆肥化に関する地域活動に伴うネットワークづくり	11.2%	14.5%	11.1%	9.7%	10.2%
5-1(3)	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発	21.1%	22.4%	20.6%	14.5%	16.3%
5-1(4)	生ごみの水切りの実施・協力	14.5%	14.5%	15.9%	16.1%	12.2%
5-2	廃食用油のリサイクル（BDF、石鹸など)の実施・協力	21.3%	18.4%	22.2%	24.2%	18.4%
6-1	飲料容器デポジット制度の導入・運用	3.4%	3.9%	0.0%	1.6%	8.2%
6-2(1)	障がい者や高齢者の支援と連携したリサイクル事業の実施	9.0%	7.9%	7.9%	4.8%	8.2%
6-2(2)	企業退職者等の地域での活動の受け皿として活動の場の提供	7.9%	3.9%	3.2%	3.2%	8.2%
6-3(1)	地域通貨の仕組みを利用したリサイクルシステムの構築	2.2%	1.3%	1.6%	1.6%	4.1%
6-3(2)	地域通貨の発行	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
6-3(3)	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施	24.4%	15.8%	20.6%	19.4%	12.2%
6-3(4)	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力	14.4%	18.4%	20.6%	11.3%	14.3%
6-4	NPO・事業者・行政等の連携による資源物回収拠点システムの構築・運営	5.6%	6.6%	1.6%	9.7%	4.1%
6-6	廃プラスチック等の有効利用のための調査研究・技術開発	0.0%	1.3%	1.6%	3.2%	0.0%

表　4-3（1/2）　「年度別　現在行っている取組」回答率

番号	現在行っている取組内容	平成23年度調査	平成24年度調査	平成25年度調査	平成26年度調査	平成27年度調査
7-3(1)	資源回収ステーションの運営委託、人材派遣	3.4%	2.6%	4.8%	6.5%	8.2%
7-3(2)	資源回収ステーションを活用した学習機会の提供	6.0%	1.3%	3.2%	3.2%	4.1%
7-3(3)	集団回収のPR・実施	11.2%	3.9%	7.9%	4.8%	4.1%
8-1(1)	ごみ処理基本計画策定、実行の取組に参画	4.5%	5.3%	11.1%	1.6%	0.0%
8-1(2)	ごみ減量会議等への参画・協働	11.2%	10.5%	11.1%	8.1%	2.0%
8-1(3)	地域ごみゼロ推進交流会への参画	13.5%	13.2%	11.1%	8.1%	6.1%
8-2	レジ袋削減活動への展開	16.9%	22.4%	19.0%	16.1%	10.2%
8-3(1)	行政との協働事業等の企画提案、事業の実施	11.2%	6.6%	17.5%	3.2%	4.1%
8-3(2)	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力	15.7%	6.6%	17.5%	3.2%	8.2%
8-4(1)	「ごみゼロ社会」実現プランに関する情報提供への協力	6.7%	10.5%	1.6%	3.2%	4.1%
8-4(2)	ホームページなどを活用したごみ関連情報の発信	3.4%	6.6%	6.3%	1.6%	6.1%
8-5	食品ロス削減に向けた取組への参画、協力	1.3%	1.3%	4.8%	3.2%	4.1%
9-1(1)	環境学習・環境教育ツール・プログラム等の開発、行政の取組への参画	16.9%	9.2%	14.3%	4.8%	6.1%
9-1(2)	２０年後（平成３７年）のライフスタイル体験プログラムの企画・運営、行政の取組への参画・協力	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	4.1%
9-1(3)	こどもエコクラブ会員を対象とした学習会の企画・開催	4.5%	2.6%	3.2%	3.2%	4.1%
9-1(4)	家庭における環境学習・教育の啓発	11.1%	9.2%	14.3%	8.1%	8.2%
9-1(5)	家庭における環境学習・教育のツールの作成・普及活動	5.6%	5.3%	3.2%	3.2%	6.1%
9-1(1)	ごみゼロ達人育成への協力、派遣制度の活用	1.0%	1.3%	1.6%	1.6%	0.0%
9-1(2)	ごみゼロ人材ガイドブックの活用情報提供	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

表　4-3（2/2）　「年度別　現在行っている取組」回答率

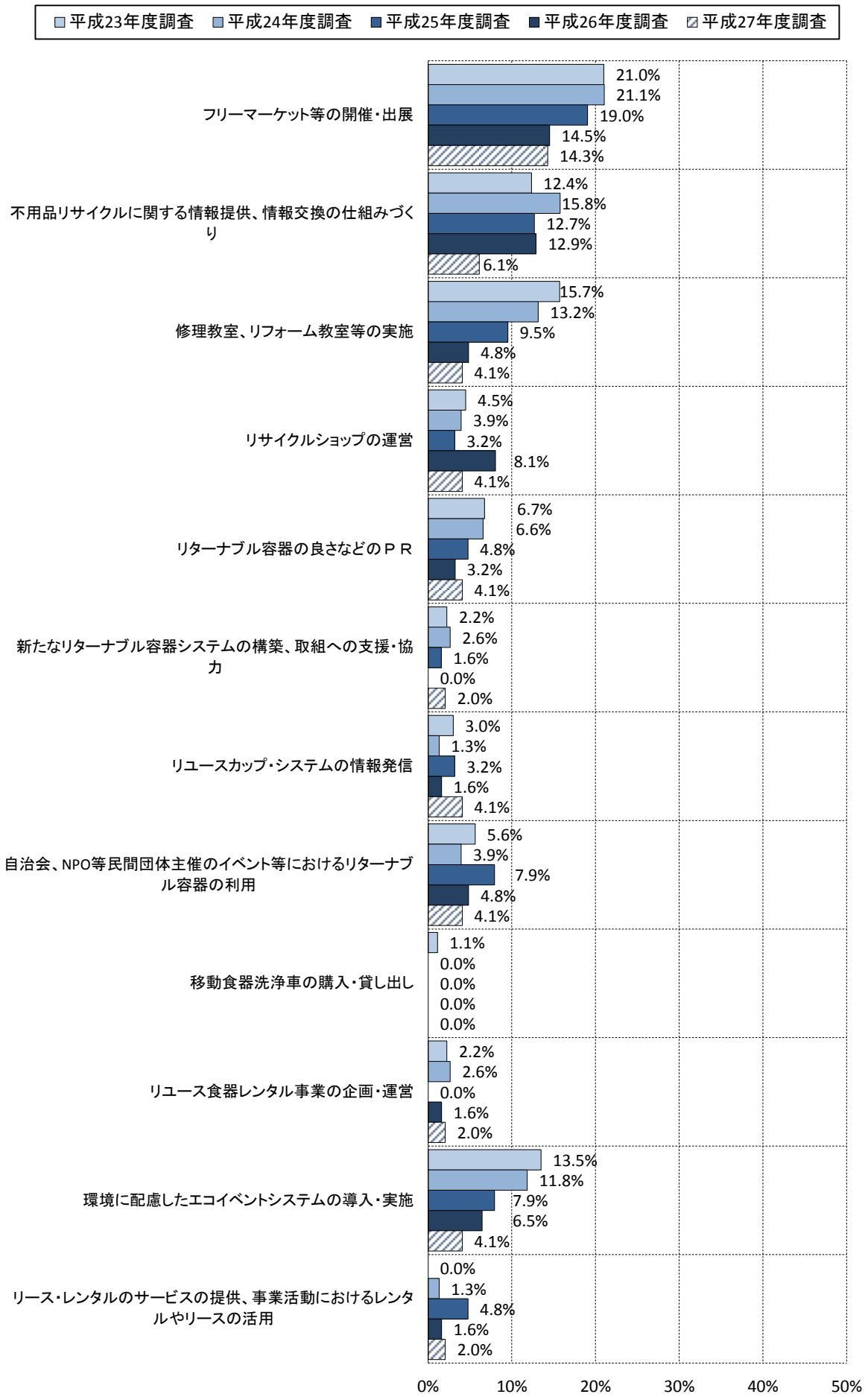


図　4-2（1/4）　「年度別　現在行っている取組」回答率

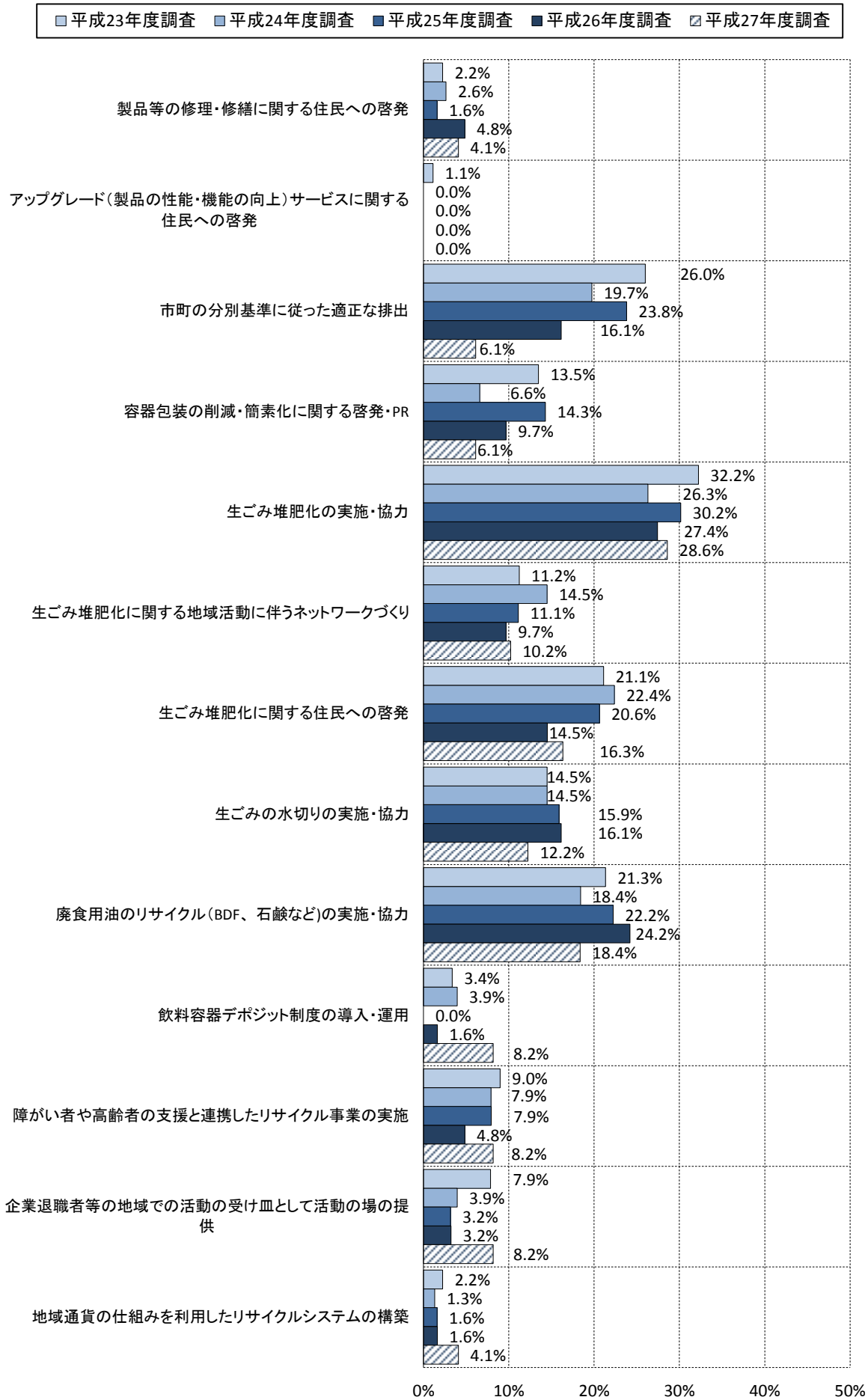


図　4-2（2/4）　「年度別　現在行っている取組」回答率

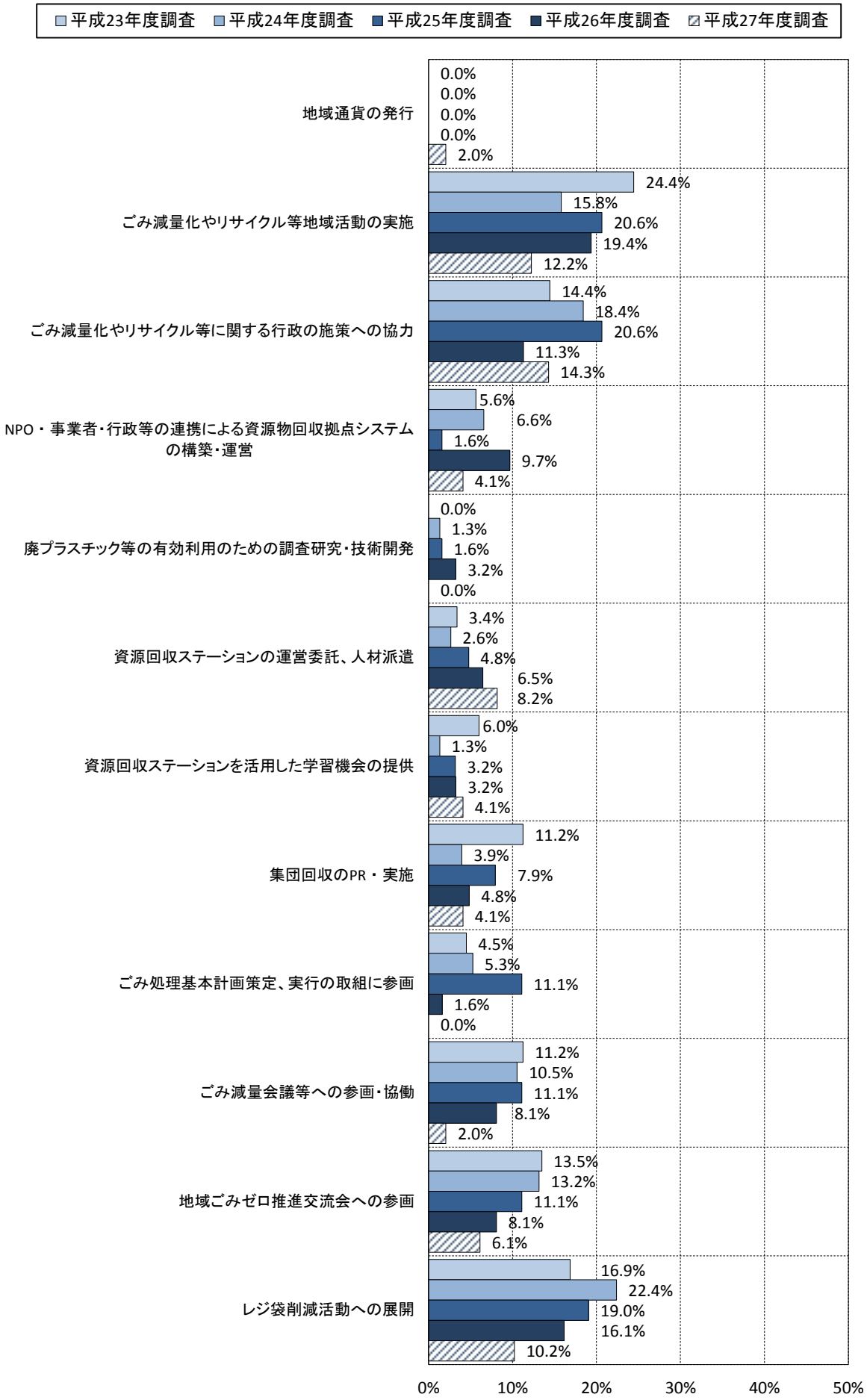


図　4-2（3/4）　「年度別　現在行っている取組」回答率

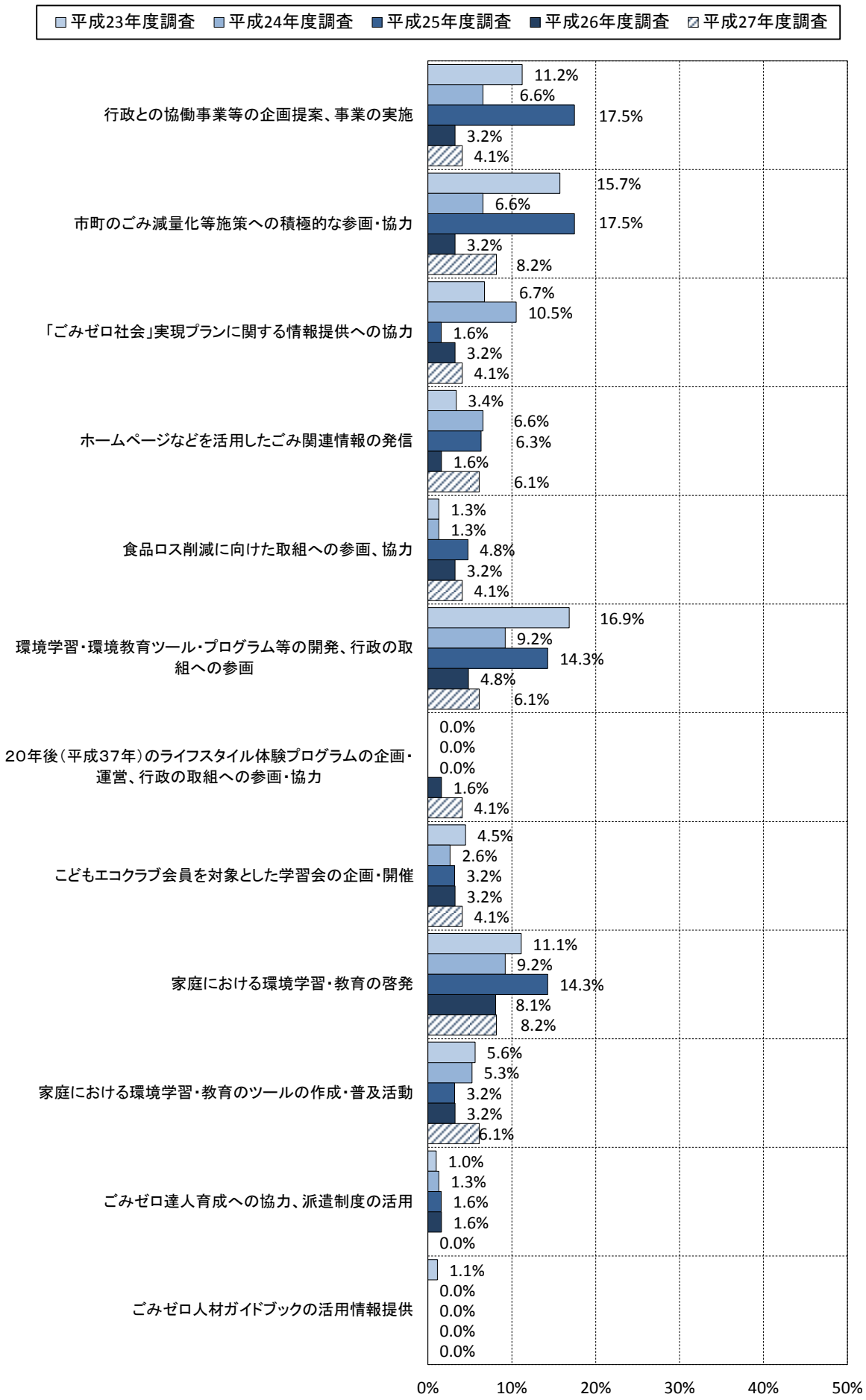


図　4-2（4/4）　「年度別　現在行っている取組」回答率

4-2　連携の相手について

年度別の現在の連携相手は、「市町」が平成23年度から平成25年度に向けて増加したものの、平成26年度以降は減少傾向となっている。
今後連携したい相手は、「学校」、「市町」、「自治会・町内会等団体」が高くなっている。

①　年度別：現在の連携相手

番号	連携相手：回答率	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	ＮＰＯ等団体	20%	18%	19%	7%	12%
2	事業者	17%	18%	17%	17%	12%
3	学校	22%	17%	22%	19%	20%
4	自治会・町内会等団体	23%	20%	25%	24%	14%
5	市町	22%	29%	37%	27%	16%
6	県	12%	13%	17%	7%	8%

表　4-4　「年度別　現在の連携相手」回答率

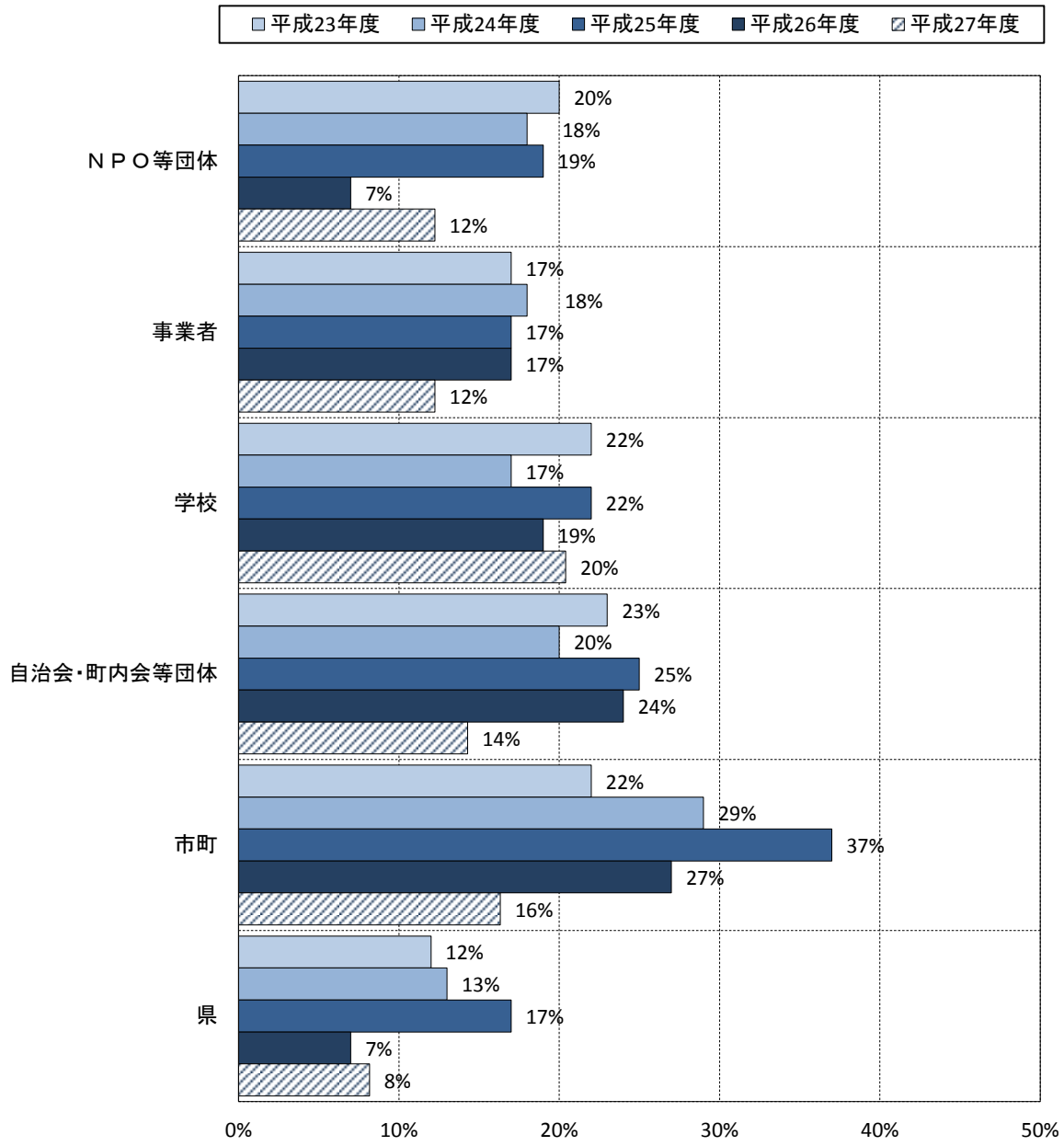


図　4-3　「年度別　現在の連携相手」回答率

② 年度別：今後連携したい相手

番号	連携相手：回答率	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	ＮＰＯ等団体	7%	4%	3%	3%	4%
2	事業者	3%	4%	5%	0%	6%
3	学校	2%	1%	6%	2%	14%
4	自治会・町内会等団体	10%	5%	3%	5%	8%
5	市町	9%	9%	6%	7%	10%
6	県	3%	4%	3%	3%	4%

表 4-5 「年度別 現在の連携相手」回答率

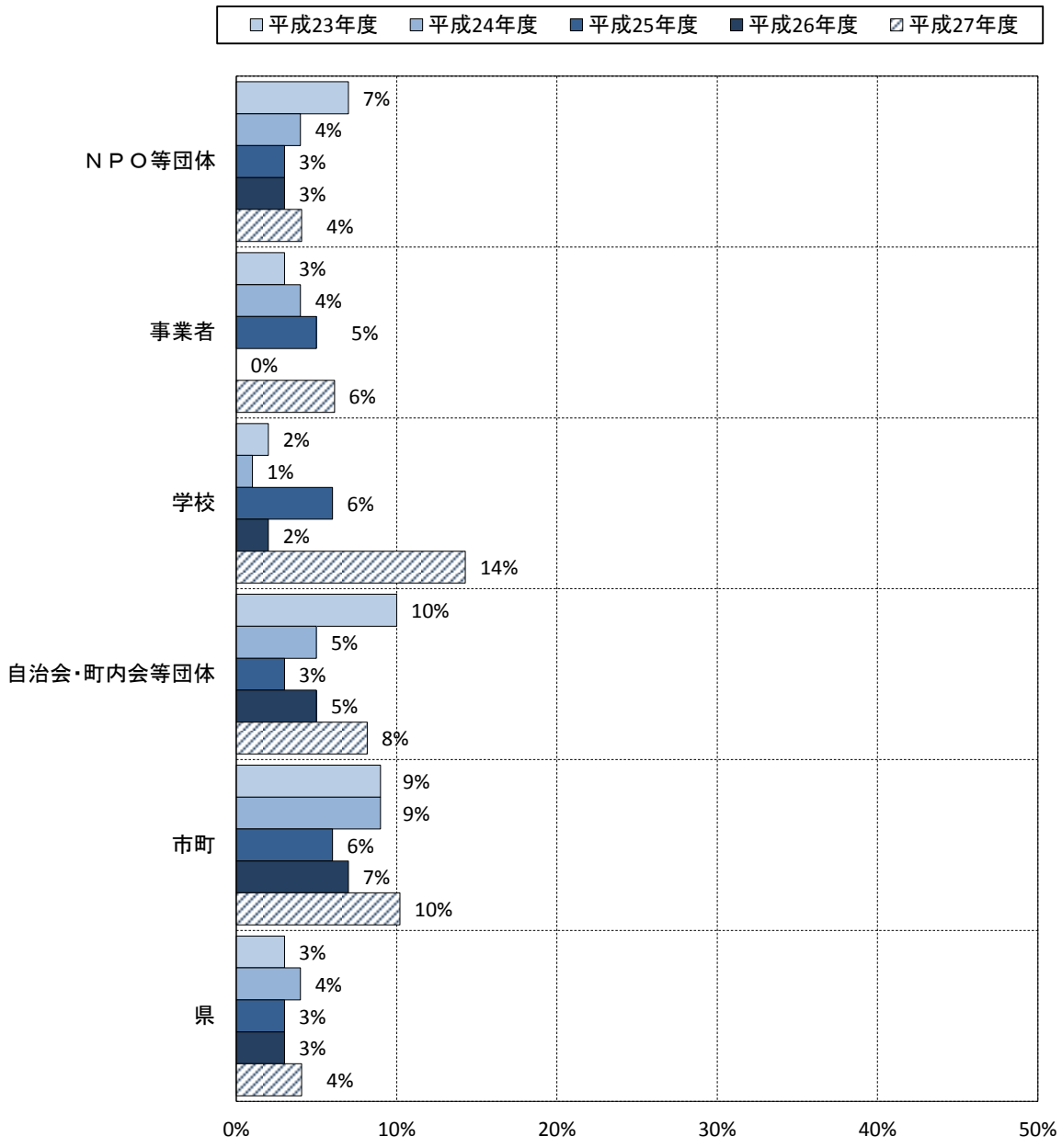


図 4-3 「年度別 現在の連携相手」回答率

4-3　県に期待する役割について

県に対する役割では、平成23年度以降、「全県的な啓発（キャンペーン等の実施）」が最も高くなっている。
年度別では、「全県的な啓発（キャンペーン等の実施）」、「その他」については増加傾向にあるが、それ以外については減少傾向となっている

番号	県に期待する役割	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	全県的な啓発(キャンペーン等の実施)	32%	38%	40%	40%	33%
2	調査研究や情報提供	21%	28%	17%	16%	18%
3	情報交換の場や機会の提供	36%	30%	29%	26%	20%
4	スタッフ育成の研修	18%	12%	13%	14%	4%
5	その他	9%	12%	16%	16%	12%

表　4-6　「年度別　県に期待する役割」回答率

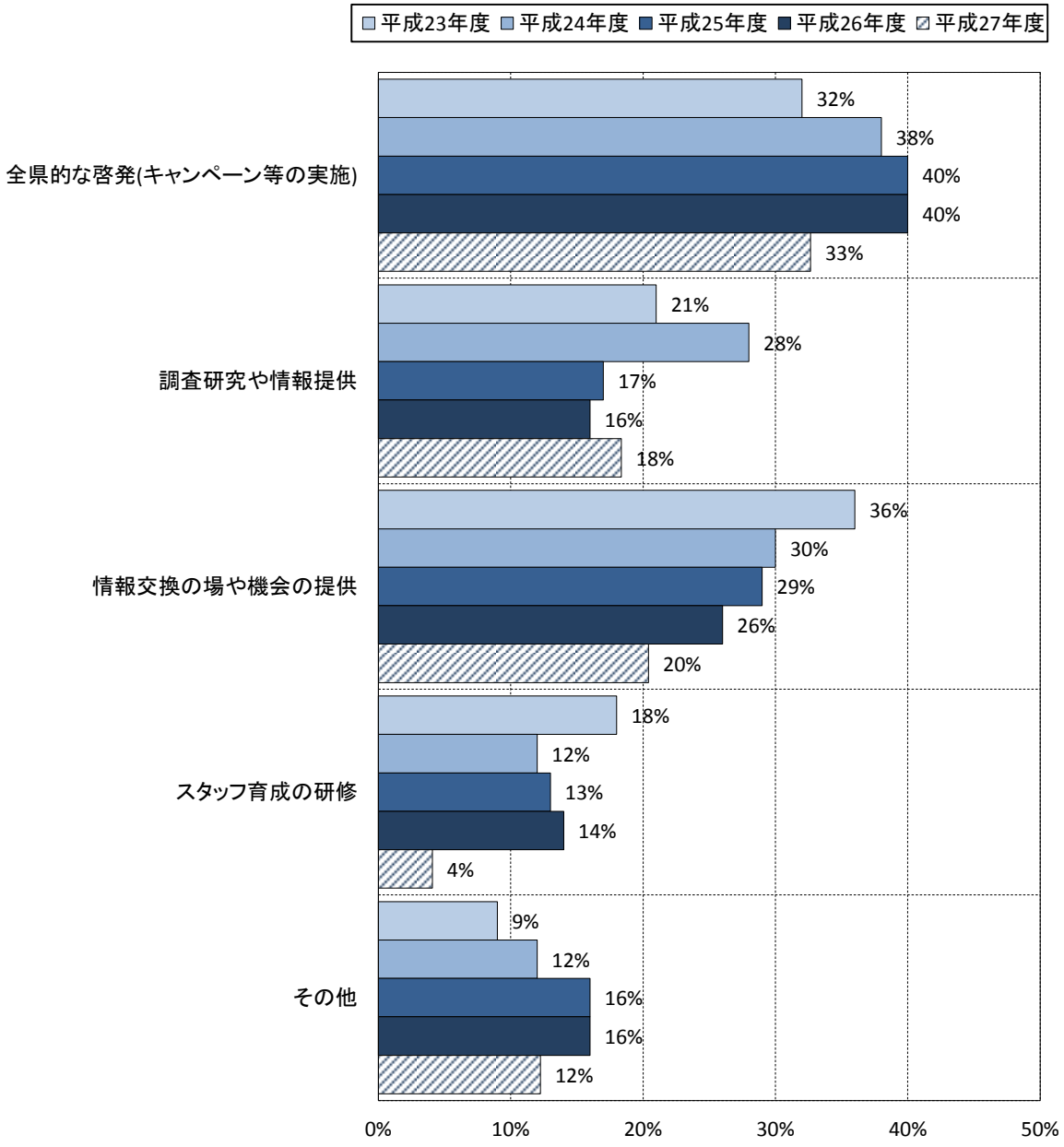


図　4-5　「年度別　県に期待する役割」回答率

5　自由記入意見まとめ

有効回答数のうち16事業所から多種多様な意見が寄せられており、内容について分類ごとに数例ずつ示す。

①清掃・美化活動等について（5団体）

- 公共地公園の美化活動を行っています。（ごみの収集、草刈、美化）
- 余野公園は国定公園内の自然公園で毎日たくさんの方が来園されるが基本的にはごみは各自持ち帰ってもらうことになっており、啓発も行っているが依然として、可燃性ごみ、缶、ビン等が放置されている。モラルの向上、広報の必要を考えている。また、公園内のツツジ、松の木が老化、病虫害等により枯れその処置に困っている。公園内の草、雑草等は刈り倒し自然に土に帰すべく処置をしている。
- 伊坂ダムの周回道路の清掃（月1回）。伊坂ダムの一隅に梅の木を植樹した（約100本以上）。草木の手入れ。伊坂ダムの施設の3箇所に草壇を設置し年2回植付け（毎日手入れ、草取り）。付設の喫茶店「ダムの喫茶店」周辺の清掃、手入れ、休憩所の手入れなど。伊坂ダム周辺に「鳥の巣箱」を設置。
- 里山での活動は間伐、草刈り、山道の整備を行っている。間伐材については、山並の階段補修、案内板等に利用していますが残った枝等につきましては現場処理をしています。
- 年に数回地域内6海岸のごみひろい（清掃）活動を実施し、会員の数倍の地区住民の協力があります。実施後数日で台風がきて、元にもどってしまうこともありますが、広報活動や清掃実施で多くの住民に海をよごさないという意識を高めてもらうことにつながればいいと思っています。又多くの参加者の交流も意義があると思っています。

②ごみのリサイクル・循環等について（3団体）

- 廃食油リサイクル活動。
- 主に桑名の名産蛤の貝がらの再利用ですが、特にストラップは可愛いです。蛤貝殻ストラップ、匂い貝OR貝雛も三重県でのマスコットにしていただく場があればうれしいです。
- ＥＭ発酵液とＥＭ石けん作り
- 廃品を利用したリサイクル手芸

③環境保全について（2団体）

- 緑化の推進。
- 自然環境の復元実践中。

④その他の具体的活動の実施について（3団体）

- 例えば、牛乳パックを使い防災グッズを作りあげ、全国展開し、喜ばれています。でも三重ではまだ一部ですし認められていないです。この企画と展開が防災と環境が手を組むとだれかが思うでしょう。しかし、本当のごみゼロとは、ごみを捨てるのでも、分別でもなく、そこに真の文化があればと、勝手に思っている私達です。ある物を使い、役に立つ物に作りかえる、そしてそれを発信する「お金を使うことなく」と。9月には、このグッズを使った防災講座をイタリアのミラノで開催します。楽しみにしています。
- 各種団体や学校などから、ごみの減量についての話とリサイクル教室の依頼があり、県の発行している「もったいない名人」と「地球温暖化をみんなで防ごう！」を利用して、学習会を開いています。啓発物品など色々ご協力頂きありがとうございます。私達の活動が少しでもお役に立てるなら幸いです。

・伊賀地域にある当市は、過疎の懸念ある地域です。したがって農業の担い手が深刻な問題であり、どうすれば若者が地域に定着するかということが第一の課題です。
そんな中でネット発信による取組により大勢の若者が来るようになりました。

その要因の一つとしてつぎの様なものが考えられます。
1、現在の若者で農村に関心のある人はほとんど「自然に優しい」「エコツーリズム」を基本にして取り組んでおります。むしろ対応側の我々が忠告される状態です。
2、地域興しのイベントごみゼロ作戦等の運動に対して当然のこととしてその次に来る対策を求めている様子です。どんなことかといえば、我々社会は、企業利益を目的に行動しております。そのことから離れて物事を考えなくては運動自体が、空虚で他人ごとに見えます。一つの例を示しますと、自然栽培農業です。農薬を使って作物を使っての大量生産は問題の悪化そのものです。ＴＰＰが現実になるとき、海外からの安い農産物が最も危険ではないでしょうか。そんな時自然に優しいエコツーリズム的運動が必要ではないでしょうか。
今私どもは、自然栽培の農業を勧めようと活動しております。
又地域の伝統文化の保存活動のために≪たましいの里祭り≫を実践しております。お祭り自体がエコを基本とした祭りです。うまく表現できませんが仰る趣旨は十分理解しておりますが、本来のごみゼロ作戦は結果ではなく精神部分にあると考えます。

⑤その他（3団体）

・いつも調査票を送って頂き、ありがとうございます。私達、七夕会では年齢が70才以上の方ばかりなので、協力があまり出来ません。ボランティアといっても月に1回色々な行事をしている程度です。又ごみゼロの事については皆さんと話し合うように、今後気をつけます。アンケートに協力出来なくて、申し訳ありません。
・情報紙“共創”を送付致します。創刊号は取り組みの概要がありますが、「伊勢竹鶏物語」も未利用廃棄物（野菜など）を利用しています。

６　NPO 等団体アンケート　調査票

◎ まず、貴団体について教えてください。

貴団体の属性 *（ひとつ選択）*	☐ 特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人） ☐ その他の法人格を持つ法人 ☐ 任意団体（企業関係者が中心） ☐ 任意団体（企業関係以外の個人が中心）
貴団体名	
代表者名	
貴団体の目的 *（＊定款等既存資料を添付いただければ、こちらへの記載は不要です。）*	
貴団体の環境保全に関する活動分野 *（複数選択可）*	☐ 限定せず環境保全全般、　☐ 森林保全（熱帯雨林除く） ☐ 自然保護・創出・緑化、　☐ 大気保全（地球規模除く） ☐ 水質保全、　☐ 廃棄物・リサイクル対策
活動を始めた時期	＿＿＿＿年＿＿＿月から
活動の範囲 *（複数選択可）*	☐ 地域・地区内 ☐ 市町内全域 ☐ 三重県内全域 ☐ 全国展開（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
会員数	
主たる事務所（事務局）の 所在形態 *（ひとつ選択）*	☐ 専用自己所有　☐ 専用賃貸 ☐ 他団体と共同所有　☐ 他団体と共同賃貸 ☐ 会員自宅や勤務先　☐ 特に限定していない ☐ その他（　　）
主たる事務所の住所	〒
電話番号・ＦＡＸ番号	
E-mail	
ホームページアドレス	

◎ 「ごみゼロ社会実現プラン」について

問１　三重県が平成17年３月に策定（平成23年３月改定）した「ごみゼロ社会実現プラン」をご存じですか？

□ よく知っている、　　□ 聞いたことがある、　　□ 知らない

◎ ごみの減量やリサイクルの取組状況について

問２　現在、貴団体ではごみ減量化等の取組を行っていますか？

□ 行っている、　　□ 行っていない**（⇒問４へ）**

問３　**【問２で「行っている」と答えた方のみお答えください。**それ以外の方は問４へ】

現在、貴団体が行っているごみ減量化等の取組は何ですか？
今後、力を入れていきたい取組は何ですか？それぞれにあてはまる項目の□にチェックをつけてください。
また、現在、すでに実施している場合は、取組内容を〔　　〕欄へ具体的にご記入ください。

基本取組番号	取　組　内　容	現在行っている取組	今後力を入れたい取組
3-1	フリーマーケット等の開催・出展 具体的な取組：（　　）	□	□
3-1	不用品リサイクルに関する情報提供、情報交換の仕組みづくり 具体的な取組：（　　）	□	□
3-1	修理教室、リフォーム教室等の実施 具体的な取組：（　　）	□	□
3-1	リサイクルショップの運営 具体的な取組：（　　）	□	□
3-2	リターナブル容器の良さなどのＰＲ 具体的な取組：（　　）	□	□
3-2	新たなリターナブル容器システムの構築、取組への支援・協力 具体的な取組：（　　）	□	□
3-2	リユースカップ・システムの情報発信 具体的な取組：（　　）	□	□
3-2	自治会、NPO 等民間団体主催のイベント等におけるリターナブル容器の利用 具体的な取組：（　　）	□	□
3-2	移動食器洗浄車の購入・貸し出し 具体的な取組：（　　）	□	□

基本取組番号	取　組　内　容	現在行っている取組	今後力を入れたい取組
3-2	リユース食器レンタル事業の企画・運営 具体的な取組：（　　）	□	□
3-2	環境に配慮したエコイベントシステムの導入・実施 具体的な取組：（　　）	□	□
3-3	リース･レンタルのサービスの提供、事業活動におけるレンタルやリースの活用 具体的な取組：（　　）	□	□
3-4	製品等の修理・修繕に関する住民への啓発 具体的な取組：（　　）	□	□
3-4	アップグレード（製品の性能・機能の向上）サービスに関する住民への啓発 具体的な取組：（　　）	□	□
4-1	市町の分別基準に従った適正な排出 具体的な取組：（　　）	□	□
4-2	容器包装の削減・簡素化に関する啓発・ＰＲ 具体的な取組：（　　）	□	□
5-1	生ごみ堆肥化の実施・協力 具体的な取組：（　　）	□	□
5-1	生ごみ堆肥化に関する地域活動に伴うネットワークづくり 具体的な取組：（　　）	□	□
5-1	生ごみ堆肥化に関する住民への啓発 具体的な取組：（　　）	□	□
5-1	生ごみの水切りの実施･協力 具体的な取組：（　　）	□	□
5-2	廃食用油のリサイクル（ＢＤＦ、石鹸など）の実施・協力 具体的な取組：（　　）	□	□
6-1	飲料容器デポジット制度の導入・運用 具体的な取組：（　　）	□	□
6-2	障がい者や高齢者の支援と連携したリサイクル事業の実施 具体的な取組：（　　）	□	□
6-2	企業退職者等の地域での活動の受け皿として活動の場の提供 具体的な取組：（　　）	□	□

基本取組番号	取　組　内　容	現在行っている取組	今後力を入れたい取組
6-3	地域通貨の仕組みを活用したリサイクルシステムの運営 具体的な取組：（　　）	□	□
6-3	地域通貨の発行 具体的な取組：（　　）	□	□
6-3	ごみ減量化やリサイクル等地域活動の実施 具体的な取組：（　　）	□	□
6-3	ごみ減量化やリサイクル等に関する行政の施策への協力 具体的な取組：（　　）	□	□
6-4	NPO・事業者・行政の連携による資源物回収拠点システムの構築・運営 具体的な取組：（　　）	□	□
6-6	廃プラスチック等の有効利用のための調査研究・技術開発 具体的な取組：（　　）	□	□
7-3	資源回収ステーションの運営受託、人材派遣 具体的な取組：（　　）	□	□
7-3	資源回収ステーションを活用した学習機会の提供 具体的な取組：（　　）	□	□
7-3	集団回収のPR・実施 具体的な取組：（　　）	□	□
8-1	ごみ処理基本計画策定、実行の取組に参画 具体的な取組：（　　）	□	□
8-1	ごみ減量会議等への参画・協働 具体的な取組：（　　）	□	□
8-1	地域ごみゼロ推進交流会への参画 具体的な取組：（　　）	□	□
8-2	レジ袋削減活動の展開 具体的な取組：（　　）	□	□
8-3	行政との協働事業等の企画提案、事業の実施 具体的な取組：（　　）	□	□
8-3	市町のごみ減量化等施策への積極的な参画・協力 具体的な取組：（　　）	□	□
8-4	「ごみゼロ社会」実現プランに関する情報提供への協力 具体的な取組：（　　）	□	□

基本取組番号	取　組　内　容	現在行っている取組	今後力を入れたい取組
8-4	ホームページなどを活用したごみ関連情報の発信 具体的な取組：（　　）	□	□
8-5	食品ロス削減に向けた取組への参画、協力 具体的な取組：（　　）	□	□
9-1	環境学習・環境教育のツール・プログラム等の開発、行政の取組への参画 具体的な取組：（　　）	□	□
9-1	２０年後（平成３７年）のライフスタイル体験プログラムの企画・運営、行政の取組への参画・協力 具体的な取組：（　　）	□	□
9-1	こどもエコクラブ会員を対象とした学習会の企画・開催 具体的な取組：（　　）	□	□
9-1	家庭における環境学習・教育の啓発 具体的な取組：（　　）	□	□
9-1	家庭における環境学習・教育のツールの作成・普及活動 具体的な取組：（　　）	□	□
9-2	ごみゼロ達人（**※1**）育成への協力、派遣制度の活用 具体的な取組：（　　）	□	□
9-2	ごみゼロ人材ガイドブック（**※2**）の活用・情報提供 具体的な取組：（　　）	□	□

※1　ごみゼロ達人：ごみゼロに関するさまざまな分野における専門的な技術や知識をもち、ごみゼロの“こつ”を伝授する人のことを言います。

※2　ごみゼロ人材ガイドブック：ごみ減量化に熱心に取り組んでいる人たちを紹介する名簿などを言います。

問４　貴団体で、ごみ減量化の取組の連携相手はどこですか？
また、今後、どのような相手と連携したいですか？
当てはまる項目の□にチェックするとともに、取組内容を具体的に記入してください。

連携相手	連携の状況
NPO 等団体	□ 現在連携している 具体的な取組：（　　） □ 今後連携したい 具体的な取組：（　　）
事業者	□ 現在連携している 具体的な取組：（　　） □ 今後連携したい 具体的な取組：（　　）

学校	☐ 現在連携している 具体的な取組：（　　） ☐ 今後連携したい 具体的な取組：（　　）
自治会・ 町内会等団体	☐ 現在連携している 具体的な取組：（　　） ☐ 今後連携したい 具体的な取組：（　　）
市町	☐ 現在連携している 具体的な取組：（　　） ☐ 今後連携したい 具体的な取組：（　　）
県	☐ 現在連携している 具体的な取組：（　　） ☐ 今後連携したい 具体的な取組：（　　）

問５　貴団体では、県に対してどのような役割を期待していますか？　（複数選択可）

☐ 全県的な啓発（キャンペーン等の実施）、　☐ 調査研究や情報提供
☐ 情報交換の場や機会の提供、　☐ スタッフ育成の研修
☐ その他　（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問６　県では、日頃の活動内容の発表や情報交換など参加者同士の情報交流、先進事例やリサイクル制度等についての交流会を開催しています。
実り多き交流会とするため、皆様のご意見を参考とさせていただきますので、希望するテーマ、内容等をお聞かせください。

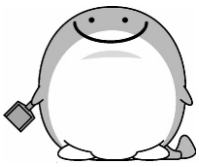
問７　「ごみゼロ社会」実現に向けて、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

問８　県では、ごみゼロＨＰ（ URL　http://www.eco.pref.mie.lg.jp/gomizero/ ）の「活動団体マップ」にてごみゼロ活動団体の紹介（現在３２団体掲載）をしていますが、貴団体の情報についてＨＰに掲載させていただいてもよろしいですか？

☐ はい　　☐ いいえ　　☐すでに掲載している

問９　平成19年に誕生した三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」をご存じですか？

☐ 知っている　　☐ 知らない



三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

「ゼロ吉」 着ぐるみ

「ゼロ吉」とその家族ゼロ吉ファミリーはごみゼロ社会の実現に資する場合には、自由に使用していただけます。また、ごみ削減を啓発するＤＶＤや「ゼロ吉」着ぐるみの貸し出しも行っています。ご希望される場合はあらかじめ三重県環境生活部廃棄物対策局廃棄物・リサイクル課までお問い合わせください。

※貴団体において、ごみの減量やリサイクル以外の環境取組を実施している場合は、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。お忙しいところ調査にご協力いただきましてありがとうございました。

ゼロ吉ファミリー

Ⅳ.　市町ごみ処理状況調査

1　調査の概要

1-1　調査の目的

市町のごみ減量化に関する施策の実施状況や考え方を把握することにより、「ごみゼロ社会実現プラン」の推進に必要な基礎資料とするため、実施する。

1-2　調査対象

県内全29市町を調査対象とした。

1-3　調査方法

メールによって調査票を発送、回収した。

1-4　調査期間

平成27年7月31日に調査票を電子メールで送信し、8月11日を回答期限として回収した。

1-5　回収状況

全29市町から回答を得た。

2　調査結果

2-1　基本方向2　事業系ごみの総合的な減量化の推進

（1）　基本取組2-1　事業系ごみ処理システムの再構築

ア　事業系ごみの処理実態等の把握、適正処理システムの検討・整備、排出者の届出指導等

●　事業系ごみの減量化に関する取組内容について

事業系ごみの減量化に関する取組について「実施している」が多い取組は「搬入時に立ち会い、不適物に対して分別指導や搬入拒否の実施」、「減量化・分別の啓発・情報提供」となっている。一方、「事業系ごみの業種ごとの排出状況や処理の方法の把握」、「廃棄物管理責任者の選任指導」、「排出事業者への立入調査の実施」などの排出状況の把握に関する取組の実施状況が低い結果となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
事務系ごみの減量化施策の検討を実施していますか。	12	10	7	29
少量事業系ごみ排出者の適正処理を促すシステムの検討・整備を実施していますか。	4	11	14	29
事業系ごみの業種ごとの排出状況や処理の方法の把握をしていますか。	1	9	19	29
事業系ごみの家庭系ごみへの混入状況の把握をしていますか。	4	11	14	29
排出事業者に対して、市町の基準に沿ってごみを適正に処理するよう指導をしていますか。	19	5	5	29
廃棄物管理責任者の選任指導をしていますか。	1	6	22	29
事業系ごみの分別・排出区分の基準づくり、明確化していますか。	6	10	13	29
許可業者に対する適正な指導・育成をしていますか。	19	6	4	29
排出業者や許可業者に対して搬入計画の提出をさせていますか。	16	2	11	29
排出業者や許可業者に対して減量化・分別の啓発・情報提供をしていますか。	22	1	6	29
排出業者や許可業者に対して減量化・分別の指導をしていますか。	20	3	6	29
排出事業者に対するごみ減量化計画等の届出を義務づけていますか。	3	6	20	29
排出事業者への立入調査を実施していますか。	1	4	24	29
搬入時に立ち会い、不適物に対して分別指導や搬入拒否を実施していますか。	24	0	5	29
リサイクル可能な事業系の古紙等の市町焼却場への搬入を規制していますか。	11	2	16	29

表　2-1-1　回答数

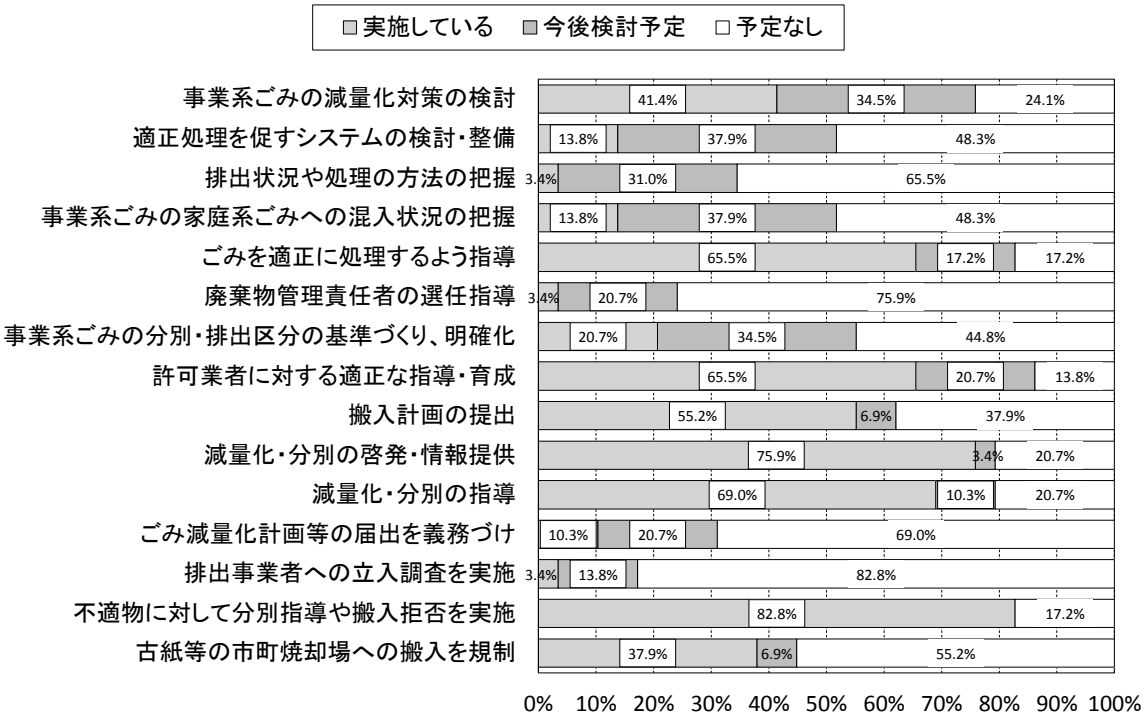


図　2-1-1　回答率

● 搬入抑制のための搬入制限等の実施施策について

搬入抑止のための搬入制限等の実施施策については、5市町で搬入制限等の施策を実施しており、施策の具体的内容は以下の通りである。

質問	具体的施策	実施年度（平成）	
		開始	終了
搬入抑制のために搬入制限などを実施していますか。	土砂・瓦礫類の一時置場への事業系の搬入禁止	22	
	庭木・草の搬入制限（町内民間リサイクル施設への搬入）	18	
	不燃物処理施設の産業廃棄物受入廃止	20	
	ぬきうち調査の実施	19	26
	事業系草木類の搬入禁止	20	

表　2-1-2　「具体的施策」回答状況

イ　適正なごみ処理料金体系の構築

● 事業系ごみの処理手数料の値上げ及び料金体系変更（H25、26年度実施又は予定）について

事業系ごみの処理手数料の値上げ及び料金体系変更（H25、26年度実施又は予定）については、「実施した」が9市町（31%）で、「検討中」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答				計
	実施した	今後実施予定	検討中	予定なし	
平成25、26年度において事業系ごみの手数料の値上げ及び料金体系変更を実施しましたか。また予定はありますか。	9	2	5	13	29
	31.0%	6.9%	17.2%	44.8%	100.0%

表　2-1-3　「処理料金変更」回答状況

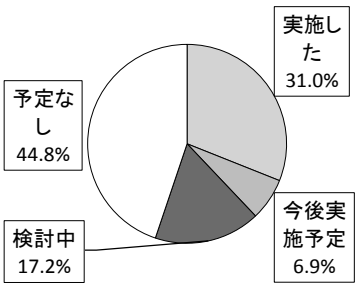


図　2-1-2　回答率

● 効果的な料金徴収の仕組みの検討・導入の実施について

効果的な料金徴収の仕組みの検討・導入については、「導入している」は5市町（17.2%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答				計
	導入している	検討中	今後検討予定	実施していない	
事業系ごみに対する指定ごみ袋制（有料ごみ袋制）など、効果的な料金徴収の仕組みの検討・導入を実施していますか。	5	0	5	19	29
	17.2%	0.0%	17.2%	65.5%	100.0%

表　2-1-4　「効果的な料金徴収の仕組みの検討・導入の実施」回答状況

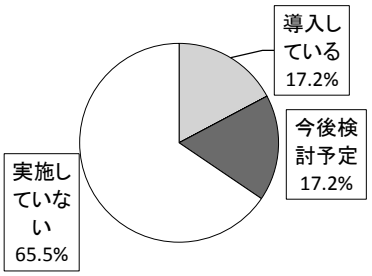


図　2-1-3　回答率

ウ　一般廃棄物処理計画における減量化方針等の確立

● 事業系ごみに関する数値目標の設定について

事業系ごみに関する数値目標については、「設定している」が18市町（62.1%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	設定している	今後検討予定	予定なし	
一般廃棄物処理計画において、事業系ごみに関する数値目標を設定していますか。	18	6	5	29
	62.1%	20.7%	17.2%	100.0%

表　2-1-5　「事業系ごみに関する数値目標の設定」回答状況

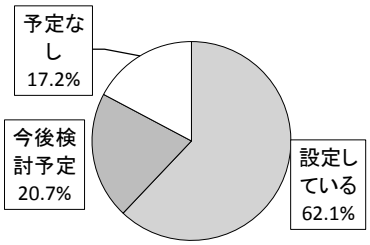


図　2-1-4　回答率

（2）　基本取組2-2　事業系ごみの発生・抑出抑制

ア　自主情報公開制度の推進

● 「自主情報公開制度」に関する取組の実施について

「自主情報公開制度」に関する取組については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が7市町（24.1%）となっている。

質問	市町回答			計
	設定している	今後検討予定	予定なし	
「自主情報公開制度」に関連する取組を実施していますか。	1	7	21	29
	3.4%	24.1%	72.4%	100.0%

表　2-1-6　「「自主情報公開制度」に関する取組の実施」回答状況

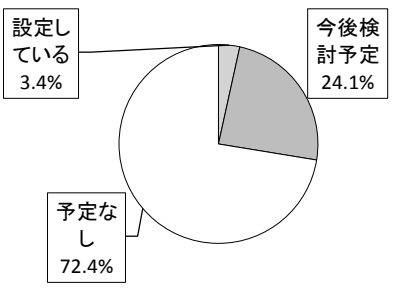


図　2-1-5　回答率

（3） 基本取組2-3 事業系ごみの再利用の促進

ア 業種別ガイドラインの作成

● 「業種別ガイドライン」に関する取組について

「業種別ガイドライン」に関する取組については、「実施している」市町がなく、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
「業種別ガイドライン」に関する取組を実施していますか。	0	5	24	29
	0.0%	17.2%	82.8%	100.0%

表 2-1-7 「「業種別ガイドライン」に関する取組の実施」回答状況

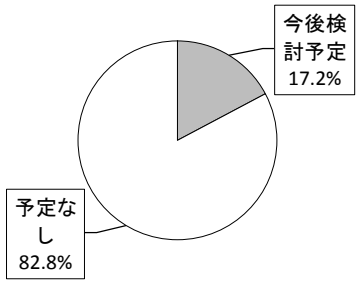


図 2-1-6 回答率

イ 事業系ごみの再資源化推進

● 事業者への情報提供や技術的支援の実施について

事業者への情報提供や技術的支援については、「実施している」が8市町（27.6%）、「今後検討予定」が7市町（24.1%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
事業系の生ごみや紙ごみ等の資源化促進のため、事業者等への情報提供や技術的支援を実施していますか。	8	7	14	29
	27.6%	24.1%	48.3%	100.0%

表 2-1-8 「情報提供や技術的支援の実施」回答状況

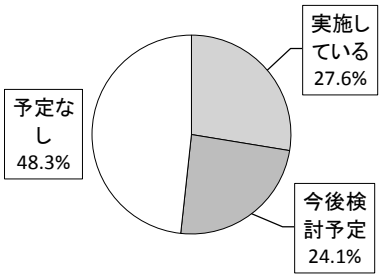


図 2-1-7 回答率

● 事業者間の連携・交流を促進する取組の実施について

事業者間の連携・交流を促進する取組については、「実施している」市町がなく、「今後検討予定」が9市町（31.0%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
事業系の生ごみや紙ごみ等の資源化促進のため、事業者間の連携・交流を促進する取組を実施していますか。	0	9	20	29
	0.0%	31.0%	69.0%	100.0%

表 2-1-9 「連携・交流を促進する取組の実施」回答状況

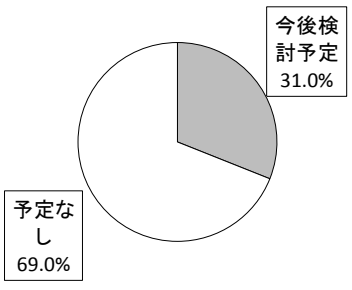


図 2-1-8 回答率

2-2　基本方向3　リユース（再使用）の推進

（1）　基本取組3-1　不用品の再使用の推進

ア　フリーマーケット等の開催

● フリーマーケット等の支援、開催等に関わる情報提供の実施について

フリーマーケット等の支援、開催等に関わる情報提供については、「実施している」が16市町（55.2%）であり、「予定なし」が10市町（34.5%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
フリーマーケット等の開催、会場提供等の支援、開催等に係る情報提供を実施していますか。	16	3	10	29
	55.2%	10.3%	34.5%	100.0%

表　2-2-1　「支援、開催等に関わる情報提供の実施」回答状況

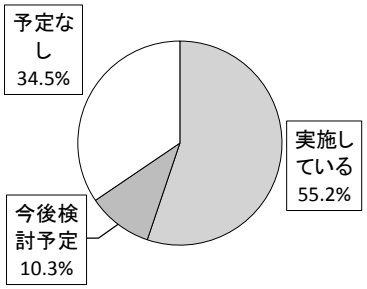


図　2-2-1　回答率

● フリーマーケット等の平成26年度の開催実績について

フリーマーケット等の平成26年度の開催等実績については下表の通りである。

質問	市町名	平成26年度　開催実績					
		実施日	名称	実施場所	実施主体	来場者数	市町の実施内容
フリーマーケット等の開催、会場提供等の支援、開催等に係る情報提供の実績は。	津市	H27.1.25	つ・環境フェア	津競艇場	実行委員会	約5,500	共催・情報提供
	四日市市	H26.6.22	フリーマーケットin四日市vol46	四日市ドーム	MFA	2,328	後援
		H26.11.2	フリーマーケットin四日市vol47	四日市ドーム	MFA	2,652	後援
		H27.3.22	フリーマーケットin四日市vol48	四日市ドーム	MFA	2,550	後援
	伊勢市	H26.11.29	もったいないフェア	リサイクルプラザ	リサイクルプラザ運営委員会	約2,000	開催支援
	鳥羽市	H26.10.19	ひだまりフェスタ	保険福祉センターひだまり	鳥羽市・障がい者互助会	約100	支援・情報提供等
	菰野町	H26.9.17	第15回リサイクルイベント	大羽根中央公園	大羽根園自治会	約100	不用品回収の支援
	東員町	H26.9.7	第43回東員フリーマーケット	陸上競技場駐車場	東員町クリーン作戦委員会	約600	開催
		H27.3.7	第44回東員フリーマーケット	陸上競技場駐車場	東員町クリーン作戦委員会	約600	開催

表　2-2-2　「フリーマーケット開催実績（平成26年度）」回答状況1

質問	市町名	平成26年度　開催実績					
		実施日	名称	実施場所	実施主体	来場者数	市町の実施内容
フリーマーケット等の開催、会場提供等の支援、開催等に係る情報提供の実績は。	木曽岬町	H27.3.21	伸びゆく木曽岬町のふれあい広場2015	役場前広場	実行委員会	約1,000	募集、開催、場所提供等
	川越町	H26.11.3	川越ふれあい祭	町総合センター	町、社会福祉協議会	約1,500	開催、支援
	明和町	H26.11.29	もったいないフェア	伊勢リサイクルプラザ	伊勢リサイクルプラザ運営委員会	約2,000	開催、支援、情報提供
	多気町	H26.6.28	リサイクルフェア	香肌奥伊勢資源化プラザ	香肌奥伊勢資源化プラザ	約300	情報提供
	大台町	H26.5.18	リサイクルフェア	香肌奥伊勢資源化プラザ	香肌奥伊勢資源化プラザ	約1,000	情報提供
		H26.11.9	どんとこいまつり	大台町役場駐車場	大台町	約10,000	開催
		H27.3.1	リサイクルフェア	リユース工房	大台町	25	開催
	玉城町	H26.11.29	もったいないフェア	リサイクルプラザ	リサイクルプラザ運営委員会	約2,000	市町ブースの提供
	度会町	H26.4.6	春まつり	宮リバー度会パーク	春まつり実行委員会	約5,000	情報提供
		H26.11.29	もったいないフェア	リサイクルプラザ	リサイクルプラザ運営委員会	約2,000	支援、情報提供
	大紀町	H26.6.28	リサイクルフェア	香肌奥伊勢資源化プラザ	香肌奥伊勢資源化プラザ	300	支援、情報提供
	御浜町	毎月実施	みはま元気まつり	「道の駅」パーク七里御浜	御浜町生ごみ減らし隊ほか	毎月約200	支援（チラシ作成など）
	紀宝町	H26.11.24	紀宝町健康まつり	紀宝町保健センター	紀宝町	数百人	開催・情報提供等

表　2-2-3　「フリーマーケット開催実績（平成26年度）」回答状況2

イ　不用品リサイクル情報の提供及び利用促進の仕組みづくり
　　不用品再使用のための修理、リフォーム等の推進
　　リサイクルショップ等の活用を進めるための仕組みづくり

● 不用品の再使用に関する取組について

不用品の再使用に関する取組の実施率は41～51%であるが、リサイクルショップに関する取組はほとんど実施されていない。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
不用品のリサイクルに関する情報提供や情報交換の仕組みづくりを実施していますか。	15	6	8	29
	51.7%	20.7%	27.6%	100.0%
修理教室、リフォーム教室を実施していますか。	9	4	16	29
	31.0%	13.8%	55.2%	100.0%
不用品の修理・販売を実施していますか。	12	3	14	29
	41.4%	10.3%	48.3%	100.0%
リサイクルショップ認定制度等利用促進のための仕組みづくりを実施していますか。	0	3	26	29
	0.0%	10.3%	89.7%	100.0%
リサイクルショップに関する情報発信を実施していますか。	0	4	25	29
	0.0%	13.8%	86.2%	100.0%

表　2-2-4　「情報提供・仕組みづくり実施」回答状況

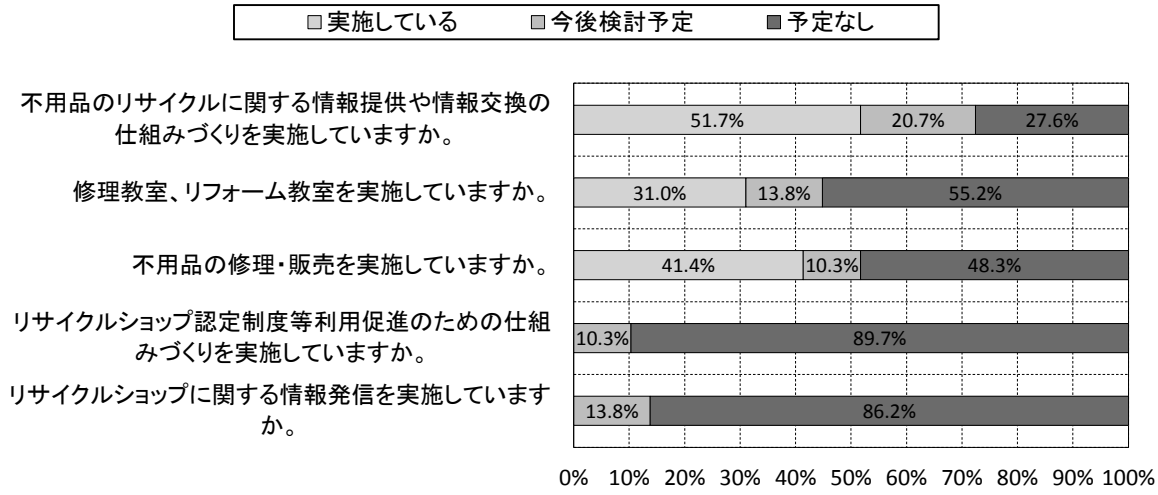


図　2-2-2　「情報提供・仕組みづくり実施」回答率

（2）　基本取組3-2　リターナブル（リユース）容器の普及促進

ア　既存のリターナブル容器製品のPR等利用促進

●　リターナブル容器の良さなどのPR実施について

リターナブル容器の良さなどのPRについては、「実施している」が9市町（31.0%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
リターナブル容器の良さなどのPRを実施していますか。	9	6	14	29
	31.0%	20.7%	48.3%	100.0%

表　2-2-5　「リターナブル容器のPRの実施」回答状況

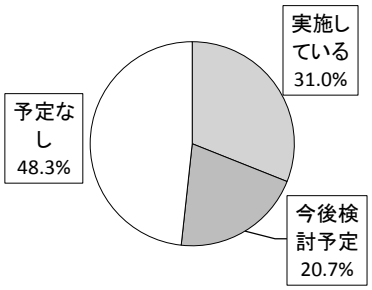


図　2-2-3　回答率

イ　新たなリターナブル容器システムの構築

●　新たなリターナブル容器システムの構築への支援・協力の実施について

新たなリターナブル容器システムの構築への支援・協力については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
新たなリターナブル容器システムの構築に対する支援・協力を実施していますか。	0	6	23	29
	0.0%	20.7%	79.3%	100.0%

表　2-2-6　「支援・協力の実施」回答状況

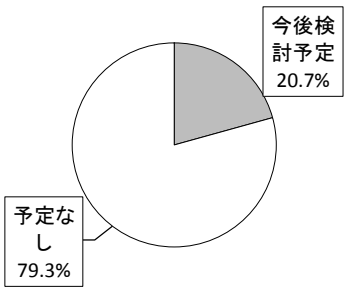


図　2-2-4　回答率

ウ　リユースカップ・システム等の推進

●　リユースカップ導入促進に関する取組の実施について

リユースカップ導入促進に関する取組については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
集客交流施設等へのリユースカップ導入促進に関する取組を実施していますか。	0	6	23	29
	0.0%	20.7%	79.3%	100.0%

表　2-2-7　「導入促進に関する取組の実施」回答状況

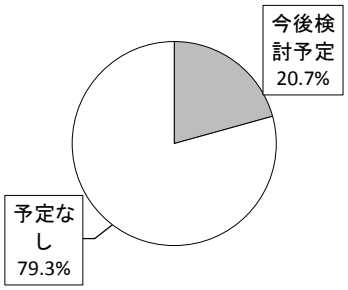


図　2-2-5　回答率

●　リユースカップ・システムの導入及びリターナブル容器製品の優先販売の実施について

リユースカップ・システムの導入及びリターナブル容器製品の優先販売については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
公共施設におけるリユースカップ・システムの導入及びリターナブル容器製品の優先販売を実施していますか。	0	3	26	29
	0.0%	10.3%	89.7%	100.0%

表　2-2-8　「導入及び優先販売の実施」回答状況

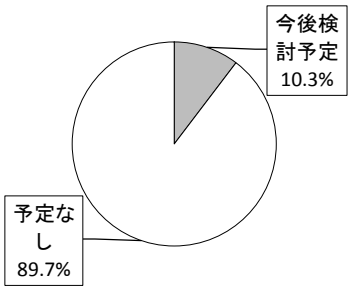


図　2-2-6　回答率

エ　移動食器洗浄車などリユース食器システムの整備・活用

●　移動食器洗浄車の購入・貸出の実施について

移動食器洗浄車の購入・貸出については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
公共施設におけるリユースカップ・システムの導入及びリターナブル容器製品の優先販売を実施していますか。	0	3	26	29
	0.0%	10.3%	89.7%	100.0%

表　2-2-9　「移動食器洗浄車の購入・貸出の実施」回答状況

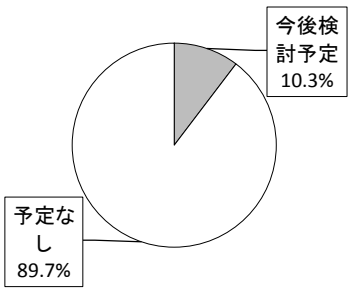


図　2-2-7　回答率

オ　エコイベントの推進

●　ごみを出さないことなどを心がけているエコイベントの実施について

エコイベントについては、「実施している」が4市町（13.8%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
リユースカップの私用やマイはしの持参等ごみを出さないことを主催者が心がけたエコイベントを実施していますか。	4	6	19	29
	13.8%	20.7%	65.5%	100.0%

表　2-2-10　「エコイベントの実施」回答状況

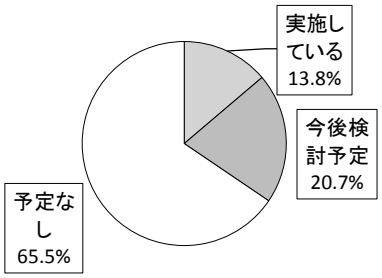


図　2-2-8　回答率

●　エコイベントの開催実績（平成26年度）について

質問	市町名	平成26年度　開催実績					
		実施日	名称	実施場所	実施主体	来場者数	市町の実施内容
ごみを出さないことを主催者が心がけたエコイベントを実施状況は。	津市	H27.1.25	つ・環境フェア	津競艇場	実行委員会	約5,500	共催・情報提供等
	松阪市	H26.9.15	松阪環境フェア	ベルファーム	松阪市環境パートナーシップ会議	4,136	支援・情報提供
	亀山市	H26.5.10	亀山里山公園春のイベント	亀山里山公園	亀山市	約800	開催
	名張市	H26.8.3	比奈知ダム施設見学会	比奈知ダム	水資源機構比奈知ダム管理所	約200	PRブース出展
		H26.11.8/9	とれたて！なばり	市役所市民広場	実行委員会・名張市	約20,000	PRブース出展
	菰野町	H26.11.2	菰野町文化祭「食と文化のフェスティバル2014」	菰野町勤労体育センター他	実施協議会	約3,000	共催
		H27.3.15	第18回クリーン大作戦	町内一円	区長会	約10,000	後援
	多気町	H26.6.28	リサイクルフェア	香肌奥伊勢資源化プラザ	香肌奥伊勢資源化プラザ	約300	情報提供
	玉城町	H26.11.29	もったいないフェア	伊勢リサイクルプラザ	伊勢広域環境組合	約2,000	ブースの提供
	渡会町	H26.4.7	春まつり	宮リバー度会パーク	春まつり実行委員会	約5,000	開催、支援、情報提供
	大紀町	H26.6.28	リサイクルフェア	香肌奥伊勢資源化プラザ	香肌奥伊勢資源化プラザ	約300	支援、情報提供
	御浜町	H26.3.2	オール御浜でごみ減らしたい会	御浜町中央公民館	御浜町	約300	開催

表　2-2-11　「エコイベントの開催実施」回答状況

（3） 基本取組3-3 リースやレンタルの推進

ア 民間事業者におけるリース・レンタル等のサービスの拡大

● リース・レンタルのサービスの積極的な利用の実施について

リース・レンタルのサービスの積極的な利用については、「実施している」が9市町（31%）、「今後検討予定」が4市町（13.8%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
リース・レンタルのサービスの積極的な利用をしていますか。	9	4	16	29
	31.0%	13.8%	55.2%	100.0%

表 2-2-12 「積極的利用の実施」回答状況

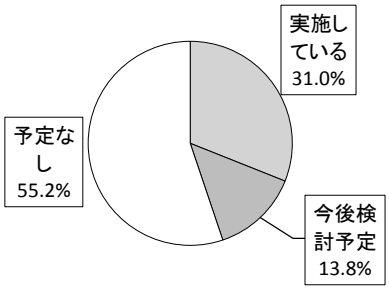


図 2-2-9

（4） 基本取組3-4 モノの長期使用の推進

ア 製品等の修理・修繕等のサービスの拡大
アップグレード（製品の性能・機能の向上）サービスの拡大

● モノの長期使用の推進の住民への啓発の実施について

モノの長期使用の推進の住民への啓発については、「実施している」が11市町（37..9%）、「今後検討予定」が7市町（13.8%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
モノの長期使用の推進のため、住民に対する啓発を実施していますか。	11	7	11	29
	37.9%	24.1%	37.9%	100.0%

表 2-2-13 「住民への啓発の実施」回答状況

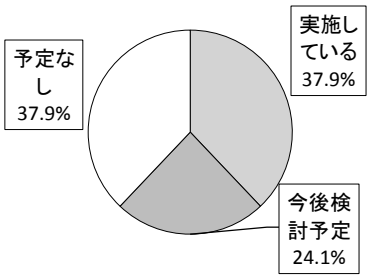


図 2-2-10 回答率

2-3　基本方向4　容器包装ごみの減量・再資源化

（1）　基本取組4-1　容器包装リサイクル方への対応

ア　国への提言・要望

●　容器包装リサイクル法の改正についての国への働きかけの実施について

包装容器リサイクル法の改正についての国への働きかけについては、「実施している」が2市町（6.9%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
市町における分別収集経費の負担軽減等のための容器包装リサイクル法の改正について、各種団体等を通じ、国への働きかけを実施していますか。	2	5	22	29
	6.9%	17.2%	75.9%	100.0%

表　2-3-1　「国への働きかけの実施」回答状況

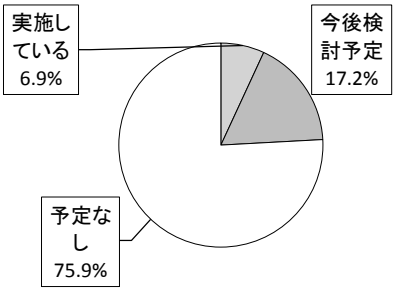


図　2-3-1　回答率

イ　容器包装リサイクル法の完全実施

● 容器包装リサイクル法の実施状況について

容器包装リサイクル法の実施状況は下票の通りである。プラスチック製容器包装、白色トレイ、紙製容器包装については、大半の市町が資源化処理をしているが、その他プラスチック類（容器包装リサイクル法対象外のプラスチック）については焼却処理をしている市町が多い。

質問		市町回答（複数選択可）			
プラスチック製容器包装の収集・処理状況については。	分別区分	プラスチック製容器包装	可燃ごみ	不燃ごみ	その他
		18	5	4	5
		56.3%	15.6%	12.5%	15.6%
	収集方法	ステーション	戸別収集	拠点回収	その他
		27	0	5	3
		77.1%	0.0%	14.3%	8.6%
	処理方法	資源化処理	焼却処理	埋立処理	その他
		22	4	1	5
		68.8%	12.5%	3.1%	15.6%
白色トレイの収集・処理状況については。	分別区分	白色トレイ	可燃ごみ	不燃ごみ	その他
		11	2	3	13
		37.9%	6.9%	10.3%	44.8%
	収集方法	ステーション	戸別収集	拠点回収	その他
		24	1	7	4
		66.7%	2.8%	19.4%	11.1%
	処理方法	資源化処理	焼却処理	埋立処理	その他
		26	3	1	2
		81.3%	9.4%	3.1%	6.3%
紙製容器包装の収集・処理状況については。	分別区分	紙製容器包装	可燃ごみ	不燃ごみ	その他
		11	7	0	17
		31.4%	20.0%	0.0%	48.6%
	収集方法	ステーション	戸別収集	拠点回収	その他
		26	1	9	4
		65.0%	2.5%	22.5%	10.0%
	処理方法	資源化処理	焼却処理	埋立処理	その他
		26	4	0	3
		78.8%	12.1%	0.0%	9.1%
その他プラスチック類（容器包装リサイクル法対象外のプラスチック）の収集・処理状況については。	分別区分	その他のプラスチック	可燃ごみ	不燃ごみ	その他
		2	20	7	1
		6.7%	66.7%	23.3%	3.3%
	収集方法	ステーション	戸別収集	拠点回収	その他
		27	2	4	1
		79.4%	5.9%	11.8%	2.9%
	処理方法	資源化処理	焼却処理	埋立処理	その他
		6	16	5	6
		18.2%	48.5%	15.2%	18.2%

表　2-3-2　「容器包装ごみの分別区分、収集方法及び処理方法」回答状況

（2） 基本取組4-2 容器包装の削減・簡素化の推進

ア 製造・流通・販売等の事業活動における工夫や改善の実施
容器・包装の削減・簡素化を促す消費活動の実践

● 容器包装の削減等の啓発・PRの内容について

容器包装の削減等の啓発・PRについては、27市町で取り組まれており、取り組み内容では「レジ袋辞退・マイバック持参」が26市町（89.7%）で最も高い。

質問	選択肢	実施市町数	実施
容器包装の削減・簡素化に向けた活動を推進するため、次の啓発・ＰＲを実施していますか。（内容）	容器包装の少ない商品の優先的な購入	10	34.5%
	リターナブル容器の積極的な利用	8	27.6%
	簡易な包装などのサービスの選択	12	41.4%
	レジ袋辞退・マイバック持参	26	89.7%
	詰め替え商品の積極的な購入	10	34.5%
	その他	2	6.9%

表 2-3-3 「啓発・PRの内容」回答状況

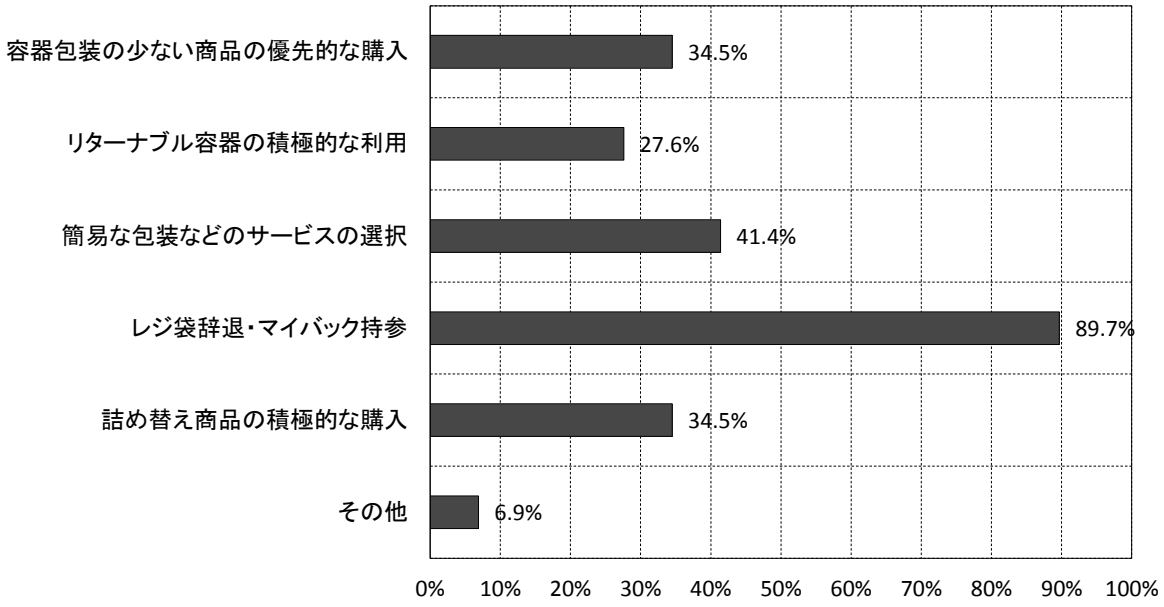


図 2-3-2 「啓発・PRの内容」回答率

● 容器包装の削減等の啓発・PRの方法について

容器包装の削減等の啓発・PRの方法については、「広報」が21市町（72.4%）で最も高く、次いで「ホームページ」の17市町（58.6%）となっている。

質問	啓発ＰＲの方法	実施市町	実施
容器包装の削減・簡素化に向けた活動を推進するため、次の啓発・ＰＲを実施していますか。（方法）	広報	21	72.4%
	ホームページ	17	58.6%
	チラシ・パンフレット	9	31.0%
	その他	7	24.1%

表 2-3-4 「啓発・PRの方法」回答状況

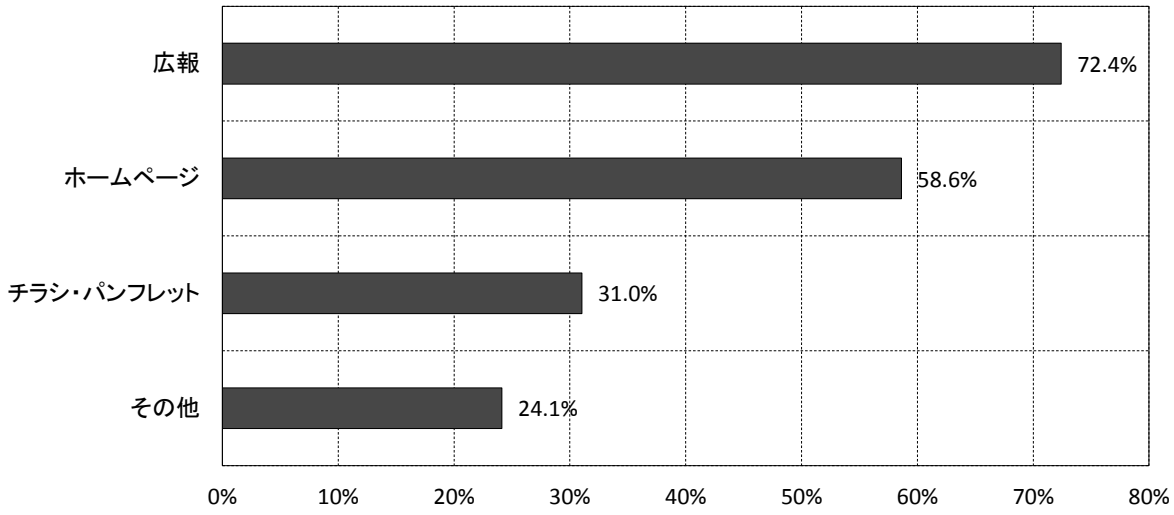


図　2-3-3　「啓発・PRの方法」回答率

2-4　基本方向5　生ごみの再資源化

（1）　基本取組5-1　生ごみの堆肥化・飼料化

ア　家庭の生ごみ堆肥化システムの構築

● 生ごみの収集運搬・堆肥化業務の委託、堆肥化システムの運用の実施について

生ごみの収集運搬・堆肥化業務の委託、堆肥化システムの運用については、「実施している」が8市町（27.6%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
生ごみの収集運搬・堆肥化業務の委託、堆肥化システムの運用を実施していますか。	8	6	15	29
	27.6%	20.7%	51.7%	100.0%

表　2-4-1　「取組による効果」回答状況

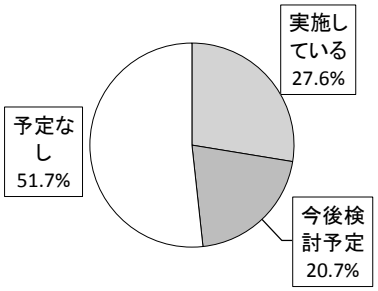


図　2-4-1　回答率

● NPO等生ごみ堆肥化団体の取組について

市町が把握するNPO等生ごみ堆肥化団体の取組については下表の通りである。

質問	市町名	NPO等生ごみ堆肥化団体の取組				
		取組主体	活動場所	参加世帯数	生ごみ処理量（H25実績）t/年	市町の関わり
NPO等生ごみ堆肥化団体の取組状況は。	四日市市	エコかわせみ	内部地区	17	2	支援
	松阪市	飯南町生ごみ堆肥化グループ	飯南地区	62	9	支援
		生ごみリサイクル亀さんの家	松名瀬町	90	12	無し
		松阪市ダンボールコンポストの会	市内全域	-	-	無し
	いなべ市	つちっこの会	いなべ市	16	-	無し
	鳥羽市	鳥羽リサイクルネットワーク	安楽島地区	520	24	施設の運営委託
	熊野市	エコフレンド	磯崎地区	8	0.5	作業への支援
	東員町	生ごみリサイクル思考の会	町内全域	280	57	支援
	明和町	いもっこ明和	町内	20	-	無し
	多気町	古江ゴミくるくらぶ	古江	17	1	支援
		ソイルク	上出江	12	1	支援
	大台町	堆肥化グループ	7グループ	40	6	材料・人的支援
	大紀町	尾ごろの会	野原地区	7	-	無し
	御浜町	生ごみ減らし隊	全地区	50	15	支援
	紀宝町	紀宝町	モデル地区	150	32	取組主体

表　2-4-2　「生ごみ堆肥化団体の取組」回答状況

● 堆肥化するにあたっての課題について

堆肥化するにあたっての課題については、「施設の設置や収集のための経費がかかる」が25市町（86.2%）と最も多くとなっている。

質問	堆肥化の課題	選択市町	選択
生ごみを分別収集し、直営あるいは委託によって堆肥化するにあたっての課題はありますか。	大量に堆肥が出来た場合、受入先がみつからない	13	44.8%
	異物の混入で堆肥の品質が確保できない	17	58.6%
	施設の設置や収集のための経費がかかる	25	86.2%
	施設や集積所の設置に住民の理解や協力が得られない	13	44.8%
	分別に手間がかかるなど住民への負担が大きい	19	65.5%
	その他	1	3.4%

表　2-4-3　「堆肥化するにあたっての課題」回答状況

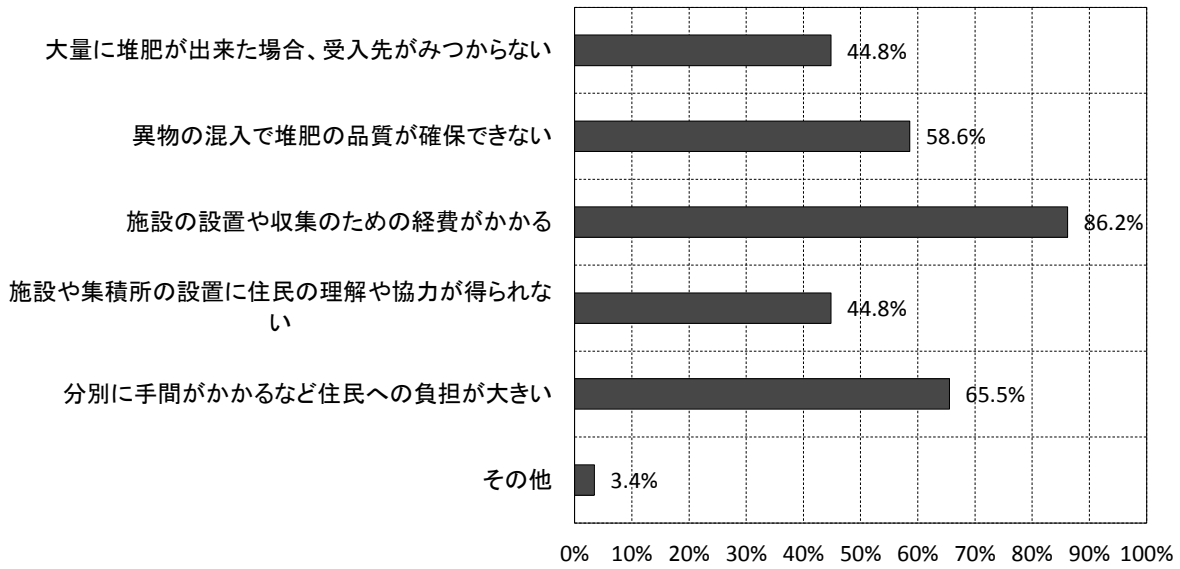


図　2-4-2　「堆肥化するにあたっての課題」回答率

イ　事業者と地域産業との生ごみ堆肥化ネットワークの構築

● 事業者に対する堆肥化事業の立ち上げ支援について

事業者に対する対比化事業の立ち上げ支援については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
事業者に対する堆肥化事業の立ち上げ支援を実施していますか。	1	5	23	29
	3.4%	17.2%	79.3%	100.0%

表　2-4-3　「事業者に対する対比化事業の立ち上げ支援」回答状況

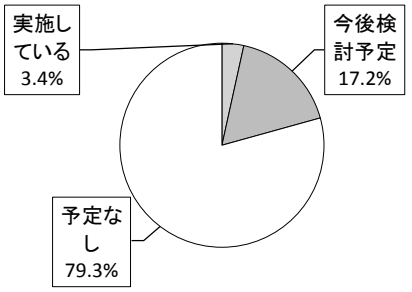


図　2-4-3　回答率

● 事業系の食品廃棄物の再資源化について

事業系の食品廃棄物の再資源化については、「進めている」が7市町（24.1%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答			計
	進めている	今後検討予定	予定なし	
事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）の再資源化（堆肥化・飼料化）を進めていますか。	7	5	17	29
	24.1%	17.2%	58.6%	100.0%

表　2-4-5　「事業系の食品廃棄物の再資源化」回答状況

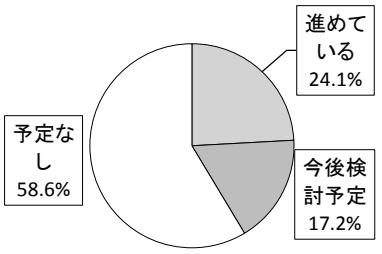


図　2-4-4　回答率

● 事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化事業者等について

事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化事業者等については8市町（27.6%）に事業者があり、津市では市の事業として堆肥化を実施している。

質問	市町名	事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）の堆肥化・飼料化事業者	
		生ごみ処理量（平成26実績）：t/年間	市町の関わり
貴市町における事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）の堆肥化・飼料化事業者は。	津市	10	市の事業として
	津市	－	無し
	津市	－	無し
	桑名市	25	無し
	名張市	－	一般廃棄物処分業許可
	名張市	－	一時保管・再生利用業指定
	鳥羽市	3.7	設置時に補助金
	伊賀市	－	無し
	伊賀市	－	無し
	伊賀市	－	無し
	東員町	24	無し
	東員町	37.6	無し
	明和町	182	無し
	紀宝町	28	支援

表　2-4-6　「事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化事業者等」回答状況

● 事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化の課題について

事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化の課題については、「市町内に堆肥化事業者がいない」が18市町（62.1%）と最も多くなっている。

質問	堆肥化・飼料化の課題	選択市町	選択
事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）を堆肥化・飼料化するいあたっての課題はありますか。	市町内に堆肥化事業者がいない	18	62.1%
	事業者はいるが、一般廃棄物処理業の許可や再生利用者の個別指定を出しにくい理由がある	2	6.9%
	その他	7	24.1%

表　2-4-7　「事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化の課題」回答状況

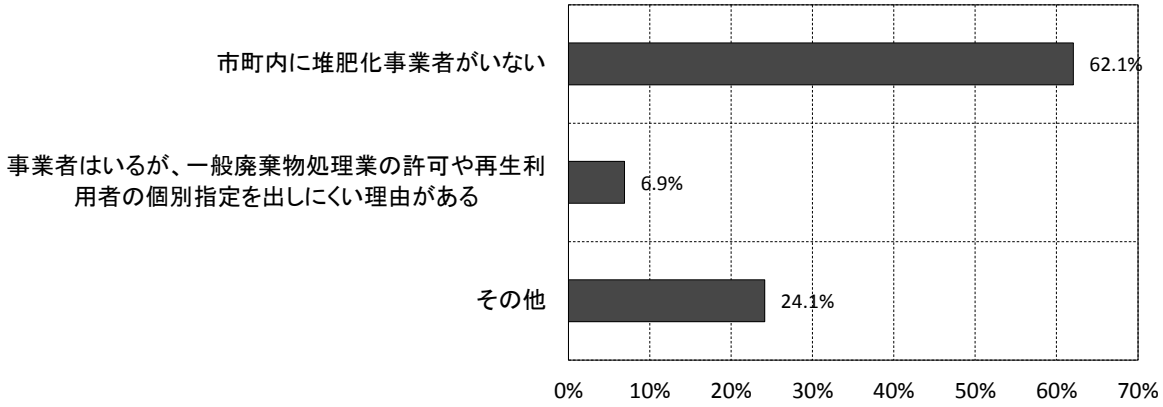


図　2-4-5　「事業系の食品廃棄物の堆肥化・飼料化の課題」回答率

ウ　家庭での生ごみ処理機の活用

●　家庭用生ごみ処理機のPRの実施について

家庭用ごみ処理機のPRについては、「実施している」が27市町（93.1%）、「今後検討予定」が1市町（3.4%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
家庭用生ごみ処理機のPRを実施していますか。	27	1	1	29
	93.1%	3.4%	3.4%	100.0%

表　2-4-8　「家庭用生ごみ処理機のPRの実施」回答状況

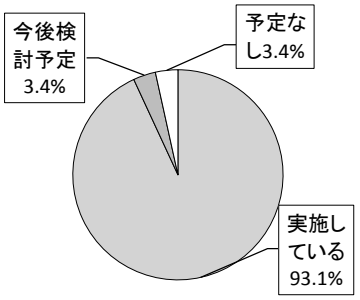


図　2-4-6　回答率

●　家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成の実施について

家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成については、「実施している」が27市町（93.1%）、「今後検討予定」が1市町（3.4%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成を実施していますか。	27	1	1	29
	93.1%	3.4%	3.4%	100.0%

表　2-4-9　「家庭用生ごみ処理機の購入助成の実施」回答状況

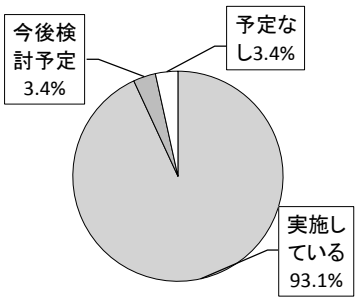


図　2-4-7　回答率

● 家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成制度について

家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成制度については下表の通りである。

質問	市町名	生ごみ処理機の購入助成制度について	
		対象とする機器の種類	助成額
生ごみ処理機の購入助成制度については。	津市	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額25,000円
		コンポスト	購入金額の1/2、限度額3,000円
	四日市市	電動式生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額15,000円
	伊勢市	生ごみ処理機全般	購入金額の1/2、限度額30,000円
	松阪市	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
		コンポスト	購入金額の1/2、限度額3,000円
	桑名市	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
		コンポスト	購入金額の1/2、限度額5,000円
	いなべ市	生ごみ堆肥化容器（簡易・電動式容器をそれぞれ1基まで）	購入金額の1/2、限度額5,000円
	鈴鹿市	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額15,000円
		生ごみ処理容器	購入金額の1/2、限度額15,000円
	亀山市	ボカシ、コンポスト、電気式	購入金額の1/2、限度額25,000円
	伊賀市	電動生ごみ処理機	購入金額の1/3、限度額20,000円
		コンポスト容器等	購入金額の1/3、限度額30,000円
	尾鷲市	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
		生ごみ処理容器	購入金額の1/2、限度額3,000円（1世帯2基まで）
	鳥羽市	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額20,000円
	熊野市	生ごみ処理容器	購入金額の1/2、限度額3,000円（1世帯2基まで）
		電気式生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円（1世帯1基まで）
	志摩市	電気式生ごみ処理機	購入金額の2/3、限度額40,000円
	東員町	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
		生ごみ堆肥化容器	購入金額の1/2、限度額4,000円
	木曽岬町	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額20,000円
		コンポスト	購入金額の1/2、限度額4,000円/基（1世帯2基まで）
	朝日町	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額50,000円
		生ごみ処理容器	購入金額の1/2、限度額10,000円
	川越町	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額50,000円
		生ごみ処理容器	購入金額の1/2、限度額10,000円
	明和町	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
		コンポスト	購入金額の1/2、限度額30,000円
	多気町	家庭用生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
	大台町	電気式生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
		非電気式生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額4,000円
	玉城町	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額20,000円
		生ごみ処理容器	購入金額の1/2、限度額2,000円
	度会町	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
		生ごみ処理容器	購入金額の1/2、限度額5,000円
	大紀町	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額3,000円
		生ごみ処理容器	購入金額の1/2、限度額3,000円
	南伊勢町	生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額20,000円
		コンポスト	購入金額の1/2、限度額3,000円
	紀北町	電動生ごみ処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
		生ごみ処理容器	購入金額の1/2、限度額10,000円

表　2-4-10　「家庭用生ごみ処理機の購入助成制度」回答状況①

質問	市町名	生ごみ処理機の購入助成制度について	
		対象とする機器の種類	助成額
生ごみ処理機の購入助成制度については。	御浜町	家庭用電気式処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
		家庭用手動撹拌式処理機	購入金額の1/2、限度額30,000円
		家庭用生ごみ処理容器	購入金額の1/2、限度額5,000円
	紀宝町	電気式等	購入金額の1/2、限度額30,000円
		コンポスト等	購入金額の1/2、限度額4,000円

表　2-4-11　「家庭用生ごみ処理機の購入助成制度」回答状況②

● 補助した生ごみ処理機で処理された量等の減量効果の把握について

減量効果については、「把握している」が4市町（13.8%）となっている。

質問	市町回答		計
	把握している	把握していない	
補助した生ごみ処理機で処理された量等の減量効果を把握していますか。	4	25	29
	13.8%	86.2%	100.0%

表　2-4-12　「減量効果の把握」回答状況

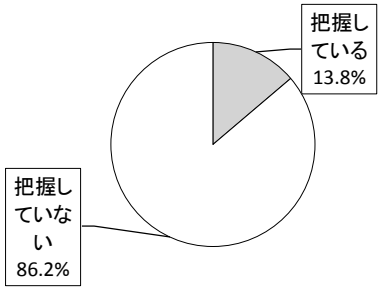


図　2-4-8　回答率

エ　水切り運動の展開

● 生ごみの水切りの推進や、PRの実施について

生ごみの水切りの推進や、PRの実施については、「実施している」が24市町（82.8%）、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
生ごみの水切りの推進や、PRを実施していますか。	24	3	2	29
	82.8%	10.3%	6.9%	100.0%

表　2-4-13　「水切りの推進やPR」回答状況

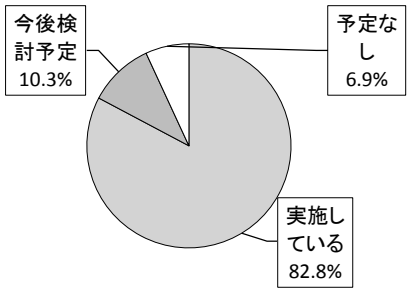


図　2-4-9　回答率

（2） 基本取組5-2 生ごみの再資源化

ア 生ごみバイオガス化に向けた調査の実施

● 生ごみバイオガス化に向けた調査の実施（システム設計含む）、調査への協力について

生ごみバイオガス化に向けた調査（システム設計含む）、調査への協力については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
生ごみバイオガス化に向けた調査の実施（システム設計含む）、調査への協力をしていますか。	1	5	23	29
	3.4%	17.2%	79.3%	100.0%

表 2-4-14 「調査の実施、協力」回答状況

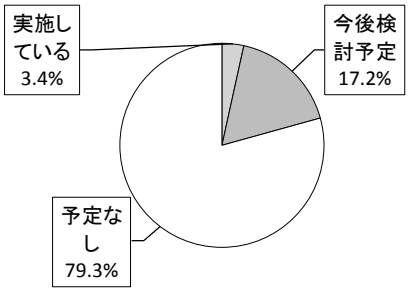


図 2-4-10 回答率

イ 生ごみバイオガス化発電等の実証試験の実施

● 生ごみバイオガス化発電等の実証実験事業の実施、事業への協力について

生ごみバイオガス化発電等の実証実験事業、事業への協力については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
生ごみバイオガス化発電等の実証実験事業の実施、事業への協力をしていますか。	1	6	22	29
	3.4%	20.7%	75.9%	100.0%

表 2-4-15 「実証実験事業の実施、事業への協力」回答状況

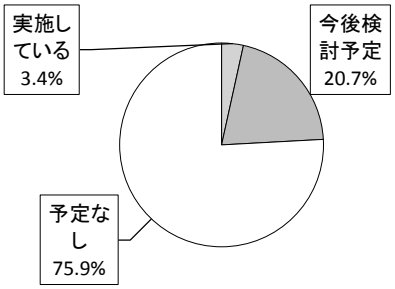


図 2-4-11 回答率

ウ 生ごみバイオガス化発電等の導入

● 生ごみバイオガス化発電等システムの導入・運営の実施について

生ごみバイオガス化発電等システムの導入・運営については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
生ごみバイオガス化発電等システムの導入・運営を実施していますか。	1	6	22	29
	3.4%	20.7%	75.9%	100.0%

表 2-4-16 「発電等システムの導入・運営の実施」回答状況

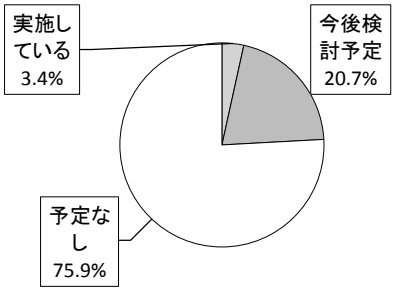


図 2-4-12 回答率

● 住民に対し、生ごみの分別排出についての指導について

住民に対し、生ごみの分別排出についての指導については、「実施している」が3市町（10.3%）、「今後検討予定」が9市町（31%）ちなっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
住民に対し、生ごみの分別排出についての指導を実施していますか。	3	9	17	29
	10.3%	31.0%	58.6%	100.0%

表　2-4-17　「生ごみの分別排出についての指導について」回答状況

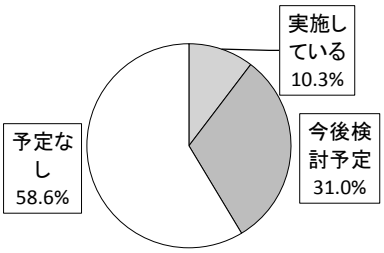


図　2-4-13　回答率

エ　廃食用油ＢＤＦ化システムの導入・運営について

● 生ごみバイオガス化発電等システムの導入・運営の実施について

廃食用油ＢＤＦ化システムの導入・運営については、「実施している」が3市町（10.3%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
廃食用油ＢＤＦ化システムの導入・運営をしていますか。	3	6	20	29
	10.3%	20.7%	69.0%	100.0%

表　2-4-18　「廃食用油ＢＤＦ化システムの導入・運営」回答状況

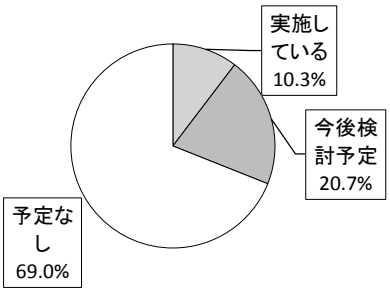


図　2-4-14　回答率

2-5　基本方向6　産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進

（1）　基本取組6-1　ローカルデポジット制度の導入

ア　商店街、中心市街地等における飲料容器デポジット制度の導入
　　観光地等における飲料容器デポジット制度の導入

● デポジットシステムを導入・運営する事業者の支援の実施について

デポジットシステムを導入・運営する事業者の支援については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
デポジットシステムを導入・運営する事業者の支援をしていますか。	0	2	27	29
	0.0%	6.9%	93.1%	100.0%

表　2-5-1　「事業者の支援の実施」回答状況

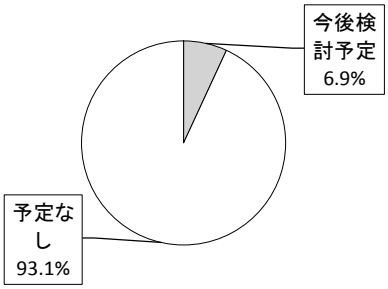


図　2-5-1　回答率

● 事業者と連携した導入・運用の実施について

事業者と連携した導入・運用については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
事業者と連携しデポジットシステムを導入・運用（コスト負担、回収した資源化の処理）を実施していますか。	0	2	27	29
	0.0%	6.9%	93.1%	100.0%

表　2-5-2　「事業者と連携した導入・運用の実施」回答状況

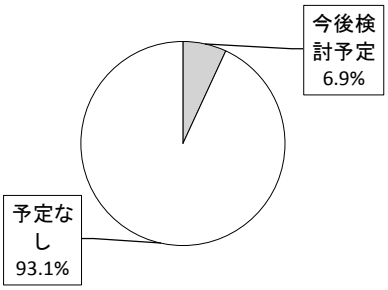


図　2-5-2　回答率

（2） 基本取組6-2 障がい者や高齢者のごみゼロ活動への参加促進

ア 障がい者や高齢者の支援と連携したリサイクル事業の展開

● 福祉関係団体等への情報提供、財政支援等の実施について

福祉関係団体等への情報提供、財政支援等については、「実施している」が4市町（13.8%）、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
福祉関係団体等への情報提供、財政支援等を実施していますか。	4	3	22	29
	13.8%	10.3%	75.9%	100.0%

表 2-5-3 「情報提供、財政支援等の実施」回答状況

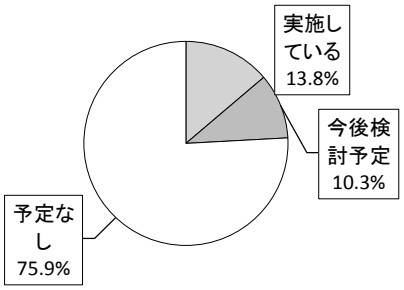


図 2-5-3 回答率

イ 元気な高齢者等の活力をごみゼロに生かす仕組みづくり

● 企業退職者等のニーズの集約、地域活動の受け皿に関する情報発信の実施について

ニーズの集約、地域活動の受け皿に関する情報発信については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
企業退職者等のニーズの集約、地域での活動の受け皿に関する情報発信を実施していますか。	0	3	26	29
	0.0%	10.3%	89.7%	100.0%

表 2-5-4 「情報発信の実施」回答状況

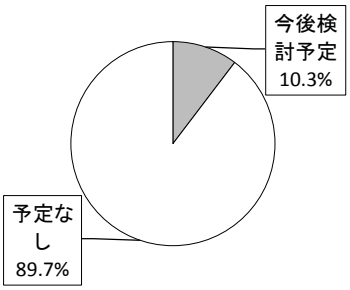


図 2-5-4 回答率

（3） 基本取組6-3 ごみゼロに資する地域活動の活性化促進

ア 地域通貨の仕組みを活用したリサイクルの推進

● 資源回収に対する助成や地域通貨と交換できるサービスの実施について

資源回収に対する助成や地域通貨と交換できるサービスについては、「実施している」が4市町（13.8%）、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
地域通貨の仕組みを活用した取組について、資源回収に対する助成や地域通貨と交換できるサービスの提供を実施していますか。	4	2	23	29
	13.8%	6.9%	79.3%	100.0%

表 2-5-5 「サービスの実施」回答状況

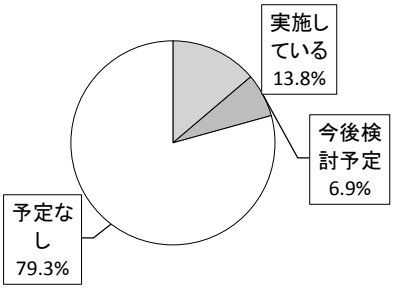


図 2-5-5 回答率

イ　コミュニティ単位でのごみゼロ活動の促進

●　コミュニティ単位でのごみゼロ活動への活動助成金の交付等の協力の実施について

コミュニティ単位でのごみゼロ活動への活動助成金の交付等の協力については、「実施している」が9市町（31%）、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
コミュニティ単位でのごみゼロ活動について、活動助成金の交付等の協力を実施していますか。	9	3	17	29
	31.0%	10.3%	58.6%	100.0%

表　2-5-6　「活動助成金の交付等の協力の実施」回答状況

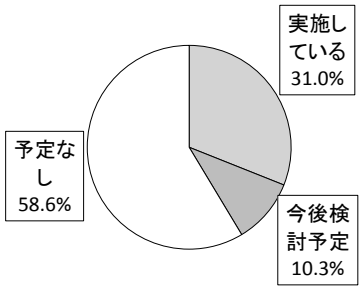


図　2-5-6　回答率

●　コミュニティ単位でのごみゼロ活動への活動助成金の交付等の実施内容と実施による効果について

コミュニティ単位でのごみゼロ活動への活動助成金の交付等の協力の内容と実施による効果については下表の通りである。

質問	市町回答
コミュニティ単位でのごみゼロ活動について、活動助成金の交付等の協力内容は。	廃棄物減量等推進員
	集団回収団体に奨励金を交付、ごみ減量指導員の配置
	集積所の管理にごみ袋の無料交付
	PTA等に対する資源物回収補助金
	資源ごみ1㎏につき5円

表　2-5-7　「活動助成金の交付等の協力の実施内容と実施による効果」回答状況

ウ　基金による地域住民活動の支援

●　基金の設置、管理運用の実施について

基金の設置、管理運用については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
基金の設置、管理運用を実施していますか。	1	3	25	29
	3.4%	10.3%	86.2%	100.0%

表　2-5-8　「基金の設置、管理運用の実施」回答状況

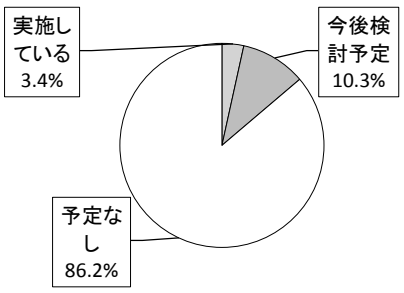


図　2-5-7　回答率

（4） 基本取組6-4 民間活力を生かす拠点回収システムの構築

ア 店頭回収システムによるリサイクルの促進

● 店頭回収の取り扱いについて

店頭回収の取り扱いについては、「スーパー等が事業の一環として店頭回収を実施し、回収したものはスーパー等が産業廃棄物として処理している」が19市町（65.5%）と最も多くなっている。

質問	取扱い方法	市町選択	選択
店頭回収について、どのように扱っていますか。	市町の回収ステーションという位置づけで、市町が一般廃棄物として収集処理している。	1	3.4%
	スーパー等が事業の一環として店頭回収を実施し、回収したものはスーパー等が産業廃棄物として処理している。	19	65.5%
	スーパー駐車場等で資源回収を実施している。（管理を業者に委託し、市の回収拠点という位置づけ）	5	17.2%
	把握している限りでは、スーパーの店頭回収は実施していない。	6	20.7%

表 2-5-9 「店頭回収の取り扱い」回答状況

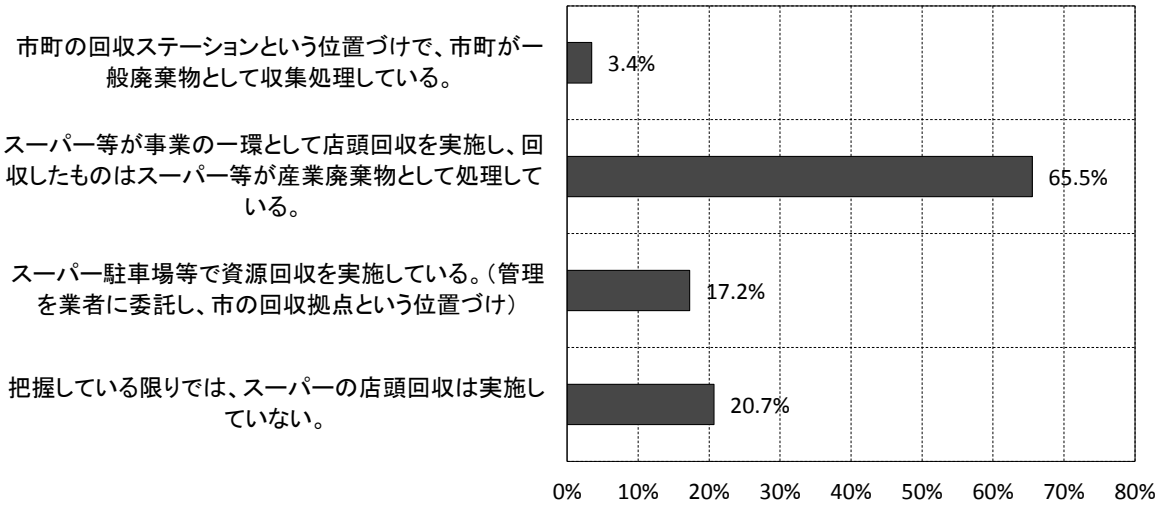


図 2-5-8 「店頭回収の取り扱い」回答率

イ NPO・事業者・行政の連携による資源物拠点回収システムの構築

● 連携した資源物拠点回収システム事業の位置づけについて

連携した資源物拠点回収システム事業を、集団回収として「位置づけている」のは、3市町（10.3%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
NPO・事業者が連携した資源物拠点回収システム事業は、集団回収として位置づけていますか。	3	5	21	29
	10.3%	17.2%	72.4%	100.0%

表 2-5-10 「集団回収として位置づけ」回答状況

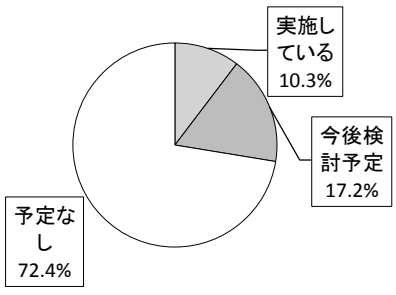


図 2-5-9 回答率

● 集められた資源物の量の把握について

集団回収として位置づけている3市町は、すべて資源物の量の把握を実施している。

質問	市町選択			計
	把握している	今後把握予定	予定なし	
集められた資源物の量は把握していますか。	3	0	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

表　2-5-11　「資源物の量の把握」回答状況

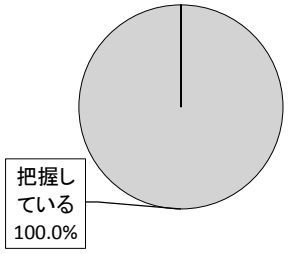


図　2-5-10　回答率

（5）　基本取組6-6　埋立ごみの資源としての有効利用の推進

ア　廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究

● 廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究への協力、実施について

廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究については、協力を「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が4市町（13.8%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
埋立てごみとして処理されている廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究への協力、実施をしていますか。	1	4	24	29
	3.4%	13.8%	82.8%	100.0%

表　2-5-12　「調査研究への協力、実施」回答状況

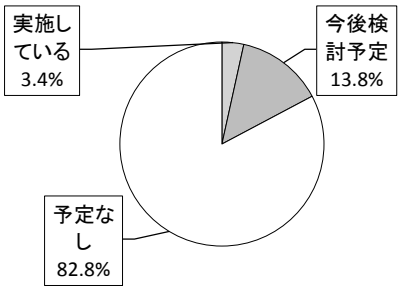


図　2-5-11　回答率

イ　事業者における廃プラスチック等の利用促進

● 廃プラスチック等の有効利用に関するシステム整備への支援・協力の実施について

廃プラスチック等の有効利用に関するシステム整備への支援・協力については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
埋立てごみとして処理されている廃プラスチック等の有効利用に関するシステム整備への支援・協力をしていますか。	1	3	25	29
	3.4%	10.3%	86.2%	100.0%

表　2-5-13　「システム整備への支援・協力の実施」回答状況

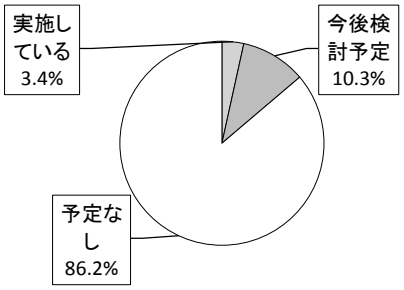


図　2-5-12　回答率

2-6　基本方向7　公正で効率的なごみ処理システムの構築

（1）　基本取組7-1　ごみ処理の有料化等経済的手法の活用

ア　ごみ減量化対策における経済的手法の検討
家庭系ごみの有料化にあたっての諸手の実施
家庭系ごみ有料化制度の検証
家庭系ごみ有料化制度の導入

● 家庭ごみの有料化制度の導入状況について

家庭ごみの有料化制度については、「導入している」が8市町（27.6%）、「導入予定」の市町はない。

質問	取扱い方法	市町選択	選択
家庭ごみの有料化制度の導入をしていますか。	導入している	8	27.6%
	導入予定	0	0.0%
	導入検討	0	0.0%
	今後検討予定	9	31.0%
	予定なし	12	41.4%

表　2-6-1　「有料化制度の導入状況」回答状況

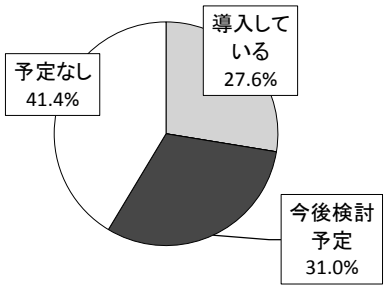


図　2-6-1　回答率

● ごみ処理施策に関する住民アンケートの実施について

住民アンケートについては、「実施したことがある」が8市町（27.6%）、「検討中」が1市町（3.4%）となっている。

質問	取扱い方法	市町選択	選択
家庭ごみの有料化等のごみ処理施設に関する住民を対象としたアンケートを実施したことがありますか。	実施したことがある	8	27.6%
	実施予定	1	3.4%
	検討中	1	3.4%
	実施したことがない	19	65.5%

表　2-6-2　「住民アンケートの実施」回答状況

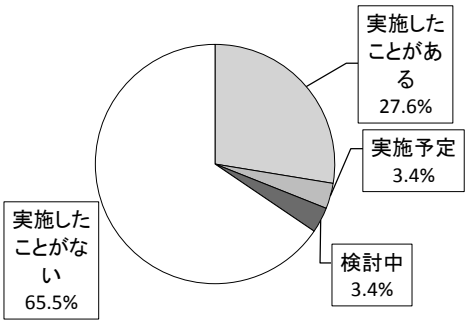


図　2-6-2　回答率

● 家庭ごみの指定ごみ袋精度の導入状況について

家庭ごみの指定ごみ袋制度については、「導入している」が24市町（82.8%）、それ以外の5市町は「予定なし」となっている。

質問	取扱い方法	市町選択	選択
家庭ごみの指定ごみ袋制度の導入をしていますか。	導入している	24	82.8%
	導入予定	0	0.0%
	導入検討	0	0.0%
	今後検討予定	0	0.0%
	予定なし	5	17.2%

表　2-6-3　「家庭ごみの指定ごみ袋の導入状況」回答状況

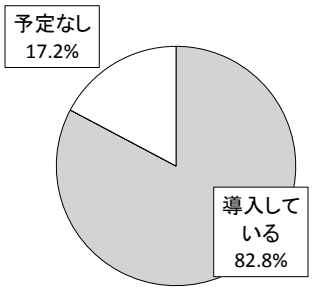


図　2-6-3　回答率

（2）　基本取組7-2　廃棄会計・ＬＣＡの活用促進

ア　廃棄物会計導入マニュアルの作成
　　廃棄物会計導入に向けた普及活動の実施
　　ＬＣＡ手法の適用可能性調査の実施
　　市町ごみ処理カルテの作成とその活用促進

● コスト情報の把握・整理（廃棄物会計など）について

コスト情報の把握・整理（廃棄物会計など）については、「実施している」が28市町、他市町は「予定なし」となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
コスト情報を把握・整理（廃棄物会計など）していますか。	28	0	1	29
	96.6%	0.0%	3.4%	100.0%

表　2-6-4　「コスト情報の把握・整理（廃棄物会計など）」回答状況

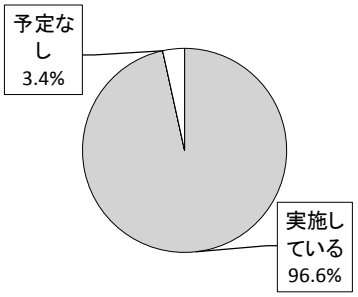


図　2-6-4　回答率

● ＬＣＡ手法による自主評価について

ＬＣＡ手法による自主評価について、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
ＬＣＡ手法による自主評価を実施していますか。	1	5	23	29
	3.4%	17.2%	79.3%	100.0%

表　2-6-5　「ＬＣＡ手法による自主評価」回答状況

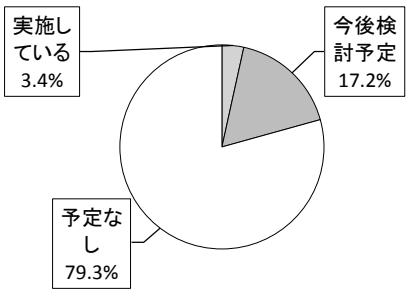


図　2-6-5　回答率

● カルテの作成・公表（市町ごみ処理カルテなど）について

カルテの作成・公表（市町ごみ処理カルテなど）については、「実施している」が4市町（13.8%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	1 実施している	2 今後検討予定	3 予定なし	計
カルテの作成・公表（市町ごみ処理カルテなど）を実施していますか。	4	5	20	29
	13.8%	17.2%	69.0%	100.0%

表　2-6-6　「カルテの作成・公表（市町ごみ処理カルテなど）」回答状況

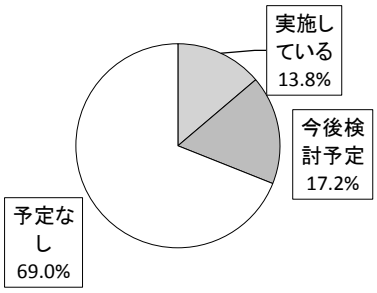


図　2-6-6　回答率

● ベンチマーキングの実施について

ベンチマーキングの実施については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が4市町（13.8%）となっている。

質問	市町回答 実施している	今後検討予定	予定なし	計
ベンチマーキングをしていますか。	0	4	25	29
	0.0%	13.8%	86.2%	100.0%

表　2-6-7　「ベンチマーキングの実施」回答状況

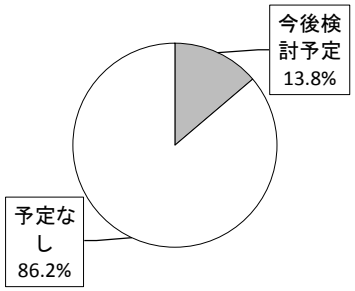


図　2-6-7　回答率

● ベストプラクティス情報の活用について

ベストプラクティス情報の活用については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	1 実施している	2 今後検討予定	3 予定なし	計
ベストプラクティス情報を活用していますか。	0	5	24	29
	0.0%	17.2%	82.8%	100.0%

表　2-6-8　「ベストプラクティス情報の活用」回答状況

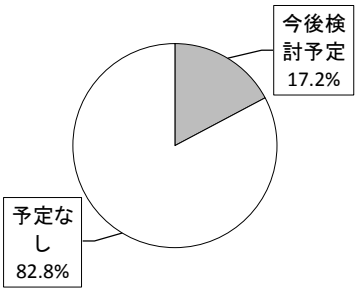


図　2-6-8　回答率

● 廃棄物会計や市町ごみ処理カルテの導入による効果、課題について

廃棄物会計や市町ごみ処理カルテの導入による効果、課題については下表の通りである。

質問	市町回答
廃棄物会計や市町ごみ処理カルテを導入したことによる効果・課題は。	特に効果は見られなかったが、市町ごみ処理カルテを活用することで、ごみ処理にかかる経費が平均を下回っていることが読み取れた。
	廃棄物会計システムで、いなべ市では、あじさいクリーンセンター、桑名広域清掃事業組合があり、収集も委託と直営があるので、入力に課題がある。
	作成はしたが未だ有効活用していない。
	廃棄物会計基準の活用方法がわからず効果が出せていない。
	廃棄物会計を作成しておけば、アンケート等の回答、その他に役立つ。

表　2-6-9　「導入による効果、課題」回答状況

（3）　基本取組7-3　地域密着型資源物回収システムの構築

ア　資源回収ステーションの設置・運営

● ＮＰＯ団体や自治会が管理し、住民が利用しやすい時間に運営している回収拠点の設置・運用について

ＮＰＯ団体や自治会が管理し、住民が利用しやすい時間に運営している回収拠点の設置・運用については、「実施している」が8市町（27.6%）、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
ＮＰＯ団体や自治会が管理し、住民が利用しやすい時間に運営している回収拠点を設置・運営していますか。	8	3	18	29
	27.6%	10.3%	62.1%	100.0%

表　2-6-10　「回収拠点の設置・運用」回答状況

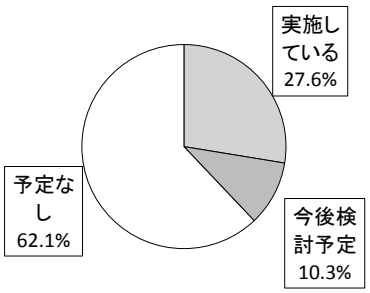


図　2-6-9　回答率

● 資源回収ステーションにおける平成26年度の回収実績について

ステーションにおける平成26年度の回収実績については下表の通りである。

質問	市町名	ステーションにおける平成26年度の回収実績　［t］						
		紙類	金属類	ガラス類	ＰＥＴ	プラスチック	布類	その他
ステーションにおける平成26年度の回収実績	四日市市	345	6.4	18	1		18.7	
	松阪市	153						
	鳥羽市	391.04	7.16	12.349	4.6	11.516	15.55	12.191
	木曽岬町	61	3	5	2		6	
	東員町	931					80	
	多気町	22.4	1.09	0.471			3.57	
	大台町	193						

表　2-6-11　「ステーションにおける平成26年度の回収実績」回答状況

● 資源回収ステーションの管理主体との関わりについて

資源回収ステーションの管理主体との関わりについては下表の通りである。

質問	関わり方	市町選択	選択
資源回収ステーションの管理主体との関わり方は。	管理主体に管理運営の委託費を支払っている。	2	25.0%
	管理主体に資源ごみ回収の助成金を支払っている。	6	75.0%
	管理主体がボランティアで実施している。	0	0.0%
	その他	1	12.5%
総回答数		9	112.5%
資源回収ステーション設置市町数		8	

表　2-6-12　「ステーションの管理主体との関わり」回答状況

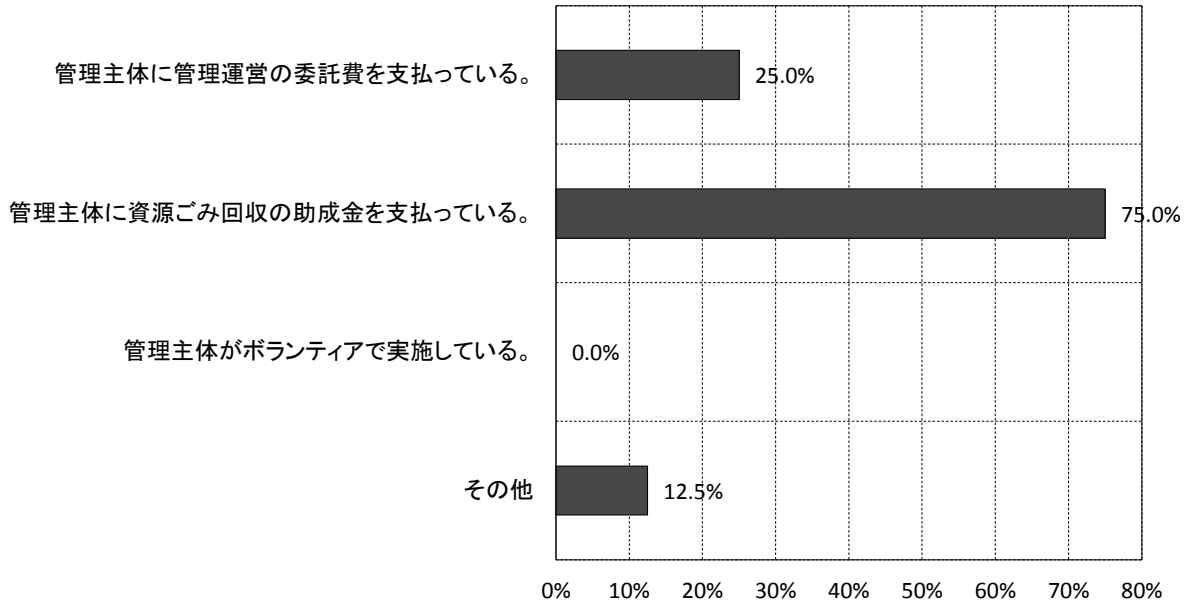


図　2-6-10　「ステーションの管理主体との関わり」回答率

イ　地域ニーズに対応した集団回収の促進

● 集団回収の助成制度について

集団回収の助成制度については、「ある」が20市町（69.0%）、「ない」が9市町（31.0%）となっている。

質問	市町回答		計
	ある	ない	
集団回収の助成制度がありますか。	20	9	29
	69.0%	31.0%	100.0%

表　2-6-13　「集団回収の助成制度」回答状況

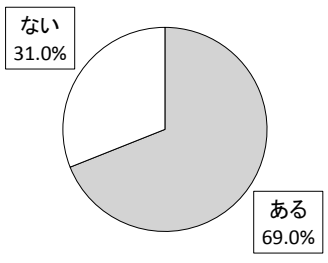


図　2-6-11　回答率

● 集団回収の今後の助成制度について

今後の助成制度については、助成制度がある全ての市町（20市町）が「今後も継続」となっている。

質問	1	2	3	計
	今後も継続	廃止予定	今後検討	
集団回収の助成制度の今後については。	20	0	0	20
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

表　2-6-14　「助成制度の今後」　回答状況

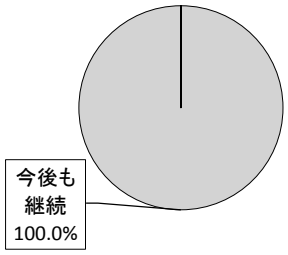


図　2-6-12　回答率

● 集団回収の今後の対象品目について

今後の対象品目については、助成制度がある全ての市町（20市町）が「現状のまま」となっている。

質問	市町回答			計
	拡大予定	現状のまま	縮小予定	
集団回収の助成制度の今後については。	0	20	0	20
	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

表　2-6-15　「対象品目の今後」回答状況

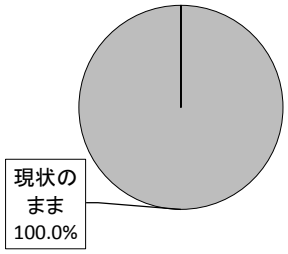


図　2-6-13　回答率

● 集団回収の今後の助成金額について

今後の助成金額については、助成制度がある全ての市町（20市町）が「現状のまま」となっている。

質問	市町回答			計
	増加予定	現状のまま	減少予定	
集団回収の助成制度の今後については。	0	20	0	20
	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

表　2-6-16　「助成金額の今後」回答状況

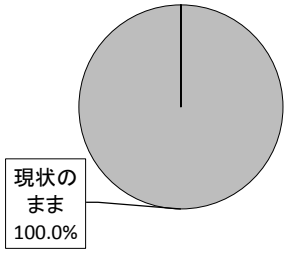


図　2-6-14　回答率

● 集団回収の助成対象品目と助成額について

集団回収の助成対象品目と助成額については下表の通りである。

質問	市町名	集団回収の助成対象品目、助成額							
		対象品目	助成金額(円/kg)	対象品目	助成金額(円/kg)	対象品目	助成金額(円/kg)	対象品目	助成金額(円/kg)
集団回収の助成対象品目、助成額	鳥羽市	紙類	2	ビン類	2	缶	2	新聞/雑誌	2
		段ボール	2	牛乳パック	2				
	志摩市	紙類	5	布類	5	缶類	5	その他資源	5
		ビン	3円/本						
	伊賀市	古紙	3	古布	3				
	木曽岬町	紙類	4	布類	4	ビン類	4	缶類	4
		ペットボトル	4	トレイ	4				
	多気町	紙類	5	布類	5	アルミ缶	5	スチール	5
		ビン	5						
	明和町	段ボール	5	新聞	5	紙パック	5	雑誌類	5
		布類	5	アルミ缶	5				
	大台町	紙類	5	ビン	5円/本	缶	5	布	5
	南伊勢町	廃乾電池	3円/個						

表　2-6-17　「助成品目と助成額」回答状況

● 集団回収の実施団体及び回収量について

集団回収の実施団体の内訳及び回収量について、平成26年度の実績は下表の通りである。

	小学校等	町内会・自治会	子供会	その他	合計
実施団体数	265	481	447	243	1436
	18.5%	33.5%	31.1%	16.9%	100.0%
回収（kg）	4,903,476	7,638,090	5,415,001	4,890,263	22,846,830
	21.5%	33.4%	23.7%	21.4%	100.0%

表　2-6-18　「集団回収実績量」回答状況（計）

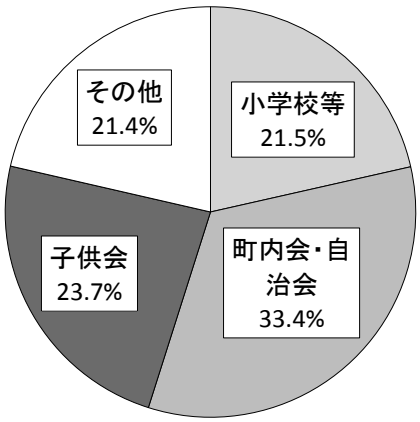


図　2-6-15　「集団回収量の内訳」

● 集団回収を促進するために実施している取組について

集団回収を促進するために実施している取組については「集団回収のPR」が13市町（44.8%）で最も高くなっている。

質問	市町回答				
	定期的な話合い	集団回収のＰＲ	地域の要望を収集	その他	無回答
集団回収を促進するために実施している取組は。	0	13	1	3	12
	0.0%	44.8%	3.4%	10.3%	41.4%

表　2-6-19　「集団回収を促進するために実施している取組」回答状況

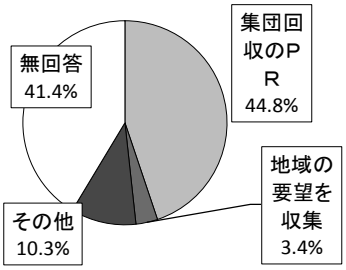


図　2-6-16　回答率

（4）　基本取組7-4　地域のごみ排出特性を踏まえたごみ行政の推進

ア　ごみ排出特性の把握・活用

● 自治会や小学校区ごとのごみ排出量の計測・分析の実施について

ごみ排出量の計測・分析については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
自治会や小学校区ごとのごみ排出量の計測・分析を実施していますか。	1	6	22	29
	3.4%	20.7%	75.9%	100.0%

表　2-6-20　「ごみ排出量の計測・分析の実施」回答状況

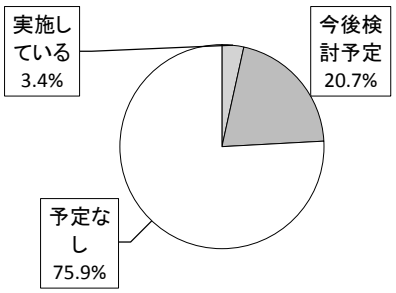


図　2-6-17　回答率

● 自治会や小学校区ごとのごみ排出量データに基づく施策の検討や実施について

ごみ排出量データに基づく施策については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が8市町（27.6%）となっている。

質問	市町回答				計
	実施している	検討中	今後検討予定	予定なし	
自治会や小学校区ごとのごみ排出量データに基づく施策の検討や実施をしていますか。	0	0	8	21	29
	0.0%	0.0%	27.6%	72.4%	100.0%

表　2-6-21　「施策の検討や実施」回答状況

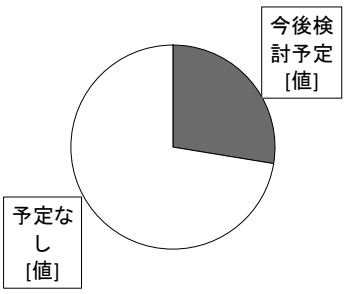


図　2-6-18　回答率

イ　市町ごみ処理マップの活用

● 市町ごみ処理マップの作成・公開について

市町ごみ処理マップについては、「作成・公開している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が4市町（13.8%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
市町ごみ処理マップの作成・公開をしていますか。	1	4	24	29
	3.4%	13.8%	82.8%	100.0%

表　2-6-22　「市町ごみ処理マップの作成・公開」回答状況

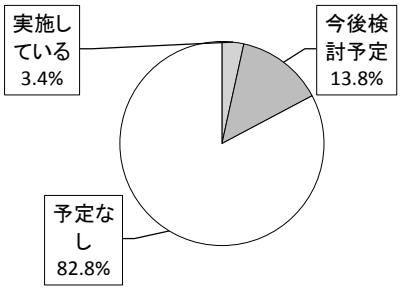


図　2-6-19　回答率

2-7　基本方向8　ごみ行政への県民参画と協働の推進

（1）　基本取組8-1　住民参画の行動計画作り

ア　住民参画によるごみ処理基本計画作りの実施

●　住民参画によるごみ処理基本計画づくりの実施について

住民参画によるごみ処理基本計画づくりについては、「実施している」が10市町（34.5%）、「未実施今後検討予定」が9市町（31%）となっている。

質問	市町回答				計
	実施している	今後検討予定	未実施今後検討予定	予定なし	
住民参画によるごみ処理基本計画作りを実施していますか。	10	0	9	10	29
	34.5%	0.0%	31.0%	34.5%	100.0%

表　2-7-1　「住民参画による計画づくり」回答状況

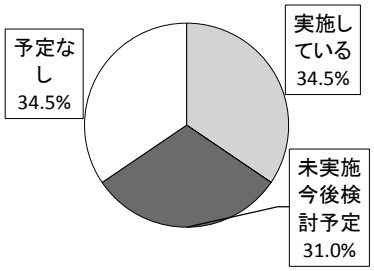


図　2-7-1　回答率

イ　住民・事業者・行政の協働組織を各とした活動の展開

●　ごみ減量会議等の設置・運営の実施について

ごみ減量会議等の設置・運営の実施については、「実施している」が21市町（72.4%）、「今後検討予定」が4市町（13.8%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
ごみ減量会議等の設置・運営をしていますか。	21	4	4	29
	72.4%	13.8%	13.8%	100.0%

表　2-7-2　「ごみ減量会議等の設置・運営の実施」回答状況

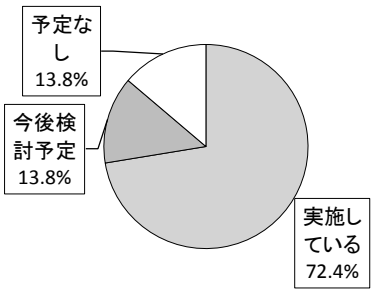


図　2-7-2　回答率

ウ　地域でごみ減量化に取り組む住民、NPO等の相互交流の場づくり

●　地域ごみゼロ推進交流会への参加について

地域ごみゼロ推進交流会については、「参加している」が6市町（20.7%）、「今後検討予定」が12市町（41.4%）となっている。

質問	市町回答			計
	参加している	今後検討予定	予定なし	
地域ごみゼロ推進交流会に参加していますか。	6	12	11	29
	20.7%	41.4%	37.9%	100.0%

表　2-7-3　「地域ごみゼロ推進交流会への参加」回答状況

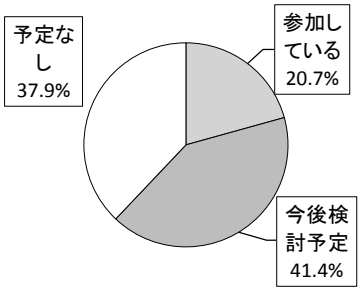


図　2-7-3　回答率

（2） 基本取組8-2 レジ袋削減・マイバッグ運動の展開

ア レジ袋ないない活動の展開

● スーパー等のレジ袋の有料化の実施状況について

スーパー等のレジ袋の有料化については、全ての市町で「実施している」。

質問	市町回答				計
	実施している	今後検討予定	未実施今後検討予定	予定なし	
スーパー等のレジ袋の有料化を実施していますか。	29	0	0	0	29
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

表 2-7-4 「レジ袋の有料化の実施状況」回答状況

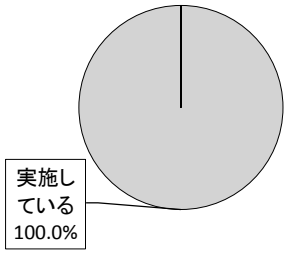


図 2-7-4 回答率

● レジ袋削減・マイバッグ運動の効果、収益金の活用、新たな取組について

レジ袋削減・マイバッグ運動の平成26年度実績については下表の通りである。

質問	市町名	内容	実施場所	実施主体	マイバッグ持参率[%]	実施内容
レジ袋削減・マイバッグ運動の実施状況は。（平成26年度実績）	伊勢市	レジ袋有料化	-	ええやんか！マイバッグ（レジ袋有料化）検討会	91.2	事務局
	松阪市	第13回もってこに！マイバック（レジ袋有料化）検討会	松阪市	環境パートナーシップ会議	91	-
	桑名市	ホームページで呼びかけ	-	桑員マイバッグ運動推進協議会	約87.0	HP上に記事掲載
	鈴鹿市	市民への情報提供	市ホームページ	鈴鹿市	約90.0	辞退率、推移公表、啓発
	亀山市	ホームページでの公表	市ホームページ	鈴鹿市・亀山市レジ袋削減（有料化）・マイバッグ合同推進会議	88.6	情報提供
	明和町	広報等での協力の呼びかけ	-	-	-	-
	玉城町	分別表等での呼びかけ	-	玉城町	91.4	啓発
	度会町	広報等での協力のよびかけ	-	-	80	-
	御浜町	広報誌や新聞での啓発、実績報告	-	-	-	啓発、情報提供
	紀宝町	マイバックの配布（町内の祭り等）など	南郡・熊野市のスーパー等	紀南地区マイバック推進協議会	85.7	支援・開催

表 2-7-5 「レジ袋削減・マイバッグ運動の平成26年度実績」 回答状況

（3） 基本取組8-3 ごみゼロに資する NPO、ボランティア等の活動推進

ア NPO等の創意工夫を活かす協働事業の推進
ごみ行政におけるNPO等との連携・協働の推進
ごみゼロNPOマップの作成

● ごみゼロの取組をしているNPOの把握について

ごみゼロの取組をしているNPOについては、「把握している」が6市町（20.7%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答			計
	把握している	今後検討予定	予定なし	
ごみゼロの取組をしているNPOの把握をしていますか。	6	5	18	29
	20.7%	17.2%	62.1%	100.0%

表 2-7-6 「NPOの把握」回答状況

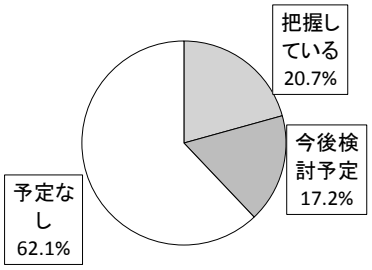


図 2-7-5 回答率

● NPO等団体の活動の側面的な支援について

NPO等団体の活動の側面的な支援については、「実施している」が9市町（31.0%）、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
NPO等団体の活動を側面的に支援していますか。	9	3	17	29
	31.0%	10.3%	58.6%	100.0%

表 2-7-7 「NPO活動支援」回答状況

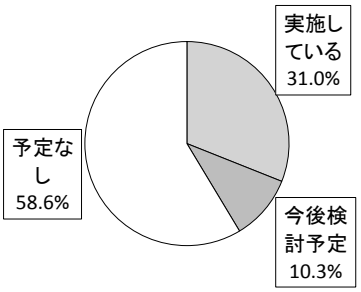


図 2-7-6 回答率

● リサイクル施設等への運営について

リサイクル施設等への運営については、「実施している」が3市町（10.3%）、「今後検討予定」が2市町（6.9%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
ＮＰＯ等団体と連携・協働しリサイク施設を運営していますか。	3	2	24	29
	10.3%	6.9%	82.8%	100.0%

表 2-7-8 「リサイクル施設等への運営」回答状況

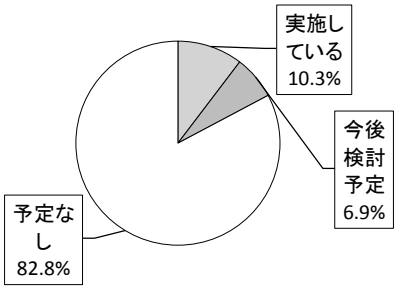


図 2-7-7 回答率

● NPO等との協働による各種事業の企画・実施について

NPO等との協働による各種事業については、「企画・実施している」が2市町（6.9%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
ＮＰＯ等団体と連携・協働し各種事業の企画・実施をしていますか。	2	6	21	29
	6.9%	20.7%	72.4%	100.0%

表　2-7-9　「各種事業の企画・実施」回答状況

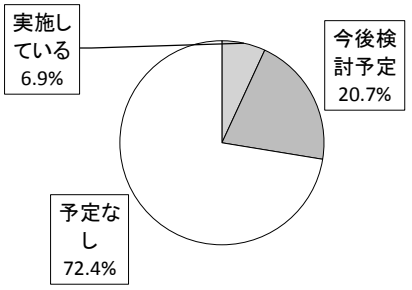


図　2-7-8　回答率

● 住民への啓発・情報提供等施策における協働について

住民への啓発・情報提供等施策における協働については、「実施している」が4市町（13.8%）、「今後検討予定」が8市町（27.6%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
住民への啓発・情報提供等施策において協働（事業委託、共同開催、共同実施、強力支援等）していますか。	4	8	17	29
	13.8%	27.6%	58.6%	100.0%

表　2-7-10　「啓発・情報提供等施策の協働」回答状況

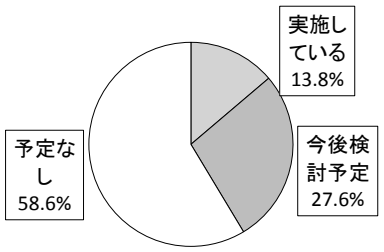


図　2-7-9　回答率

イ　自分たちの活動が地域社会で役立っていることを実実感させる仕組みづくり

● ごみゼロに取り組む個人、地域団体、NPO等の活動の顕彰・PRの実施について

個人、地域団体、NPO等の活動の顕彰・PRについては、「実施している」が3市町（10.3%）、「今後検討予定」が9市町（31.0%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
ごみゼロに取り組む個人や地域団体、NPO等の活動の顕彰・PRをしていますか。	3	9	17	29
	10.3%	31.0%	58.6%	100.0%

表　2-7-11　「顕彰・PRの実施」回答状況

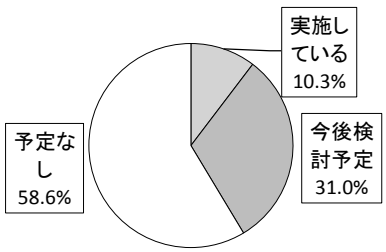


図　2-7-10　回答率

（4） 基本取組8-4 情報伝達手段の充実及び啓発・PRの強化

ア 「ごみゼロ社会実現プラン」の啓発

● ごみゼロプランに関する情報提供について

ごみゼロプランに関する情報提供については、「実施している」が10市町（34.5%）、「今後検討予定」が13市町（44.8%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
ごみゼロプランに関する情報提供を実施していますか。	10	13	6	29
	34.5%	44.8%	20.7%	100.0%

表 2-7-12 「ごみゼロプランに関する情報提供」回答状況

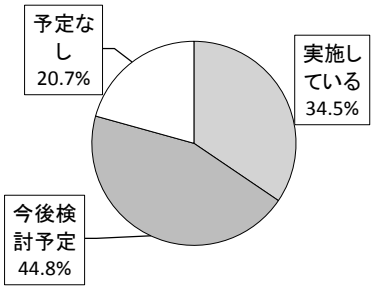


図 2-7-11 回答率

イ コスト情報等の積極的な提供

ホームページ等各種メディア等を活用したごみに関する情報発信の充実

● ごみ量・資源化量の情報提供について

ごみ量・資源化量の情報提供については、「実施している」が26市町（89.7%）、「今後検討予定」が3市町（10.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
ごみ量・資源化量を情報提供していますか。	26	3	0	29
	89.7%	10.3%	0.0%	100.0%

表 2-7-13 「ごみ量・資源化量の情報提供」回答状況

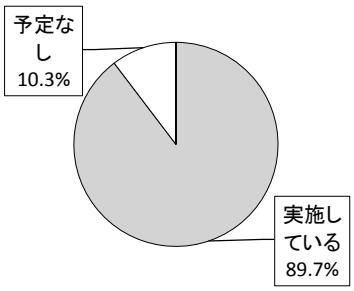


図 2-7-12 回答率

● ごみ量・資源化量の広報媒体について

ごみ量・資源化量の広報媒体については、「広報誌」が26市町（89.7%）で最も高く、次いで「ホームページ」の11市町（40.7%）となっている。

質問	広報媒体（複数選択可）	市町選択	選択
ごみ量・資源化量の広報媒体は。	広報誌	25	86.2%
	ホームページ	11	37.9%
	ケーブルテレビ	7	24.1%
	その他	4	13.8%

表 2-7-14 「ごみ量・資源化量の広報媒体」回答状況

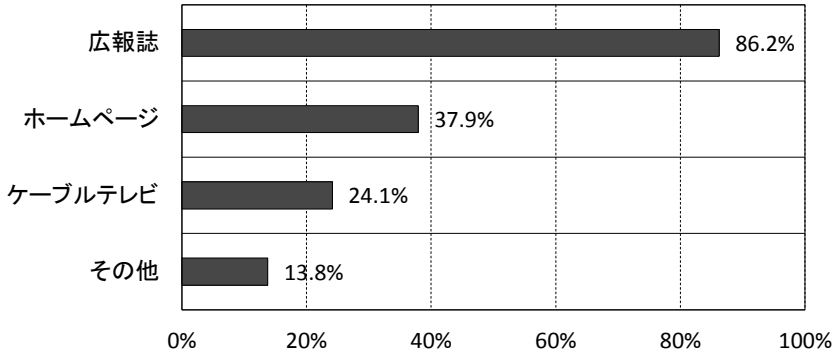


図　2-7-13　回答率

● ごみ処理に係るコスト・環境負荷の情報提供について

コスト・環境負荷の情報提供については、「実施している」が19市町（65.5%）、「今後検討予定」が9市町（31.0%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
ごみ処理に係るコスト・環境負荷の情報提供は。	19	9	1	29
	65.5%	31.0%	3.4%	100.0%

表　2-7-15　「ごみ処理に係るコスト・環境負荷の情報提供」回答状況

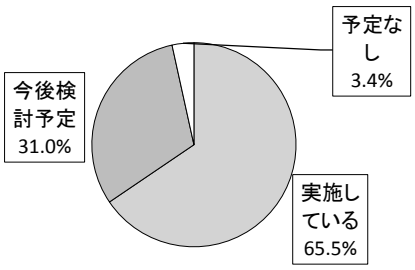


図　2-7-14　回答率

● ごみ処理に係るコスト・環境負荷の広報媒体について

ごみ処理に係るコスト・環境負荷の広報媒体については、「広報誌」が23市町（79.3%）で最も高く、次いで「ケーブルテレビ」が7市町（24.1%）となっている。

質問	広報媒体（複数選択可）	市町選択	選択
ごみ処理に係るコスト・環境負荷の広報媒体は。	広報誌	23	79.3%
	ケーブルテレビ	7	24.1%
	ホームページ	6	20.7%
	その他	3	10.3%

表　2-7-14　「ごみ量・資源化量の広報媒体」回答状況

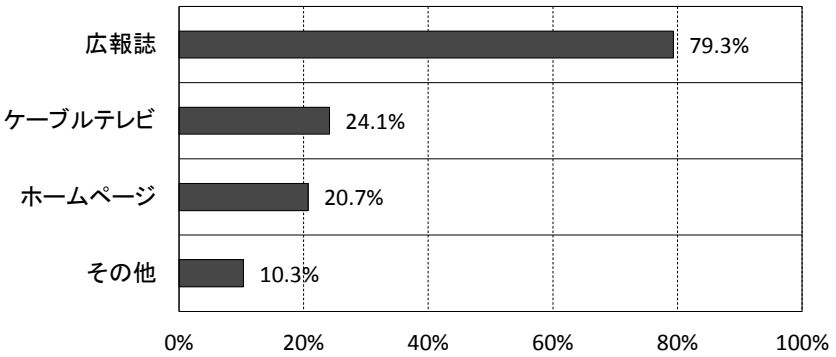


図　2-7-15　回答率

● ごみに関するその他の情報提供について

ごみに関する情報提供については、14市町（48.3%）が実施しており、その内容はごみの分別方法や出し方、不法投棄防止に関するものとなっている。

質問	市町回答			
	実施している	今後検討予定	予定なし	無回答
その他の情報提供は。	14	0	1	14
	48.3%	0.0%	3.4%	48.3%

表　2-7-17　「その他」回答状況

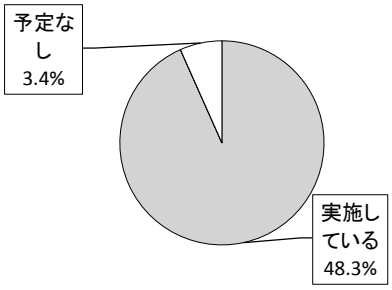


図　2-7-16　回答率

質問	市町名	その他の内容	広報媒体
その他の情報提供は。	津市	ごみの分別方法	広報誌
	四日市市	ごみガイドブック、ごみ収集日程表	広報誌、ホームページ、ケーブルテレビ
	伊勢市	分別方法	広報誌、ケーブルテレビ
	松阪市	ごみ出しのルールの啓発等	広報誌、ホームページ
	鈴鹿市	分別指導等	広報誌、ホームページ、ケーブルテレビ
	尾鷲市	収集カレンダー等	ホームページ
	いなべ市	ごみの分別方法	広報誌、ホームページ
	菰野町	資源物回収事業	広報誌
	朝日町	不法投棄	広報誌、その他（回覧）
	多気町	分別の徹底	広報誌
	玉城町	ごみカレンダー	広報誌、ホームページ
	紀北町	分別の徹底徹底、ごみ関係の啓発	広報誌、ケーブルテレビ、その他（ガイドブック）
	御浜町	オール御浜でごみ	広報誌
	紀宝町	ごみ関係の啓発	広報誌、その他（ごみ分別説明会）

表　2-7-18　「その他の内容」回答状況

● その他の情報提供に関する広報媒体について

その他の情報提供に関する広報媒体については「広報誌」が13市町（44.8%）で最も高く、次いで「ホームページ」の6市町（20.7%）となっている。

質問	広報媒体（複数選択可）	市町選択	選択
その他の情報提供に関する広報媒体は。	広報誌	13	44.8%
	ケーブルテレビ	6	20.7%
	ホームページ	4	13.8%
	その他	3	10.3%

表　2-7-19　「その他の広報媒体」回答状況

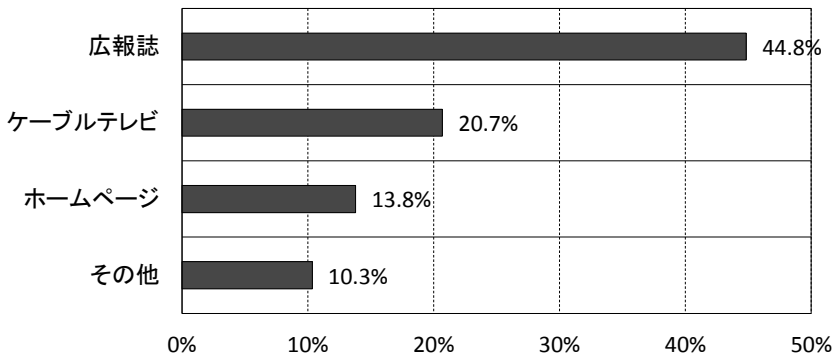


図　2-7-17　回答率

（5） 基本取組8-5 もったいない普及啓発運動の展開

ア 食品ロスの削減

● 食品ロス削減のためのPR等について

食品ロスを削減するためのPR等については、「実施している」が12市町（41.4%）、「今後検討予定」が11市町（37.9%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
食品ロスを削減するために、PR等を実施していますか。	12	11	6	29
	41.4%	37.9%	20.7%	100.0%

表 2-7-20 「食品ロス削減のためのPR等の実施」回答状況

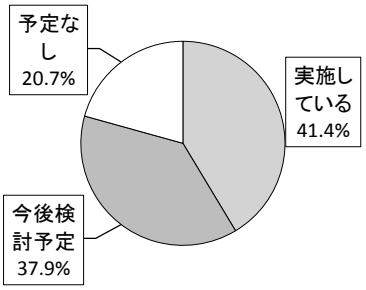


図 2-7-18 回答率

2-8　基本方向9　ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり

（1）　基本取組9-1　環境学習・環境教育の充実

ア　環境学習・環境教育のツール・プログラム等の開発

●　環境学習・環境教育に活用できるツール・プログラム等の活用について

環境学習・環境教育に活用できるツール・プログラム等については、「活用したい」が12市町（41.4%）、「活用を検討」が16市町（55.2%）となっている。

質問	市町回答			計
	活用したい	活用を検討	その他	
今後、年齢層や場所に応じて様々な環境学習・教育の機会において活用できるツールやプログラム等が開発されれば、活用したいと思いますか。	12	16	1	29
	41.4%	55.2%	3.4%	100.0%

表　2-8-1　「ツール・プログラム等の活用」回答状況

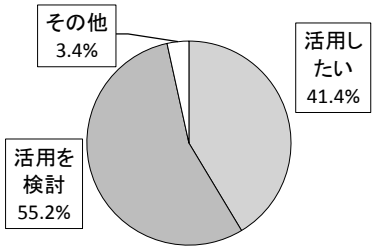


図　2-8-1　回答率

●　キッズISO140001プログラムを用いた環境教育の実施について

キッズISO140001プログラムを用いた環境教育については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が8市町（27.6%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
キッズISO140001プログラムを用いた環境教育を実施していますか。	1	8	20	29
	3.4%	27.6%	69.0%	100.0%

表　2-8-2　「環境教育の実施」回答状況

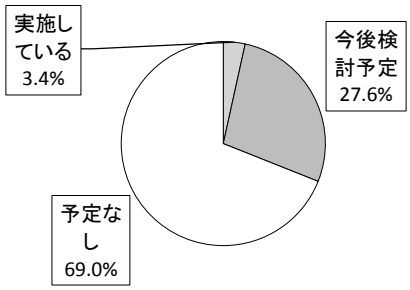


図　2-8-2　回答率

イ　20年後（平成37年）のライフスタイル体験プログラムの実施

●　20年後（平成37年）のライフスタイル体験プログラム提供事業への支援の実施について

20年後（平成37年）のライフスタイル体験プログラム提供事業への支援については、「実施している」が1市町（3.4%）、「今後検討予定」が5市町（17.2%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
体験プログラム提供事業について、企画・運営や自治会・NPO等民間団体への支援を実施していますか。	1	5	23	29
	3.4%	17.2%	79.3%	100.0%

表　2-8-3　「体験プログラム提供事業への支援の実施」回答状況

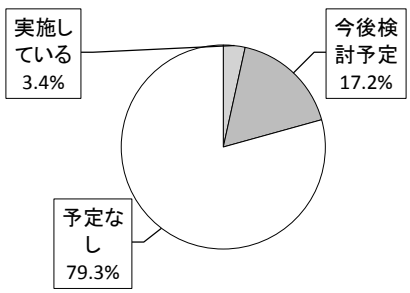


図　2-8-3　回答率

ウ　「こどもエコクラブ」の活動と「ごみゼロ」推進との連携強化

●　こどもエコクラブの活動への協力実施について

こどもエコクラブの活動については、「協力、実施している」が6市町（20.7%）、「今後検討予定」が13市町（44.8%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
こどもエコクラブの活動への協力を実施していますか。	6	13	10	29
	20.7%	44.8%	34.5%	100.0%

表　2-8-4　「こどもエコクラブの活動への協力実施」回答状況

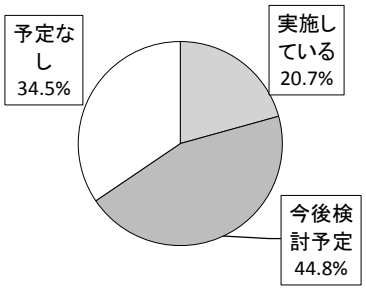


図　2-8-4　回答率

エ　家庭における環境学習・教育の推進

●　家庭における環境学習・教育の啓発の実施について

家庭における環境学習・教育の啓発については、「実施している」が7市町（24.1%）、「今後検討予定」が13市町（44.8%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
家庭における環境学習・教育の啓発を実施していますか。	7	13	9	29
	24.1%	44.8%	31.0%	100.0%

表　2-8-5　「環境学習・教育の啓発の実施」回答状況

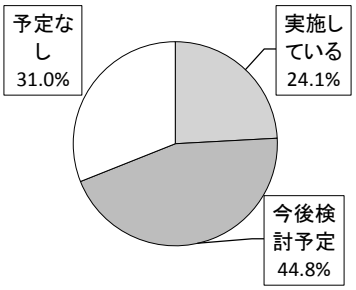


図　2-8-5　回答率

●　環境学習を推進するNPO等への協力・支援の実施について

環境学習を推進するNPO等への協力・支援については、「実施している」が7市町（24.1%）、「今後検討予定」が6市町（20.7%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
環境学習等を推進するNPO等への協力・支援を実施していますか。	7	6	16	29
	24.1%	20.7%	55.2%	100.0%

表　2-8-6　「NPO等への協力・支援の実施」回答状況

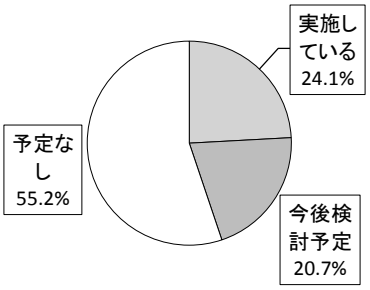


図　2-8-6　回答率

● ごみ減量の普及啓発について

各市町におけるごみ減量の普及啓発については下表の通りである。

質問	市町名	普及啓発内容
ごみ減量の普及啓発についてどのような普及啓発を行っていますか。	名張市	名張市のごみゼロキャラクター「なばりのストッピー」を活用して、ごみの減量化・資源化のPRを行っている。
	木曽岬町	生ごみの水切りの徹底について広報を通じて啓発活動を実施した。また、希望する自治会に対しては分別説明会を実施してごみの減量化に努めた。
	川越町	広報誌において毎月ごみ減量に関する連載記事を掲載。
	紀北町	平成25年度からごみ減量を目的としたエコ料理教室や各種講座を実施しており、平成27年度から新たに小学校へ出前授業を実施している。

表　2-8-7　「ごみ減量の普及啓発」回答状況

オ　県環境学習情報センターの機能の充実と活用

● 県環境学習情報センターの機能を活用した、地域への情報提供や環境学習機会の提供の実施について

県環境学習情報センターの機能を活用した、地域への情報提供や環境学習機会の提供については、「実施している」が7市町（24.1%）、「今後検討予定」が9市町（31%)となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
三重県環境学習情報センターの機能を活用し、地域への情報提供や環境学習機会の提供を実施していますか。	7	9	13	29
	24.1%	31.0%	44.8%	100.0%

表　2-8-8　「情報提供や環境学習機会の提供の実施」回答状況

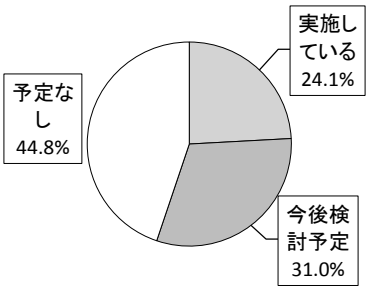


図　2-8-7　回答率

（2）　基本取組9-2　ごみゼロ推進のリーダーの育成と活動支援

ア　より専門的な技術や知識を伝授する「ごみゼロ達人」の育成

● 「ごみゼロ達人」育成への協力について

「ごみゼロ達人」育成については、「協力したい」が8市町（27.6%）、「協力するか検討」が20市町（69%）となっている。

質問	市町回答			計
	協力したい	協力するか検討	予定なし	
「ごみゼロ達人」育成について、今後協力したいと思いますか。	8	20	1	29
	27.6%	69.0%	3.4%	100.0%

表　2-8-9　「ごみゼロ達人育成への協力」回答状況

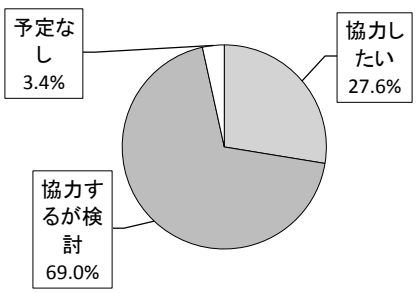


図　2-8-8　回答率

イ　「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成

●　「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成・公開・更新や情報提供の実施について

「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成・公開・更新や情報提供については、「実施している」市町はなく、「今後検討予定」が14市町（48.3%）となっている。

質問	市町回答			計
	実施している	今後検討予定	予定なし	
「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成・公開・更新や情報提供を実施していますか。	0	14	15	29
	0.0%	48.3%	51.7%	100.0%

表　2-8-10　「ごみゼロ人材ガイドブックの作成・公開・更新や情報提供の実施」回答状況

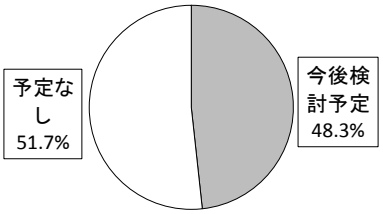


図　2-8-9　回答率

３　市町ごみ処理状況調査　回答票
ごみゼロ社会実現プラン推進に関する市町の取組状況調査　回答票

市町名	＿＿＿	所属名	＿＿＿
担当者名	＿＿＿	電話番号	＿＿＿

基本方向２

事業系ごみの総合的な減量化の推進

基本取組２－１

事業系ごみ処理システムの再構築

１　取組の内容

（１）事業系ごみの処理実態等の把握

県内の事業系ごみについて、事業者からごみがどのように分別･排出されているかなど、ごみ処理施設に搬入されるまでの実態について把握し、より効果的な減量化施策の構築を進めるため、事業系ごみの業種ごとの排出の状況、処理の方法や家庭系ごみへの混入状況などに関する詳細な実態調査を行います。

（２）事業系ごみ適正処理システムの検討・整備

少量の事業系ごみの排出者が事業系ごみとして排出しやすい処理システムについて検討を行い、事業系ごみが適正に処理されるシステムとして整備を進めます。

事業系ごみの家庭系ごみへの混入を防ぐため、事業者に対して、排出するごみは許可業者等にその処理を委託するなど、市町の基準に沿ってごみを適正に処理するよう指導を徹底するとともに、許可業者等に対しても、適正な指導・育成を行います。また、受け皿としての民間処理業者等の活用が不可欠なことから、優良事業者の育成、技術開発支援、ネットワークづくりなどを進めます。

事業系ごみの収集運搬に携わる業者は、事業系ごみの適正な収集・運搬に努めるとともに、その状況などについて管理し、積極的な情報公開を進めます。

（３）事業系ごみ排出者の届出指導等

多量排出事業者とともに、事業者の大部分を占める中小事業者に対しても排出者責任の認識を促し、ごみの減量化や再資源化に配慮した事業活動を促進するため、廃棄物処理法第６条の２第５項に基づき、多量排出事業者に対してごみ減量化計画書等の届出の義務づけ、計画的な立入指導などを行うとともに、中小事業者に対しても、それに準じて届出を義務づけるなど積極的に指導を行います。

さらに、新たに事業を始めようとする者に対しては、建物の新増築などの機会をとらえて、あらかじめ事業内容やごみの排出量、ごみ質、資源ごみの保管場所等の届出を指導するなど、きめ細かい対策を講じます。

【届出の種類（例示）】

① 廃棄物・資源化物保管場所設置届
② 事業系ごみの管理責任者設置届
③ 事業系ごみの減量化・資源化に係る計画書
④ 事業系ごみの減量化・資源化に係る実績報告書

【貴市町の取組】

◎事業系ごみの減量化施策の検討を実施していますか。

実施している場合は、具体的内容をご記入ください。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎少量事業系ごみ排出者の適正処理を促すシステムの検討・整備を実施していますか。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎次に掲げる取組内容について、それぞれ該当する項目にチェックしてください。

取組内容	実施状況
事業系ごみの業種ごとの排出状況や処理の方法の把握	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
事業系ごみの家庭系ごみへの混入状況の把握	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
排出事業者に対して、市町の基準に沿ってごみを適正に処理するよう指導	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
廃棄物管理責任者の選任指導	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
事業系ごみの分別･排出区分の基準づくり、明確化	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
許可業者に対する適正な指導・育成	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
搬入計画の提出	□ 実施（対象：□ 排出業者 □ 許可業者） □ 今後検討予定 □ 予定なし
減量化・分別の啓発・情報提供	□ 実施（対象：□ 排出業者 □ 許可業者） □ 今後検討予定 □ 未実施
減量化・分別の指導	□ 実施（対象：□ 排出業者 □ 許可業者） □ 今後検討予定 □ 未実施
排出事業者に対するごみ減量化計画等の届け出の義務づけ	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
排出事業者への立入調査の実施	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
搬入時に立ち会い、不適物に対して分別指導や搬入拒否の実施	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし

取組内容	実施状況
リサイクル可能な事業系の古紙等の、市町焼却処理場への搬入規制	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし

◎平成14年度以降に、搬入抑制のために搬入制限などの実施している施策があれば、実施年度、具体的内容をご記入ください。

具体的施策	実施年度
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	平成＿＿＿～＿＿＿年度
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	平成＿＿＿～＿＿＿年度
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	平成＿＿＿～＿＿＿年度

（4）適正なごみ処理料金体系の構築

事業系ごみの焼却施設への持ち込み手数料等について、実際の処理コストに見合う料金設定であるかどうかなどを検証し、格差が生じている場合には、周辺市町の料金設定も考慮したうえで是正するなど、適正な料金体系の構築に努めます。

また、事業系ごみに対する指定ごみ袋制など、より効率的な料金徴収の仕組みについて検討し、導入を進めます。その際、料金の値上げに伴う家庭系ごみへの混入増加など、料金体系の変更により生じるマイナスを防ぐために、必要な対策をあわせて講じることが重要です。

【貴市町の取組】

◎事業系ごみのごみ処理料金についてお聞きします。

（1）平成 25、26 年度において事業系ごみの手数料の値上げ及び料金体系変更を実施しましたか、またその予定はありますか？

1 □ 実施した　（平成＿＿＿年＿＿＿月実施）
2 □ 今後実施予定　（平成＿＿＿年＿＿＿月実施予定）
3 □ 検討中　（理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
4 □ 検討予定なし　（理由：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

（1）で「1．実施した」と回答した方は、次の設問にお答えください。

（2）値上げ実施前と実施後の手数料料金をご記入ください。
（搬入ごみや量に応じて単価が違う場合はすべてご記入ください。）
（実施前）＿＿＿＿＿（円/＿＿）　→　（実施後）＿＿＿＿＿（円/＿＿）

（3）料金改定前の１年間と、改定後の１年間の事業系ごみの搬入量（年間トータル）をご記入ください

	年月	事業系ごみ搬入量
料金改定前１年	平成＿＿＿年 ＿＿＿月 ～平成＿＿＿年 ＿＿＿月	＿＿＿ t
料金改定実施後１年（※）	平成＿＿＿年 ＿＿＿月 ～平成＿＿＿年 ＿＿＿月	＿＿＿ t

※改定後１年を経過していない場合は、直近までの合計ごみ量を記入してください。

◎事業系ごみに対する指定ごみ袋制（有料指定ごみ袋制）など、効率的な料金徴収の仕組みの検討･導入を実施していますか。

1 □ 導入している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 検討している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
3 □ 今後検討予定
4 □ 実施していない

（５）一般廃棄物処理計画における減量化方針等の確立

事業系ごみの減量化、再資源化を総合的、計画的に進めるため、一般廃棄物処理計画において、事業系ごみに関する数値目標等を設定するなど、その減量化方針を明確にしたうえで、具体的な施策を実施していきます。

なお、事業系ごみの減量化の数値目標については、市町における事業系ごみの実態及びごみゼロ社会実現プランにおける排出削減目標を踏まえて、設定するものとします。

【貴市町の取組】

◎一般廃棄物処理計画において、事業系ごみに関する数値目標を設定していますか。

1 □ 設定している
2 □ 設定していないが、今後検討予定
3 □ 設定していないし、今後検討予定もない

基本方向２

事業系ごみの総合的な減量化の推進

基本取組２－２

事業系ごみの発生・排出抑制

１　取組の内容

（１）事業所内教育の推進

個々の事業所において排出者責任の考え方を浸透させ、ごみ減量化の自主的な取組を推進するため、企業の社会的責任や環境保全活動等について、事業所内での従業員等を対象とした学習会の実施やＱＣ活動と関連づけたごみ減量対策の推進などを進めます。

（２）ＩＳＯ１４００１等環境マネジメントシステムの認証取得促進

ごみの減量化を含めた事業者の自主的な環境負荷低減の取組を促進するため、小規模事業者においても取り組みやすい環境マネジメントシステムの制度を構築・普及するなど、企業等の ISO14001 等の認証取得を促進します。

（３）自主情報公開制度の推進

産業廃棄物の分野では、事業者が廃棄物の処理実績及び管理計画等の情報を自主的に公開する「自主情報公開制度」がごみの減量化に効果を上げていることから、多量排出事業者による減量化計画や各種届出書に関する「自主情報公開制度」の運用を推進します。情報公開する内容は、住民が閲覧しやすいよう書類を整理するとともに、インターネットなどを活用した情報提供に努めます。

また、制度の活用を促進するため、ごみの減量化等について優れた実績をあげた優良事業者を顕彰し公表するなど、事業者にとってもメリットのある施策を講じます。

【貴市町の取組】
◎「自主情報公開制度」に関連する取組を実施していますか。
1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向２

事業系ごみの総合的な減量化の推進

基本取組２－３

事業系ごみの再利用の促進

１　取組の内容

（１）業種別ガイドラインの作成

事業者が、飲食店やオフィスといった個々の事業形態に応じて、効果的な取組を進めるため、業種ごとに減量化のための具体的な対策や目標値を明記したガイドラインを作成します。

【貴市町の取組】
◎「業種別ガイドライン」に関連する取組を実施していますか。
1 □実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □実施していないが、今後検討予定
3 □実施していないし、今後検討予定もない

（２）事業系ごみの再資源化推進

① 飲食店、スーパー、旅館等から発生する生ごみは、均質で一定量がまとまって排出されるため効率的、効果的な再資源化が期待できます。このことから、事業系生ごみの堆肥化・肥料化等を進めるため、生ごみ堆肥化等に関する県内各地の市町、住民、ＮＰＯ、事業者等におけるさまざまな取組の実績を生かしながら、堆肥から生産する農産物の地産地消など、地域と一体となった取組を推進します。

② 紙ごみのうち、オフィスから排出される量が少なく、再資源化率の低いＯＡ用紙や新聞、段ボール以外の紙類の再資源化を進めるため、市街地や工業団地において、中小規模の事業者等による「オフィス町内会」のような取組を推進します。

③ 機密書類などファイル等に綴じたままの用紙類やプラスチックや金属が混在した紙ごみの再資源化を進めるため、製紙業界と連携しながらミックスペーパーの再資源化などに取り組みます。

④ 事業系ごみの再資源化についての産学官の連携による技術開発や調査研究を進めるため、ごみ減量化をテーマとして産学官の情報交流の取組などを実施します。

【貴市町の取組】
◎事業系の生ごみや紙ごみ等の資源化促進のため、事業者等への情報提供や技術的支援を実施していますか。
1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎事業系の生ごみや紙ごみ等の資源化促進のため、事業者間の連携・交流を促進する取組を実施していますか。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向３

リユース（再使用）の推進

基本取組３－１

不用品の再使用の推進

１　取組の内容

（１）フリーマーケット等の開催

家庭で使わなくなった不用品の有効利用を進めるとともに、不用品の再使用等に対する県民の関心を高めるため、フリーマーケットやバザーなど住民自身が気軽に参加できる不用品の再使用のための取組を県内各地で積極的に展開します。

【貴市町の取組】

◎フリーマーケット等の開催、会場提供等の支援、開催等に係る情報提供を実施していますか。

1 □ 実施している
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎**上記の質問で①と回答した方はお答えください。**

フリーマーケットの開催、会場提供等の支援、開催等に係る情報提供について平成26年度実績をご記入ください。

	実施日	名称	実施場所	実施主体	来場者数	貴市町の実施内容
例	4/22	●●フェア	●●公園	●自治会	約250人	開催、支援、情報提供等
	＿＿＿	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿人	＿＿＿＿＿＿
	＿＿＿	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿人	＿＿＿＿＿＿
	＿＿＿	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿人	＿＿＿＿＿＿
	＿＿＿	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿人	＿＿＿＿＿＿

（２）不用品リサイクル情報の提供及び利用促進の仕組みづくり

家庭で使わなくなった不用品の有効利用をより効率的、広域的に進めるため、市町の広報やホームページ等を通じて不用品のリユースやリサイクルに関する情報を広く提供するとともに、譲りたい物がある人と譲ってほしい物がある人双方のニーズをうまくマッチさせることができる情報交換の仕組みづくりなどに取り組みます。

（３）不用品再使用のための修理、リフォーム等の推進

リサイクルプラザなど不用品のリサイクル等を推進するための公共施設において、修理教室、リフォーム教室等の開催やリサイクル関係情報の収集・発信を行うとともに、粗大ごみとして収集した家具やおもちゃ等を修理・再生し販売するなど、リサイクルの実践活動を進めます。

（４）リサイクルショップ等の活用を進めるための仕組みづくり

家庭で使わなくなった家具等を修理、再生のうえ、商品として安価で提供するリサイクルショップ等の活用を進めるため、認定制度の創設など仕組みづくりに取り組みます。

【貴市町の取組】

◎不用品のリサイクルに関する情報提供や情報交換の仕組みづくりを実施していますか。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎修理教室、リフォーム教室を実施していますか。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎不用品の修理･販売を実施していますか。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎リサイクルショップ認定制度等利用促進のための仕組みづくりを実施していますか。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎リサイクルショップに関する情報発信を実施していますか。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向３

リユース（再使用）の推進

基本取組３－２

リターナブル（リユース）容器の普及促進

１　取組の内容

（１）既存のリターナブル容器製品のＰＲ等利用促進

ビールびんや一升びんなど既存のリターナブル（リユース）容器のシステムの活用を進めるため、リターナブル容器の優れたところや利用の必要性などを環境負荷の低減やごみ減量化の視点から幅広くＰＲします。

また、宅配サービスなど流通販売事業におけるリターナブル容器の利用を推進するとともに、軽量で耐久性のあるリターナブル容器の開発・普及などを進め、システムの利便性を高めることにより、リターナブル容器を使用する製品の利用を拡大していきます。

【貴市町の取組】
◎リターナブル容器の良さなどのＰＲを実施していますか。
1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

（2）新たなリターナブル容器システムの構築

現在は再生利用、又は、使い捨てされている飲料容器等について、リターナブル容器への転換を進めるため、新たなリターナブル容器システムの構築に関する調査検討を行い、できることから順次具体化し、持続可能な経済社会のシステムとして構築していきます。

【貴市町の取組】
◎新たなリターナブル容器システムの構築に対する支援・協力を実施していますか。
1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

（3）リユースカップ・システム等の推進

テーマパークやスポーツ施設等で大量に発生する使い捨て容器ごみを減らすため、県内各地の集客交流施設、公共施設等において、リユースカップの使用やリターナブル容器を使った商品の販売を積極的に進め、施設運営システムとして定着させます。

【貴市町の取組】
◎集客交流施設等へのリユースカップ導入促進に関する取組を実施していますか。
1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎公共施設におけるリユースカップ・システムの導入及びリターナブル容器製品の優先販売を実施していますか。
1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

（4）移動食器洗浄車などリユース食器システムの整備・活用

イベント会場等で大量に発生する使い捨て容器ごみを減らすとともに、リターナブル容器に関する意識を高めるため、移動食器洗浄車を整備し、県内各地で開催されるイベントやまつり、各種大会等において活用するなど、リユース食器をレンタルするシステムなどの整備・活用を進めます。この移動食器洗浄車は、プランの啓発等にも積極的に活用します。

また、リユース食器システムのコミュニティビジネスとしての展開をはかり、経済的にも持続可能なシステムとして定着させます。

（5）エコイベントの推進

イベント会場等で発生するごみを減らすとともに、さまざまなイベントを通じてリユース等に関する意識を高めるため、エコイベントマニュアルの普及・活用を進めるなど三重県エコイベントシステムを推進します。

また、イベントごみの受け入れの有料化や、その収入を原資としたリユース推進のための助成制度など手数料収入の活用方法について検討します。

【貴市町の取組】

◎移動食器洗浄車の購入・貸出を実施していますか。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎リユースカップの使用やマイはしの持参等、ごみを出さないことを主催者が心がけたエコイベントを実施していますか。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

◎貴市町が開催、支援、情報提供等を行った平成 26 年度に開催したエコイベントの開催状況についてご記入ください。

	実施日	名称	実施場所	実施主体	来場者数	貴市町の実施内容
例	4/22	●●フェア	●●公園	●自治会	約 250 人	開催、支援、情報提供等
	＿＿＿	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿人	＿＿＿＿＿＿
	＿＿＿	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿人	＿＿＿＿＿＿
	＿＿＿	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿人	＿＿＿＿＿＿
	＿＿＿	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿人	＿＿＿＿＿＿

基本方向３

リユース（再使用）の推進

基本取組３－３

リースやレンタルの推進

１　取組の内容

（１）民間事業者におけるリース・レンタル等のサービスの拡大

個人や事業者が、一時期しかない使わない製品や所有しなくても機能が利用できればよいと考える製品等について、積極的にリースやレンタルなどのサービスを利用することを促進するため、リース・レンタルする製品の種類を増やす、リース・レンタル等のサービスを提供するシステムの利便性を高める、事業所を増やす、広くＰＲを行うなどサービスを拡大していきます。

【貴市町の取組】
◎リース・レンタルのサービスの積極的な利用をしていますか。
1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向３

リユース（再使用）の推進

基本取組３－４

モノの長期使用の推進

１　取組の内容

（１）製品等の修理・修繕等のサービスの拡大

製品等が故障したり、壊れたりしたとき、それをごみとして捨てなくても済むようにするため、修理・修繕等により製品をできるだけ長く使うことができるよう製品の設計段階から配慮するとともに、部品の長期保存や修理・修繕等サービス網の充実、技術者の養成など、製品等の修理・修繕等の体制整備やシステム構築を進めます。

（２）アップグレード（製品の性能・機能の向上）サービスの拡大

技術の進展に伴い製品等の性能や機能が古くなったり、より優れた性能や機能を持つ製品が開発されたとき、新しい製品に買い替えなくても済むようにするため、アップグレードが可能となるよう製品の設計段階から配慮するとともに、アップグレードソフトの開発やアップグレードサービスの充実、技術者の養成などを進めます。

【貴市町の取組】
◎モノの長期使用の推進のため、住民に対する啓発を実施していますか。
1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向４

容器包装ごみの減量・再資源化

基本取組４－１

容器包装リサイクル法への対応

１　取組の内容

（１）容器包装リサイクルに係る効果検証調査等の実施

容器包装廃棄物が家庭ごみに占める割合は、容積比で約 6 割、重量比で 2～3 割程度となっており、なかでもプラスチック類、紙類が大きな割合を占めています。

このため県内市町の容器包装リサイクル法への対応状況に関する調査を継続的に行うとともに、リサイクルセンターなど施設の必要性、収集運搬費用などの面からも検証を実施します。

（2）国への提言・要望

現行の容器包装リサイクル法では、分別収集を市町の責務としており、この経費が市町にとって財政上の負担となっています。拡大生産者責任の考え方に基づき、容器包装ごみの回収からリサイクルに至る費用は事業者が負担し、製品価格に転嫁するなど市場経済の仕組みのなかで解決する制度とするよう、引き続き国に対し法律の改正等など提言・要望を行っていきます。

【貴市町の取組】

◎市町における分別収集経費の負担軽減等のための容器包装リサイクル法の改正について、各種団体等を通じ、国への働きかけを実施していますか。

1 □ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

（3）容器包装リサイクル法の完全実施

現在の県内市町の容器包装リサイクル法への対応状況については、白色トレイ 45%、その他紙製容器包装 34%と低い状況にあります。容器包装ごみの減量化をさらに進めるため、容器包装リサイクル法に定める品目について分別収集・処理を実施します。

また、容器包装リサイクル法に基づく容器包装ごみの分別収集の完全実施に向け、効果検証調査を実施するとともに制度改正を含めた国への要望を継続的に行います。

【貴市町の取組】

◎プラスチック製容器包装の収集・処理状況についてご記入ください。

分別区分	1□ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製容器包装、 2□ 可燃ごみ 3□ 不燃ごみ、 4□ その他（＿＿＿＿＿＿）
収集方法	1□ ステーション、 2□ 戸別収集 3□ 拠点回収、 4□ その他（＿＿＿＿＿＿）
処理方法	1□ 資源化処理 （□ 容器包装リサイクルルート、□ 独自処理） 2□ 焼却処理、 3□ 埋立処理、4□ その他（＿＿＿＿＿＿）

◎白色トレイの収集・処理状況についてご記入ください。

分別区分	1□ 白色トレイ、 2□ 可燃ごみ 3□ 不燃ごみ、 4□ その他（＿＿＿＿＿＿）
収集方法	1□ ステーション、 2□ 戸別収集 3□ 拠点回収、 4□ その他（＿＿＿＿＿＿）
処理方法	1□ 資源化処理 （□ 容器包装リサイクルルート、□ 独自処理） 2□ 焼却処理、 3□ 埋立処理、 4□ その他（＿＿＿＿＿＿）

◎紙製容器包装の収集・処理状況についてご記入ください。

分別区分	1□ 紙製容器包装、 2□ 可燃ごみ 3□ 不燃ごみ、 4□ その他（＿＿＿＿＿＿）
収集方法	1□ステーション、 2□ 戸別収集 3□拠点回収、 4□ その他（＿＿＿＿＿＿）
処理方法	1□ 資源化処理 （□ 容器包装リサイクルルート、□ 独自処理） 2□ 焼却処理、 3□ 埋立処理、4□ その他（＿＿＿＿＿＿）

◎その他ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（容器包装リサイクル法対象外のﾌﾟﾗｽﾁｯｸ）の収集・処理状況についてご記入ください。

分別区分	1□ その他ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、 3□ 不燃ごみ、	2□ 可燃ごみ 4□ その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）
収集方法	1□ ステーション、 3□ 拠点回収、	2□ 戸別収集 4□ その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）
処理方法	1□ 資源化処理、 3□ 埋立処理、	2□ 焼却処理 4□ その他（＿＿＿＿＿＿＿＿）

基本方向 4

容器包装ごみの減量・再資源化

基本取組４－２

容器包装の削減・簡素化の推進

1　取組の内容

（1）製造・流通・販売等の事業活動における工夫や改善の実施

容器包装ごみの重量や容積を減らすため、容器・包装の製造段階において、容器・包装の厚みや嵩（かさ）などができるだけ少なくなるよう設計や素材を工夫するとともに、流通・販売段階において、容器包装が少量・簡素となるよう仕組みの改善などを進めます。

（2）容器・包装の削減・簡素化を促す消費活動の実践

容器包装ごみの重量や容積を減らすとともに、事業者の容器包装の削減・簡素化に向けた活動を促進するため、容器包装の少ない商品の優先的な購入やリターナブル容器の積極的な利用、簡易な包装などのサービスの選択、マイバッグの持参など容器包装の削減・簡素化を促す消費活動を実践します。

【貴市町の取組】

◎容器包装の削減・簡素化に向けた活動を促進するための啓発・ＰＲを実施していますか。該当する項目にチェックしてください。

【啓発・ＰＲの内容】
- 1□ 容器包装の少ない商品の優先的な購入
- 2□ リターナブル容器の積極的な利用
- 3□ 簡易な包装などのサービスの選択
- 4□ レジ袋辞退・マイバッグ持参
- 5□ 詰め替え商品の積極的な購入
- 6□ その他（具体的内容：　　）

【啓発・ＰＲの方法】
- 1□ 広報
- 2□ ホームページ
- 3□ チラシ・パンフレット
- 4□ その他（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿）

基本方向５

生ごみの再資源化

基本取組５－１

生ごみの堆肥化・飼料化

１　取組の内容

（１）家庭の生ごみ堆肥化システムの構築

家庭から排出される生ごみを堆肥化し、できた堆肥は、農家が肥料として利用する、或いは、家庭でガーデニングなどに活用するといった「生ごみ堆肥化システム」を構築します。

【貴市町の取組】

◎生ごみの収集運搬･堆肥化業務の委託、堆肥化システムの運用を実施していますか。

1□ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎貴市町での NPO 等生ごみ堆肥化団体の取組についてご記入ください。

	取組主体	活動場所	参加世帯数	生ごみ処理量（Ｈ２５実績）	貴市町の関わり
例	●●グループ	●●地区	約 250 世帯	10t/年間	取組主体、支援、無し
	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿世帯	＿＿＿t/年間	＿＿＿＿＿＿
	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿世帯	＿＿＿t/年間	＿＿＿＿＿＿
	＿＿＿＿＿＿	＿＿＿＿＿	＿＿＿世帯	＿＿＿t/年間	＿＿＿＿＿＿

◎貴市町で生ごみを分別収集し、直営あるいは委託によって堆肥化するにあたって（今後堆肥化しようとした場合も含む）、どのような課題がありますか。（あてはまるものすべてにチェックしてください。）

1□ 大量に堆肥ができた場合、受入先がみつからない
2□ 異物の混入で堆肥の品質が確保できない
3□ 施設の設置や収集のための経費がかかる
4□ 施設や集積所の設置に住民の理解や協力が得られない
5□ 分別に手間がかかるなど住民への負担が大きい
6□ その他（具体的内容：　　）

（２）事業者と地域産業との生ごみ堆肥化ネットワークの構築

旅館等事業者が排出する生ごみを原材料として生産した農作物の肥料や養殖魚の飼料などを、地域の農水産業において活用し、できた作物等を旅館等へ還元する循環型のネットワークを構築します。

【貴市町の取組】

◎事業者に対する堆肥化事業の立ち上げ支援を実施していますか。

1□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）の再資源化（堆肥化・飼料化）を進めていますか。

1□ 進めている （具体的内容： ）
2□ 進めていないが、今後検討予定
3□ 進めていないし、今後検討予定もない

◎貴市町での事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）の堆肥化・飼料化事業者等をご記入ください。

	堆肥化事業者名	事業者の所在地	生ごみ処理量（H26 実績）	貴市町の関わり
例	●●会社	●●地区	10 t/年間	支援、無し、その他（具体的に）
			t/年間	
			t/年間	
			t/年間	

◎貴市町で事業系の食品廃棄物（一般廃棄物分）を堆肥化・飼料化するにあたってどのような課題がありますか（今後堆肥化・肥料化しようとした場合を含む）。あてはまるものすべてにチェックしてください。

1□ 市町内に堆肥化事業者がいない。
2□ 事業者はいるが、一般廃棄物処理業の許可や再生利用者の個別指定を出しづらい理由がある。（具体的な理由： ）
3□ その他（具体的内容： ）

（3）家庭での生ごみ処理機の活用

家庭からの生ごみの乾燥などを行う生ごみ処理機を導入し、生ごみを減量するとともに、できた堆肥をガーデニング等に活用します。

【貴市町の取組】

◎家庭用生ごみ処理機のＰＲを実施していますか。

1□ 実施している （具体的内容： ）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎家庭用生ごみ処理機の購入に対する助成を実施していますか。

1 □実施している
2 □実施していないが、今後検討予定
3 □実施していないし、今後検討予定もない

上記の質問で「1 実施している」と回答した方は助成制度の状況についてお答えください。

◎生ごみ処理機の購入助成制度について、下記項目にご記入ください。

	対象とする機器の種類	助成額
例	生ごみ処理機	購入額の 1/2、限度額 1,5000 円

◎生ごみ処理機の購入助成実績（平成 24～26 年度）を下表にご記入ください。

	H24	H25	H26
助成者数	＿＿＿＿人	＿＿＿＿人	＿＿＿＿人
助成額	＿＿＿＿円	＿＿＿＿円	＿＿＿＿円

◎補助した生ごみ処理機で処理された量等の減量効果を把握していますか。

1□ 把握している（把握方法：　　）
2□ 把握していない

（４）水切り運動の展開

生ごみの再資源化にあたっては、水分をいかに少なくすることができるかがポイントとなります。生ごみに含まれる水分は８０％程度であり、その水分のほとんどは食物自身が持っている水分（固有水分）であることから、絞る、乾かす等の水切りの必要性をＰＲするとともに、水切りを浸透させることで上記（１）～（３）の取組を効果的に進めます。

なお、生ごみの水切りを行うことにより、ごみの減量にもつながります。

【貴市町の取組】

◎生ごみの水切りの推進や、PR を実施していますか。

1□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向 5

生ごみの再資源化

基本取組５－２

生ごみのエネルギー利用

１　取組の内容

（１）生ごみバイオガス化に向けた調査の実施

家庭や事業所から排出される生ごみをエネルギーとして有効利用するため、システム設計を含めた生ごみのバイオガス化に関する調査を行います。

（２）生ごみバイオガス化発電等の実証試験の検討

上記（１）の調査に基づき生ごみバイオガス化発電等のシステムのモデル地区における試験的な導入を検討するとともに、先行事例の精査などからごみ減量等効果やシステムの効率性、運営に要するコスト、環境への影響などさまざまな観点から、総合的に実施の検討を行います。

（３）生ごみバイオガス化発電等の導入の検討

家庭や事業所から排出される生ごみのバイオガス化発電等のシステム導入の検討を行います。

【貴市町の取組】
◎生ごみバイオガス化に向けた調査の実施（システム設計含む)、調査への協力をしていますか。
1□ 実施している （具体的内容：　　）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎生ごみバイオガス化発電等の実証実験事業の検討、事業への協力をしていますか。
1□ 実施している （具体的内容：　　）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎生ごみバイオガス化発電等システムの導入の検討を実施していますか。
1□ 実施している （具体的内容：　　）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎住民に対し、生ごみの分別排出についての指導を実施していますか。
1□ 実施している （具体的内容：　　）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

（4）廃食用油のＢＤＦ化による活用

家庭から排出された廃食用油を、自動車等（市町のごみ収集車等）の燃料として有効利用します。

【貴市町の取組】
◎廃食用油ＢＤＦ化システムの導入・運営をしていますか。
1□ 実施している
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎**上記の質問で「1 実施している」と回答した方は取組状況等についてご記入ください。**
【対象とする区域】
【対象とする世帯数】　　世帯
【施設・設備の能力、規模】　　ℓ/日
【収集処理 H26 実績】　廃食用油　　Ｌ→ＢＤＦ　　Ｌ
【事業に要する経費】　施設等整備費　　千円、維持管理費　　千円/年間
【ＢＤＦ化についての課題】具体的課題：

基本方向６

産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進

基本取組６－１　ローカルデポジット制度の導入

１　取組の内容

（１）商店街、中心市街地等における飲料容器デポジット制度の導入

飲料容器を資源物として効率的に回収するとともに再資源化事業の経済性を高めるため、商店街や中心市街地など買い物や通勤通学で日常的に多くの住民が訪れる場所において、事業者と行政、ＮＰＯなどが連携し、飲料容器の自動回収機などを活用したデポジット制度を導入・運用します。

（２）観光地等における飲料容器デポジット制度の導入

観光地など集客交流拠点が集中する地域や大規模な集客交流施設などにおいて散乱ごみ防止と資源物回収の効率化を進めるため、観光事業者や施設運営者、地域の流通販売事業者等が一体となって、飲料容器のデポジット制度を導入・運用します。

【貴市町の取組】

◎デポジットシステムを導入・運営する事業者の支援をしていますか。

１□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
２□ 実施していないが、今後検討予定
３□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎事業者と連携しデポジットシステムを導入・運用（コスト負担、回収した資源化の処理）を実施していますか。

１□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
２□ 実施していないが、今後検討予定
３□ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向６

産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進

基本取組６－２　障がい者や高齢者等のごみゼロ活動への参画促進

１　取組の内容

（１）障がい者や高齢者の支援と連携したリサイクル事業の展開

障がい者や高齢者の社会参加、自立支援等の促進を目的として、福祉関係団体等が中心となり、事業者とも連携しながら事業所等で不用となった資源物のリサイクルなどの事業に取り組みます。

【貴市町の取組】
◎福祉関係団体等への情報提供、財政支援等を実施していますか。
1□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

（2）元気な高齢者等の活力をごみゼロに生かす仕組みづくり

「再生資源物等の集団回収促進」、「分別ルールの徹底」、「生ごみの堆肥化・利用促進」などのごみ減量化に関する課題と、「コミュニティ活動の活性化」、「遊休農地等中山間地域における土地の有効利用」という地域の課題をうまく関連づけて同時に解決をはかるため、企業退職者等の活力を地域課題の解決に生かすための仕組みづくりを進めます。

【貴市町の取組】
◎企業退職者等のニーズの集約、地域での活動の受け皿に関する情報発信を実施していますか。
1□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向６
産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進

基本取組６－３
ごみゼロに資する地域活動の活性化促進

１　取組の内容

（1）地域通貨の仕組みを活用したリサイクルの推進

地域におけるリユースやリサイクルの取組について、地域通貨を活動促進のためのツールとして活用します。例えば、ＮＰＯ、地域住民組織が主体となり行政や地域の事業者と連携しながら、地域通貨を活用した資源物回収システムを運営します。システムの運営主体は、市町からの助成を受けながら家庭で不用となった資源物の回収、売却等を行うとともに、住民に対して持ち込んだ資源物の量に応じて地域通貨を発行します。住民は、地域通貨の額に応じて、市町指定のごみ袋や事業者のサービス購入に利用します。

【貴市町の取組】
◎地域通貨の仕組みを活用した取組について、資源回収に対する助成や地域通貨と交換できるサービスの提供を実施していますか。
1□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

（2）コミュニティ単位でのごみゼロ活動の促進

ごみ減量化やリサイクルに関して一定の成果を上げている地域において、活動の核となる地域住民組織に対して、活動助成金を交付するとともに、集積所の管理や分別の指導などコミュニティにおける意識の向上等に関する活動に協力していただきます。

【貴市町の取組】
◎コミュニティ単位でのごみゼロ活動について、活動助成金の交付等の協力を実施していますか。

1□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

（3）基金による地域住民活動の支援

家庭系ごみ有料化の収入等を原資として基金を設置し、ごみの減量やリサイクル、生活環境の保全、環境学習の推進など、広く循環型社会の構築に関わる地域住民主体の取組に対して支援を行います。

【貴市町の取組】
◎基金の設置、管理運用を実施していますか。

1□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向６ 産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進

基本取組６－４ 民間活力を生かす拠点回収システムの構築

1 取組の内容

（1）店頭回収システムによるリサイクルの促進

一定の集客が見込めるスーパーやショッピングセンターにおいて店頭回収システムの構築、又は、利用を促進するため、事業者と関係市町の役割分担の適正化及び連携強化やシステム運営の効率化などを進めます。

【貴市町の取組】
◎店頭回収について、貴市町ではどのように取り扱っていますか。

1□ 市町の回収ステーションという位置づけで、市町が一般廃棄物として収集処理している。
（具体的な実施事業者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ スーパー等が事業の一環として店頭回収を実施し、回収したものはスーパー等が産業廃棄物として処理している。
3□ スーパー駐車場等で資源回収を実施している。
（管理を業者に委託し、市の回収拠点という位置づけ）
4□ 把握している限りでは、スーパーの店頭回収は実施していない。

（2）ＮＰＯ・事業者・行政の連携による資源物拠点回収システムの構築

中心市街地など小売店や事業所が多く立地する地域において、事業者とＮＰＯ等が連携し、空き店舗などを活用して、小売店等で不用となった資源物の拠点回収システムを構築・運営します。小売店（流通・販売事業者）、ＮＰＯ等、再生事業者の三者が以下のような役割分担のもとに協働していきます。

役割分担のモデル　◆小売店等：回収拠点となる場所提供、資源物の提供
◆ＮＰＯ等：回収拠点の維持管理などシステムの運営
◆再生事業者：資源物の収集・運搬・利用

【貴市町の取組】

◎NPO・事業者が連携した資源物拠点回収システム事業は、集団回収として位置づけていますか。

1□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎**上記で「1．実施している」と回答した方は次の設問にお答えください。**

集められた資源物の量は把握していますか。

1□ 把握している
2□ 把握していないが、今後把握する予定
3□ 把握していないし、今後把握する予定もない

基本方向６

産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進

基本取組６－６

埋立ごみの資源としての有効利用の推進

1　取組の内容

（1）廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究等

再使用･再生利用できず埋立ごみとして処理されている廃プラスチックや焼却灰などを資源として有効利用するため、それら廃プラスチック等の排出源・排出量やその性状、収集コストなど利用の際の条件を明らかにするとともに、熱・エネルギー回収などその活用方策について調査研究を行います。また、その調査研究の成果に基づき有効利用を進めます。

【貴市町の取組】

◎埋立ごみとして処理されている廃プラスチック等の有効利用に関する調査研究への協力、実施をしていますか。

1□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

（２）事業者における廃プラスチック等の利用促進

再使用・再生利用できない廃プラスチック等の熱・エネルギーを事業者等において有効利用するため、エネルギー利用に関して、事業者のニーズの掘り起こしや産学官の連携による技術開発、利用システムの調査検討を行うとともに、技術革新に取り組むための業種の枠を越えたネットワークづくりを進めます。また、事業化が見込まれるものについては、そのためのシステムの整備等を進めます。

【貴市町の取組】
◎埋立ごみとして処理されている廃プラスチック等の有効利用に関するシステム整備への支援・協力をしていますか。

1□ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向７

公正で効率的なごみ処理システムの構築

基本取組７－１

ごみ処理の有料化等経済的手法の活用

１　取組の内容

（１）ごみ減量化対策における経済的手法の検討

ごみの排出抑制と処理経費の負担の公平化のため、家庭系ごみの有料化など経済的手法の活用について検討を行います。

（２）家庭系ごみの有料化導入にあたっての諸手続の実施

家庭系ごみ有料化等経済的手法の活用に対する住民や事業者の意識を把握するとともに、有料化等に係る料金設定や制度の導入にあたって講じるべき各種施策等に関する意見、提案等を収集するため、住民等を対象としたアンケートを実施します。その際、住民等の有料化制度に対する理解を促進するとともに、ごみ減量化への意識を高めるため、啓発に資する情報を盛り込むなど工夫します。

また、住民や有識者からなる「家庭系ごみ有料化制度検討委員会（仮称）」を設置し、家庭系ごみ有料化制度の具体的な内容や制度を円滑に導入、運営するための取組などについて検討を行い、有料化制度の導入に生かします。

（３）家庭系ごみ有料化制度の検証

市町村合併等に伴い既存の有料化制度が変更される市町、あるいは、新たに有料化制度を導入する市町等について、変更前後、あるいは、導入前後のごみ排出量やごみ処理コストの変動などについて調査分析を行い、有料化制度の成果や影響等を明らかにすることにより、より適正なごみ有料化制度の確立、制度の導入につなげます。

（４）家庭系ごみ有料化制度の導入

家庭系ごみ有料化制度を創設するとともに、制度を円滑に運用しその効果を一層高めるため、住民説明会や啓発活動を行います。また、有料化制度の導入に伴う不法投棄の発生を抑えるため、必要な対策を講じます。

【貴市町の取組】

◎家庭ごみの有料化制度の導入状況についてお聞きします。

※有料化制度とは、家庭から排出されるごみについて、市町が、条例に基づき、ごみ袋やシール等の販売によりごみ処理手数料を徴収する仕組みをいいます。

（１）家庭ごみの有料化制度の導入状況について該当する項目にチェックしてください。

1☐ 有料化制度を導入している【前回調査時点（平成 26 年９月）から対象ごみ、袋サイズ等の変更：☐あり、☒なし】

2☐ 有料化制度の導入を予定している。（平成＿＿年＿＿月導入予定）

3☐ 有料化制度の導入を検討している。

4☐ 有料化制度を導入していないが、今後検討する予定である。

5☐ 有料化制度を導入していない、かつ今後検討の予定もない。

（２）家庭ごみの有料化等のごみ処理施策に関する住民を対象としたアンケートを実施したことがありますか。

1☐ ある　（実施時期　＿＿＿年＿＿月）

2☐ 実施予定（実施予定時期＿＿＿年＿＿月）

3☐ 検討中

4☐ ない

（３）**（１）で「３ 有料化制度の導入を検討している」と回答した方にお聞きします。**

現在の検討状況について、該当する項目にチェックしてください。

【検討組織】 1☐ ごみ減量推進委員会等（組織名＿＿＿＿＿＿＿＿、担当部所＿＿＿＿＿＿＿＿）

【検討内容】 2☐ ごみの有料化実施に向けて検討している

3☐ ごみの有料化の是非について検討している

4☐ ごみの有料化制度について他市町の状況などの勉強をしている

5☐ その他（　　）

◎家庭ごみの指定ごみ袋制度の導入状況について該当する項目にチェックしてください。指定ごみ袋制度とは、住民が使用するごみ袋を市町が指定するが、袋代には処理手数料は含みません。

1☐ 指定ごみ袋制度を導入している。【前回調査時点（平成 26 年９月）から対象ごみ、袋サイズ等の変更：☐あり、☒なし】

2☐ 指定ごみ袋制度の導入を予定している。（平成＿＿年＿＿月導入予定）

3☐ 指定ごみ袋制度の導入を検討している。

4☐ 指定ごみ袋制度を導入していないが、今後検討する予定である。

5☐ 指定ごみ袋制度を導入していない、かつ今後検討の予定もない。

基本方向７

公正で効率的なごみ処理システムの構築

基本取組７－２

廃棄物会計等の活用促進

1　取組の内容

（1）廃棄物会計導入マニュアルの作成

廃棄物会計の標準化及び普及のため、行政職員、有識者等からなる研究会組織を立ち上げ、その基本的な仕組みや具体的な作成手順、活用方法、効果等について調査研究を行うとともに、市町において試験的に廃棄物会計を作成し、廃棄物会計を導入する際のマニュアルとして取りまとめます。

（2）廃棄物会計導入に向けた普及活動の実施

廃棄物会計を広く普及させるため、市町へのヒアリング等を行い、廃棄物会計導入に対するニーズや問題点等を把握するとともに、廃棄物会計に関する研修会等を開催します。

（3）ＬＣＡ手法の適用可能性調査の実施

ＬＣＡの手法を活用した市町ごみ処理事業の評価について、その適用の可能性や具体的な方法について調査研究を行います。また、実際に市町の事業について試験的に評価を行い、その結果の活用方法や問題点等を整理します。

（4）市町ごみ処理カルテの作成とその活用促進

市町が把握・公開していたこれまでのごみ処理に関するデータに加え、廃棄物会計のコスト情報等に基づく評価結果、住民・事業者の取組状況などのデータを用いて、市町ごみ処理システムの現状や課題等について総合的に診断し、その結果を市町ごみ処理カルテとして取りまとめ、公開します。

また、これらのカルテをもとにベンチマーキングを行い、ベストプラクティスの情報を既存の取組の改善や新たなごみ減量化施策の構築、住民参画の促進などに活用します。

【貴市町の取組】

◎該当する項目にチェックしてください。実施している場合は、具体的内容をご記入ください。

取組内容	実施状況
コスト情報※の把握・整理（廃棄物会計など） ※H19 年６月に環境省が公表した「廃棄物会計基準」を用いた原価などコスト情報	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定（平成＿＿年度実施予定） □ 予定なし
LCA 手法による自主評価	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
カルテの作成・公表（市町ごみ処理カルテなど）	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
ベンチマーキングの実施	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
ベストプラクティス情報の活用	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし

◎**廃棄物会計や市町ごみ処理カルテを導入している市町は次の設問にお答えください。**

これらを導入したことによる効果あるいは課題について具体的に記入してください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

基本方向７

公正で効率的なごみ処理システムの構築

基本取組７－３

地域密着型資源物回収システムの構築

１　取組の内容

（１）資源回収ステーションの設置・運営

家庭で不用となった資源物を行政回収に出す際の利便性を高めるため、住民が自分の都合に合わせて直接資源物を持ち込むことができる資源回収ステーションを設置し、ＮＰＯ等との協働で運営します。資源回収ステーションの基本的な考え方は以下のとおりです。

- 土・日も営業する、２４時間持ち込み可能とするなど、できるだけ住民が利用しやすくなるような運営とする。
- ステーションの維持管理等については、シルバー人材やボランティアの活用、福祉事業との連携、ＮＰＯや地域住民組織等への委託などにより、地域の人的資源活用など副次効果の発揮と運営の効率化をめざす。
- 単なる資源物の回収・保管場所とするのではなく、環境学習の場、住民参加の場として活用する。

【貴市町の取組】

◎NPO 団体や自治会が管理し、住民が利用しやすい時間に運営している回収拠点を設置・運営していますか。

1□ 実施している
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、かつ今後検討の予定もない

◎**上記で「1．実施している」と回答した方にお聞きします。**

（１）拠点ごとの平成 26 年度の回収実績量を下表にご記入ください。

	回収拠点名	管理主体	紙類 (t)	金属類 (t)	ガラス類 (t)	PET (t)	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ (t)	布類 (t)	その他 (t)
例	●●ｽﾃｰｼｮﾝ	●●自治会	10	15	11	3	2	2	3
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									

（２）（１）で記入していただいたステーションの管理主体との関わりについて該当する項目すべてにチェックしてください。

1□ 管理主体に管理運営の委託費を支払っている。
2□ 管理主体に資源ごみ回収の助成金を支払っている。
3□ 管理主体がボランティアで実施している。
4□ その他（具体的関係：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

（２）地域ニーズに対応した集団回収の促進

集団回収における関係主体のメリットを高めるとともに、高齢者の生活支援など地域のニーズに対応した活動の展開につなげるため、集団回収を担う団体（実施主体）と行政、再生事業者等が、それぞれの抱える課題や要望等について定期的に話し合うなどコミュニケーションを密にし、取組における連携を強化します。行政や実施主体は、地域住民に対するＰＲや集団回収に対する地域の要望の収集を積極的に行い、地域住民の参加を促進するとともに、活動の見直し・改善に努め、計画的、効果的に取り組みます。

【貴市町の取組】

◎集団回収の助成制度についてお聞きします。

（１）集団回収の助成制度がありますか。

1□ ある
2□ ない

（２）集団回収の助成制度の今後について、該当する項目にチェックしてください。

【助成制度】 1□ 今後も継続、 2□ 廃止予定（平成＿＿年度）
3□ 継続か廃止するか検討中
【対象品目】 1□ 拡大予定、 2□ 現状のまま、 3□ 縮小予定
【助成金額】 1□ 増加予定、 2□ 現状のまま、 3□ 減少予定

（２）で「１ 今後も継続」と答え方は（３）以降の質問にお答えください。

（３）集団回収の助成対象品目、助成額をご記入ください。
（前回調査（平成 26 年９月）から変更があったもののみご記入ください）

	対象品目	助成金額（円/kg）
1		
2		
3		
4		
5		
6		

（４）集団回収の実施団体の内訳数及び回収量をご記入ください。（平成 26 年度実績）

	小学校等	町内会・自治会	子供会	その他	合計
実施団体数					
回収量(kg)					

（５）集団回収を促進するために実施している取組について、該当する項目にチェックしてください。

1☐ 集団回収を担う団体（実施主体）と行政、再生事業者等が、それぞれの抱える課題や要望等について定期的に話し合っている。
2☐ 地域住民に対して集団回収のＰＲを実施している。
3☐ 集団回収に対する地域の要望の収集を実施している。
4☐ その他（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

基本方向７

公正で効率的なごみ処理システムの構築

基本取組７－４

地域のごみ排出特性を踏まえたごみ行政の推進

１　取組の内容

（１）ごみ排出特性の把握・活用

市町内の各地域のごみ排出特性を踏まえた、よりきめ細かく効果的なごみ行政を進めるため、衛星利用測位システム（GPS）等のＩＴ技術を活用して、自治会や小学校区ごとのごみ排出量を計測・分析し、そのデータ等に基づいて排出源や地域に応じた啓発・指導や減量・再資源化対策の実施、効率的な収集・運搬ルートの整備、事業効果の把握による施策の見直し・改善などを行います。

（２）市町ごみマップの活用

住民のごみ減量化に対する意識や行動の変革を促すため、自治会や小学校区ごとのごみ排出量をマップ化し、そのデータから得られた地域ごとの課題等と合わせて、広く公開します。また、環境学習の教材として活用・提供します。

【貴市町の取組】

◎自治会や小学校区ごとのごみ排出量の計測・分析を実施していますか。

1☐ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2☐ 実施していないが、今後検討予定
3☐ 実施していないし、今後検討予定もない

◎自治会や小学校区ごとのごみ排出量データに基づく施策の検討や実施をしていますか。

1☐ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2☐ 検討している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
3☐ 実施していないが、今後検討予定
4☐ 実施していないし、今後検討予定もない

◎市町ごみ処理マップの作成・公開をしていますか。

1☐ 実施している （具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2☐ 実施していないが、今後検討予定
3☐ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向８

ごみ行政への県民参画と協働の推進

基本取組８－１

住民参画の行動計画づくり

１　取組の内容

（１）住民参画による市町ごみ処理基本計画の策定

ごみ行政への実質的な県民参画等を実現するため、市町において、計画策定に係る委員の公募や、住民を対象としたごみ処理の専門的知識に関する学習会の開催、住民が自分の意見や提案を気軽に表明できるパブリックコメントやワークショップなど多様な参画の機会を系統的に提供しながら、ごみ処理基本計画の策定を進めます。また、事業の企画・実施や計画の評価・改善など計画の実行段階における取組についても、住民の参画を推進します。

【貴市町の取組】
◎住民参画によるごみ処理基本計画づくりを実施していますか。
1□ 実施している　（平成＿＿年度策定）
2□ 今後検討予定　（平成＿＿年度検討予定）
3□ 実施していないが、今後検討予定
4□ 実施していないし、今後検討予定もない

（２）住民・事業者・行政の協働組織を核とした活動の展開

住民、事業者、行政が、ごみ減量化等の取組において連携・協働を進めることにより、県民参画等をより実効性のあるものとするため、参加者の自発性に重点を置き主体性の尊重とパートナーシップを運営の基本とする計画推進組織等を立ち上げ、広域的なＰＲ活動や地域団体等のサポート、ごみ減量活動のネットワークづくりなどを進めます。

【貴市町の取組】
◎ごみ減量会議等の設置・運営をしていますか。
1□ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

（３）地域でごみ減量化に取り組む住民、ＮＰＯ等の相互交流の場づくり

住民、事業者、ＮＰＯ等の自発的、主体的なごみ減量化の取組を促すとともに、それらの広域展開と充実･レベルアップにつなげるため、地域でごみの減量化等に取り組む住民、事業者、ＮＰＯ等にプランを啓発するとともに、情報交換などそれらの相互交流を促進する場づくりを進めます。

【貴市町の取組】
◎地域ごみゼロ推進交流会に参加していますか。
1□ 参加している
2□ 参加していないが、今後検討予定
3□ 参加していないし、今後検討予定もない

基本方向 8

ごみ行政への県民参画と協働の推進

基本取組８－２

レジ袋削減・マイバッグ運動の展開

1　取組の内容

（1）レジ袋ないない活動の展開

「レジ袋」を日常生活における大量消費型社会の象徴としてとらえ、レジ袋を使い捨てるという消費生活スタイルから、繰り返し「マイバッグ」などを使用する消費生活スタイルへの転換をはかり、ひいてはライフスタイルそのものを資源循環型へと誘導します。そのため、ごみ削減に向けた日常的な取組として、買物の際には「マイバッグ」を持参し「レジ袋」をもらわないようにする“レジ袋ないない活動”のキャンペーンを全県的に展開します。

また、県内の取組事例を積極的にＰＲし、マイバッグによる買物スタイルを推奨するとともに、スーパーやドラッグストア等以外の業種へのレジ袋削減の展開や簡易包装の実施などの容器包装類の削減を進めます。

【貴市町の取組】

◎スーパー等のレジ袋の有料化の実施状況について、該当する項目にチェックしてください。実施している場合は、具体的内容をご記入ください。

1□ 実施している（平成＿＿年＿＿月実施）（参加：＿＿社＿＿店舗）
2□ 今後検討予定（平成＿＿年＿＿月実施予定）
（参加予定：＿＿社＿＿店舗）
3□ 実施していないが、今後検討する予定がある。
4□ 実施していないし、今後検討する予定もない。

◎レジ袋削減・マイバッグ運動の実施状況について、平成 26 年度実績をご記入ください。

	実施日	内容	実施場所	実施主体	マイバッグ持参率	貴市町の実施内容
例	4/22	チラシ配布	●●ｽｰﾊﾟｰ	●●会	約 20%	開催、支援、情報提供等
例	毎月 15 日	広報等での協力の呼びかけ	―	●●市	―	毎月 15 日発行の広報コラム掲載
1	＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿％	＿＿＿＿
2	＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿％	＿＿＿＿
3	＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿＿＿	＿＿％	＿＿＿＿

基本方向 8

ごみ行政への県民参画と協働の推進

基本取組８－３

ごみゼロに資する NPO、ボランティア等の活動推

1　取組の内容

（1）ＮＰＯ等の創意工夫を生かす協働事業の推進

ＮＰＯや地域団体、ボランティア等の発想や専門性、ネットワーク等を生かしつつ「ごみゼロ社会」実現に向けた取組を推進するため、ＮＰＯ等から具体的な取組の企画提案があった場合などに事業化に向けた検討を行う体制の整備や協働するための仕組みづくりを行うなど、ＮＰＯ等の創意工夫を生かす協働事業を推進します。

（2）ごみ行政におけるＮＰＯ等との連携・協働の推進

リサイクル施設等の運営や維持管理、環境学習・環境教育プログラムやＰＲ・啓発事業の企画・実施、分別等ごみ排出ルールの指導徹底といった市町の施策において、ＮＰＯや地域団体、ボランティアとの協働を推進していきます。

（3）ごみゼロＮＰＯマップの作成

県内各地でごみゼロに資するＮＰＯの取組が実施されていますが、個々のＮＰＯは、継続的な事業運営やＮＰＯとしての自立に向けた課題を抱えています。こうした取組の継続･発展を促すため､県内のごみゼロＮＰＯの取組事例やわかりやすい地図情報を含む｢ごみゼロＮＰＯマップ」を作成し、情報発信します。

【貴市町の取組】

◎ごみゼロの取組をしているNPO の把握をしていますか。

1□ 把握している（把握方法：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
（把握している団体数：＿＿＿＿）

2□ 実施していないが、今後検討予定

3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎NPO 等団体との連携・協働について該当する項目にチェックしてください。
実施している場合は、具体的内容をご記入ください。

取組内容	実施状況
NPO 等団体の活動を側面的に支援	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
リサイクル施設等への運営	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
各種事業の企画・実施	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし
住民への啓発・情報提供等施策における協働（事業委託、共同開催、共同実施、協力支援等）	□ 実施（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿） □ 今後検討予定 □ 予定なし

（4）自分たちの活動が地域社会で役立っていることを実感させる仕組みづくり

ごみゼロコンテストの開催などを通じて、ごみ減量化等に大きな成果を上げた個人や地域団体、ＮＰＯ等の活動を顕彰するとともに、広くＰＲします。

【貴市町の取組】

◎ごみゼロに取り組む個人や地域団体、NPO 等の活動の顕彰・ＰＲをしていますか。

1□ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

2□ 実施していないが、今後検討予定

3□ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向８

ごみ行政への県民参画と協働の推進

基本取組８－４

情報伝達手段の充実及び啓発・PR の強化

１　取組の内容

（１）「ごみゼロ社会実現プラン」の啓発

県民へのプランの浸透をはかるとともに、自発的な行動を促すため、ポスターやパンフレットなどさまざまなメディアを通じて啓発を進めるとともに、出前講座などによりプランの内容や進捗状況など詳細な情報提供を行います。

【貴市町の取組】

◎ごみゼロ社会実現プランに関する情報提供を実施していますか。

1□ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

（２）コスト情報等の積極的な提供

県民がごみ問題を自らの問題としてとらえ、ごみ減量や資源化などの行動を起こすきっかけとするため、市町のごみ量・資源化量やごみ処理に係るコストや環境負荷など、ごみに関するより正確で詳しい情報を継続して提供します。

（３）ホームページ等各種メディア等を活用したごみに関する情報発信の充実

ごみに関するより具体的でわかりやすい情報提供を行うことにより、県民参画等を実質的なものとするため、ホームページや広報、ケーブルテレビ、ミニコミ誌、タウン誌などさまざまなメディアをその特性に応じて活用し、ごみに関する情報発信を充実させていきます。

また、公共施設などたくさんの人々が集まるような場所で、掲示板等を活用し、さまざまな情報を提供していきます。

さらに、近年県内の外国人居住者が増加してきており、それらの方たちにとってもわかりやすく的確な情報提供や啓発を行っていきます。

【貴市町の取組】

◎ごみに関する情報提供について該当する項目にチェック及び具体的に記入してください。

情報提供の内容	情報提供の実施	広報媒体	
ごみ量・資源化量	□ 実施 □ 今後検討予定 □ 予定なし	□ 広報誌、 □ ケーブルテレビ、 □ タウン誌、	□ホームページ □ミニコミ誌 □その他（＿＿＿）
ごみ処理に係るコスト・環境負荷	□ 実施 □ 今後検討予定 □ 予定なし	□ 広報誌、 □ ケーブルテレビ、 □ タウン誌、	□ホームページ □ミニコミ誌 □その他（＿＿＿）
その他（内容：＿＿＿＿＿＿）	□ 実施 □ 今後検討予定 □ 予定なし	□ 広報誌、 □ ケーブルテレビ □ タウン誌、	□ホームページ □ミニコミ誌 □その他（＿＿＿）

基本方向８

ごみ行政への県民参画と協働の推進

基本取組８－５　もったいない普及啓発運動の展開

１　取組の内容

（１）食品ロスの削減

家庭ごみの３～４割を生ごみが、その生ごみの３～５割を食品ロス（本来は食べられる食料品が食べ残しあるいは未利用の状態で廃棄される）が占めています。レジ袋削減運動で見られた意識から行動へ移す次なる取組の一つとして、「もったいない」の考え方のもと食品ロスの削減を進めます。

また、廃棄物の削減だけでなく、食育や環境学習・環境教育の推進、農林水産業の振興等、あらゆる部門と連携して事業を展開します。

【貴市町の取組】

◎食品ロスを削減するために、PR 等を実施していますか。

1□ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向９

ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり

基本取組９－１　環境学習・環境教育の充実

１　取組の内容

（１）環境学習・環境教育のツール・プログラム等の開発

世代別､家庭･職場･地域別など対象に応じた環境学習や環境教育のプログラムにより、より効果的で継続的な環境学習・教育を進めるため、年齢層や場所に応じてさまざまな環境学習・教育の機会において活用できるツールやプログラム等の開発を行います。

【貴市町の取組】

◎今後、年齢層や場所に応じてさまざまな環境学習・教育の機会において活用できるツールやプログラム等が開発されれば、活用したいと思いますか。

1□ 活用したい
2□ 活用するかを検討したい
3□ その他（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

◎キッズ ISO140001 プログラムを用いた環境教育を実施していますか。

1□ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

（２）20 年後（平成 37 年）のライフスタイル体験プログラムの実施

プランのめざす 20 年後の地域社会の姿やライフスタイルの優れたところや良いところを子どもから大人まで幅広い年代の方たちに理解してもらい、将来の環境保全活動を担ってもらうため、物を大切に長く使う日本固有の生活文化や質的に豊かな生活、環境配慮型のライフスタイルなど、ある程度まとまった期間の中で体験させるプログラムを提供する仕組みを構築し、ＮＰＯや地域が協働のもとに運営します。

【貴市町の取組】

◎体験プログラム提供事業について、企画・運営や自治会・NPO 等民間団体への支援を実施していますか。

1□ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

（３）「こどもエコクラブ」の活動と「ごみゼロ」推進との連携強化

「こどもエコクラブ」の活動を通じてごみゼロ推進の取組の広域的な展開をはかるため、エコクラブ関係者との情報交流や、里山保全活動、自然観察会といった地域のエコクラブ活動への人材派遣などエコクラブに対する支援を行うとともに、リサイクル体験などエコクラブの会員を対象としたごみに関する学習会の共同開催など、相互の連携による取組を推進します。

【貴市町の取組】

◎こどもエコクラブの活動への協力を実施していますか。

1□ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

（４）家庭における環境学習・教育の推進

ごみゼロ社会を担う人づくりに関しては、家庭における学習や教育がとても大切です。このため、家庭でもごみゼロ社会の実現について話し合えるようなわかりやすいプランのＰＲ版を作成し配布するとともに、家庭で楽しみながら気軽に取り組めるような環境学習･教育のツールの普及を進めることにより、家庭における環境学習･教育を推進します。

【貴市町の取組】

◎家庭における環境学習・教育の啓発を実施していますか。

1□ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎環境学習等を推進する NPO 等への協力・支援を実施していますか。

1□ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2□ 実施していないが、今後検討予定
3□ 実施していないし、今後検討予定もない

◎県では、ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」を活用し、県民の皆さんにごみ減量に向けた PR を行っています。貴市町では、ごみ減量の普及啓発について、どのような普及啓発を行っていますか。具体的について記入してください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（５）三重県環境学習情報センターの機能の充実と活用

三重県環境学習情報センターの機能を活用し、さまざまな年齢層に対する段階的・継続的な環境学習プログラムを提供するため、同センターの機能の充実・強化をはかるとともに、幅広い年齢層を対象とした環境学習プログラムを体系的・総合的に提供していきます。

【貴市町の取組】

◎三重県環境学習情報センターの機能を活用し、地域への情報提供や環境学習会の提供を実施していますか。

1 □ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

基本方向９　ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり

基本取組９－２　ごみゼロ推進のリーダーの育成と活動支援

１　取組の内容

（１）より専門的な技術や知識を伝授する「ごみゼロ達人」の育成

地域の課題の解決に向け地域の主体的なごみゼロの取組を推進するため、ごみゼロに関するさまざまな分野における専門的な技術や知識を有しており、ごみゼロの“こつ”を伝授する「ごみゼロ達人」を育成し、地域のニーズを掘り起こすとともに、達人の派遣などを進めます。

（２）「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成

ごみ減量化に熱心に取り組んでいる人たちと地域をつなぐことによりその活動をサポートするため、地域と密着した「ごみゼロ人材ガイドブック」を作成し、広く公開します。

【貴市町の取組】

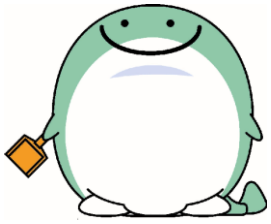
◎「ごみゼロ達人」育成について、今後協力したいと思いますか。

1 □ 協力したい
2 □ 協力するかを検討したい
3 □ その他（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

◎「ごみゼロ人材ガイドブック」の作成・公開・更新や情報提供を実施していますか。

1 □ 実施している（具体的内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
2 □ 実施していないが、今後検討予定
3 □ 実施していないし、今後検討予定もない

☆★☆★☆★ご協力ありがとうございました☆★☆★☆★



三重県ごみゼロキャラクター
「ゼロ吉」

「ゼロ吉」とその家族ゼロ吉ファミリーはごみゼロ社会の実現に資する場合には、自由に使用していただけます。また、ごみ削減を啓発するＤＶＤや「エアゼロ吉」着ぐるみの貸し出しも行っています。
ご希望される場合はあらかじめ三重県環境生活部廃棄物対策局廃棄物・リサイクル課までお問い合わせください。

Ⅴ.　民間資源回収量調査

1　調査の概要

1-1　調査の目的

この調査は、民間で回収・資源化を行っている事業所及び個人の回収量を把握することにより、「ごみゼロ社会実現プラン」の推進の基礎資料とするため、実施する。

1-2　調査対象

①民間資源回収量調査（店頭資源回収）
県内で店頭回収を行っていると考えられるスーパーマーケット等214件を対象とした。
②民間資源回収量調査（古紙回収事業者）
県内の古紙回収事業者27社を対象とした。

1-3　調査方法

調査票を郵送、回収した。回収期限前にはがきによる督促を行った。

1-4　調査期間

平成27年8月3日に調査票を発送し、8月21日を回答期限として回収した。なお回答期限後も回答があったため、10月1日を最終回収期限として有効回答に含めた。

1-5　回収状況

調査名	発送数	宛先不明	有効発送数	回収数	回収率
民間資源回収量調査1	214	6	208	100	48.1%
民間資源回収量調査2	27	0	27	14	51.9%

表　1-1　「回収状況」

1-6　分析結果の見方

各比率は、各設問の回答数を有効回答数の100分率で示している。比率は、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならないことがある。

2　調査結果

2-1　店頭資源回収量

問1	資源の店頭回収をおこなっていますか。

店頭回収については、「行っている」が96%と非常に高い。

単純集計

問1	店頭回収の実施	回答数	回答率
1	行っている	96	96.0%
2	行っていない	4	4.0%
99	無回答	0	0.0%
計		100	100.0%

表　2-1　「店頭資源回収の実施」回答状況

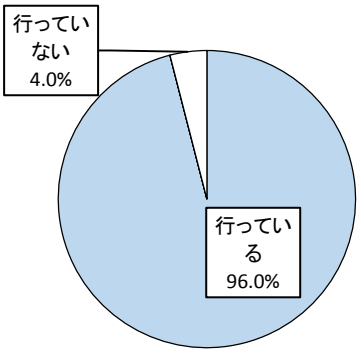


図　2-1　「店頭資源回収の実施」回答率

問2	資源の店頭回収量についてご回答ください。（平成26年4月～平成27年3月の回収量）

回収量については、「古紙類」の占める割合が53.4%と最も高く、次いで「ペットボトル」が25.7%となっている。

単純集計

問2	回収資源名	回収量計(t)	回収割合
1	ペットボトル	637.549	25.7%
2	食品トレイ	98.138	4.0%
3	紙パック	171.926	6.9%
4	古紙類	1,323.672	53.4%
5	缶類	194.831	7.9%
6	その他	51.871	2.1%
計		2,477.986	100.0%

表　2-2　「店頭資源回収量」回答状況

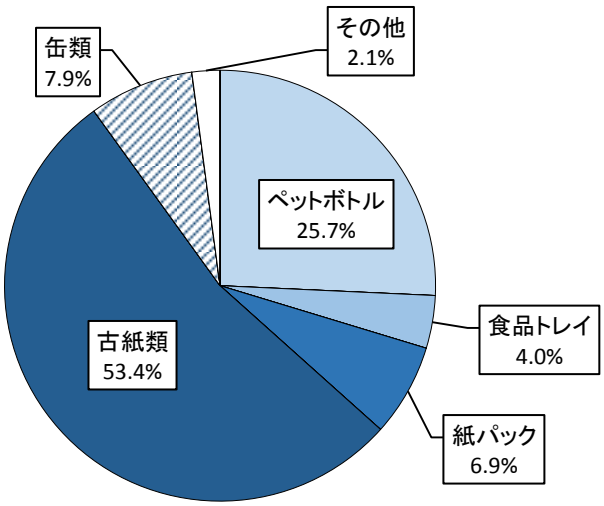


図　2-2　「店頭資源回収量」回収割合

問3	回収した資源の、再利用・再資源化方法についてご回答ください。

資源の再利用・再資源化方法については、すべての資源において「リサイクル業者へ引渡し、リサイクルする」が大半（75%から93.5%）となっている。

単純集計

問3	資源名	再利用・再資源化の方法		回答割合
1	ペットボトル	A	リサイクル業者へ引渡し、リサイクルする	93.5%
		B	本部にて回収後、リサイクル業者へ引渡す	6.5%
2	食品トレイ	A	リサイクル業者へ引渡し、リサイクルする	90.3%
		B	本部にて回収後、リサイクル業者へ引渡す	6.5%
		C	自社にてリサイクル	3.2%
3	紙パック	A	リサイクル業者へ引渡し、リサイクルする	91.3%
		B	本部にて回収後、リサイクル業者へ引渡す	5.4%
		C	自社にてリサイクル	3.3%
4	古紙類	A	リサイクル業者へ引渡し、リサイクルする	92.9%
		B	自治会の廃品回収	7.1%
5	缶類	A	リサイクル業者へ引渡し、リサイクルする	93.2%
		B	本部にて収集後、リサイクル業者へ引渡す	4.1%
		C	自社にてリサイクル	2.7%
6	その他	A	リサイクル業者へ引渡し、リサイクルする	75.0%
		B	本部にて収集後、リサイクル業者へ引渡す	16.7%
		C	自社にてリサイクル	8.3%

表　2-3　「再利用・再資源化の方法」回答状況

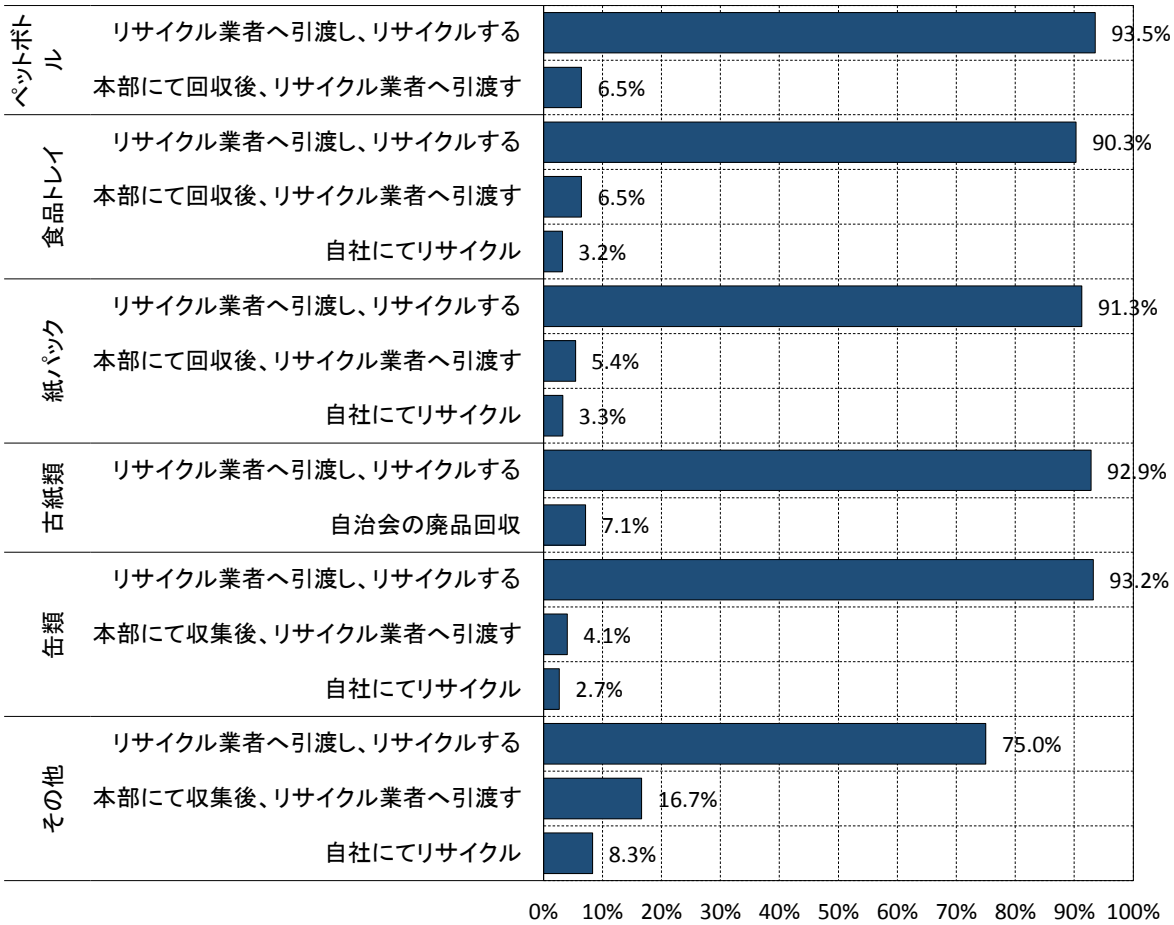


図　2-3　「再利用・再資源化の方法」回答率

2-2　店頭資源回収量の平均と推計

平成26年度の1店舗あたりの資源回収量（平均）は、25,812ｔとなっている。アンケート未回答の事業者を考慮すると、県内全体の資源回収量5,154ｔと推計される。

（1）店頭資源回収量平均（店頭資源回収を実施している事業者の平均）

	回収資源名	回収量平均(ｔ)
1	ペットボトル	6.641
2	食品トレイ	1.022
3	紙パック	1.791
4	古紙類	13.788
5	その他（缶類）	2.029
6	その他（その他）	0.540
計		25.812

表　2-4　「店頭資源回収量」平均

（2）店頭資源回収量推計
（表2-2回収量＋（未回答事業者数108×表2-4店頭資源回収量平均）×店頭資源回収実施事業者率）

店頭資源回収実施業者率		96.0%
	回収資源名	回収量(ｔ)
1	ペットボトル	1,326.1
2	食品トレイ	204.1
3	紙パック	357.6
4	古紙類	2,753.2
5	その他（缶類）	405.2
6	その他（その他）	107.9
計		5,154.1

表　2-5　「店頭資源回収量」推計

2-3　古紙回収事業者回収量

問1	事業所において、県民・事業者からの古紙回収（直接持ち込み等）を行っていますか？

県民・事業者からの古紙回収は、すべての事業所において行っている。

①　単純集計

問1	古紙回収の実施	回答数	回答率
1	行っている	14	100.0%
2	行っていない	0	0.0%
99	無回答	0	0.0%
計		14	100.0%

表　2-6　「県民・事業者からの古紙回収の実施」回答状況

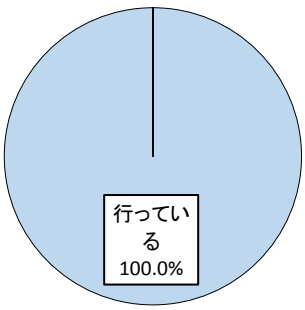


図　2-4　「県民・事業所からの古紙回収の実施」回答率

問2	古紙回収量についてご回答ください。（平成26年4月～平成27年3月の回収量）

古紙回収量については、「事業所からの回収量」の占める割合が71.8%となっており、「一般家庭からの回収量」を大きく上回っている。

単純集計

問2	回収資源名	回収量計(ｔ)	回収割合
1	一般家庭からの回収量	15,365.626	28.2%
2	事業所からの回収量	39,066.065	71.8%
計		54,431.691	100.0%

表　2-7　「古紙回収重量」回答状況

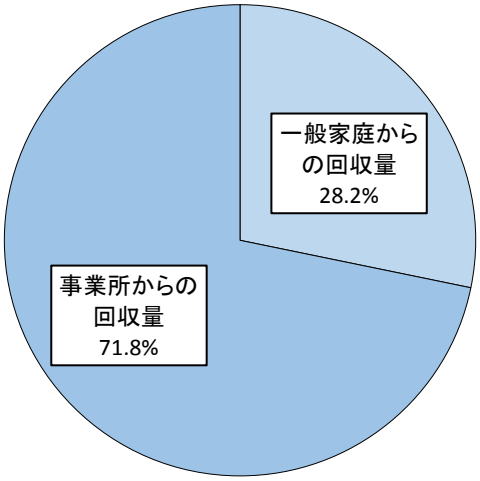


図　2-5　「古紙回収重量」回答率

2-4　古紙回収事業者回収量の平均と推計

平成26年度の1事業所あたりの古紙回収量平均は3,888ｔとなっている。未回答事業者を含む全体の推計では、104,975ｔとなっている。

（1）古紙回収事業者回収量平均

	回収資源名	回収量平均(ｔ)
1	一般家庭からの回収量	1,097.545
2	事業所からの回収量	2,790.433
計		3,887.978

表　2-8　「古紙回収事業者回収量」平均

（2）古紙回収事業者回数量推計（表2-7回収量計＋（未回答事業者数13×古紙回収事業者回収量平均））

	回収資源名	回収量(ｔ)
1	一般家庭からの回収量	29,633.711
2	事業所からの回収量	75,341.694
計		104,975.405

表　2-9　「古紙回収事業者回収量」推計

2-5　全体回収量推計

民間事業者で回収される資源については、「古紙類」の占める割合が97.8%と極めて高い。
店頭資源回収及び古紙回収事業者の資源回収量の計は、110,130ｔとなっている。

表2-5店頭資源回収量＋表2-9古紙事業者回収量推計

	回収資源名	回収量(ｔ)	回答率
1	ペットボトル	1,326	1.2%
2	食品トレイ	204	0.2%
3	紙パック	358	0.3%
4	古紙類	107,729	97.8%
5	その他（缶類）	405	0.4%
6	その他（その他）	108	0.1%
計		110,130	100.0%

表　2-10　「全体回収量」推計

3　自由記入意見まとめ

3-1　店頭資源回収事業者

問4	店頭回収の促進や課題等について、ご意見がありましたらご記入ください。

・一部洗浄してない持ち込みあり。
・リサイクル出来ないものが、回収BOXに入っていることが多く困っている。

3-2　古紙回収事業者

問4	古紙回収の促進や課題等について、ご意見がありましたらご記入ください。

・回収事業からリサイクル事業（再資源化事業）として、製品から再生への総合事業として変化していくべきだと、とらえています。教育、再生関連事業への研究投資等が必要。
・三重県廃棄物リサイクル課には、関係がないかも知れませんが、各地区の小供会、老人会、婦人会、特に津市の資源リサイクルで集めた物は、ことごとくブラジル人の古紙抜取の被害に合っております。我々業者が組合で各自GPSを新聞に取付け、行き先を調べて、その会社へ行って止める様に頼んでおります。何とかならないものでしょうか？
・無料又はポイント回収施設について。・古紙単価の安定性。・持ち去り古紙等、回収者のモラル。
・少子高齢化、人口減少、携帯型情報収集端末（スマートホン等）の使用を要因とした情報用紙の減少は、紙の生産量に多大なる影響を及ぼしています。飲料や冷凍食品等の段ボールは好調のようで例年以上の箱量が流通しているとの事ですが3年前と比べると10%程、軽量化されており全体の回収重量も減少しています。更に大手スーパー様は、段ボール古紙回収が管理会社との契約になり、近くにお店があっても仕事が頂けない事があります。又、異業種参入や回収方法の多様化、お得意先の取り合い、入札物件の競争激化等々、経　営環境は家内的分業制の日本国内の中小零細企業は適者生存となる大変厳しい時代到来だと思います。

4　民間資源回収量調査 調査票

4-1　店頭資源回収事業者

事業所名			
所在地			
代表者氏名			
記入者 （所属、氏名）			
記入年月日	2015年＿＿月＿＿日	電話番号	
メールアドレス		ＦＡＸ番号	

問１　貴事業所において、資源の店頭回収を行っていますか？　（該当する番号に○ ）

※本調査における店頭回収とは、小売店等に食品トレイ等の資源回収ボックスを設置し、
事業者独自に資源を回収することを指します。
市町の委託を受けて回収ボックスを設置している場合は調査対象外となります。

１　店頭回収を行っている　　→問２へ。
２　店頭回収は行っていない　　→質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

問２　資源の店頭回収量についてご回答ください。

下記の表に、品目別に回収量（単位：kg）をご記入ください。
＊回収量を把握していない場合は、おおよその推計値でご記入ください。
＊「その他」の場合は、具体的な資源名を（　　）内にご記入ください。もし行が足りない場合は、
枠外にご記入ください。

平成26年度実績（平成26年４月～平成27年３月）			
資源名	回収量（kg）	資源名	回収量（kg）
ペットボトル		その他①（　　）	
食品トレイ		その他②（　　）	
紙パック		その他③（　　）	
古紙類			
回収量合計			

問３　店頭回収した資源の、再利用・再資源化方法についてご回答ください。

記入例：　再資源化業者（株）○○へ引き渡してリサイクルする。
自社で洗浄し、再利用する。　　等

資源名	資源化の方法
ペットボトル	
食品トレイ	
紙パック	
古紙類	
その他① （　　）	
その他② （　　）	
その他③ （　　）	

問４　店頭回収の促進や課題等について、ご意見がありましたらご記入ください。

（ご意見等）

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

4-2　古紙回収事業者

事業所名			
所在地			
代表者氏名			
記入者 （所属、氏名）			
記入年月日	2015年＿＿＿月＿＿＿日	電話番号	
メールアドレス		ＦＡＸ番号	

問１　貴事業所において、県民・事業者からの古紙回収（直接持ち込み等）を行っていますか。

※本調査における古紙回収とは、貴事業所に古紙類（新聞・雑誌・ダンボール等）を持ち込んだり、貴事業所が家庭や事業所を回ったりして、独自に古紙類を回収することを指します。
※他の古紙回収事業者から買い取った古紙類は対象外です。
※ＰＴＡ等の地域団体が、市町から助成金を受けて実施する集団資源回収は含みません。
※市町からの委託を受けて行う古紙類の回収は含みません。
※産業廃棄物に該当する古紙類の回収は含みません。

該当する番号に○をつけてください。

1　独自に古紙回収を行っている
2　独自に古紙回収を行っていない

問２　古紙回収量についてご回答ください。

下記の表（平成26年度実績）に、問１に該当する回収量（単位：ｋｇ）をご記入ください。

平成26年度実績（平成26年４月から平成27年３月）

資源名	回収量（kg）
古紙類	

一般家庭からの 回収量(kg)	事業所からの 回収量(kg)

回収量を把握していない場合は、推計値でご記入ください。

問３　古紙回収の促進や課題等について、ご意見がありましたらご記入ください。

（ご意見等）

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。